





フルカラー版

機動戦士ガンダム

11

# THE ORIGIN

—開戦編・前—

安彦良和

原案  
矢立肇・富野由悠季  
メカニックデザイン  
大河原邦男





# 新章「開戦編」で描かれる「つの道」

シャア・アズナブル

「赤い彗星」への道

## 父・ジオンの死



↑予想もしなかった突然の父の死。幼き兄妹はザビ家と親ダイクン派の抗争に巻き込まれることになる。



「これまでのあらすじ」  
宇宙世紀0068、宇宙移民者による地球連邦政府からの独立を掲げるムンゾ自治共和国議長ジオン・ズム・ダイクンが急死する。

ダイクン家の腹心ジンバ・ラルとその息子ランバ・ラルは、その死の背後にムンゾの実権を狙うザビ家の暗躍を感じ、ダイクンの遺児キャスバルとアルテイシアを地球へ脱出させる。名を変え、マス家の養子となり、穏やかな日々を地球で過ごす二人だったが、ザビ家の追撃は止まず、キャスバルとアルテイシアはテキサス・コロニーへの再避難を余儀なくされる。そこでキャスバルは自身と見間違わんばかりの容姿を持った青年シャア・アズナブルと出会うのだった。

ギレン・ザビ

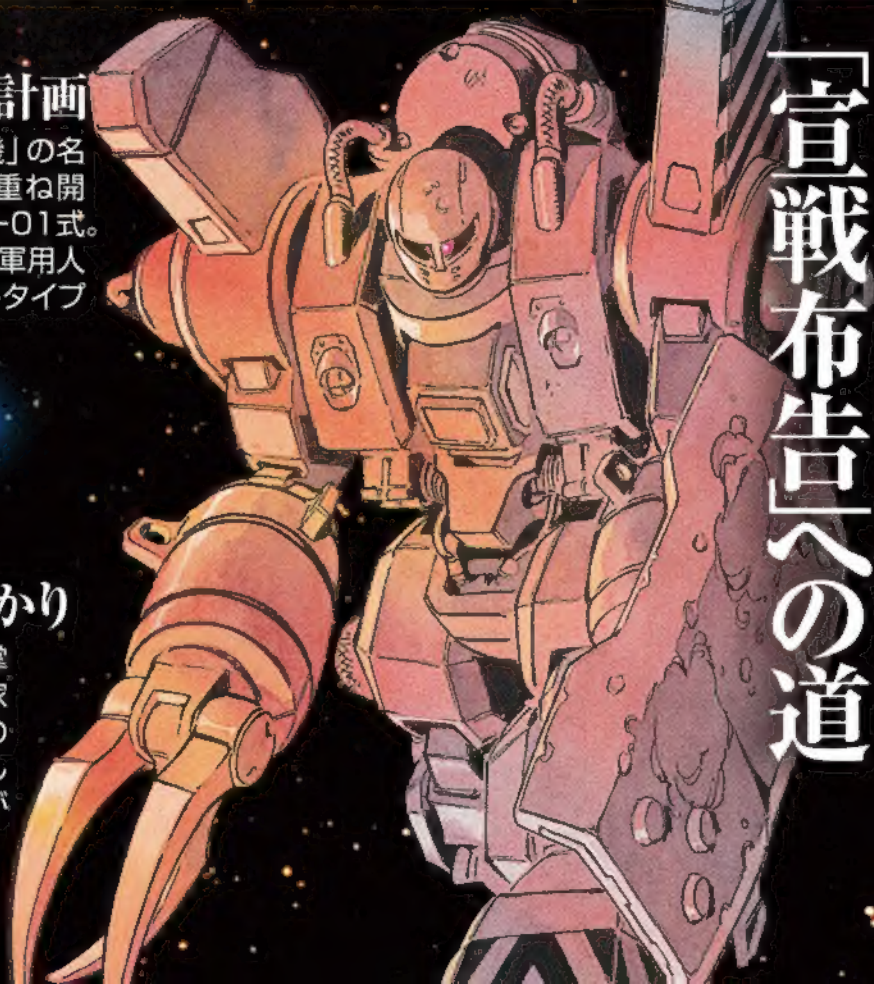
「宣戦布告」への道

## モビルスーツ 極秘! MS開発計画

→「月面の鉱山用掘削機」の名目で極秘裏のテストを重ね開発されたモビルワーカー01式。だが、その実態は対連邦軍用大型汎用兵器MSのプロトタイプであった。

## 独裁への足がかり

→情報の操作と人心掌握の術を駆使し、ザビ家はムンゾそしてジオンの実権を手に入れる。そして恐怖と戦乱の時代が始まる……。







## 母の死、妹との別れ...

↑アルテイシアを残し、キャスバルはザビ家の支配するサイド3へ復讐の旅に出る。母への深い愛ゆえに少年は、その身を憎しみの炎に燃やすこととなった。



## 逃避行

↑服従を強いるキシリアに対し、威厳を持った態度で渡り合ったキャスバル。そこには高貴な家に生まれし者としての自覚と覚悟がにじみ出ていた。

## そして目の奥に隠す 恐るべき 秘策とは!?

そんな折、二人のもとへムンゾで軟禁されていた母の死が伝えられる。激しい悲しみの中でザビ家への復讐を誓ったキャスバルは、唯一の肉親となった妹アルテイシアを一人残し、ザビ家の支配するサイド3へ旅立つのだった。

親友シャア・アズナブルを暗殺し、彼に成りすましてジオンの士官学校に入り込んだキャスバルとザビ家の末弟ガルマの運命的な邂逅。対立を深めていく地球連邦政府とジオン。運命の潮流はある一点を指し、その流れを次第に速めていきつつあった。

「赤い彗星」伝説の誕生と、  
宇宙に蔓延していくギレンの策謀、  
一年戦争開戦へといたる闇の歴史が  
今、幕を上げる――。





# 機動戦士ガンダム THE ORIGINⅢ —開戦編・前—

## C O N T E N T S

SECTION I ————— 005

SECTION II ————— 057

SECTION III ————— 105

SECTION IV ————— 153



— 開戰編・前 —

SECTION  
I





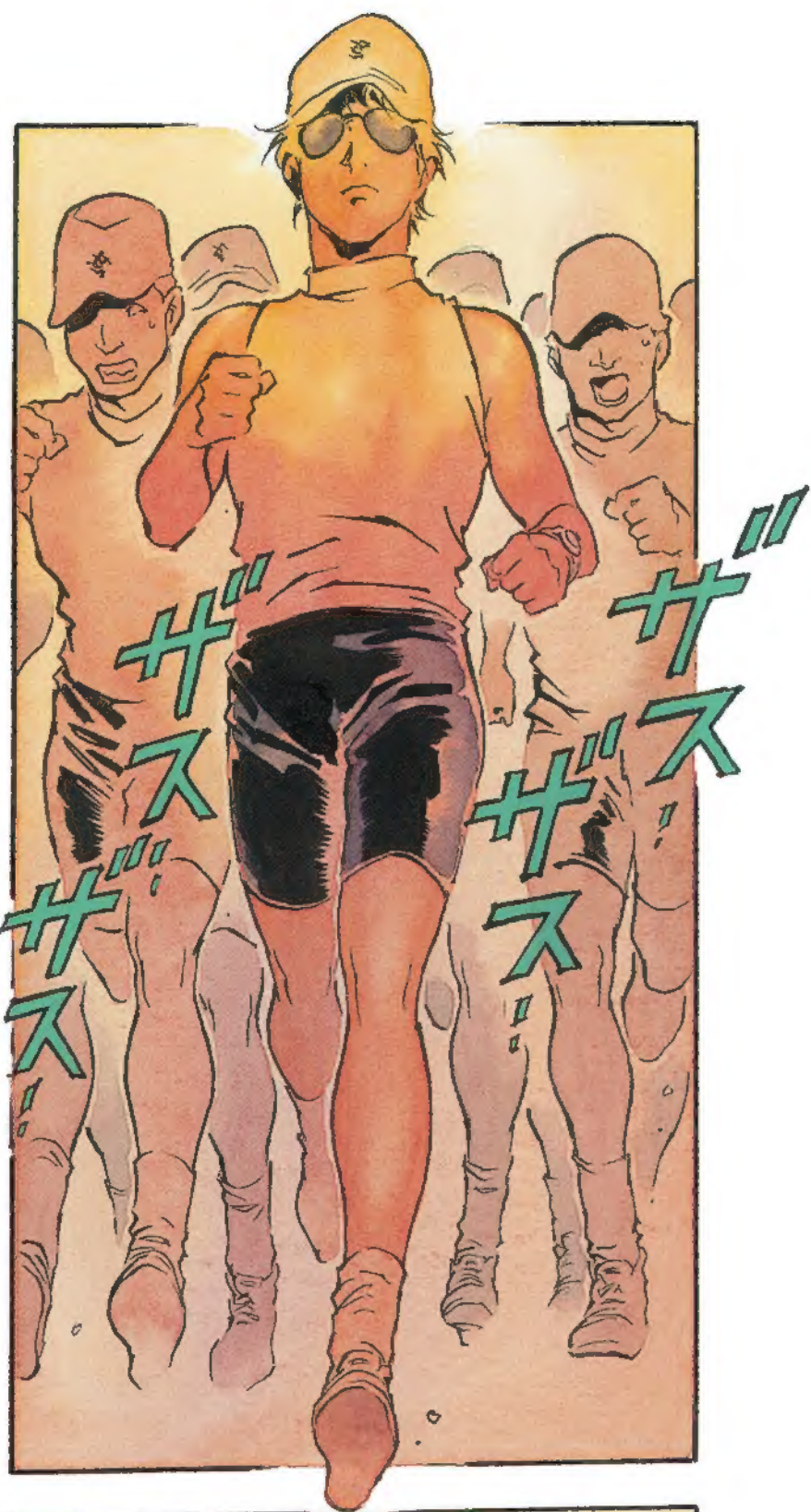
ジオン校...

宇宙世紀  
U.C.  
0074

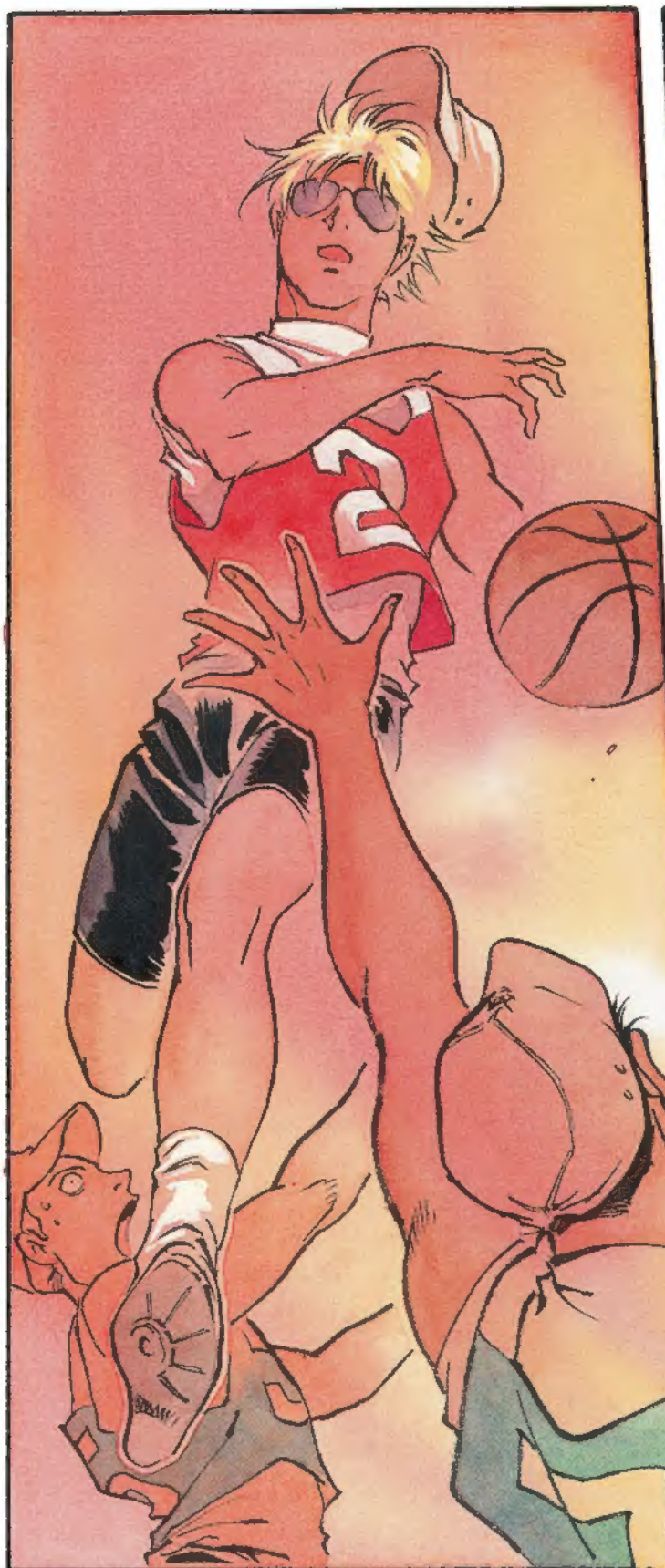
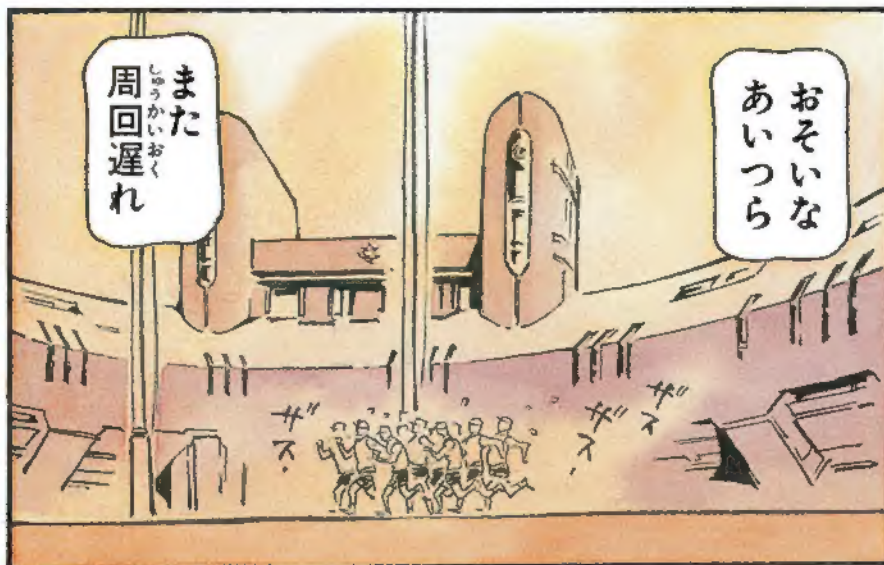
宇宙軍  
士官養成学校



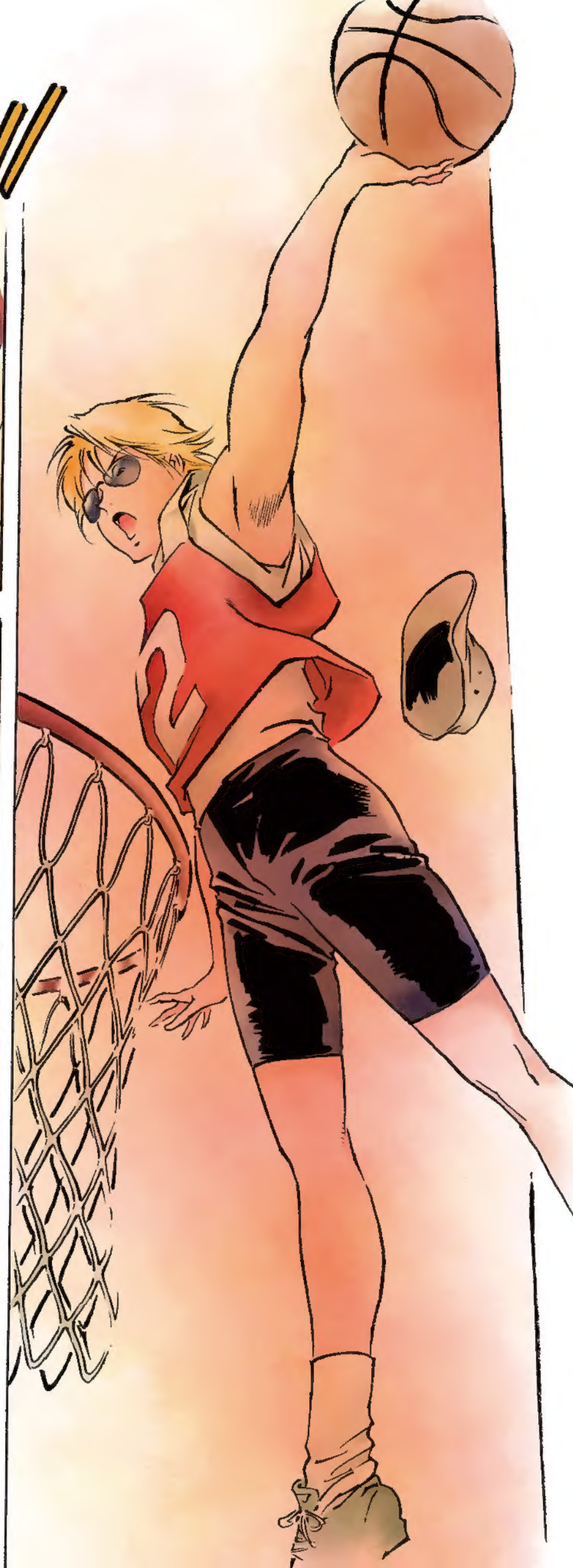
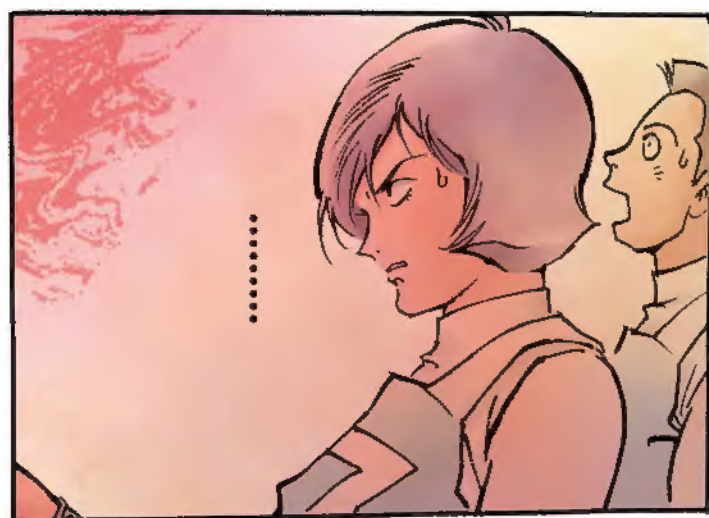
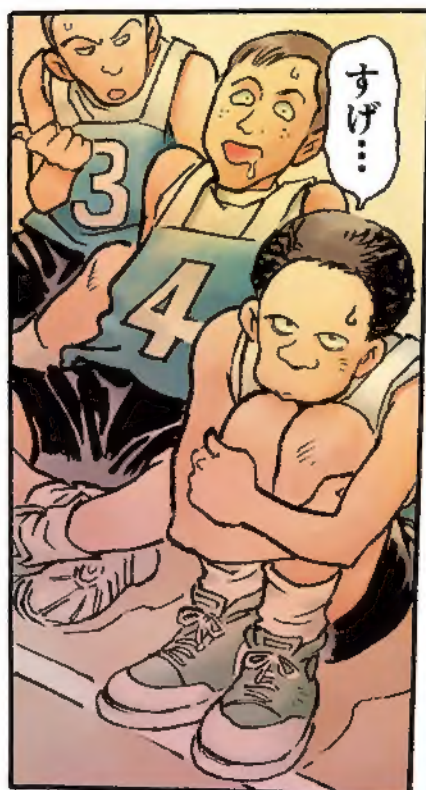




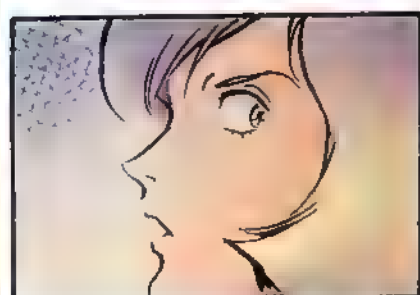
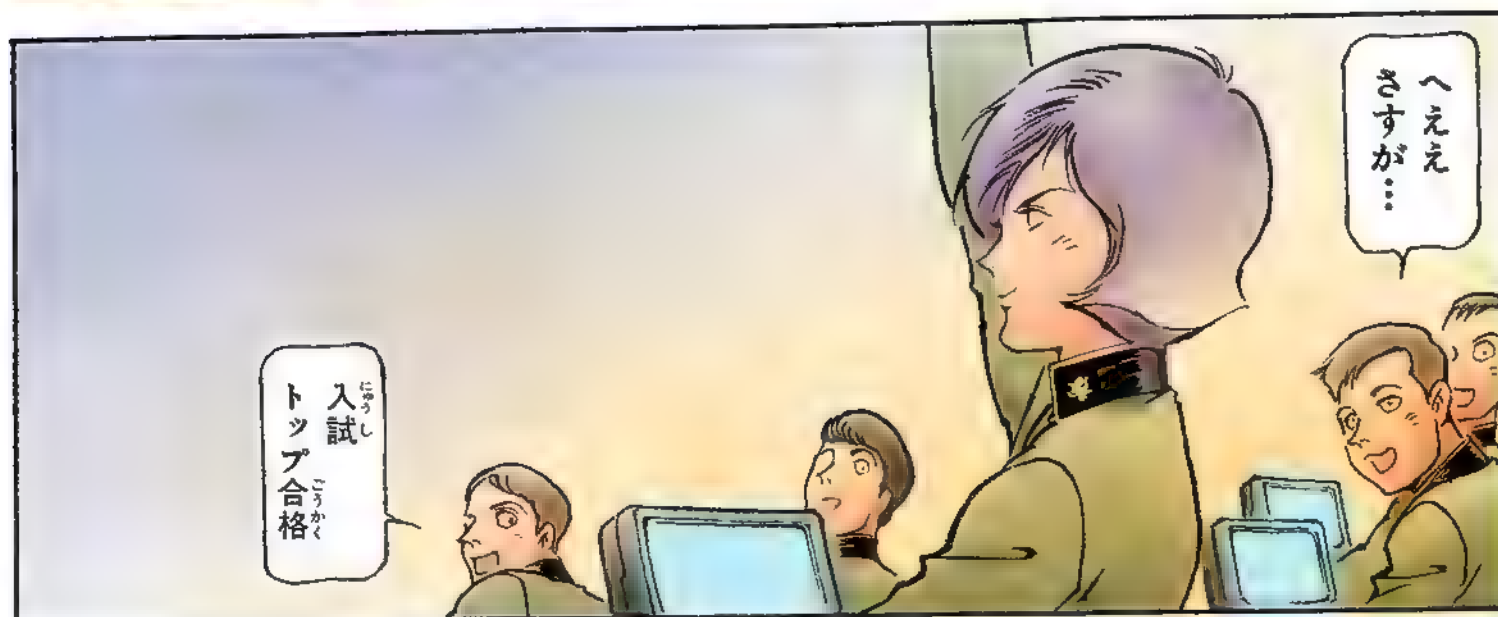
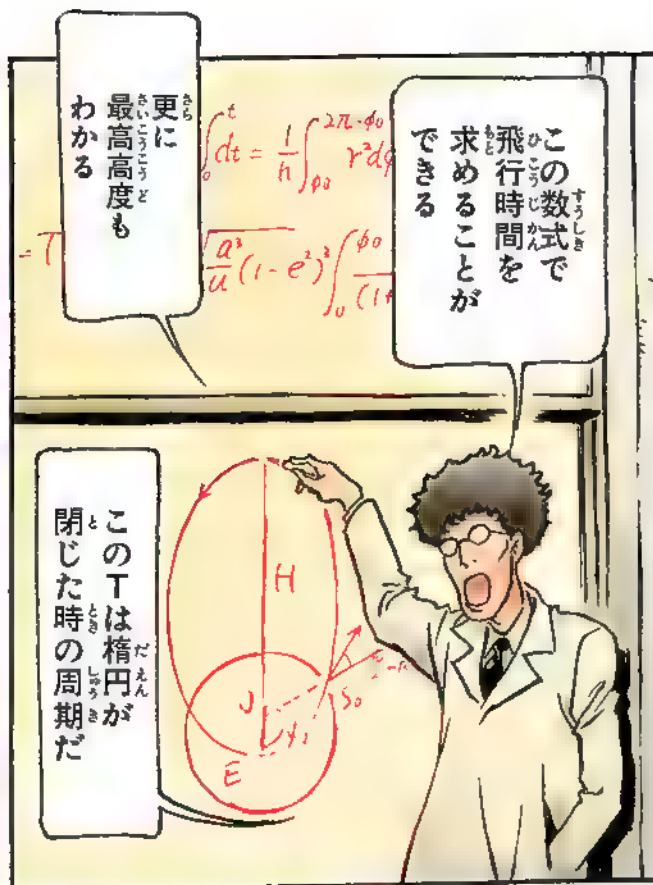
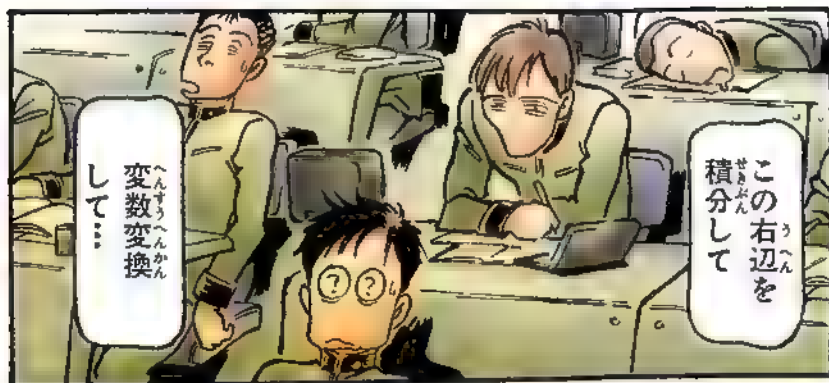




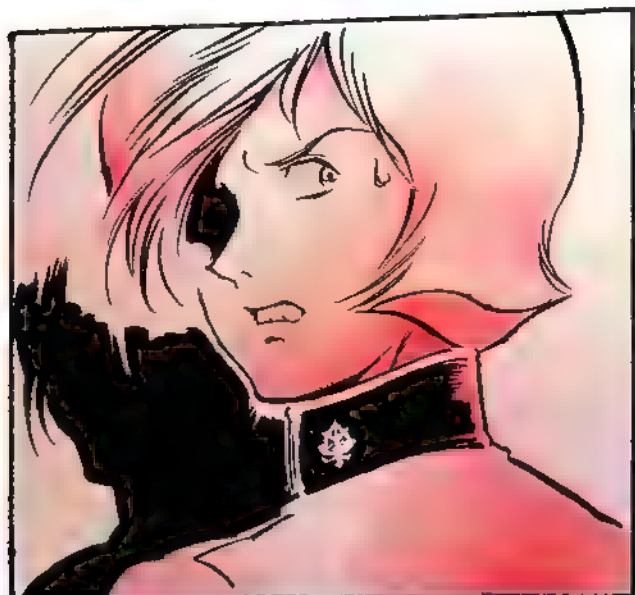
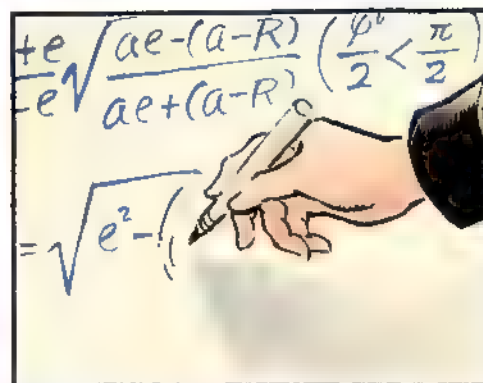
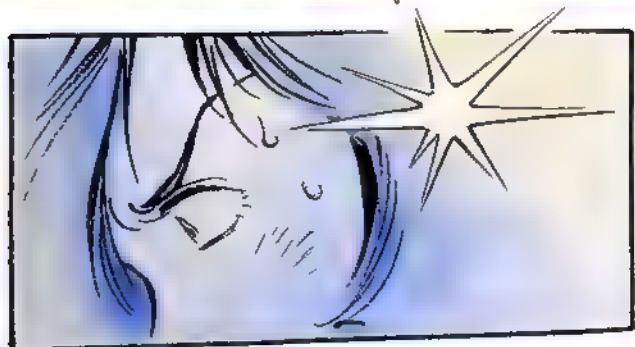
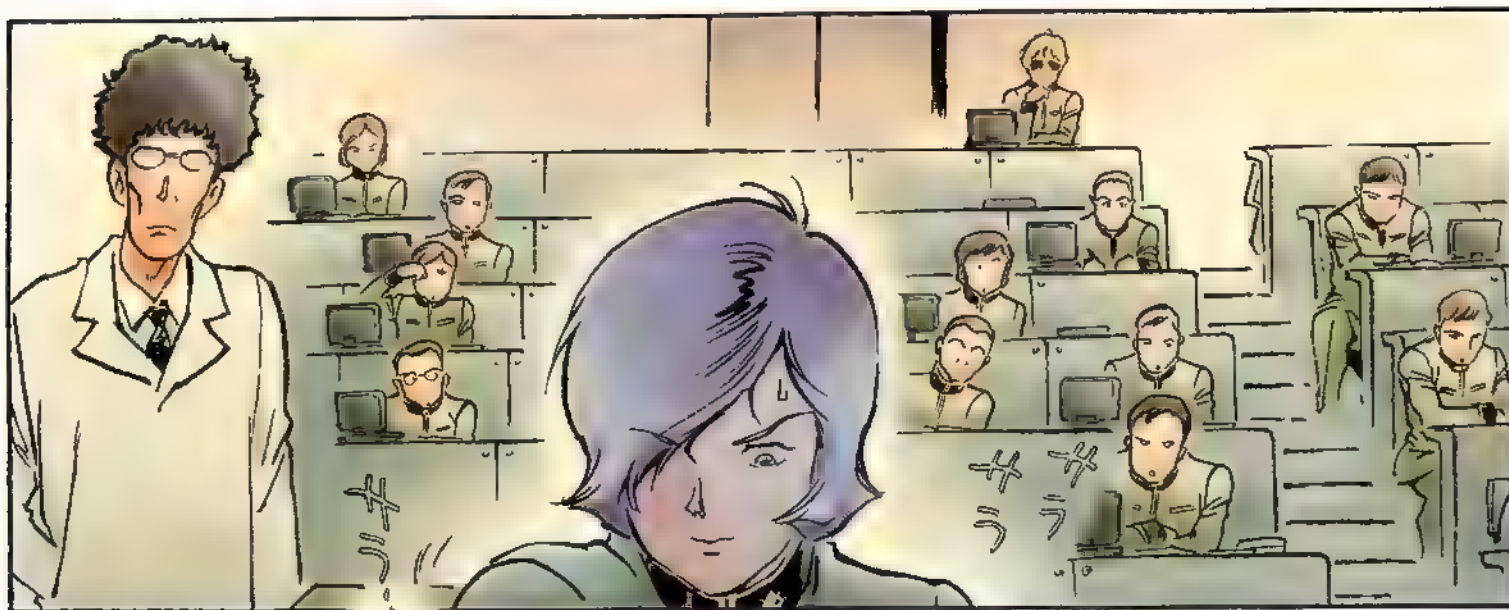
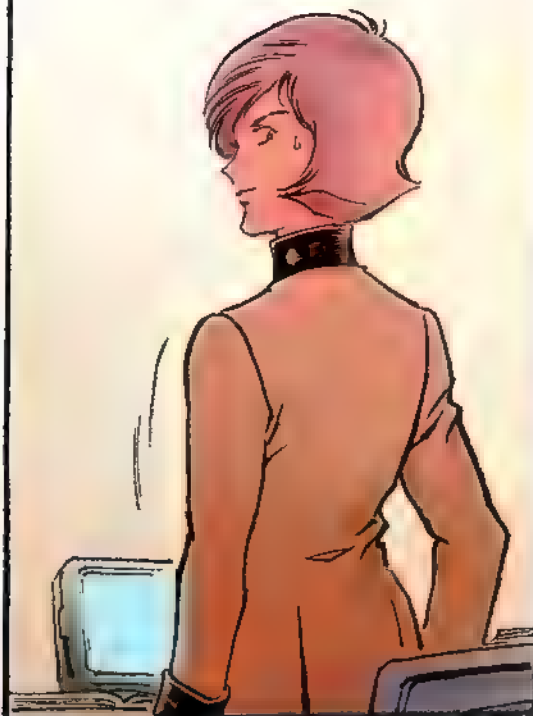
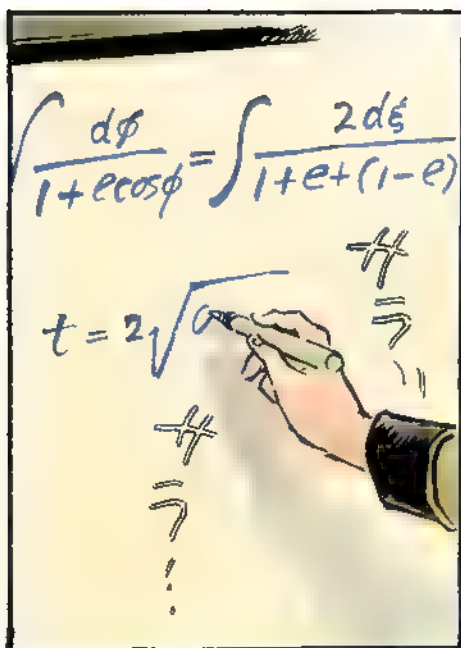




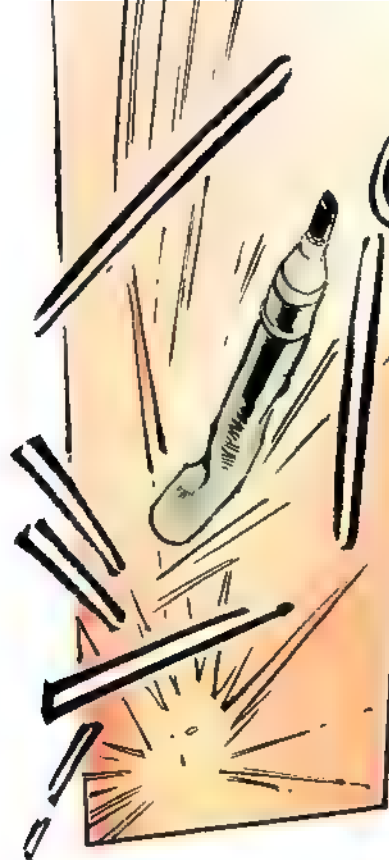




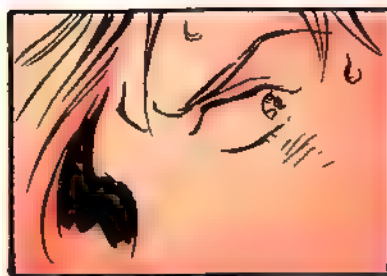




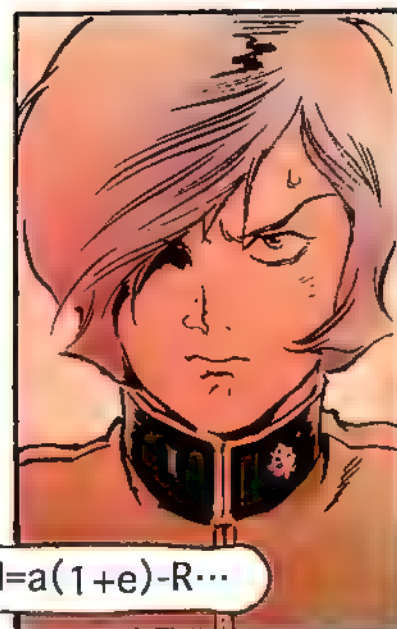
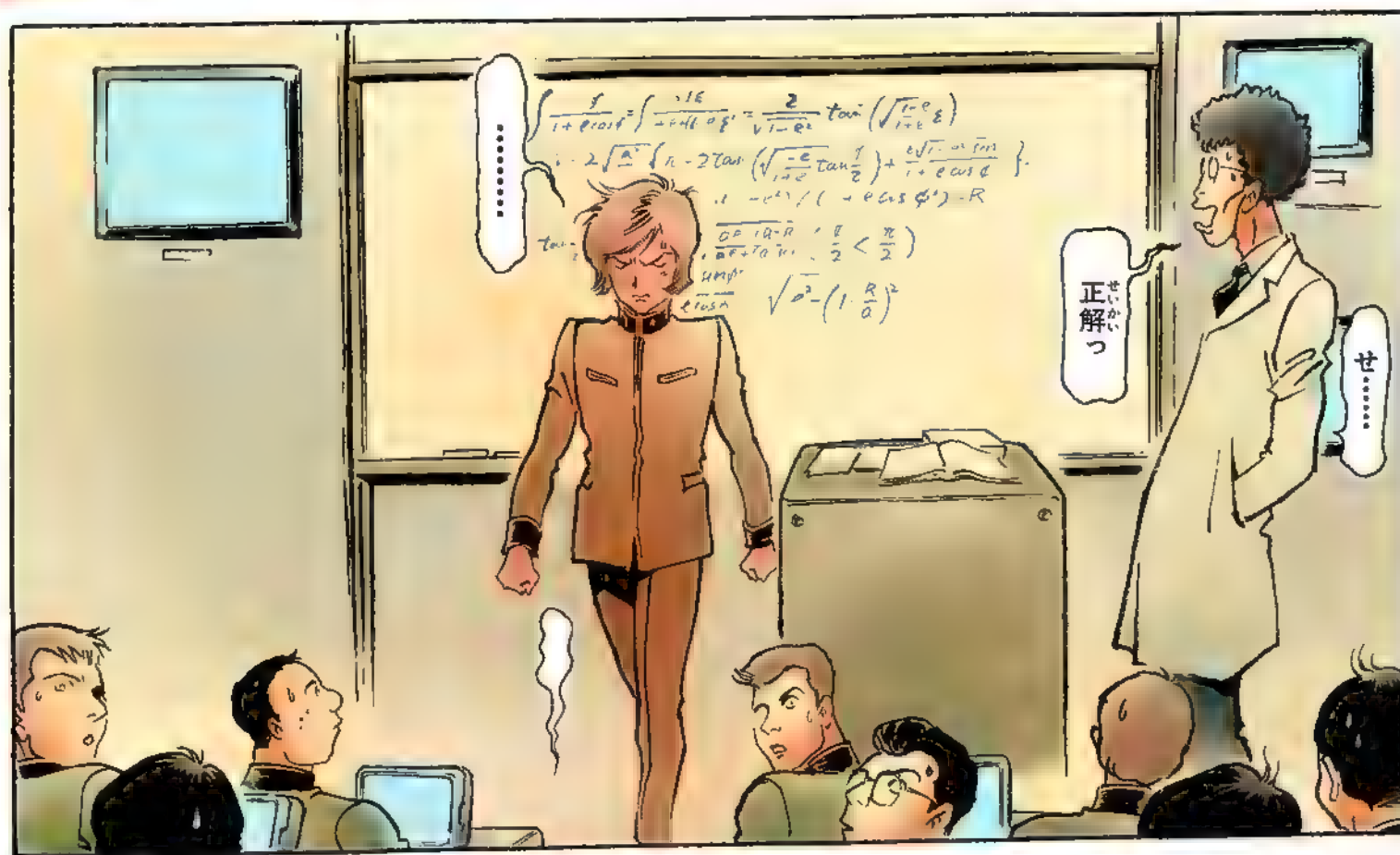
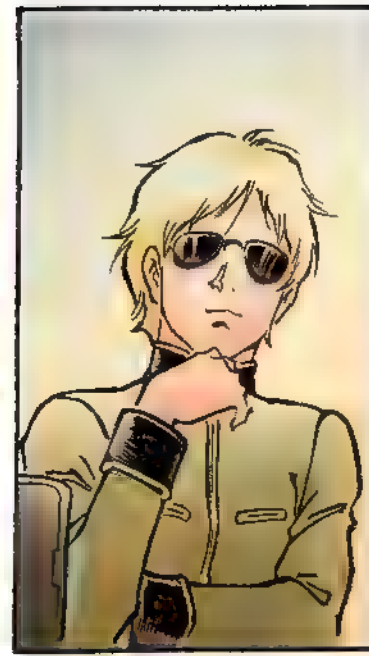




$$ae + (a - R)$$
$$1 - \frac{R}{a}$$



$$= \sqrt{e^2 - (1 - \frac{R}{a})^2}$$



$$H = a(1 + e) - R \dots$$







キミは

失礼な  
ヤツだな



まちたまえ!



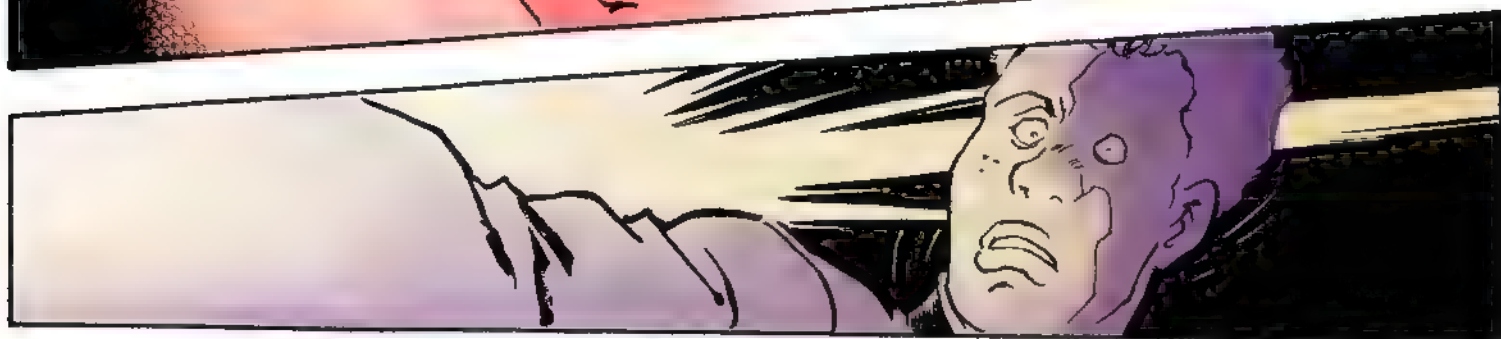
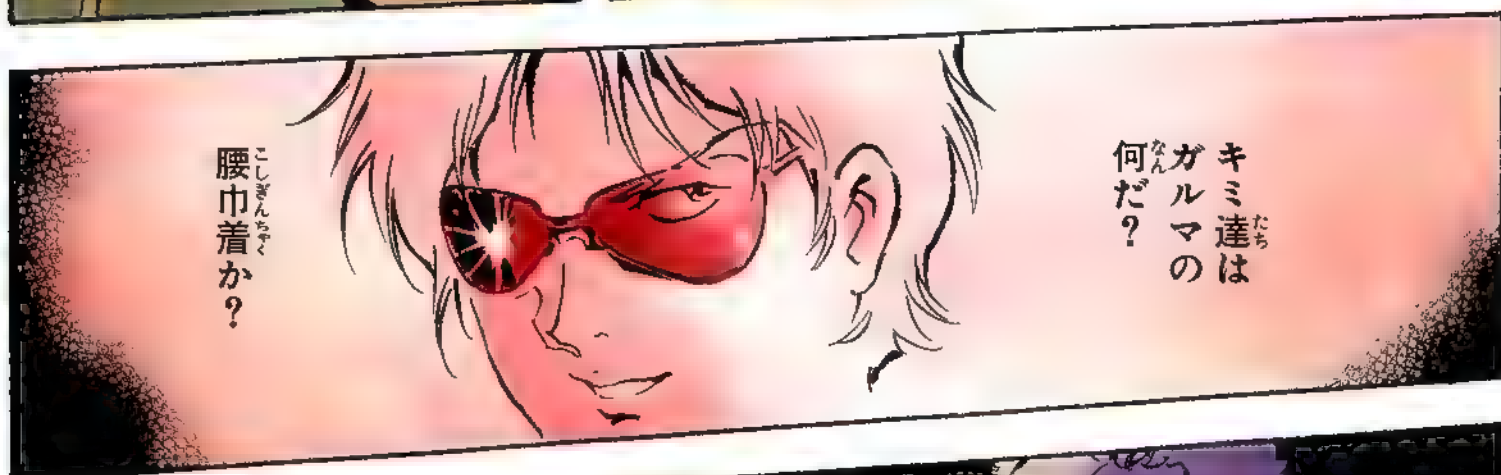
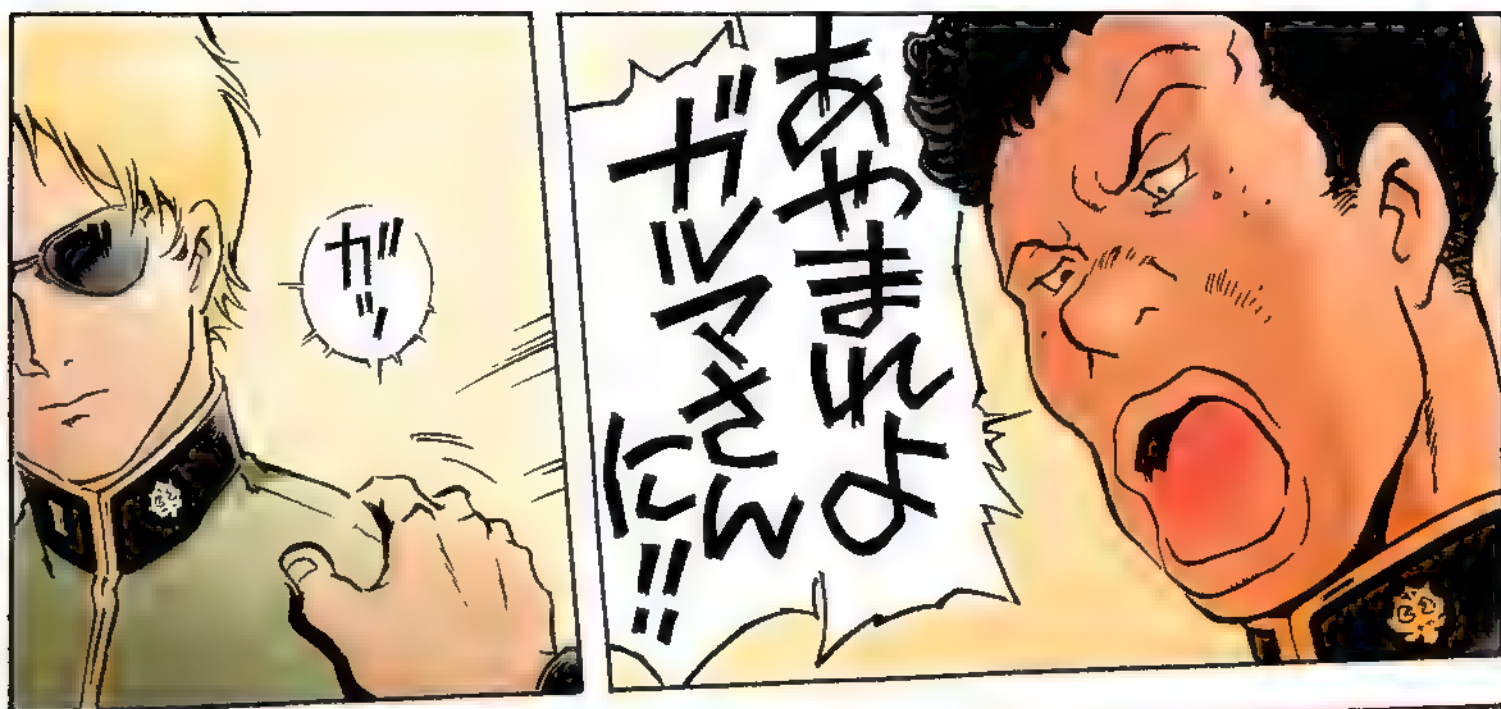
そんなにまでして  
目立ちたいのか!?

どうしてボクの  
計算のジャマを  
したんだ?

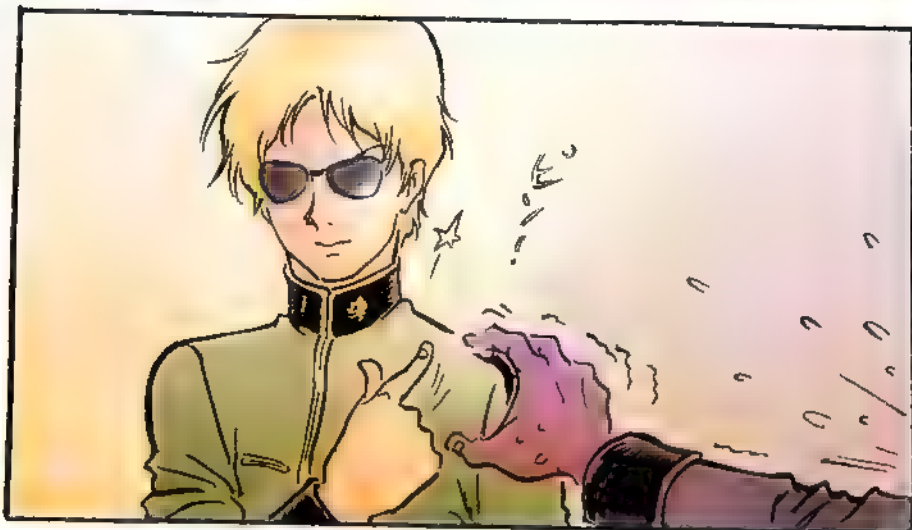
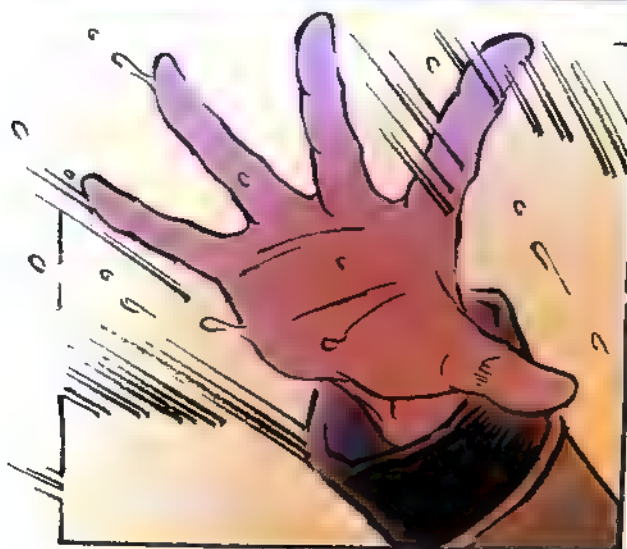
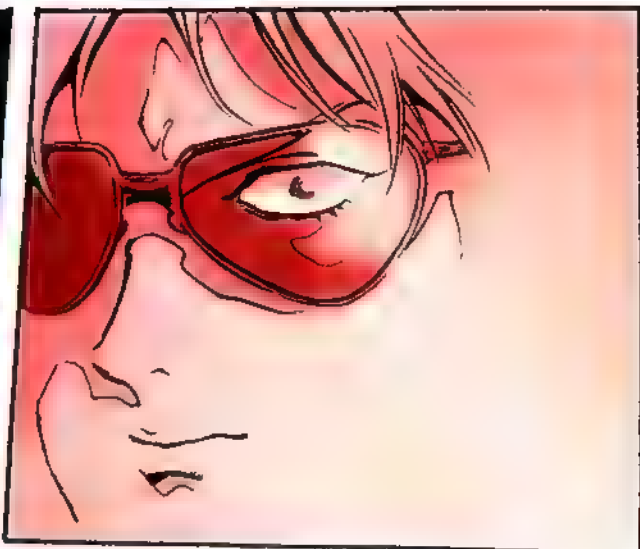














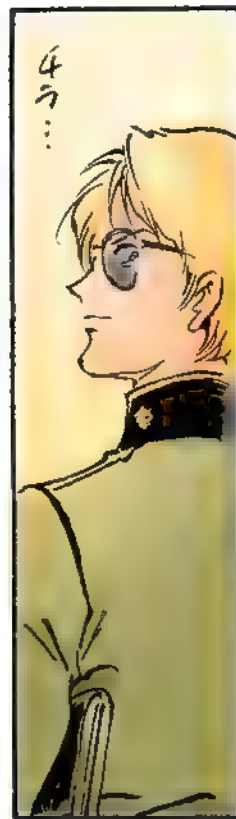
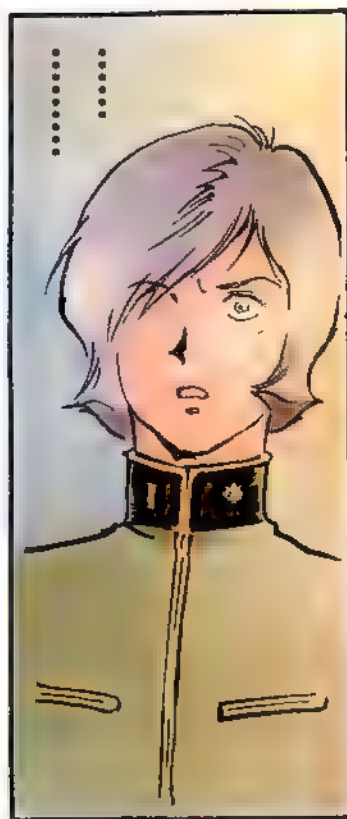
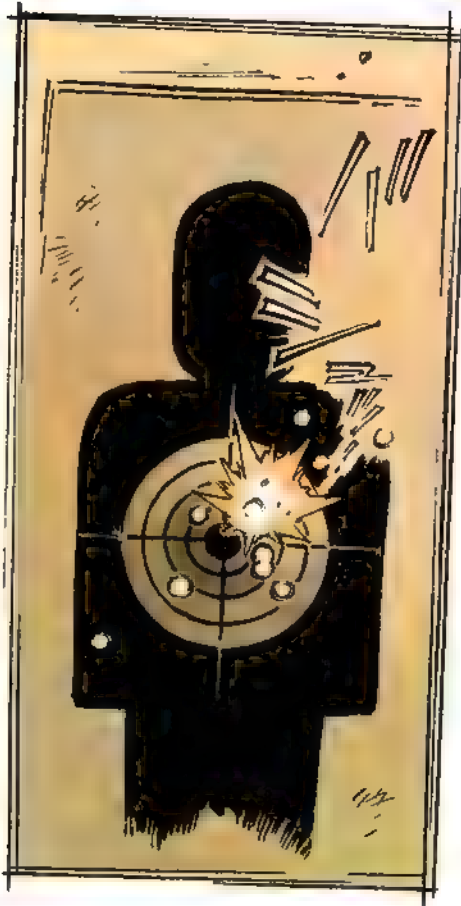
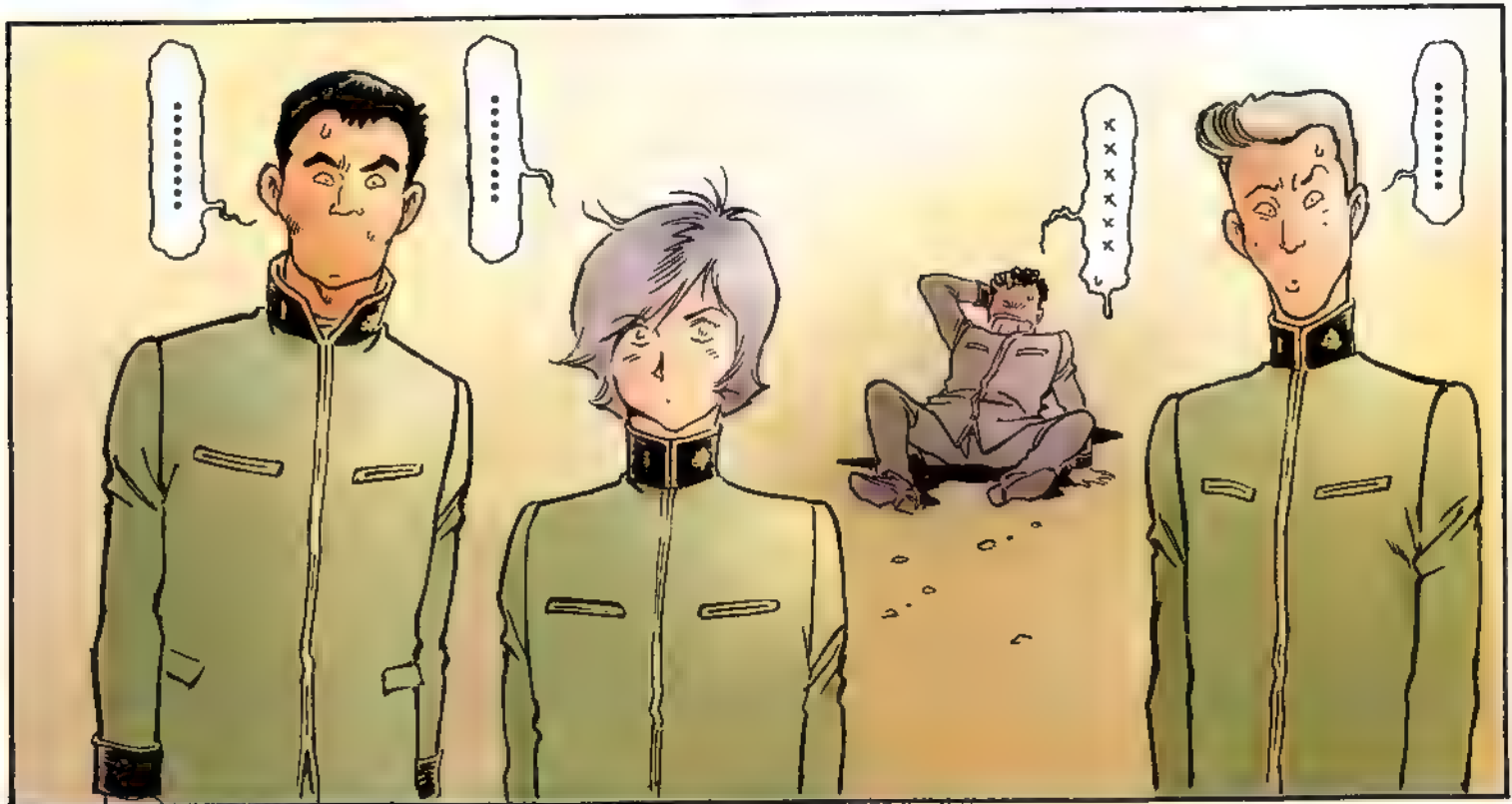


悪かったね

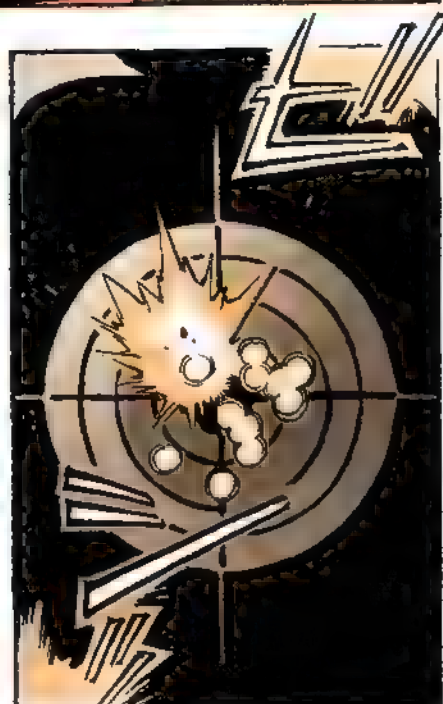
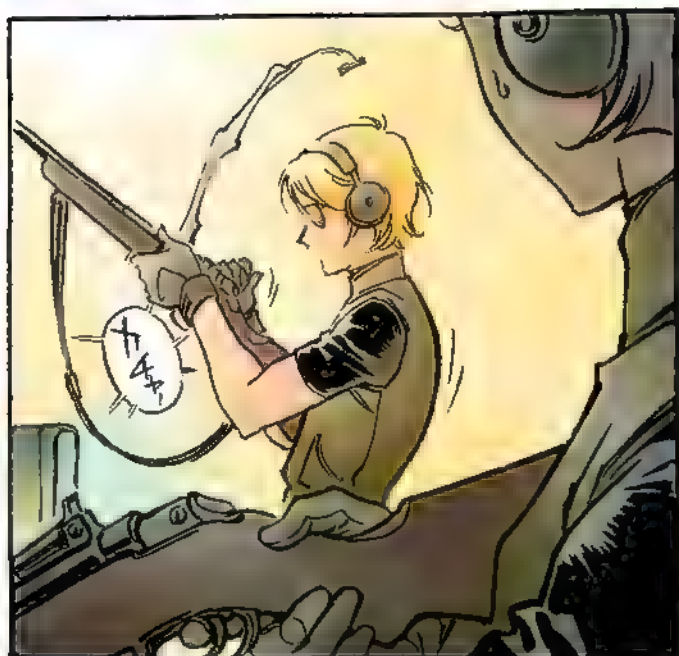
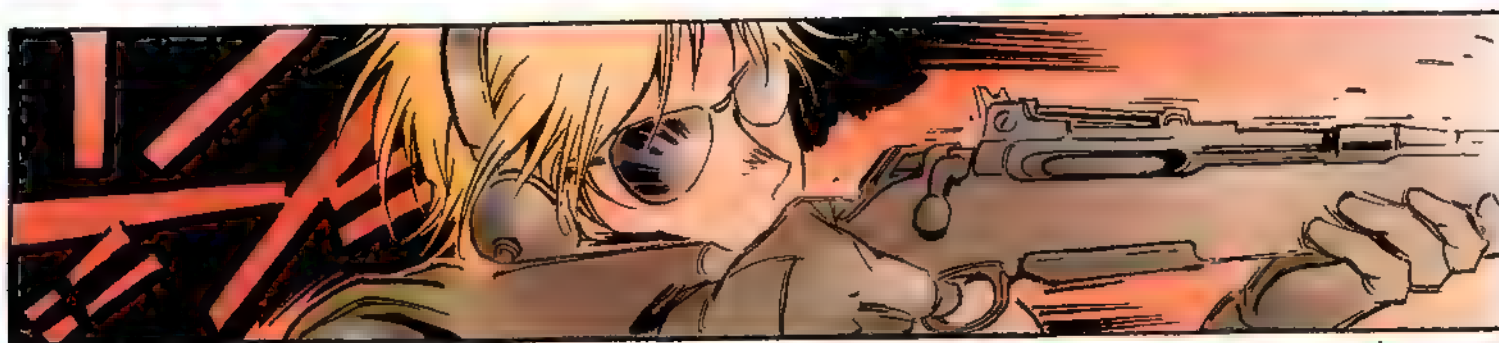
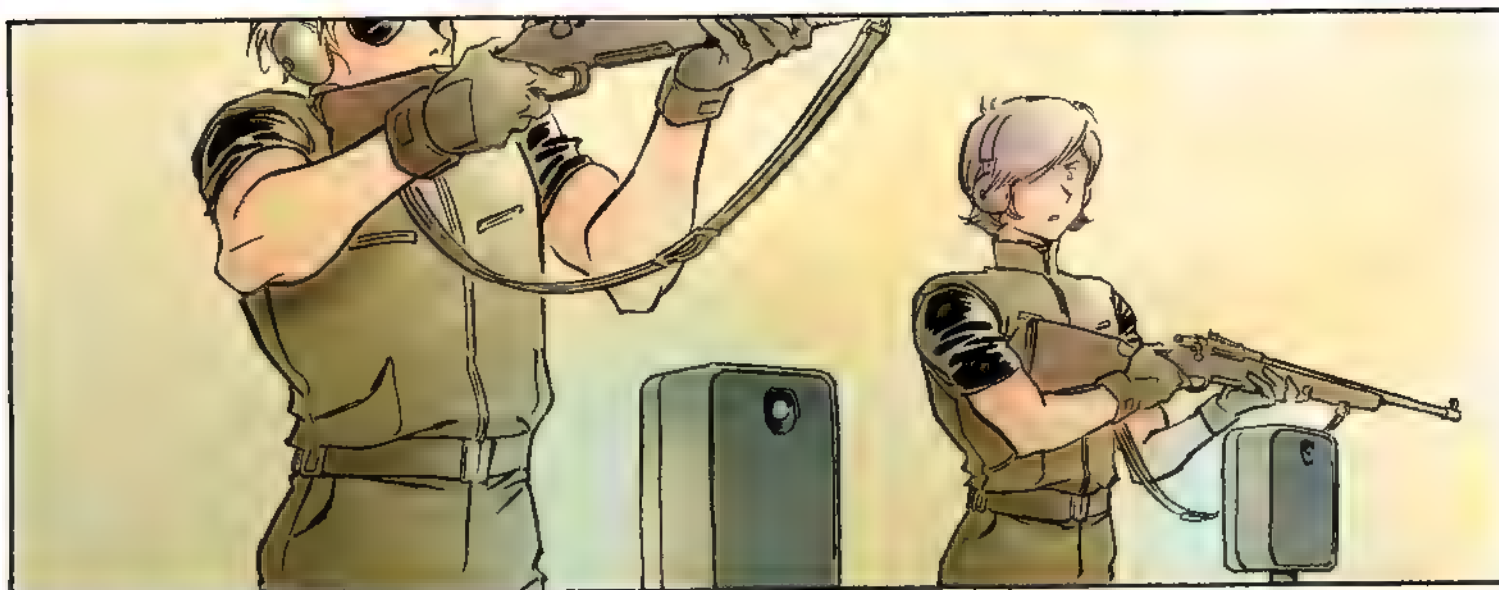
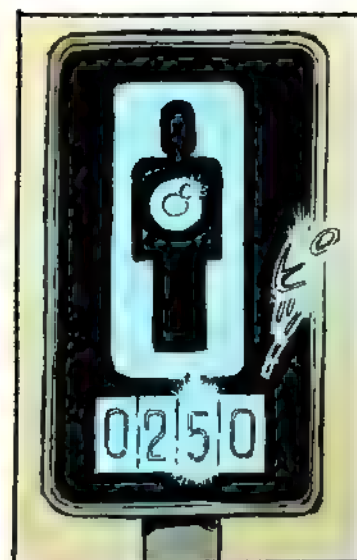


そおか...

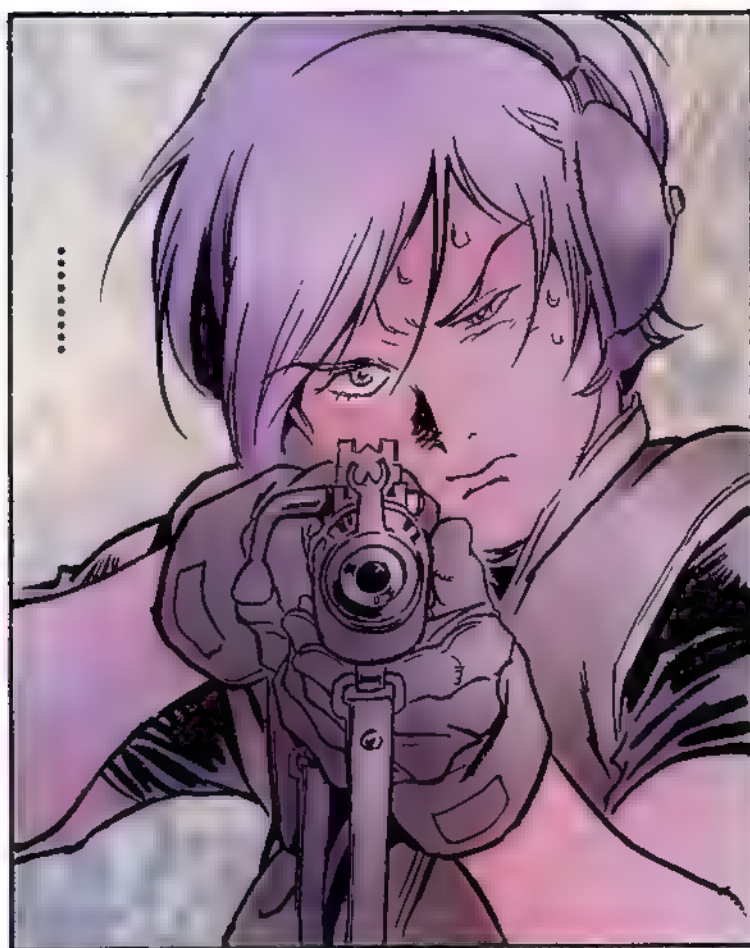
キミが計算に  
つまっていたのならば...



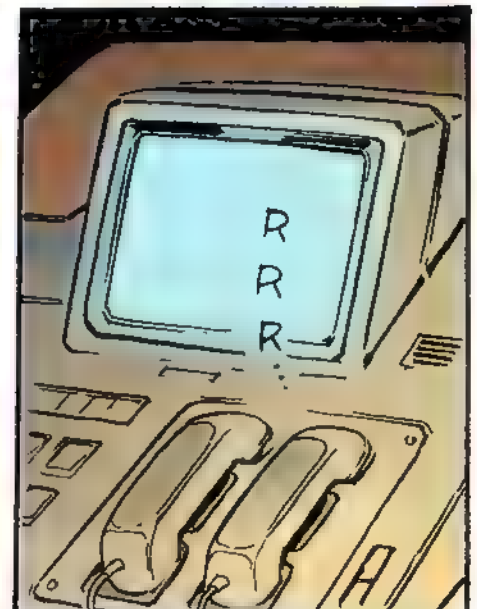
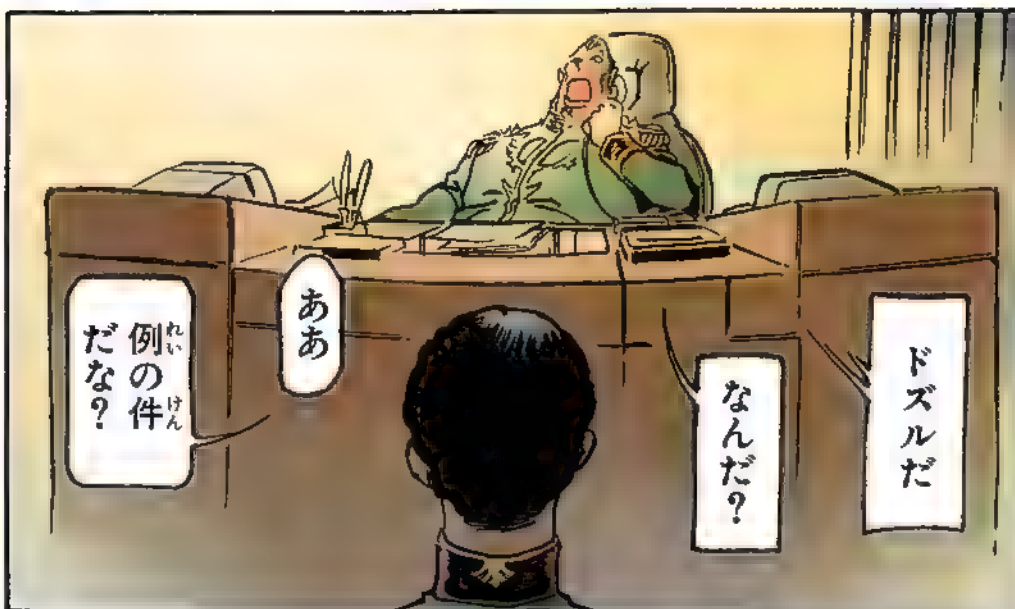
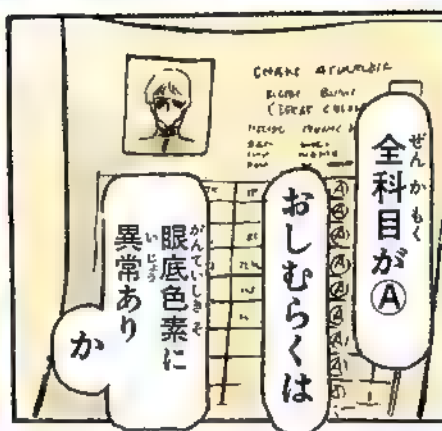














改良は  
終わったの  
だな？

あ？

なんだと？

ギレン  
兄が

視察！？

ううううむ……

ハタを  
すると

これまでかも  
しれん……

あれを見ると  
いうのか！？

この段階で！？

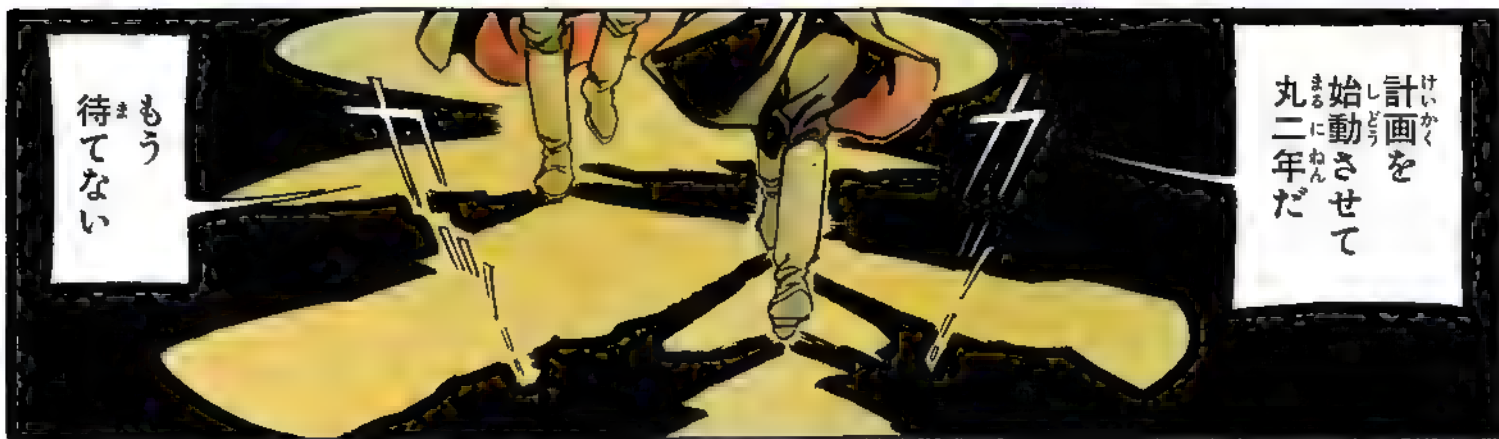
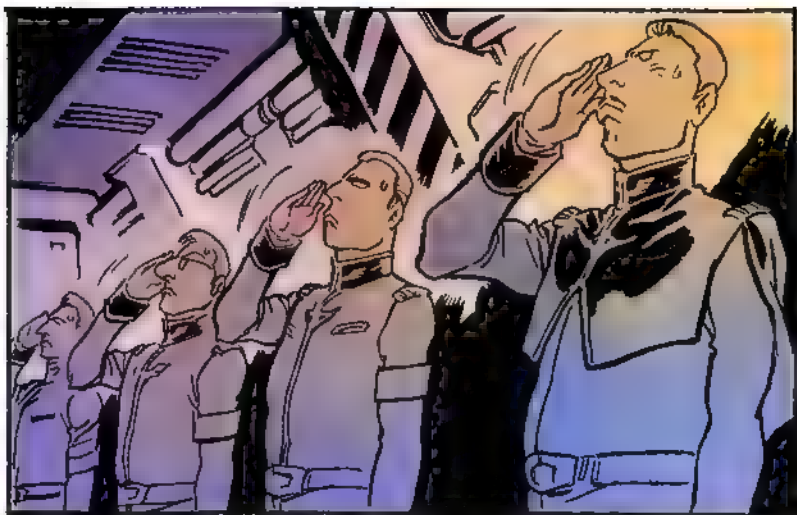
いま  
今？

バカモノっ  
なぜとめん！

なに？  
どうして  
も！？







もう  
待てない

計画を  
開始させて  
丸二年だ



いちおうああい  
うものが存在する以上  
これをクリア  
しなければならん

わかるな？  
ドズル！



MSプランだけが  
検討対象ではない

そろそろ結果を  
出して貰わないと

議会に説明  
できない



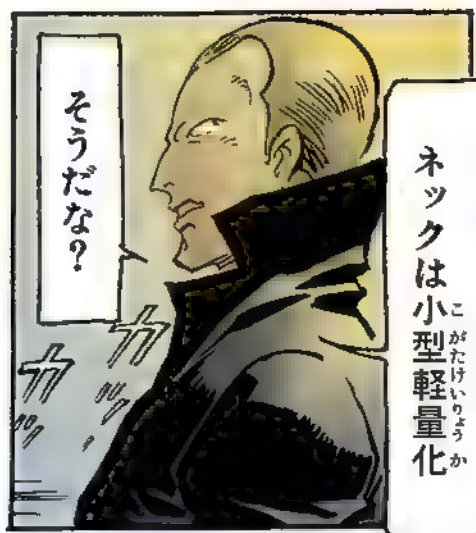


共和制が見せかけ  
であれ続く間は

政治には  
手続きが  
要る

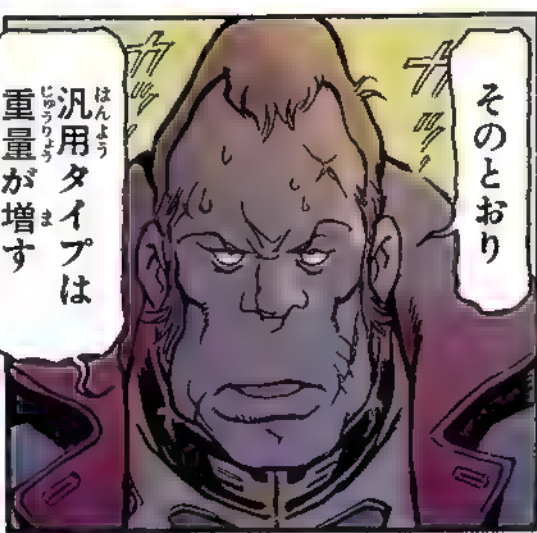
ダークコロニーの  
民政活用圧力は  
おさえる限界に  
来ている

秘密の  
保持も  
そうだ



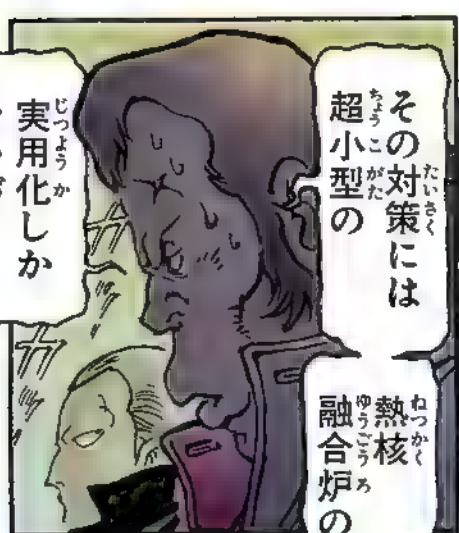
ネットは小型軽量化

そうだな？



そのとおり

汎用タイプは  
重量が増す



その対策には  
超小型の  
熱核  
融合炉の

実用化しか  
ないが...



その方が  
進んで  
いないと  
？

いかにも...

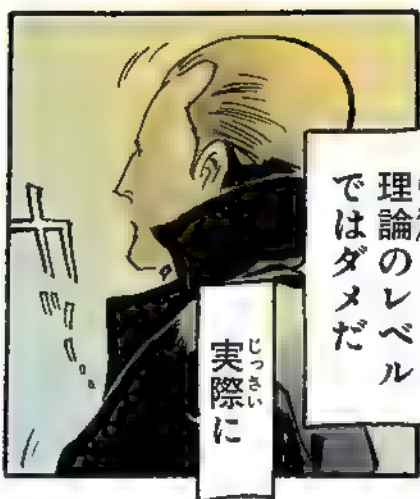
しかしっ！

ミノフスキー  
粒子の活用で  
それはクリア  
できると...



ふふん——

これ……か



理論のレベル  
ではダメだ

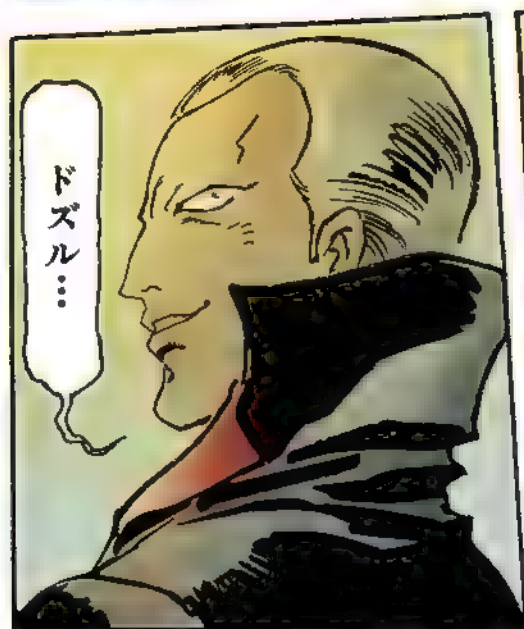
実際に



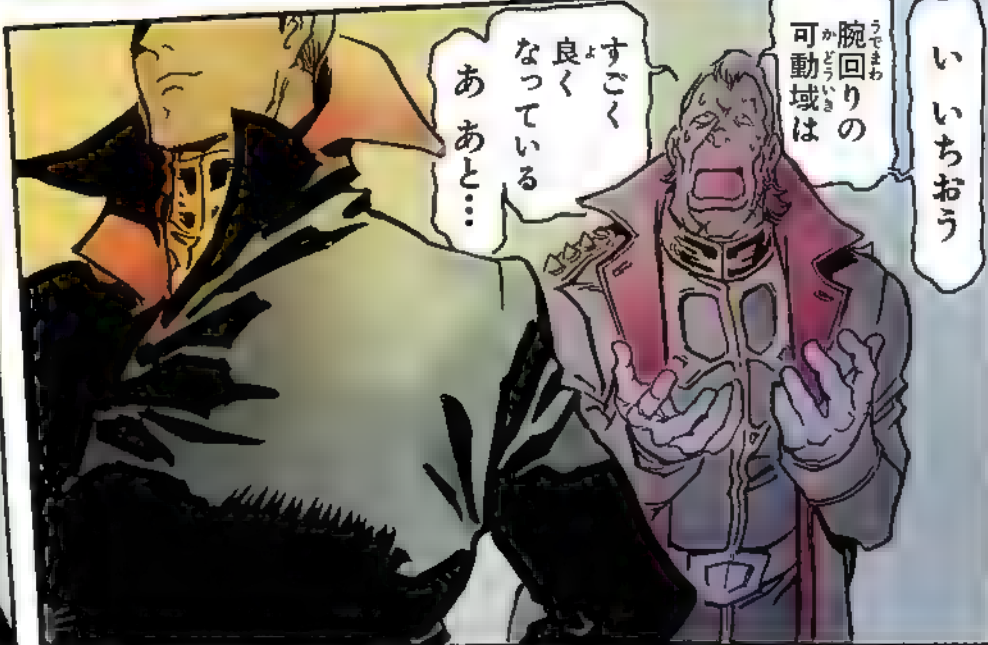
……ほお

……





ドズル…



いいちおう

腕回りの  
可動域は

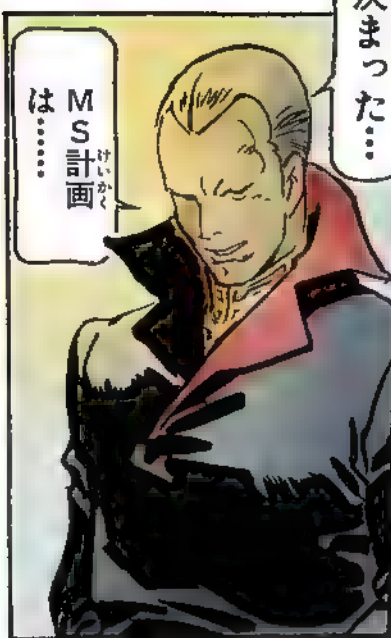
すごく  
良く  
なっている

ああと…



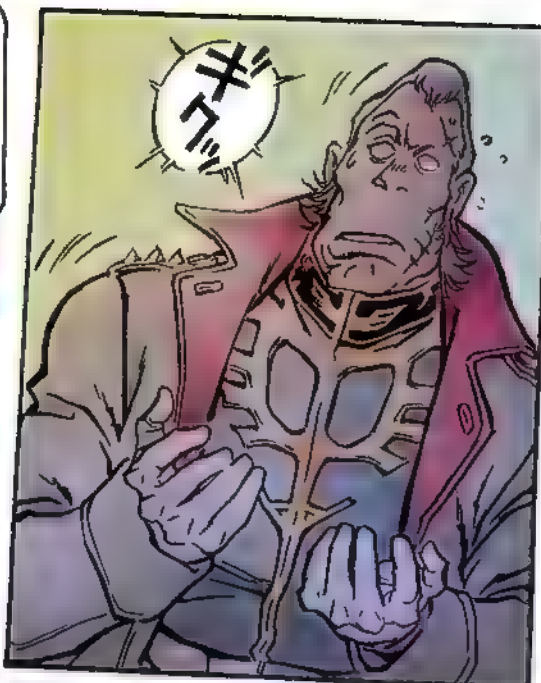


中止だ



MS計画  
は……

決まった……



ギク



ハナシにならん!!

せっかくここまで  
この程度の出来では

せっかく  
ここまで  
こぎつけた  
のにっ!

それは  
ないっ!



私は官営の  
工事を  
始める気は  
ないっ!  
子供じみた  
ロボットバトルを  
するつもりもないっ!!

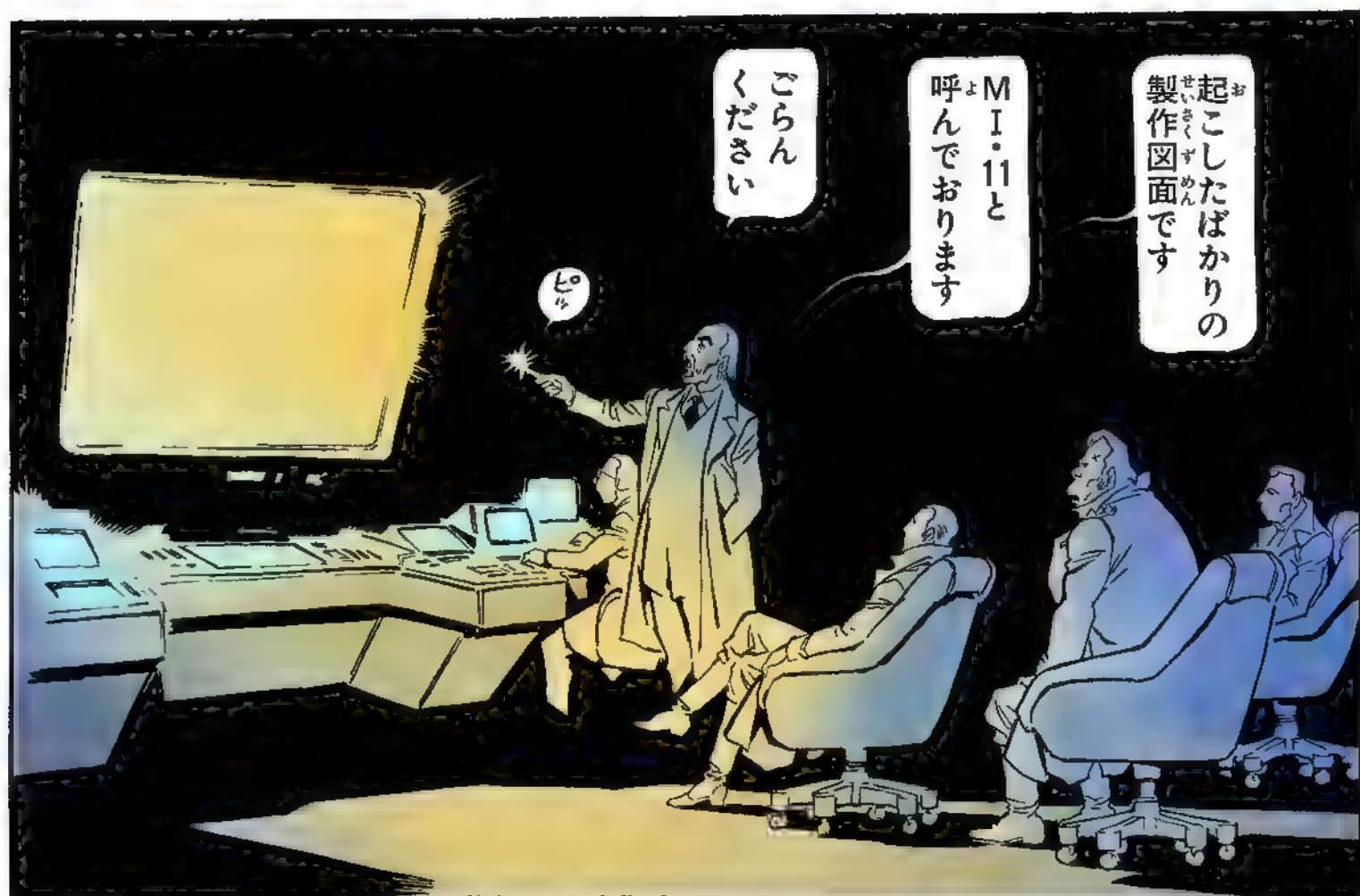
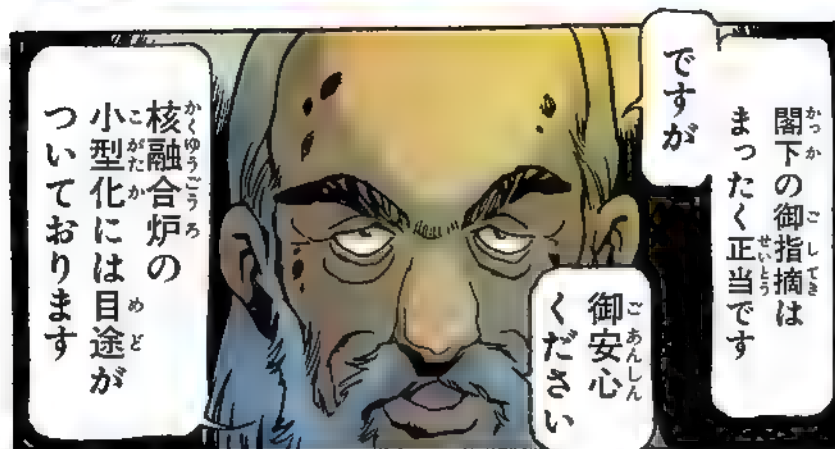


いちばん重要な動力系が  
未解決のままだ!

むき出しのエンジンを  
背負ったままの  
この不恰好な姿で

兵器が  
つとまるかっ!!



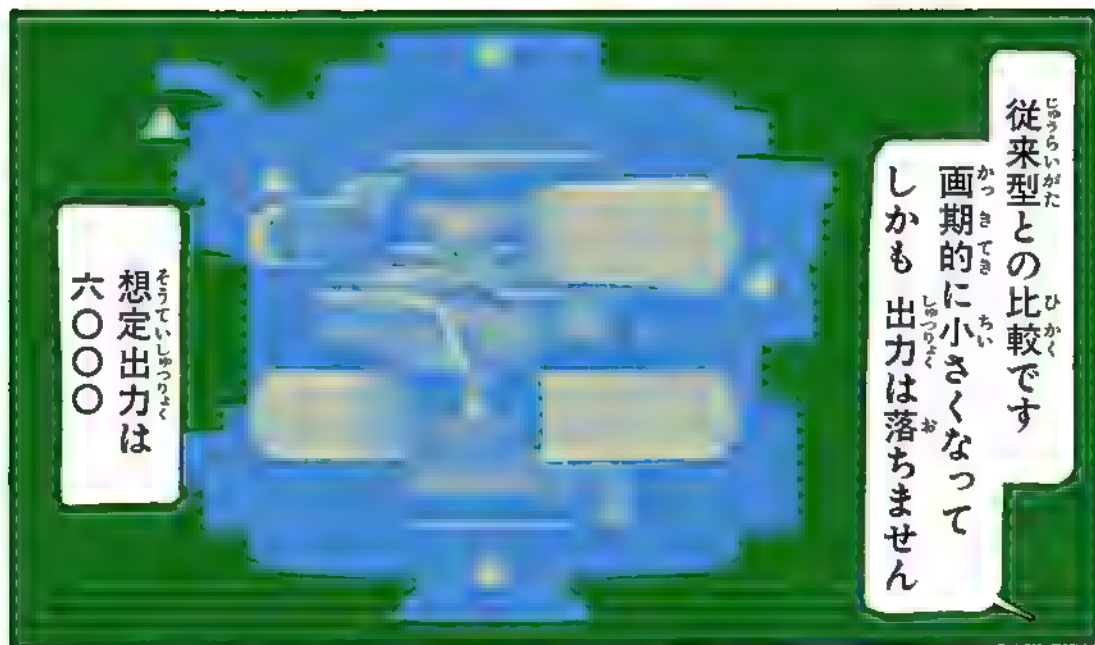






これも  
ミノフスキー  
粒子が

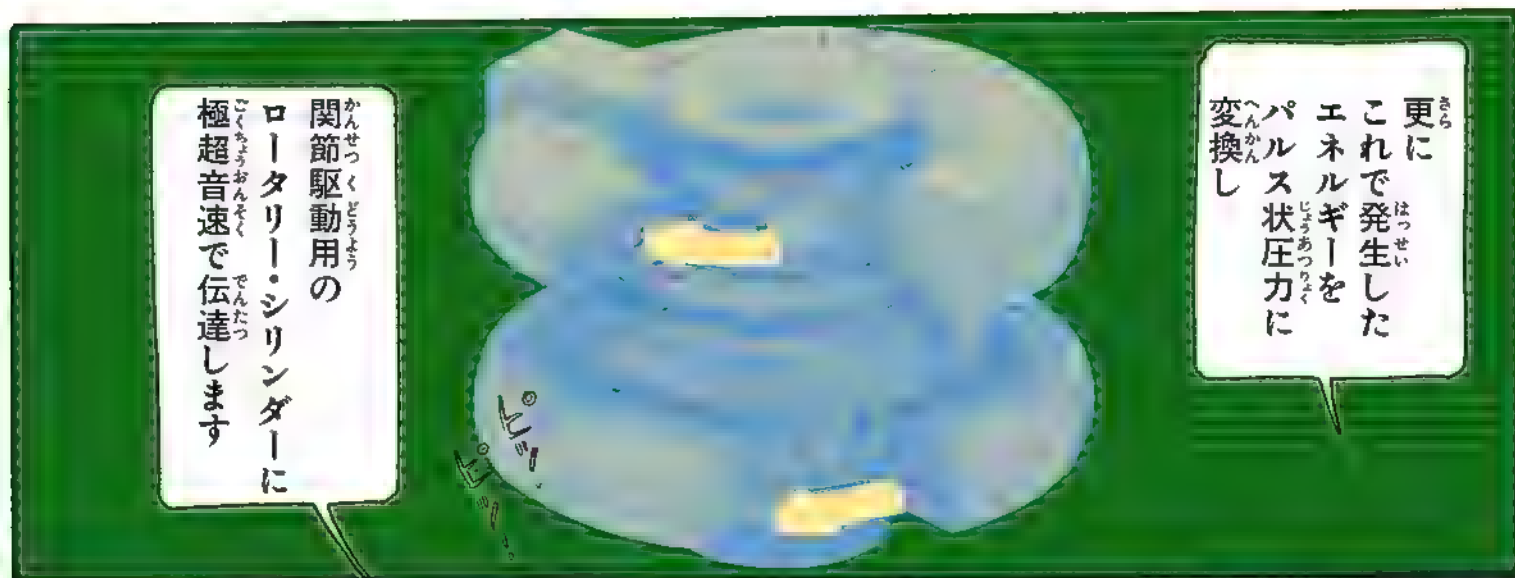
可能にした  
ものです



従来型との比較です

画期的に小さくなって  
しかも出力は落ちません

想定出力は  
六〇〇〇



更に  
これで発生した  
エネルギーを  
パルス圧力に  
変換し

関節駆動用の  
ロータリー・シリンダーに  
極超音速で伝達します



これによって駆動は  
きわめてスムーズになり

能動的質量自動姿勢制御  
システムの採用が可能に  
なります——つまり……

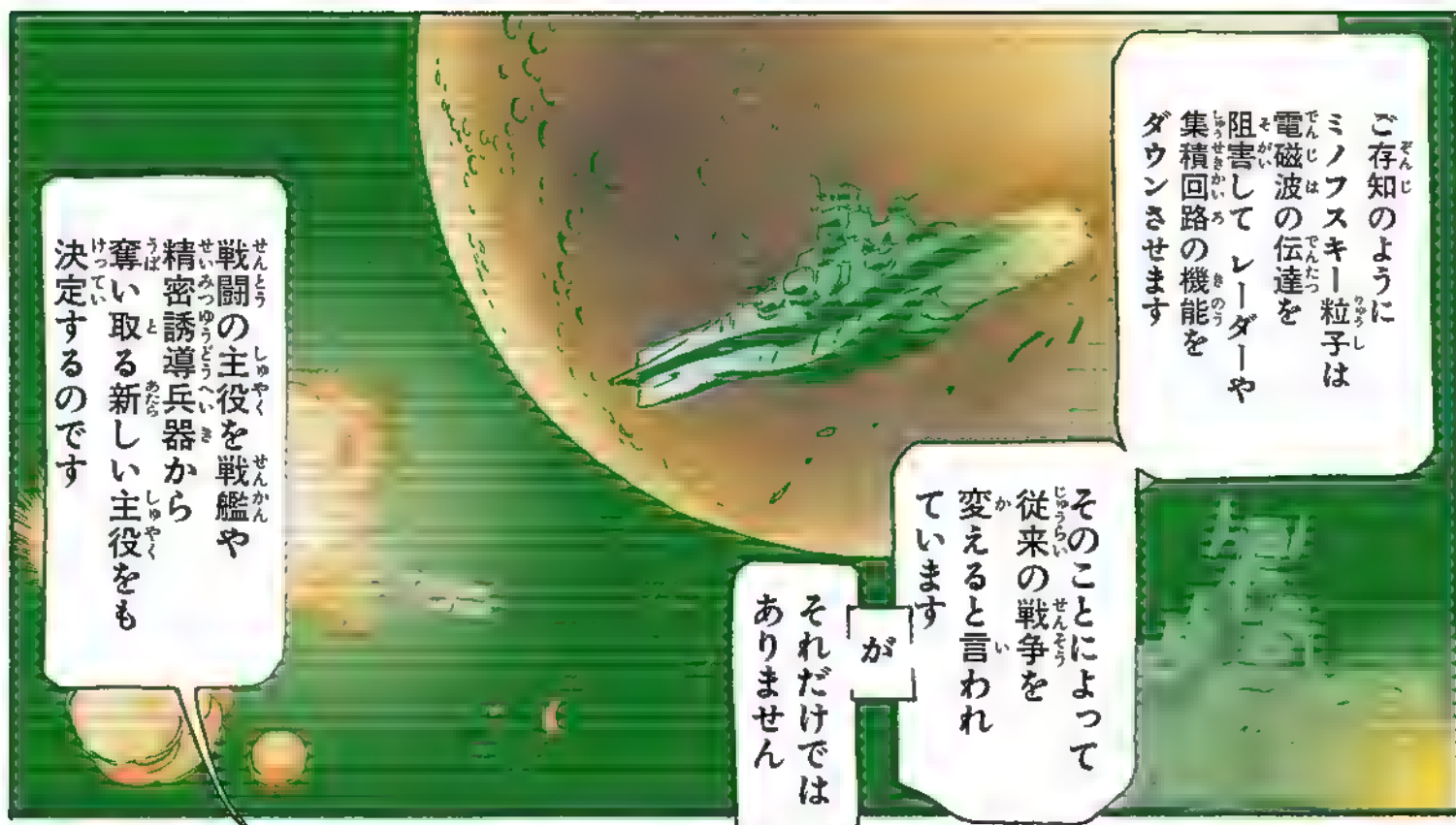
従来の噴射方式  
のような大量の  
推進剤が要らなく  
なるのです



これが

「流体パルス  
システム」です



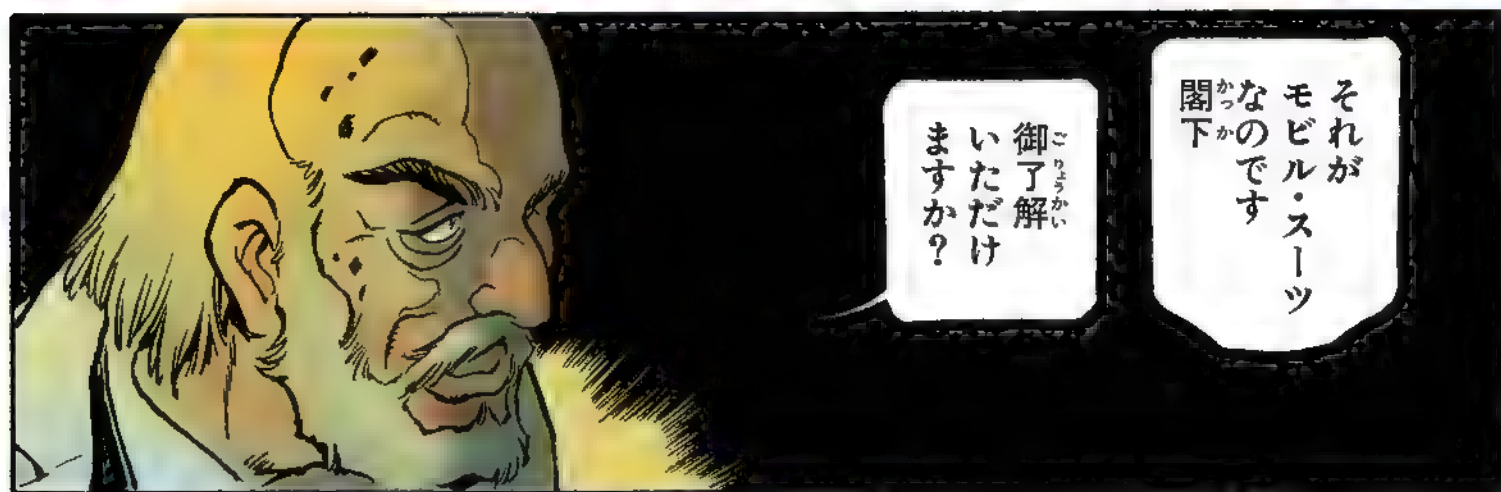


ご存知のように  
ミノフスキー粒子は  
電磁波の伝達を  
阻害してレーダーや  
集積回路の機能を  
ダウンさせます

そのことによって  
従来の戦争を  
変えると言われ  
ています

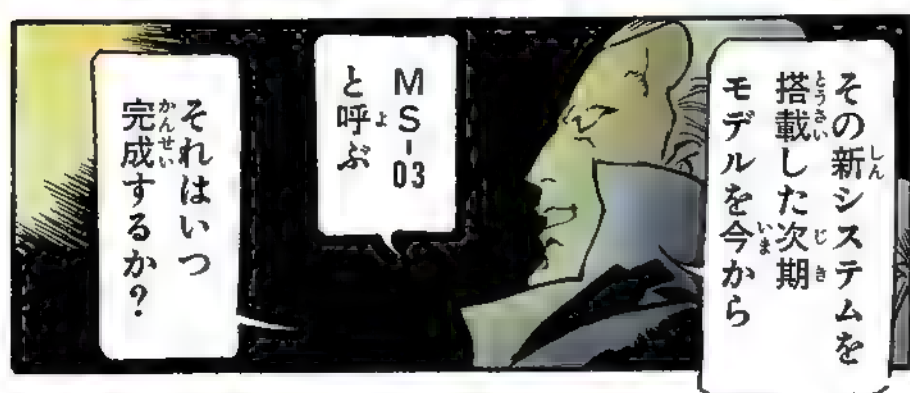
が  
それだけでは  
ありません

戦闘の主役を戦艦や  
精密誘導兵器から  
奪い取る新しい主役をも  
決定するのです



それが  
モビル・スーツ  
なのです  
閣下

御了解  
いただけ  
ますか？



その新システムを  
搭載した次期  
モデルを今から

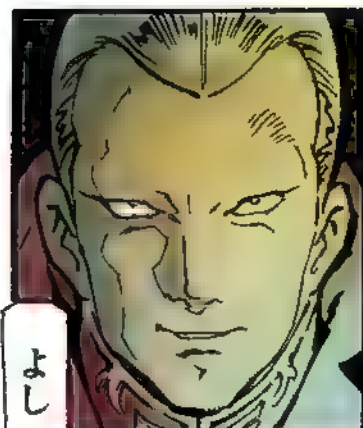
MS-03  
と呼ぶ

それはいつ  
完成するか？

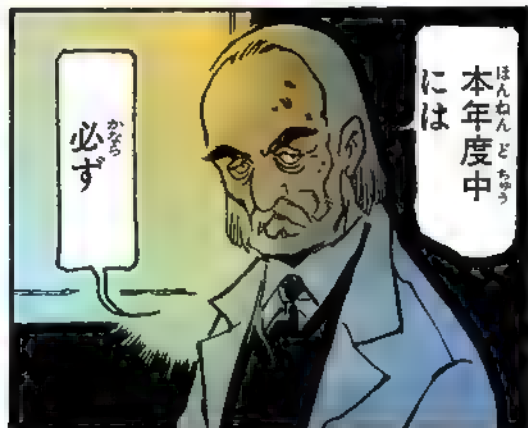


ん  
見事だな  
博士

では  
訊くぞ



よし



本年度中  
には

必ず





ドズル

さつきの  
中止命令は

てっかい  
撤回する

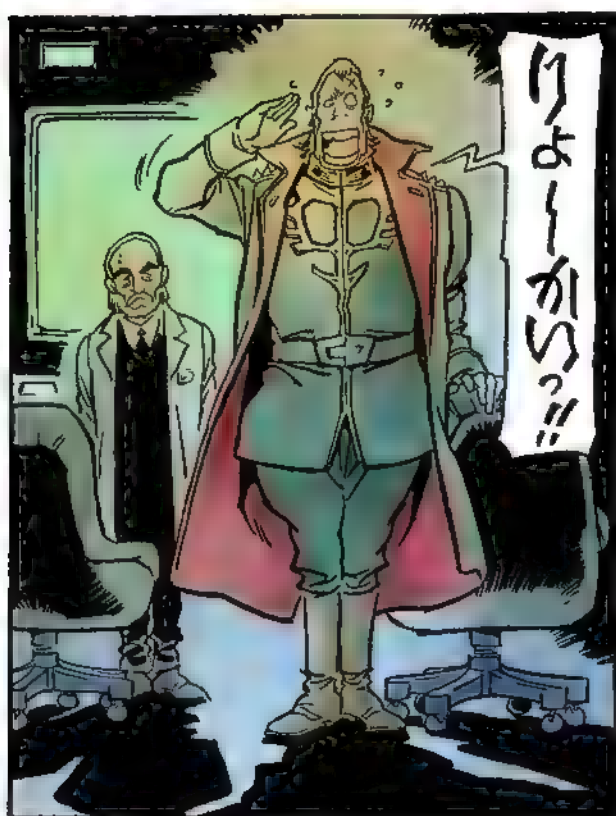


おおっ

けいかく  
計画を強力に  
ぞっこう  
続行しろ！

ひつよう  
必要な処置は  
わが  
私がとる

それでこそだ  
ギレン兄！！



りょーかいっ！！



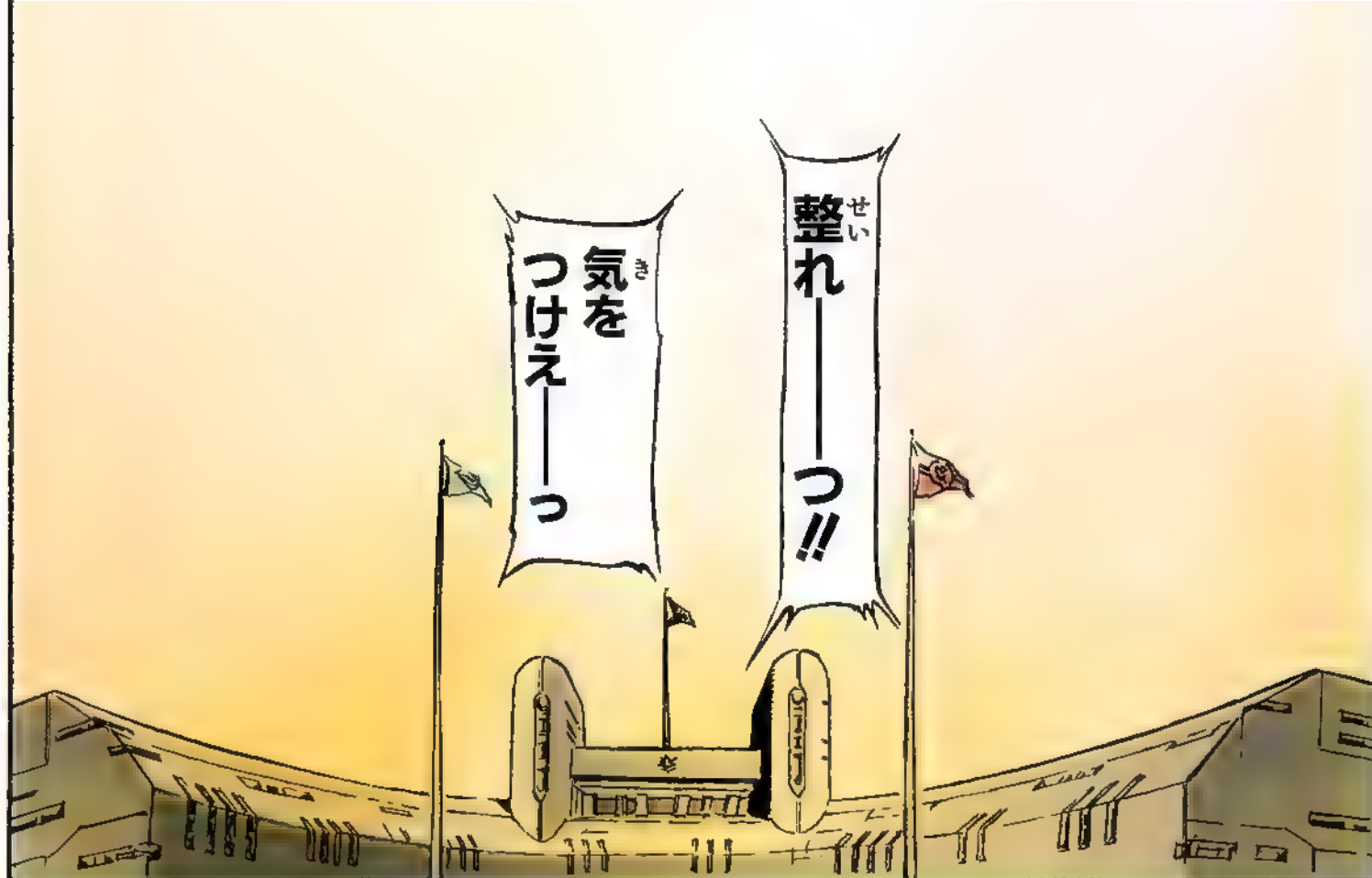
じょうせいの  
推移は  
待たない  
ぞ

きかん  
期間は厳守しろよ

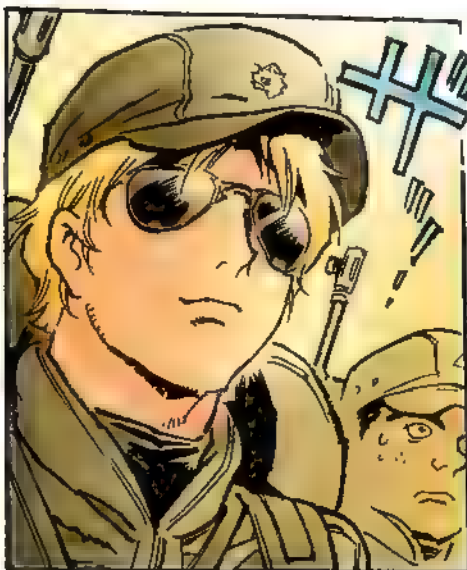
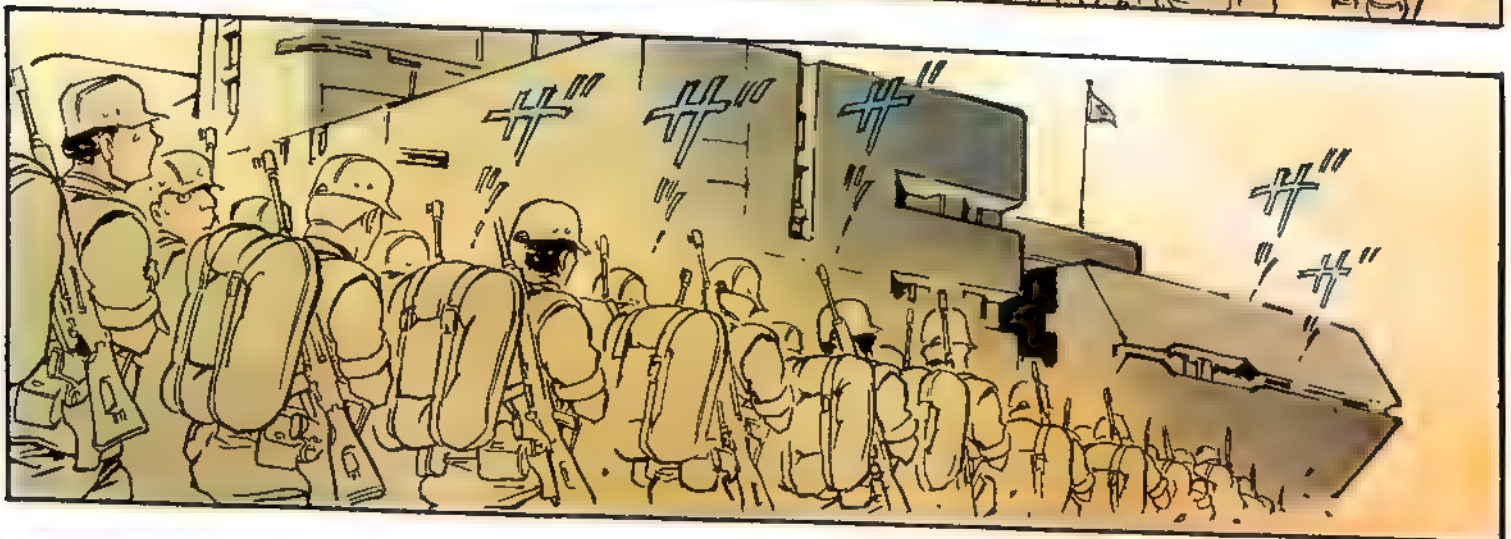
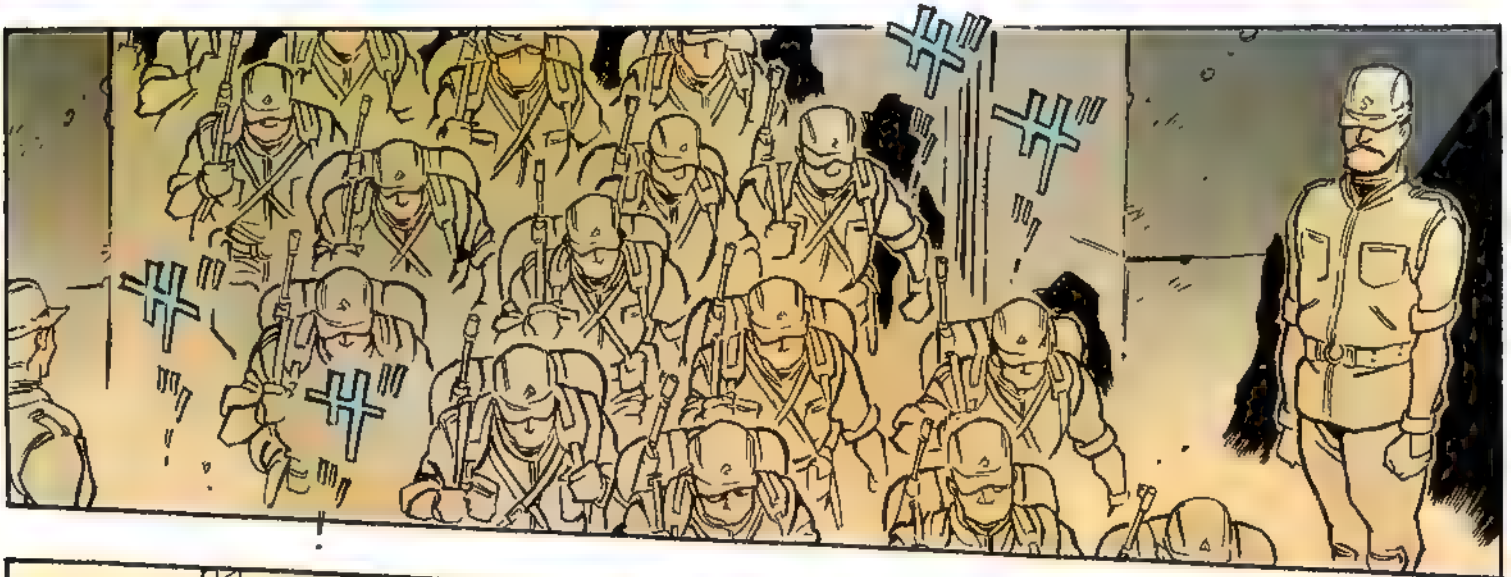
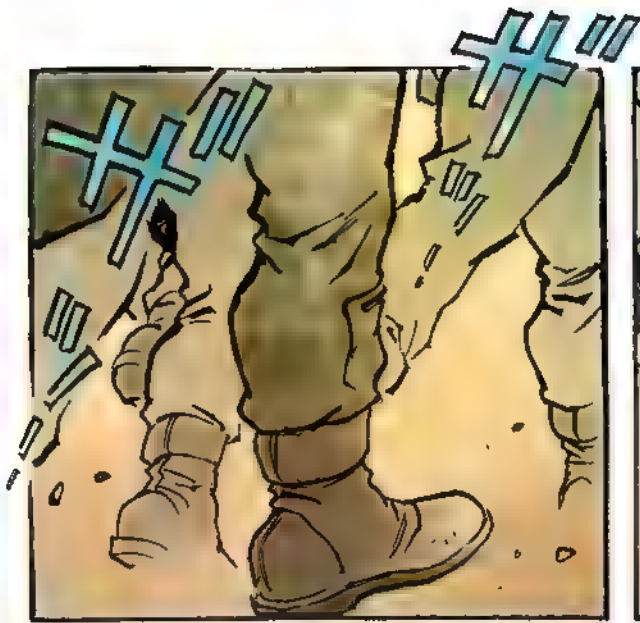


ただし

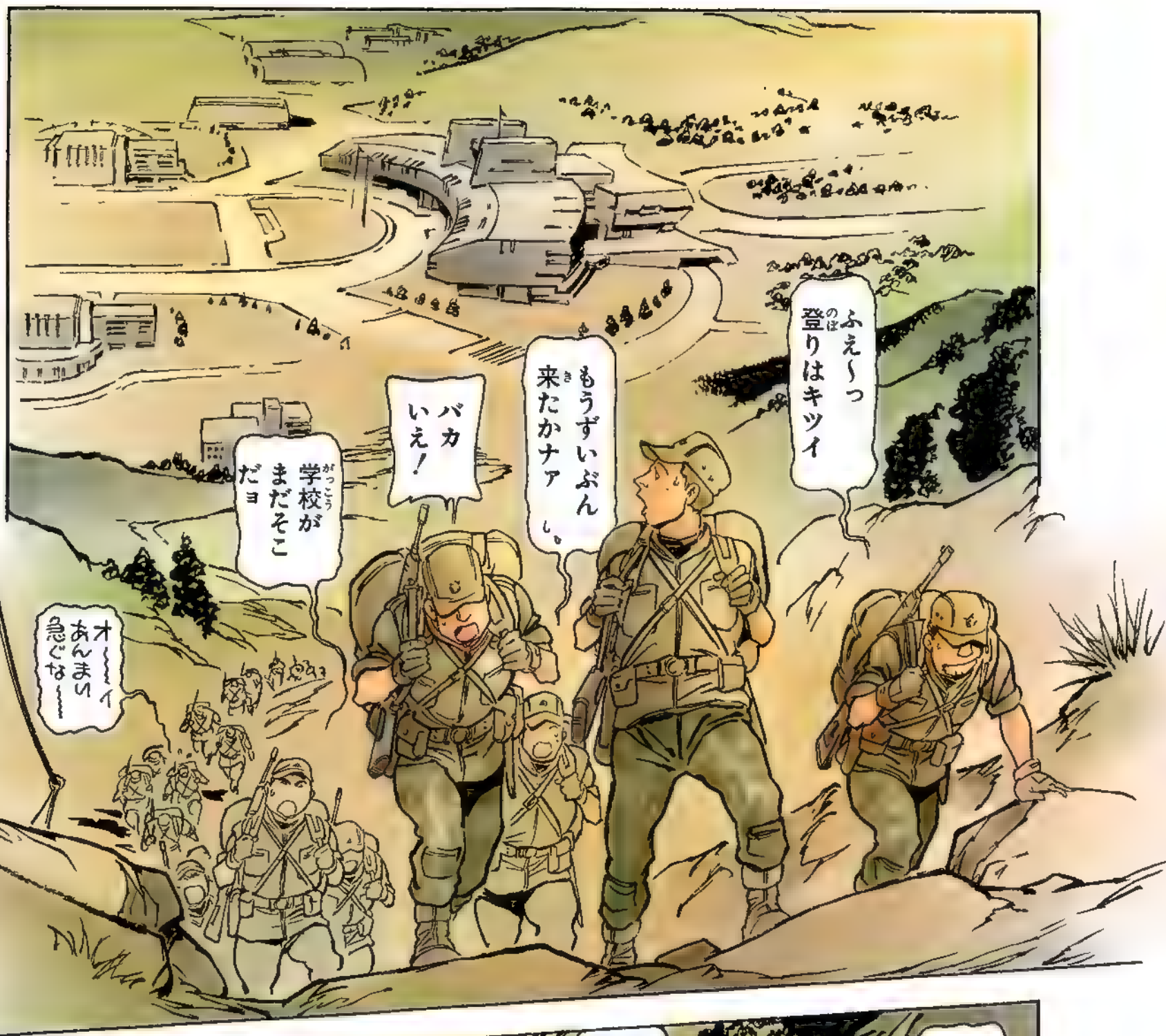




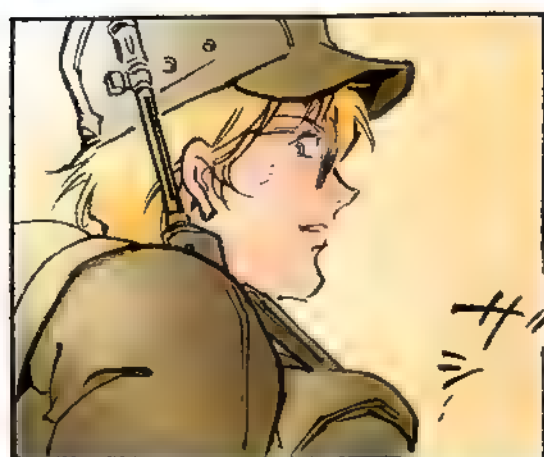




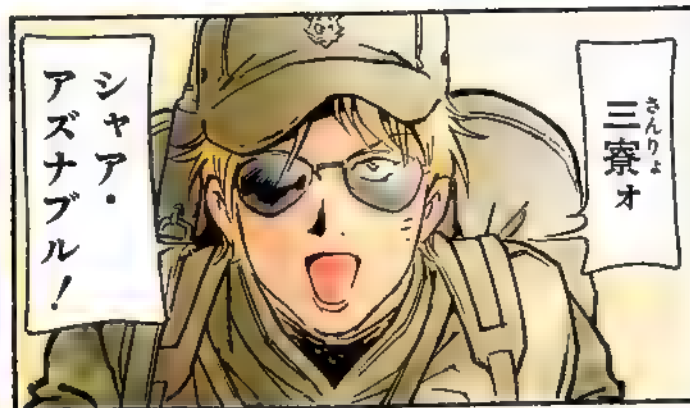
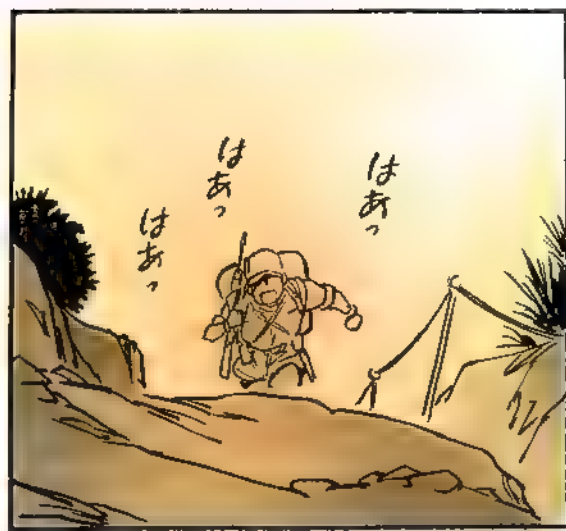
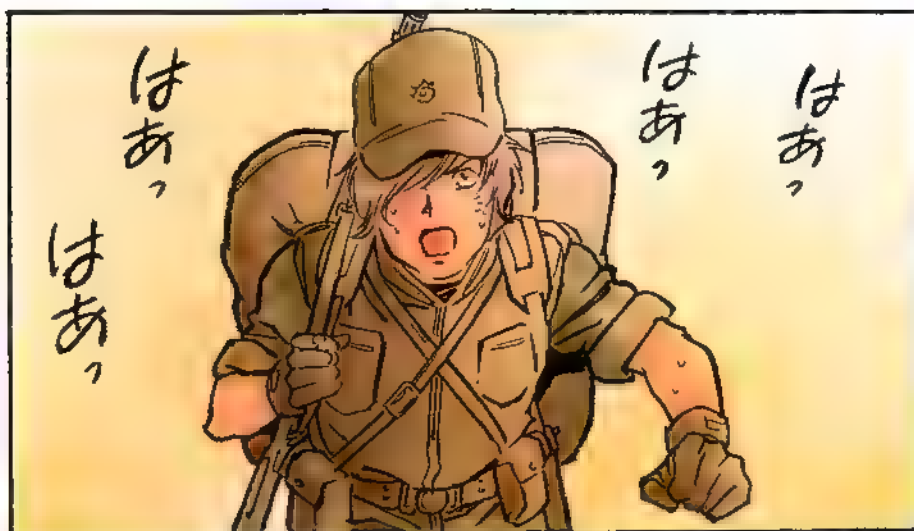




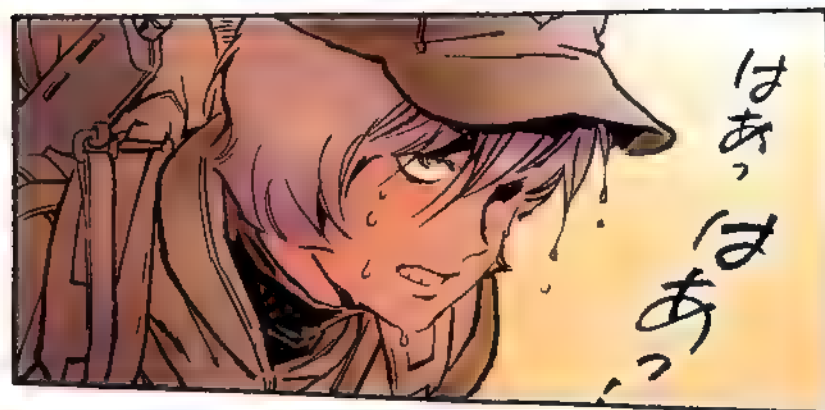
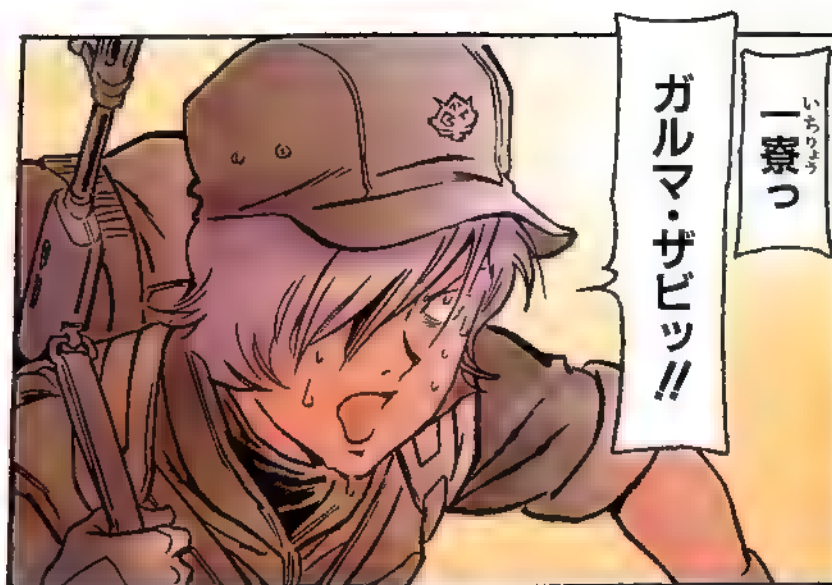








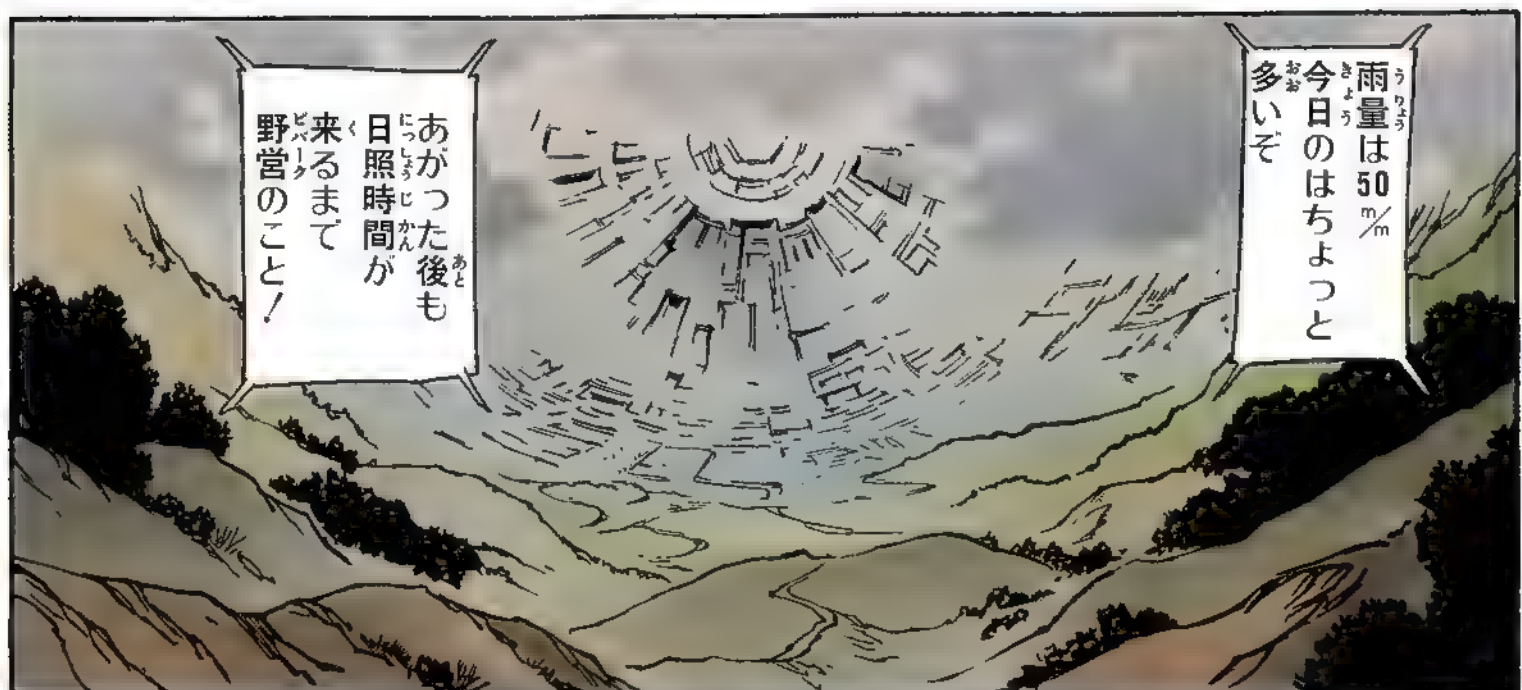
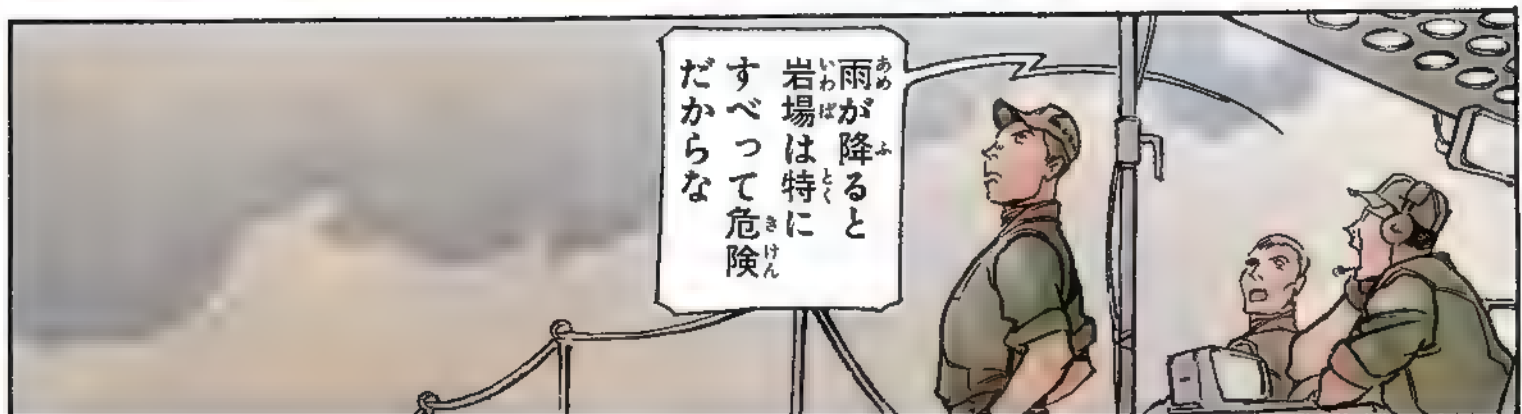
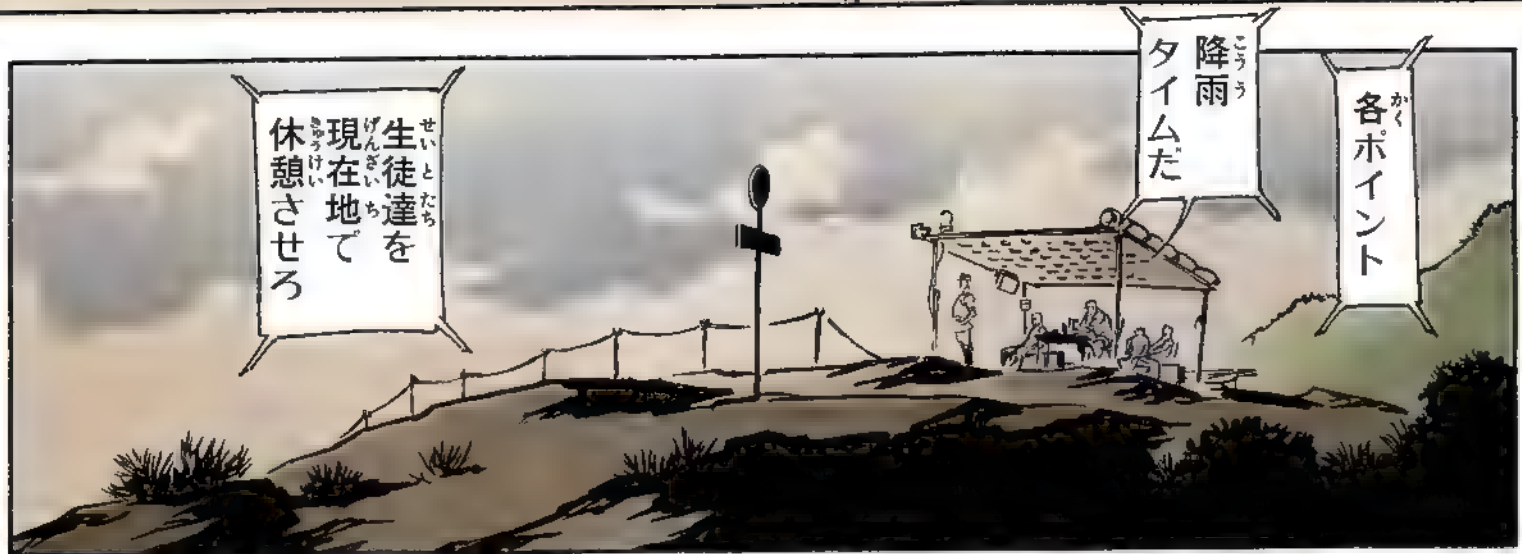




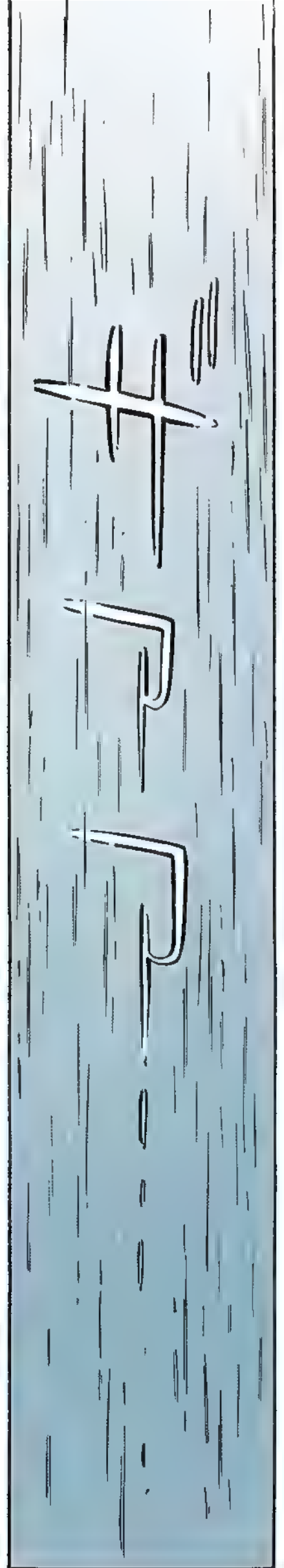
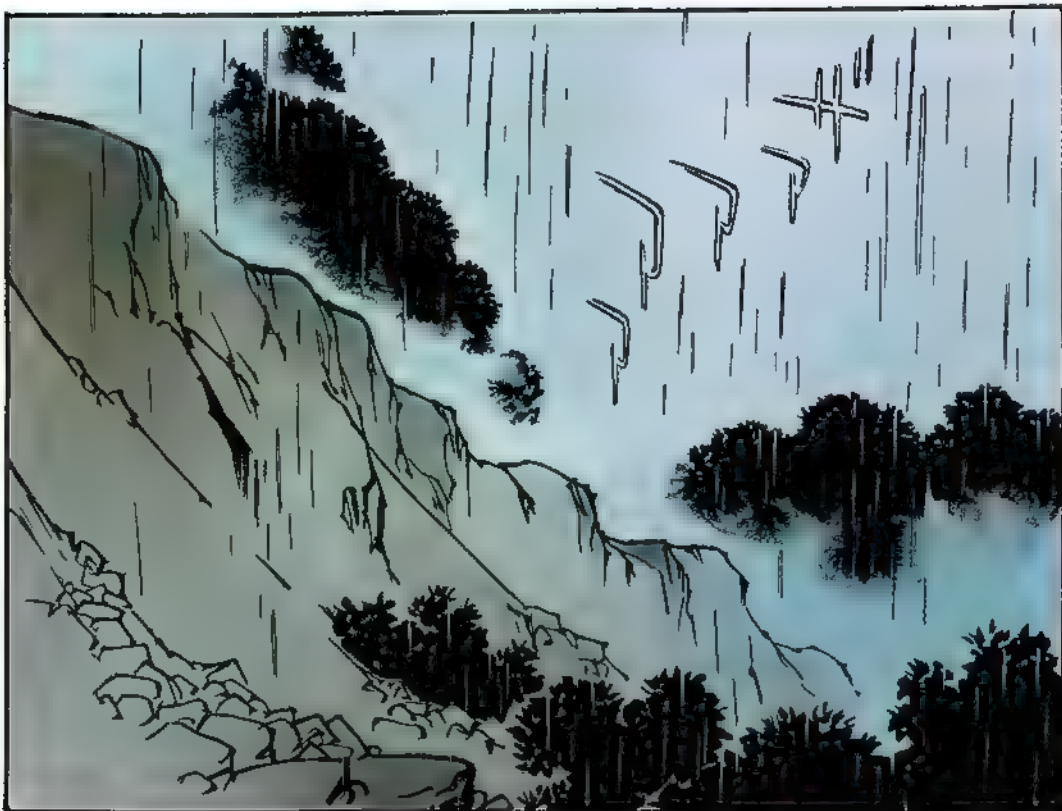
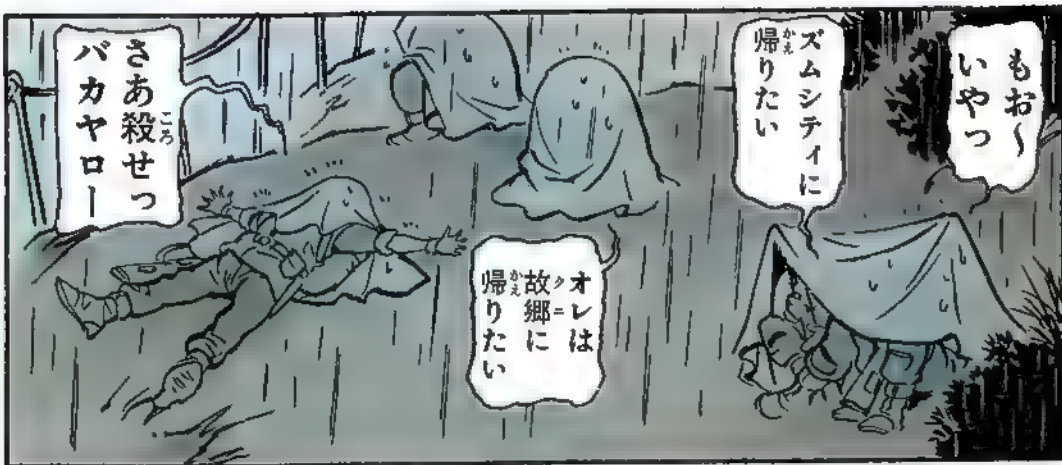
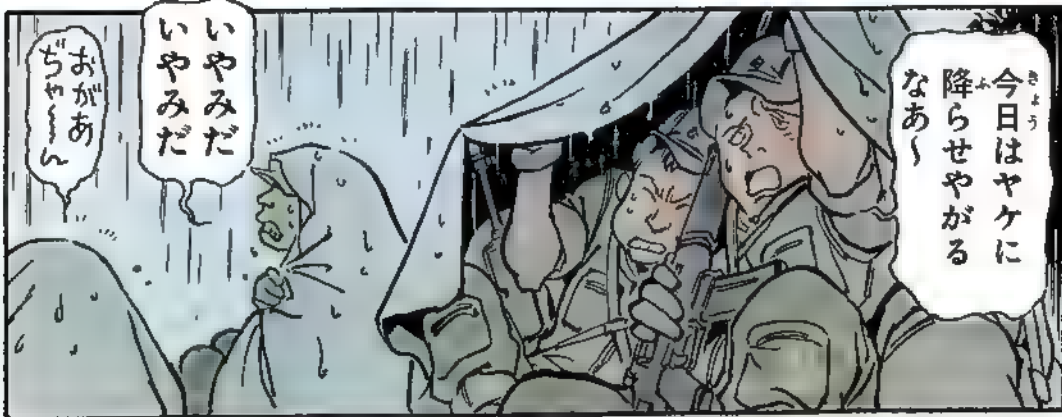
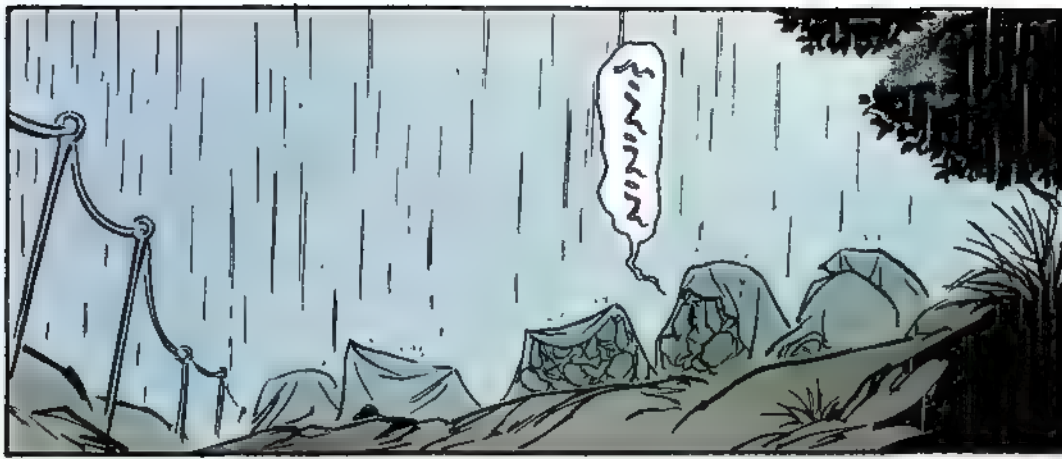


3

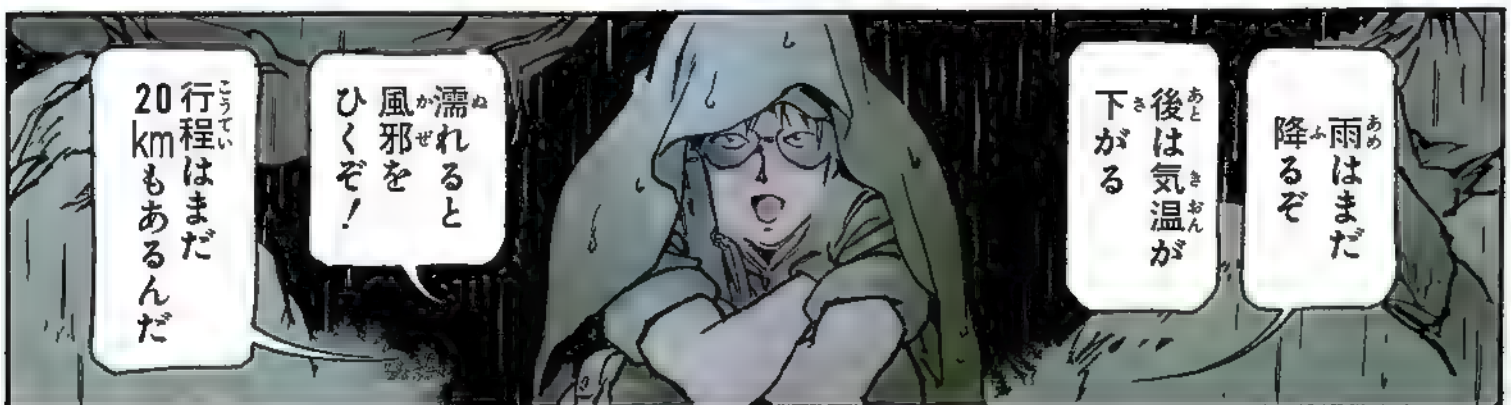
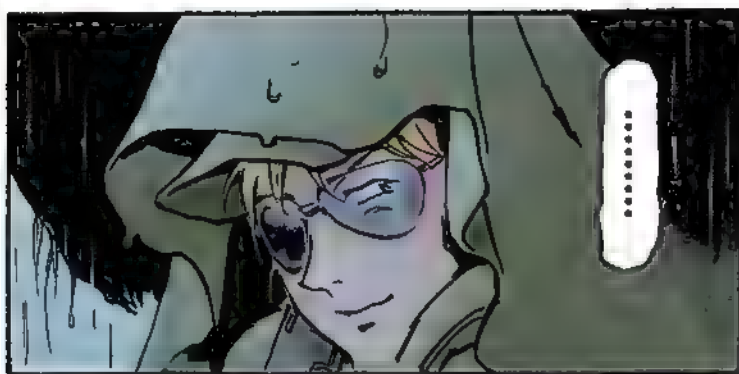
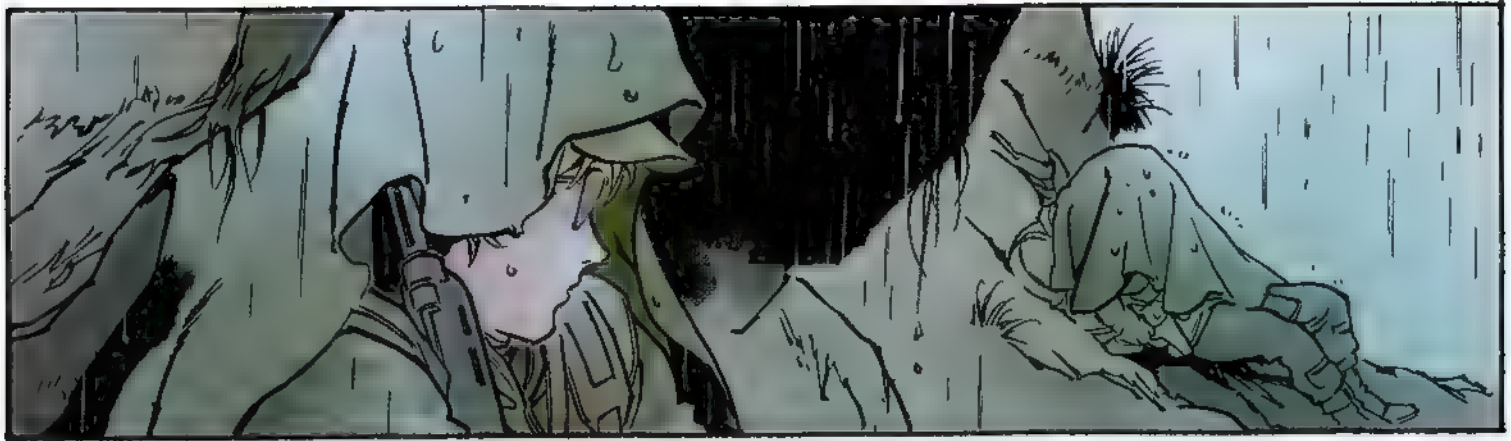
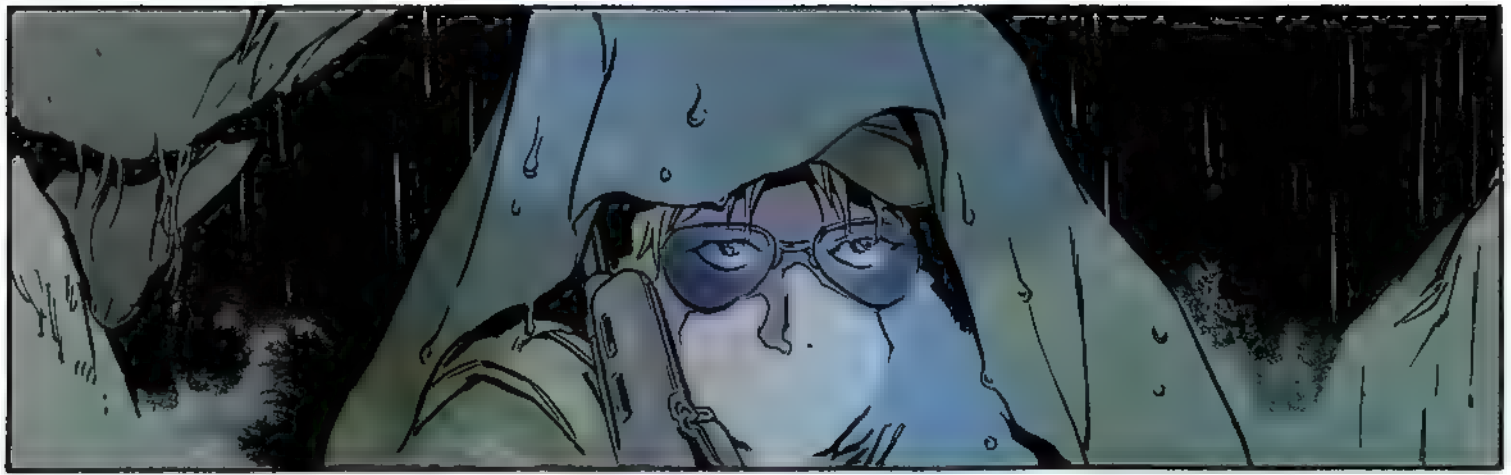
30 KM



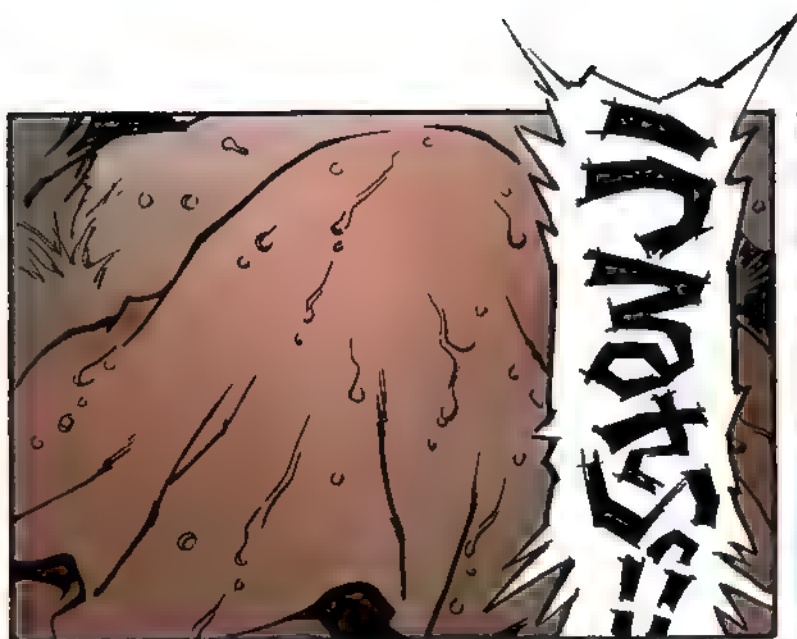






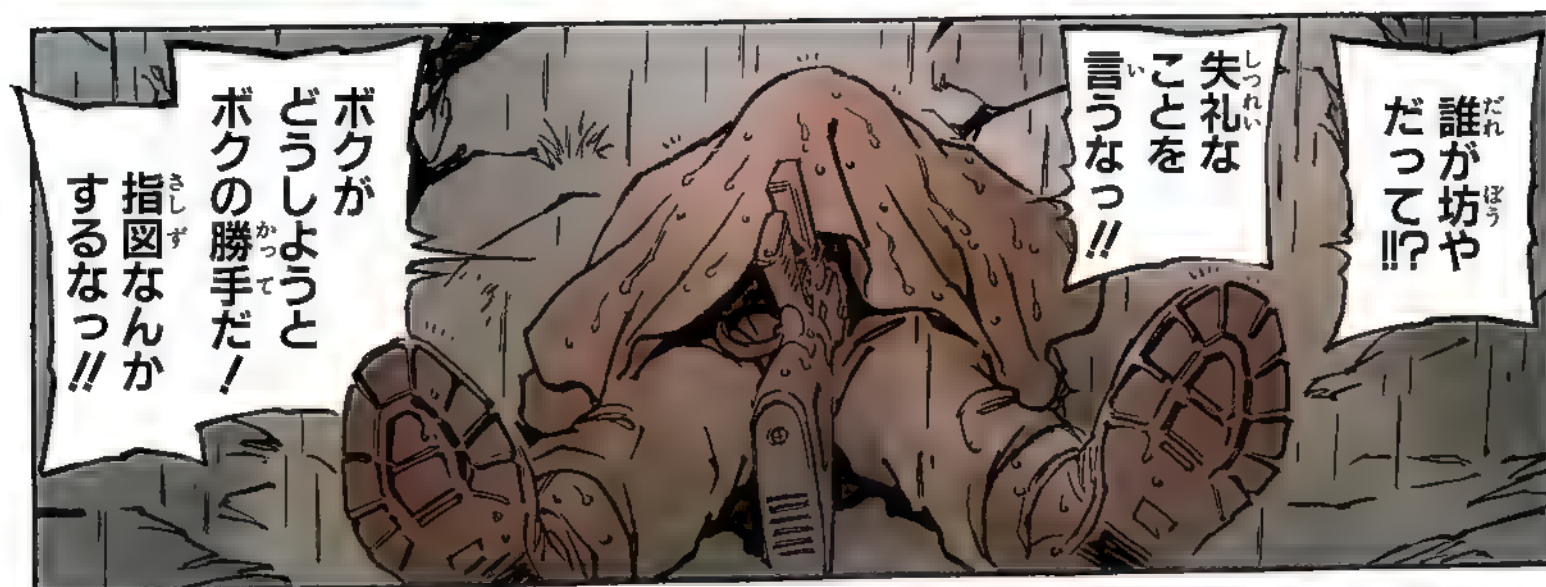






キミみたいなの  
ヤワな坊やは  
帰り着く前に

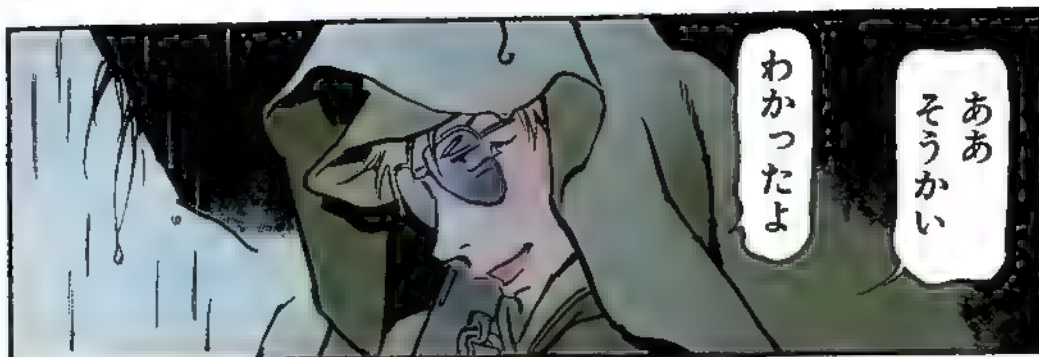
へばっちゃうぞっ！



誰が坊や  
だって!!?

失礼な  
ことを  
言うなっ!!

ボクが  
どうしようも  
ボクの勝手だ！  
指図なんか  
するなっ!!



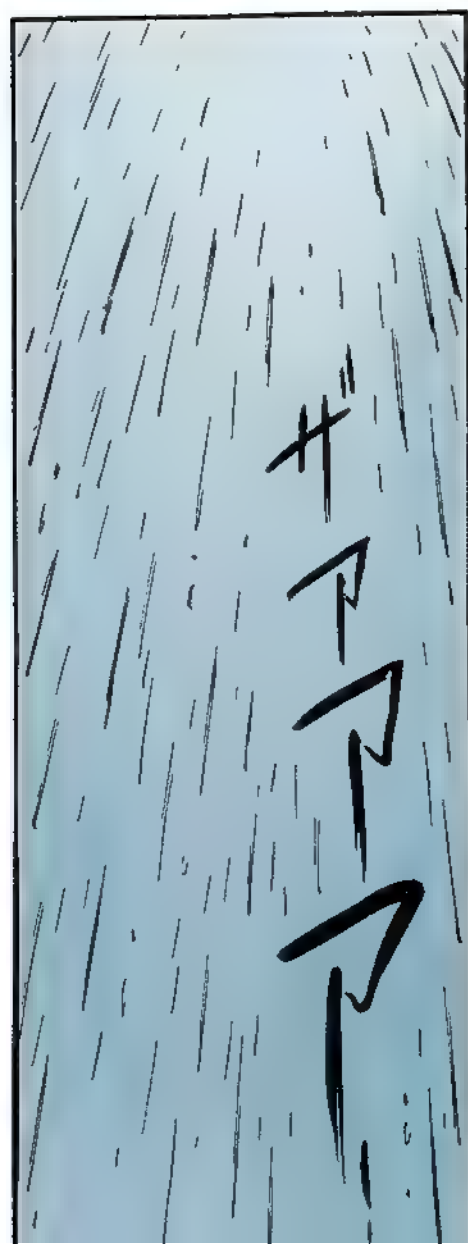
ああ  
そうかい

わかったよ

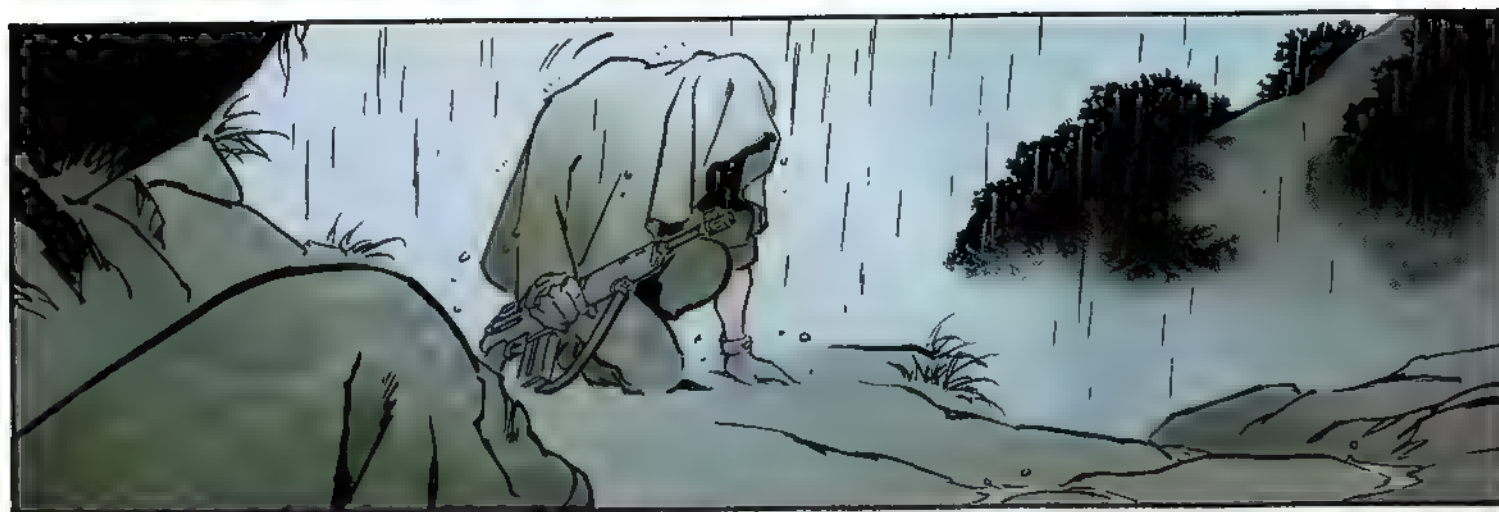
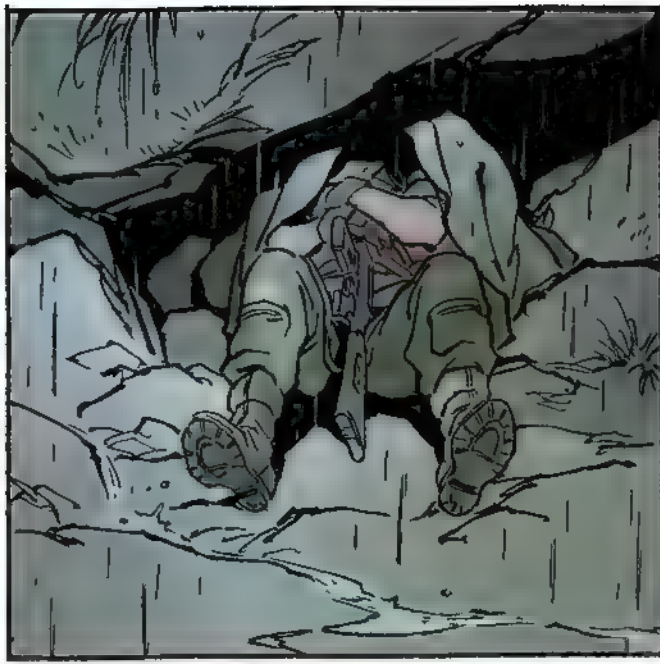


悪かったね

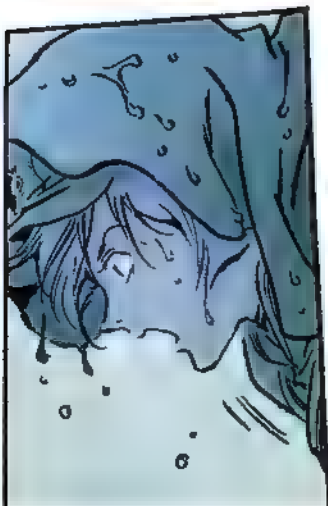
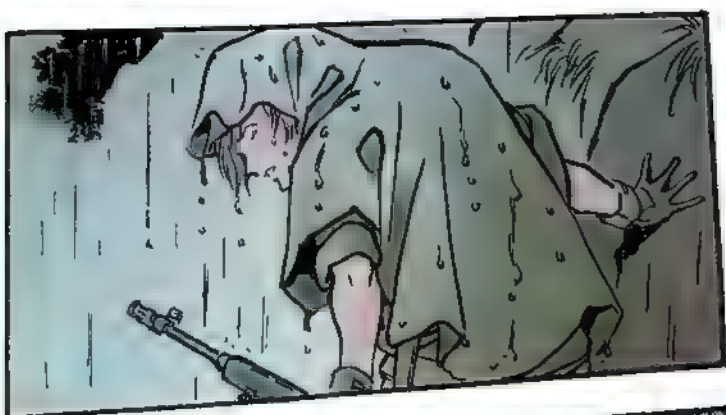
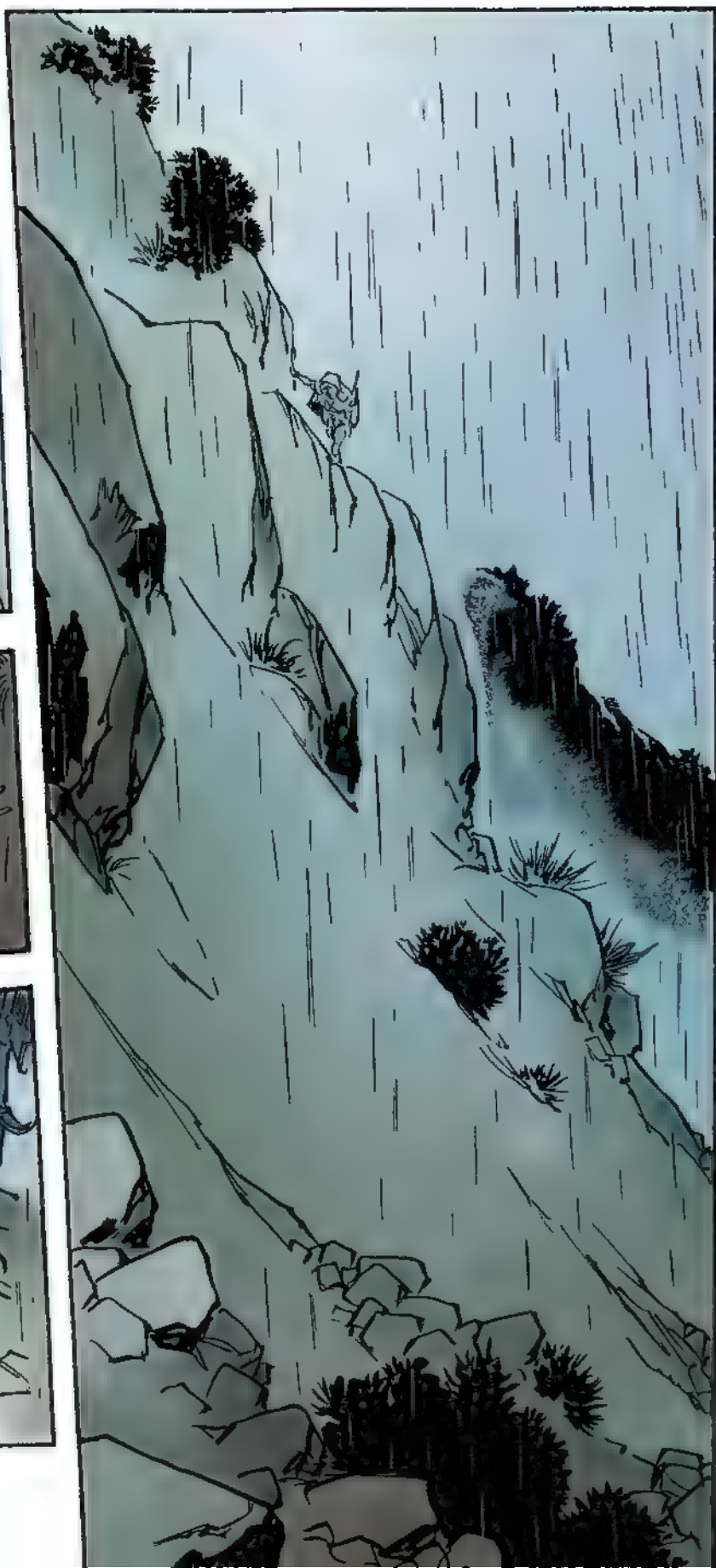
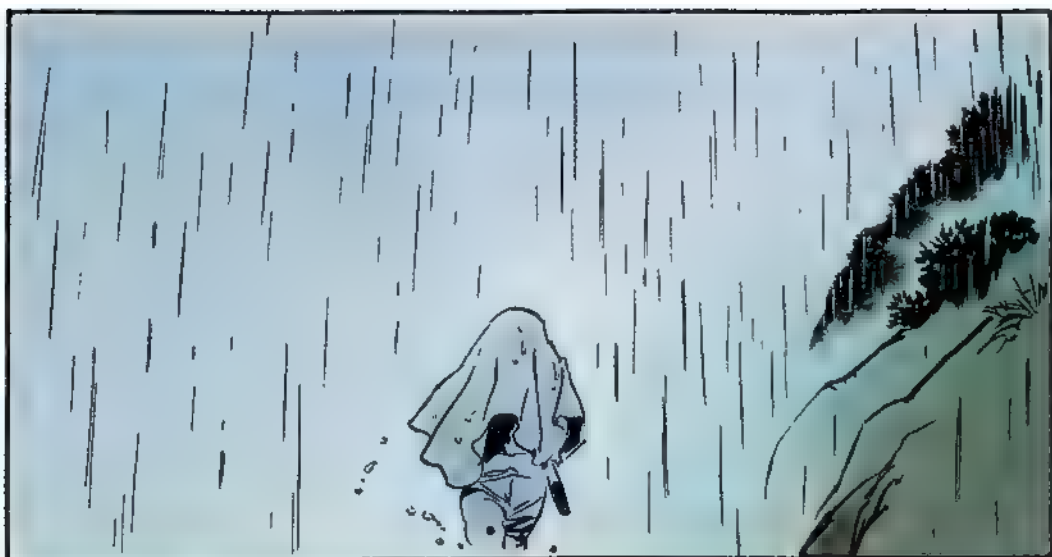
好きに  
するサ



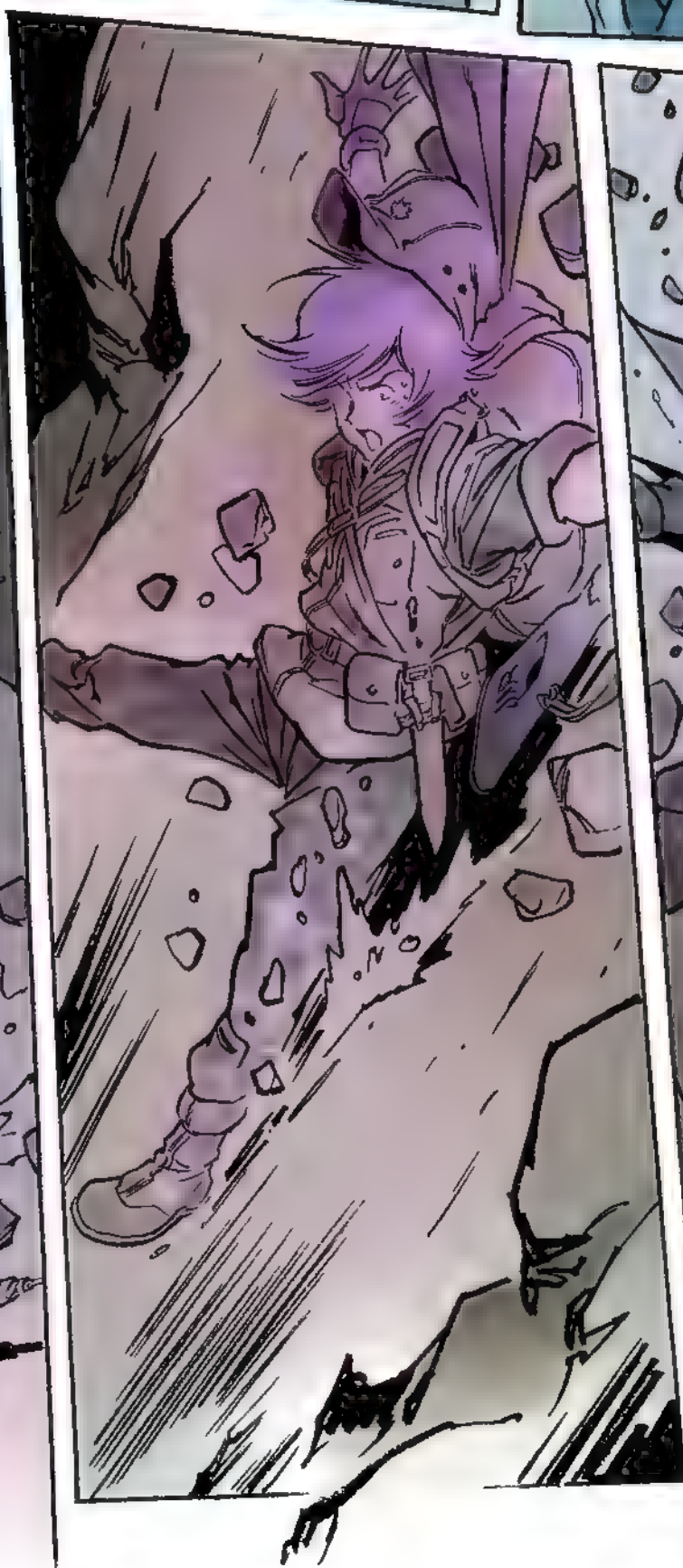
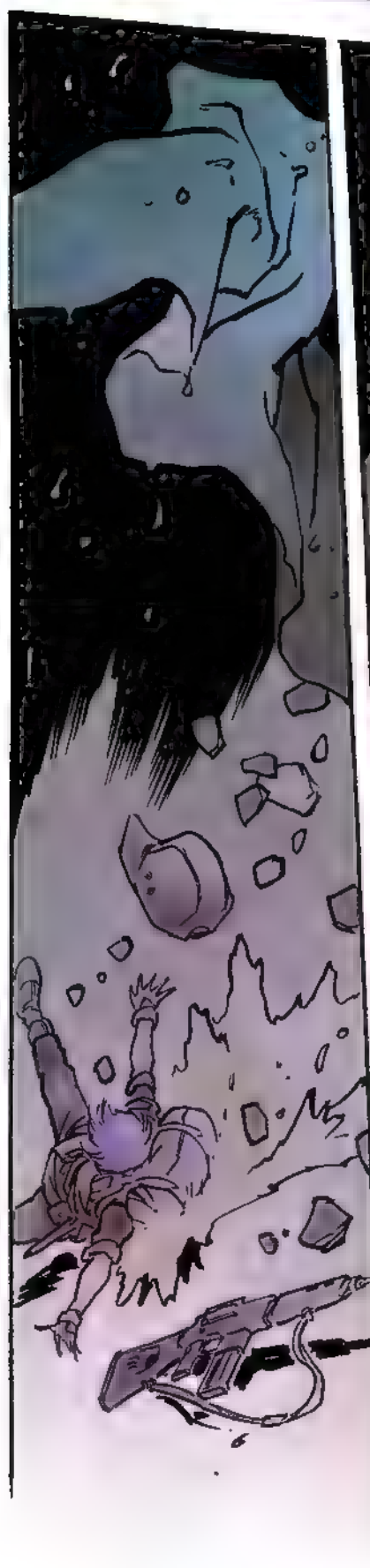
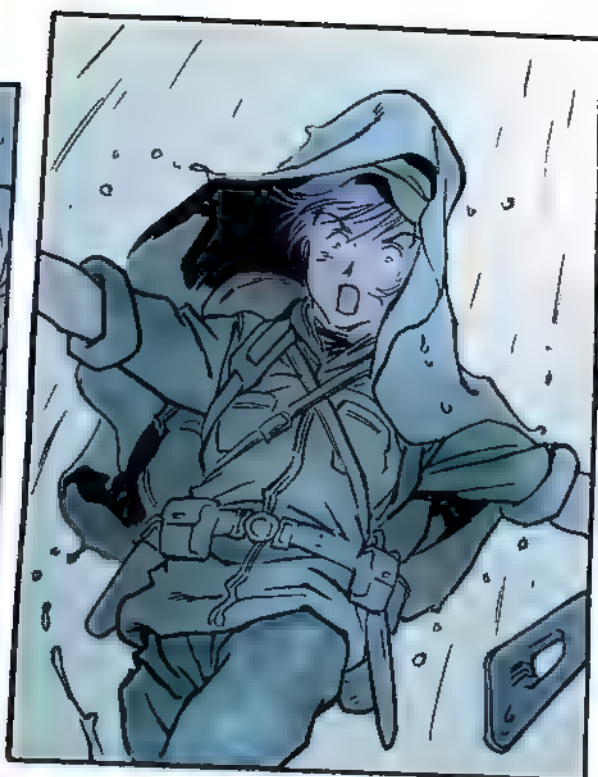
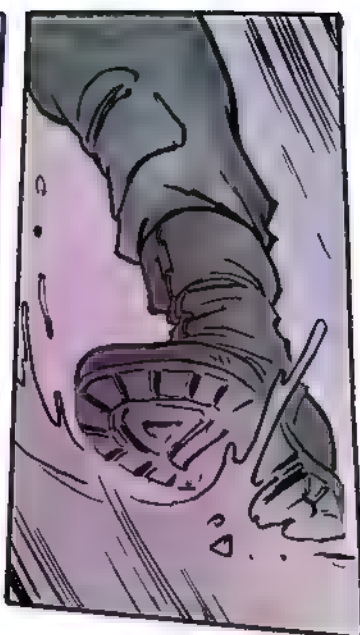




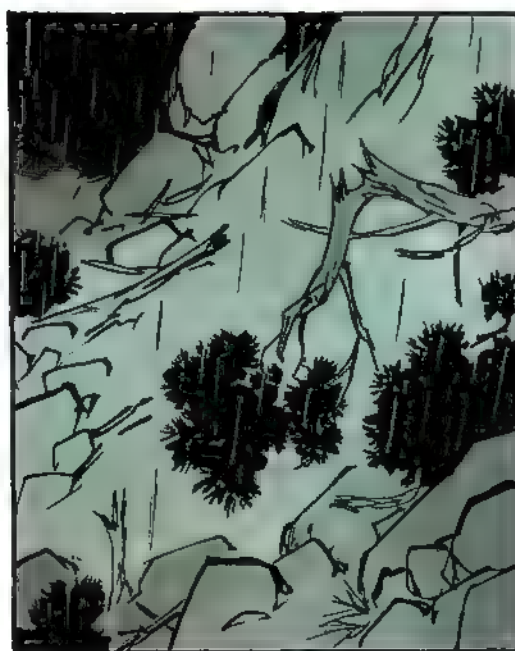
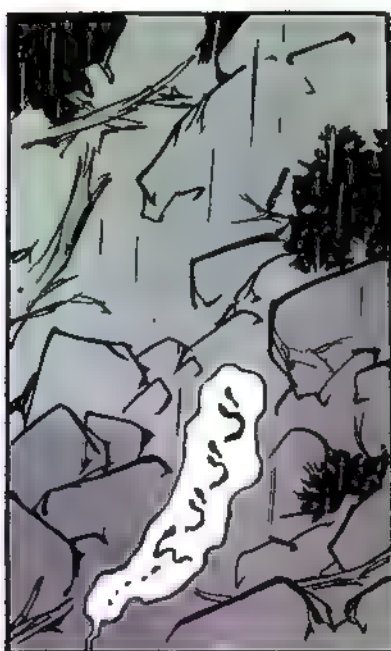
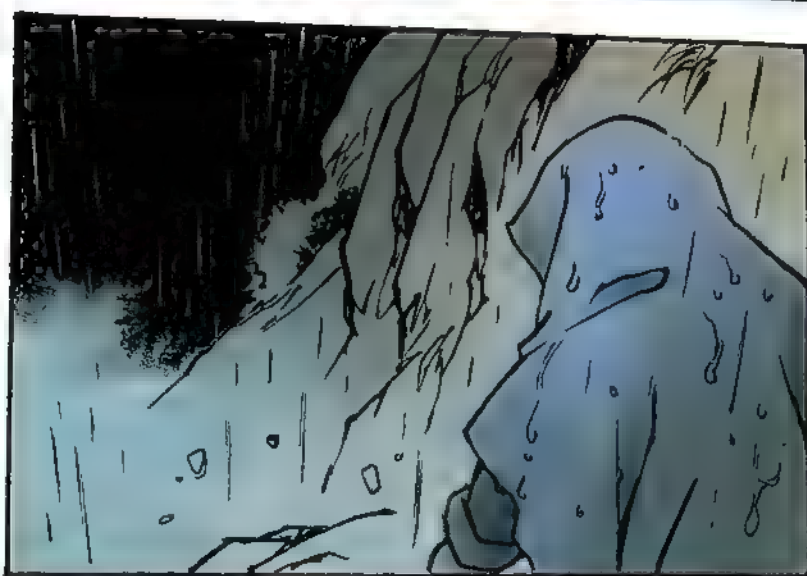
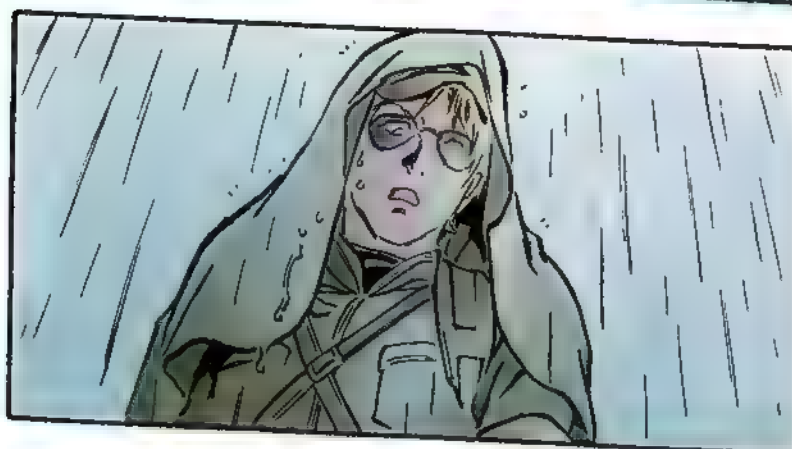
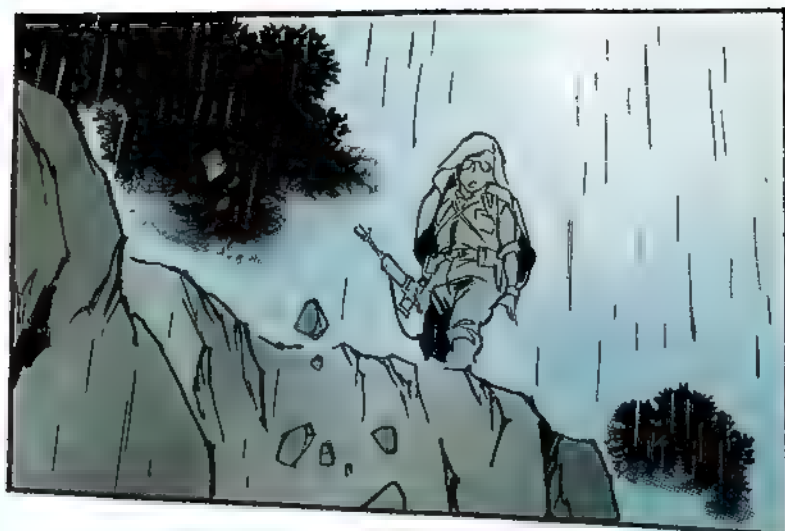
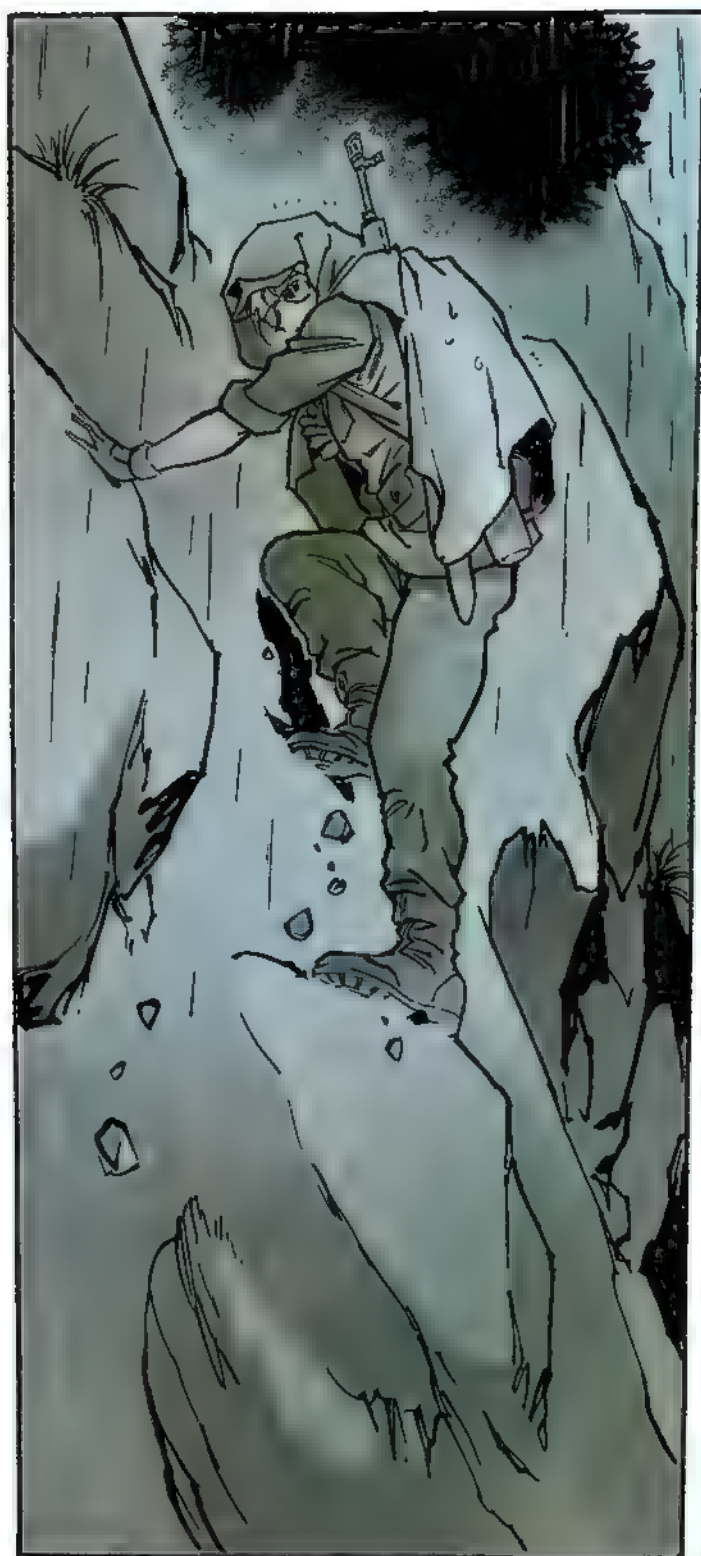








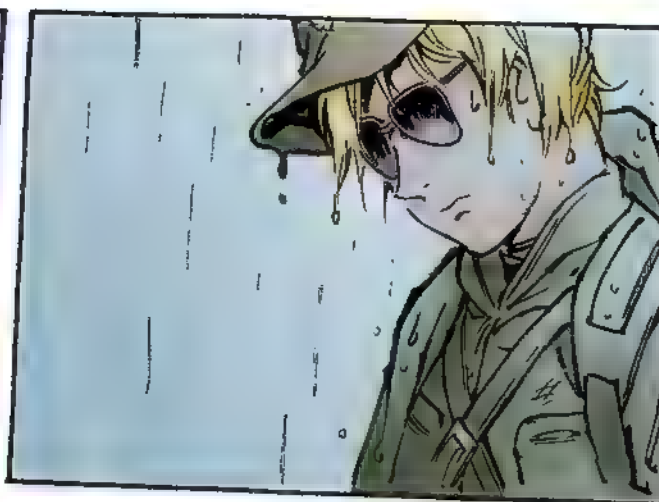
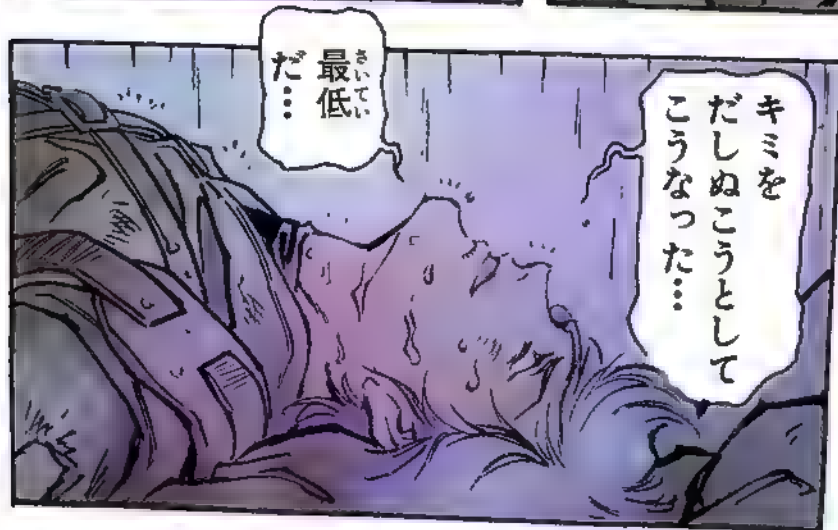
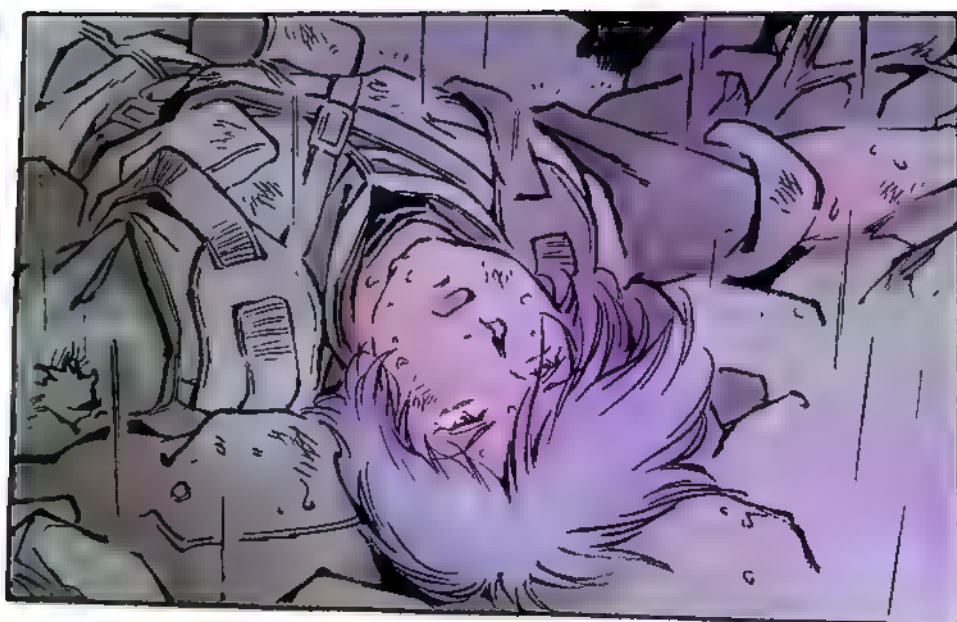




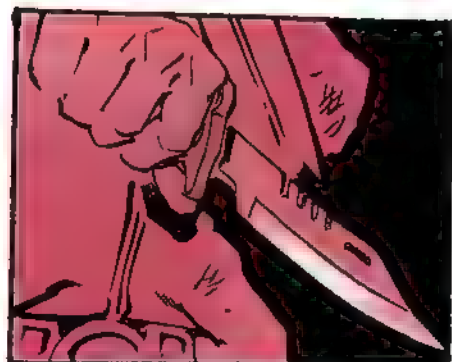
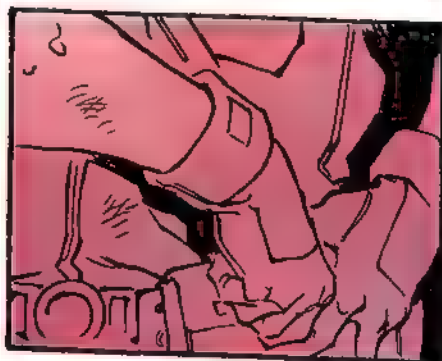
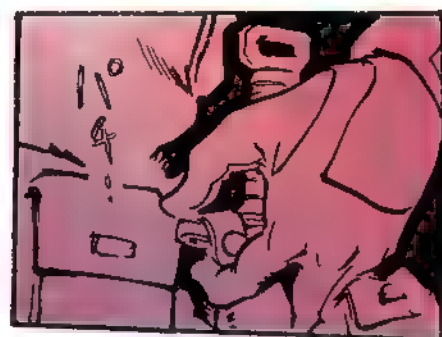




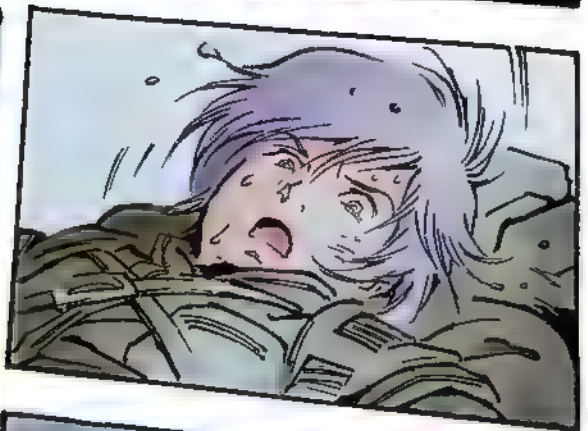
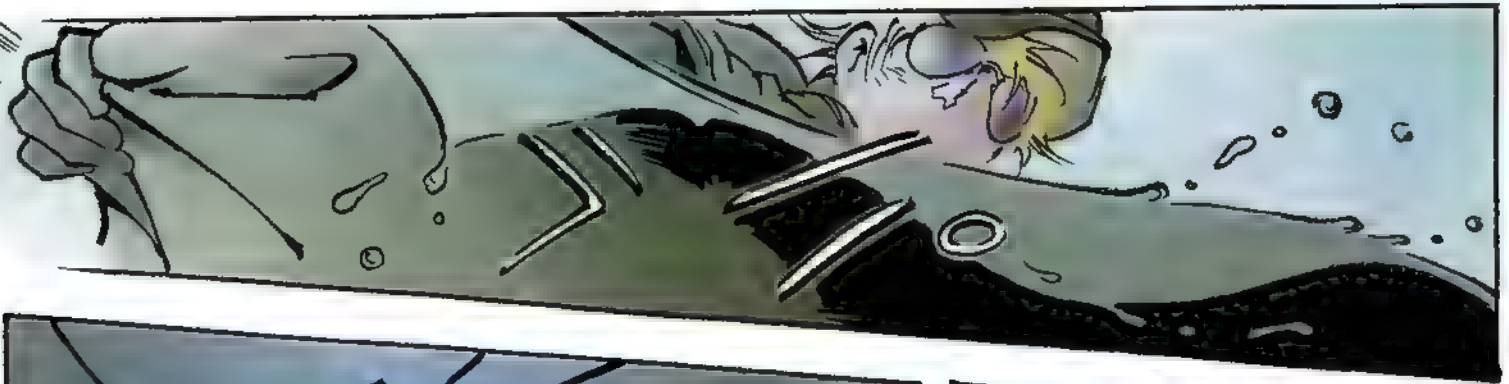
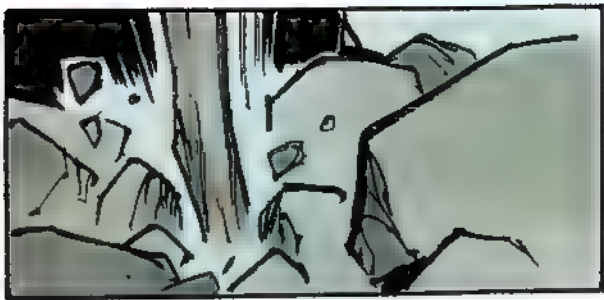
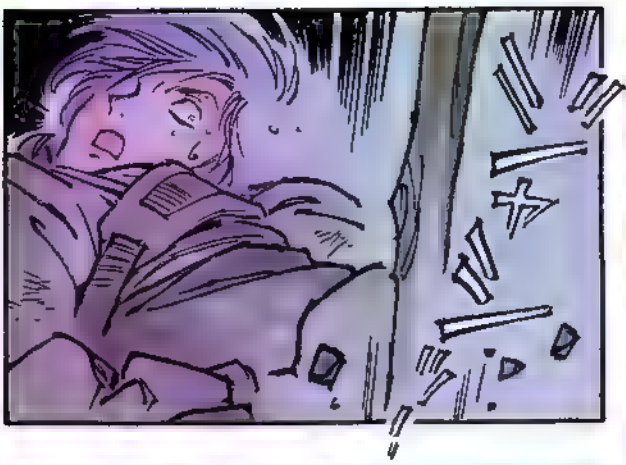




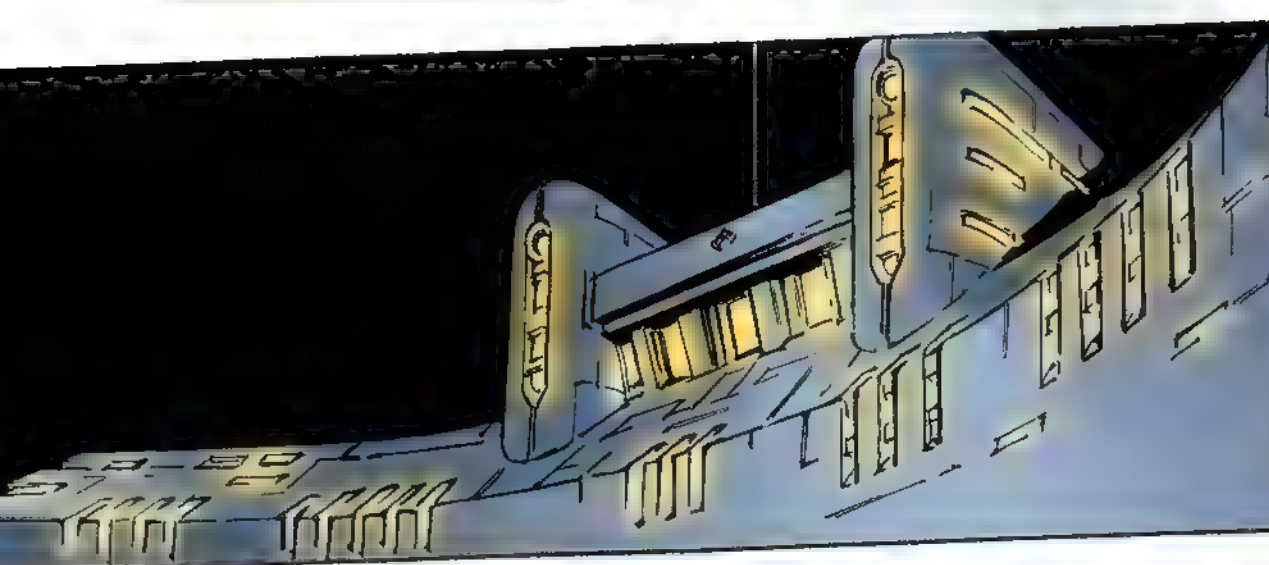
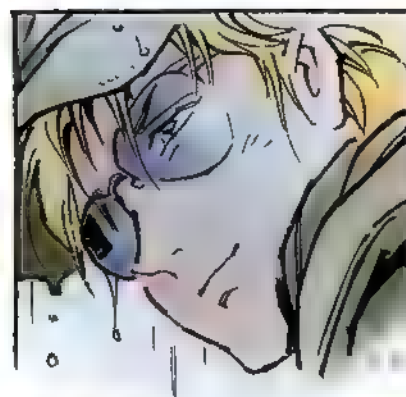
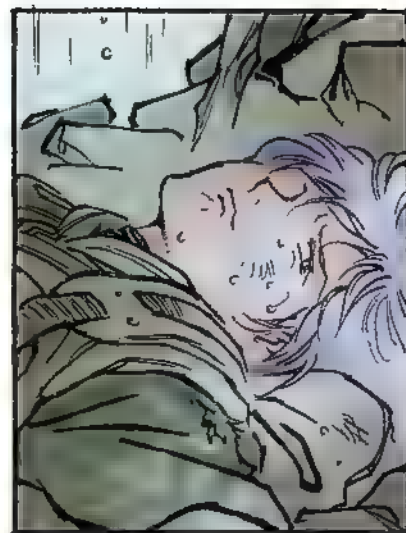












まだ帰って  
いない!?

ガルマと  
シャア・アズナブルが



ポイント③は  
降雨前に通過  
したんですが

④では  
確認して  
いません

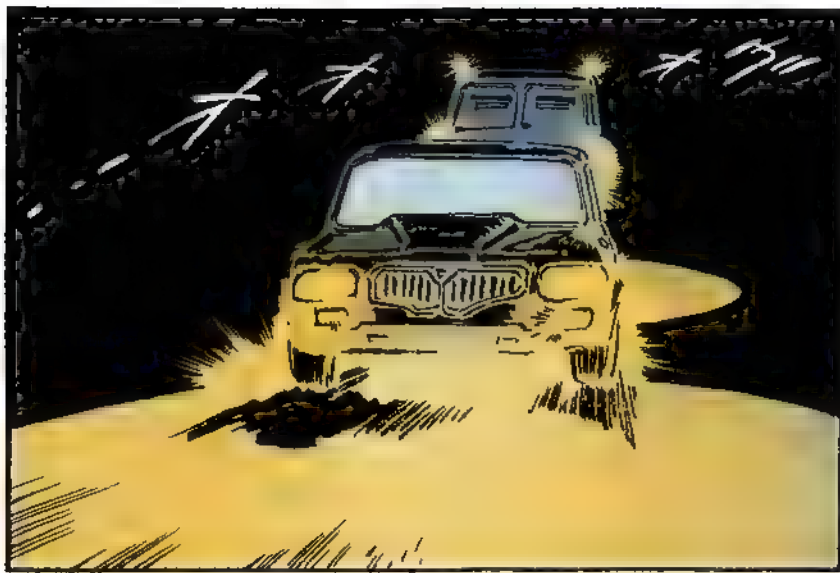
そうですっ



おかしい  
じゃないか

途中で  
トップを争って  
いたんだろ!?





ということとは

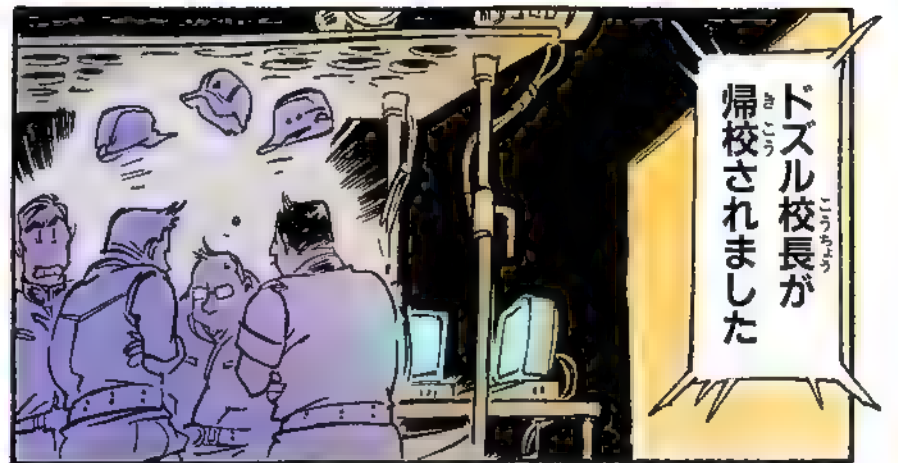
③と④  
の間で降雨  
トラブル

それだけでなく  
あの辺は...

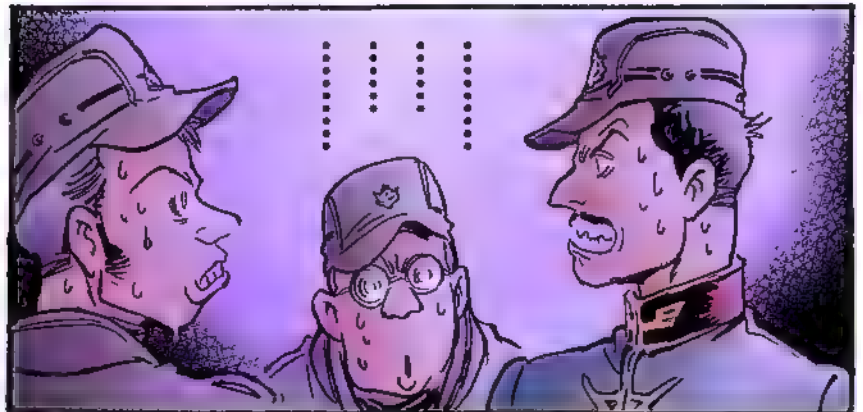


!!! さが

さが  
せええ  
ええっ



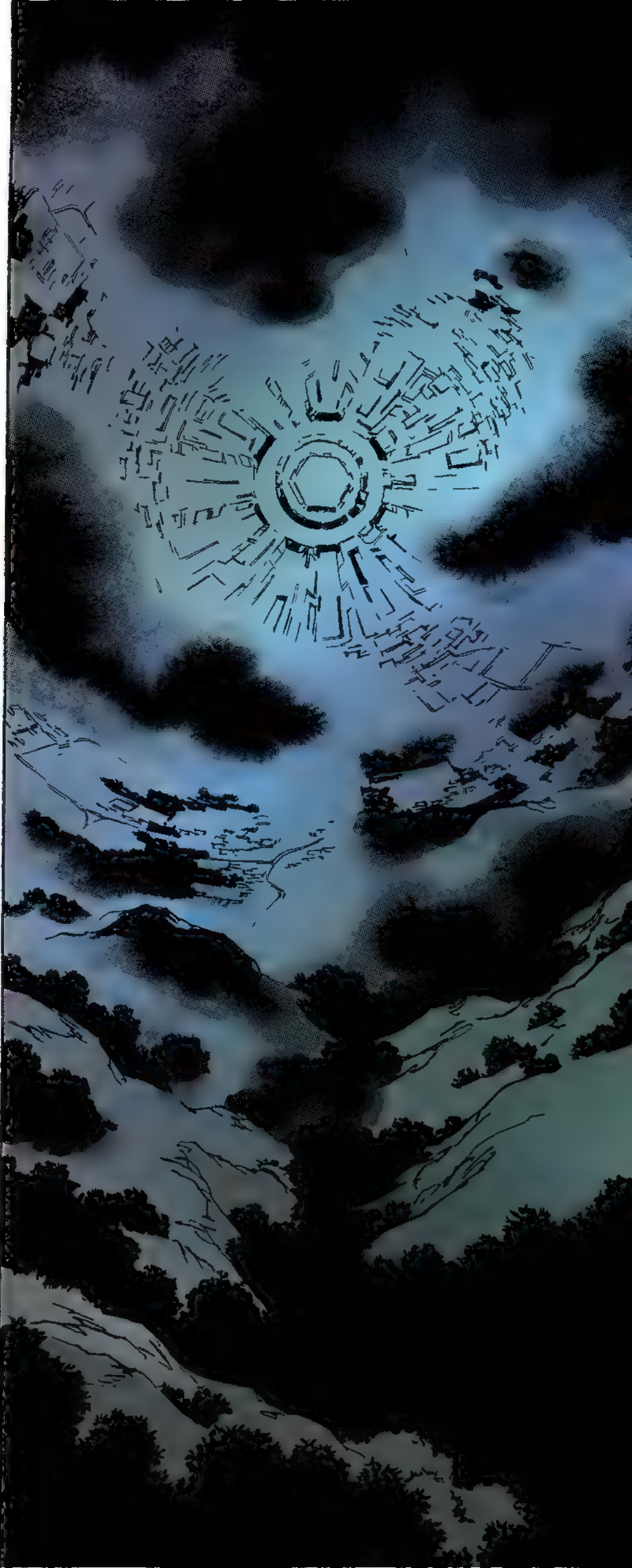
ドズル校長が  
帰校されました



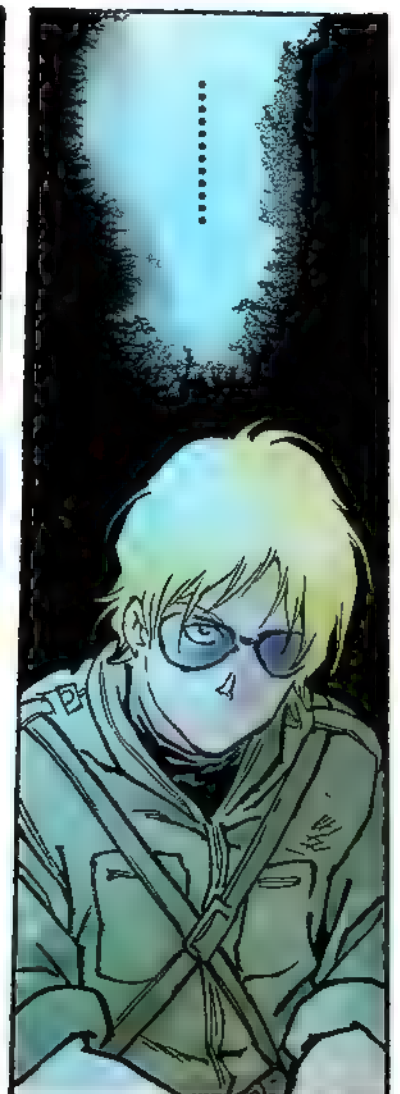
なにいいっ

ガルマが  
行方不明  
だとオオ

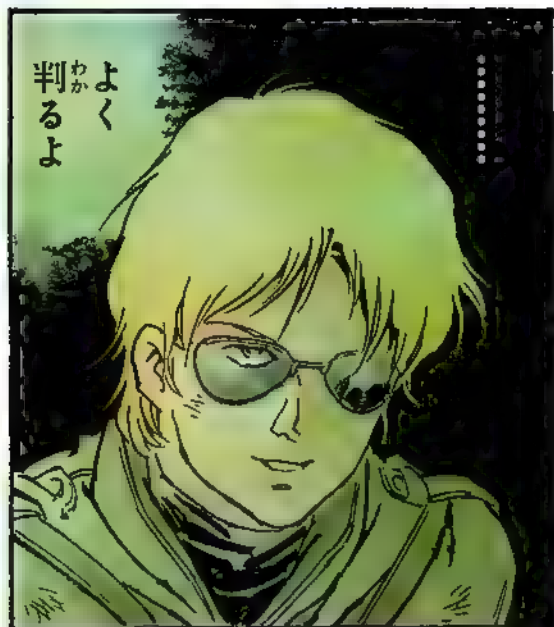




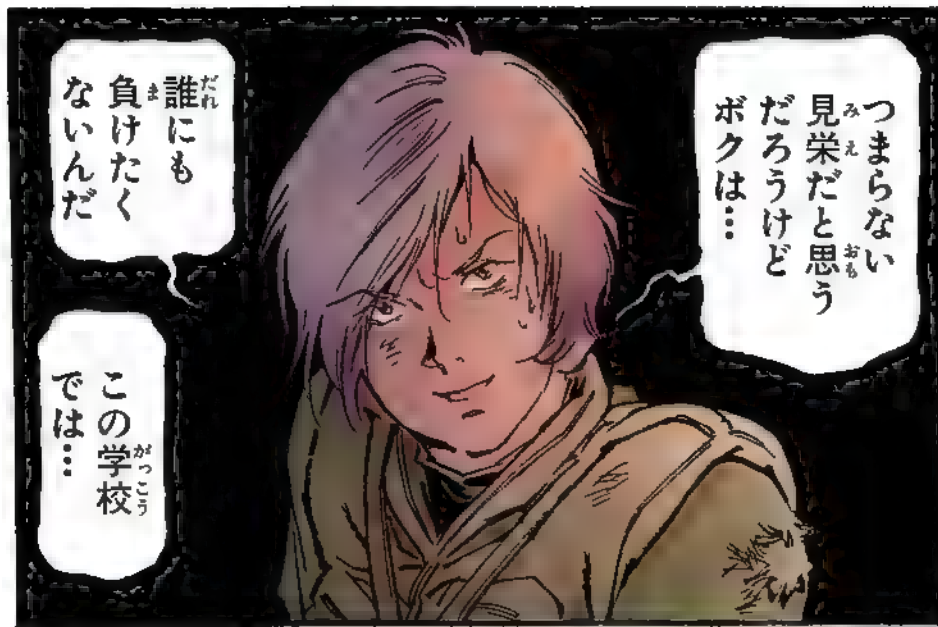








よく  
わか  
判るよ



つまらない  
見栄だと思  
え  
う  
だらうけど  
ボクは…

誰にも  
負けたく  
ないんだ

この学校  
では…



こちら  
ポイント④

まだ  
見つかり  
ません

はあ…

全力で  
捜索中  
ですが…



はあ？

なんだあ？



今

見つかった  
ようですっ！！



ええと

はいっ

あの  
あ  
です



あ待つて  
ください

なにか  
合図  
してます





さっそく  
私も

現場の  
ほうへ！



まだ  
見えま  
せんが

歩いてくる  
ようです

あ！

来ました  
来ました！

ふたりとも  
二人共！

シャア・アズナブルと  
ガルマ様

ガルマ・ザビ

いやっ

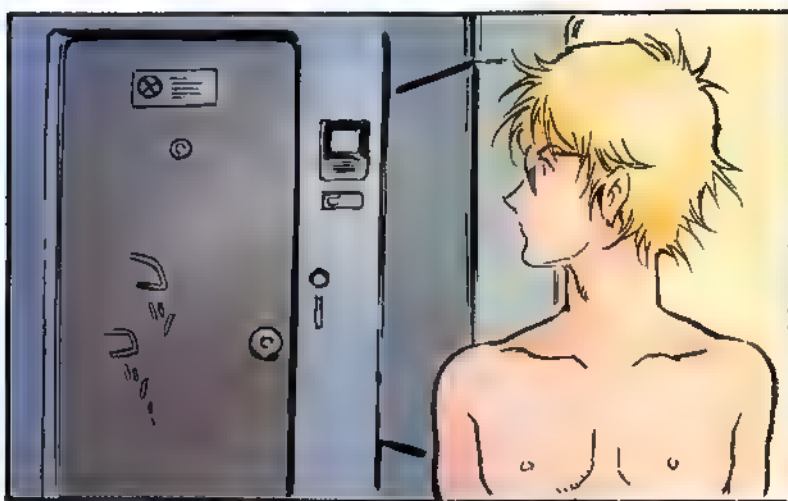
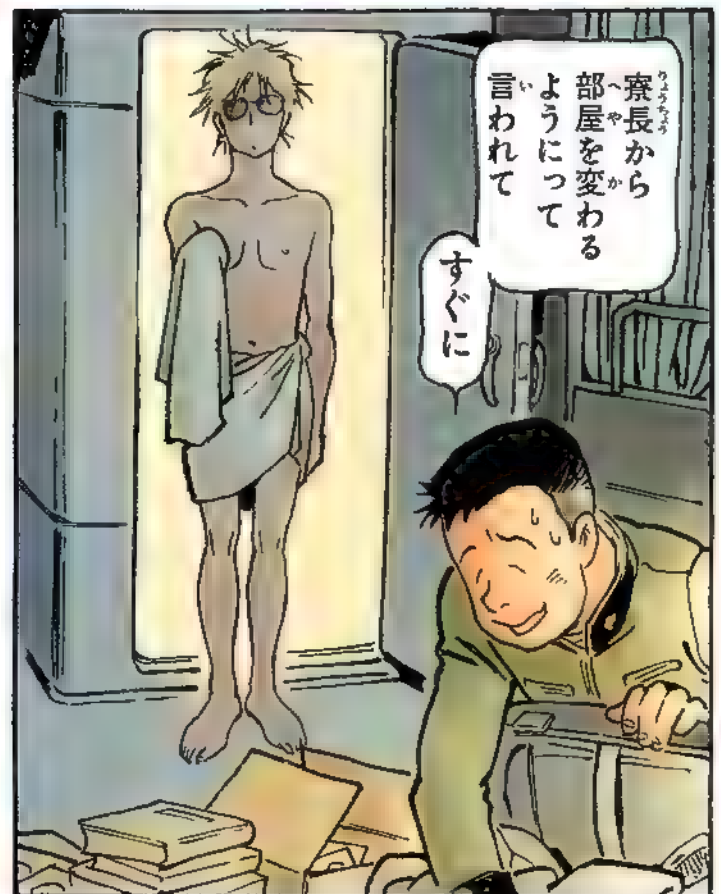
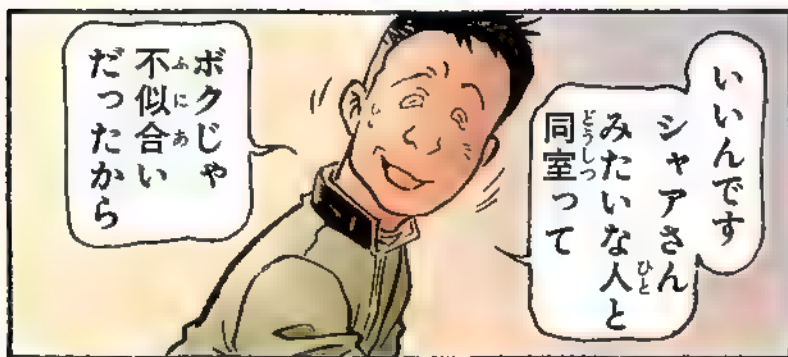
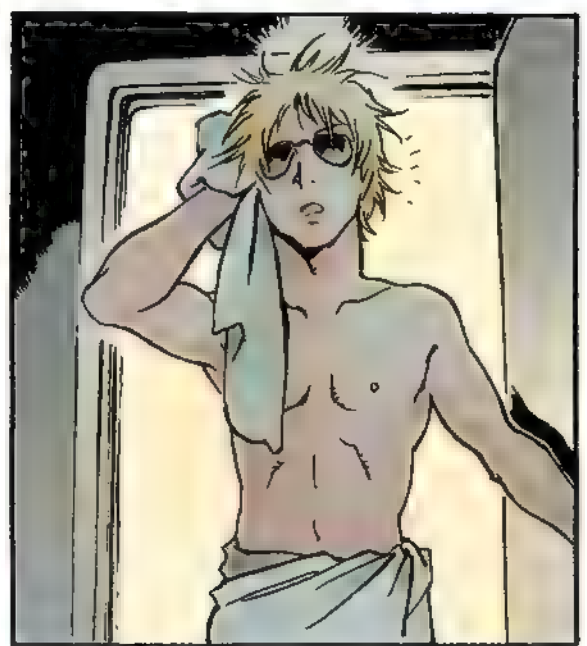
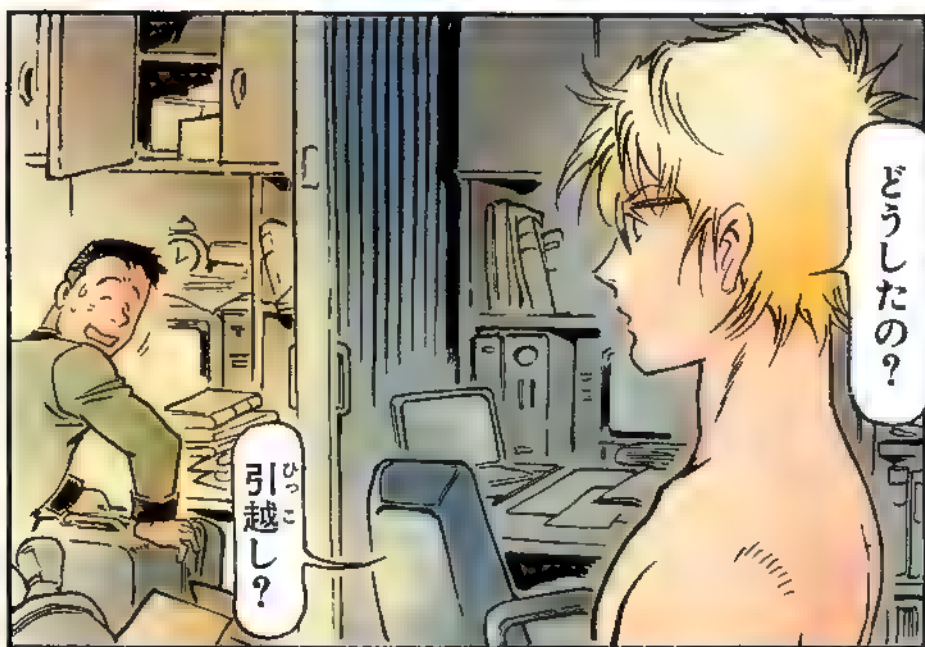
ああっ  
手をふって  
いますっ

笑って  
います

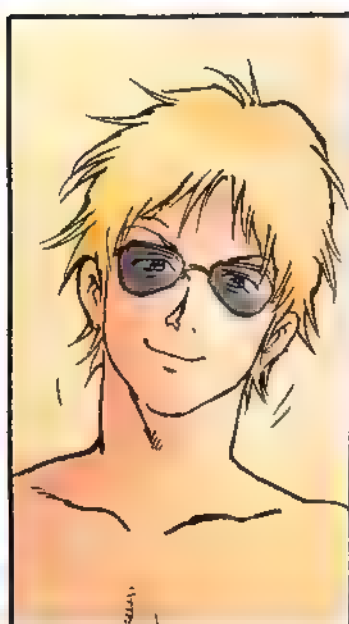
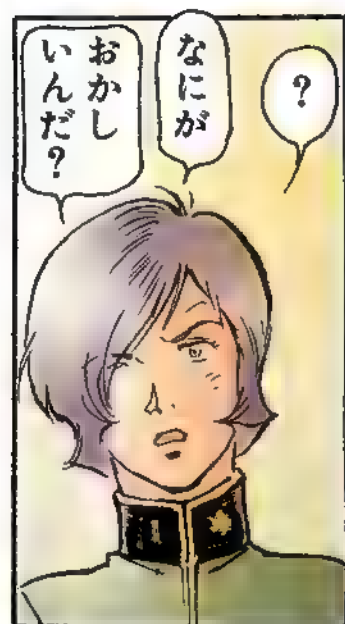
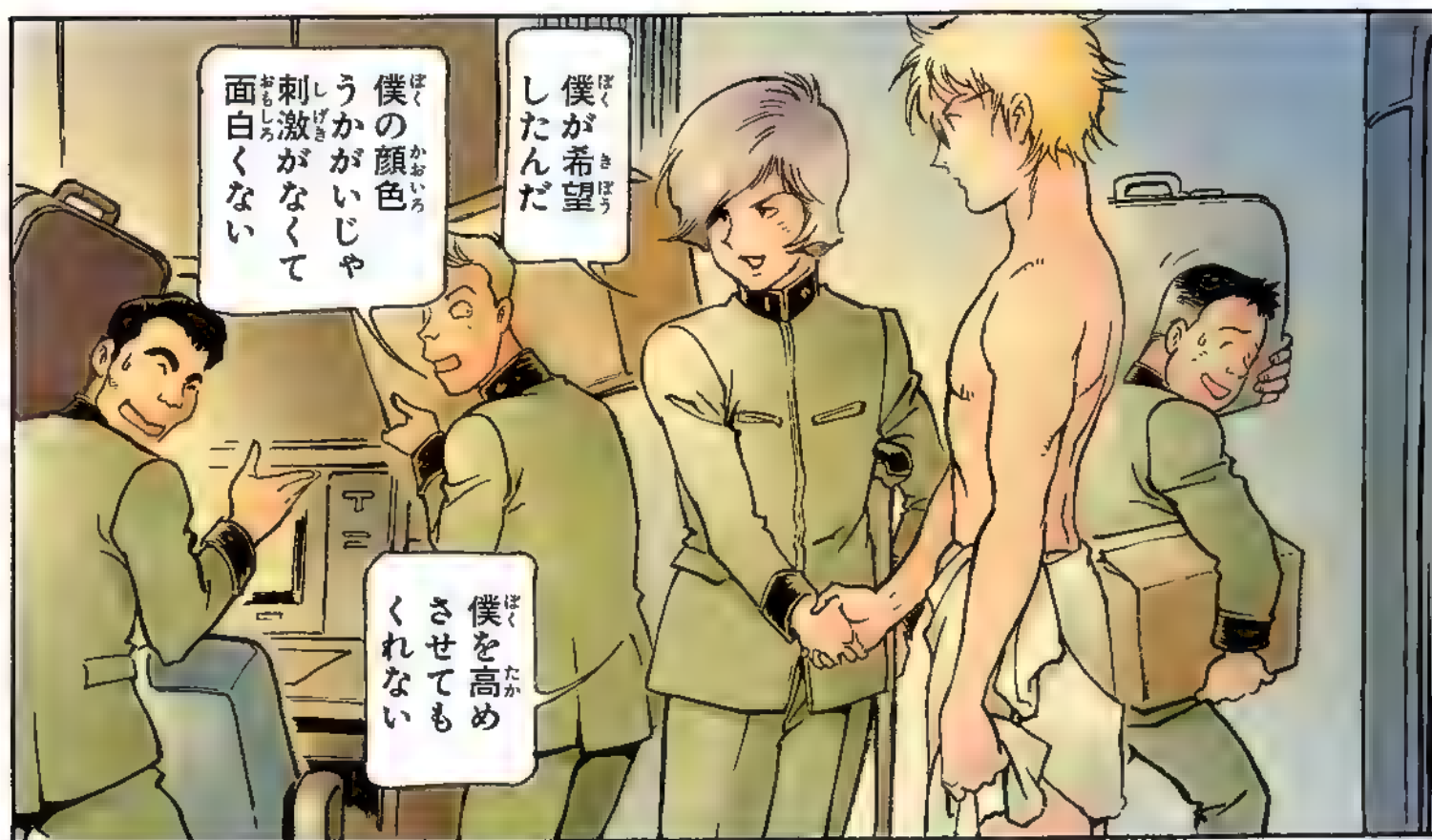
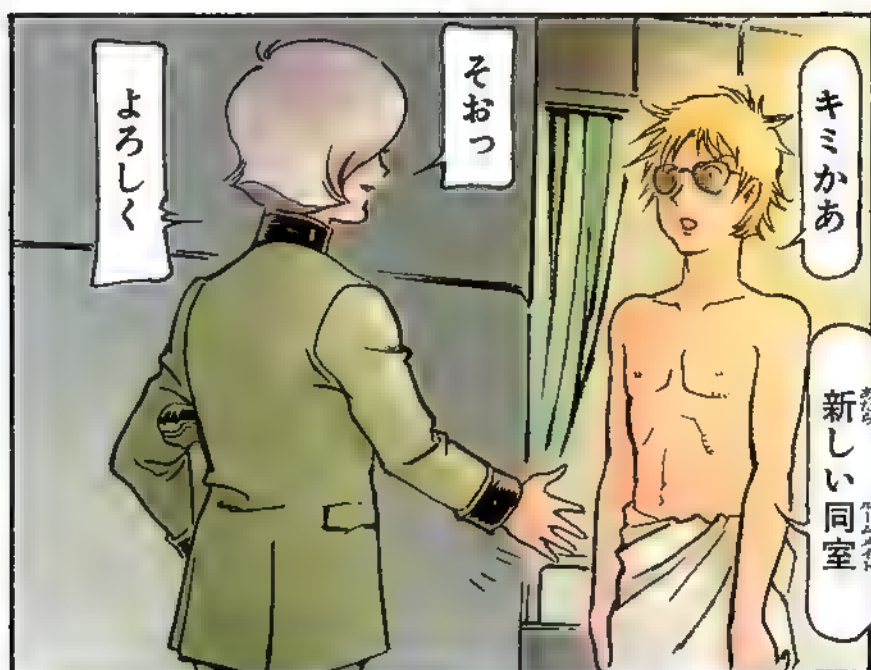
肩を  
抱き合っ  
て  
おります

感動的  
ですっ  
！！

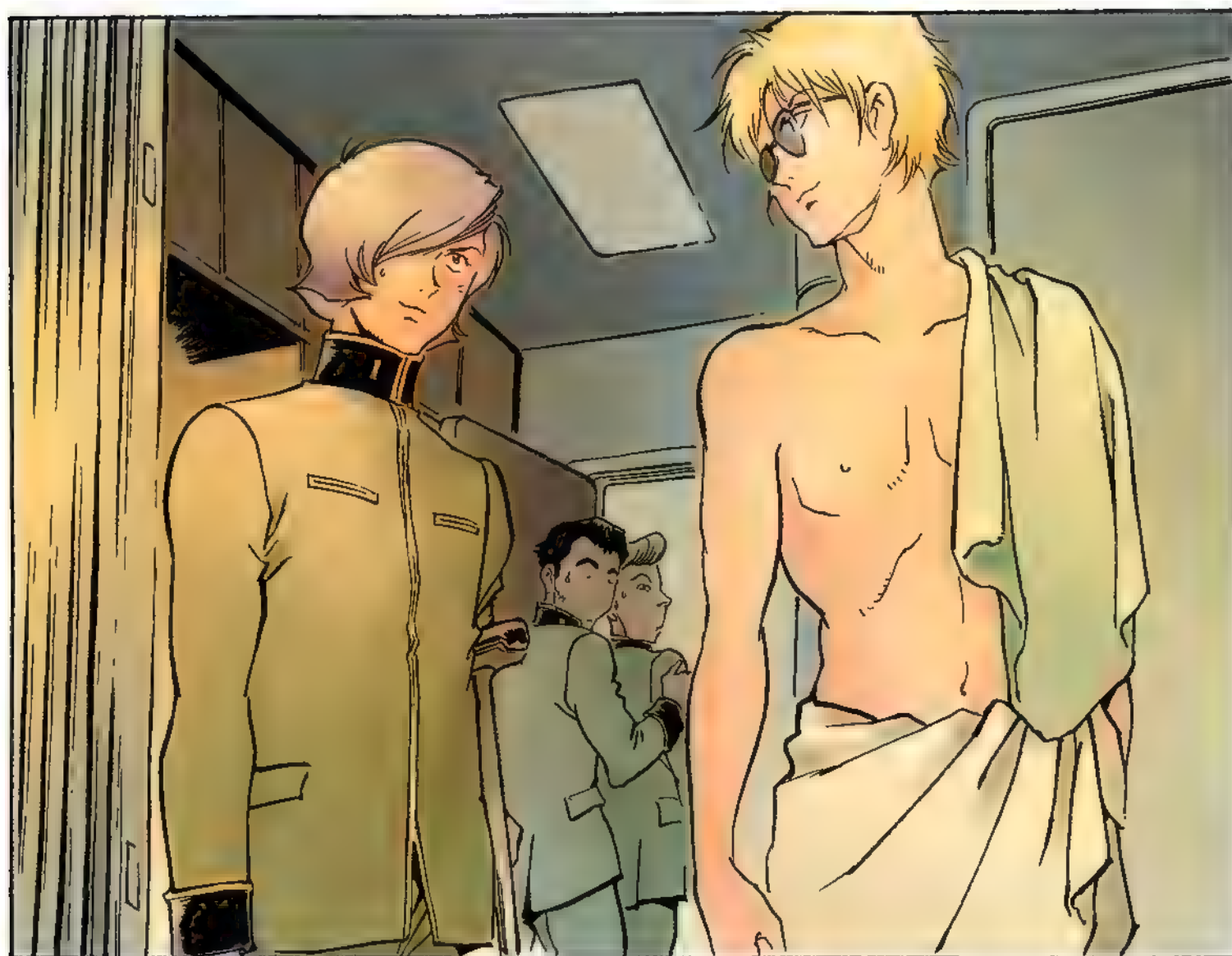
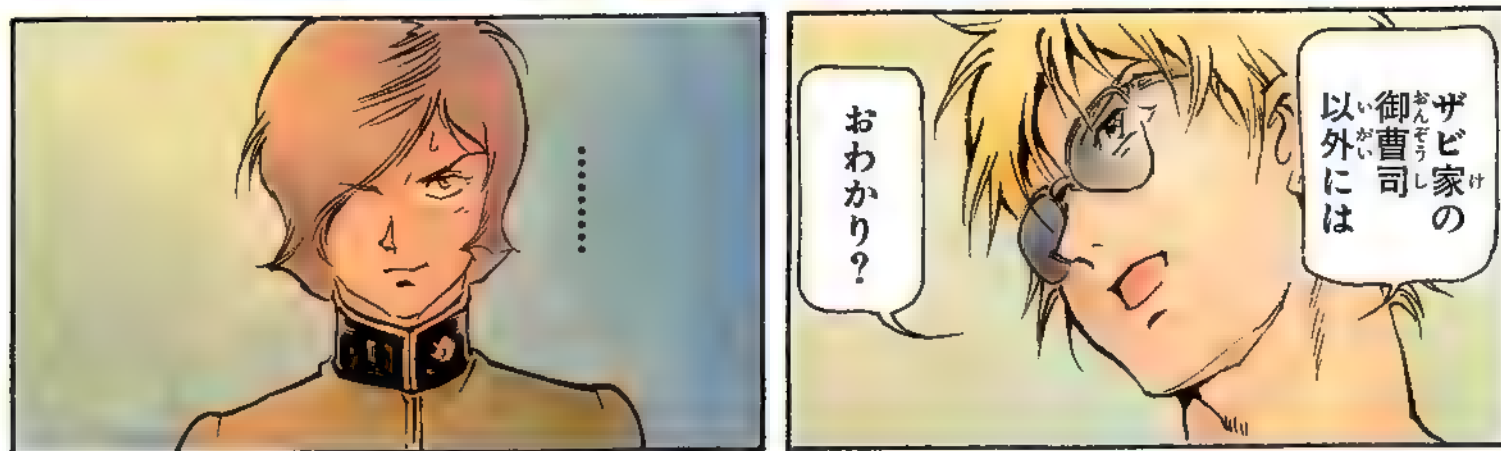
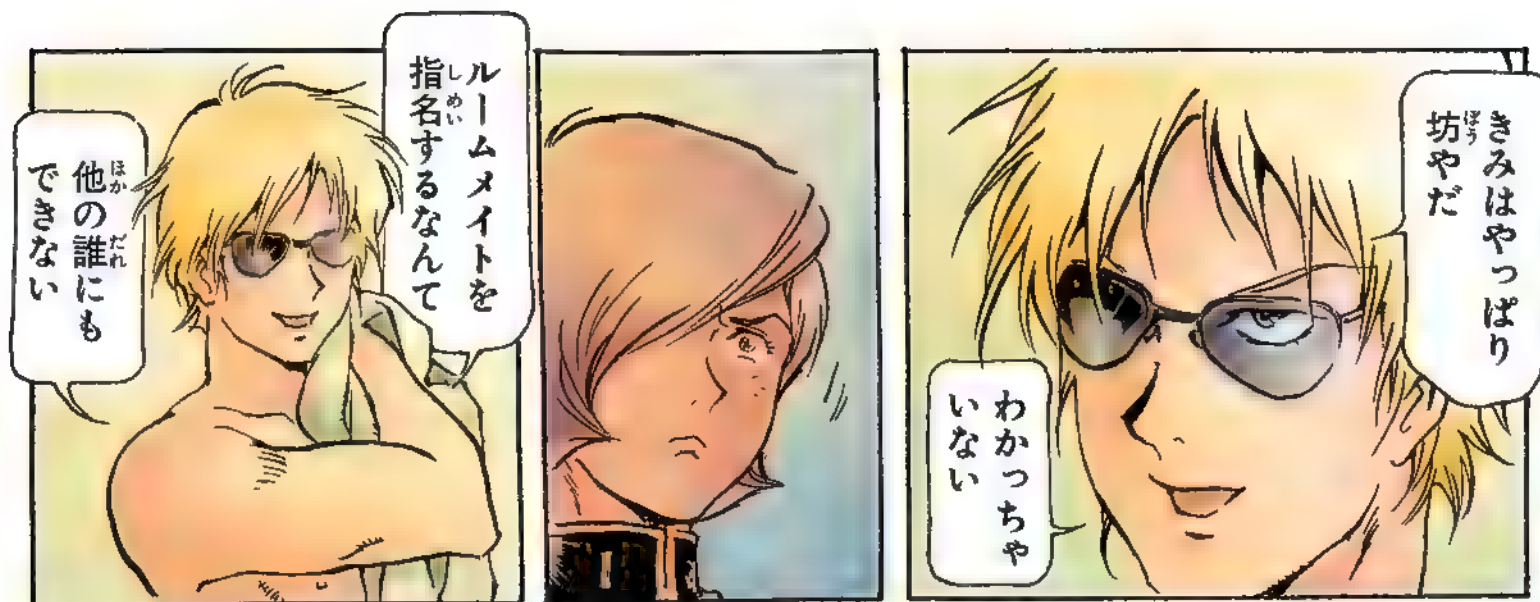












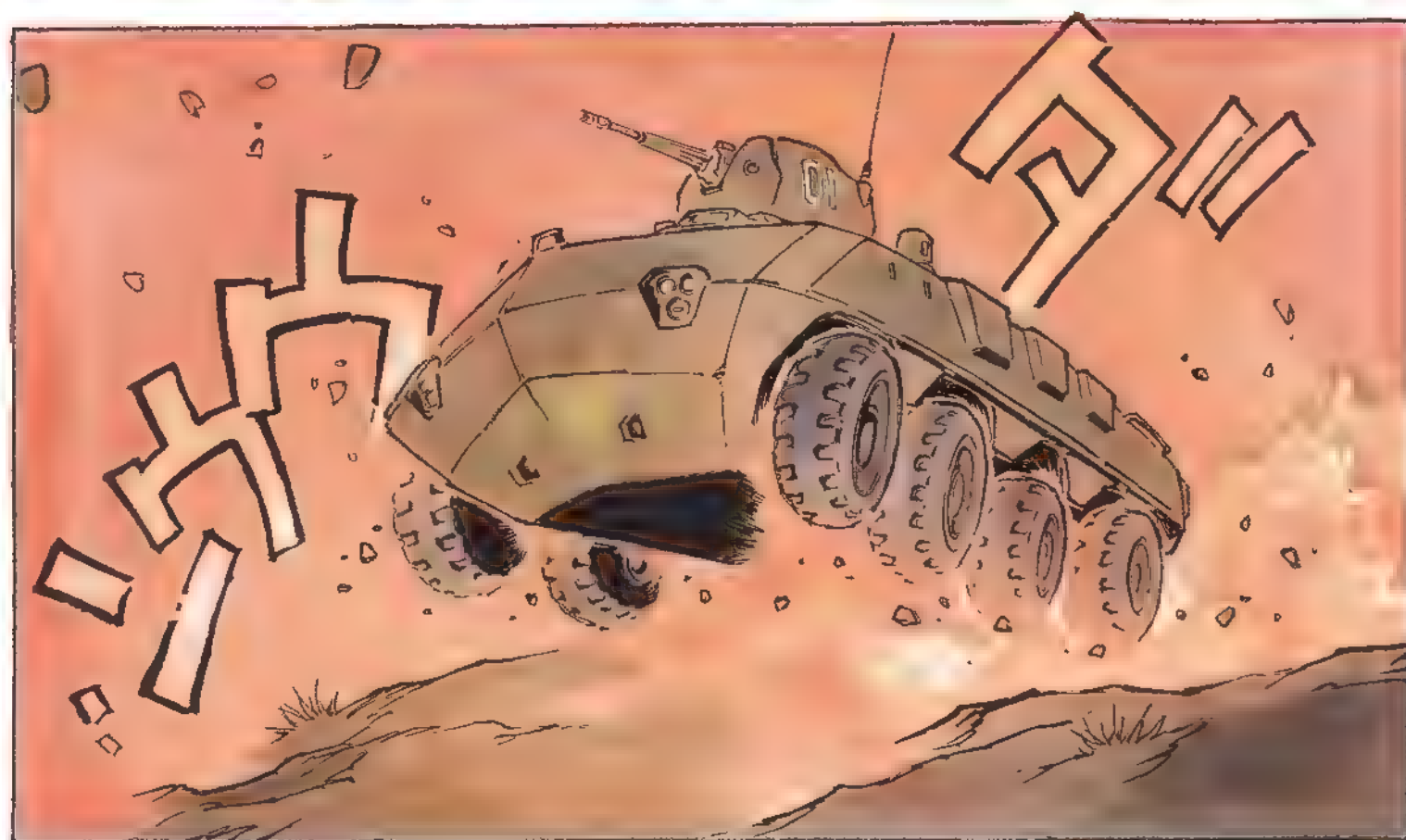
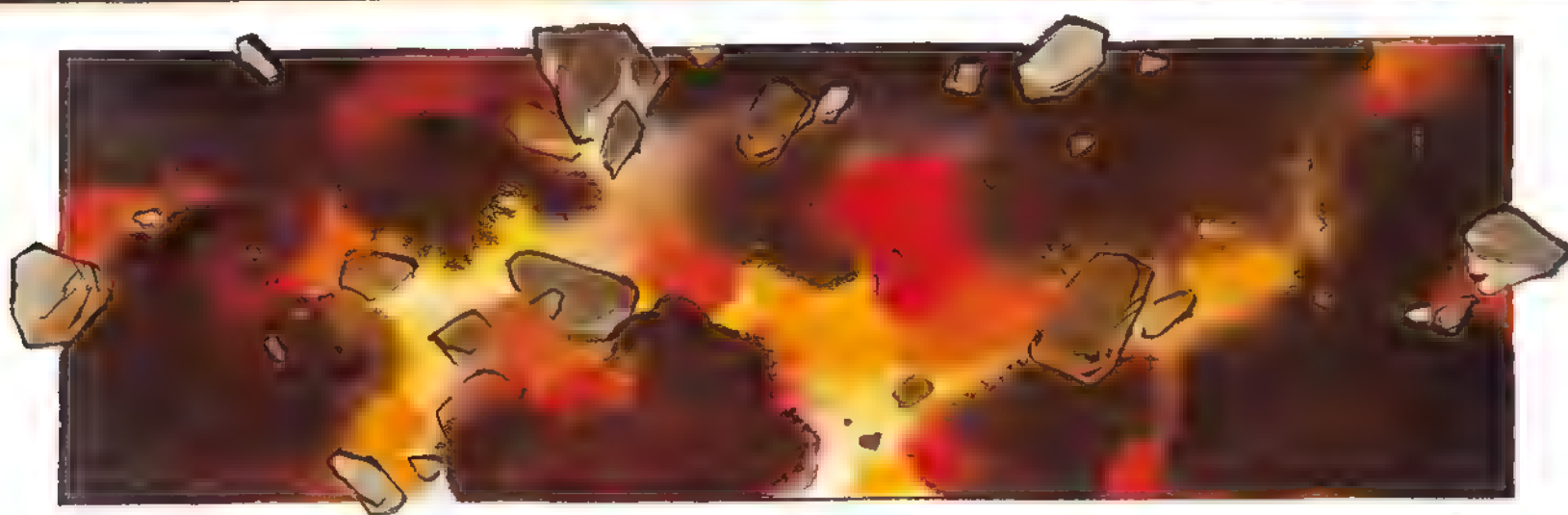


A red flag flies from a pole on a hill. The background is a warm, orange-hued sunset or sunrise sky. The foreground shows a misty, hazy landscape with some sparse, dry vegetation on the hill.

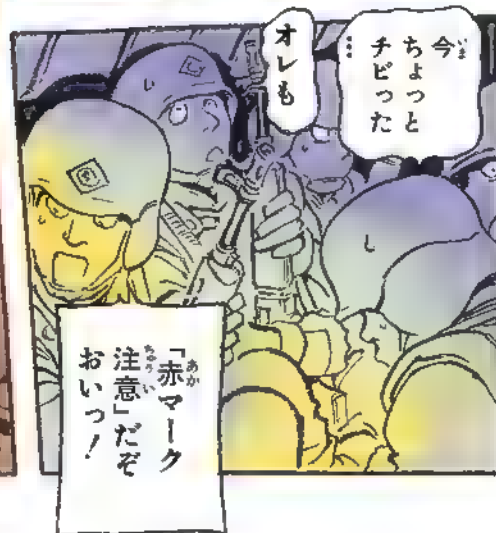
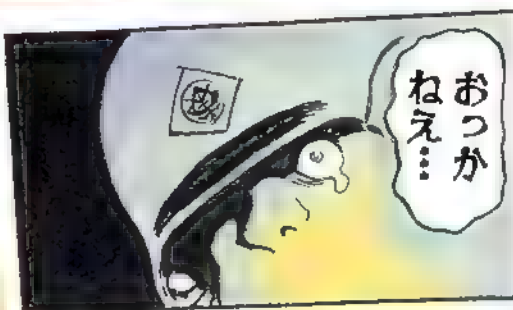
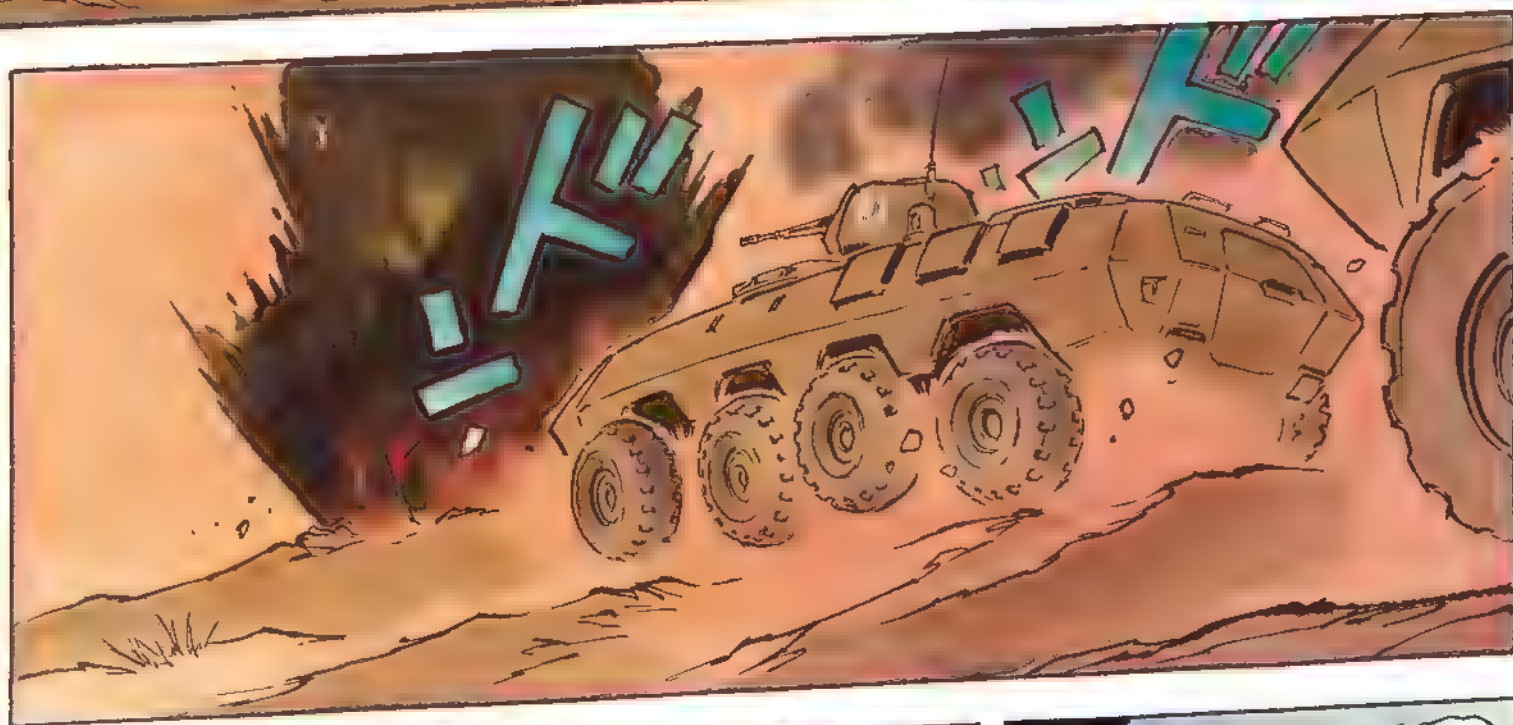
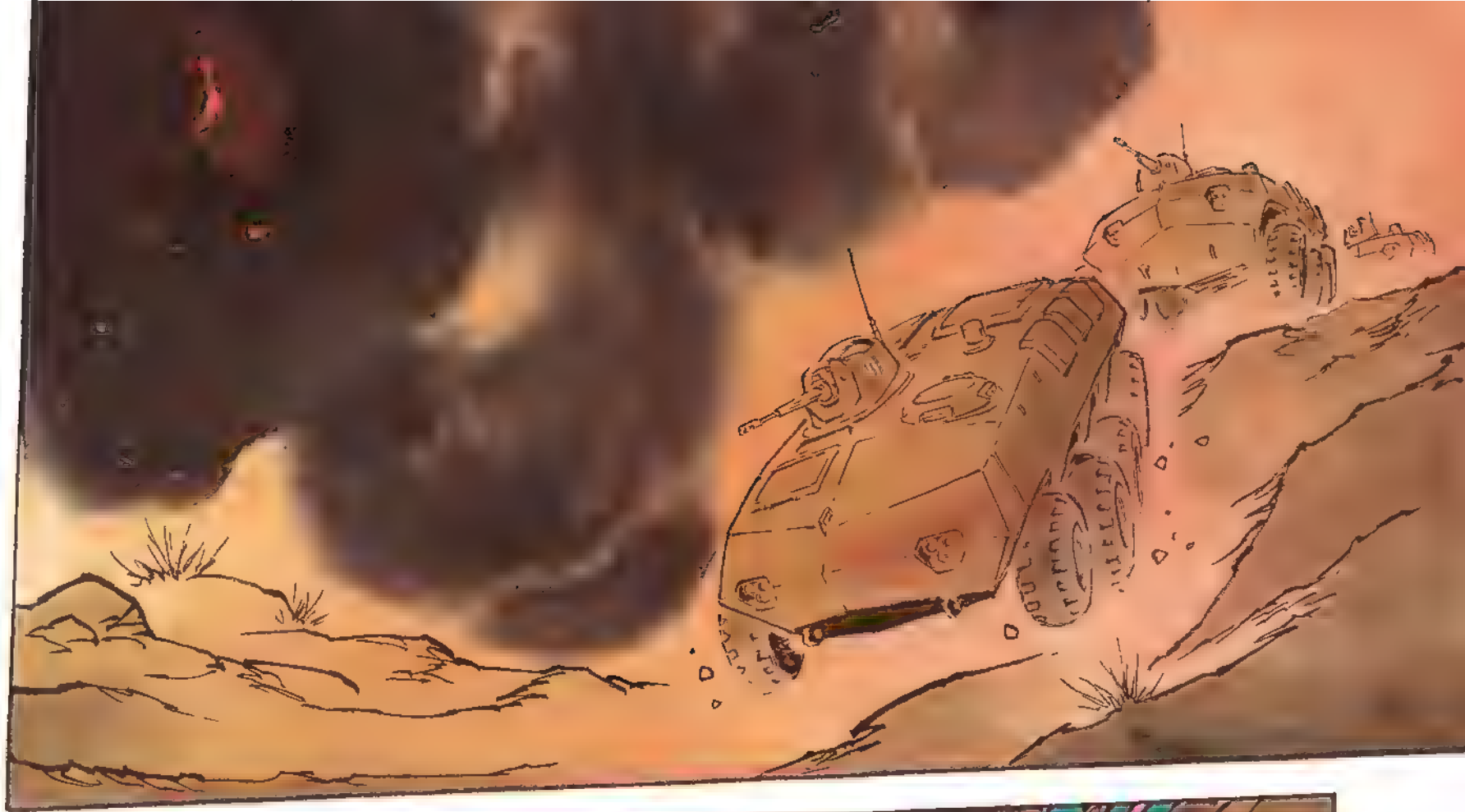
—開戰編・前—

SECTION  
II

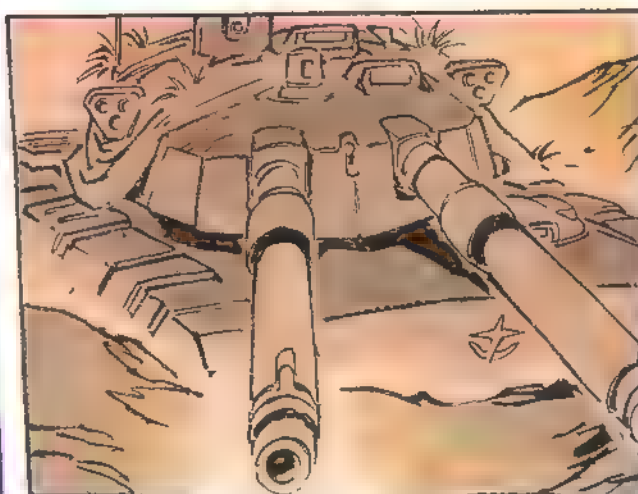
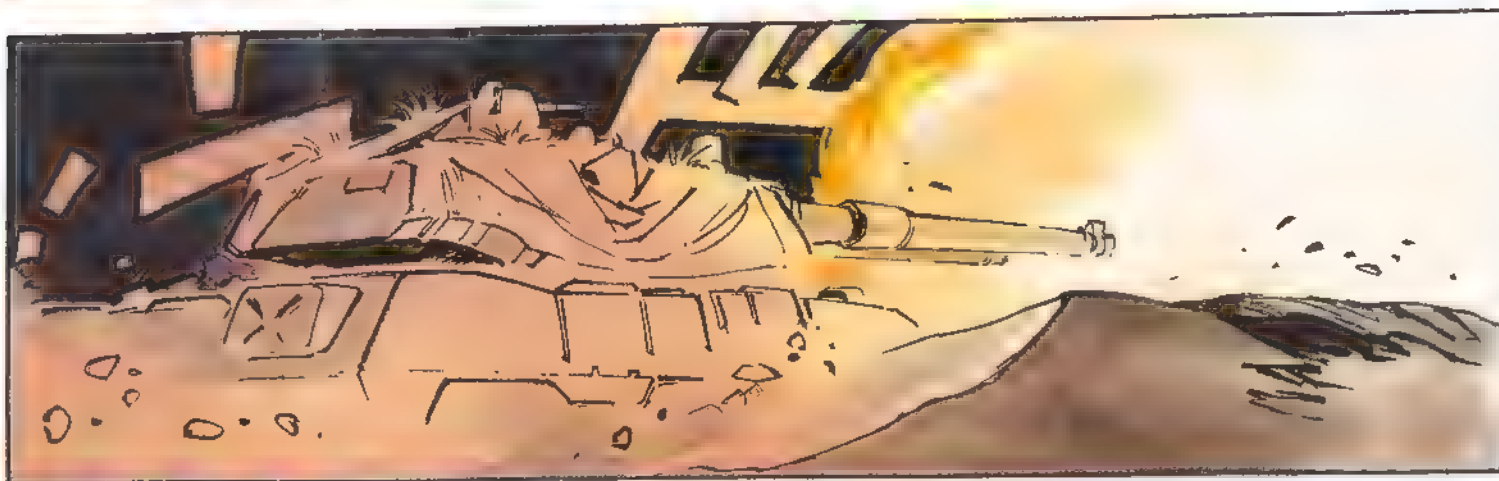
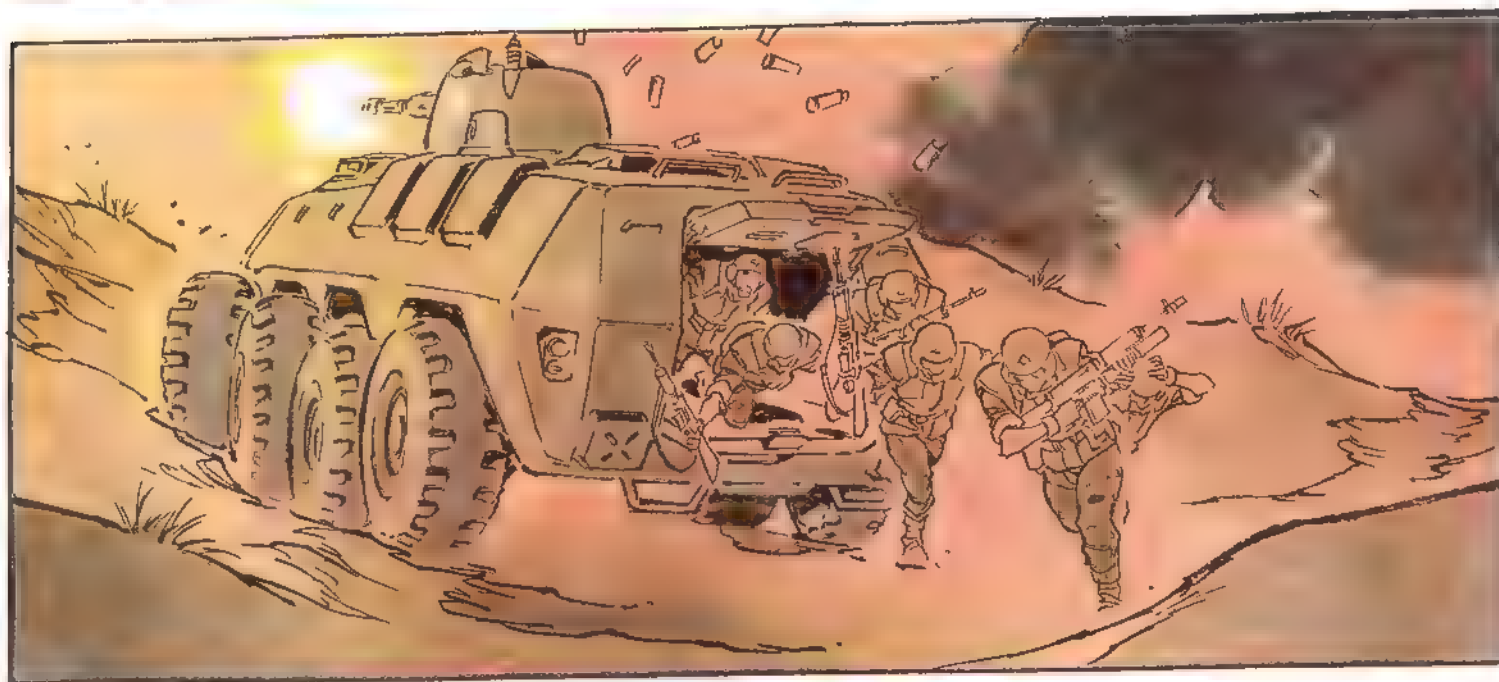
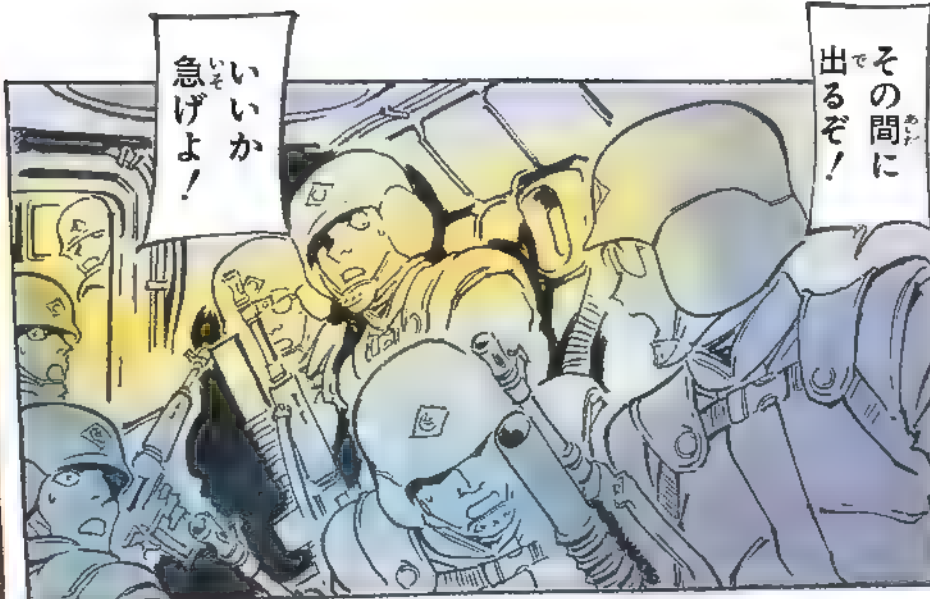
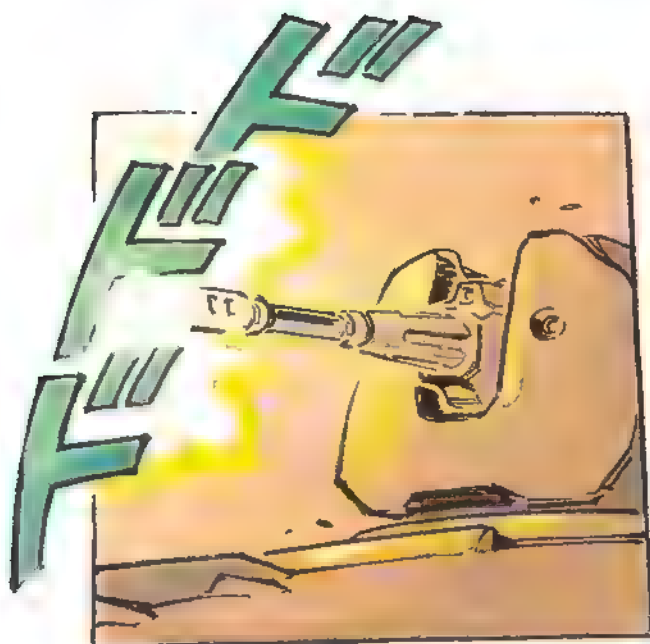




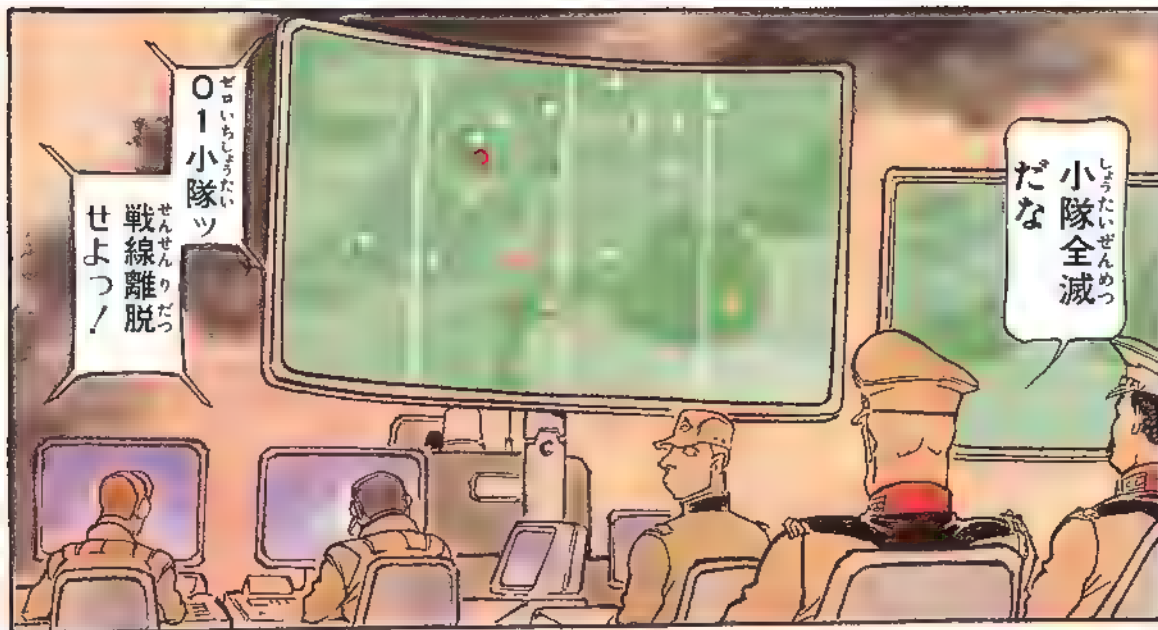






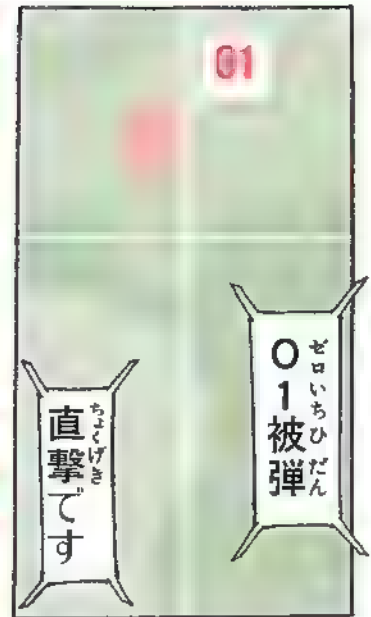






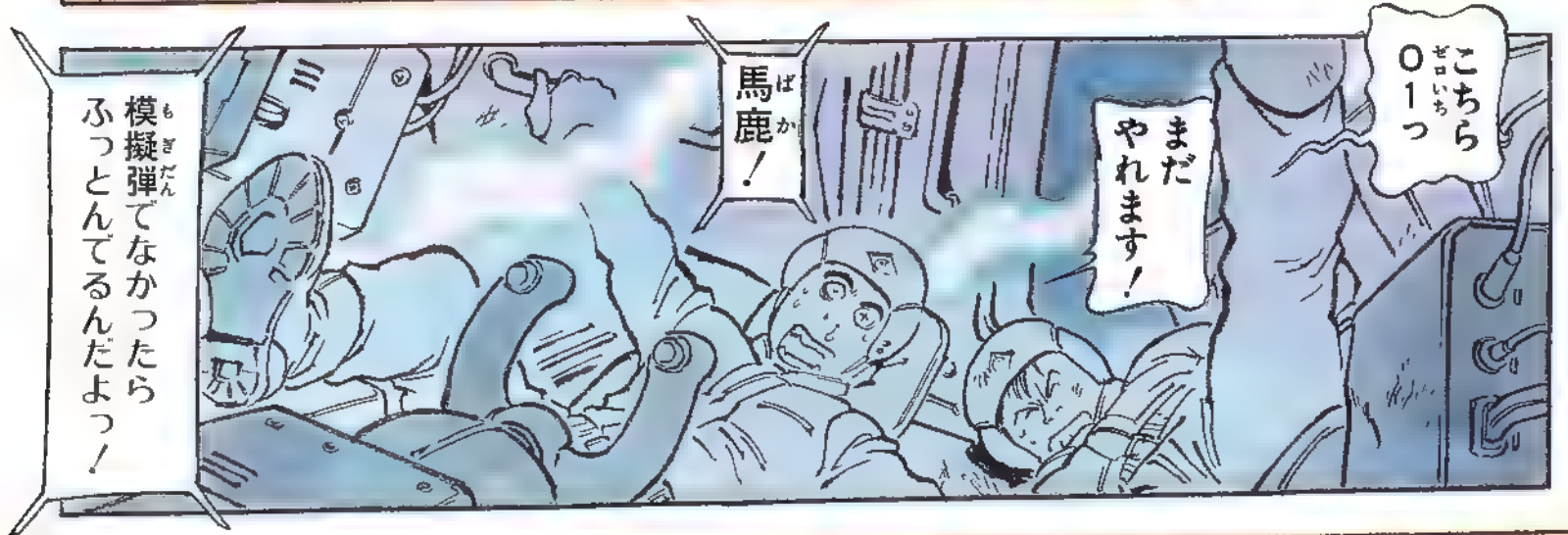
01小隊  
戦線離脱  
せよっ!

小隊全滅  
だ



01被弾

直撃です

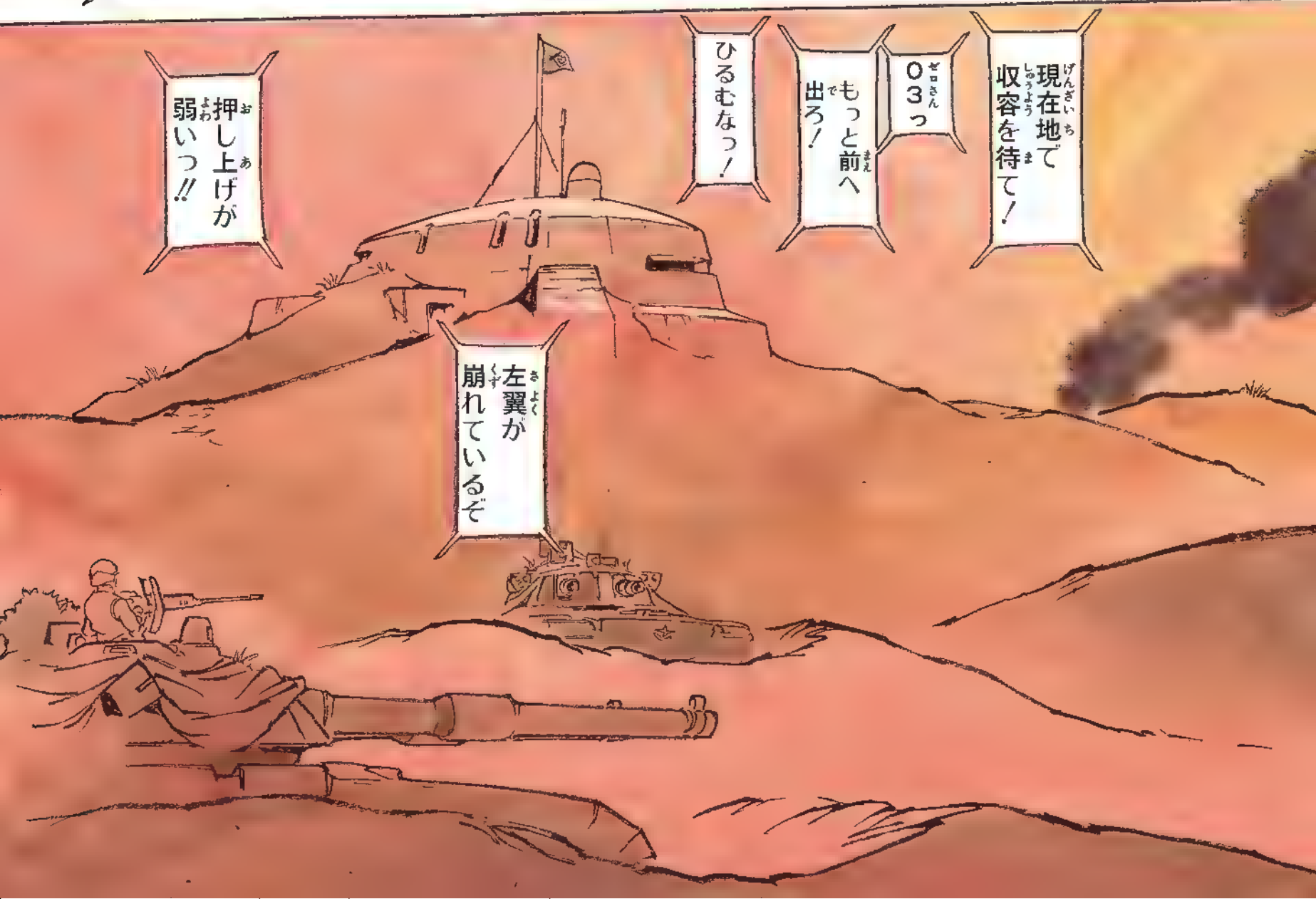


馬鹿!

まだ  
やれます!

こちら  
01っ

模擬弾でなかったら  
ふっとんでるんだよっ!



押し上げが  
弱いっ!!

ひるむなっ!

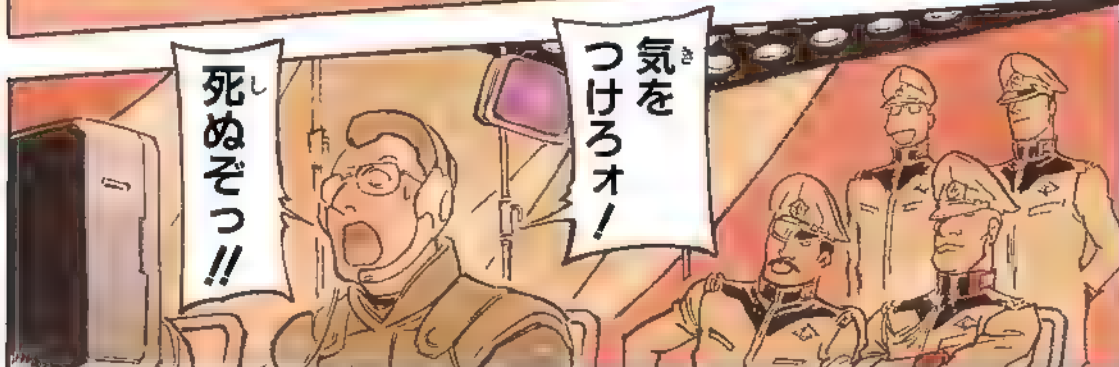
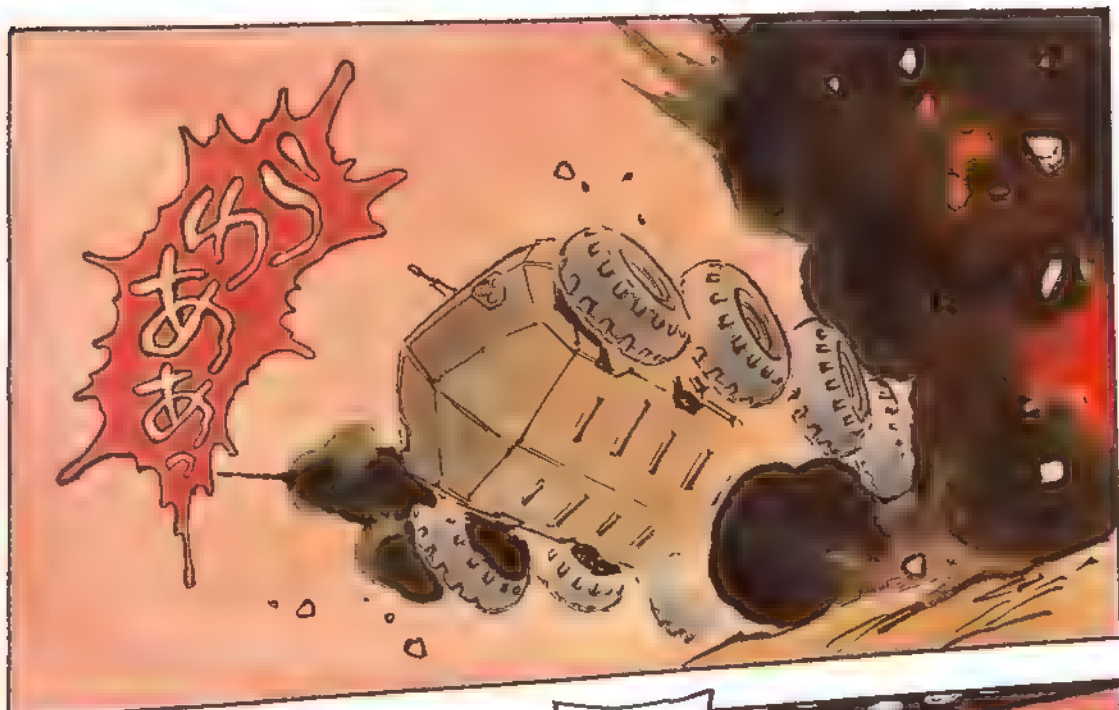
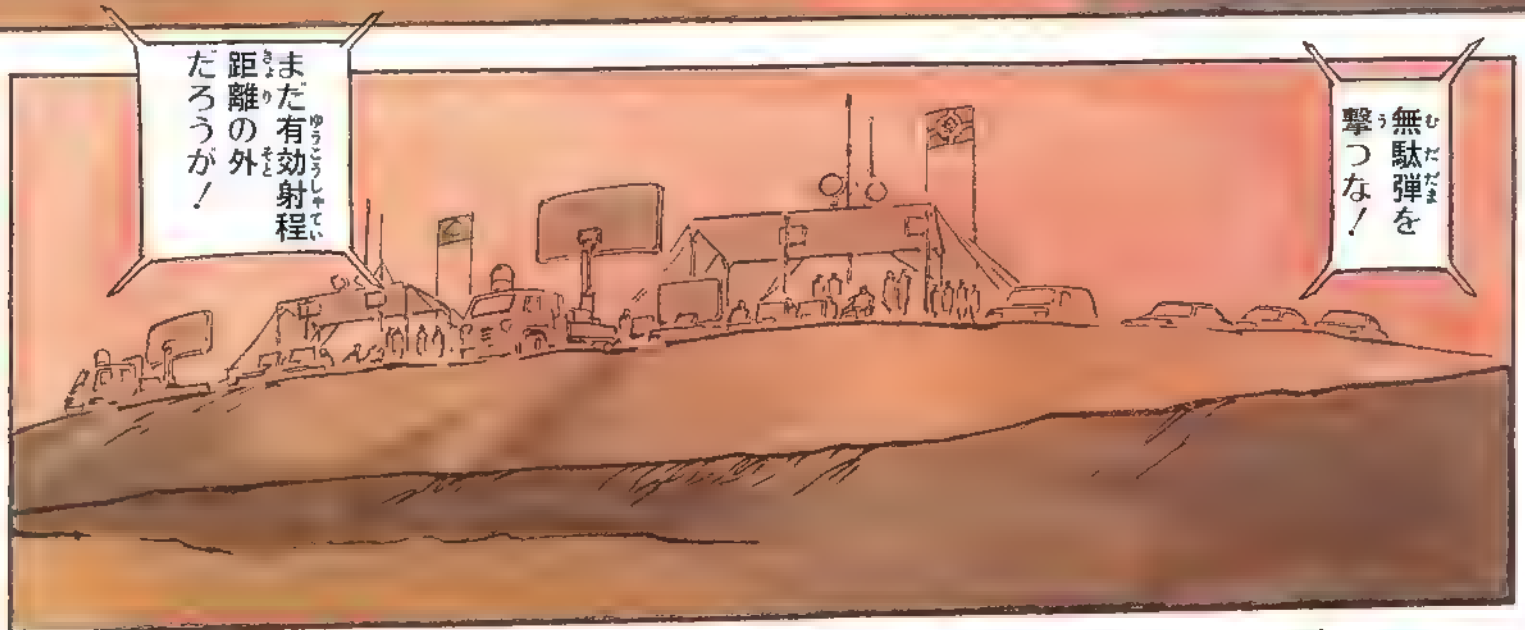
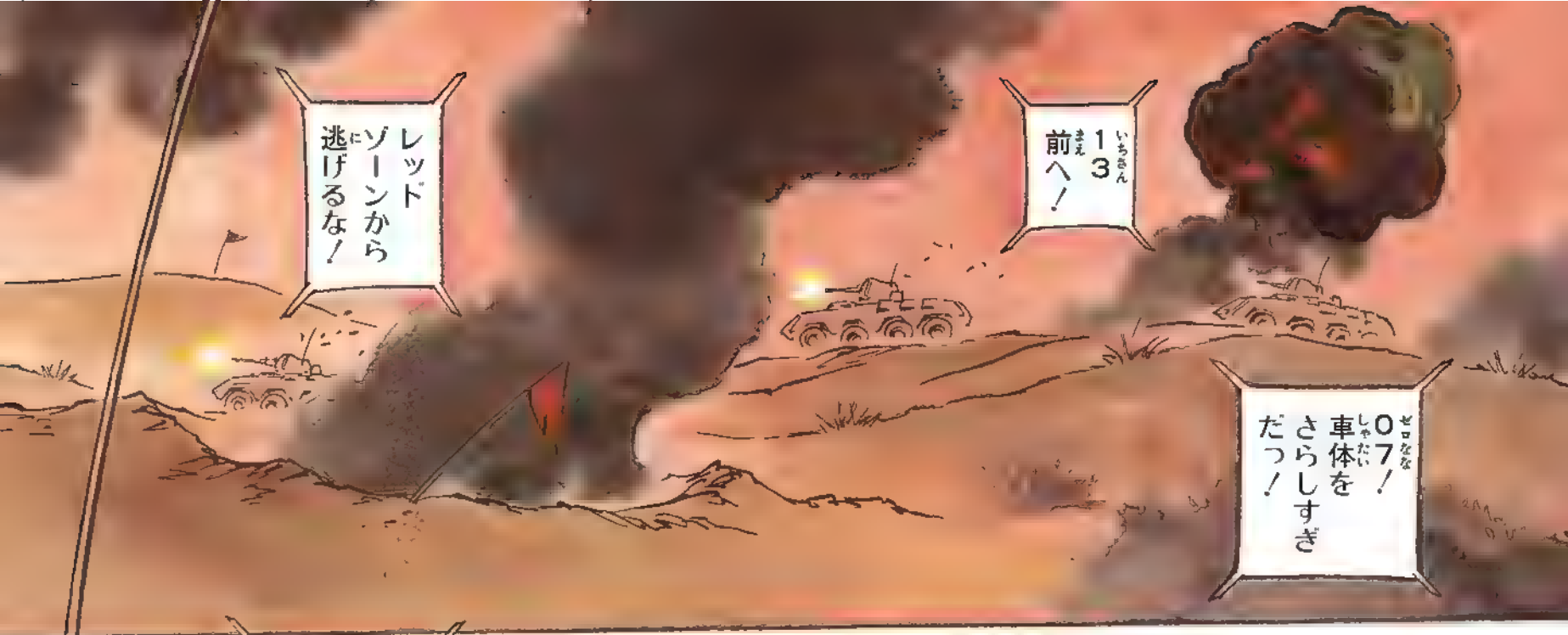
もっと前へ  
出ろ!

03っ

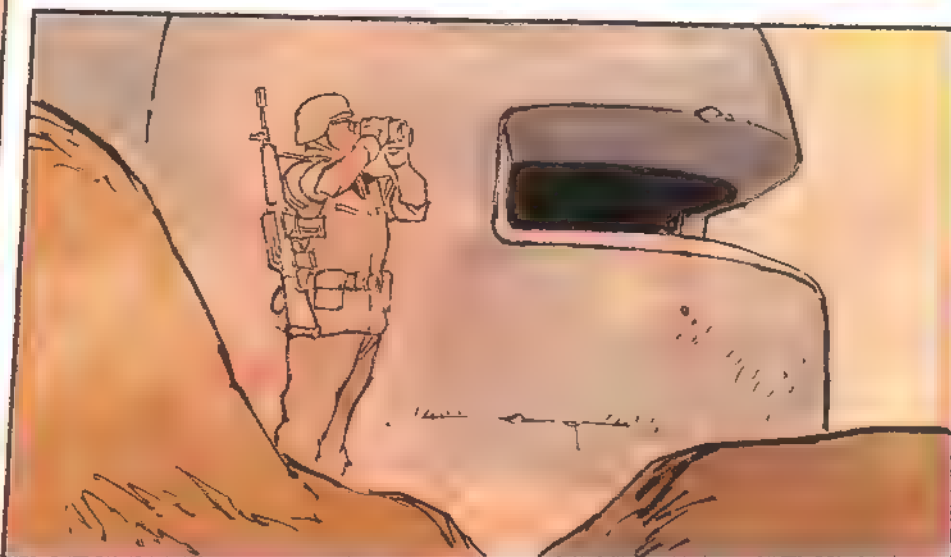
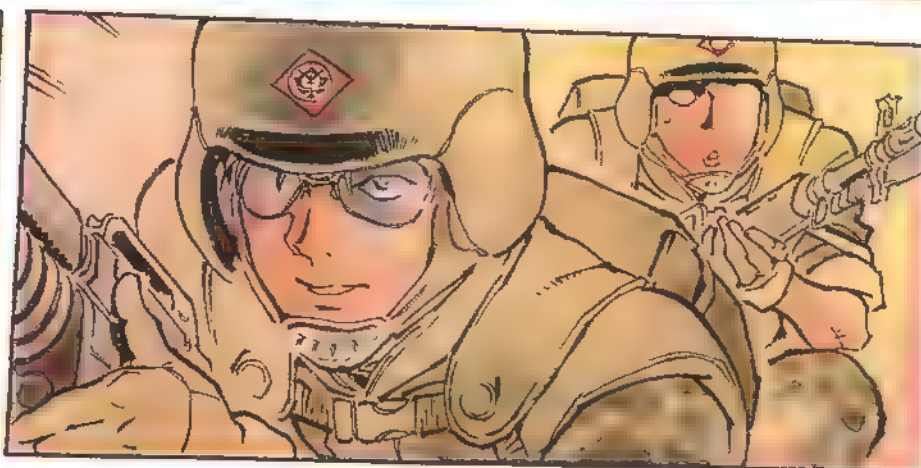
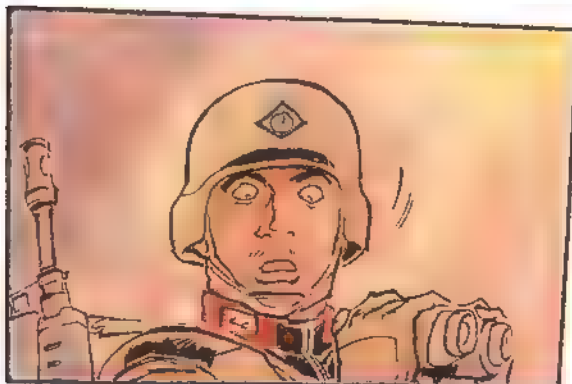
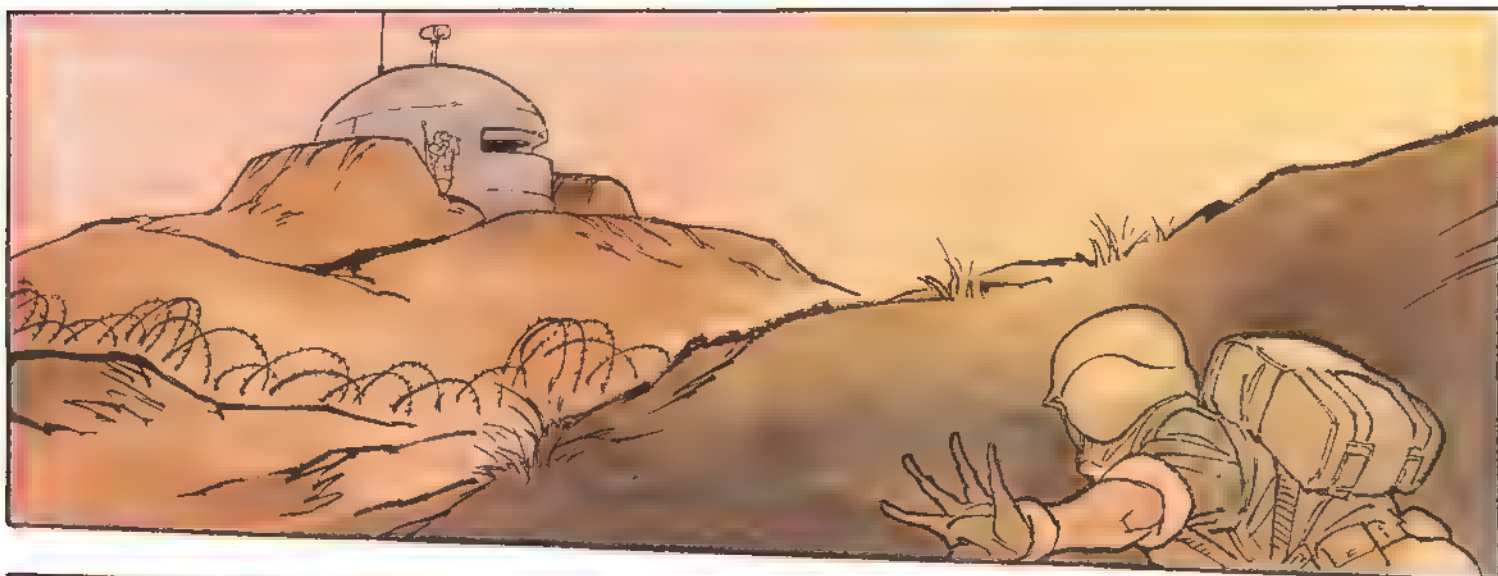
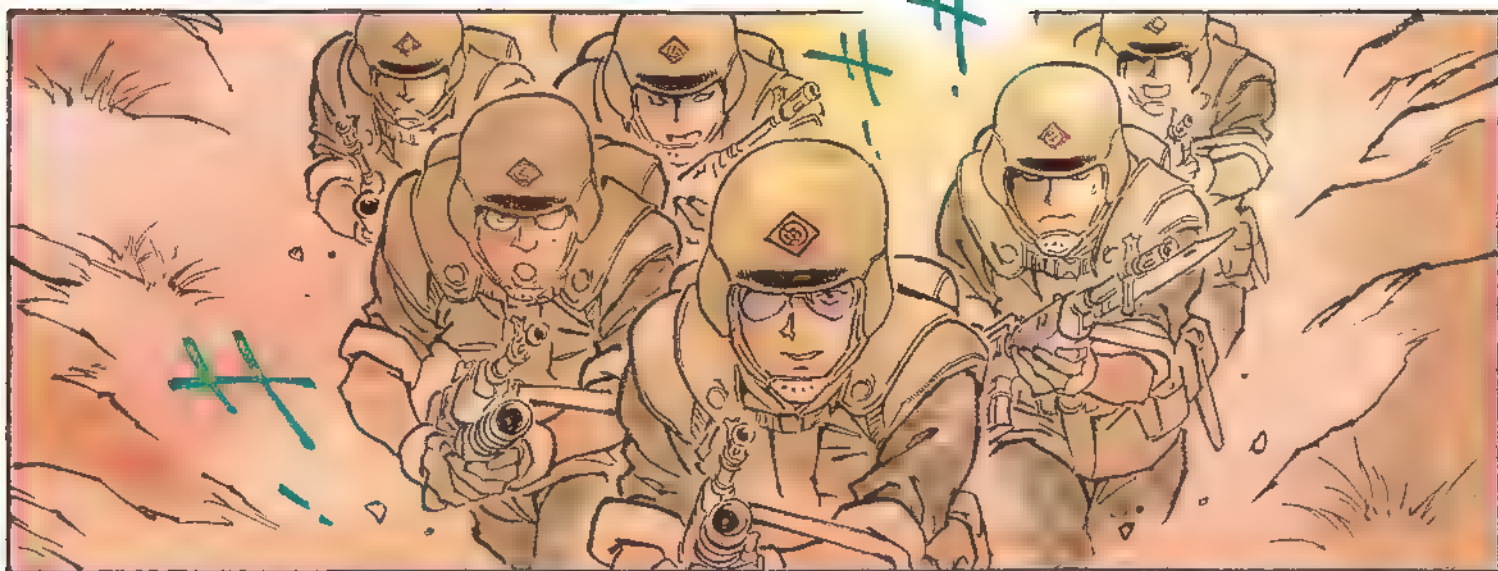
現在地で  
収容を待て!

左翼が  
崩れているぞ

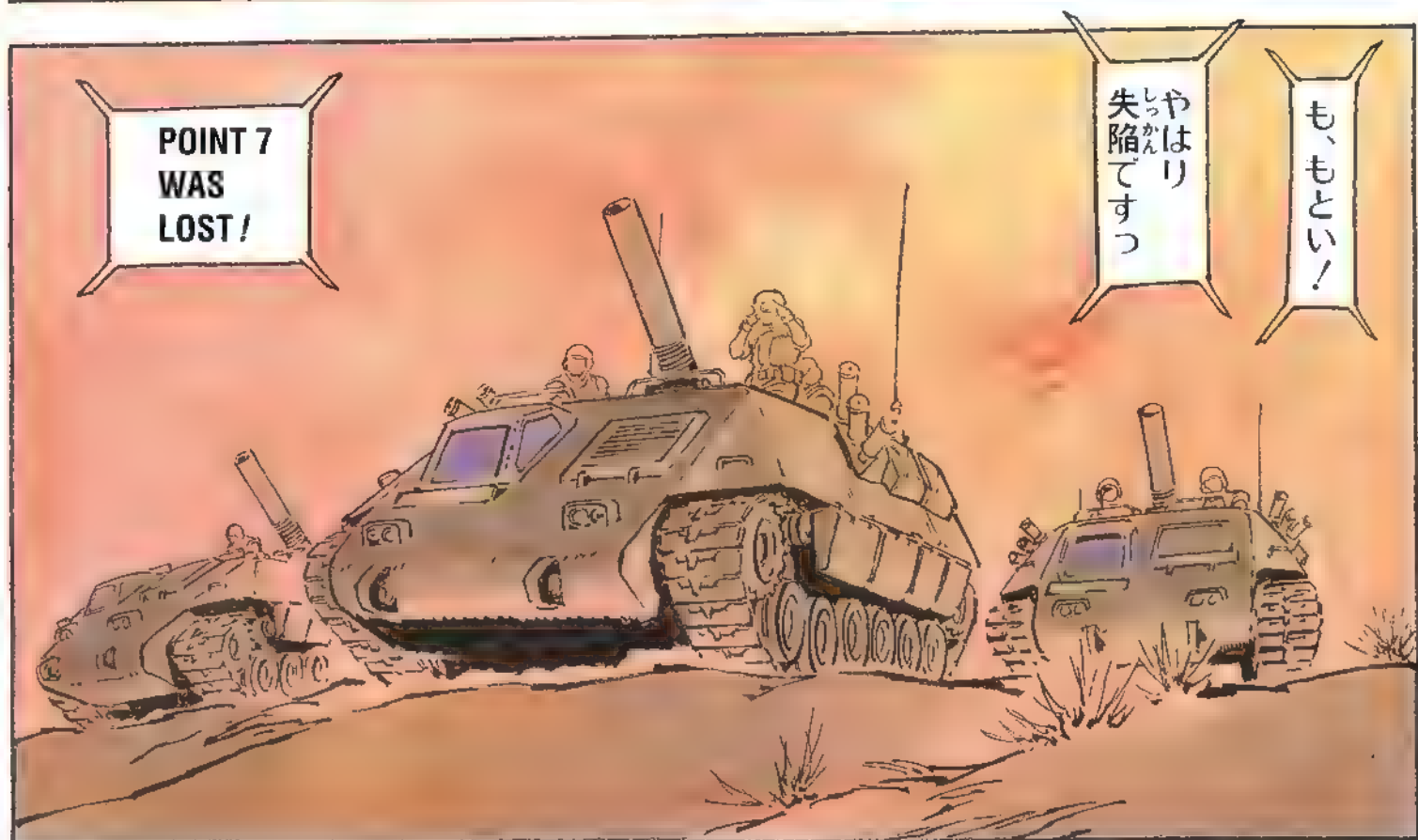
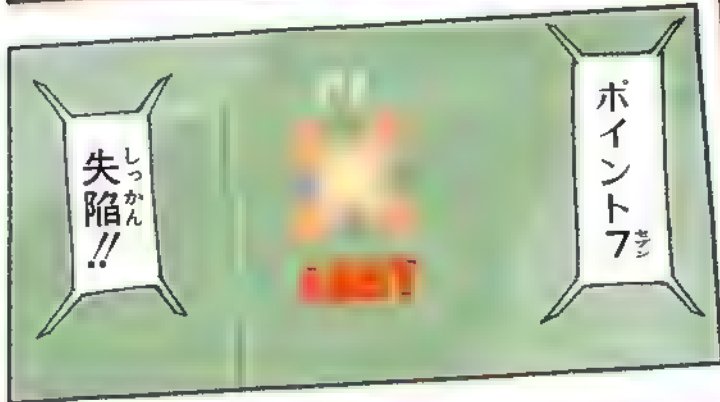
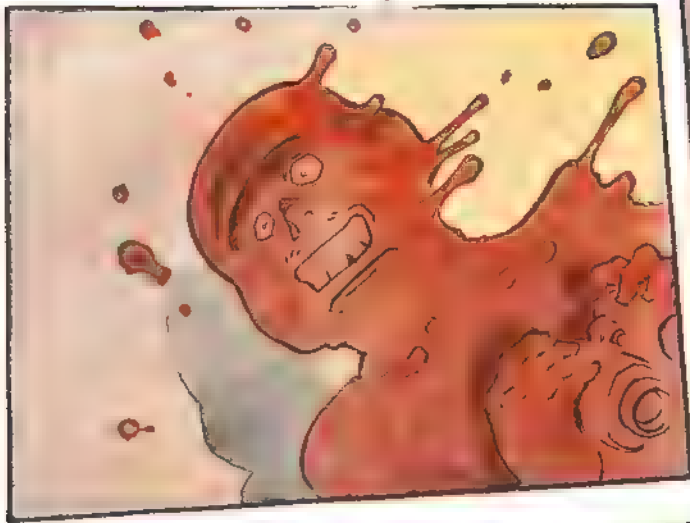














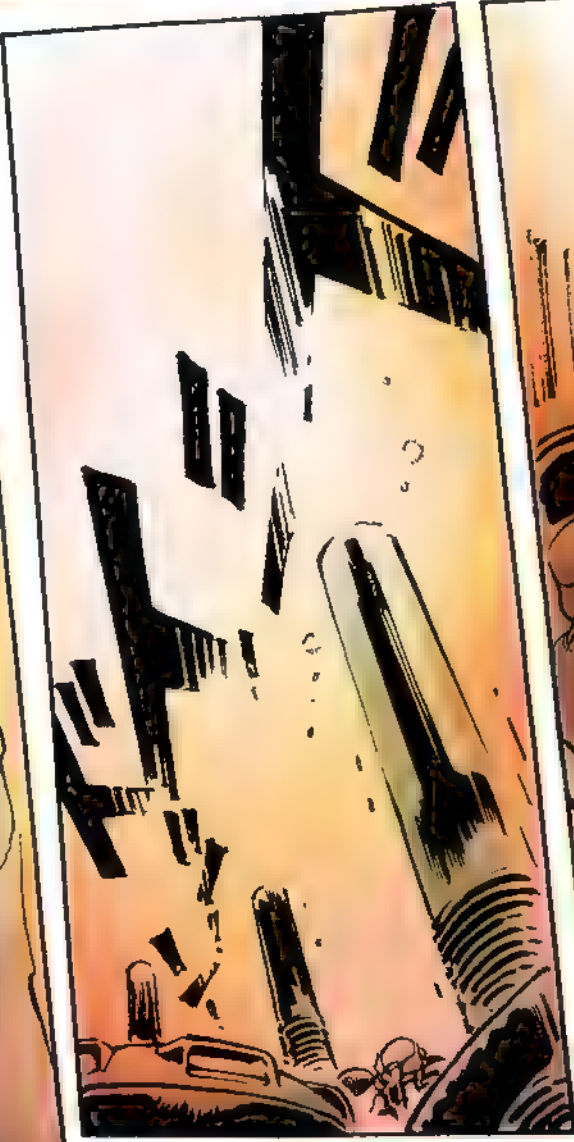
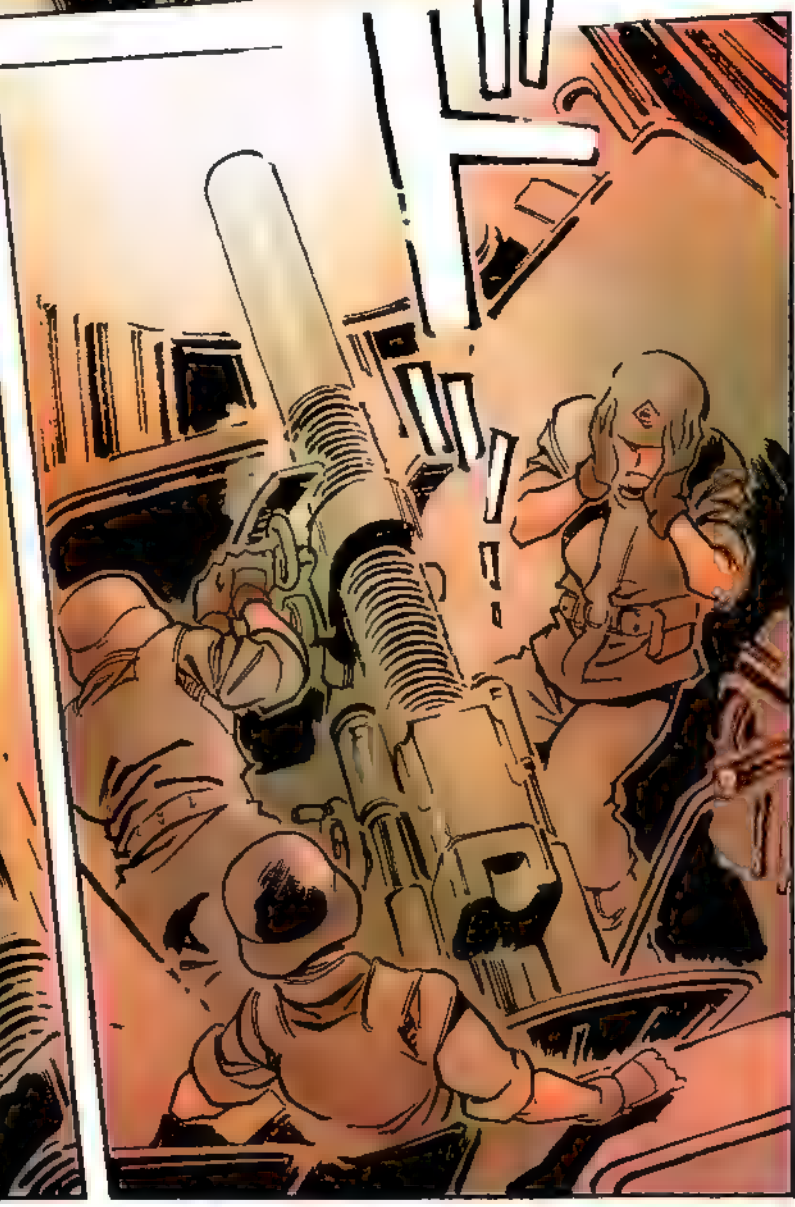
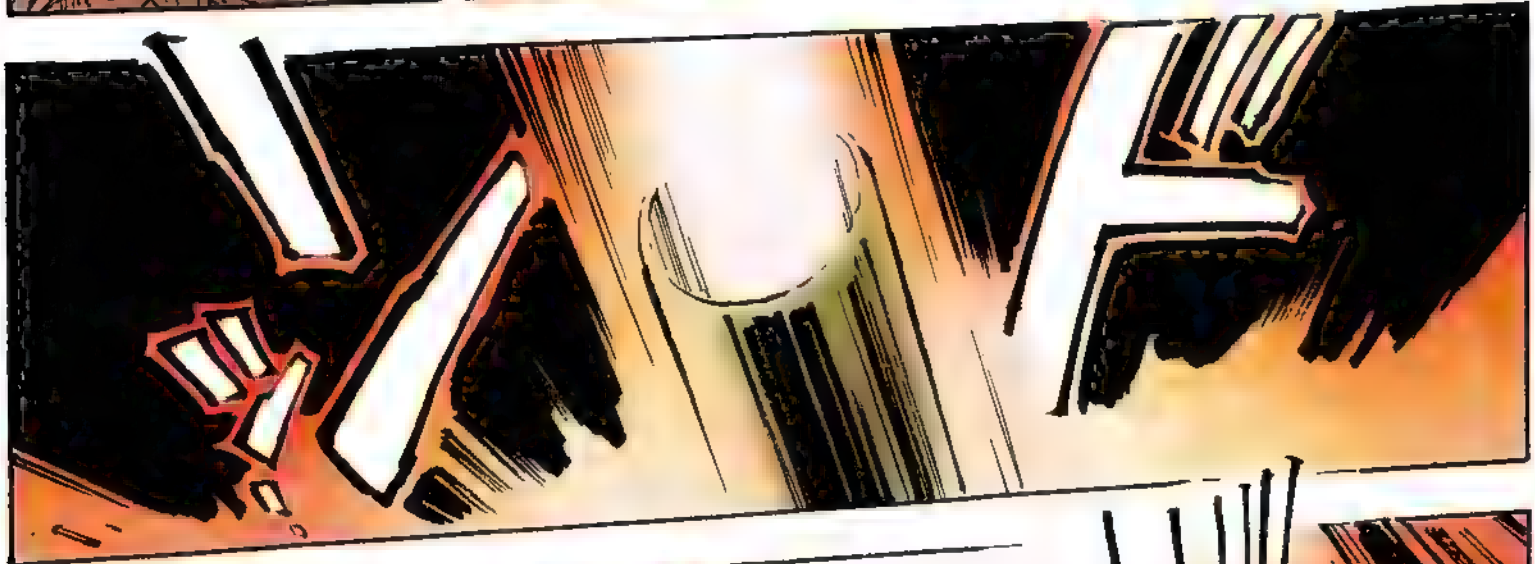
やった！



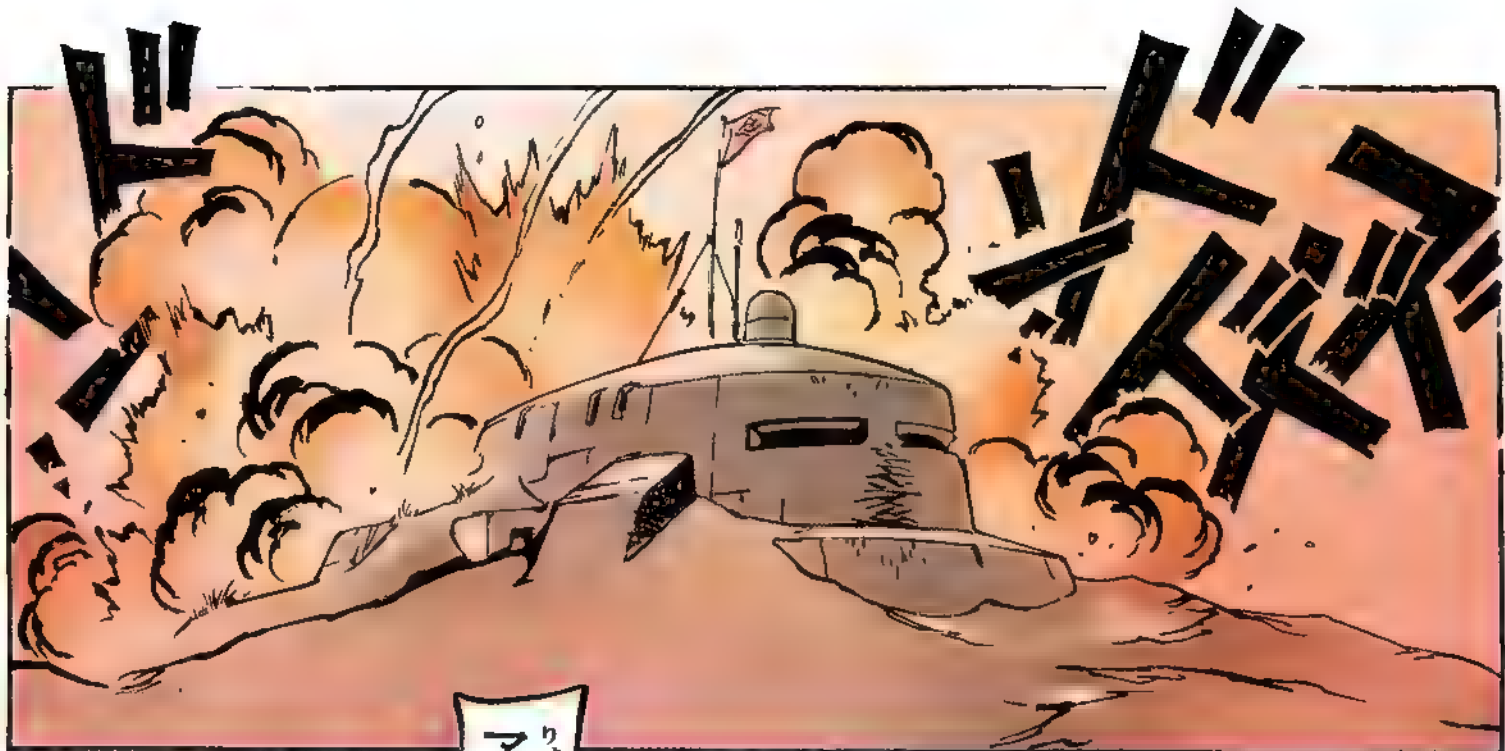
シャア！！



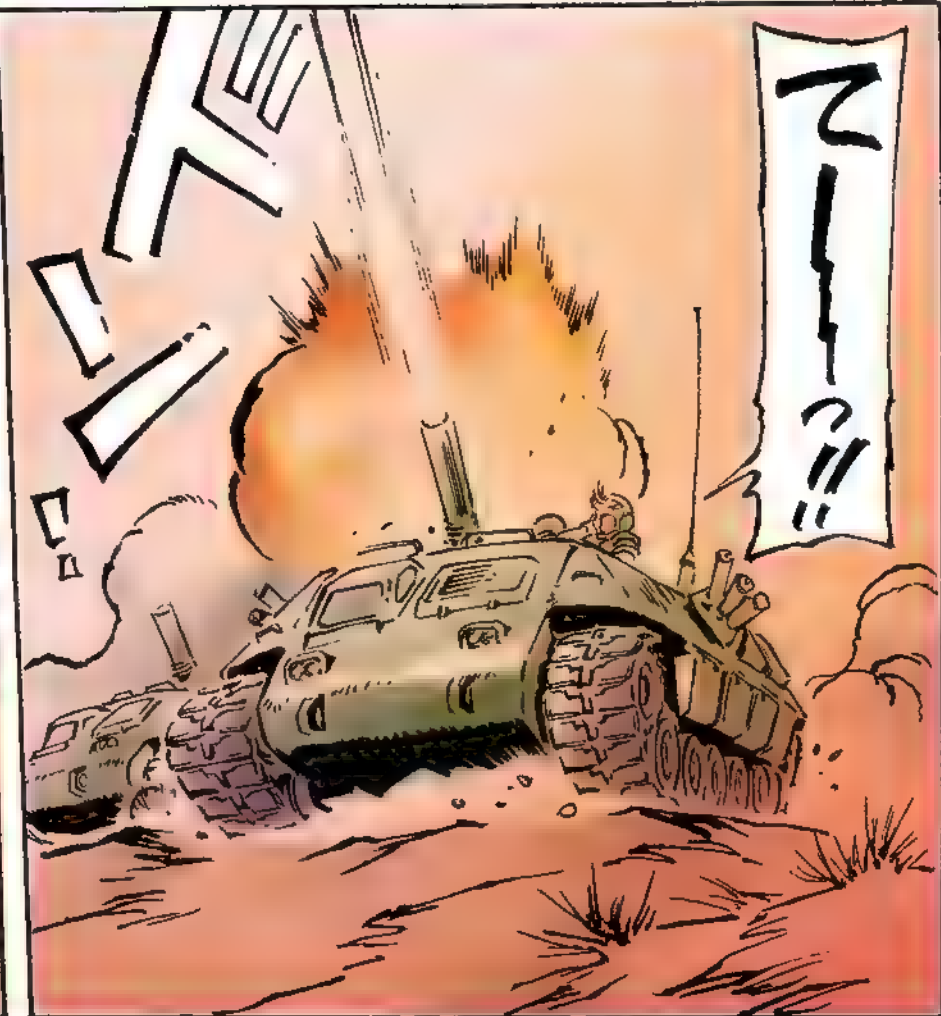
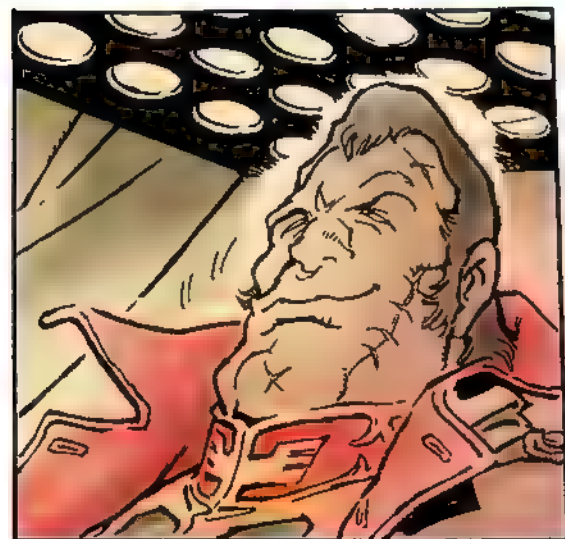
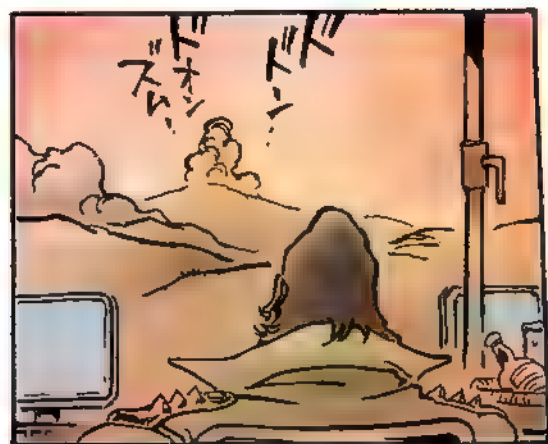
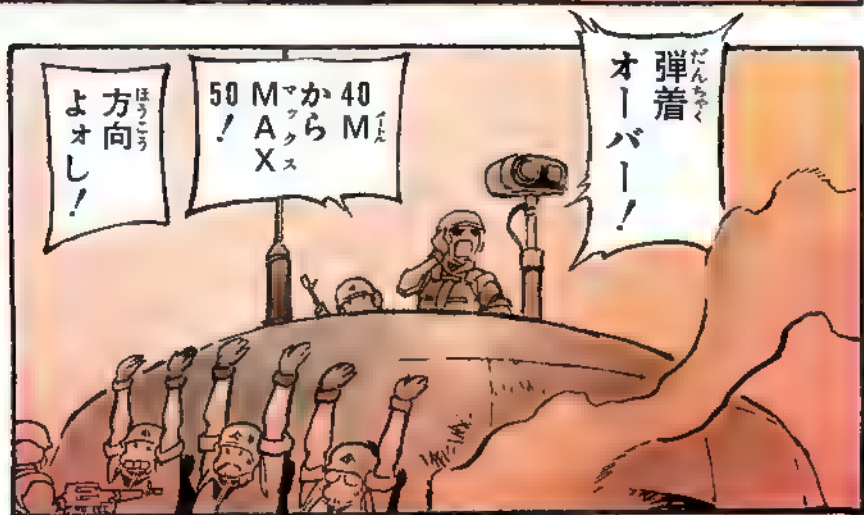
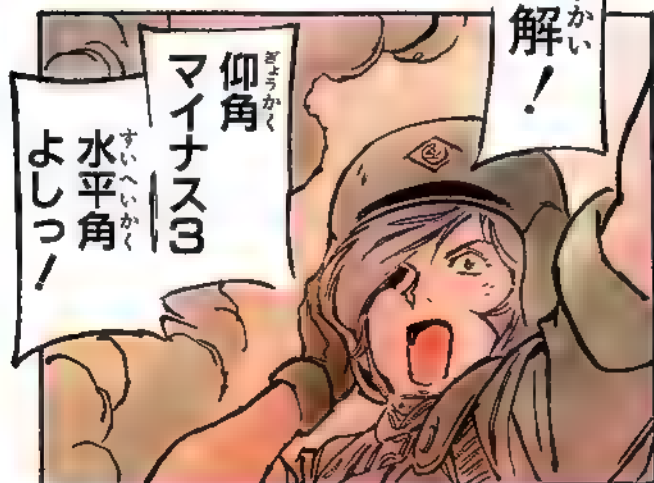
砲撃用意！  
ほうげきようい  
射程  
さいだい  
最大！！



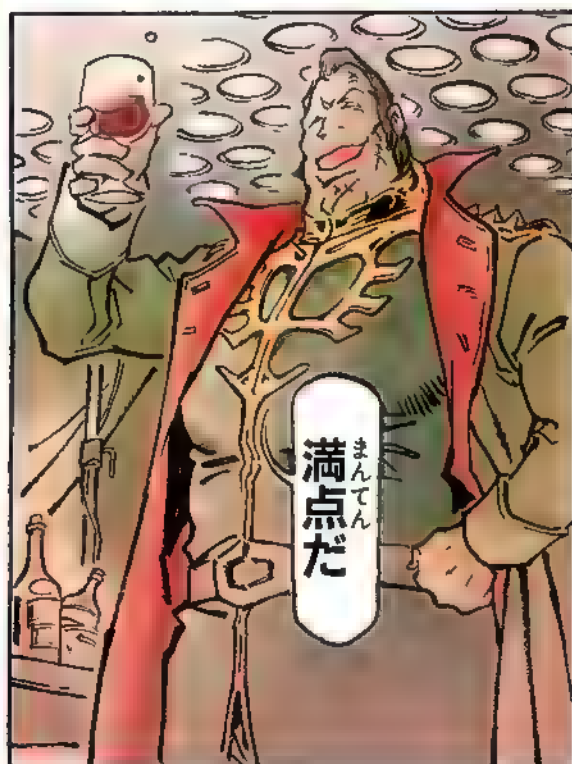
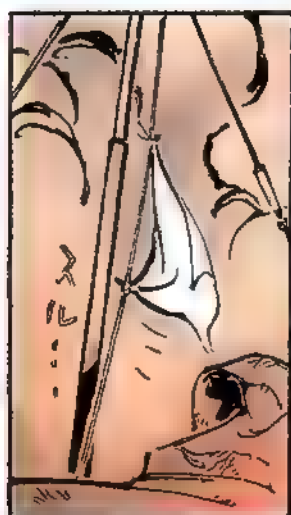
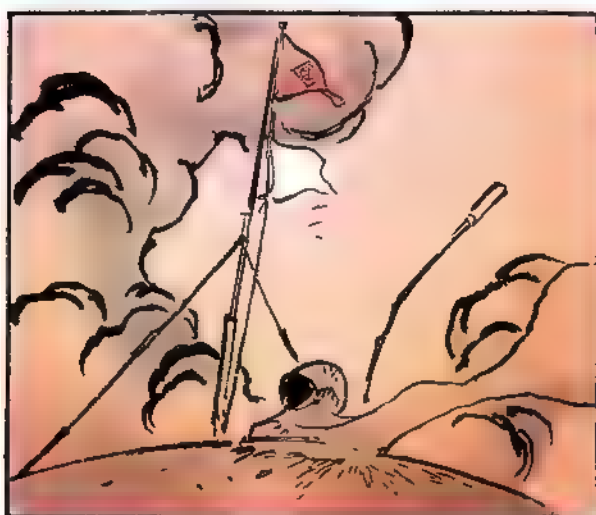
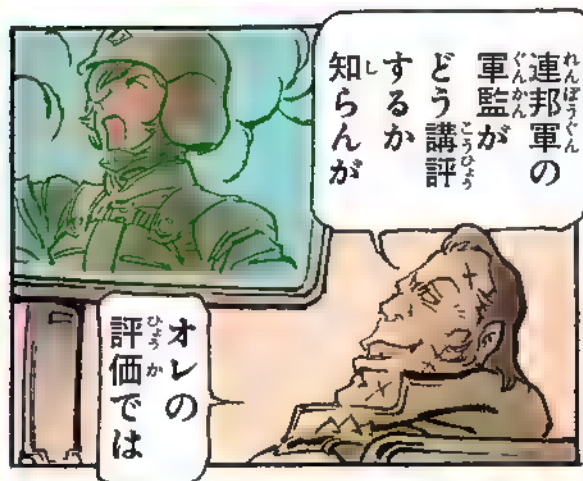
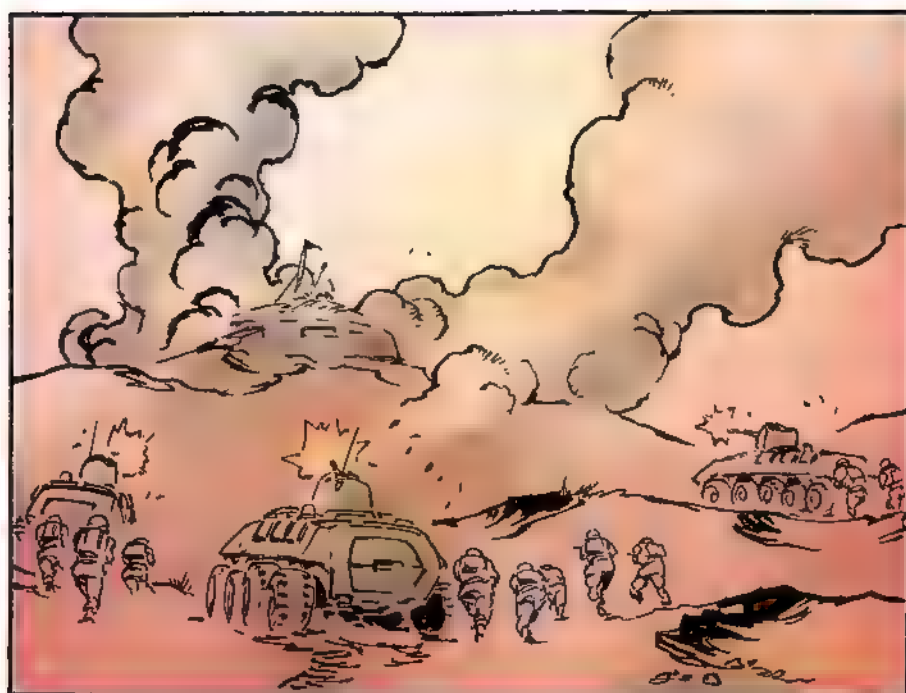




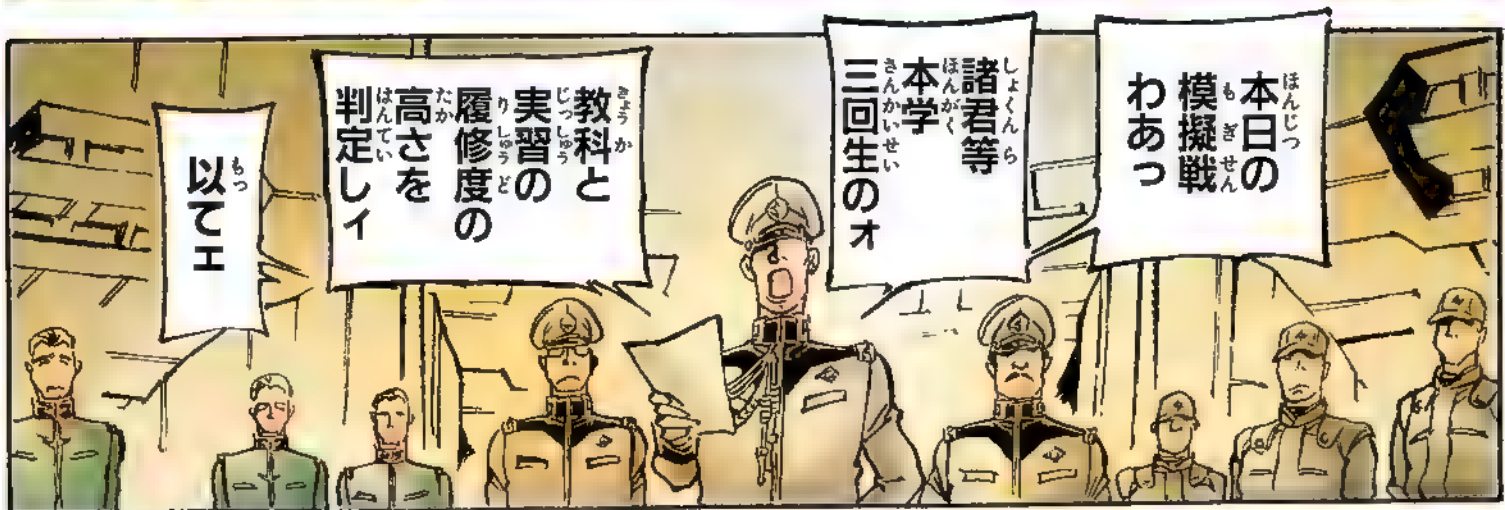
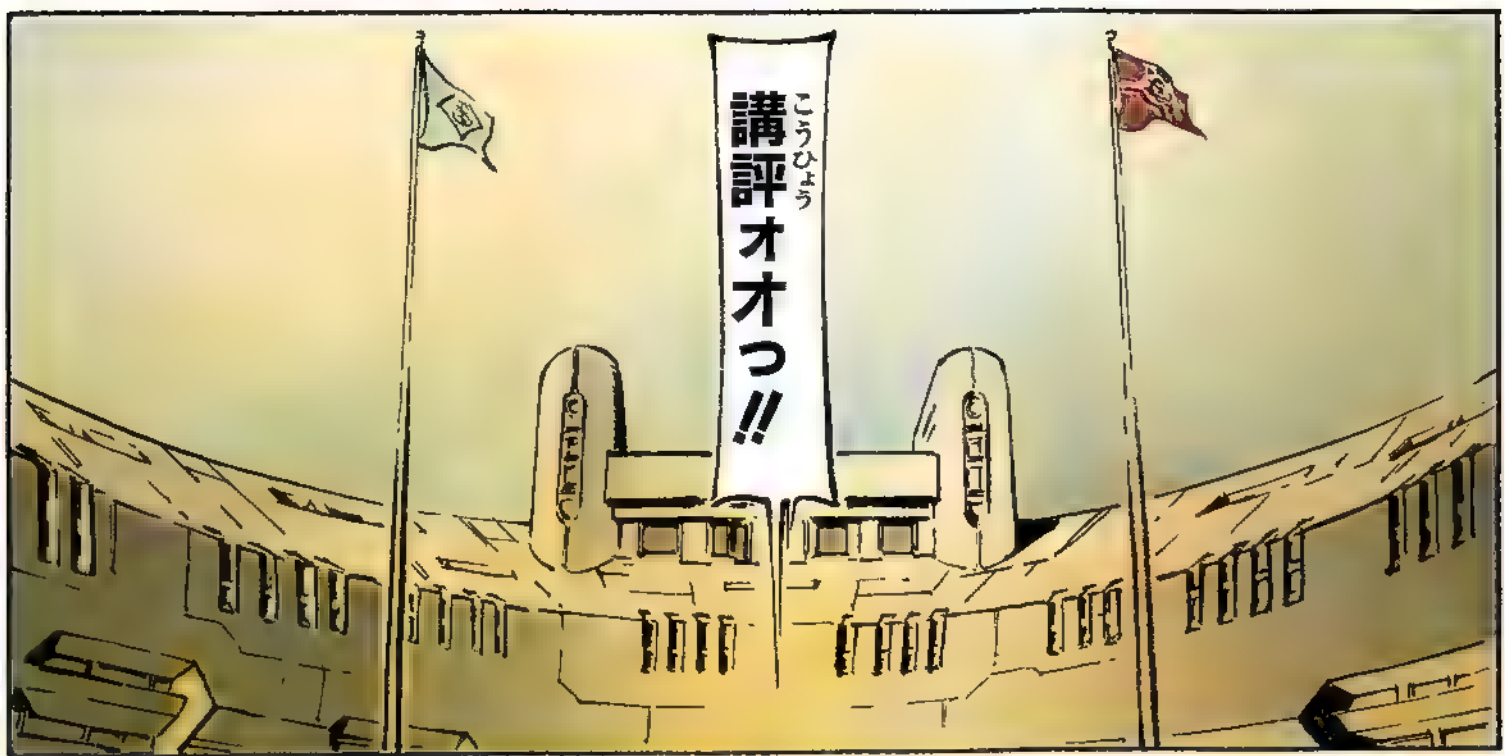
了解！  
りようかい













概ね

「可」であると  
認めるっ

詳細と各人の  
評価はその  
任務分担を  
考慮のうえ  
採点しっ

おって

学務担当者  
を通じて各自に  
通達し かつ  
公表するっ

順調であれば  
全員は晴れて  
専修課程を  
修了しっ

教導隊として  
予備任務に  
つくことになるっ

それがっ

連邦の秩序維持と  
コロニー社会の  
平和と安全と  
繁栄のために戦う  
諸君の任務の  
始まりであるっ

大いに自覚せよ  
諸君っ！

連邦とコロニー間の  
離反を画策する  
悪しき扇動が

社会に顕在化  
しつつある今日

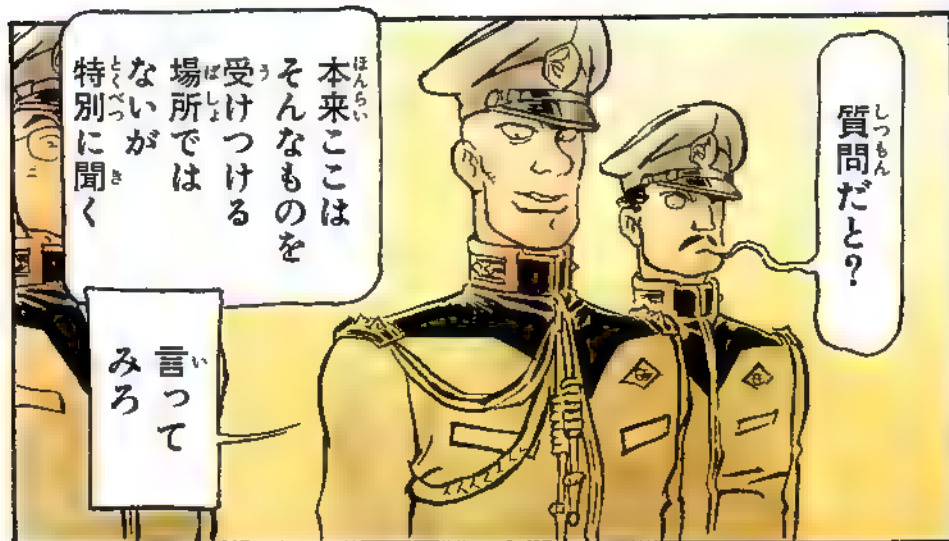
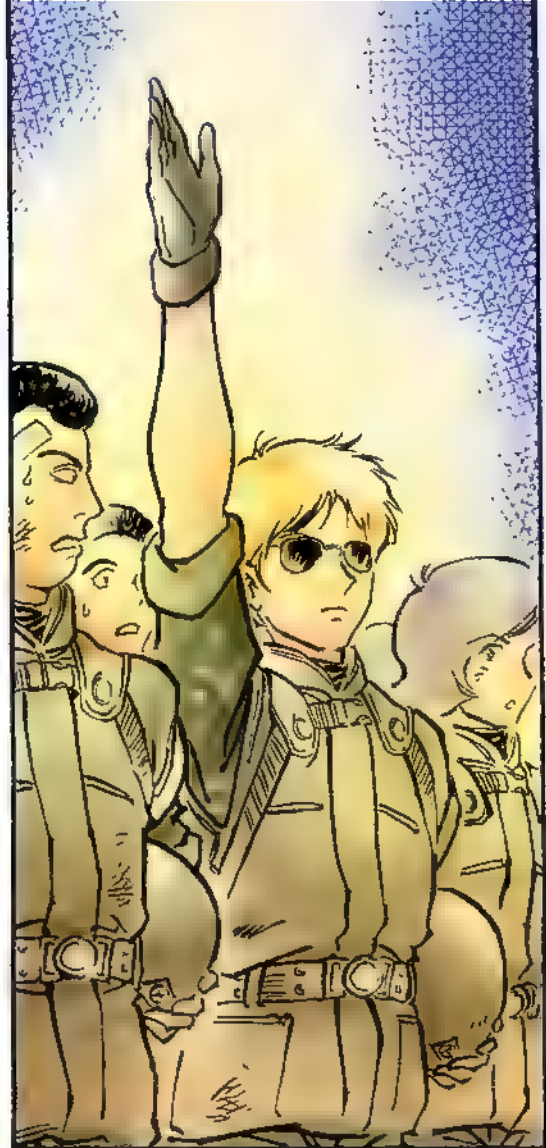
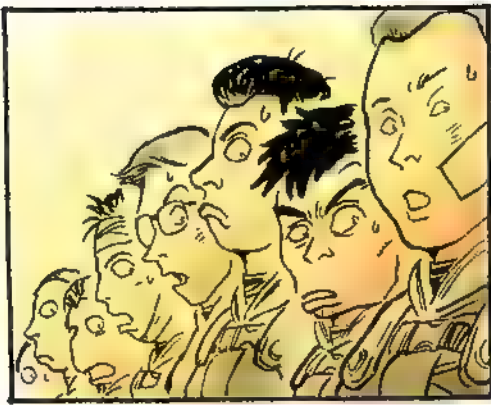
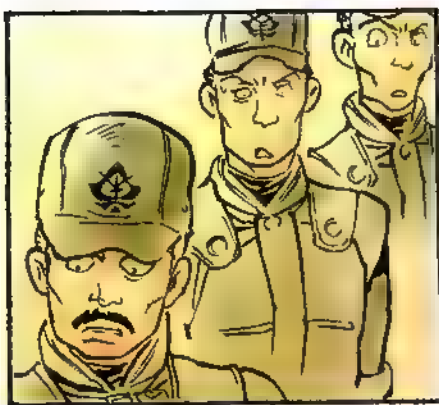
諸君の役割は  
重要であるっ！

それらに惑わされる  
ことなく 本来の  
任務を忠実に――

軍監殿に

質問っ

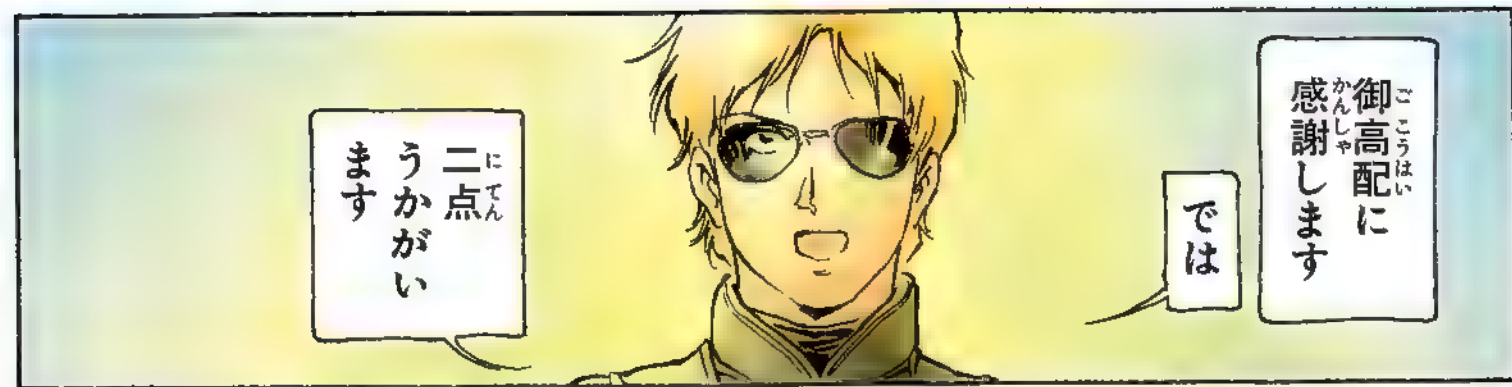




質問だど？

ほんらい  
本来ここは  
そんなものを  
受けつける  
場所では  
ないが  
特別に聞く

言うて  
みろ



ごうはい  
御高配に  
かんしゃ  
感謝します

では

二点  
うかがい  
ます



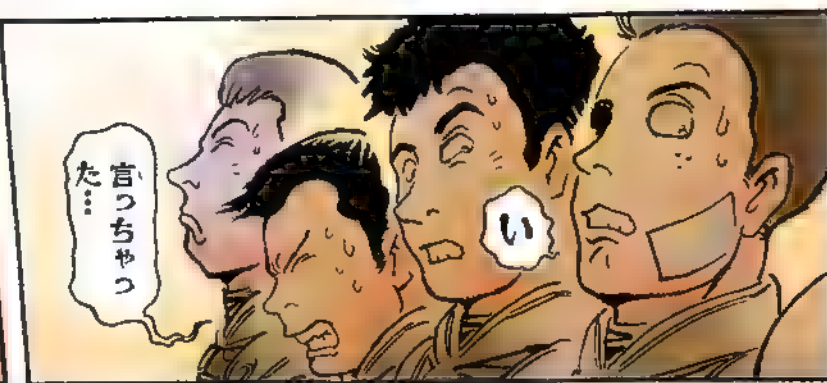
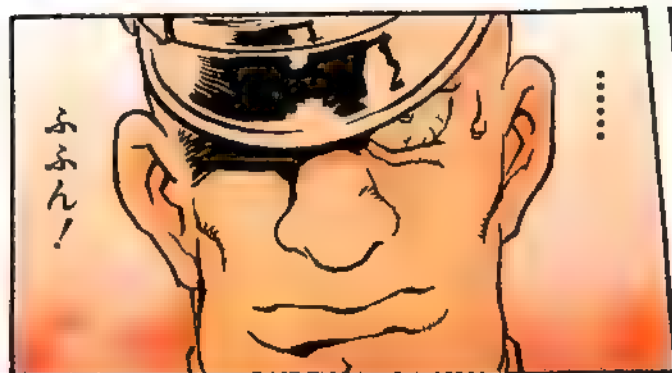
そつごう  
卒業最終考査である  
この模擬戦は実際の任務を  
模したものと解されます

ならばっ

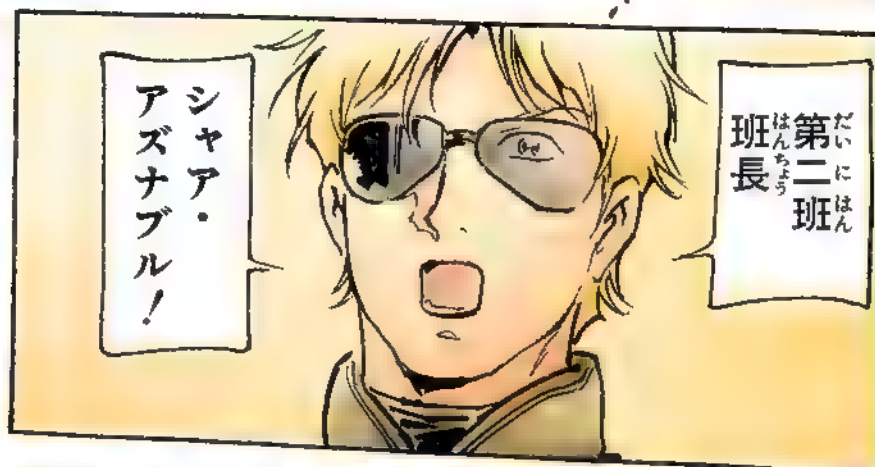
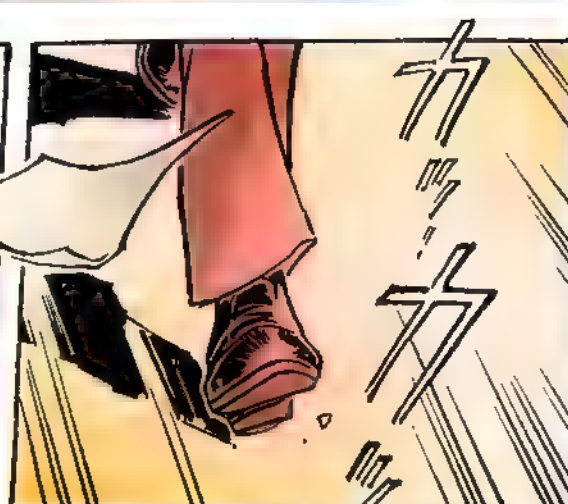
そうび  
装備において劣勢とされた  
ほん  
本シミュレーションはいいたい  
いかなる状況を想定して  
さくせい  
作製されたのですか？

もう一点っ

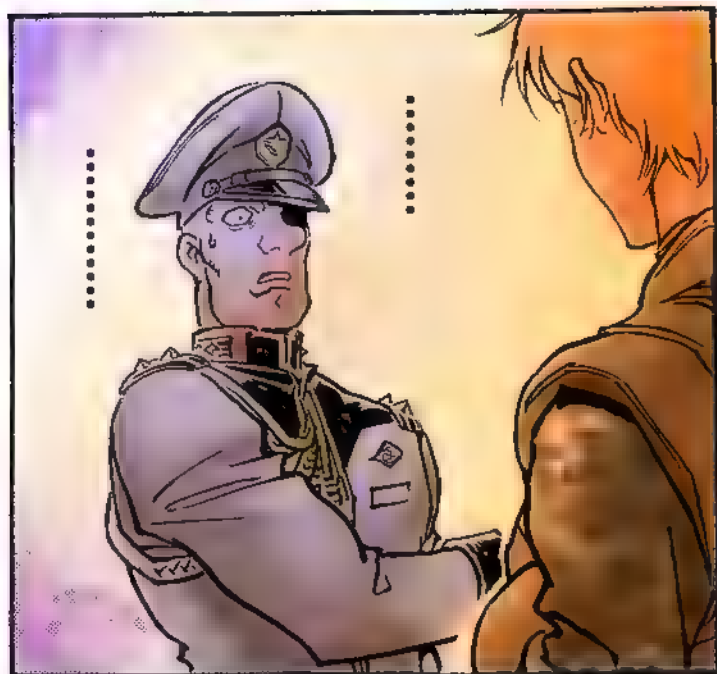
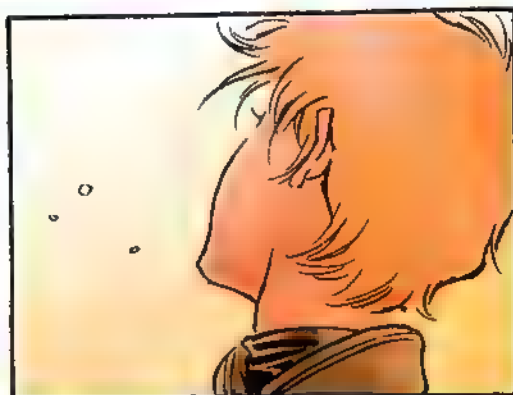
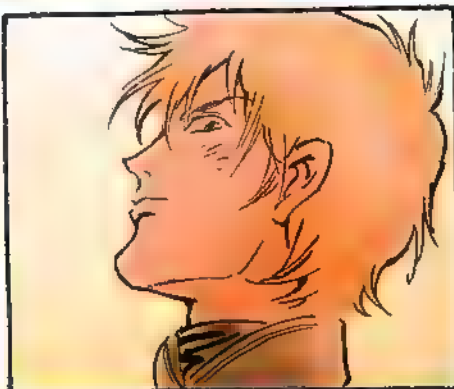
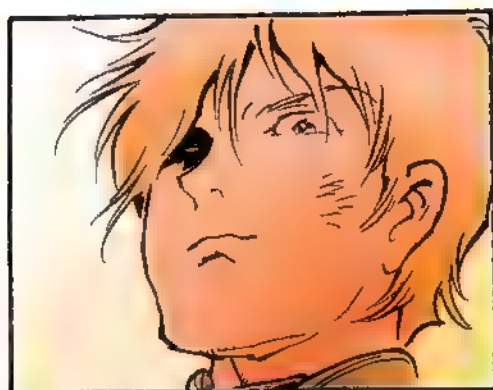




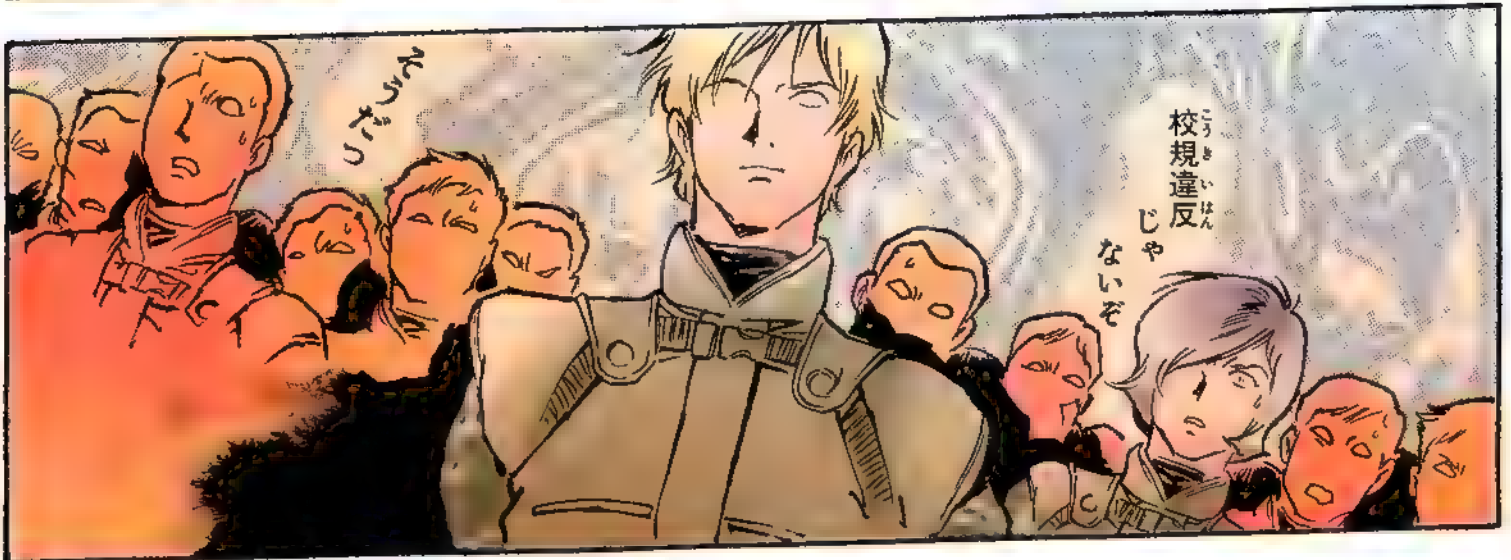
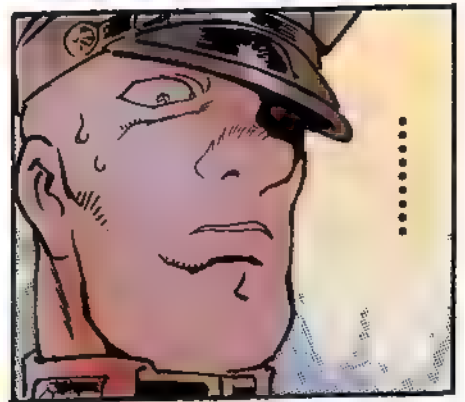
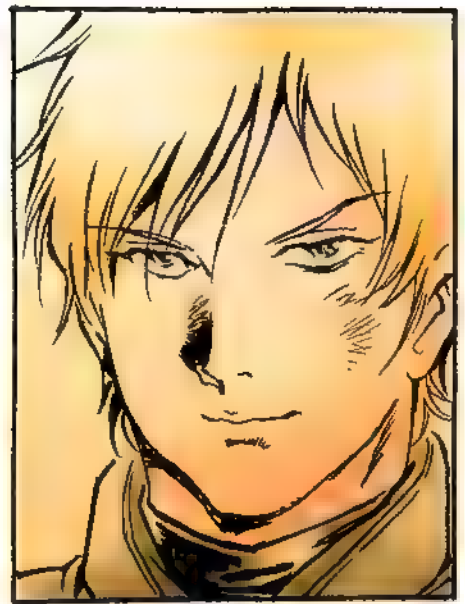




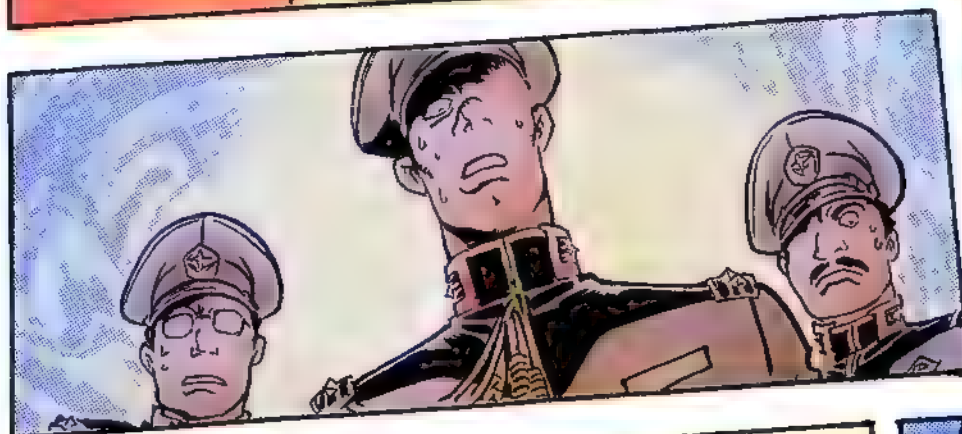
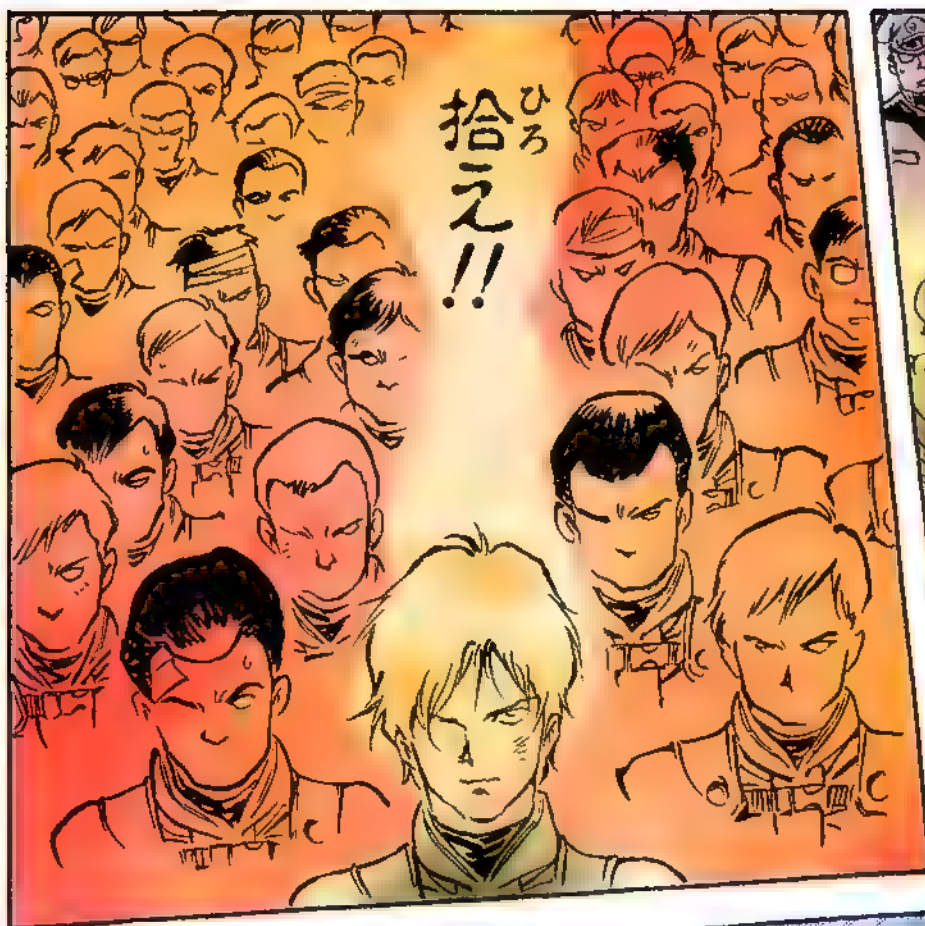














かれ  
こうき  
いはん  
彼は校規に違反  
していませんっ

ひろ  
ひろ  
バイザーを拾って  
まちが  
みと  
間違いをお認めに  
なるべきです

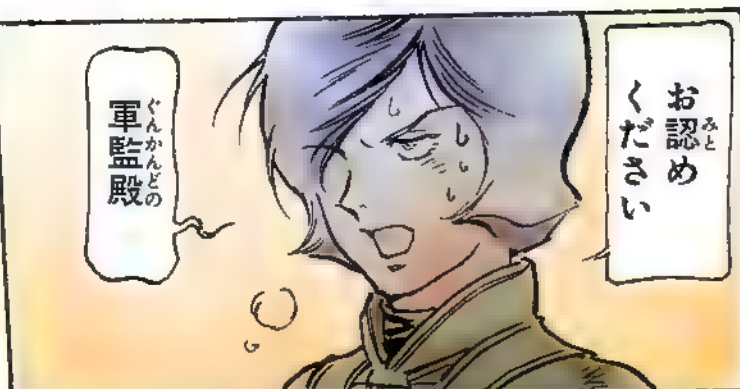
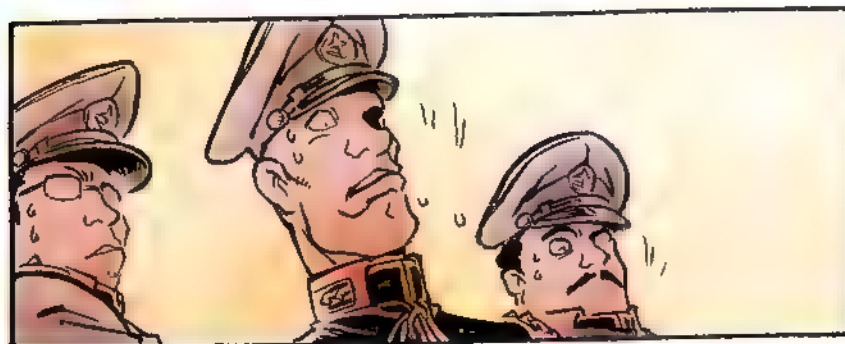
そうだっ!!

お認め  
ください

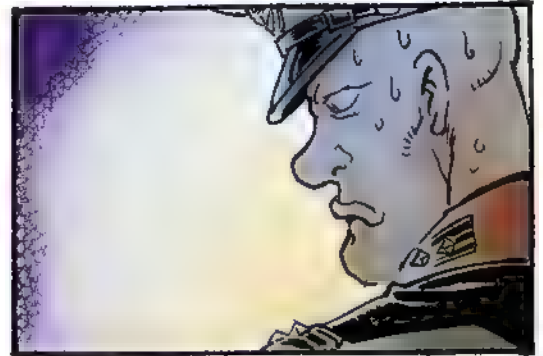
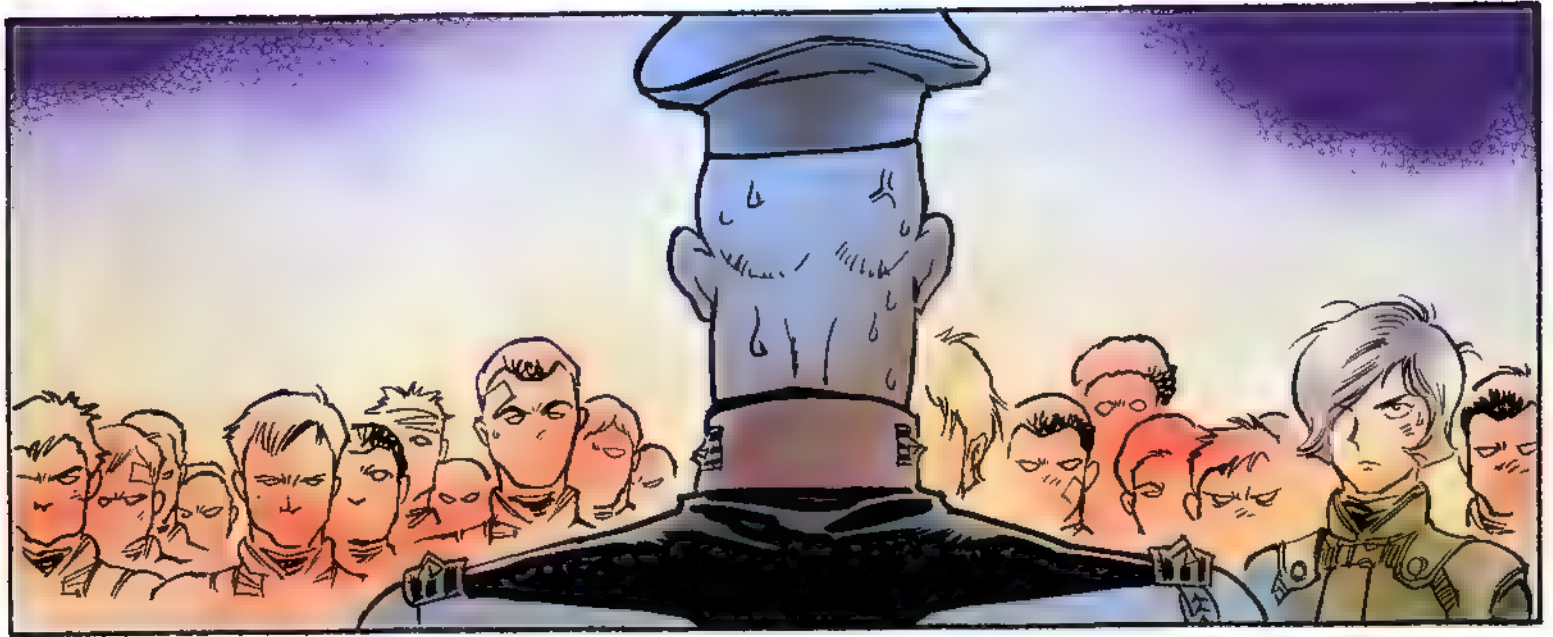
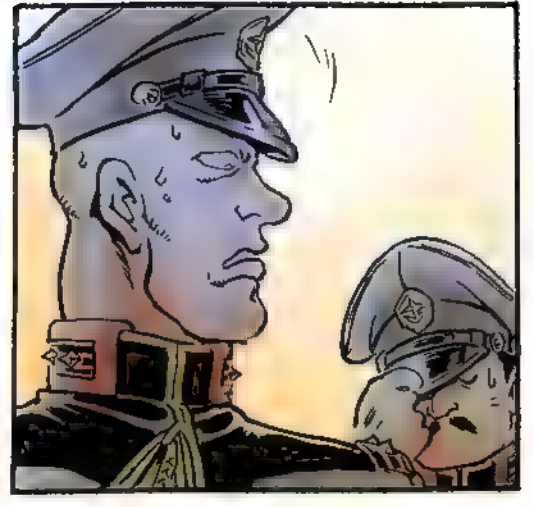
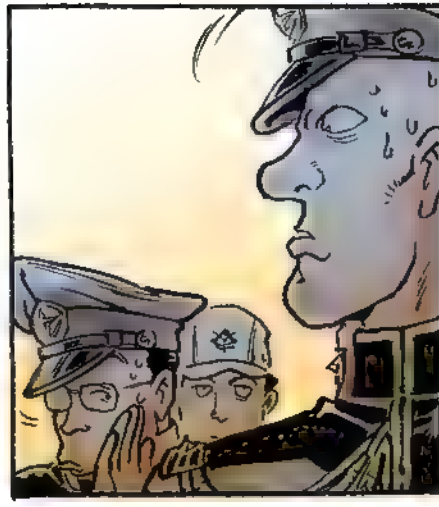
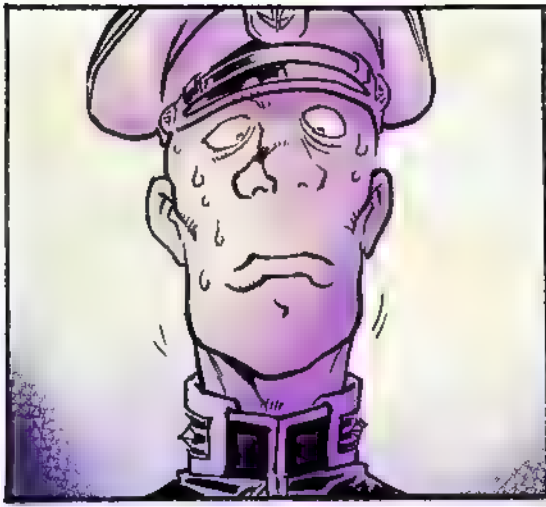
ぐんかんの  
軍監殿

これは

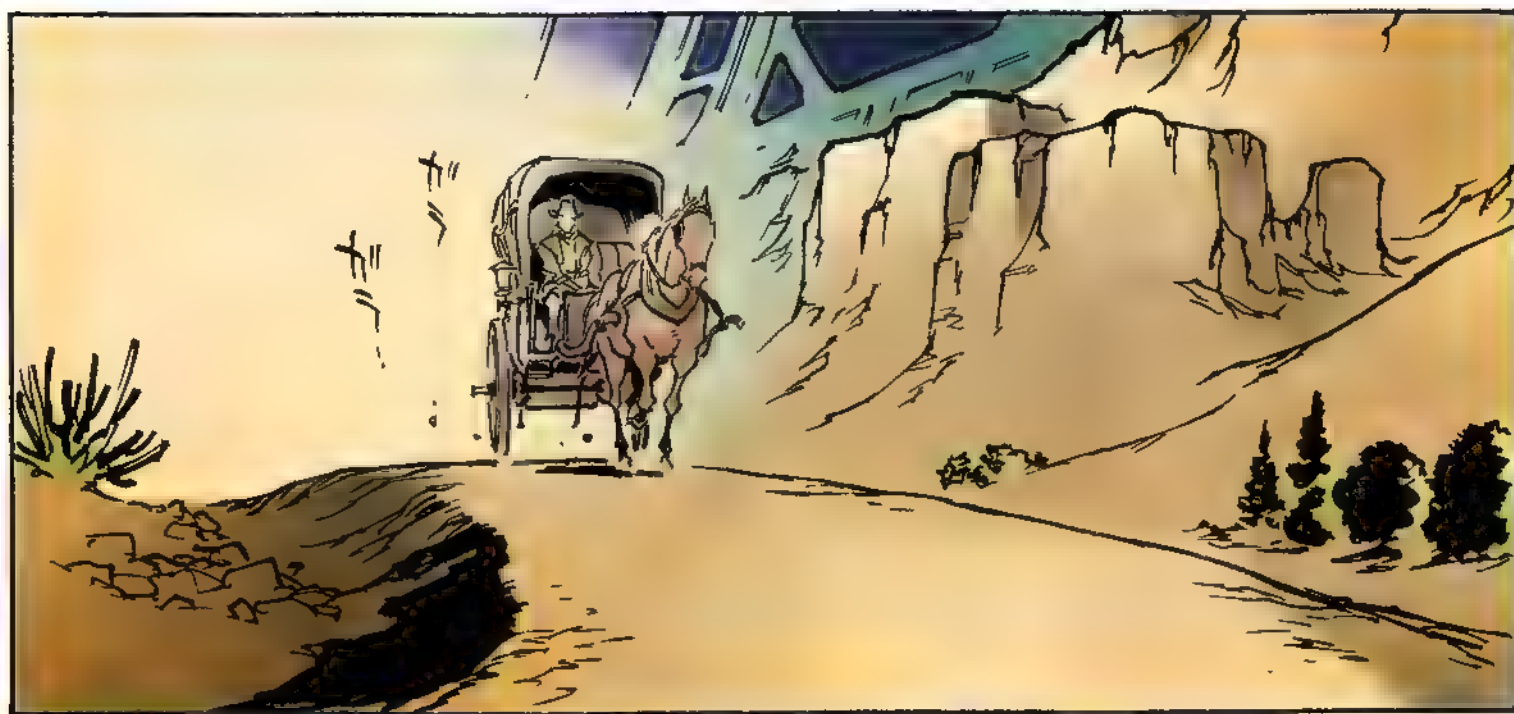
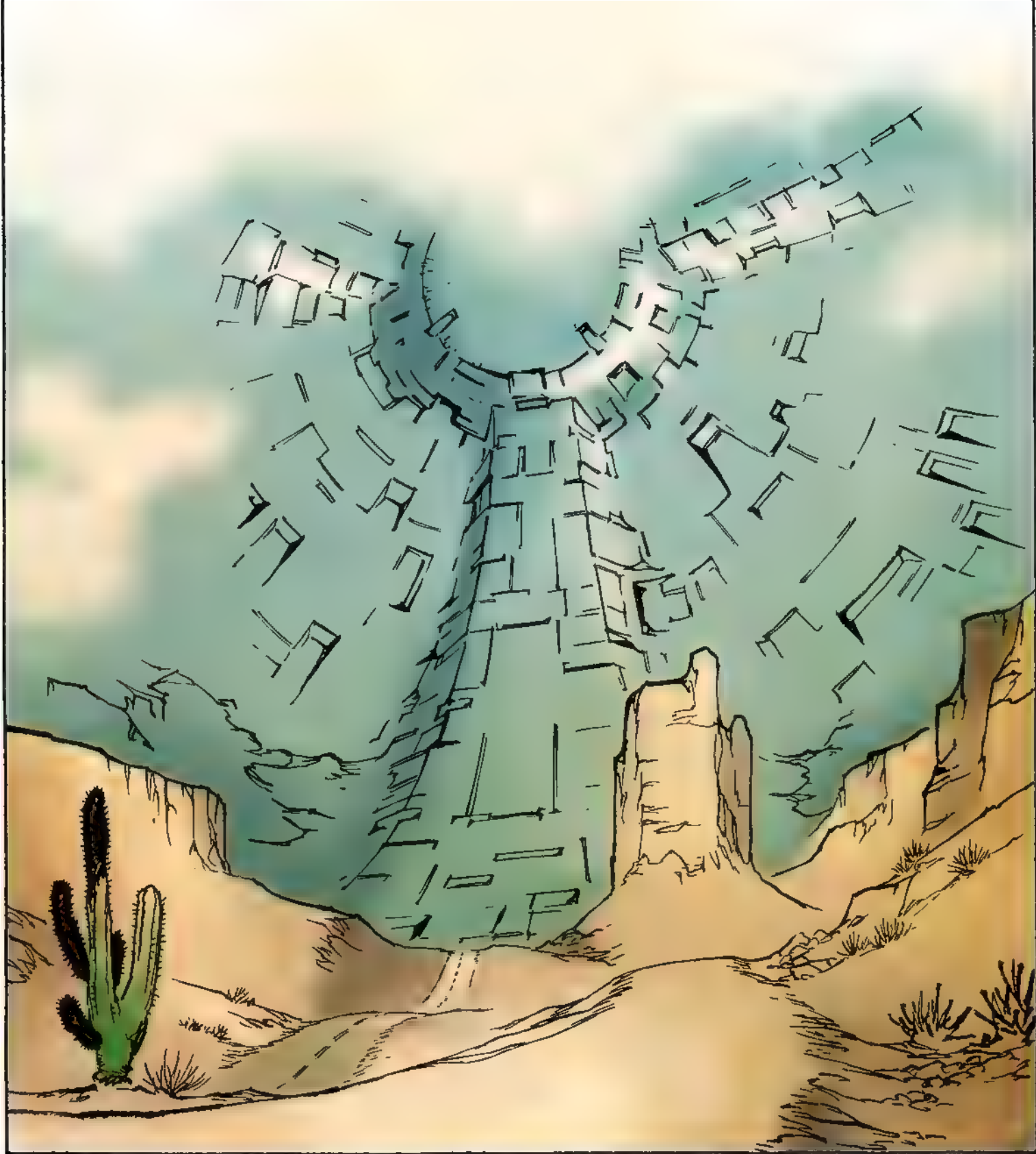
ようき  
要求ですっ!!



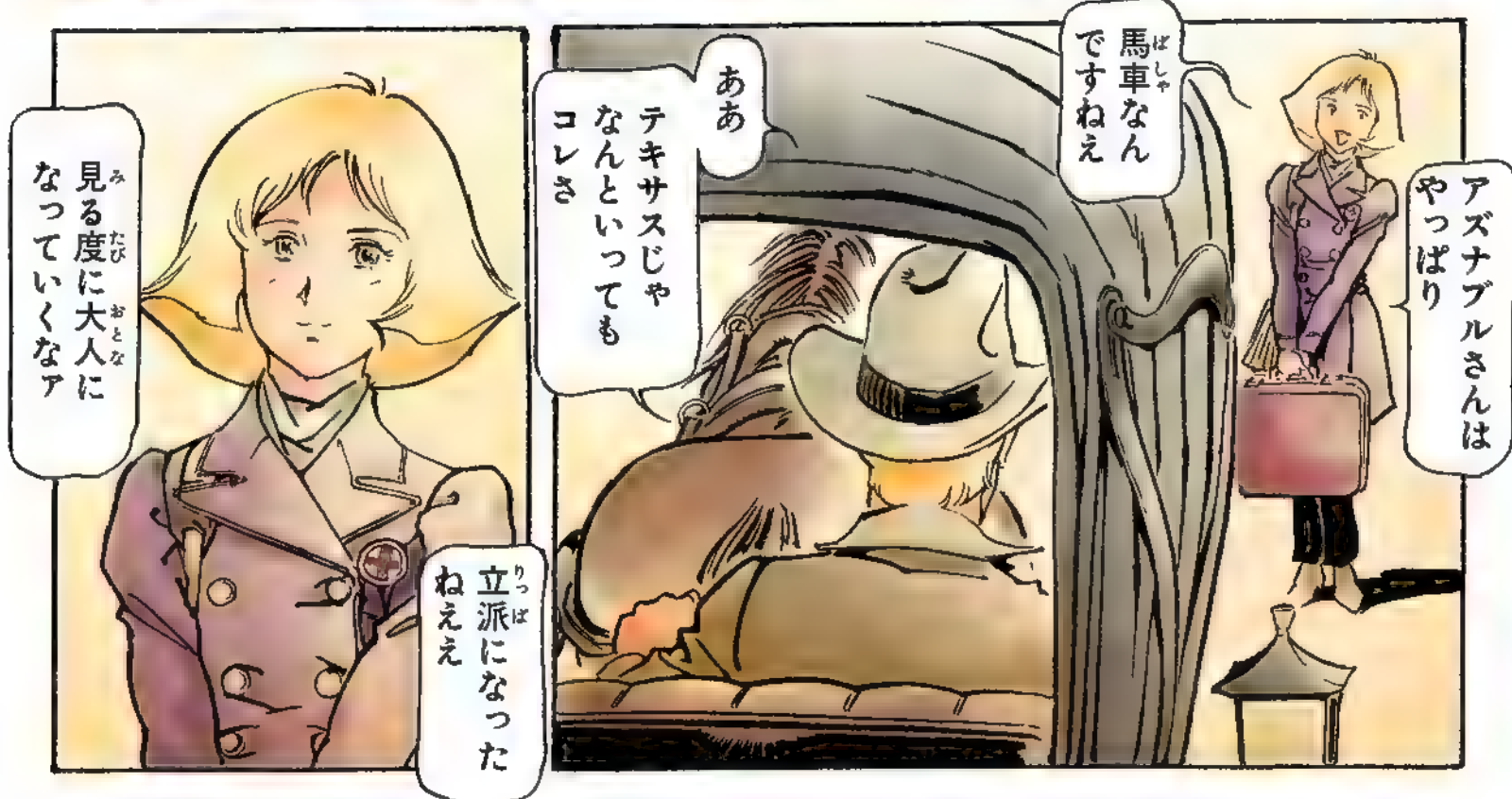
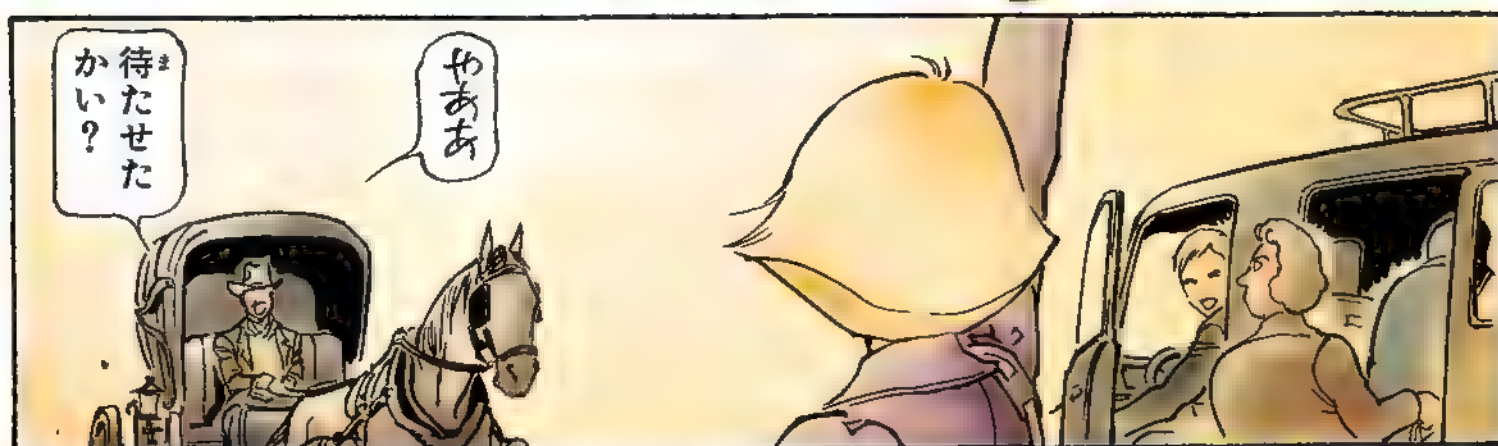




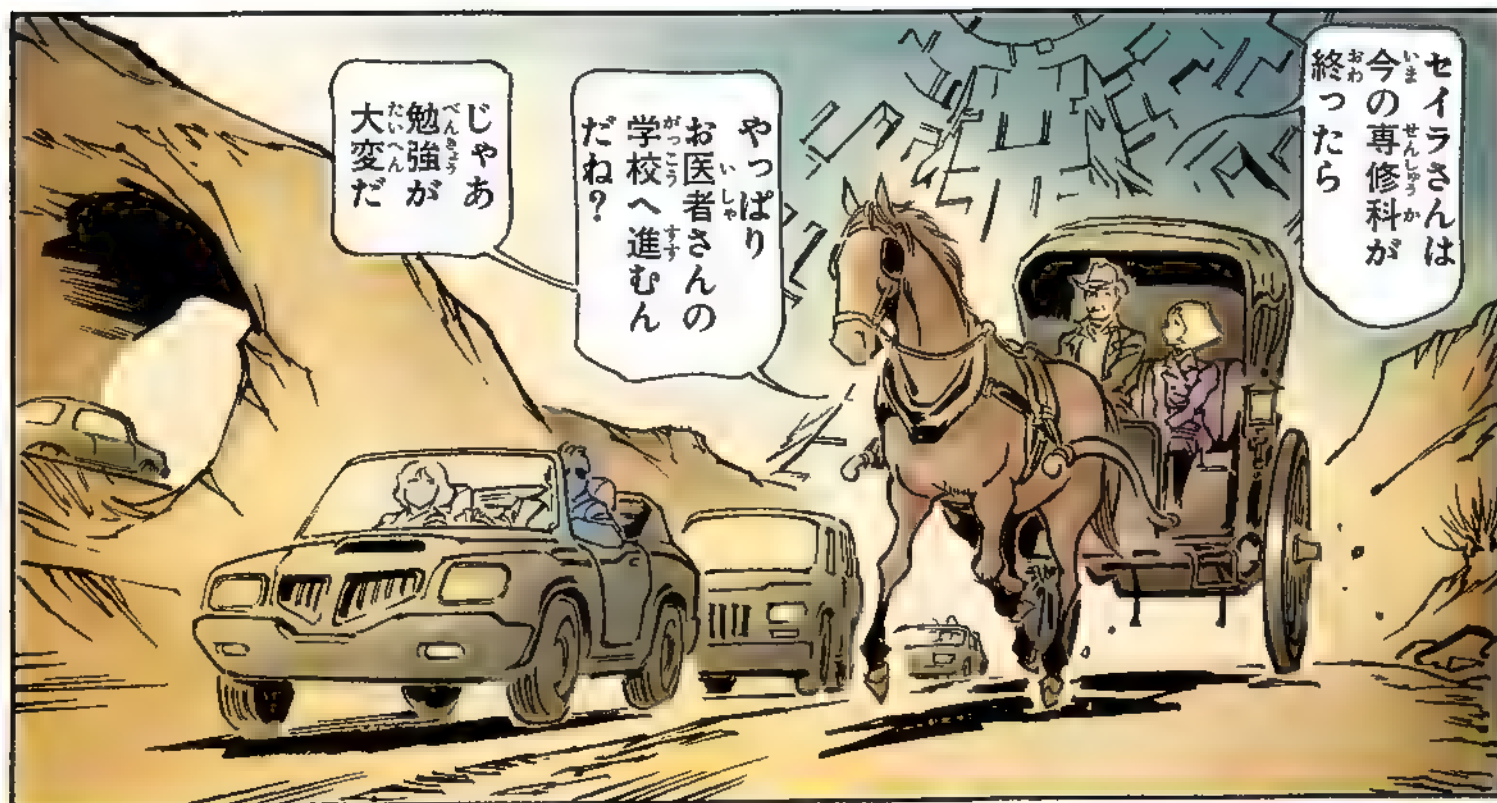








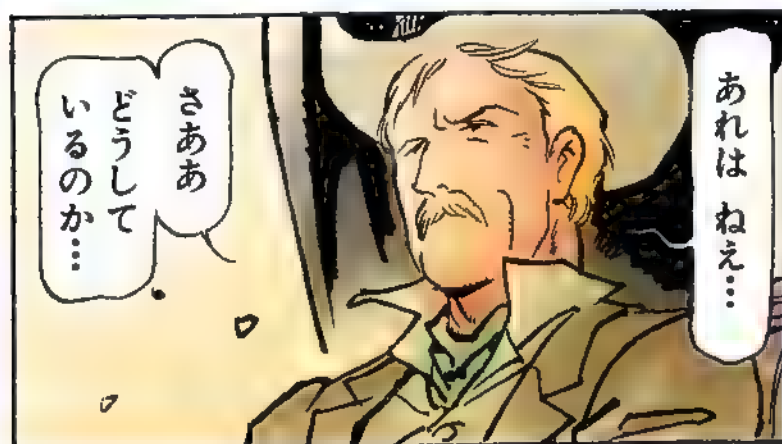




セイラさんは  
今の専修科が  
終わったら

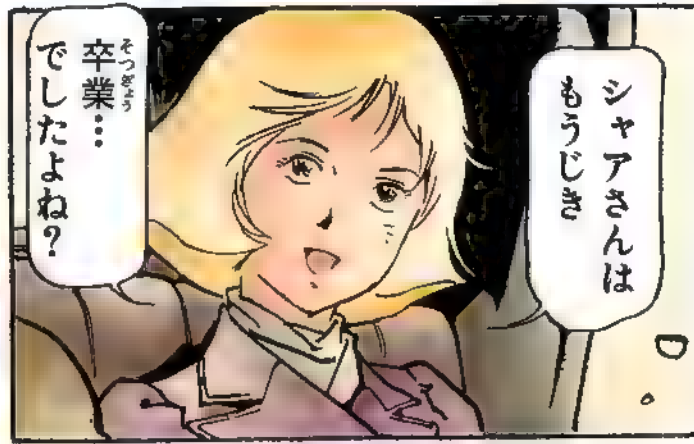
やっぱり  
お医者さんの  
学校へ進むん  
だね？

じゃあ  
勉強が  
大変だ



あれはねえ…

さああ  
どうして  
いるのか…



シヤアさんは  
もうじき

卒業…  
でしたよね？



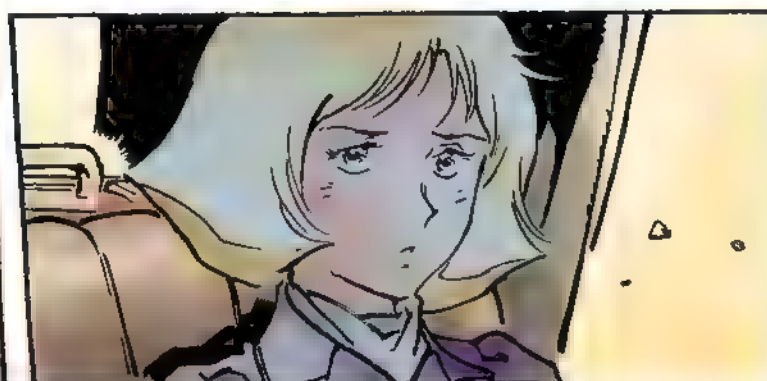
軍隊なんて  
ところにとられたら  
息子は

死んだような  
ものだと思っ  
ては  
いたけれどねえ

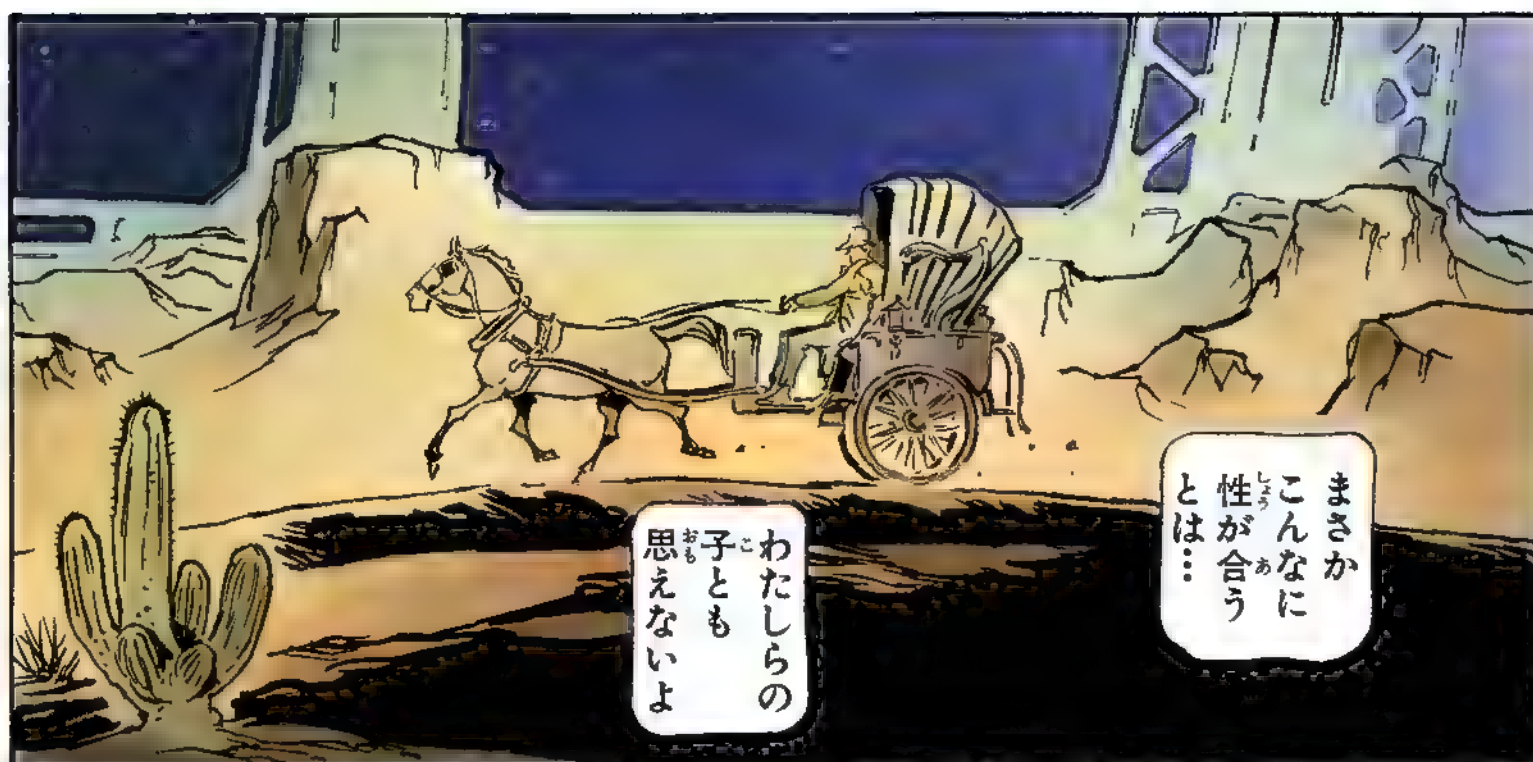


休暇だって  
あるだろうに  
一度も帰って  
来ない

手紙も  
最初の頃に  
何通か来たっ  
きり…







まさか  
こんな  
性<sup>しょう</sup>が  
合<sup>あ</sup>う  
とは…

わたしら  
の  
子<sup>こ</sup>とも  
思<sup>おも</sup>え  
ないよ



と  
い  
つ  
て  
も

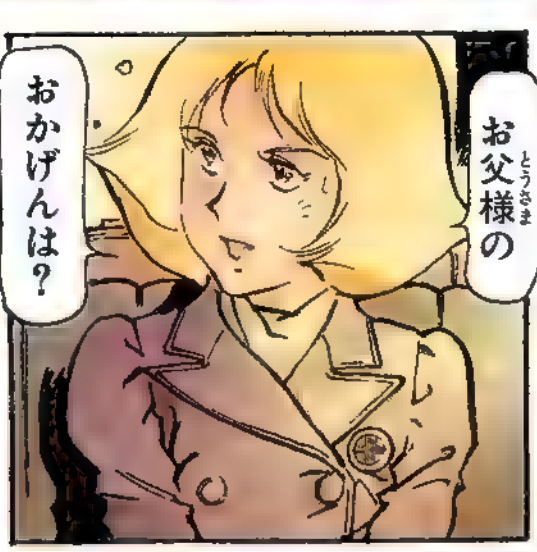
も  
と  
も  
と

あ  
の  
体<sup>からだ</sup>  
で  
は  
ね  
え



あ  
あ

ず  
い  
ぶ  
ん  
い  
い  
よ



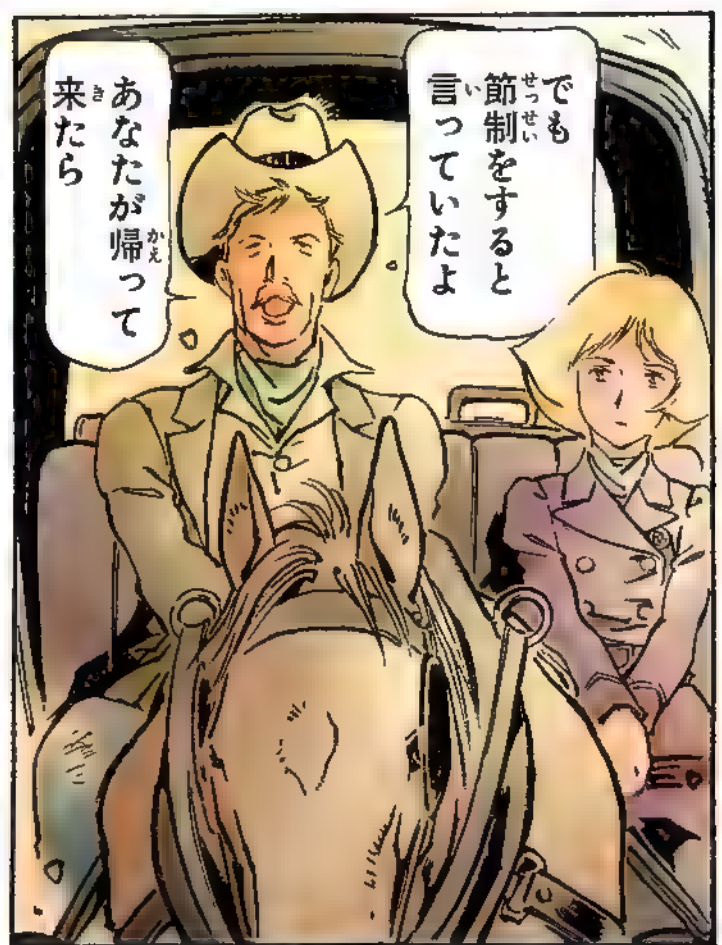
お  
父<sup>とう</sup>様<sup>さま</sup>の

お  
か  
げ  
ん  
は  
?



う  
ん  
と  
意<sup>い</sup>見<sup>けん</sup>  
し  
て  
や  
る  
と  
い  
い  
よ

医<sup>い</sup>者<sup>しゃ</sup>の  
タ  
マ  
ゴ  
さ  
ん  
な  
ん  
だ  
か  
ら



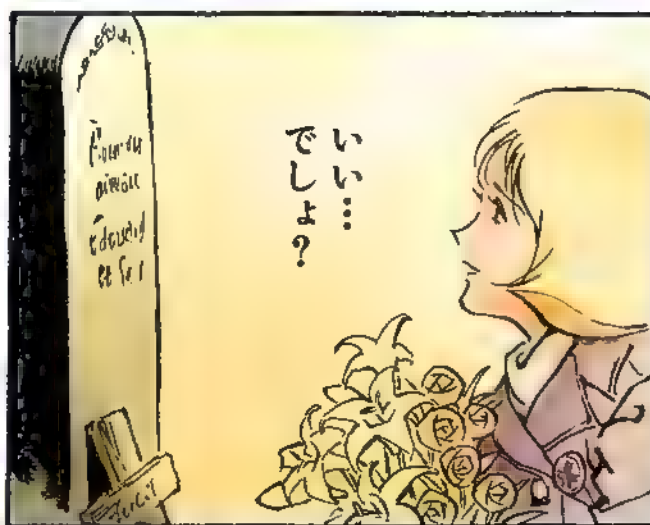
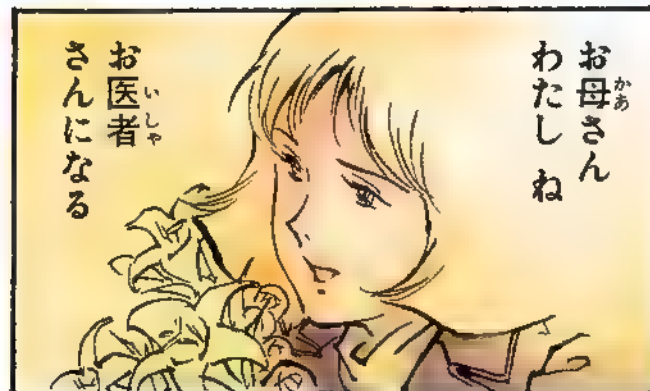
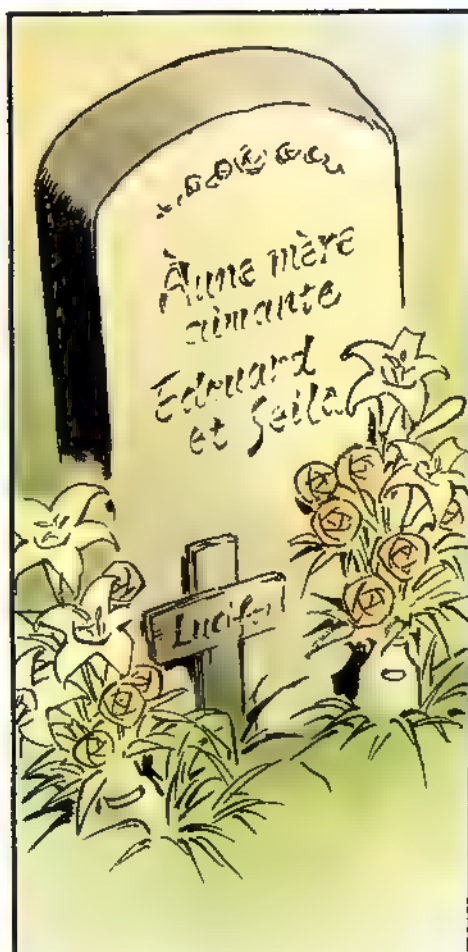
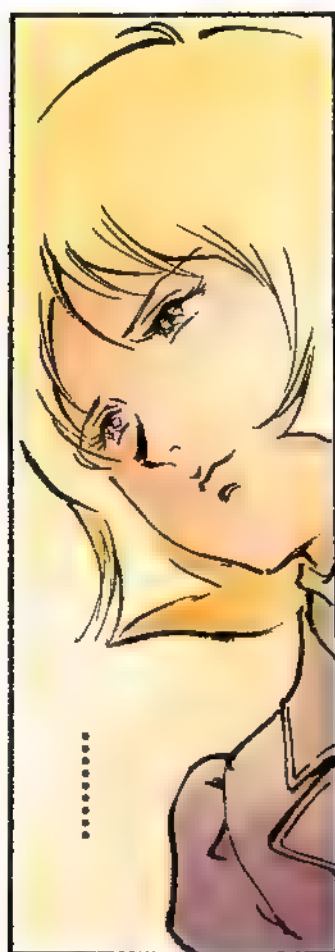
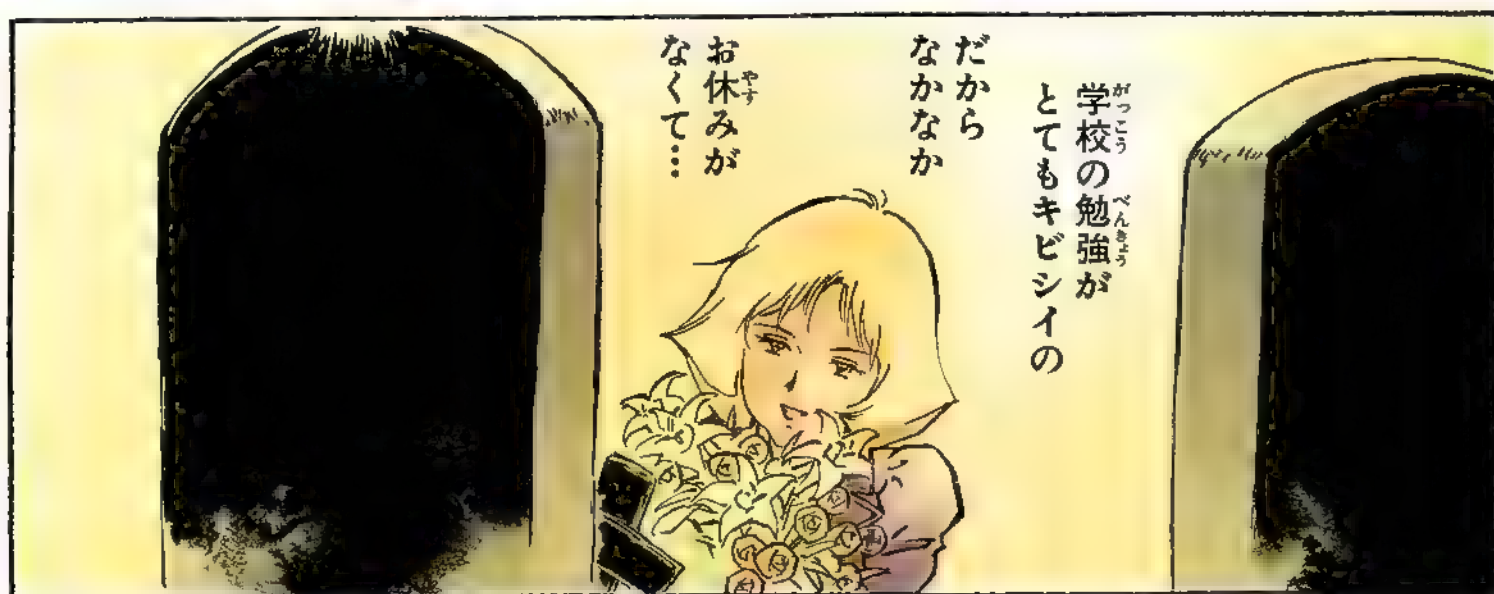
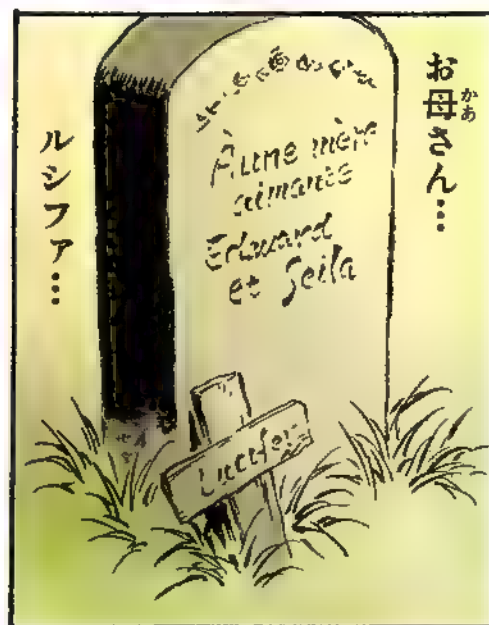
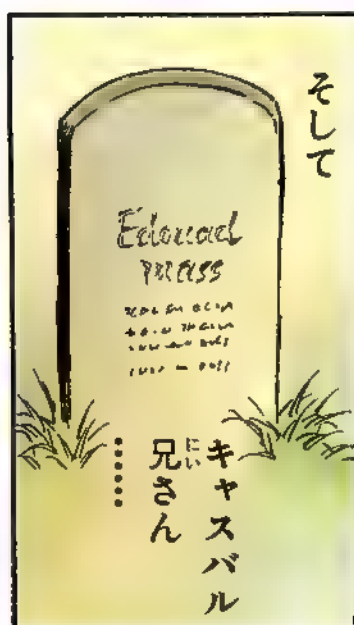
で  
も  
節<sup>せつ</sup>制<sup>せい</sup>を  
す  
る  
と  
言  
っ  
て  
い  
た  
よ

あ  
な  
た  
が  
帰<sup>かえ</sup>っ  
て  
来<sup>き</sup>た  
ら

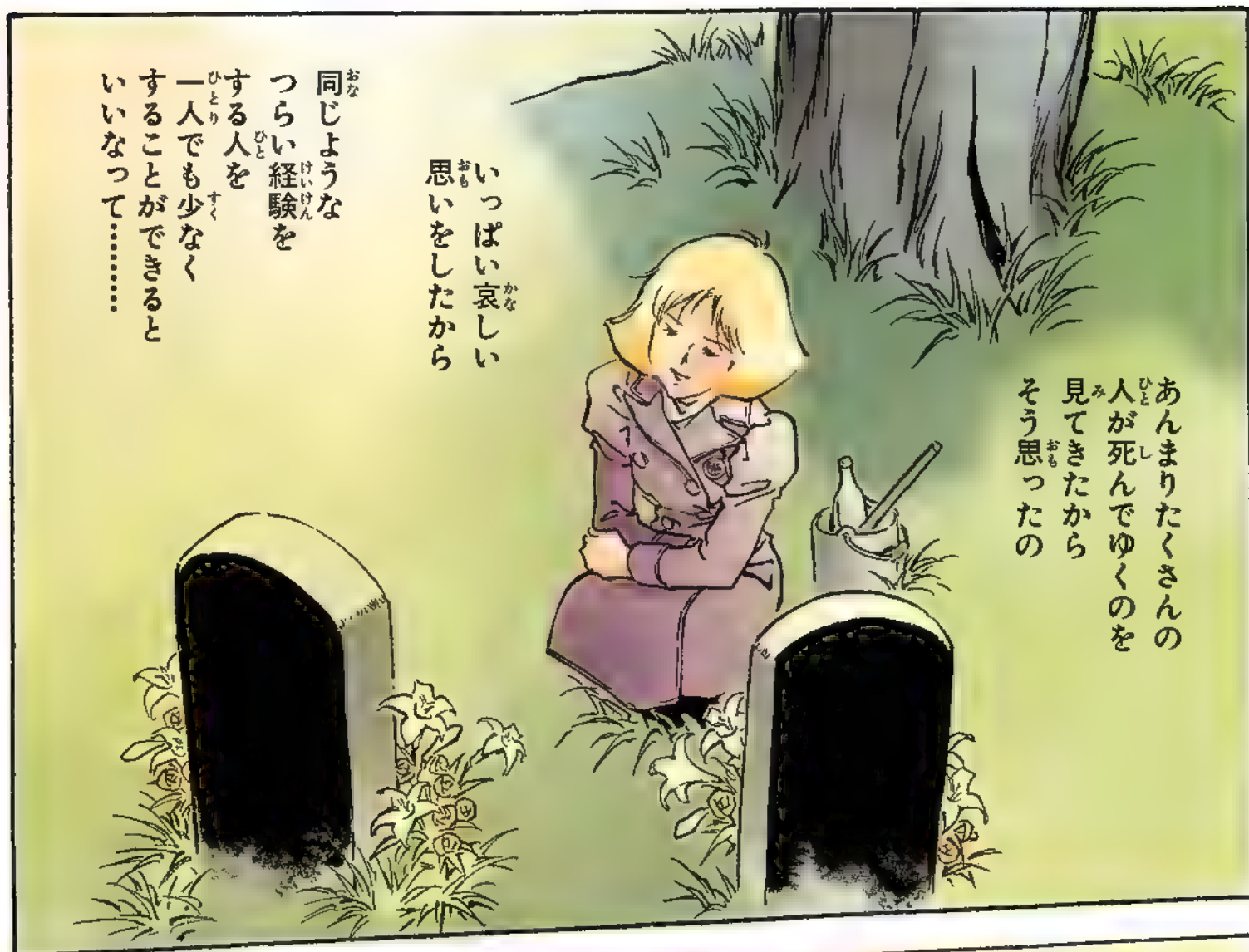












あんまりたくさん  
人が死んでゆくのを  
見てきたから  
そう思ったの

いっぱい哀しい  
思いをしたから

おなじような  
つらい経験を  
する人を  
一人でも少なく  
することができると  
いいなって……

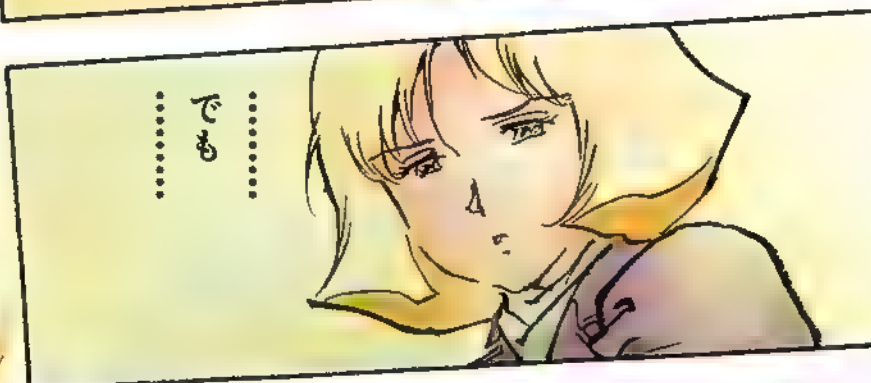


キャスバル兄さん……



とかいっても

わたしの  
力なんて  
とても  
ちっぽけな  
ものだ  
と思うけど……



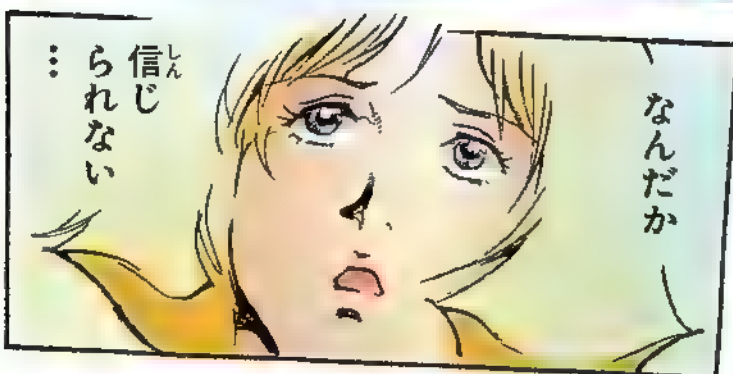
……  
でも  
……



Edward  
1925  
NE-652-6074

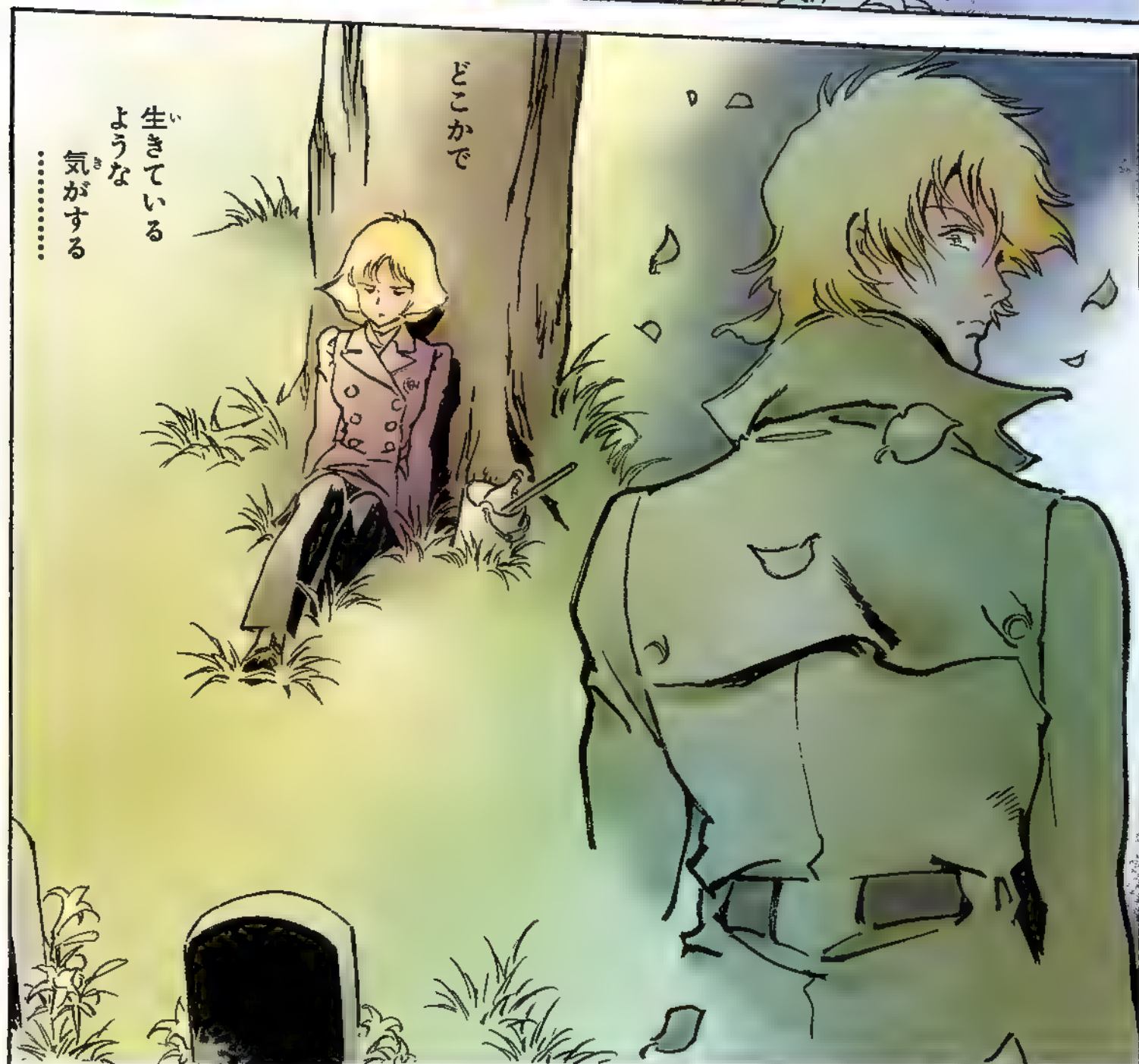


ほんとう  
本当に死んで  
しまったの？



なんだか

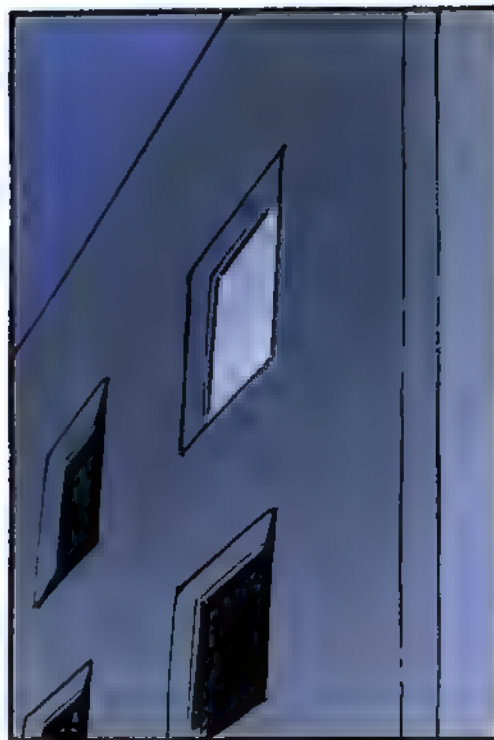
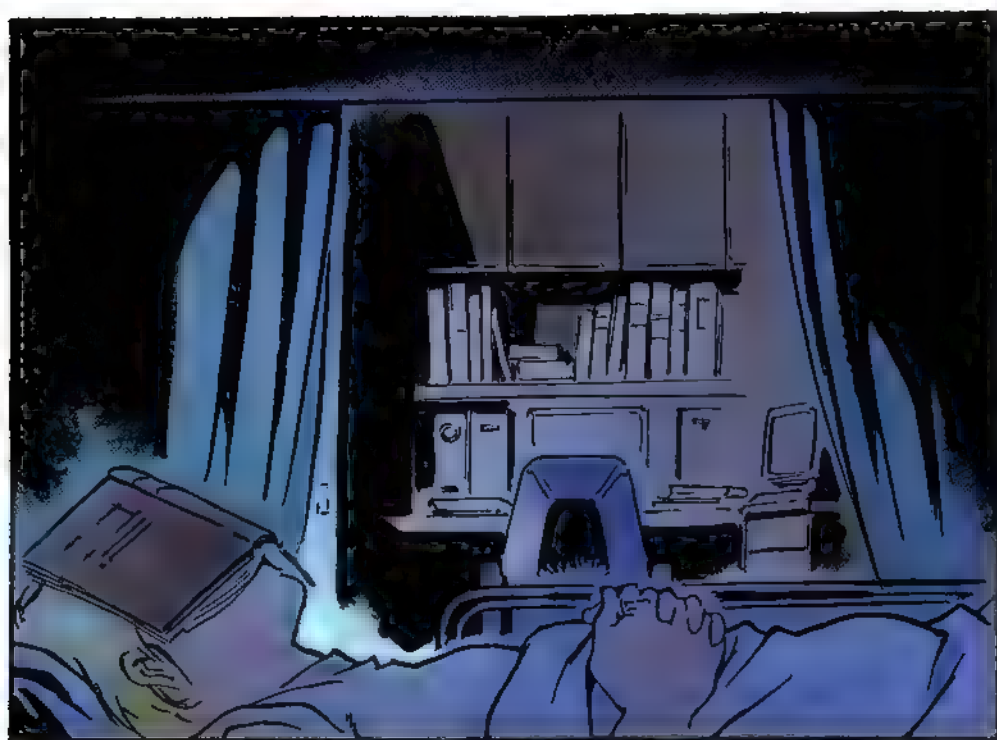
信じ  
られない



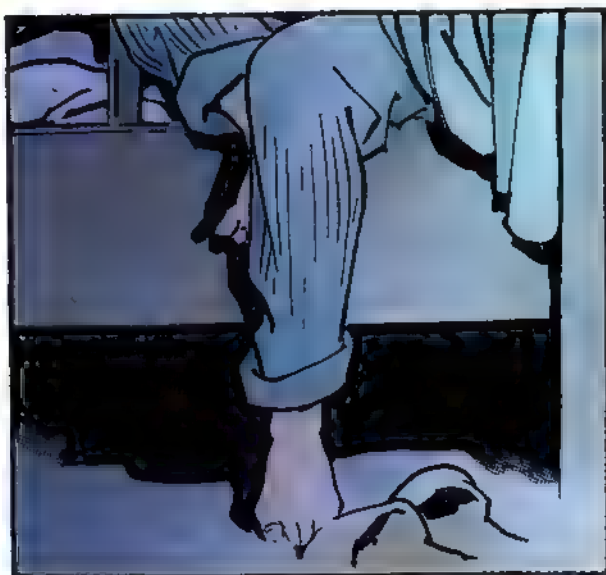
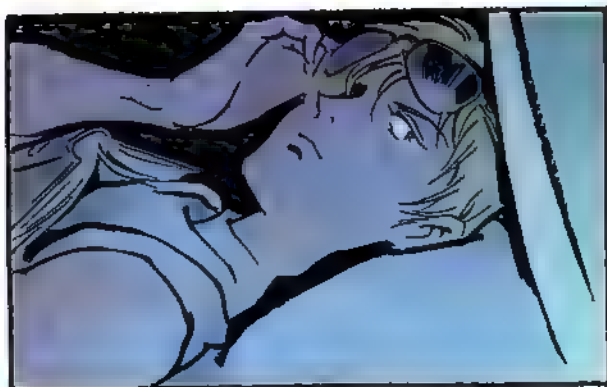
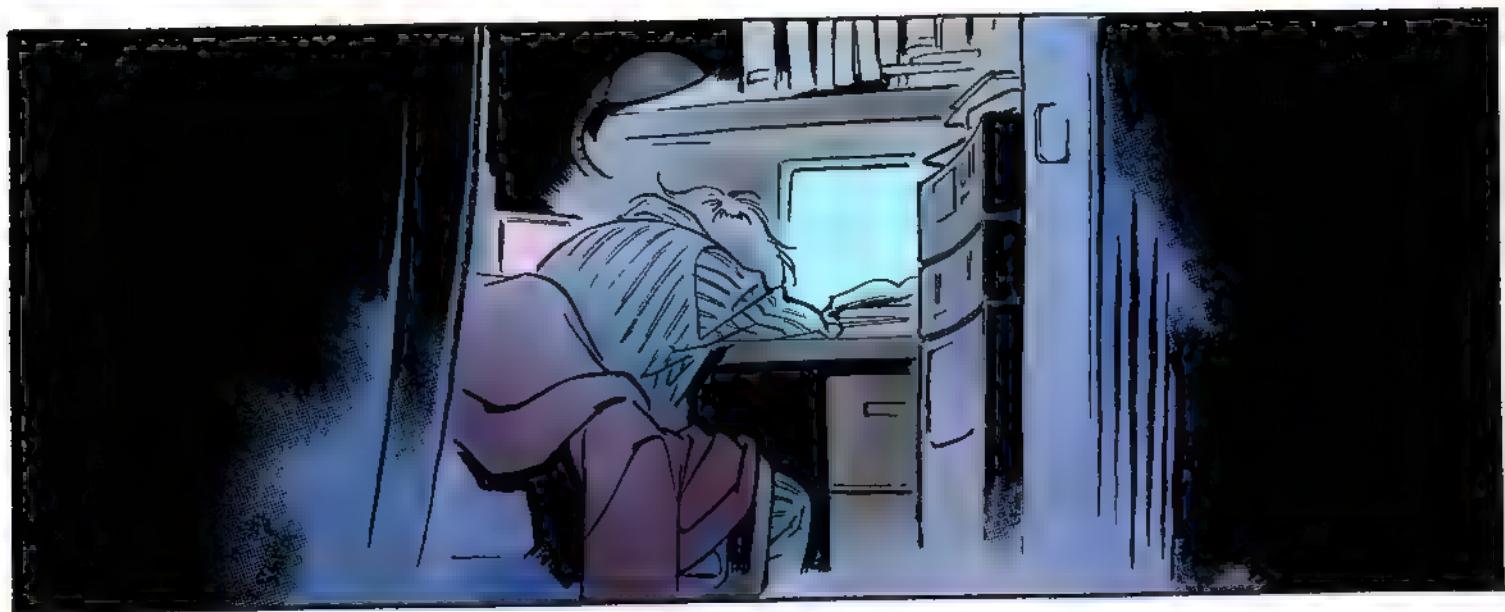
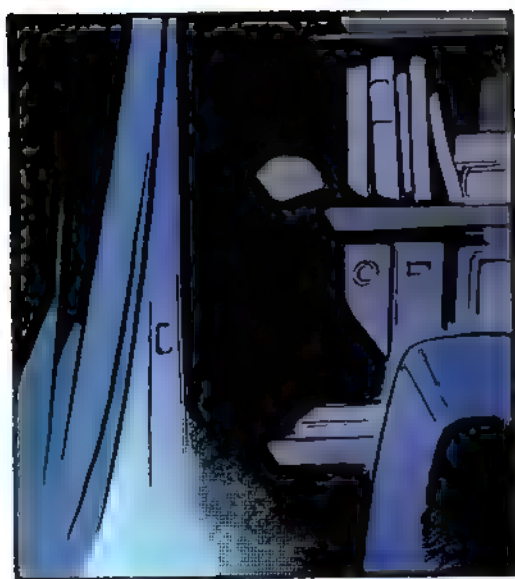
どこかで

生きている  
ような  
気がする  
.....

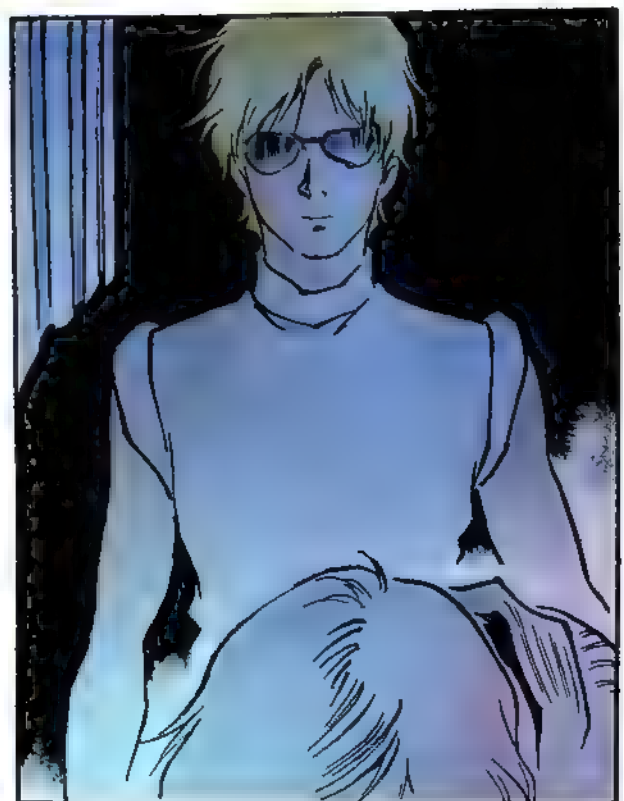
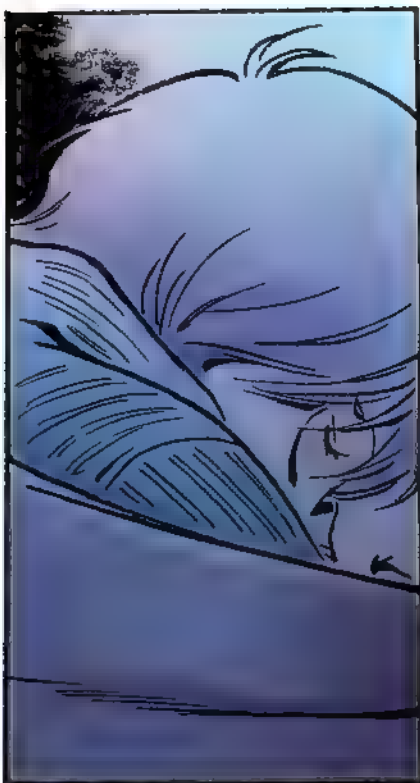
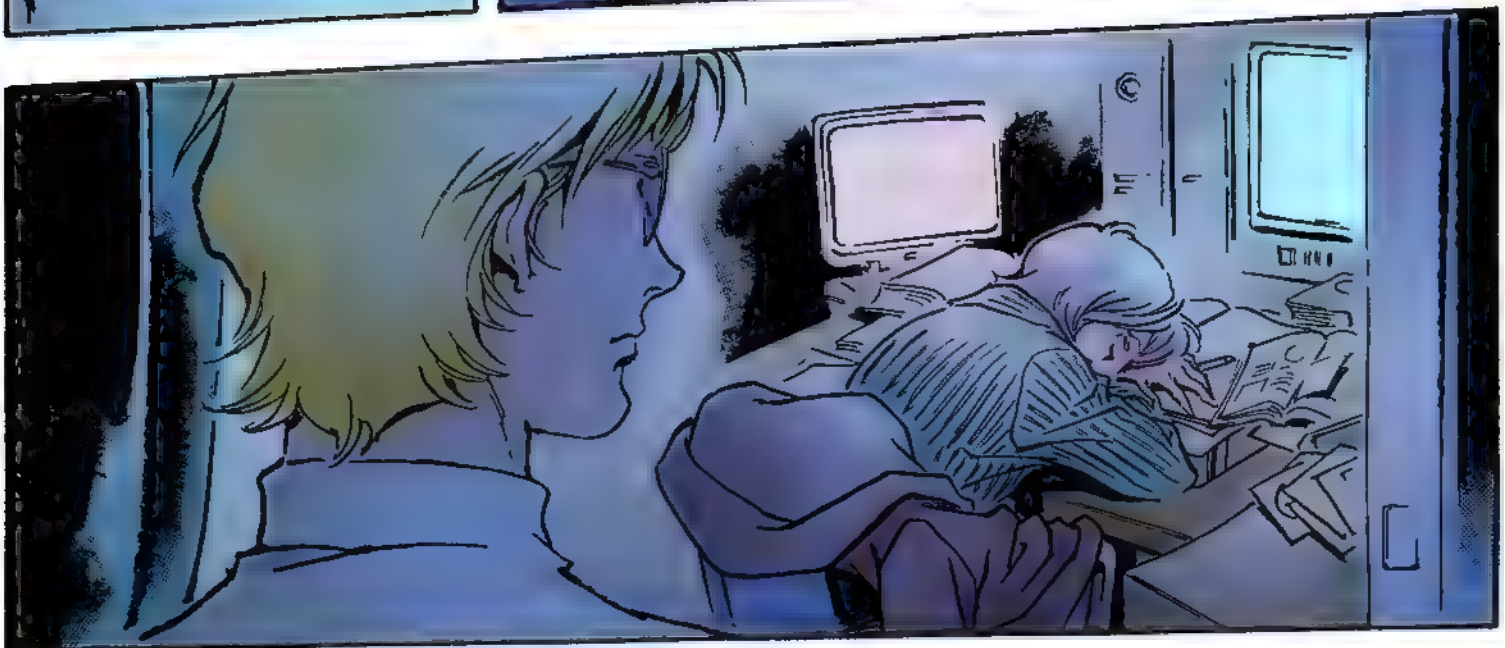
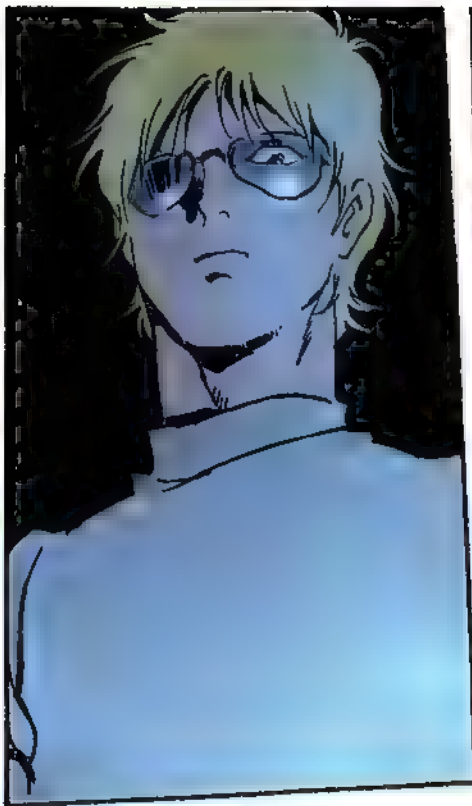




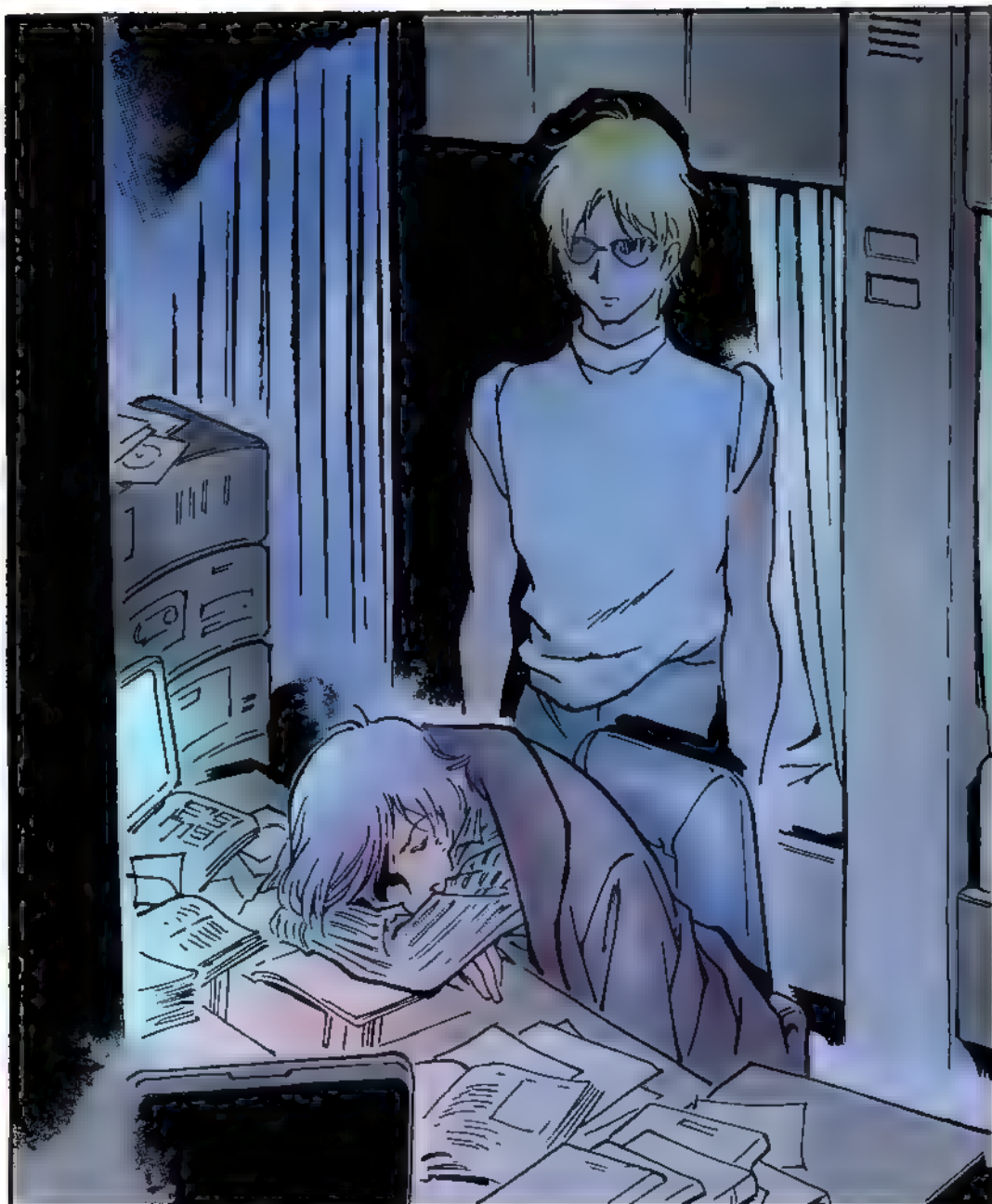
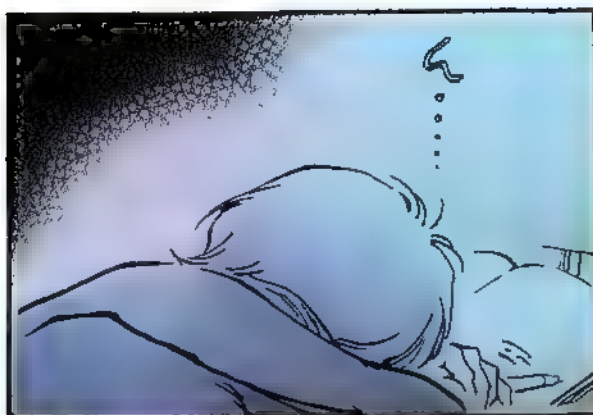
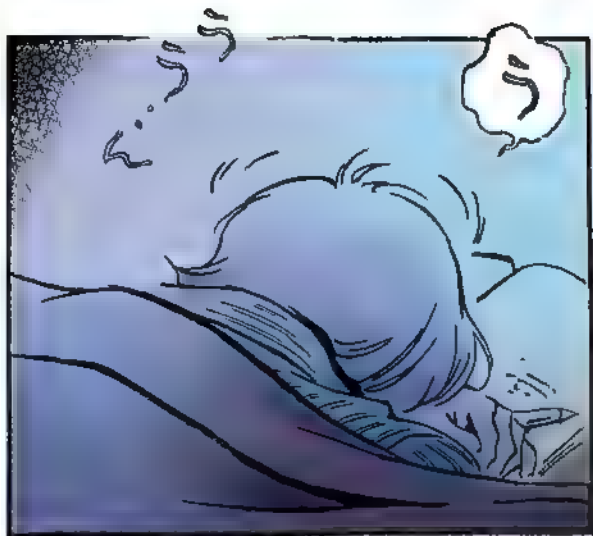




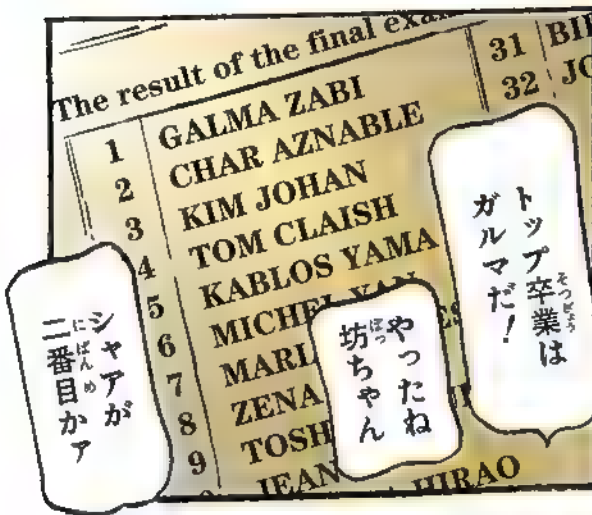




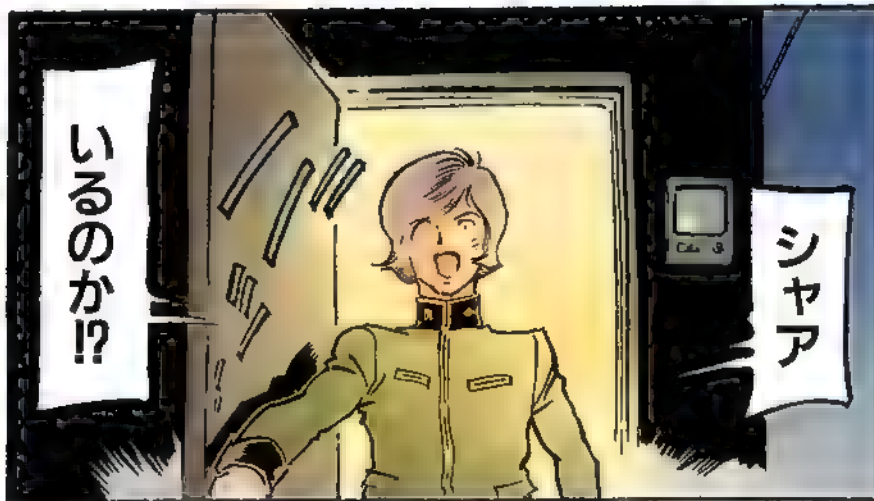
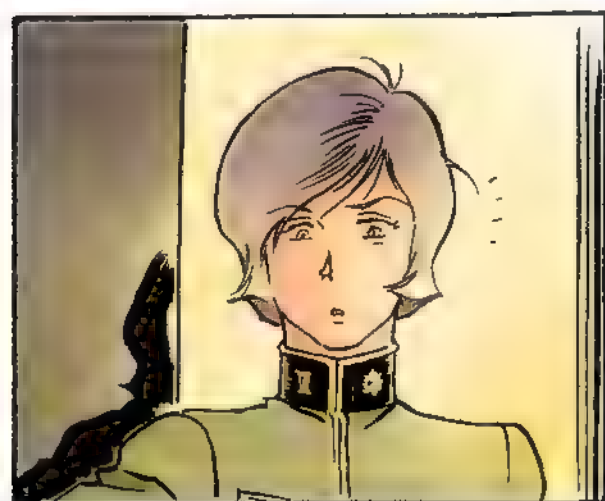
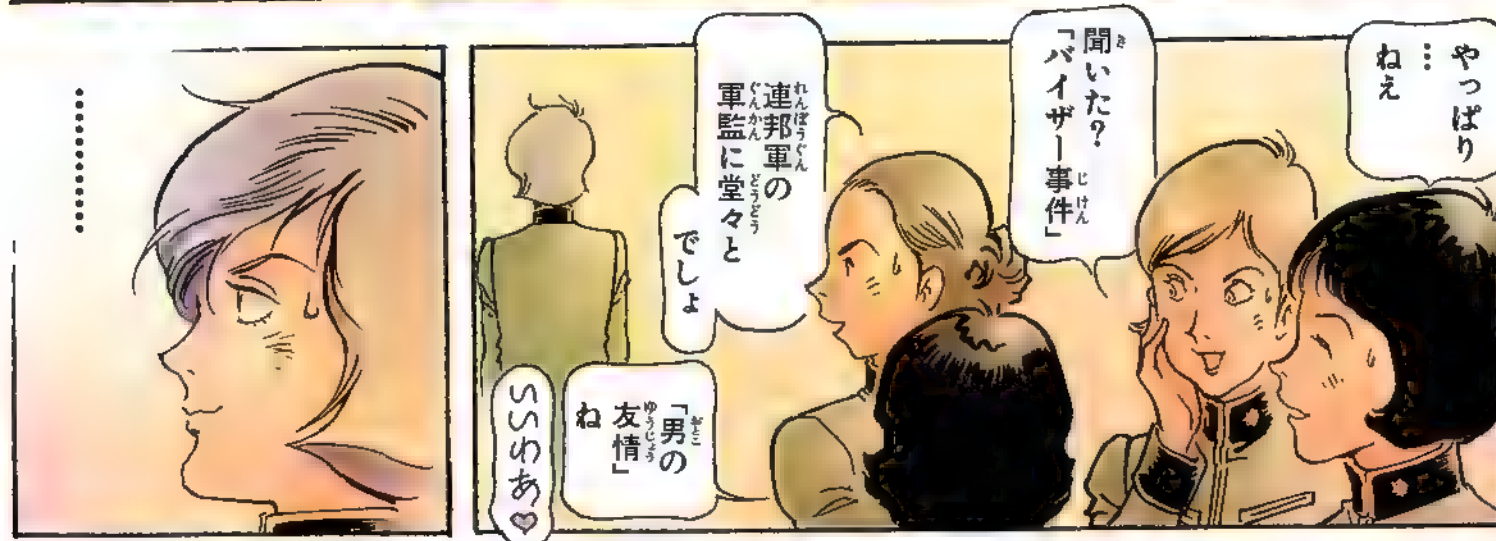
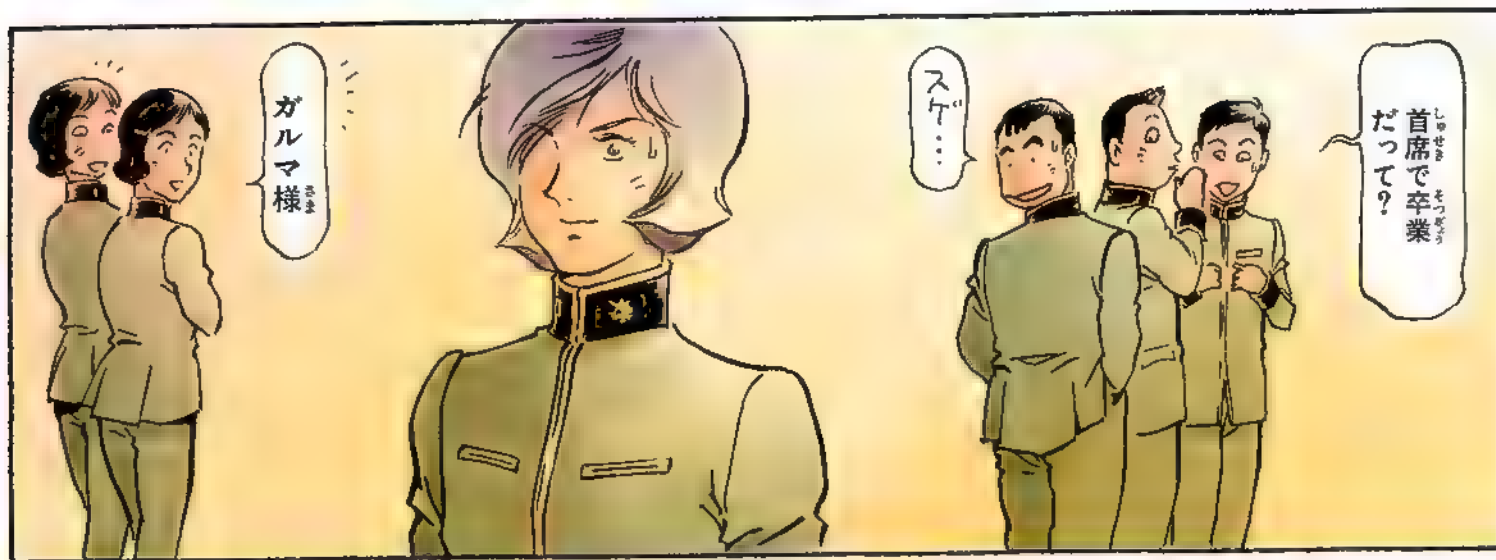




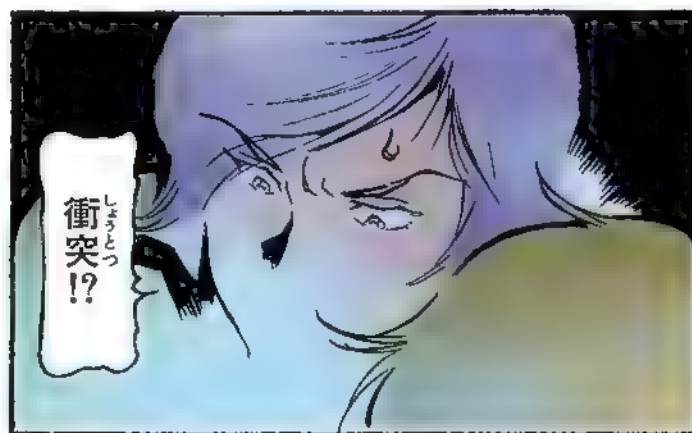
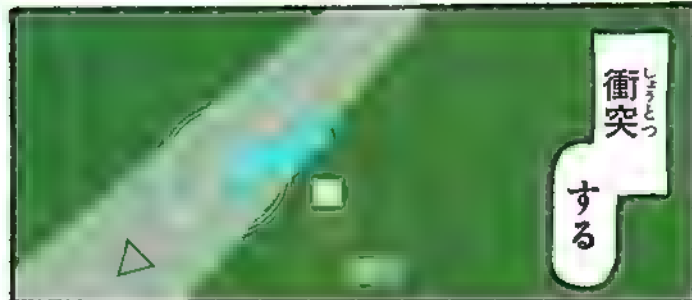
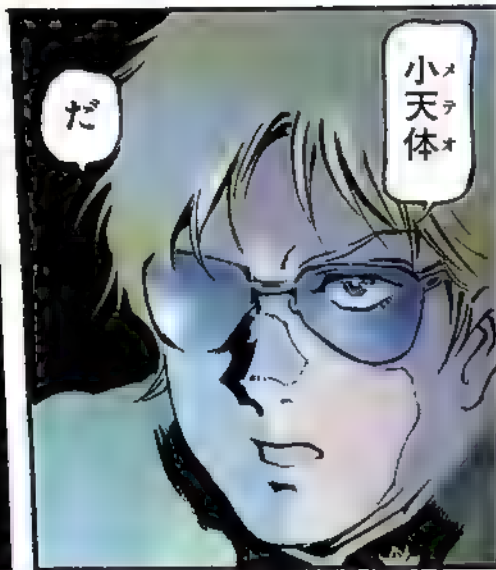
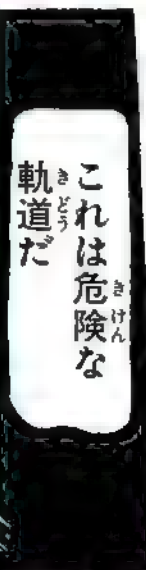
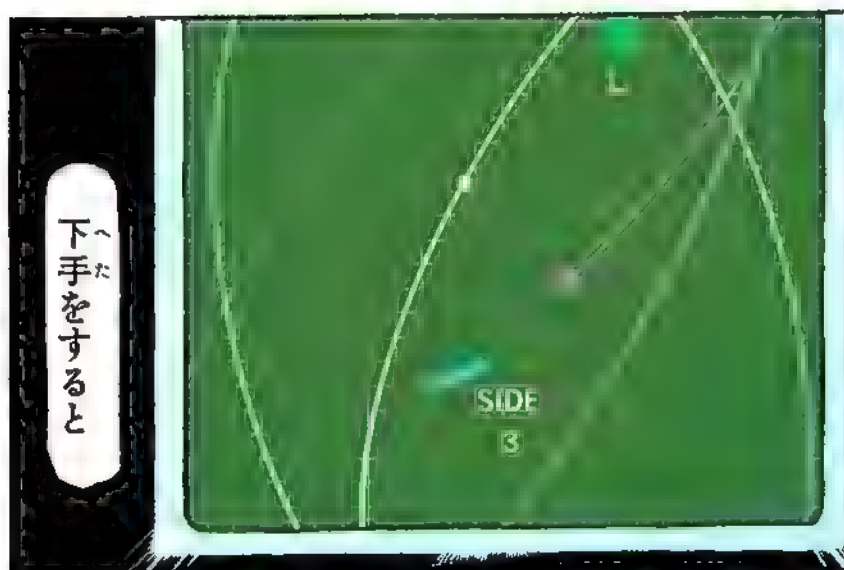
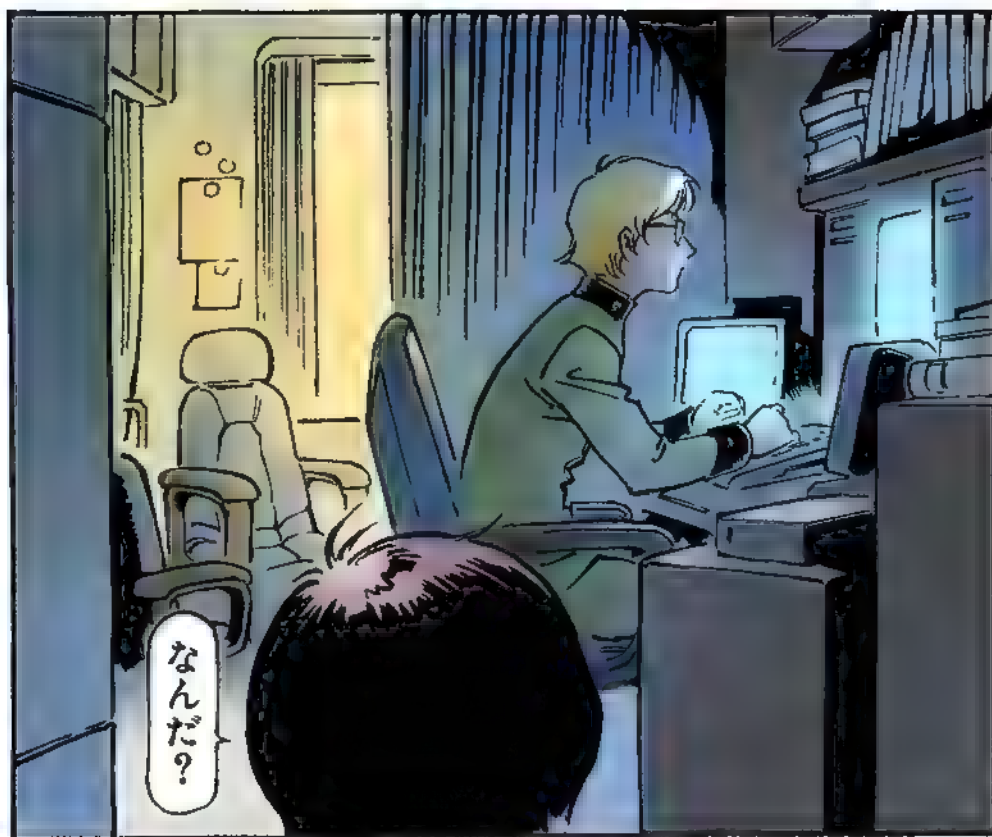


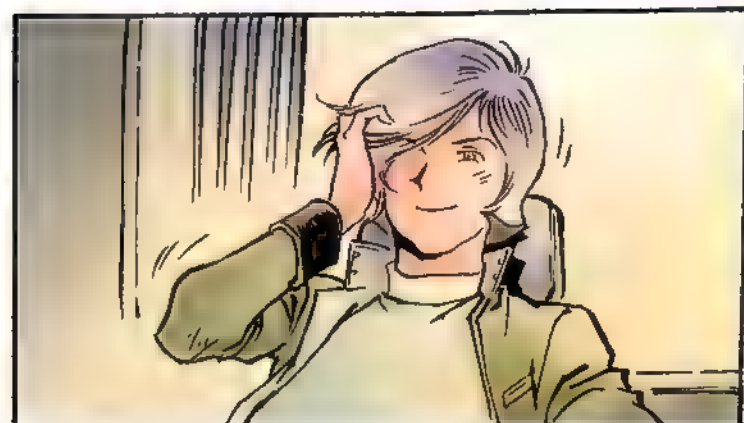
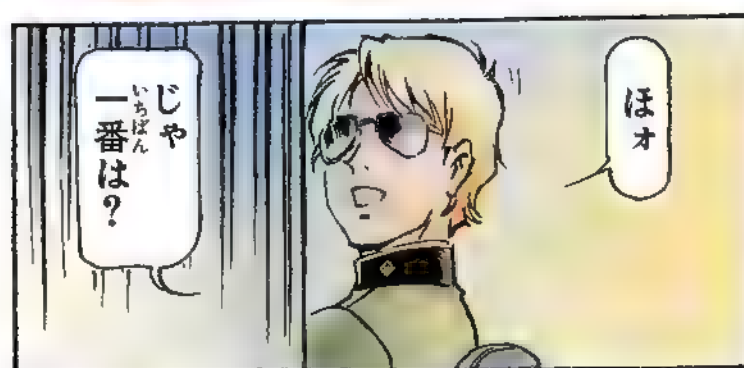
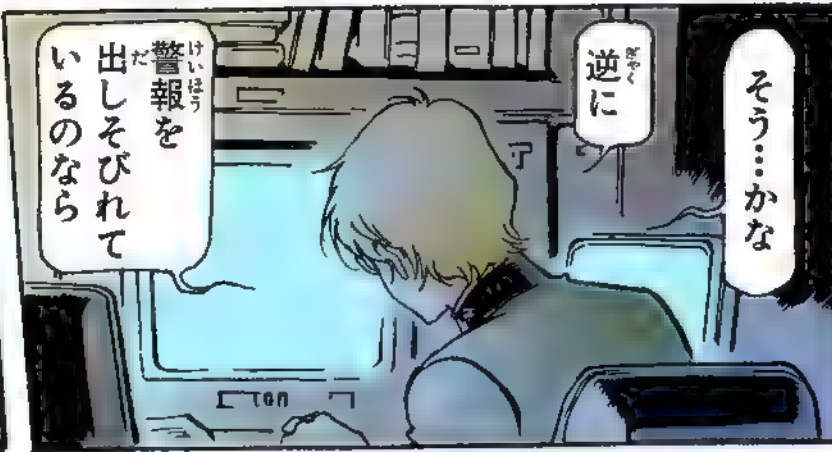
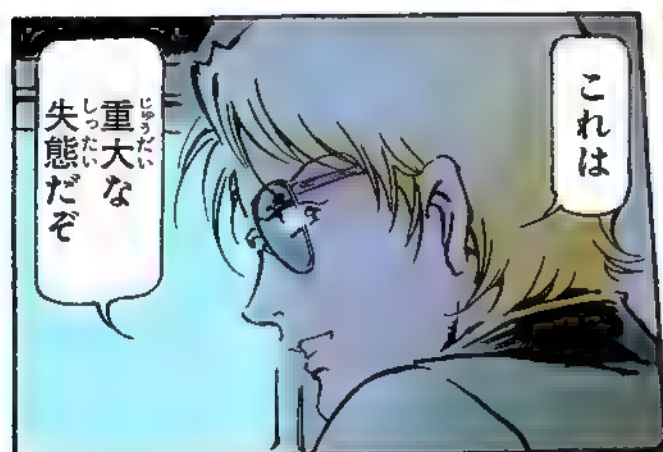




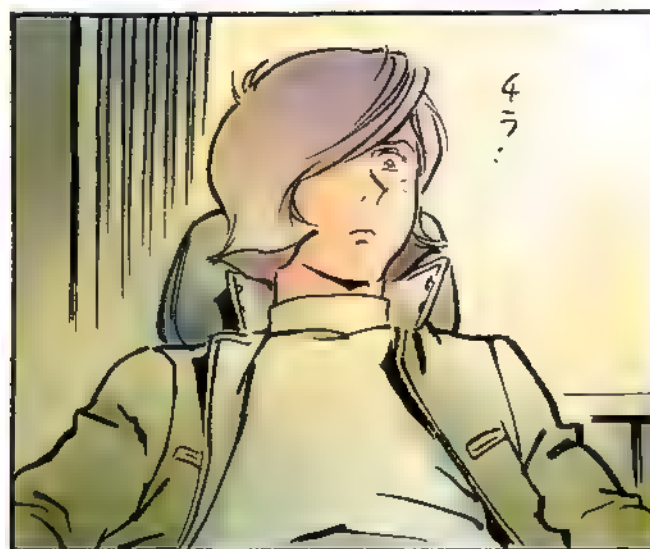
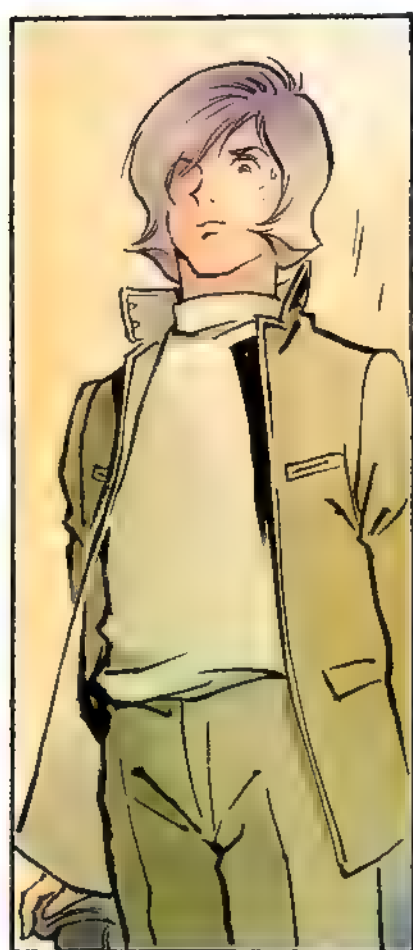


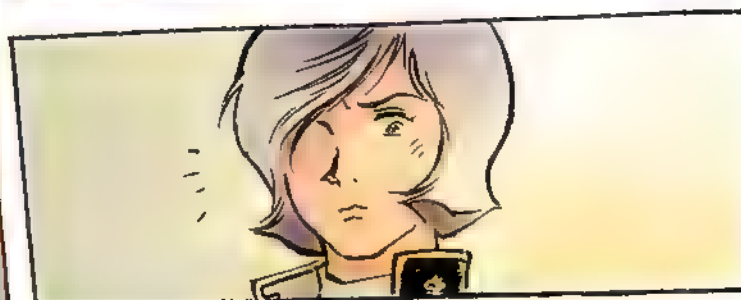
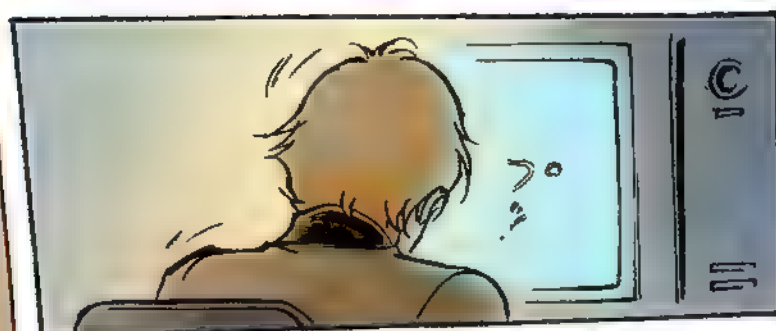
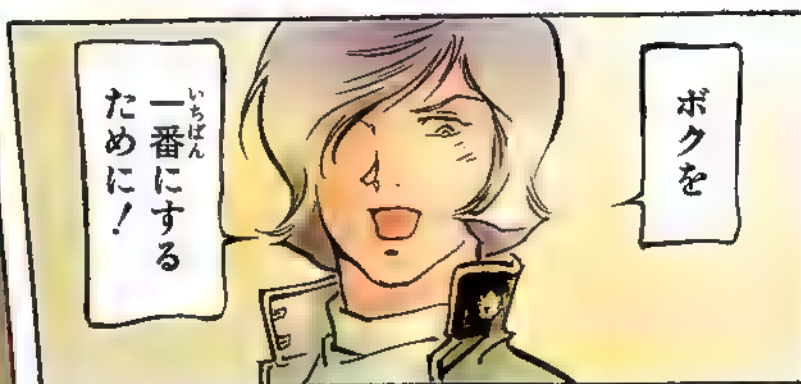




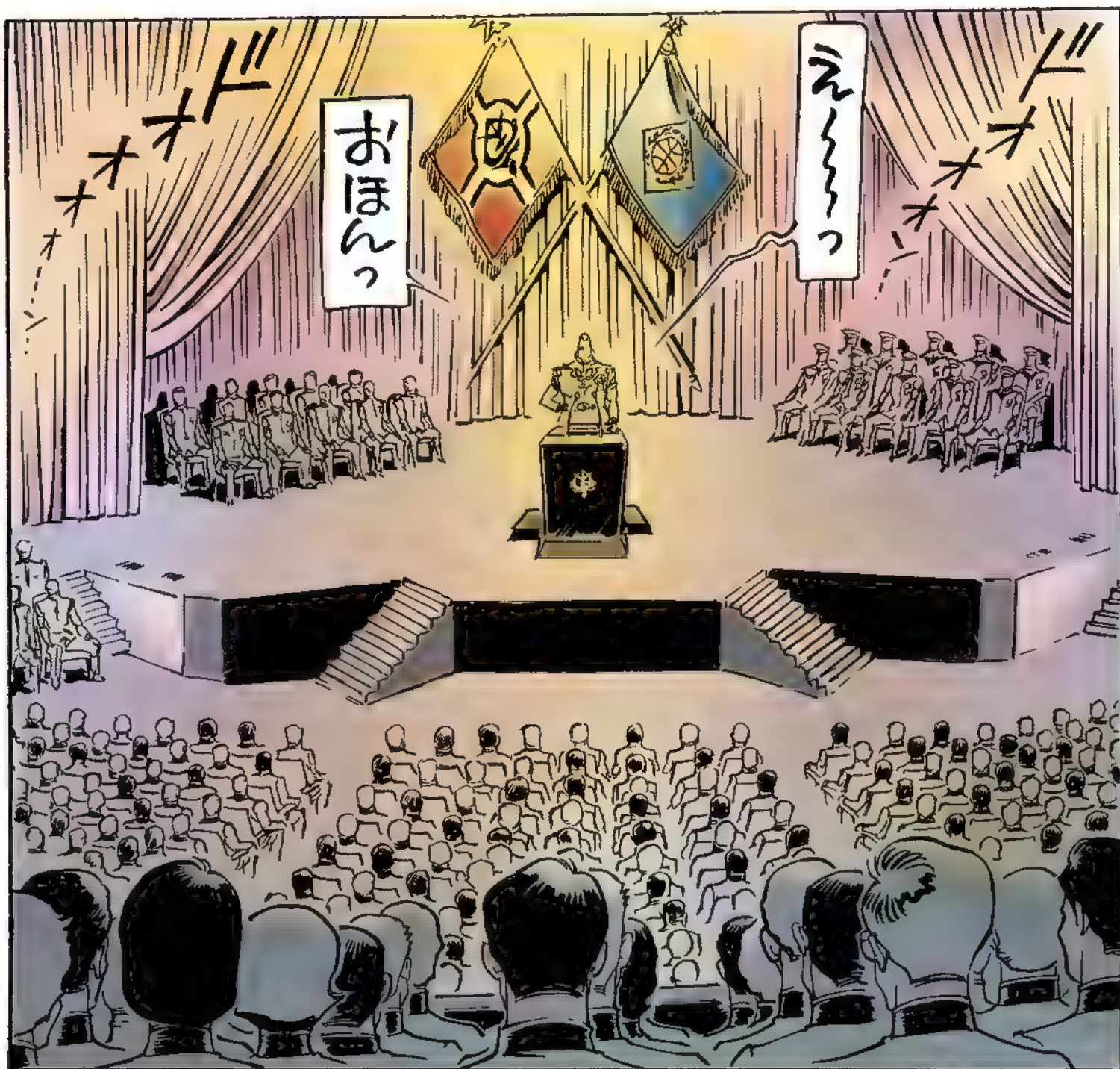
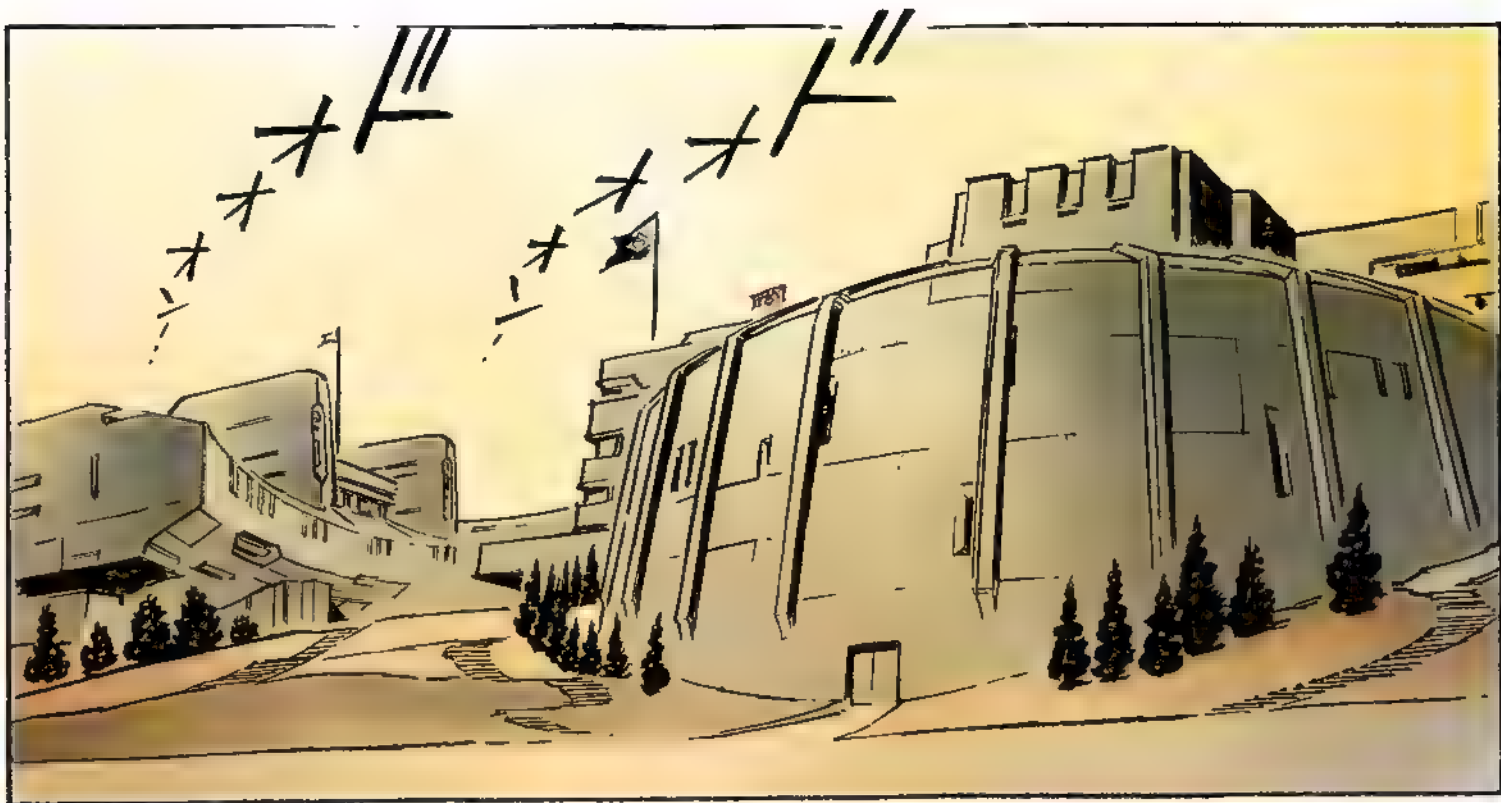


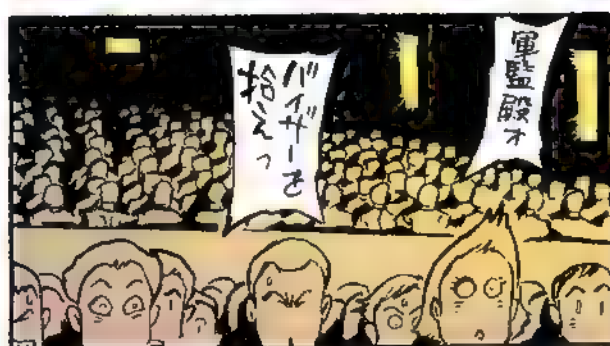
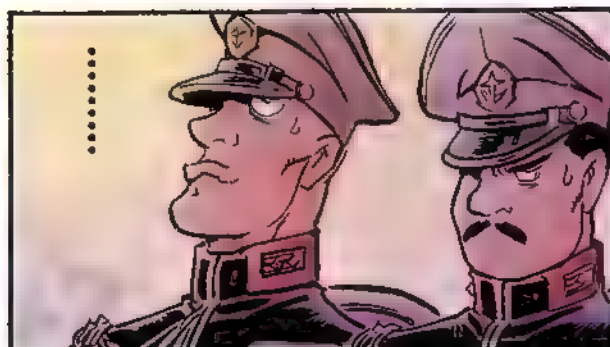














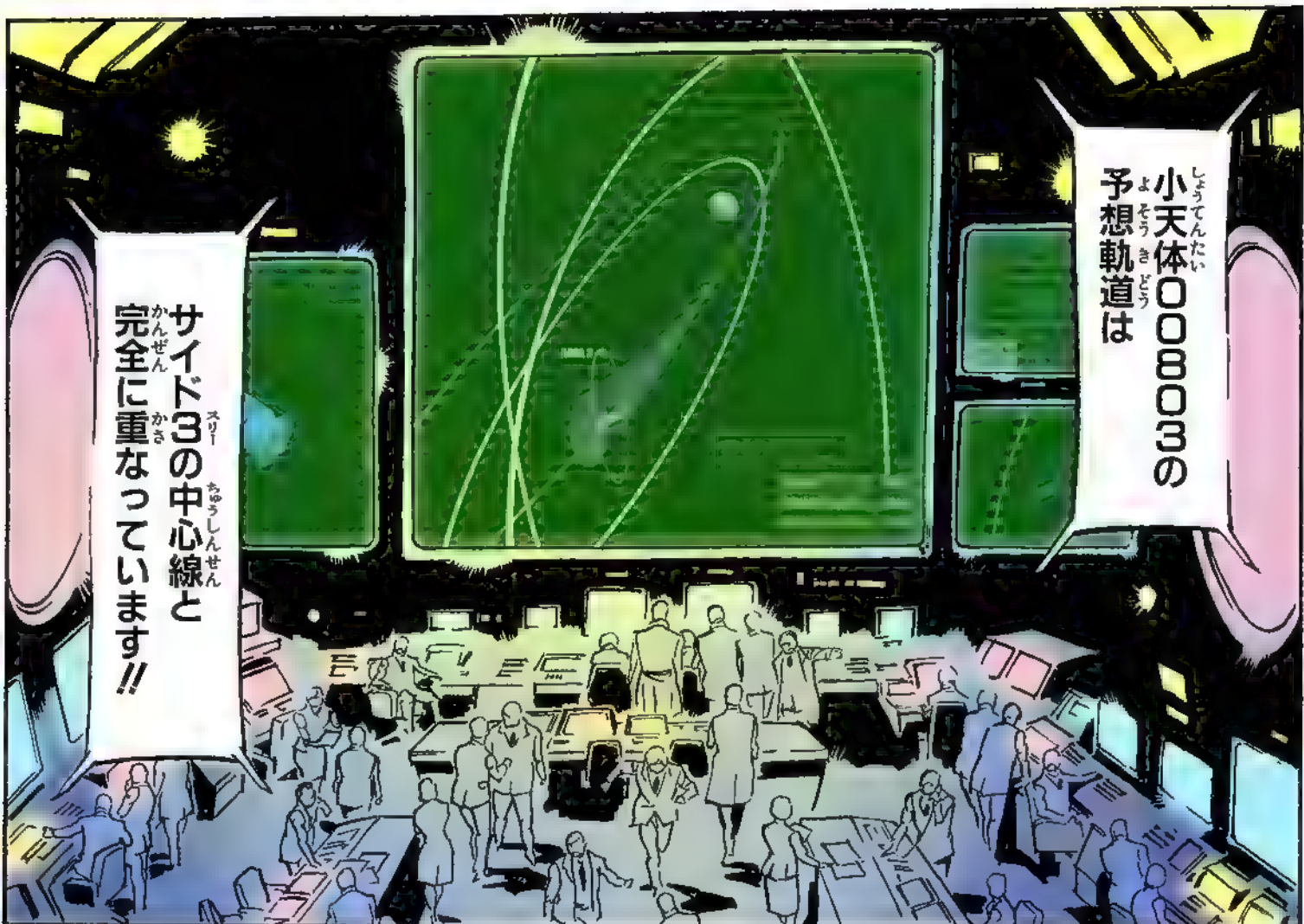
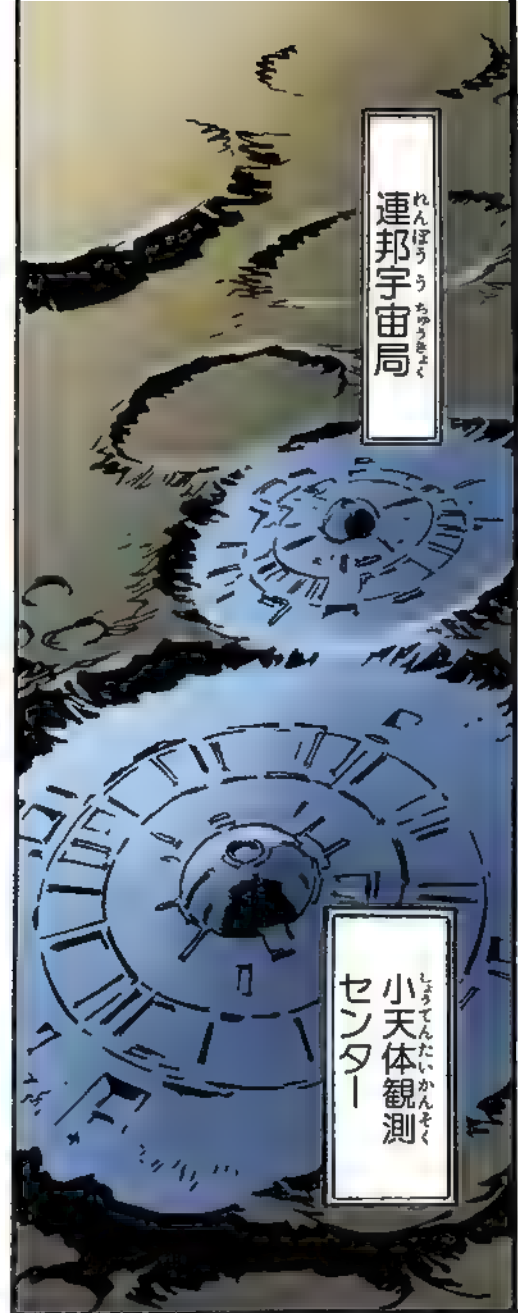
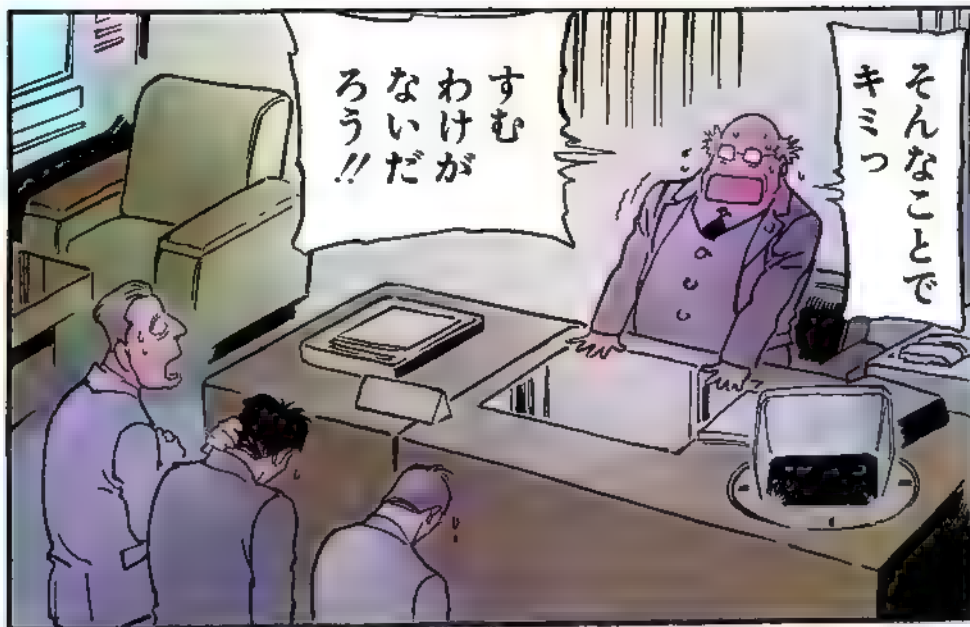
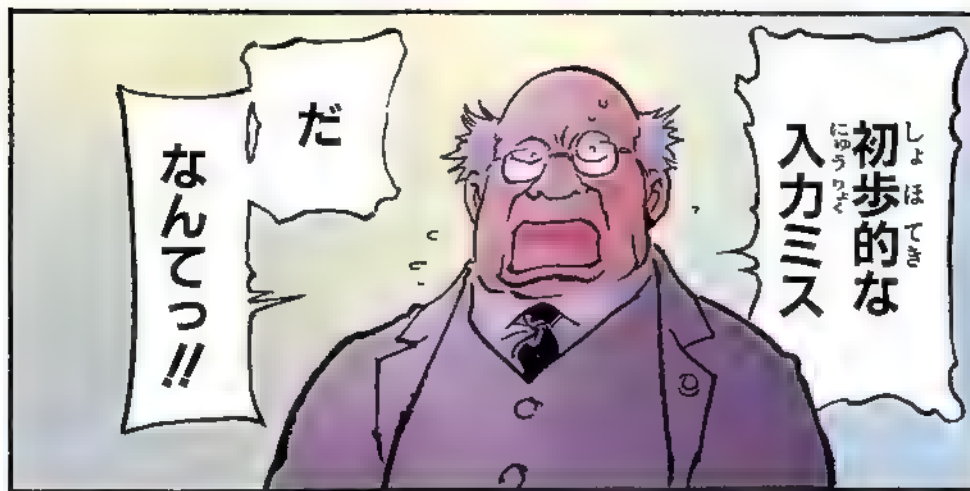
卒業と  
いっても

諸君等は  
教導隊員  
として  
実働任務に  
つく

全員が見習い士官と  
なるわけである

これで本学を  
出て行く  
というのではない

月面





大至急各方面に  
緊急通報!!

え!?

遅れた!?

遅れちまった  
ものは  
仕方がない  
だろオオ!!

どうせ実習期間の  
延長だなどと

タカをくくって  
いてはイカンっ

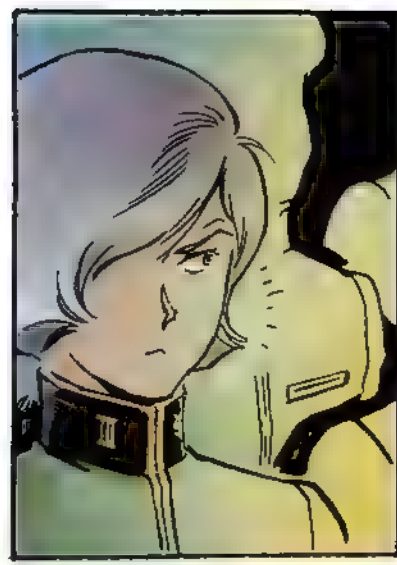
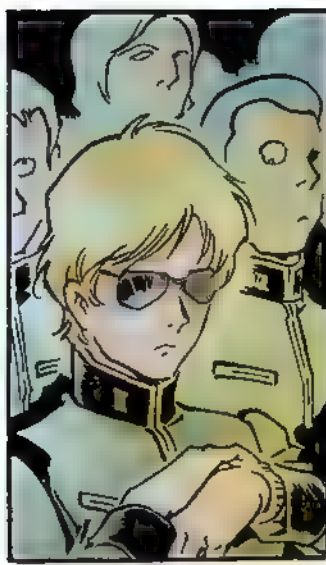
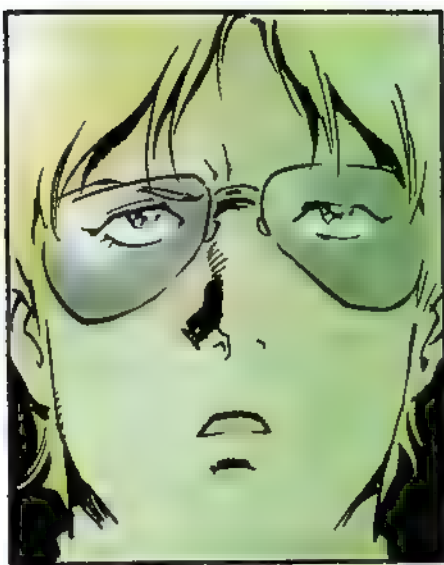
このガーディアン  
バンチは  
ジオン防衛の  
中枢であるっ!

加えて!

だからして  
国軍基地がありっ  
連邦駐屯軍が居り  
本学があるっ!

諸君の指導を  
待っているかわいい  
後輩達が

いるのであるっ!



小天体  
接近!!

距離  
一〇〇〇kmを  
きりました

質量  
およそ30t

ほとんどが  
氷塊です!



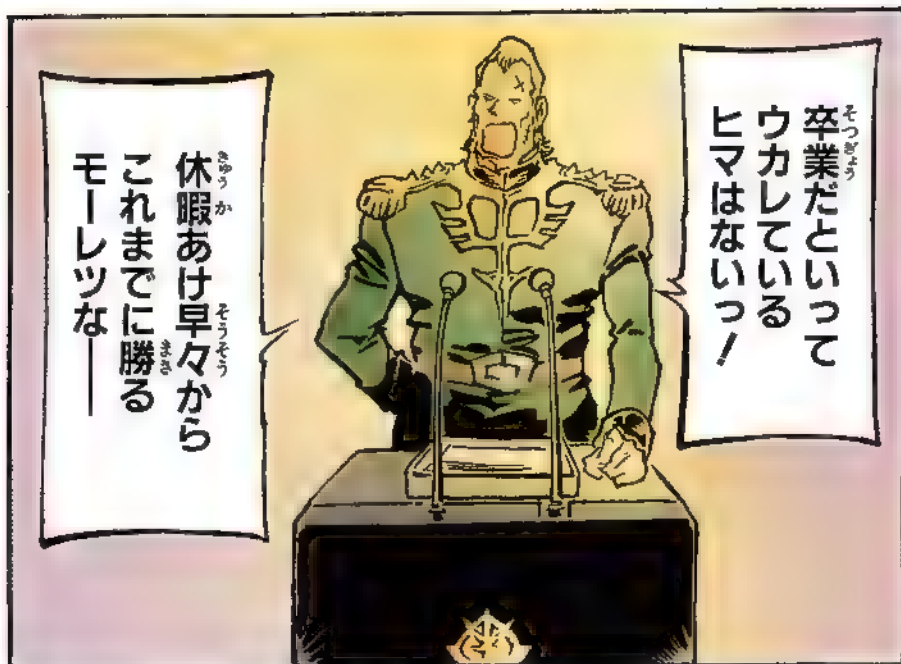
クビ  
だ!!

管理職は  
全員



ダメだ!

よりによって  
スムシティに



卒業だといって  
ウカしている  
ヒマはないっ!

休暇あけ早々から  
これまでに勝る  
モーレッツな—

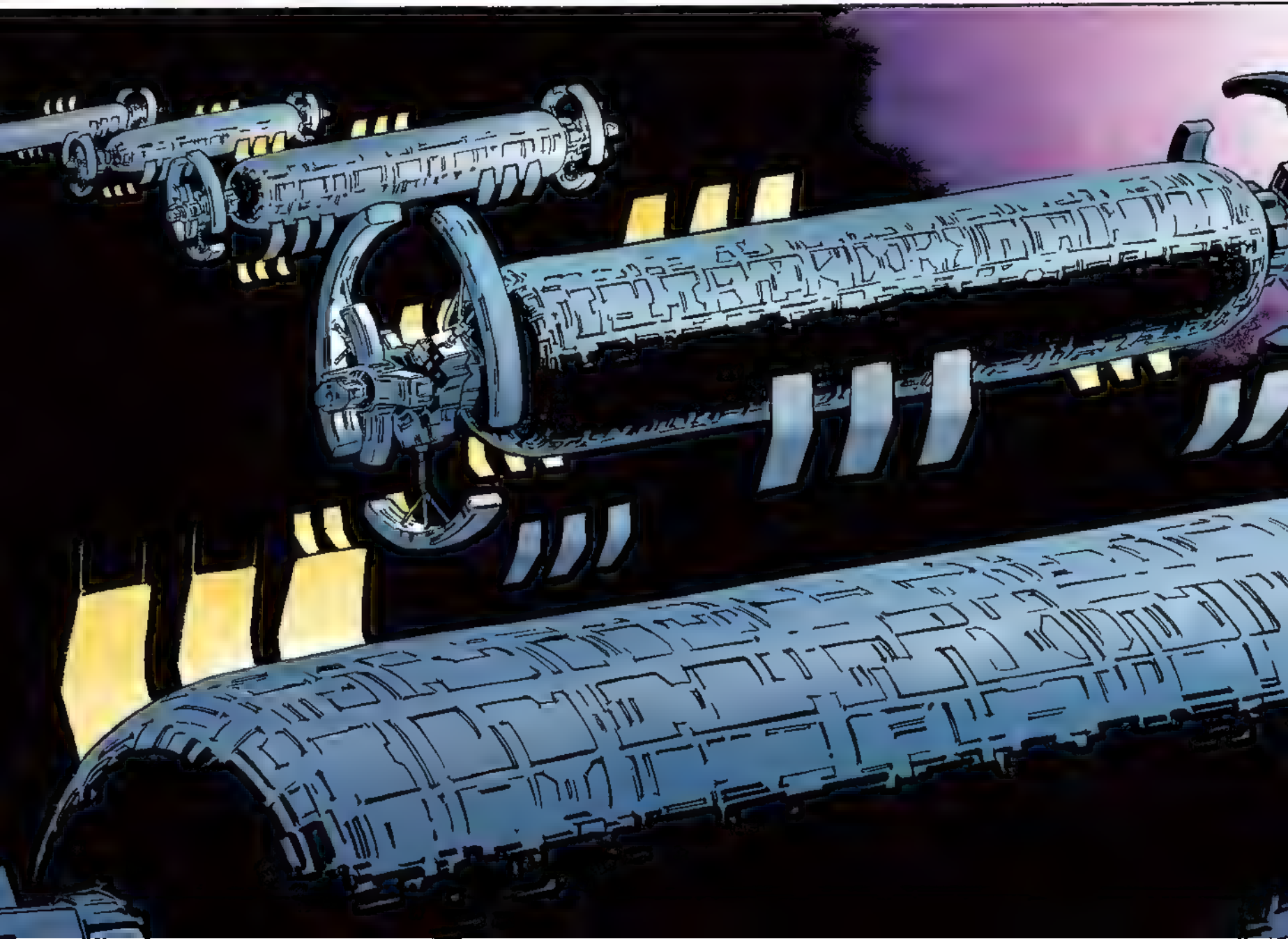
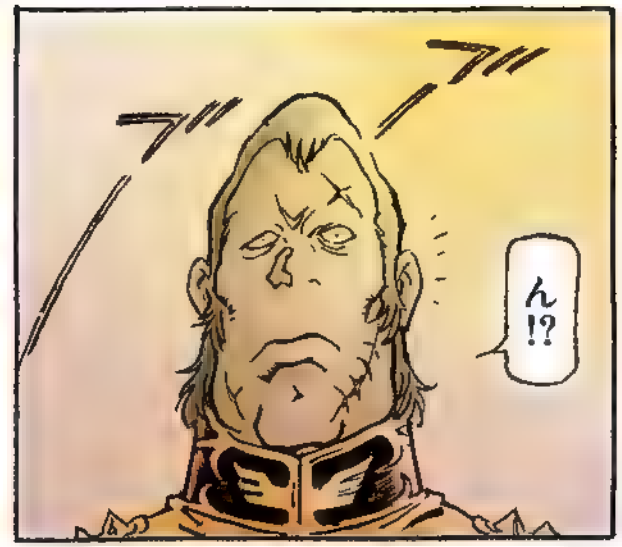
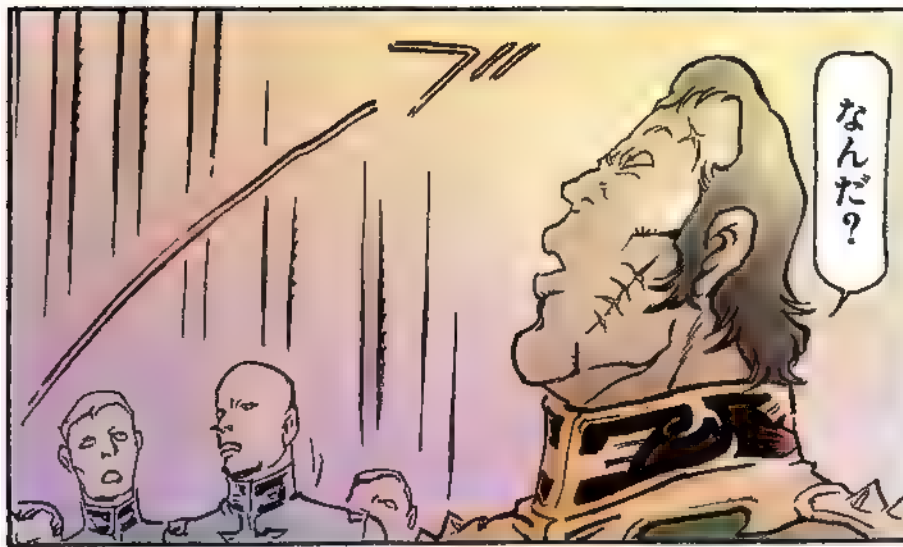


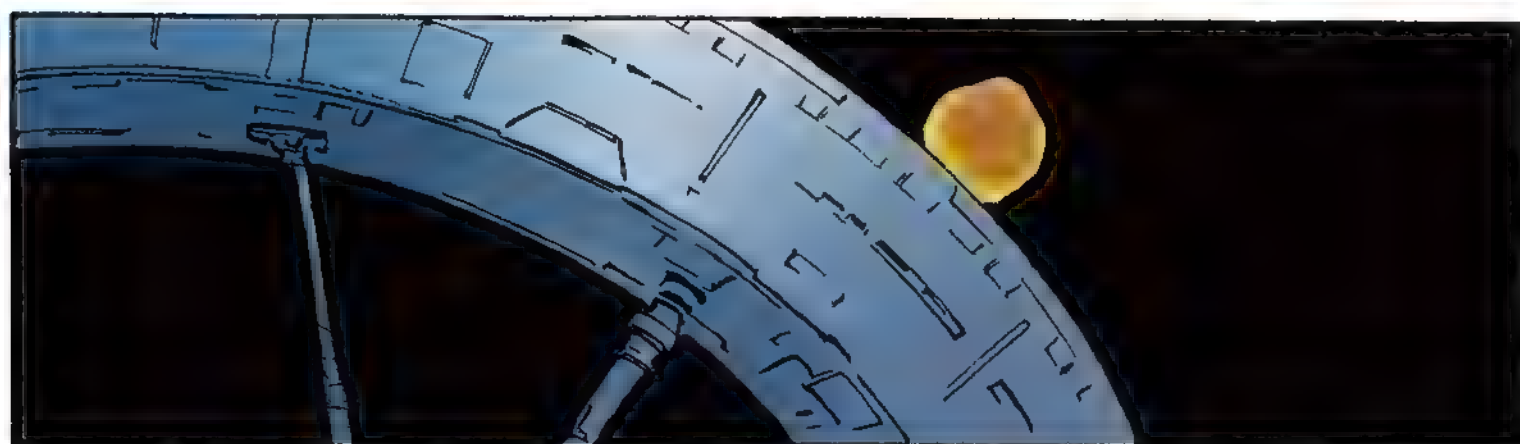
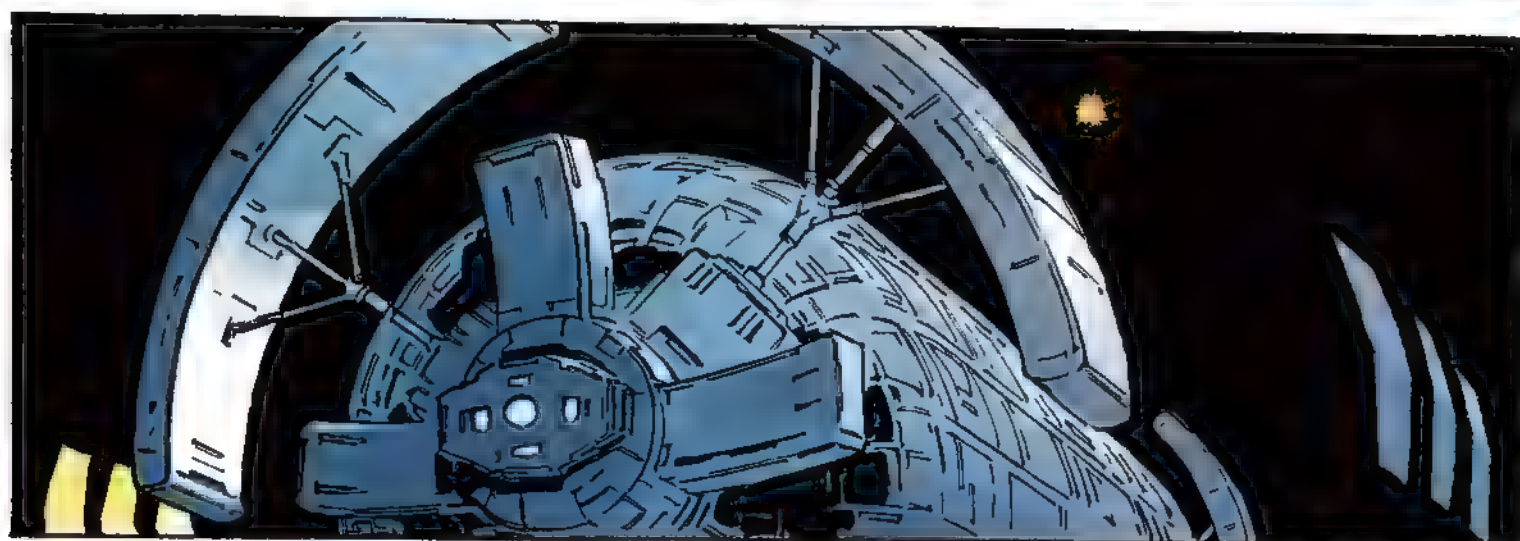
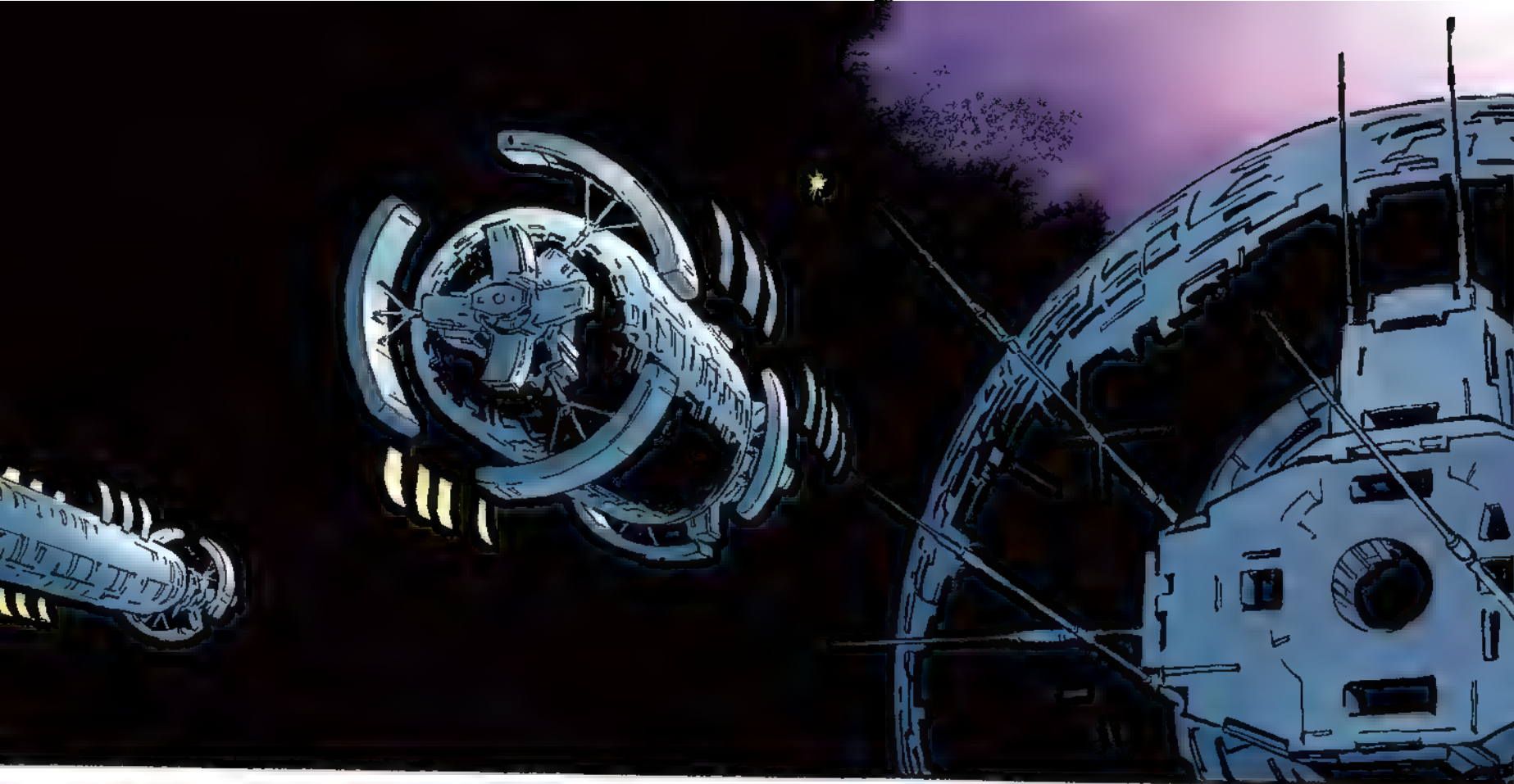
サイド3の基幹コロニーに  
極めて近いコースです!

衝突の可能性は  
七十五パーセント!

なんだとオッ!!









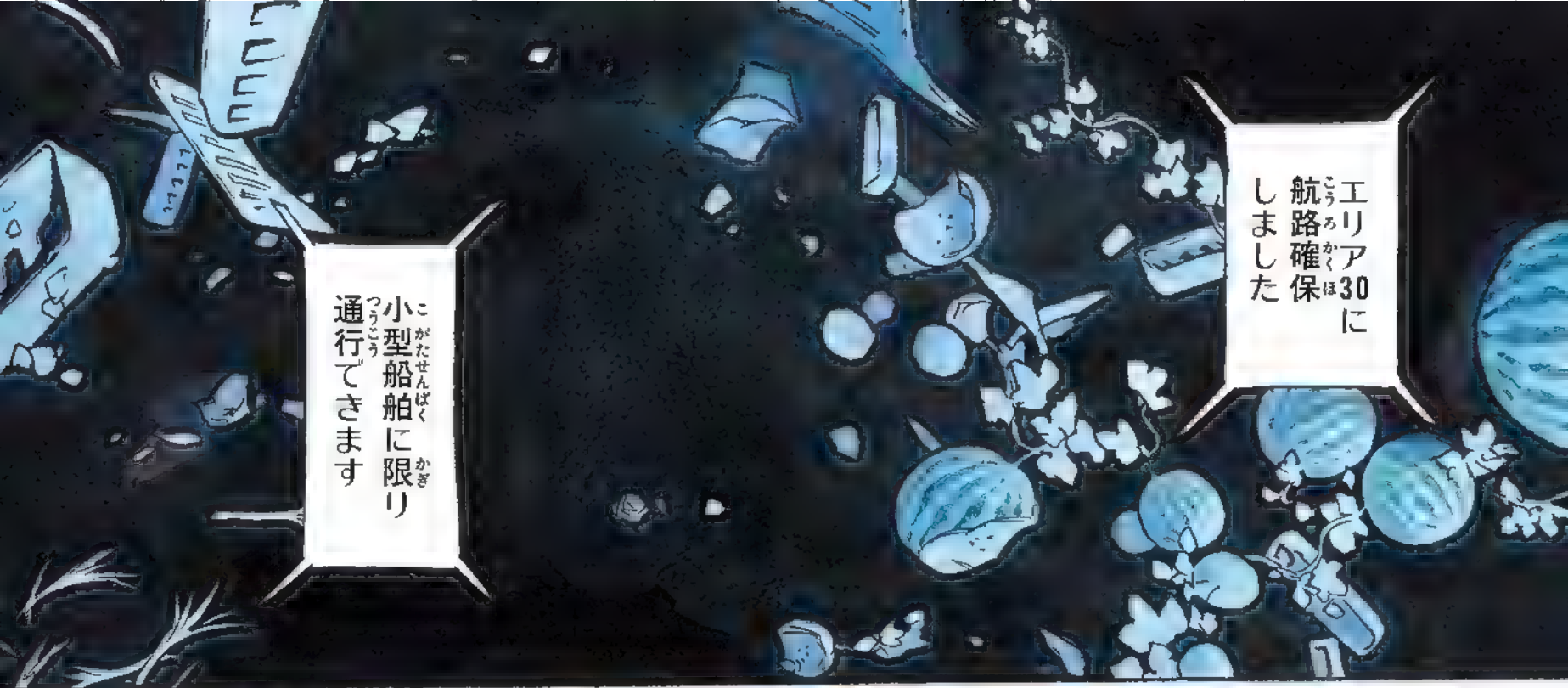




開戰編・前

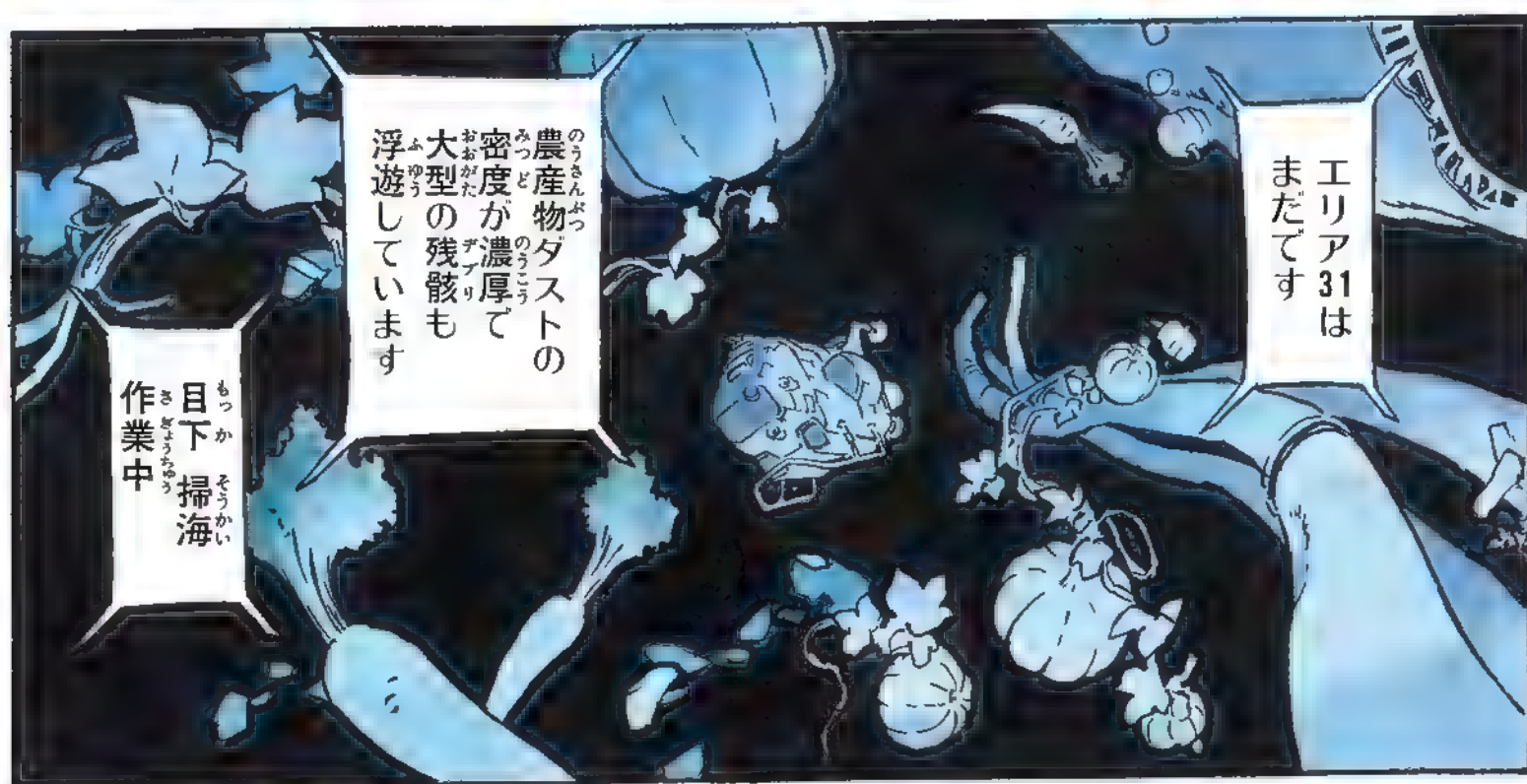
SECTION  
III





エリア30に  
航路確保  
しました

小型船舶に限り  
通行できます



エリア31は  
まだです

農産物ダストの  
密度が濃厚で  
大型の残骸も  
浮遊しています

目下掃海  
作業中

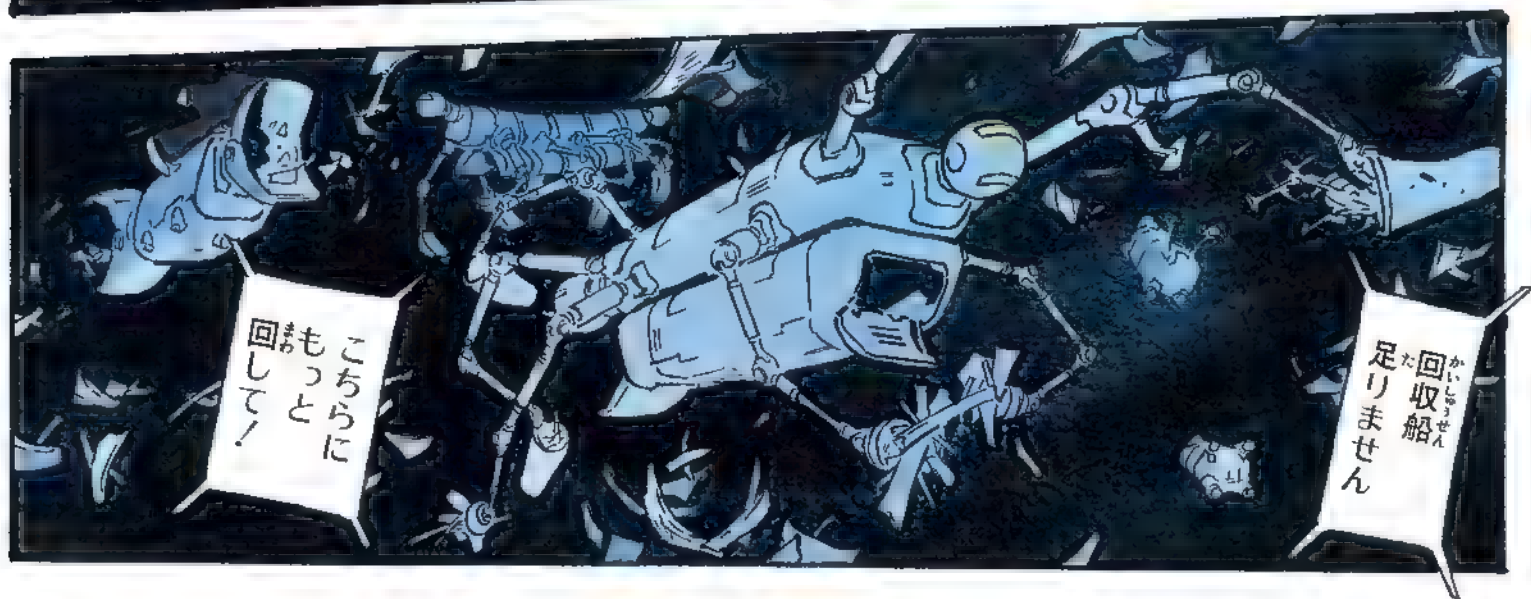
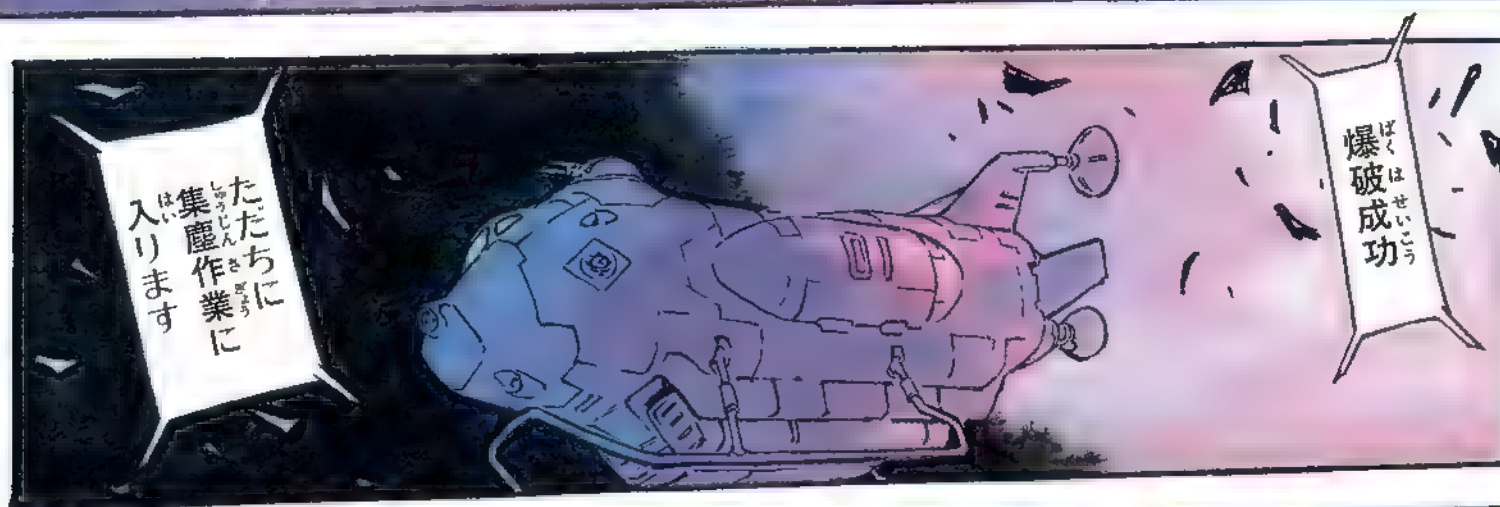
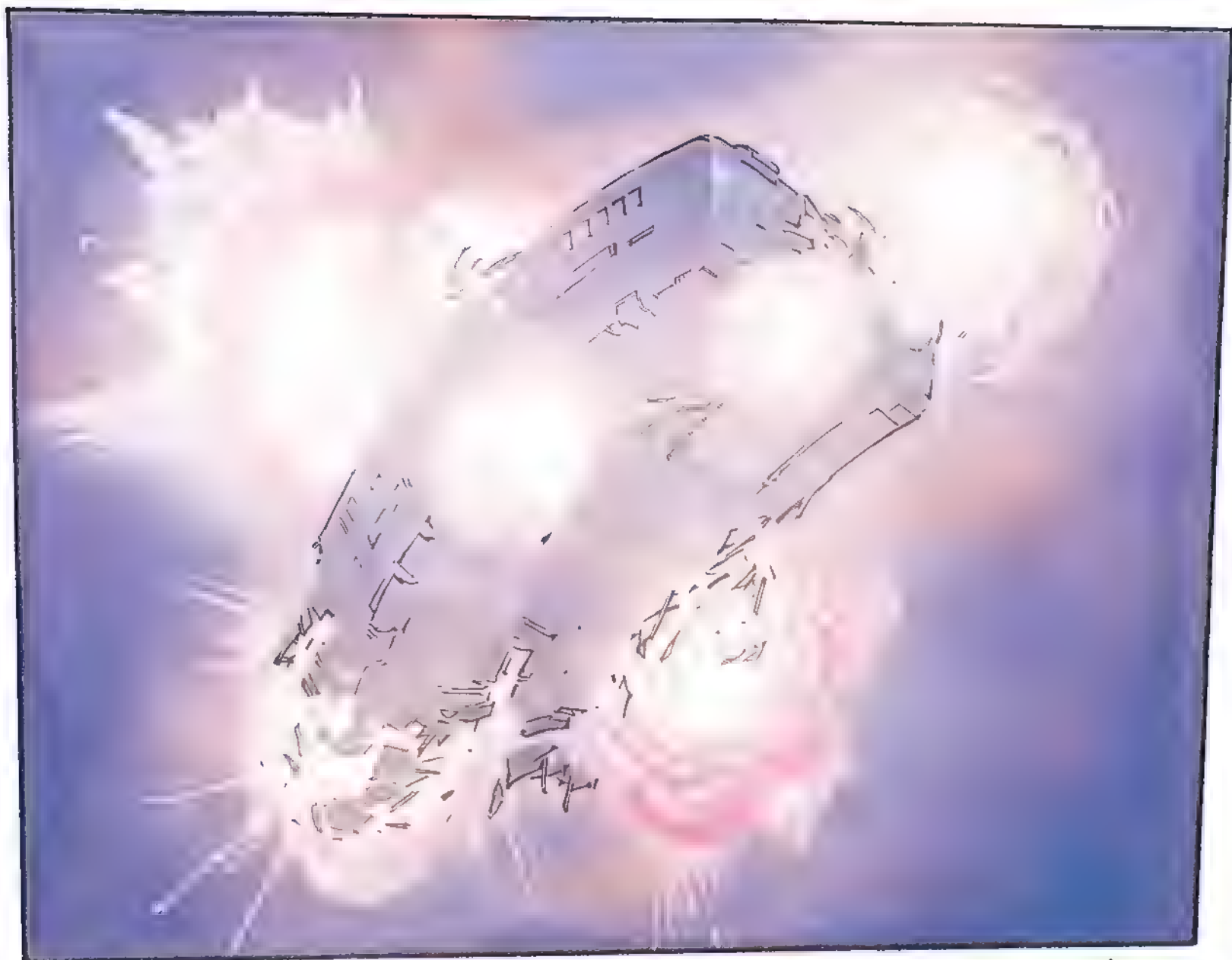


3号残骸  
爆破一分前

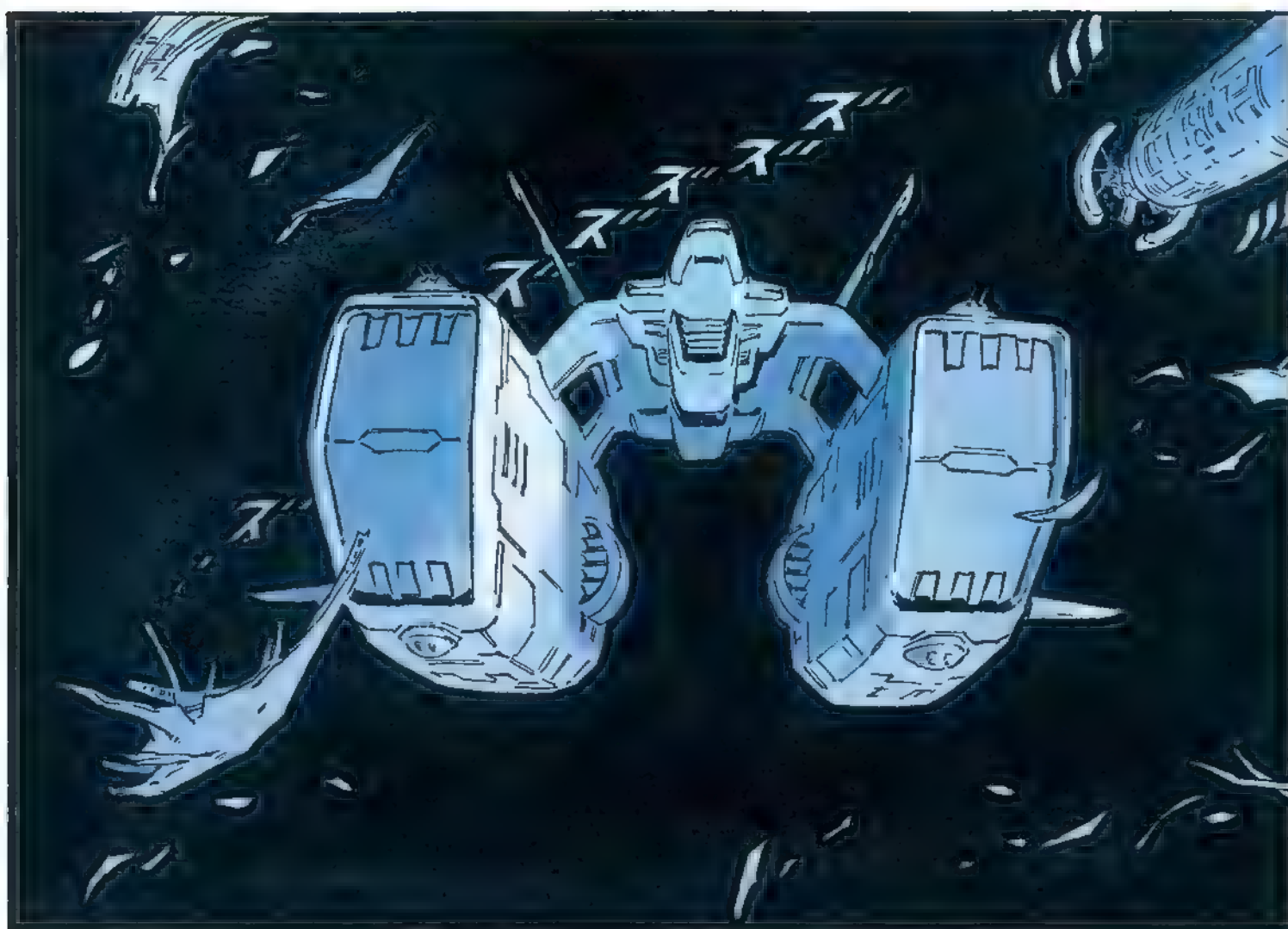
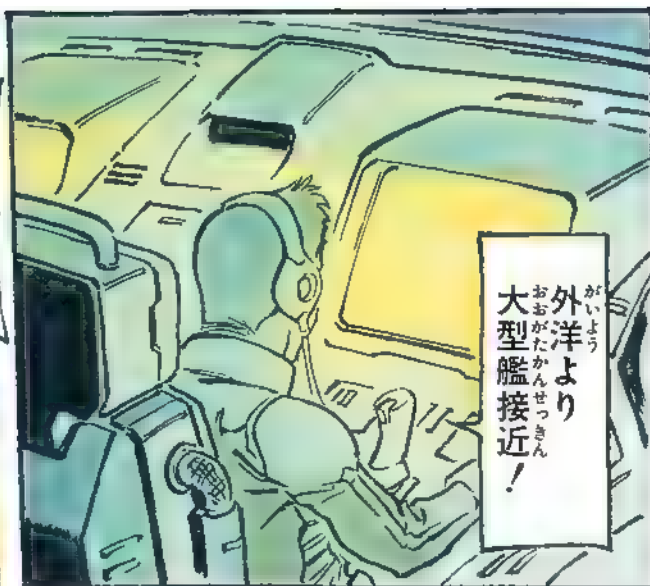
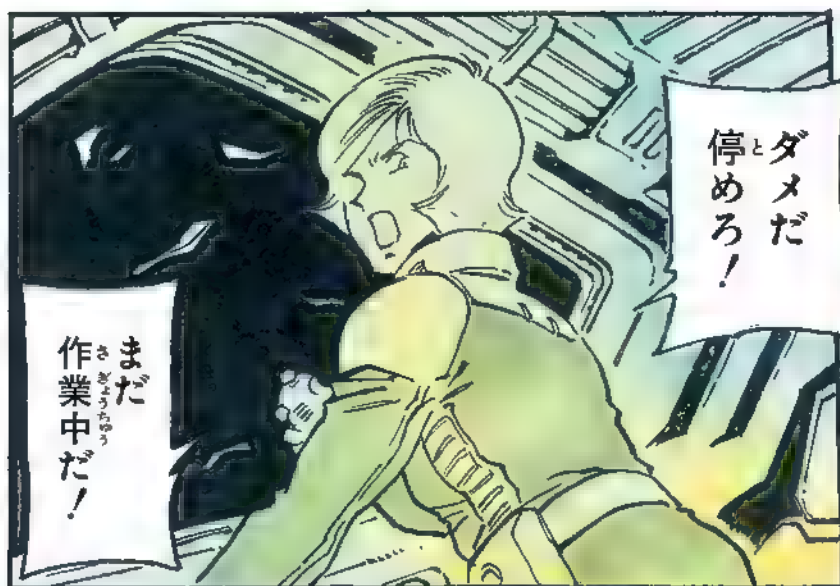
各作業艇  
後退せよ

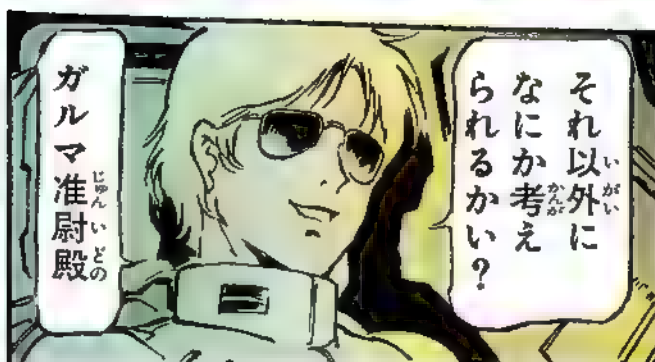
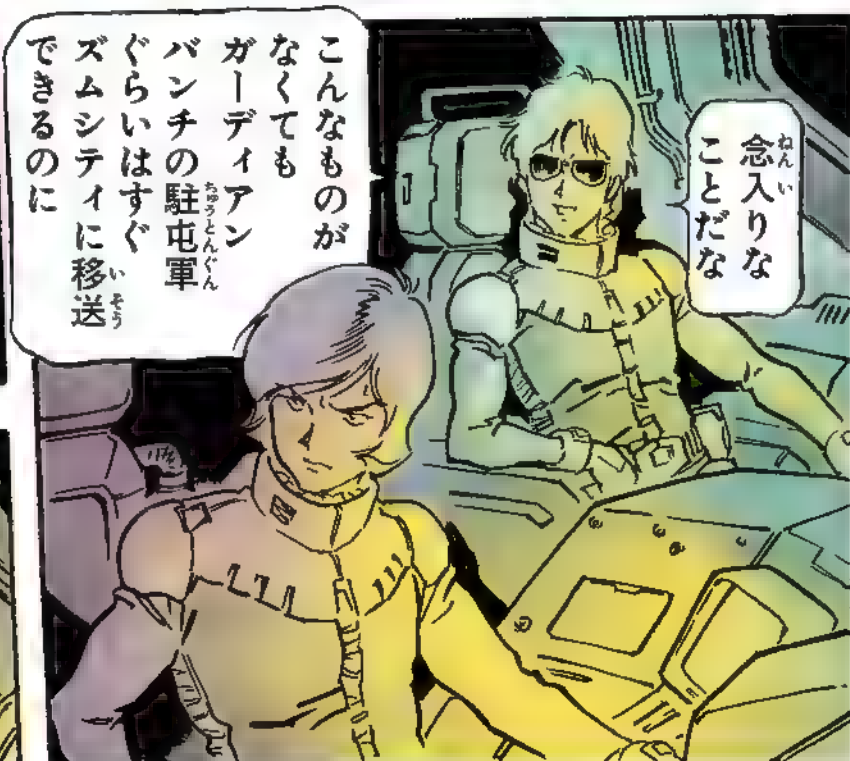
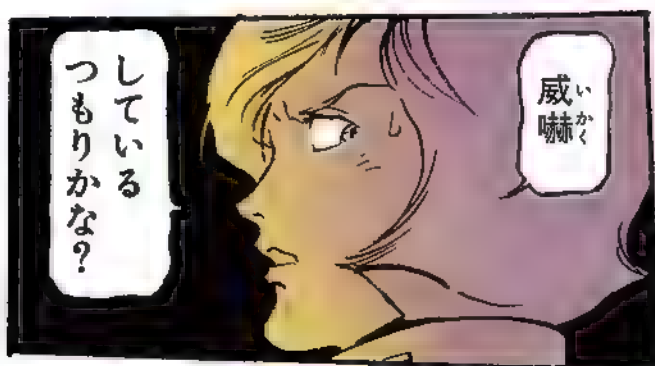
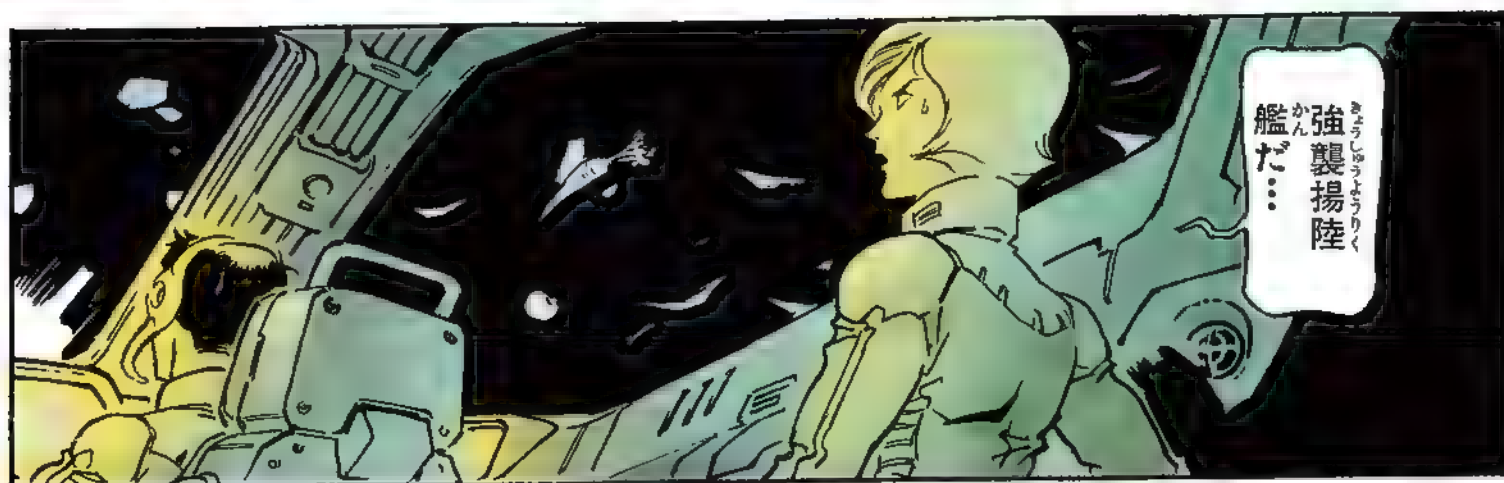
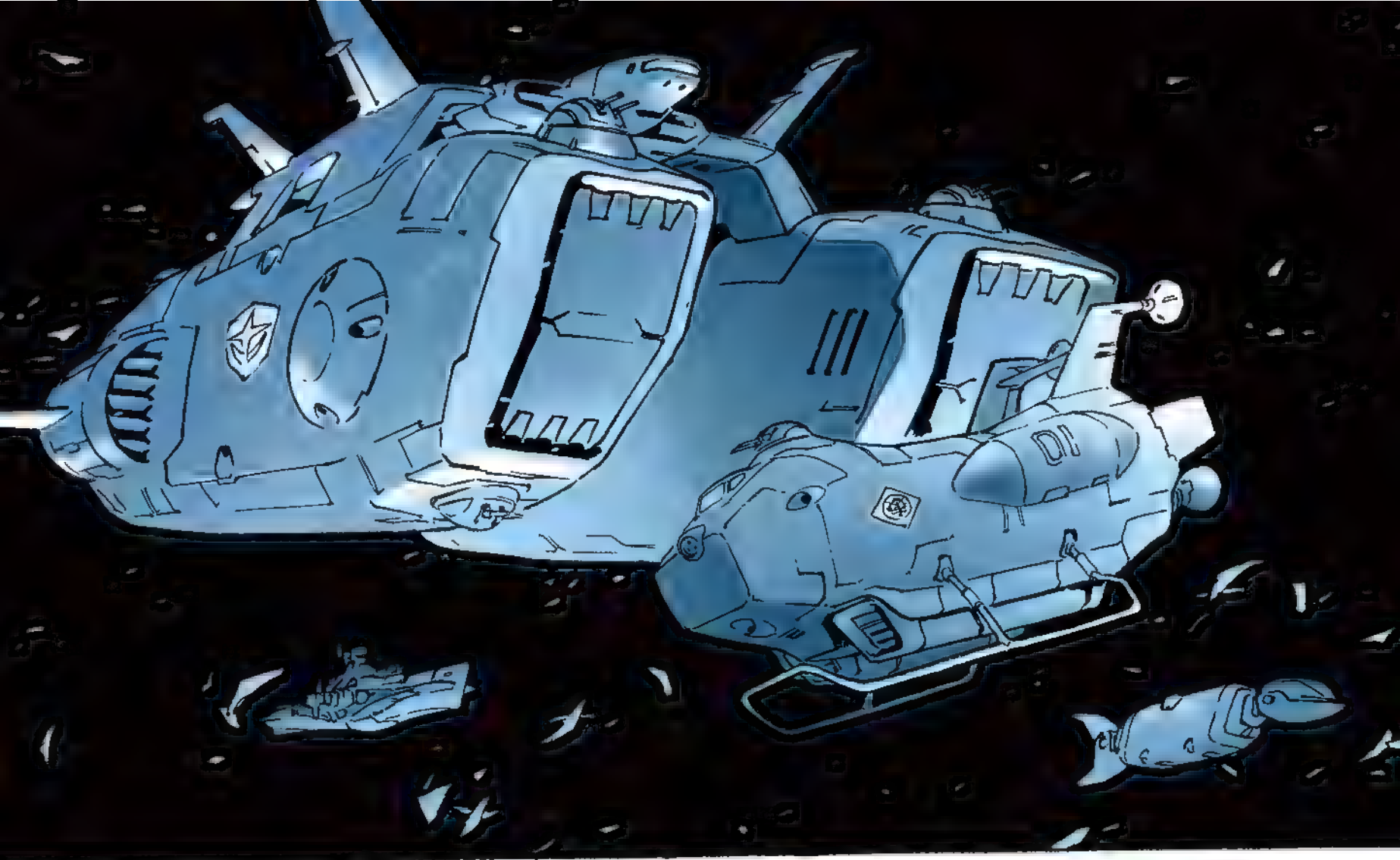
10秒前

5秒前

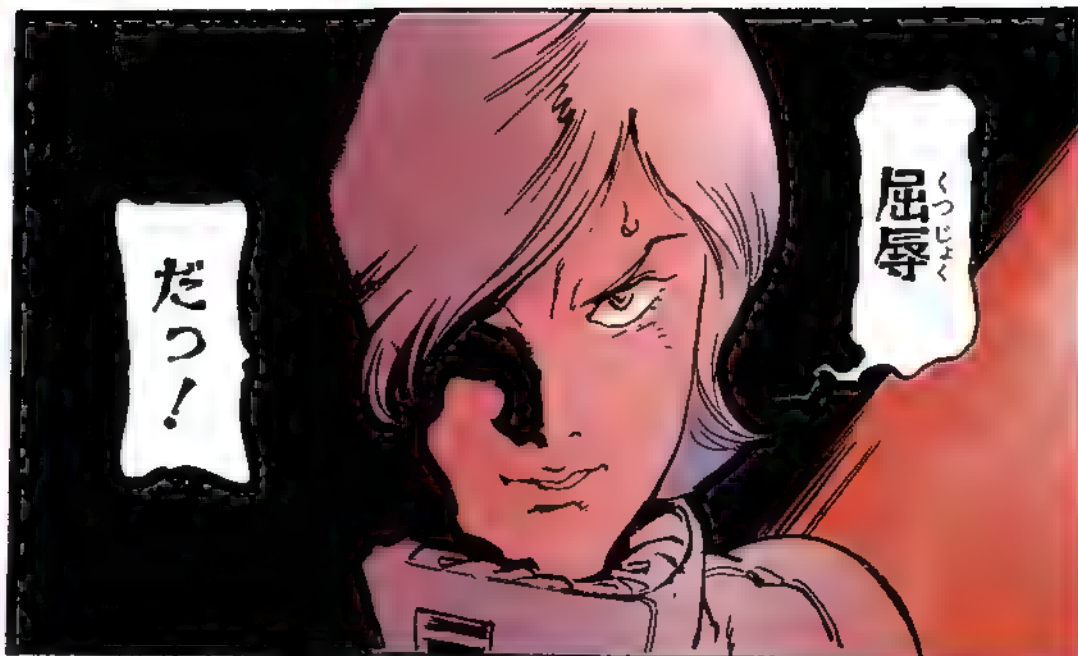
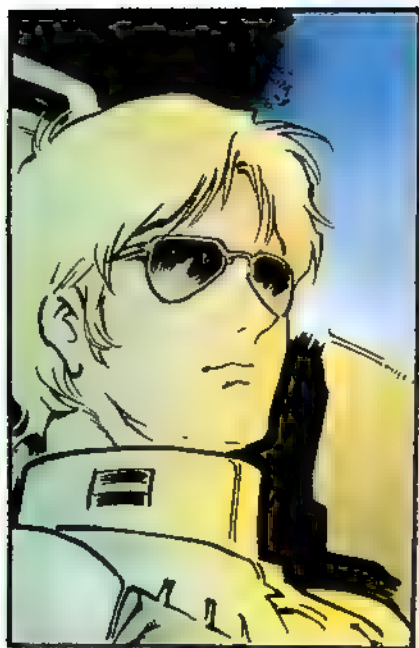






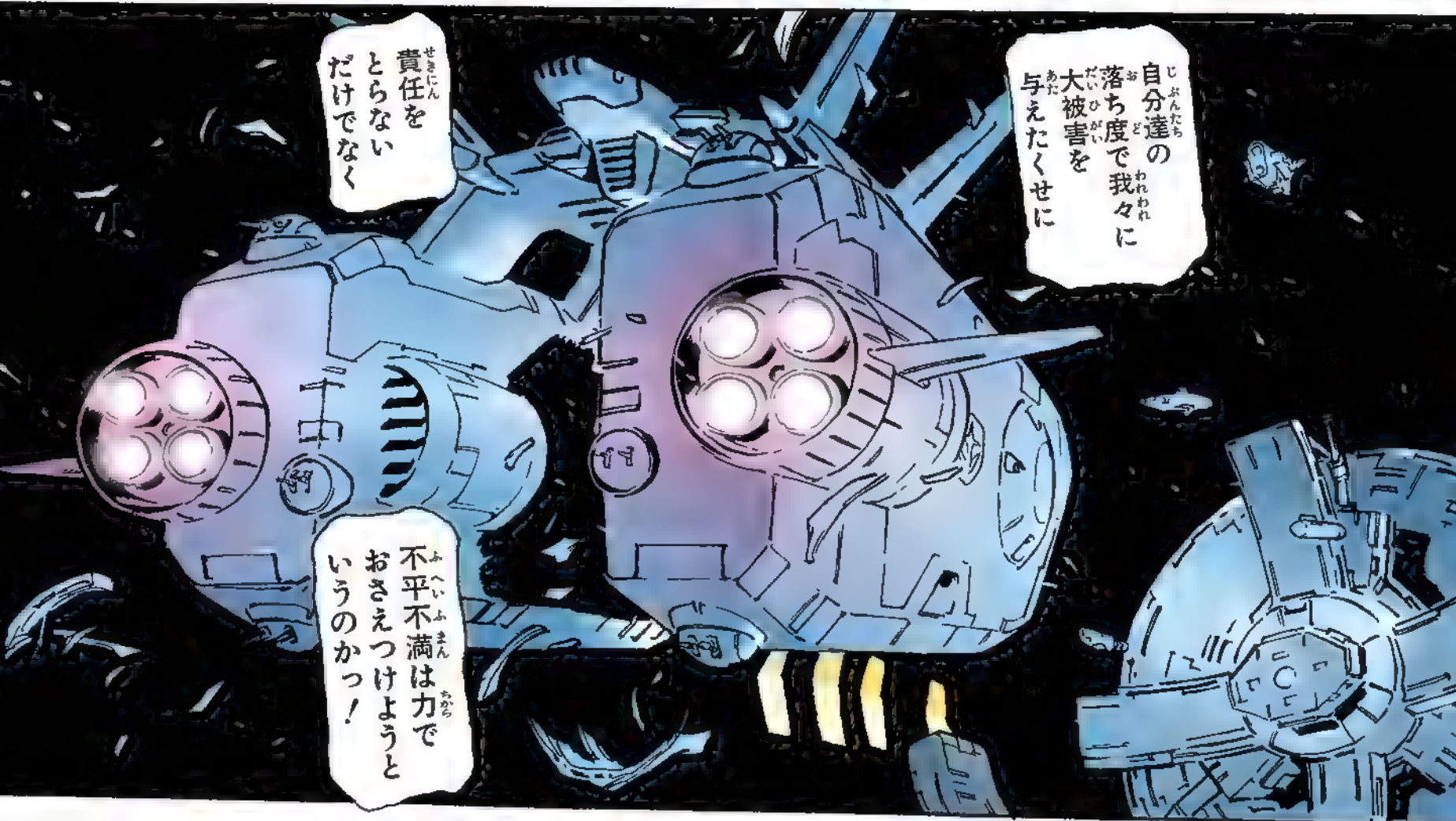






屈辱くつじやく

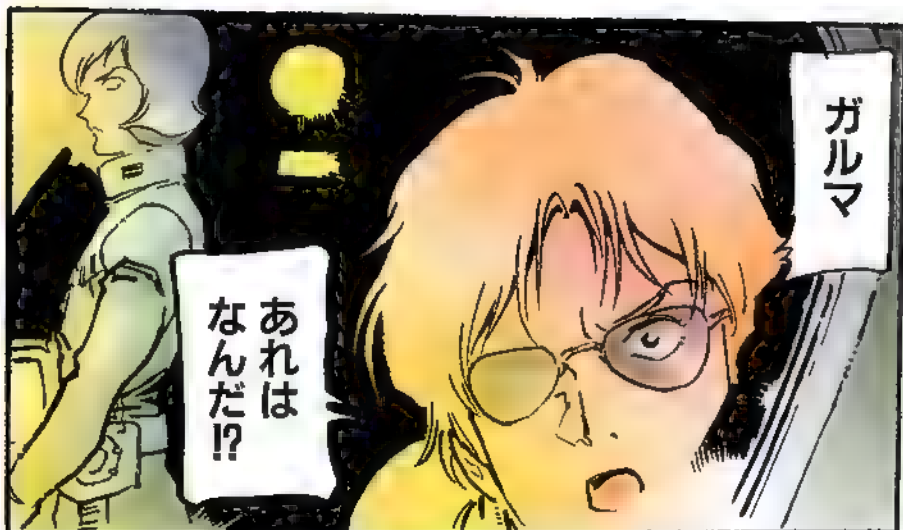
だっ！



自分達の  
落ち度で我々に  
大被害を  
与えたくせに

責任を  
とらない  
だけでなく

不平不満は力で  
おさえつけようと  
いうのかっ！

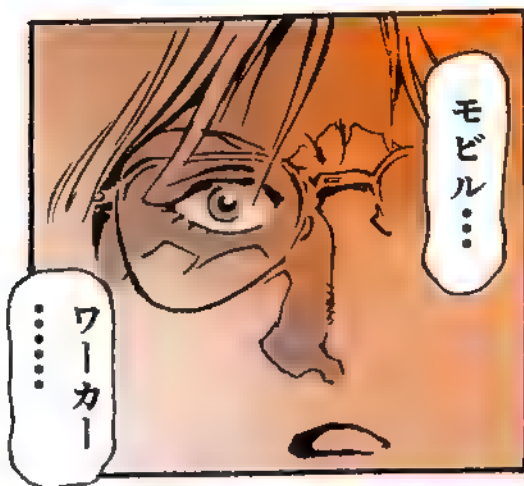
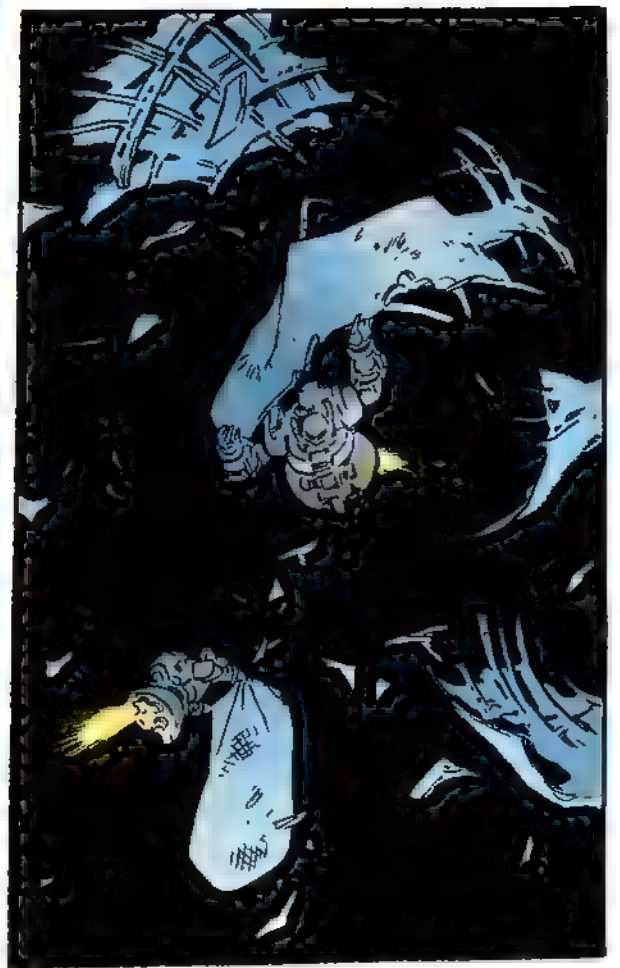
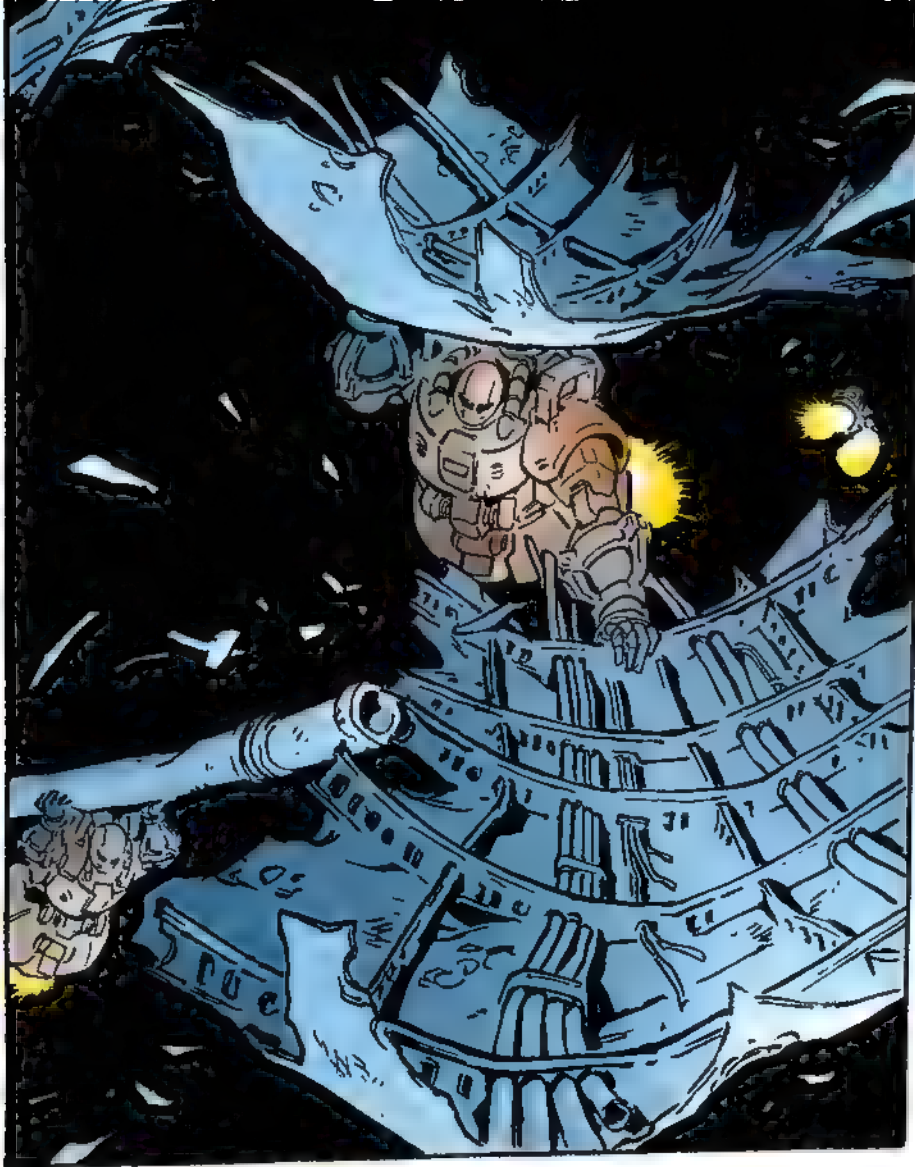


ガルマ

あれは  
なんだ！？

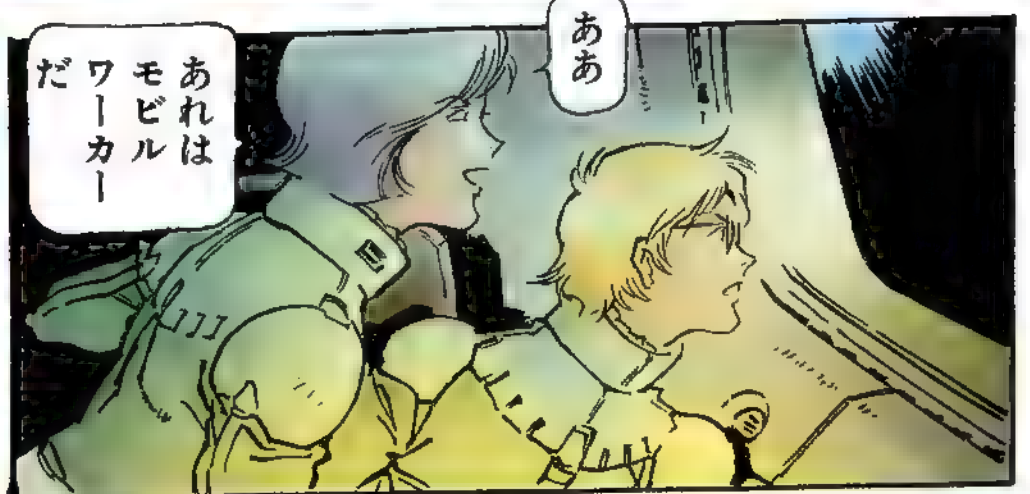






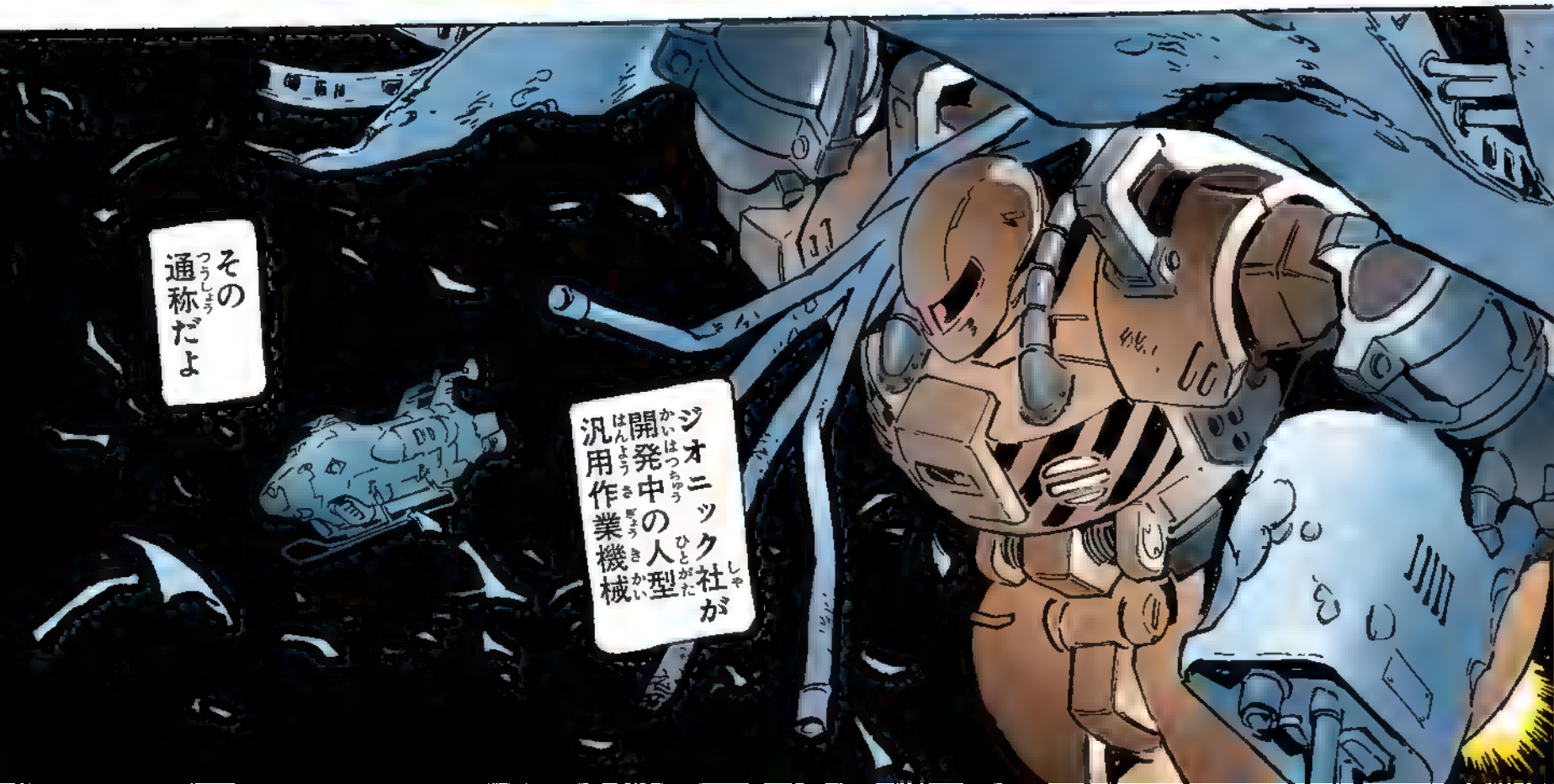
モデル...

ワーカー  
.....



ああ

あれは  
モビル  
ワーカー  
だ



その  
通称だよ

ジオニック社が  
開発中の人型  
汎用作業機械



ほんらい 本来は月の  
ちかしげんさいくろ 地下資源採掘  
のためのもの  
なんだけど

つか こんなことにも  
使える

ドズル兄さんが  
開発の最高  
責任者なんだ

4ニラ...

シャア

これはトップ  
シークレットだ

キミだけに言う

モビルワーカーは  
軍事に転用が  
可能だ

だから  
ドズル兄さんは  
開発に御熱心  
なんだ

もしも...

なんだあつ  
てええっ!!?

つべこべ言わんで  
航路をあけろっ!

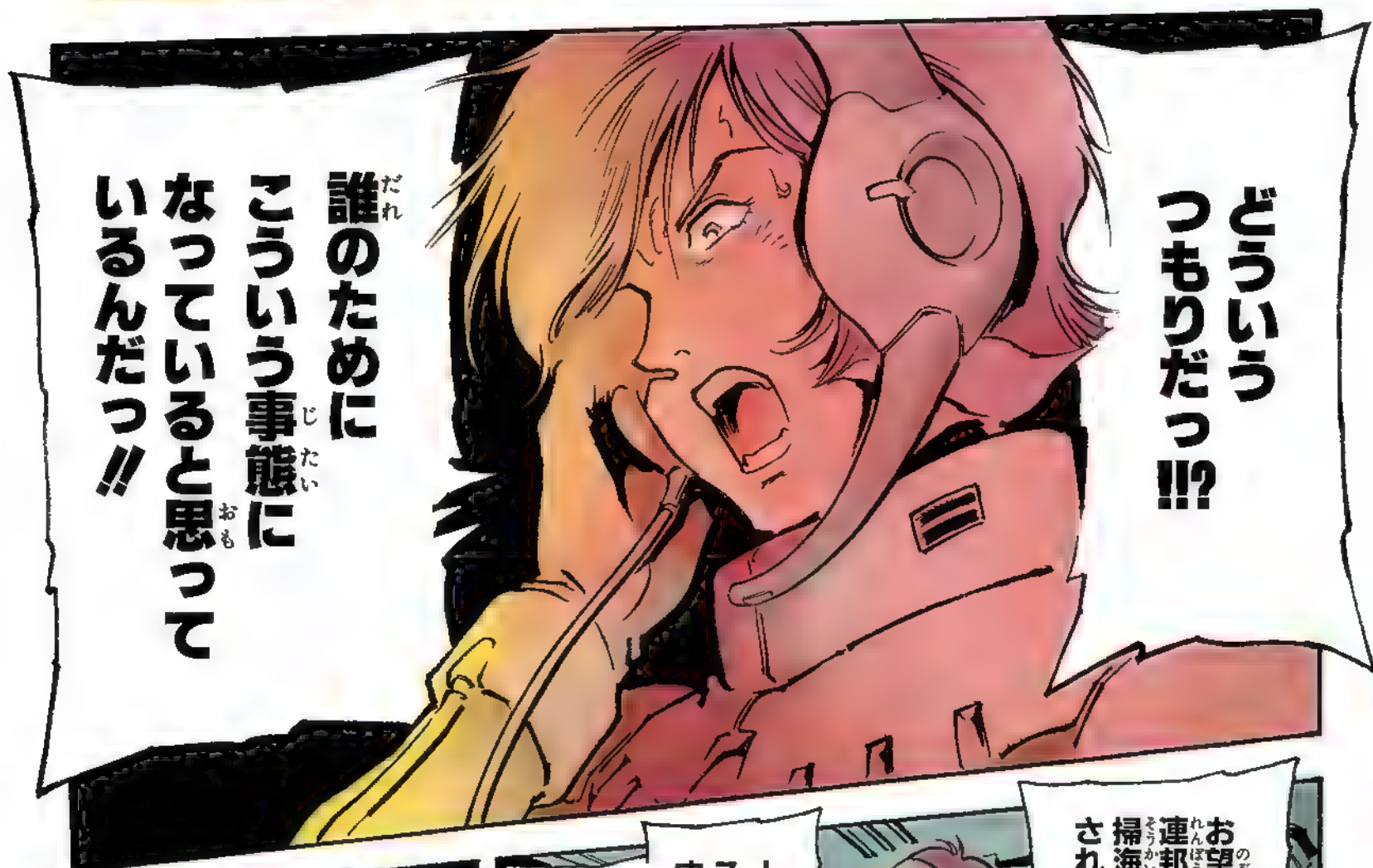
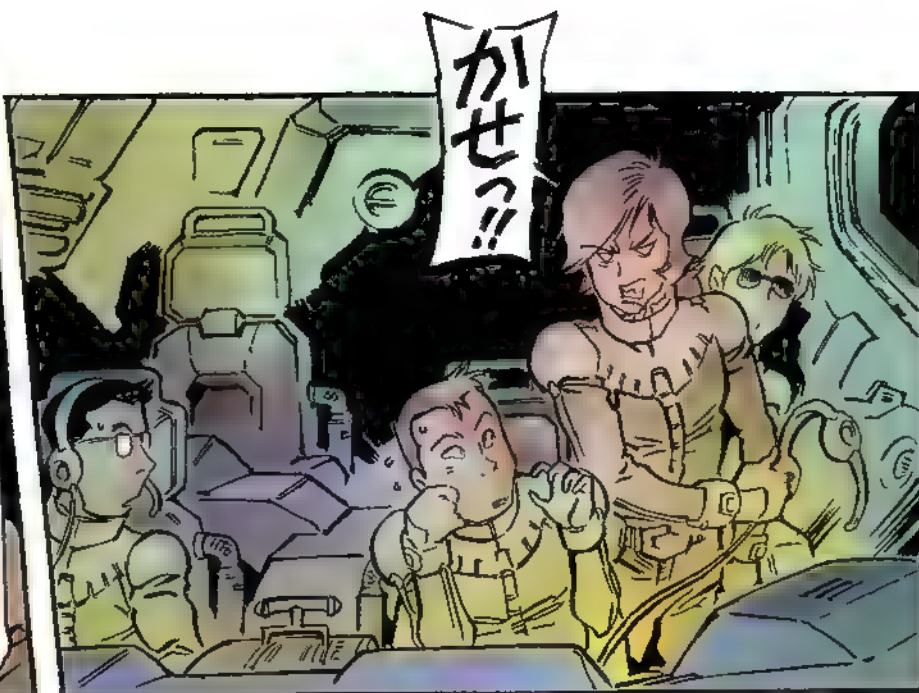
練習生の  
くせにつ

いま  
入港なんて  
できませんよっ!!

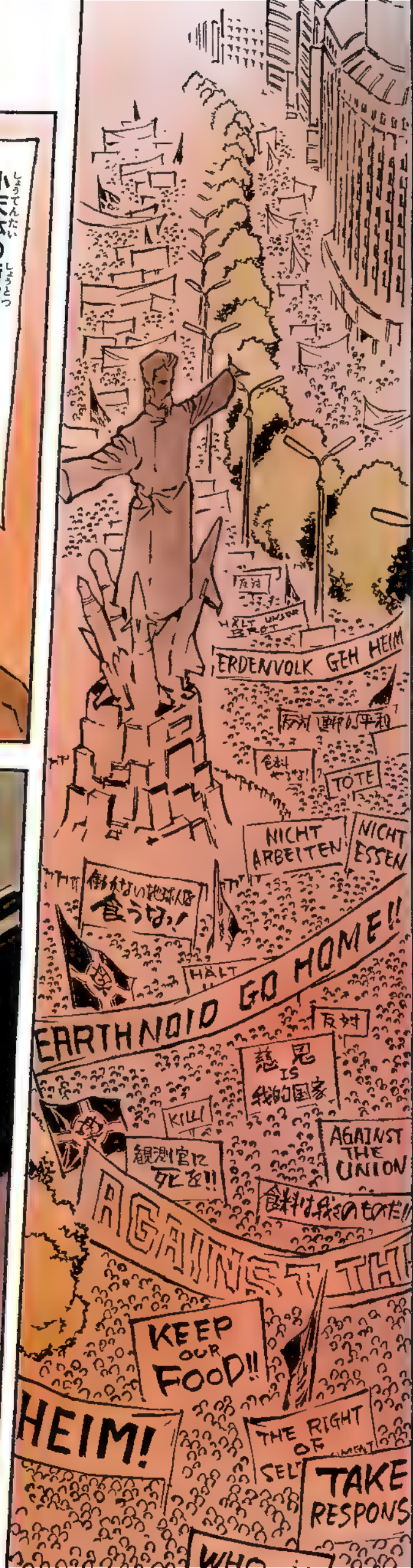
なにいつてん  
ですかっ!

誰に向って  
口をきいている  
つもりだ!!

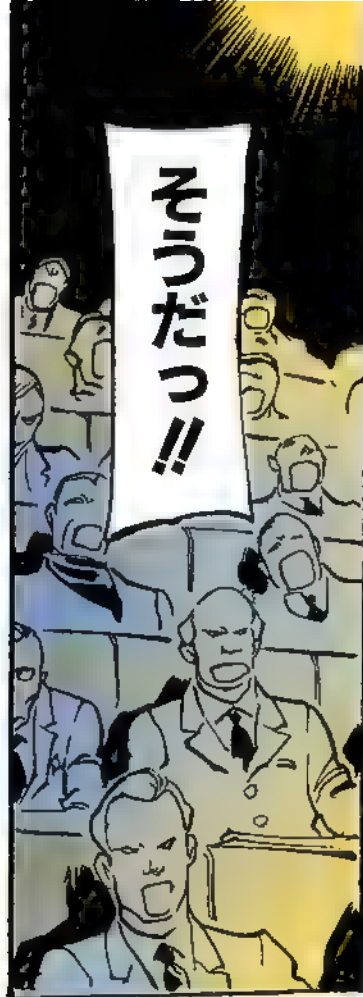




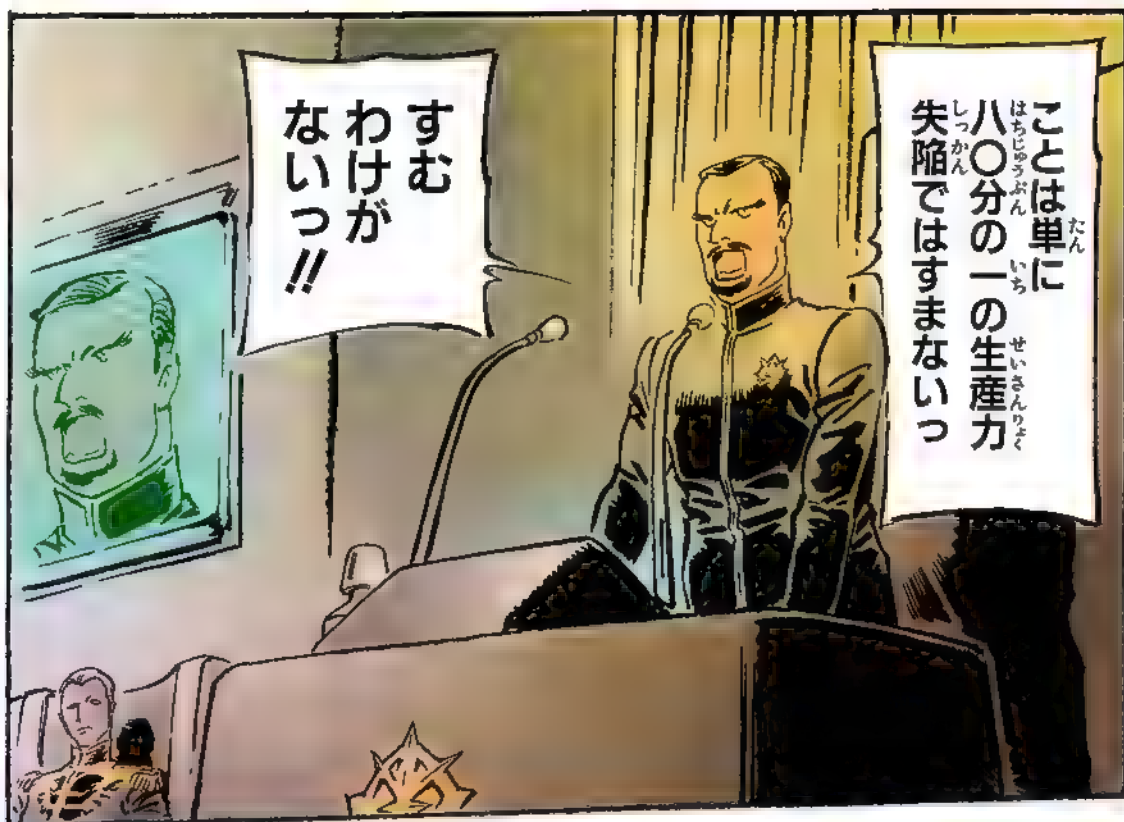






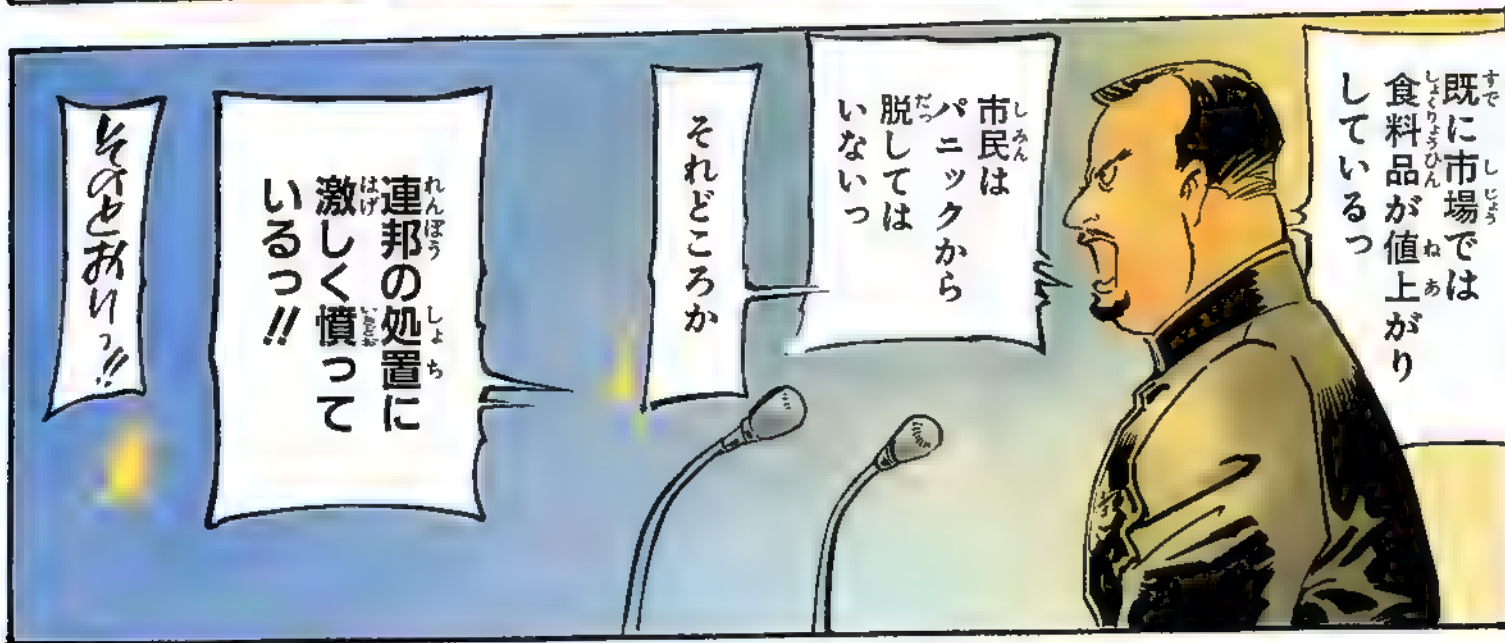


そうだっ!!



ことは単に  
はちじゅうぶん  
いち  
せいさんりき  
八〇分の一の生産力  
失陥ではすまないっ

すむ  
わけが  
ないっ!!



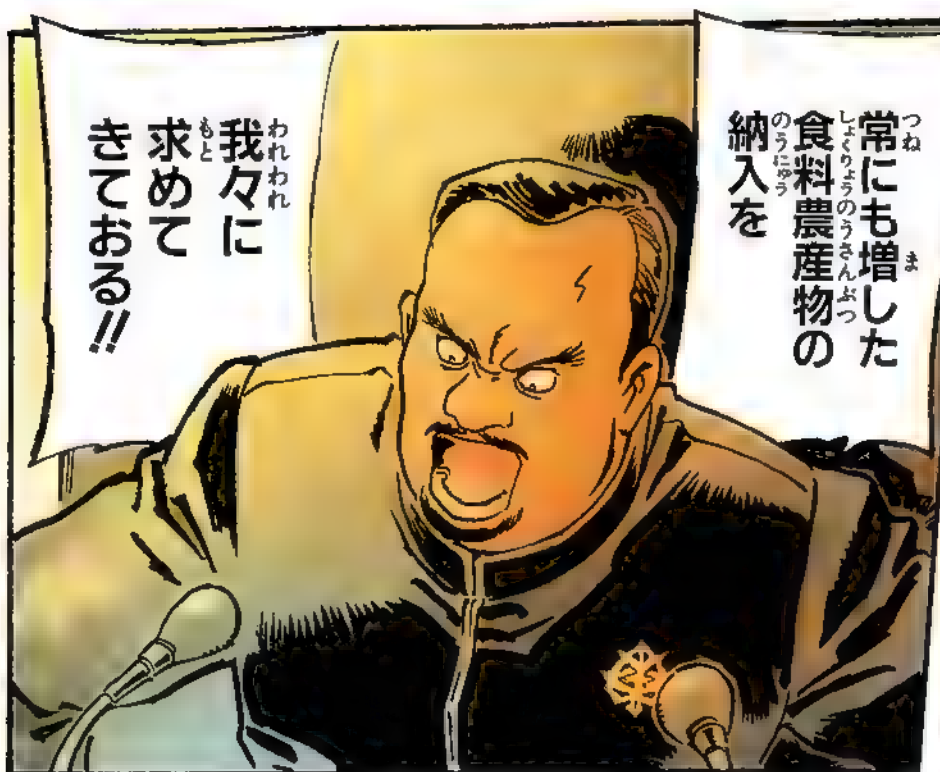
すでに  
しじょう  
既に市場では  
しよくりやひん  
ねあ  
食料品が値上がり  
しているっ

市民は  
パニックから  
脱しては  
いないっ

それどころか

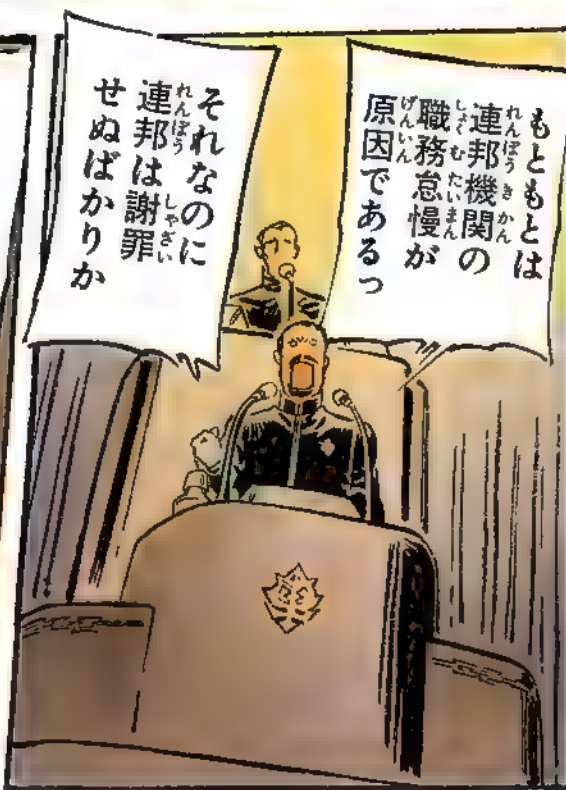
連邦の処置に  
はげ  
激しく憤って  
いるっ!!

そのとおりっ!!



我々に  
もと  
求めて  
きておる!!

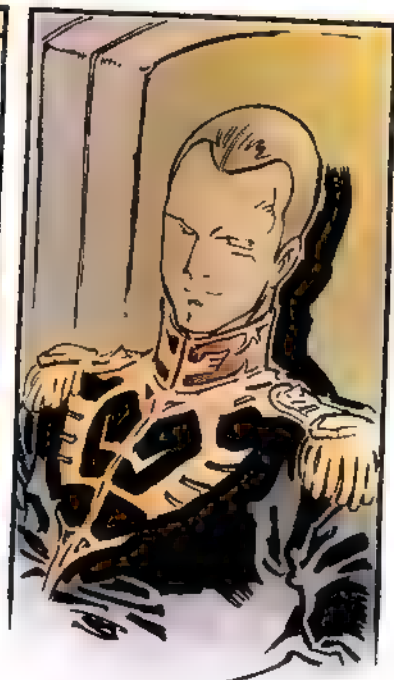
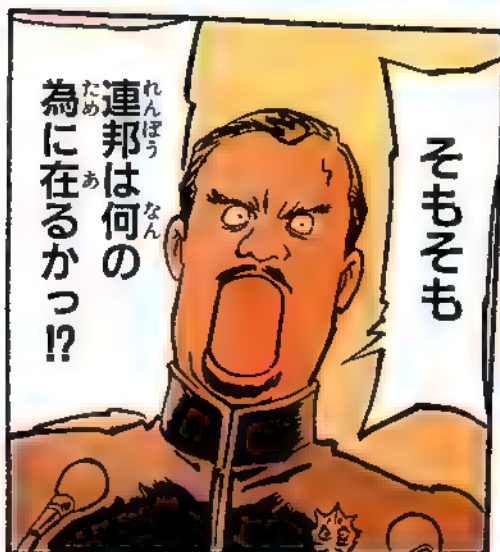
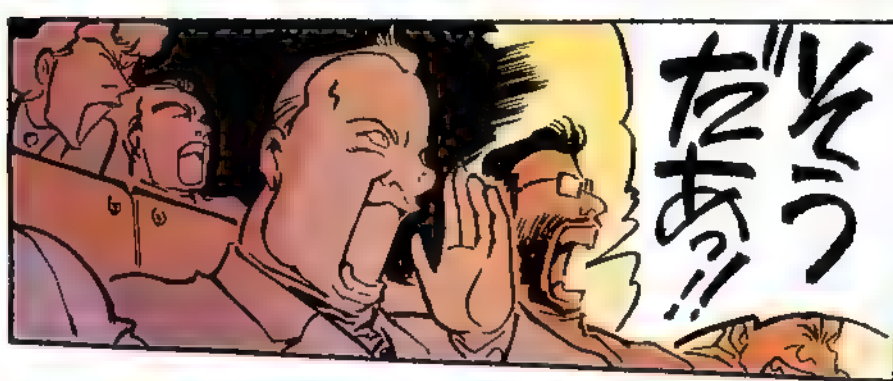
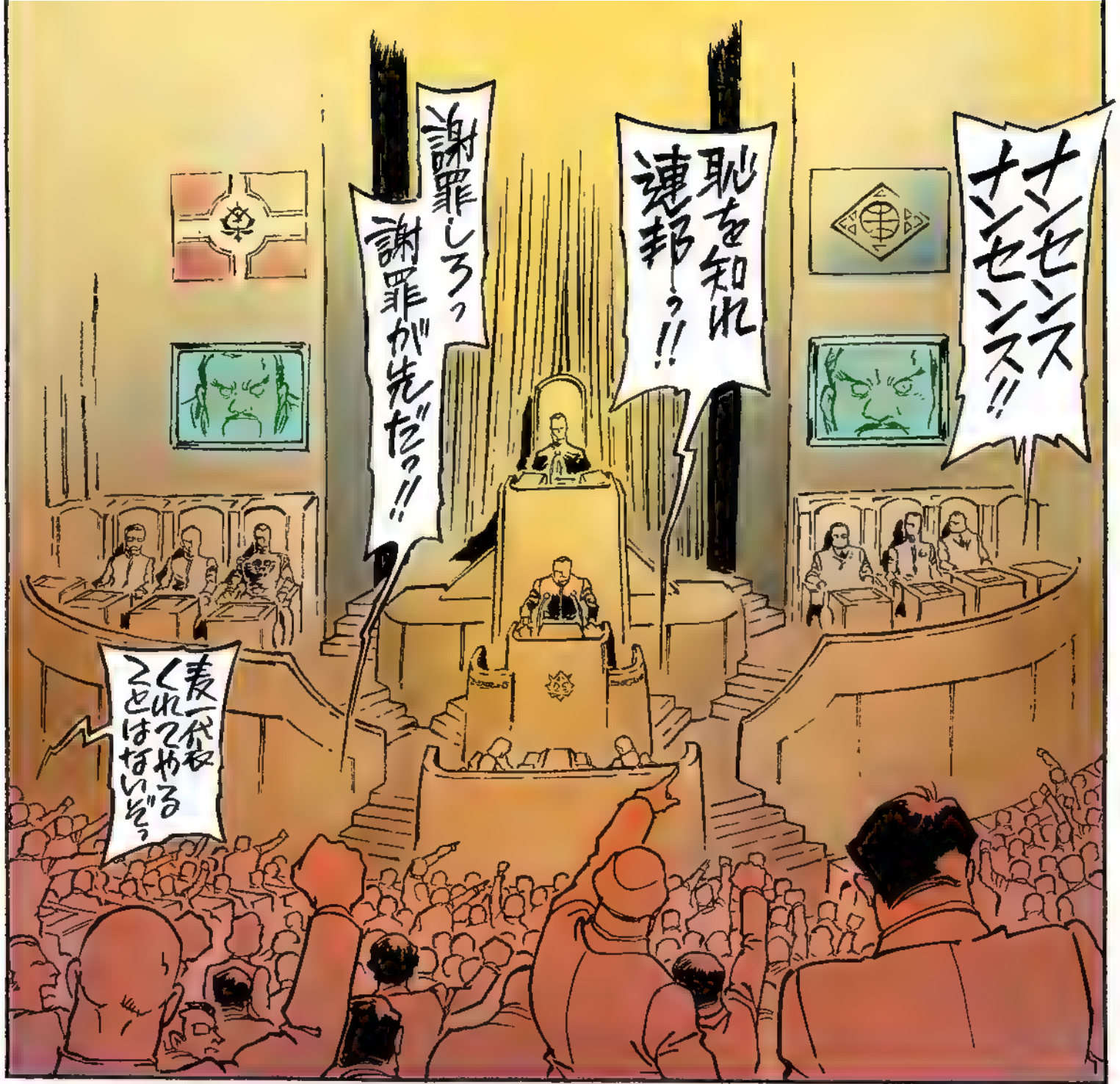
つね  
常にも増した  
しよくりやのうさんぶつ  
食料農産物の  
のうにやう  
納入を



もともとは  
れんぽう  
連邦機関の  
しやくむたいまん  
職務怠慢が  
げんいん  
原因であるっ

それなのに  
れんぽう  
連邦は謝罪  
せぬばかりか







日に日に  
資源を枯渇  
させつ

食糧生産力を失いつ

一方で徒らに  
人口を増大させ  
コロニー依存を益々  
強めるのみの連邦は

我々にとってはもはや

単に重荷で  
あるだけの  
圧制者でしか  
ないっ!!

異議があじっ!!

独立だ!!

独立だあっ!!

独立だあ!!

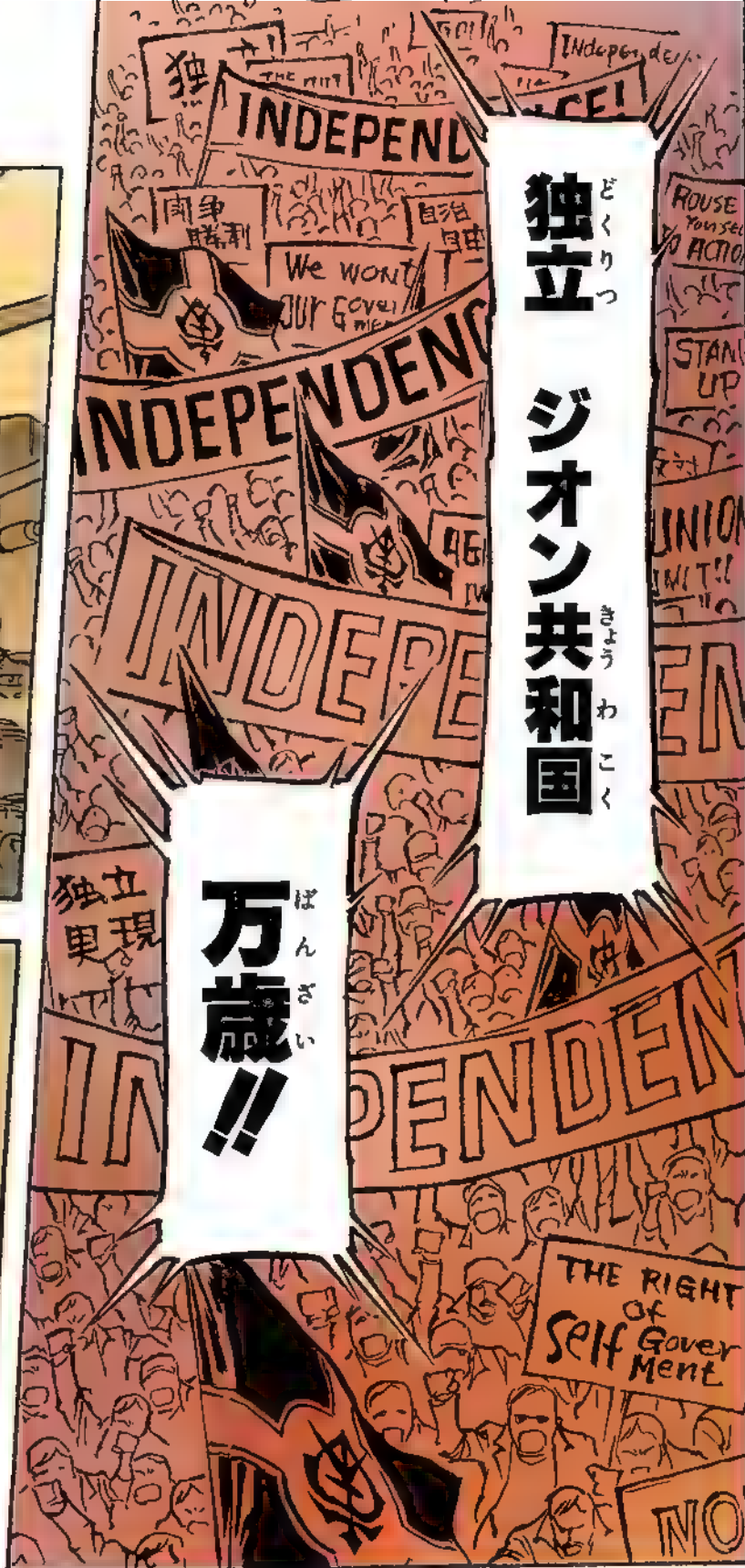
独立だあ!!

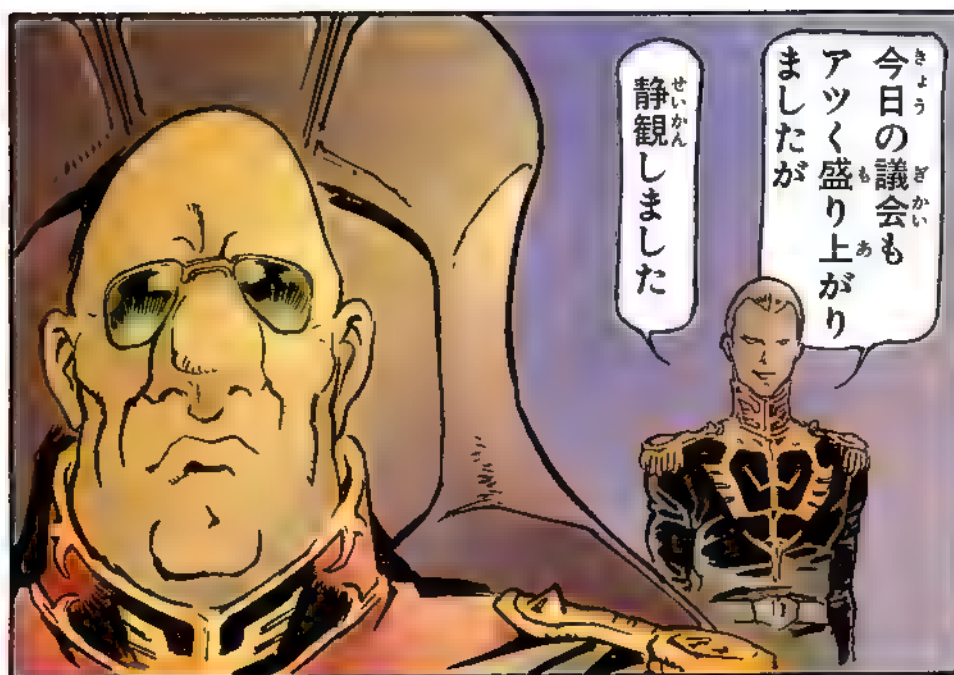
独立だ!!

独立だ!!

總独立!!

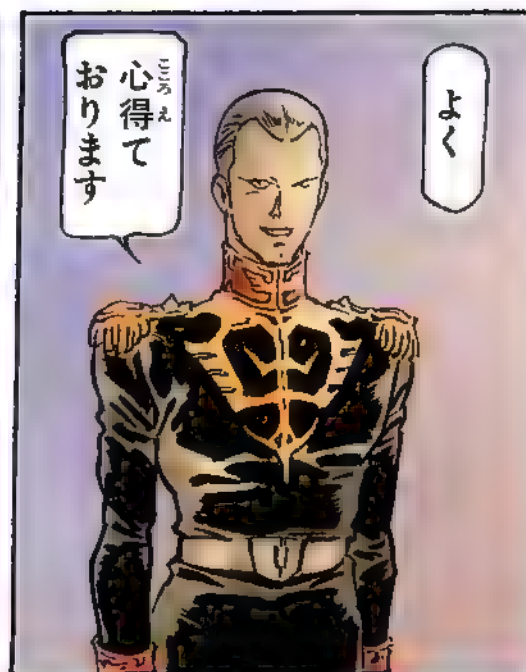






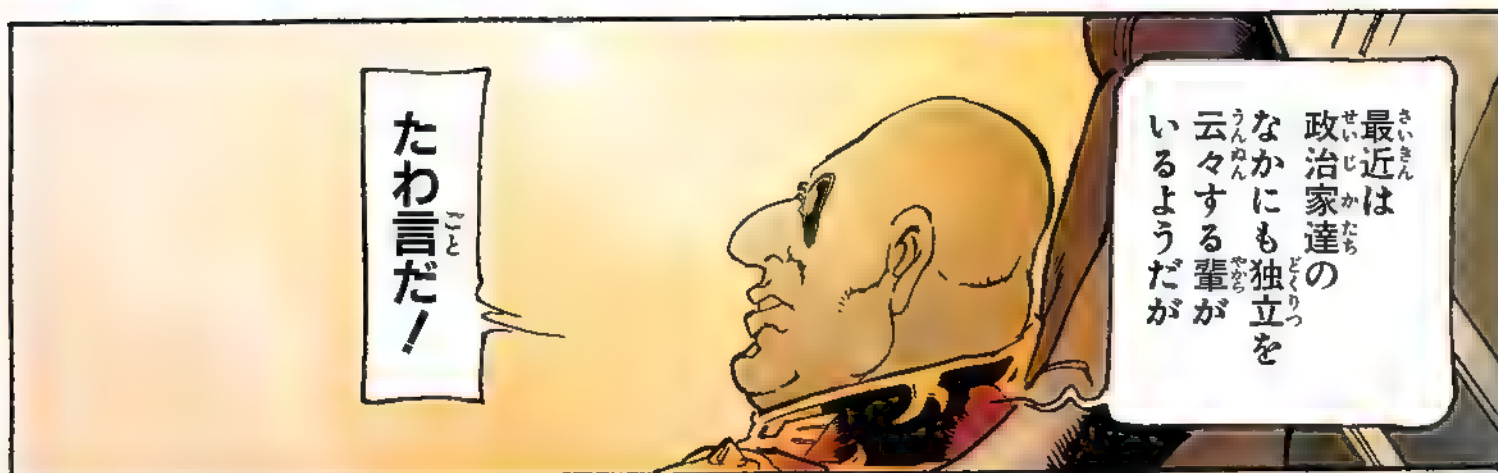
静観しました

今日の議会も  
アツく盛り上がり  
ましたが



よく

心得て  
おります



たわ言だ!

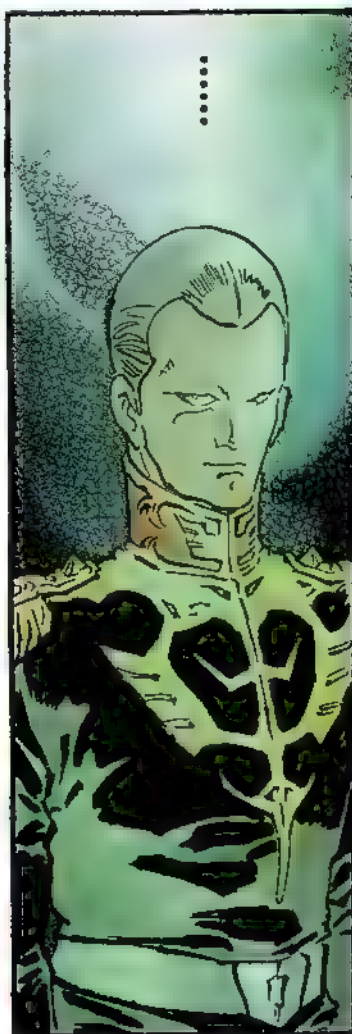
最近  
政治家達の  
なかにも独立を  
云々する輩が  
いるようだ



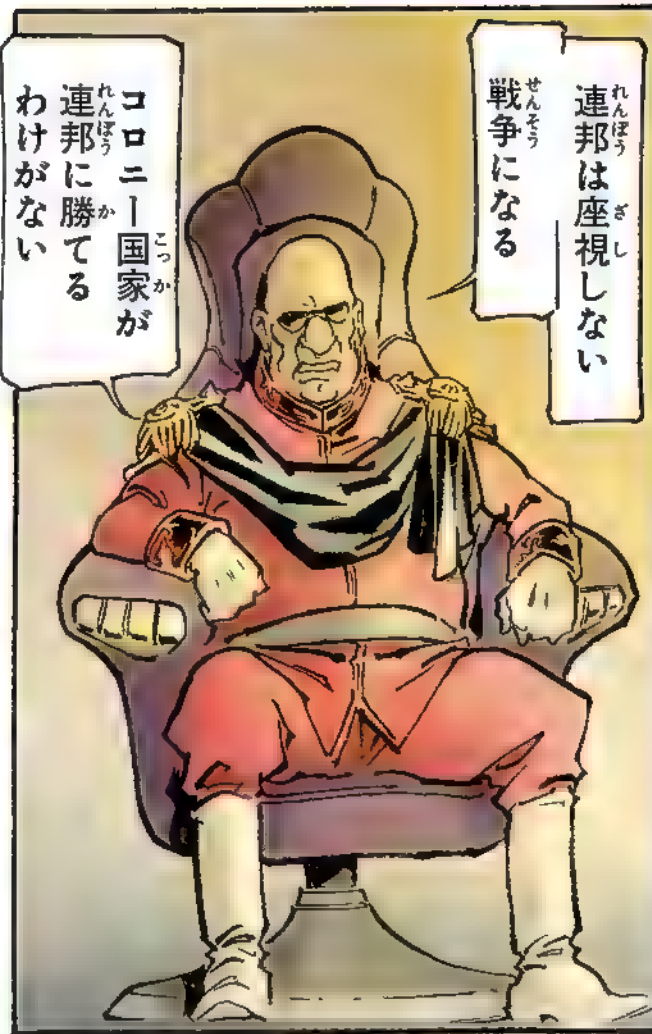
勝てぬ  
ばかりか

星間戦争は  
未曾有の惨事  
になる  
ジョン・ズム・ダイクンも

そんなことは  
望んでいな  
かったはずだ



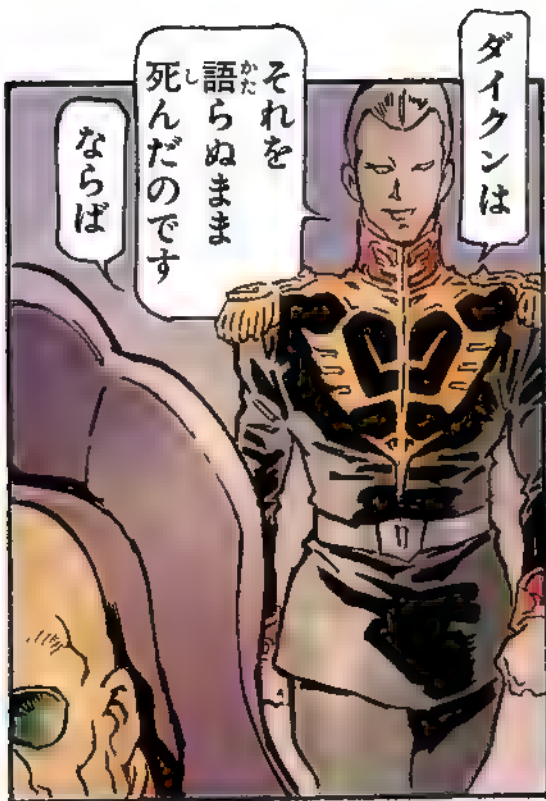
...



連邦は座視しない  
戦争になる

コロニー国家が  
連邦に勝てる  
わけがない

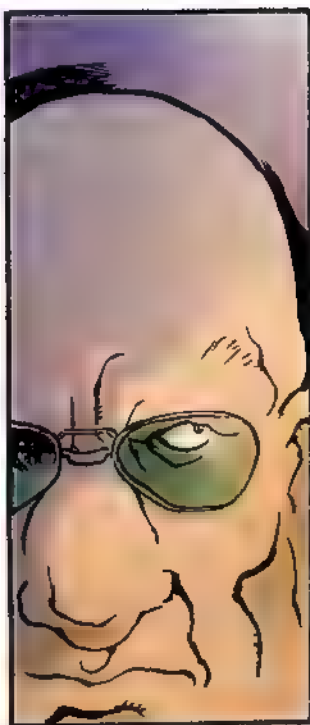




ダイクンは

それを  
語らぬまま  
死んだのです

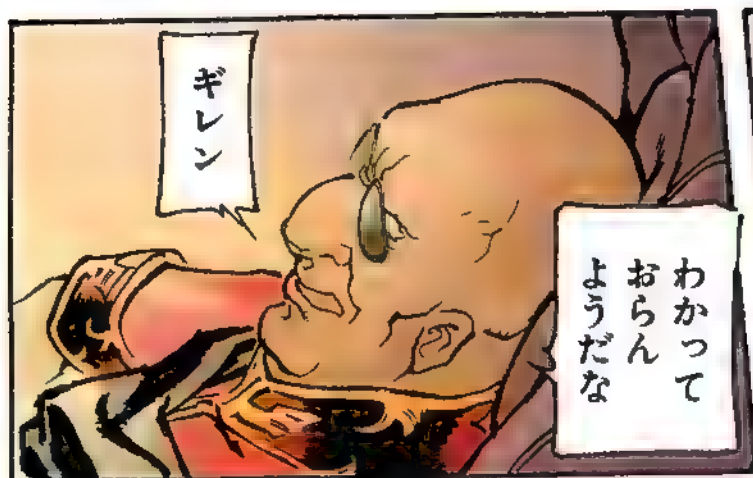
ならば



ではお尋ねします

スペースノイドが  
覇権を握らずに

どうしてダイクンの  
理想は実現され  
ましようや？



ギレン

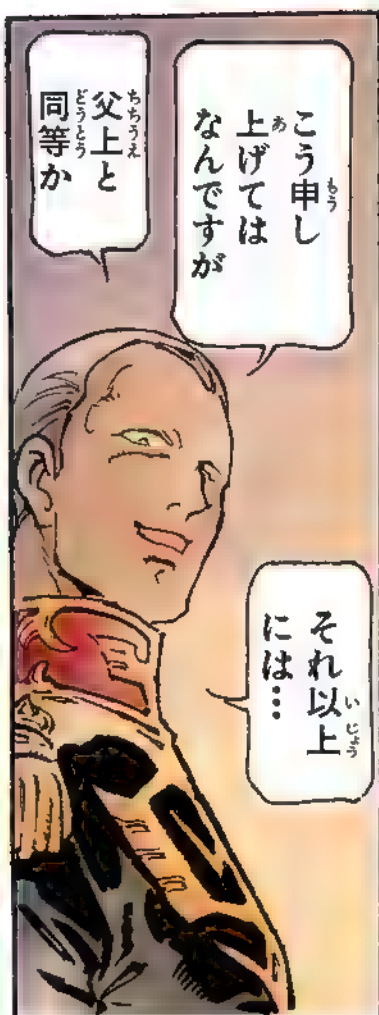
わかって  
おらん  
ようだな



示さねば  
なりません

父上か  
わたしが

大衆に



こう申し  
上げては  
なんですが

父上と  
同等か

それ以上  
には…

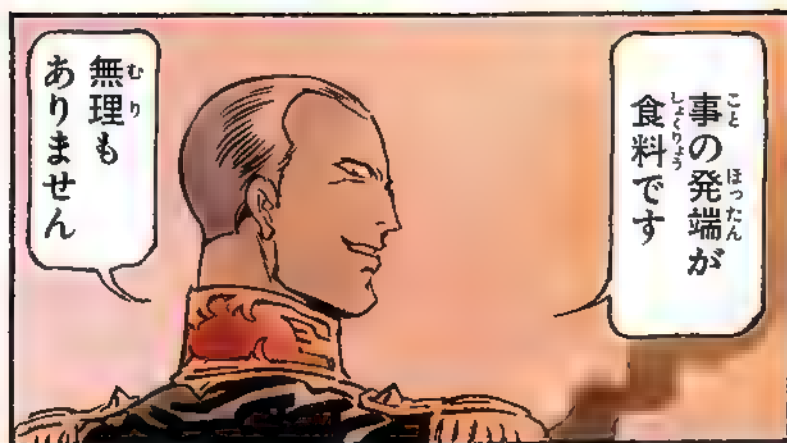
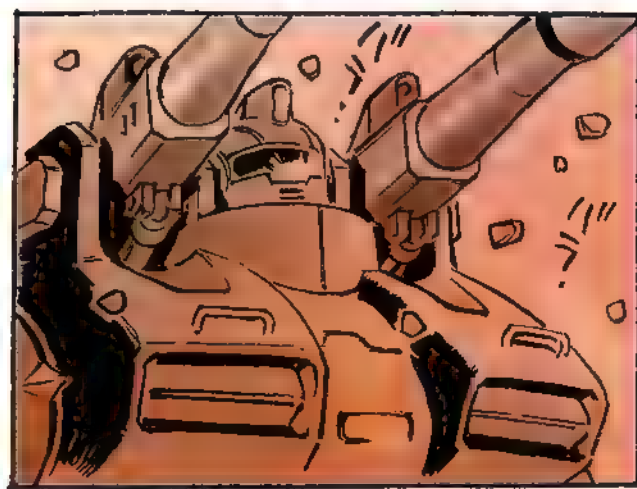
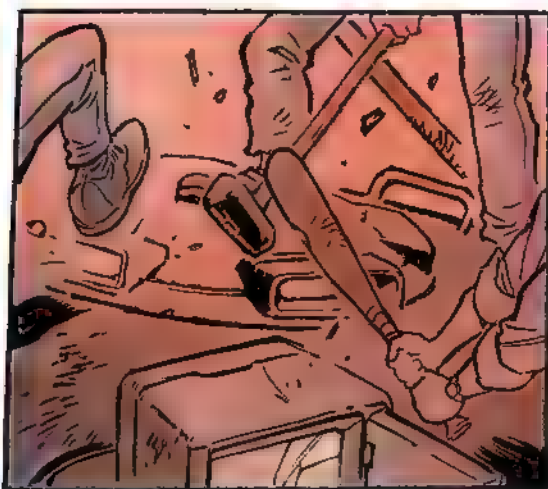
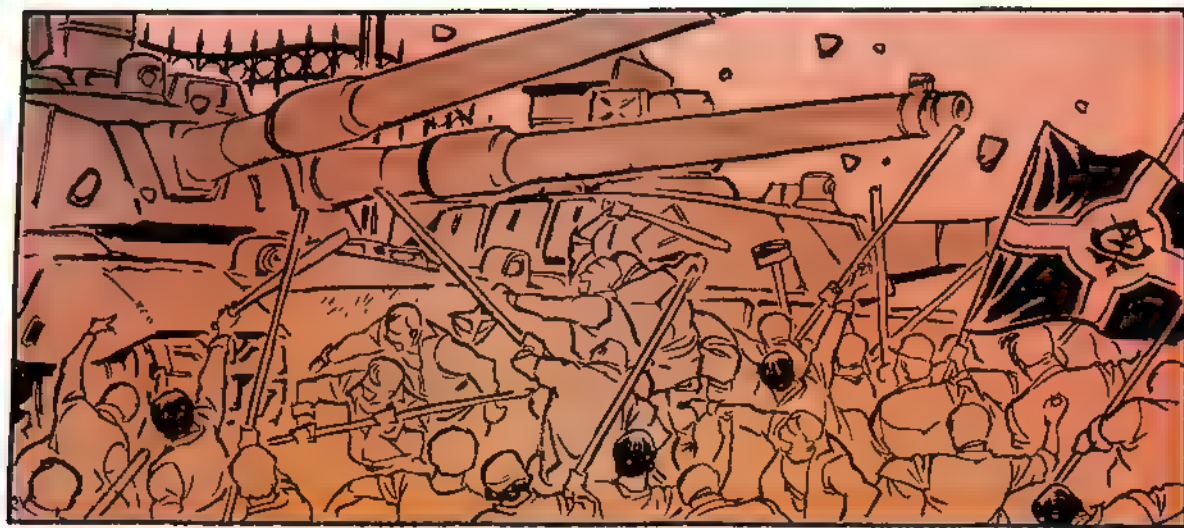


とんでも  
ない

わかって  
おりますよ

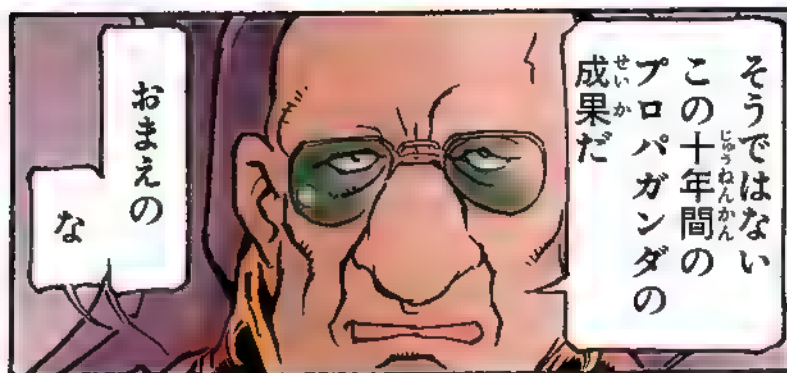
政治も軍事も  
大衆の心理も





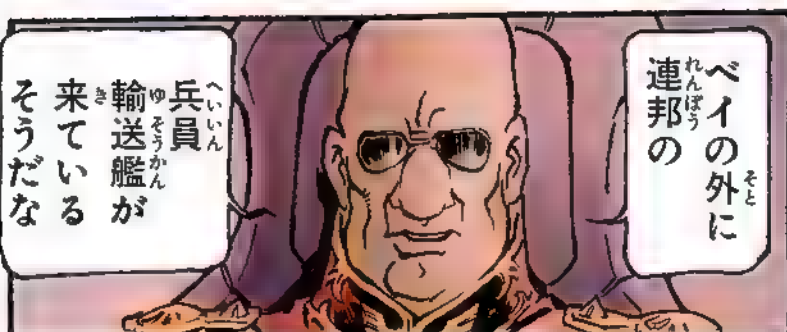
無理も  
ありません

事の発端が  
食料です



おまえの  
な

そうではない  
この十年間の  
プロパガンダの  
成果だ



ベイの外に  
連邦の

兵員  
輸送艦が  
来ている  
そうだな



ダイクンの死の  
時とはちがう

民衆の高揚ぶりは  
明らかに異常だ



さすがは  
父上

いい情報網を  
お持ちだ

ダイクンの時とは違うと  
思えばこそ連邦軍も輕輕  
には鎮圧行動に出ない  
しかし

暴動が一線を  
越えれば動く!

ガーディアンパンチの  
治安部隊を強行輸送して  
ズムシティを制圧する!

どうする  
のだ?!

そのような事態に  
なった時

御心配なく

父上

本当だな?

まかせて  
おいて  
いいのだな?

ギレン!

何度でも  
言うぞ

戦争は  
いかん!

現在も

将来も

いかんっ!



たとえ  
勝てるにしても  
いかんっ！

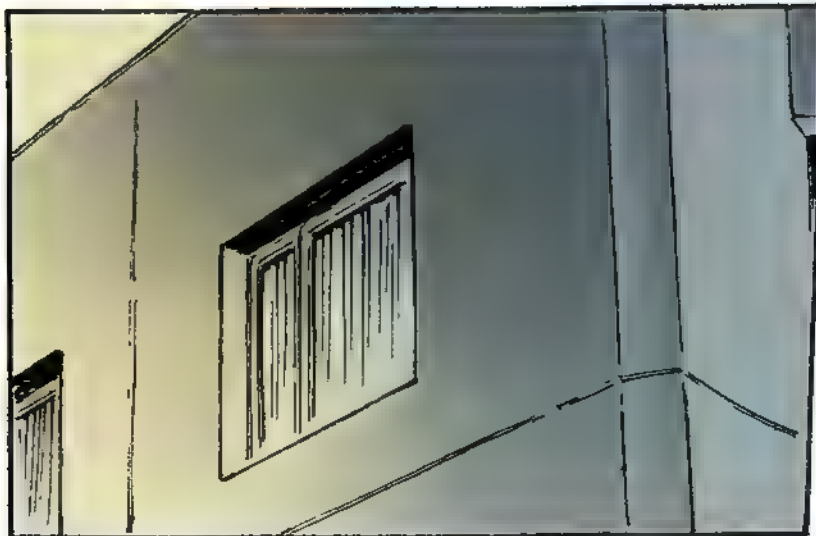
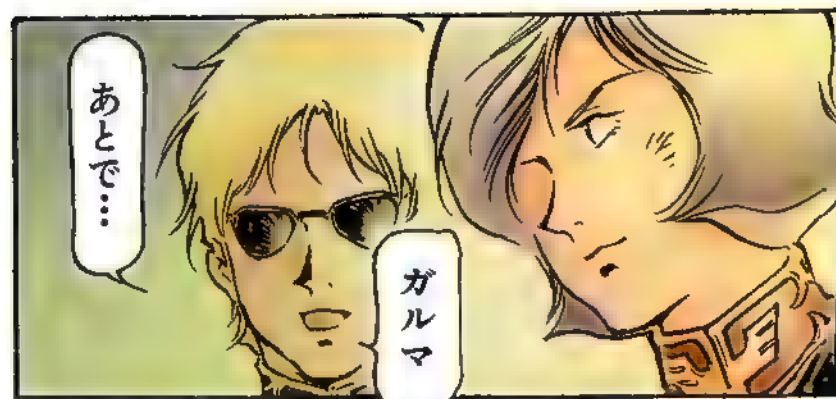
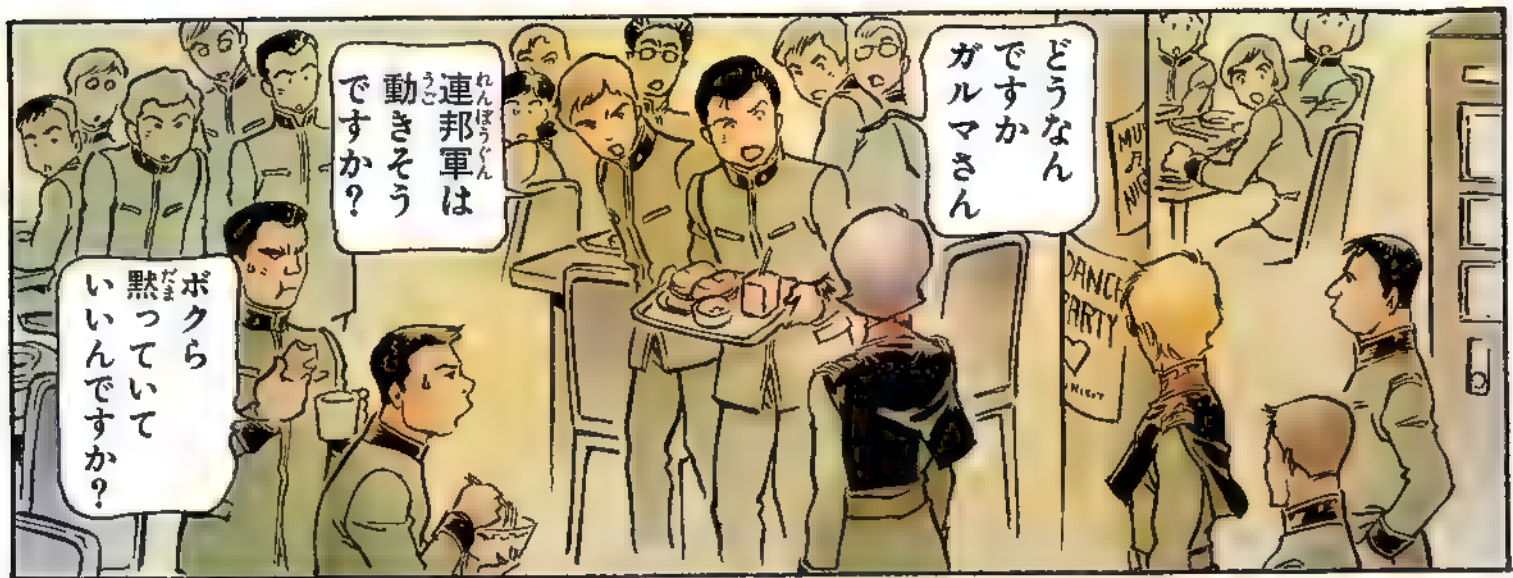
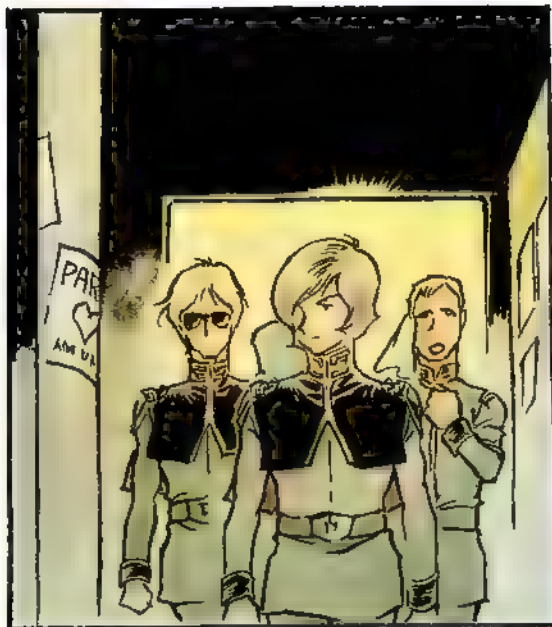
営々と築いてきた過去を  
無に帰するようなことをして  
なんの真実か！？

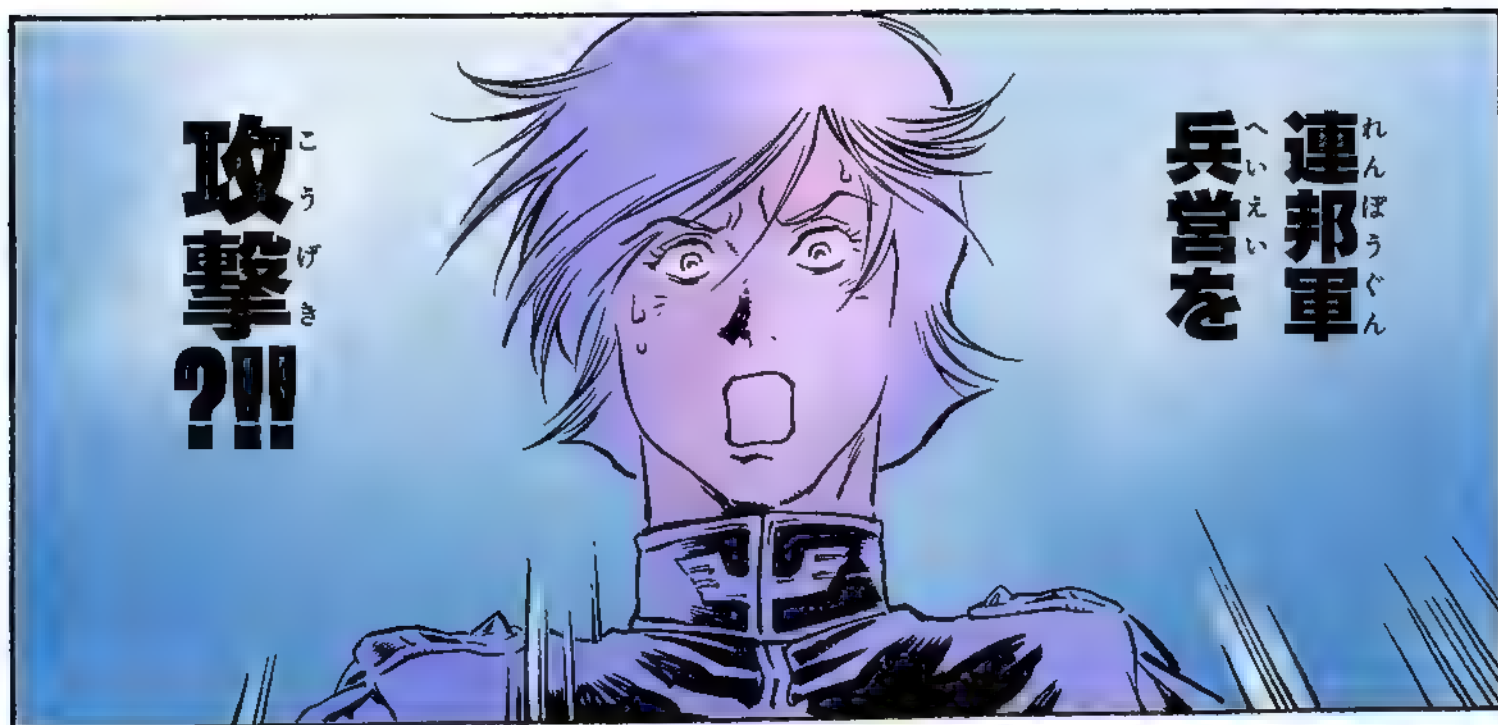
未来か！？

わかって  
いるなっ

ギレン！！

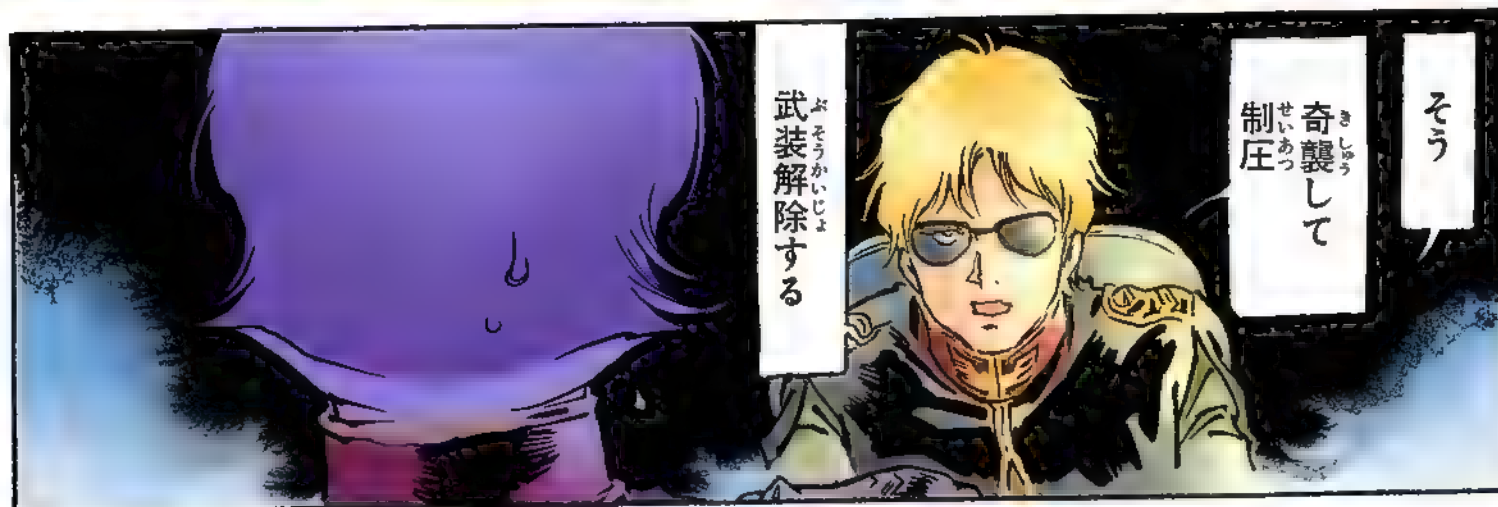






攻撃  
こうげき  
?!!!

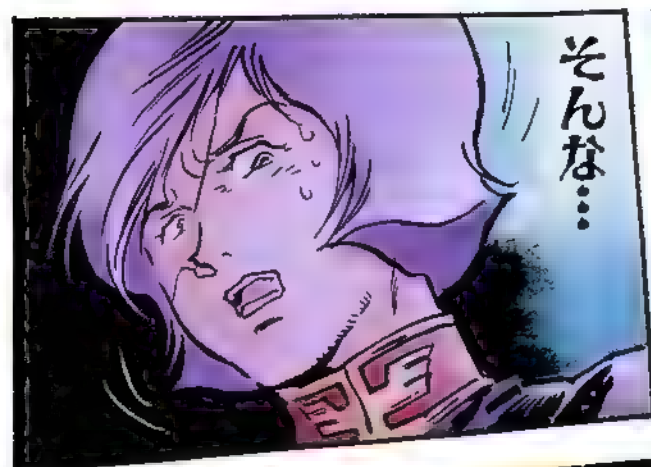
連邦軍  
れんぽうぐん  
へいえい  
兵営を



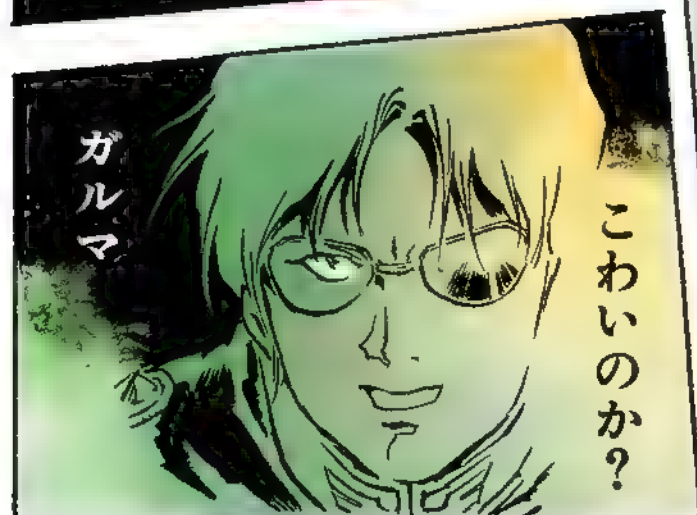
そう

奇襲して  
せいあつ  
制圧

武装解除する  
ぶそうかいじょ



そんな...



ガルマ

こわいのか?

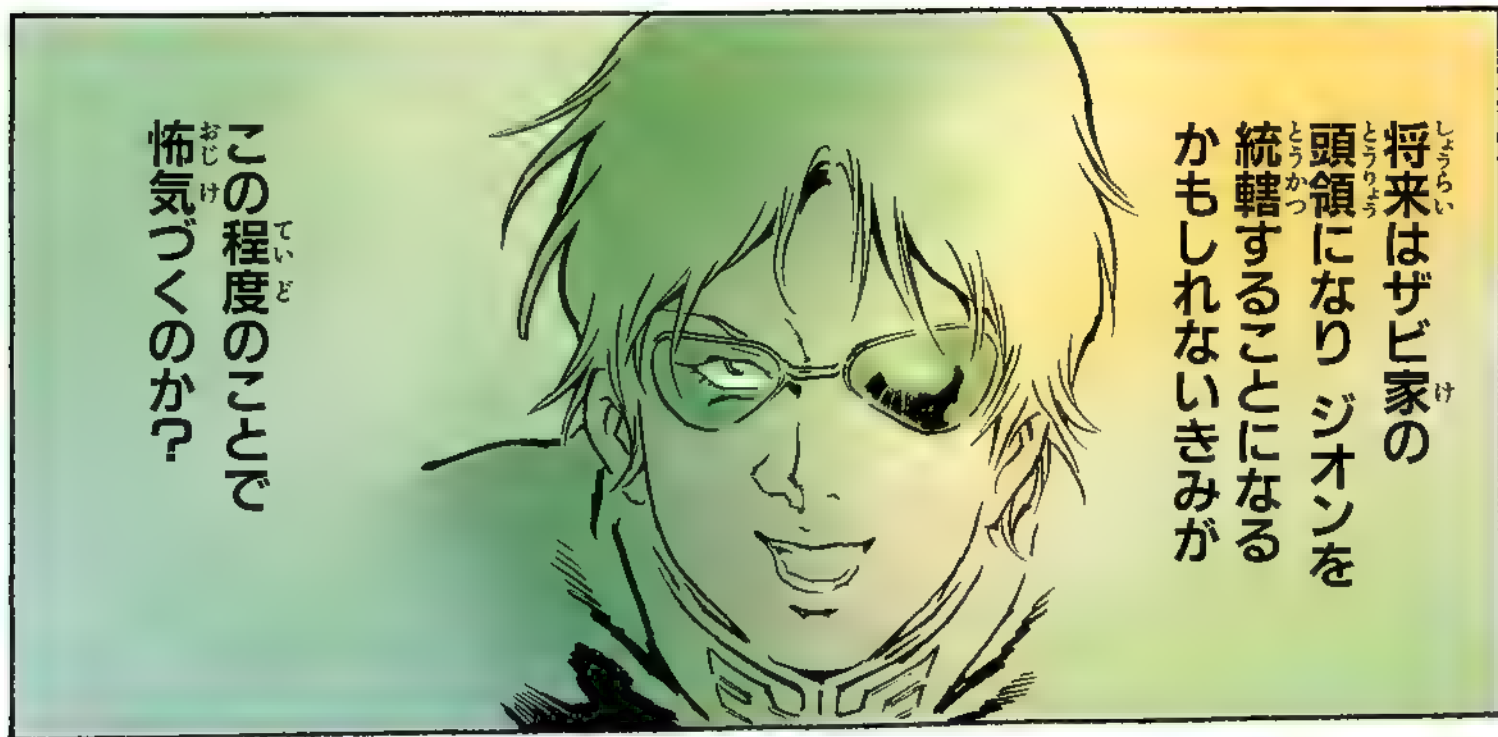


数では圧倒的に  
かす  
劣勢だが  
れっせい  
奴等は今も  
やつらは  
無警戒だ  
むけいかい

うまくやれば  
できる

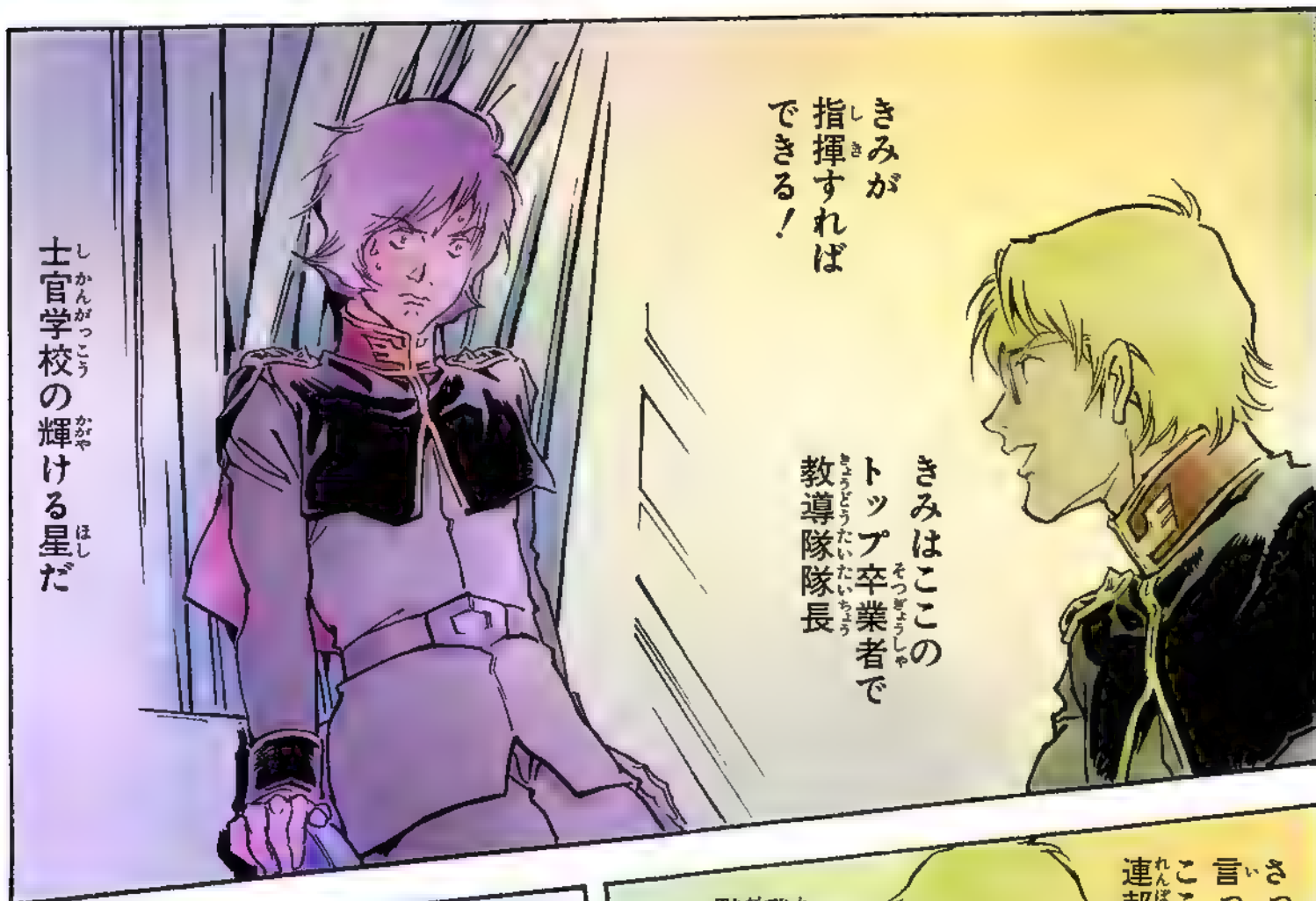
.....





将来はザビ家の  
頭領になりジオンを  
統轄することになる  
かもしれないきみが

この程度のことでは  
怖気づくのか?



きみが  
指揮すれば  
できる!

きみはこの  
トップ卒業生で  
教導隊長

士官学校の輝ける星だ



この治安部隊が  
ズムシティに送り  
込まれたら  
血の大弾圧が起る!



さつき下級生まで  
言っていたな  
この  
連邦軍が動くのを

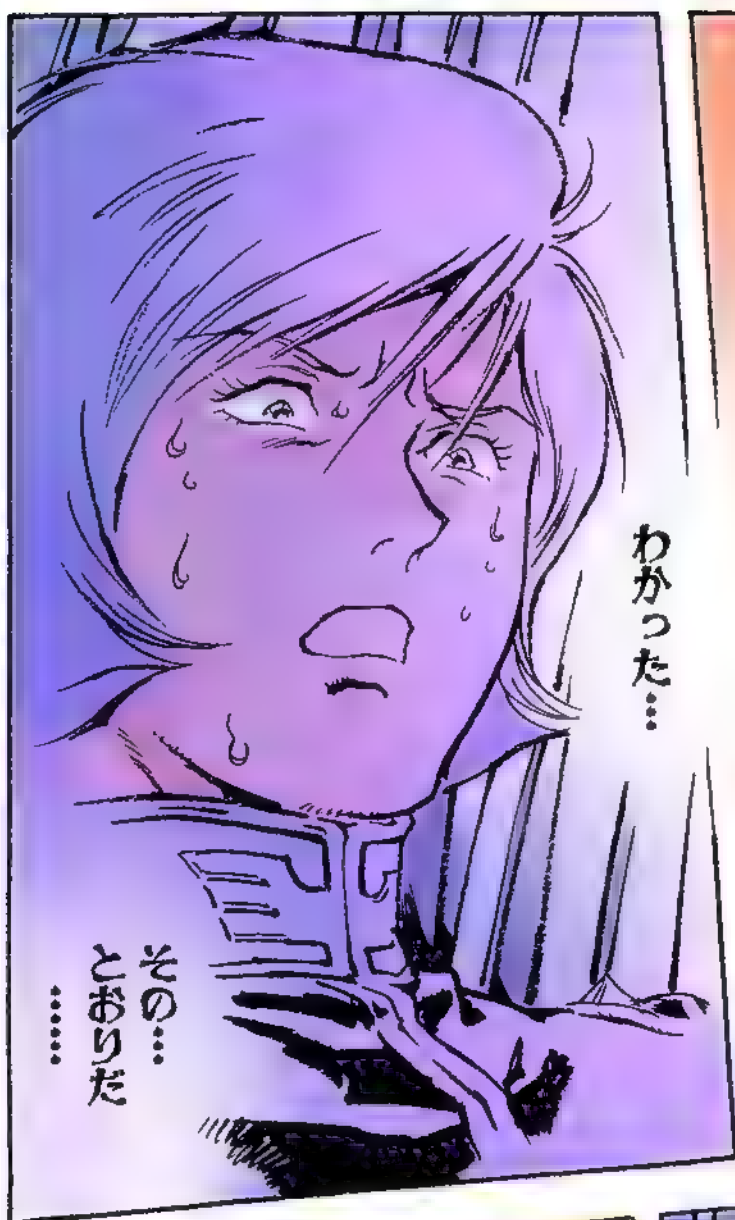
我々が  
黙って見過ごして  
いいのかと

スペースノイドの  
守護者たらんと  
する者なら



座視  
できない  
はずだ!!

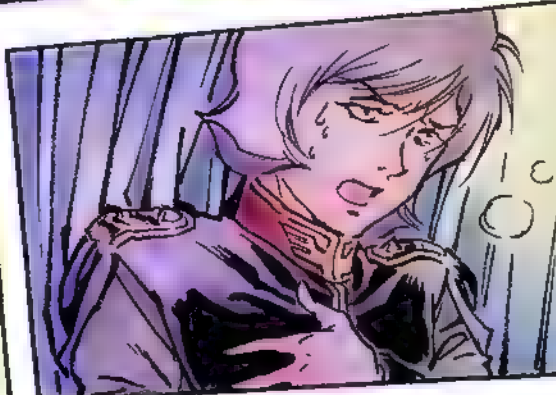
わかった...



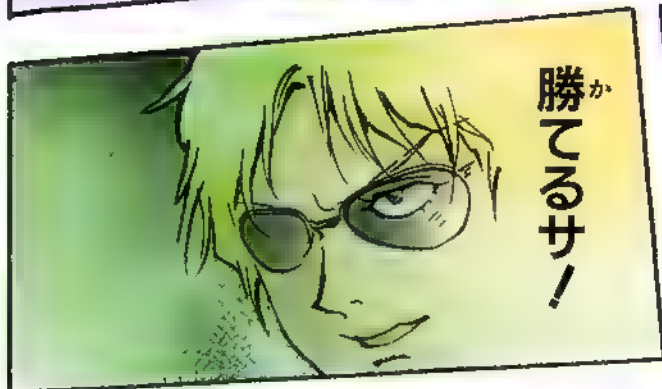
その...  
とおりだ  
.....

しかし...

勝てる  
だろうか?



勝てるサ!

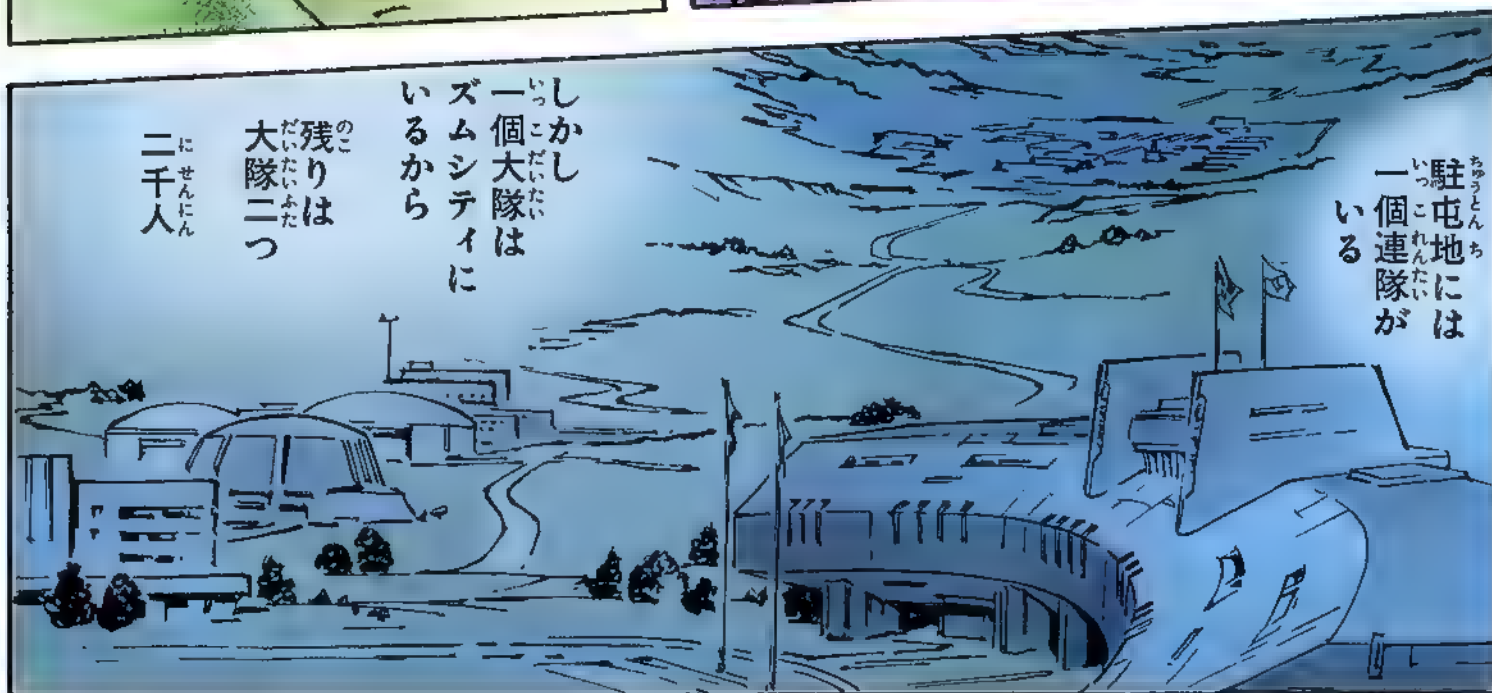


駐屯地には  
一個連隊が  
いる

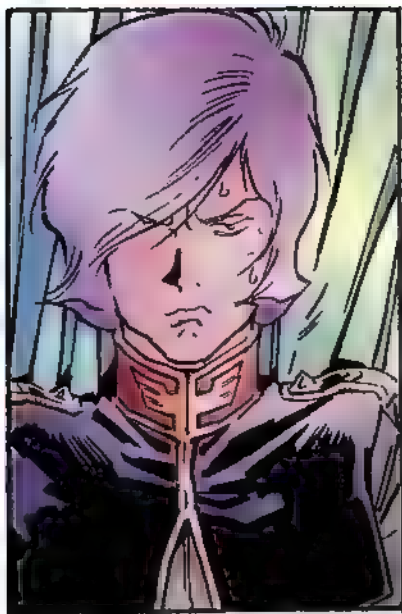
しかし  
一個大隊は  
ズムシテイに  
いるから

残り  
大隊二つ

二千人



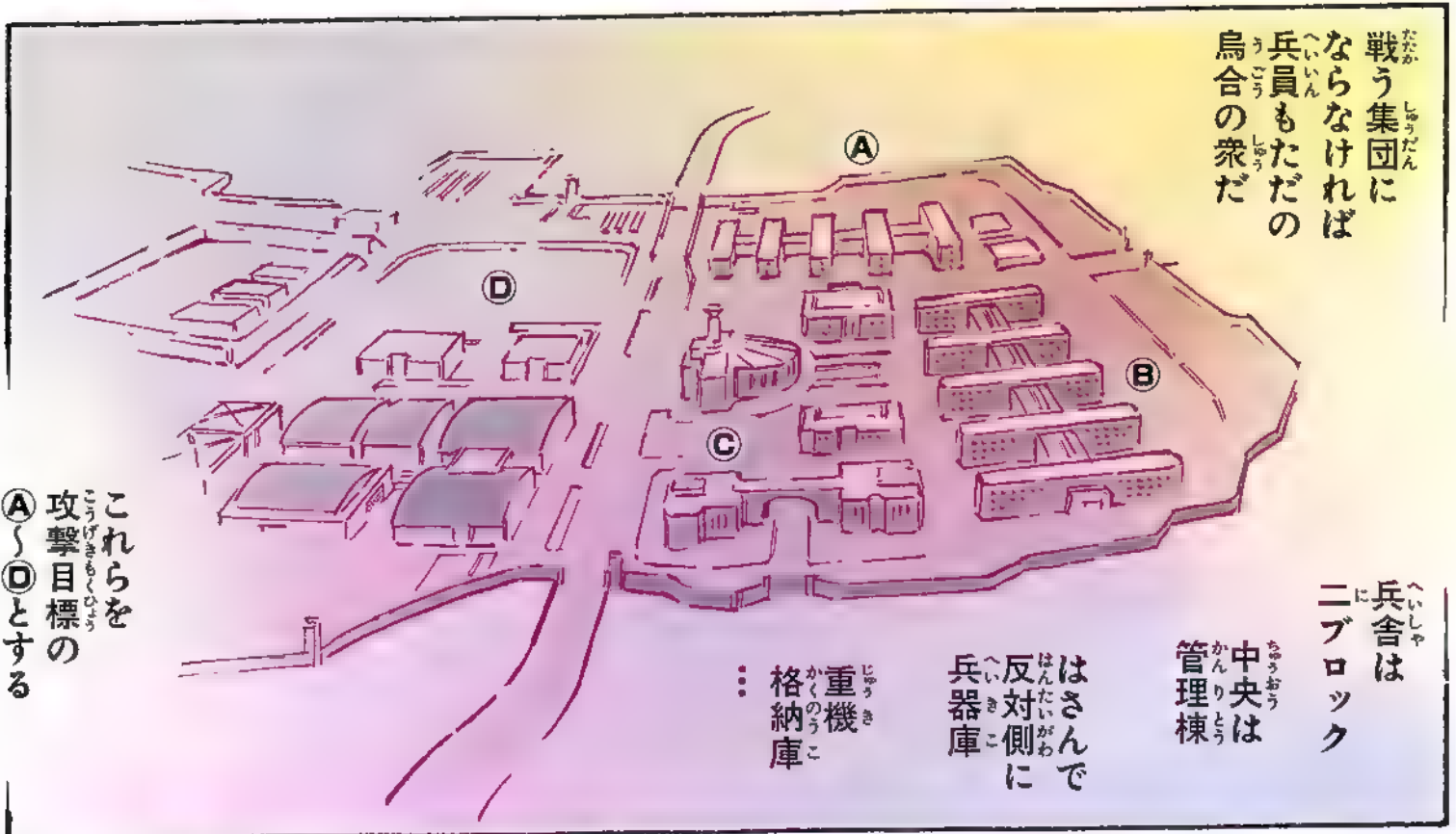




じ十倍だ…

兵力の優劣は  
人数じゃない

キミはたしか  
用兵学はA評価  
だったな？



戦う集団に  
ならなければ  
兵員もただの  
烏合の衆だ

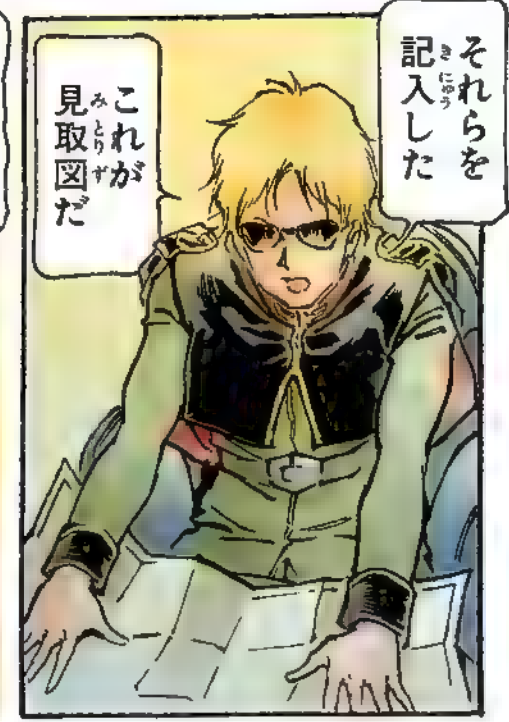
兵舎は  
ニブロック

中央は  
管理棟

はさんで  
反対側に  
兵器庫

重機  
格納庫

これらを  
攻撃目標の  
AとDとする



それらを  
記入した

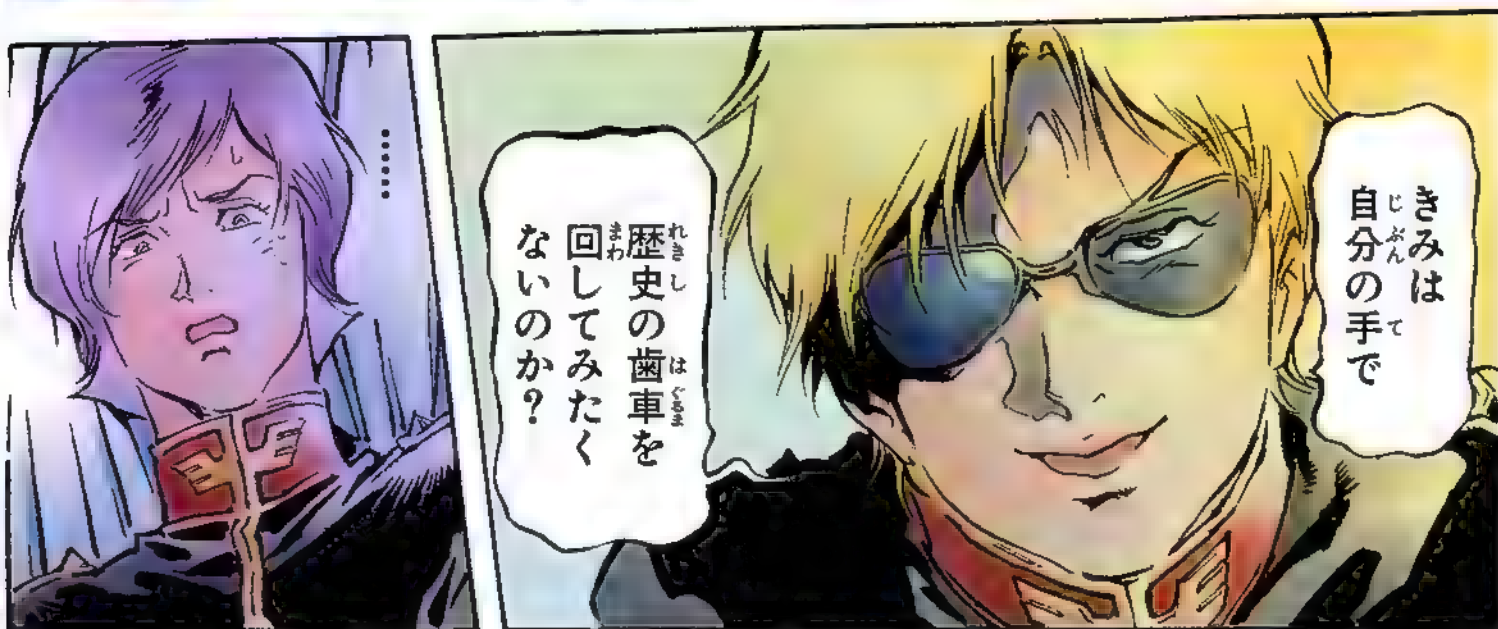
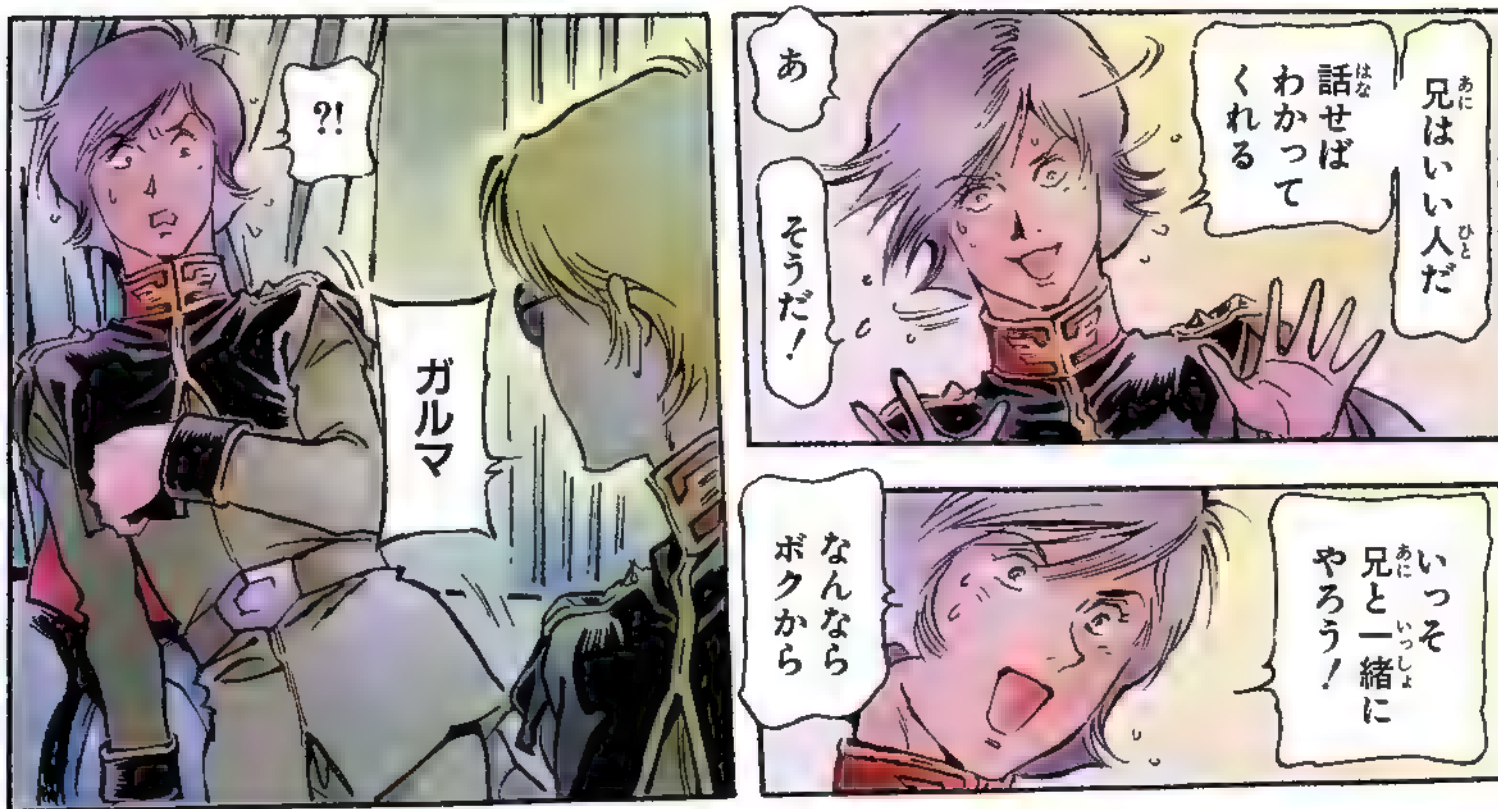
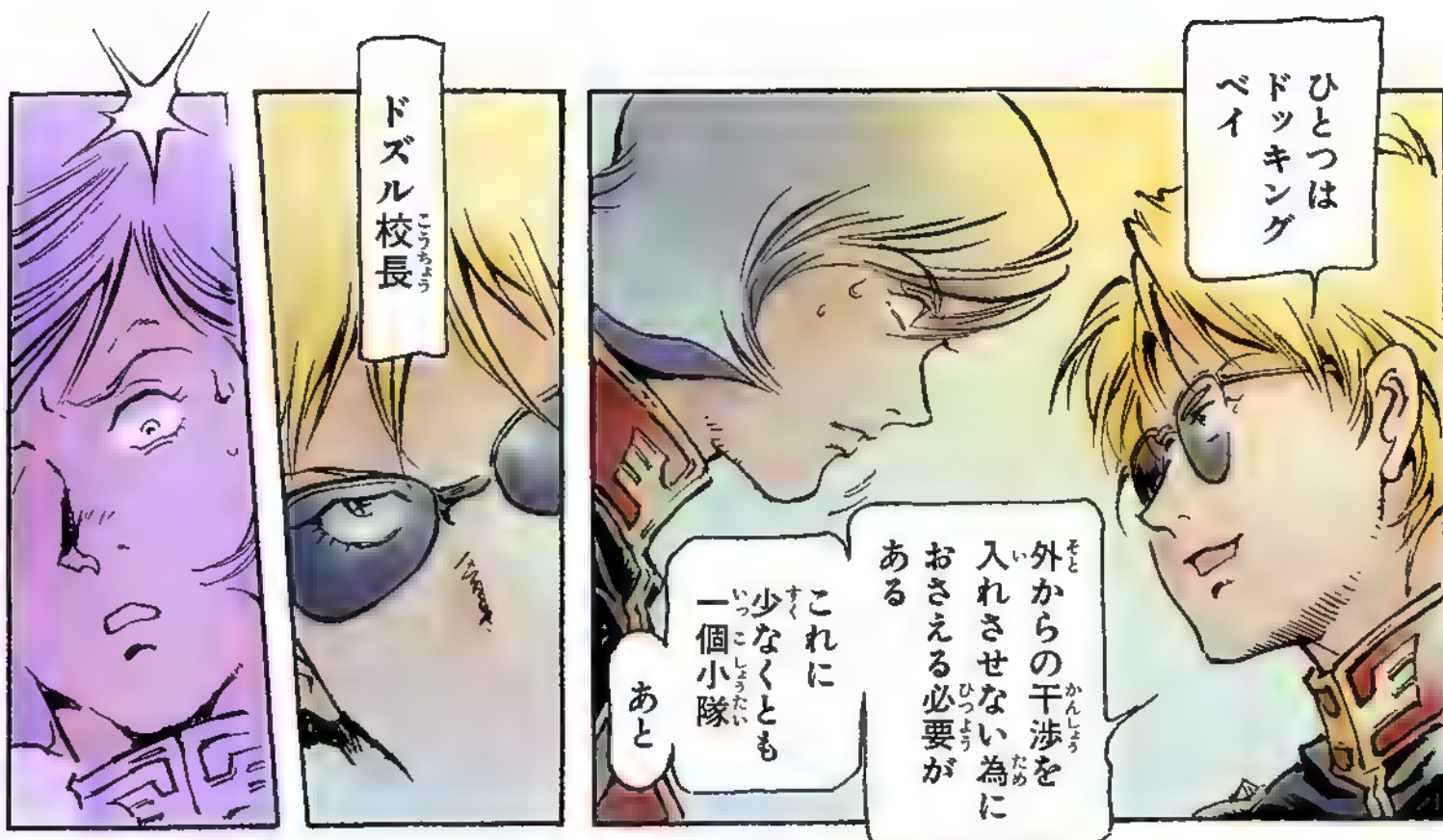
これが  
見取図だ

おどろい  
たな…

いつのまに  
こんな…

感心  
なんか  
するなよ

大事なことは  
まだある







首都は緊張に  
包まれています

警察の制止に  
群集は応じ  
ようとしません

天体衝突を機に  
噴出した連邦への  
怒りは激しく  
このままでは

連邦治安部隊の  
本格投入が  
懸念されます

一部の情報では既に  
ガーディアンバンチに  
駐屯する治安部隊の  
主力が早ければ

一年や二年で  
校規違反とは  
いい度胸だ  
おめーらっ

査問  
するぞオツ

コラァ!!

部屋に帰って  
寝ろ!!

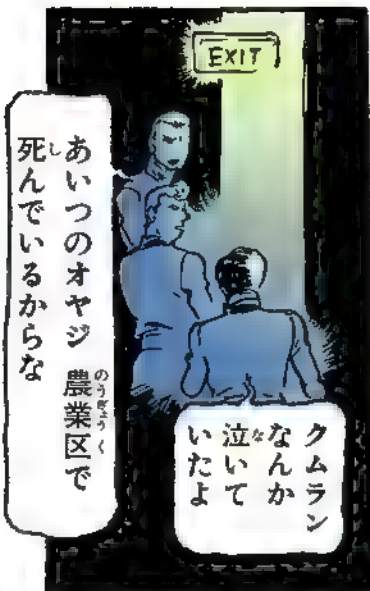
もう消灯  
時間だ!

二寮  
オーケー



即答だ  
みんな

全員出る



あいつのオヤジ 農業区で  
死んでいるからな

クムラン  
なんか  
泣いて  
いたよ

車庫は  
いいのか？



ああ

マスターキーで  
いつでも開け  
られる

軍装で  
室内待機



インカムの  
交信モードは  
0024

即セッティング！

シャアが先に  
出る



あとは  
ガルマの  
指示で

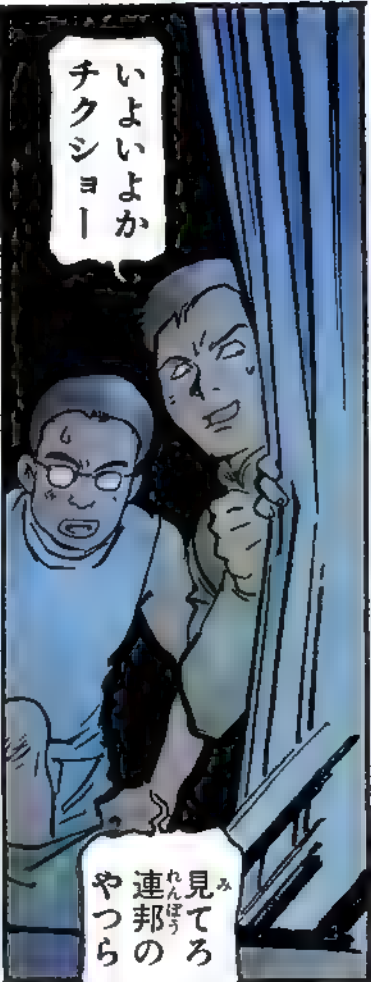
出たかったわっ  
私も先に！

寮監に  
気付かれるな！

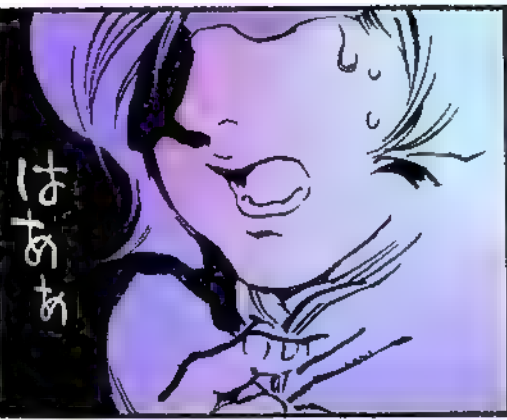


ああ

いよいよか  
チクショー



見てろ  
連邦の  
やつら

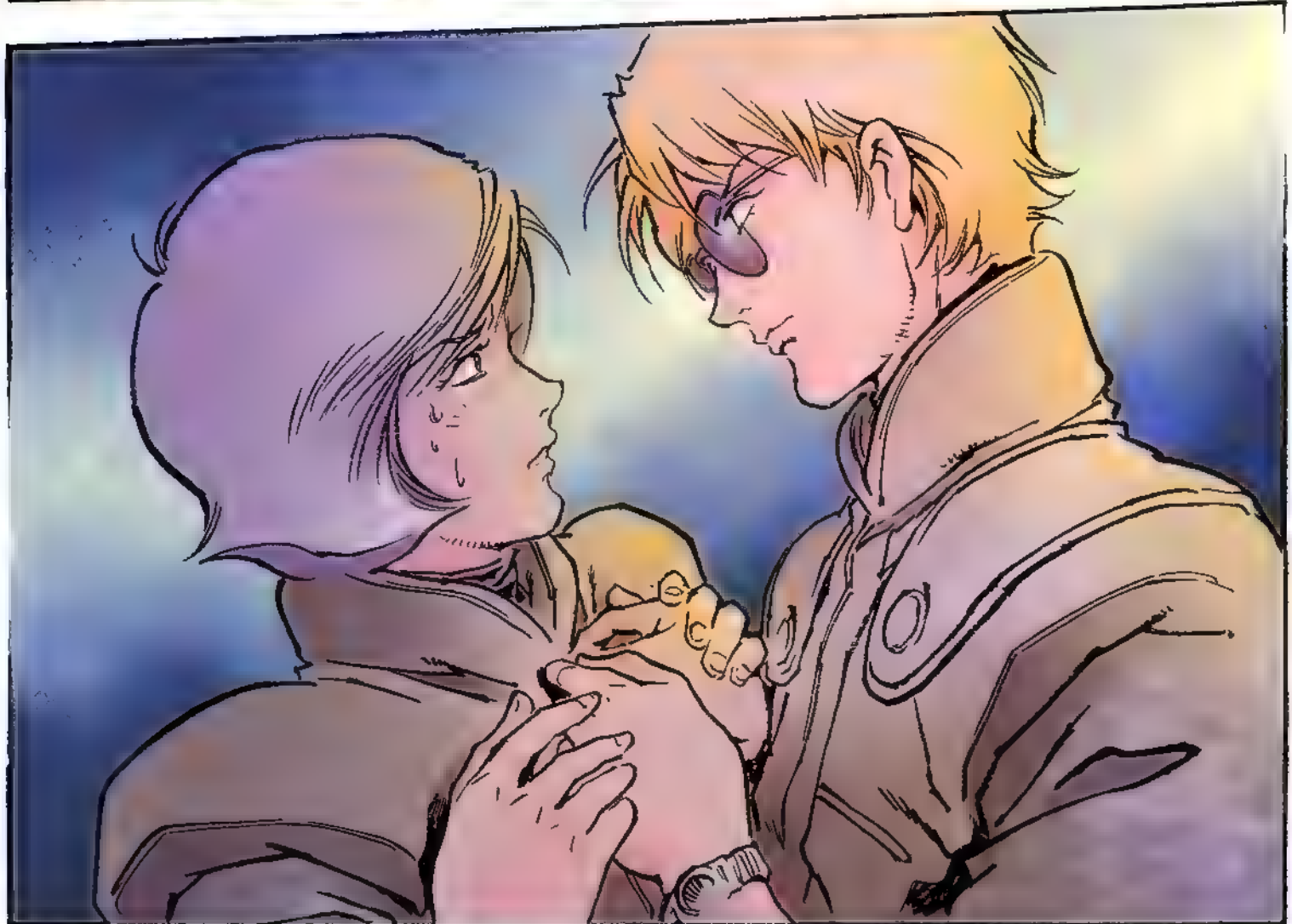
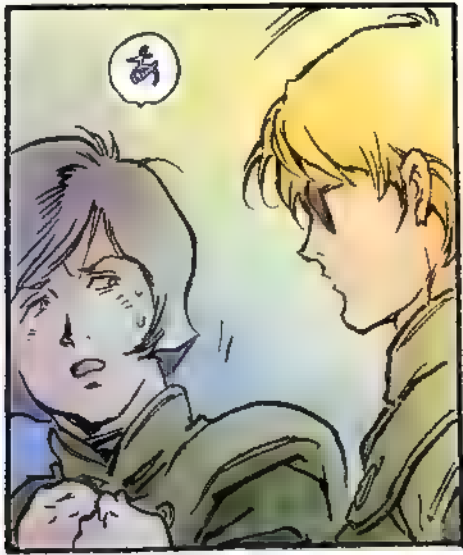


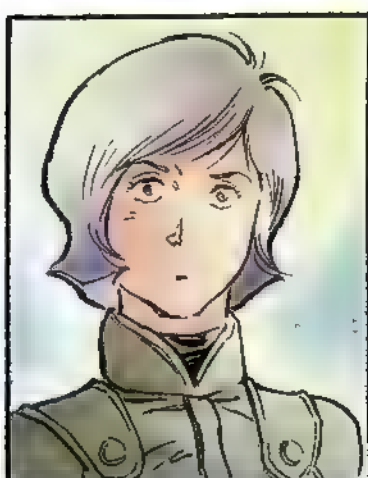
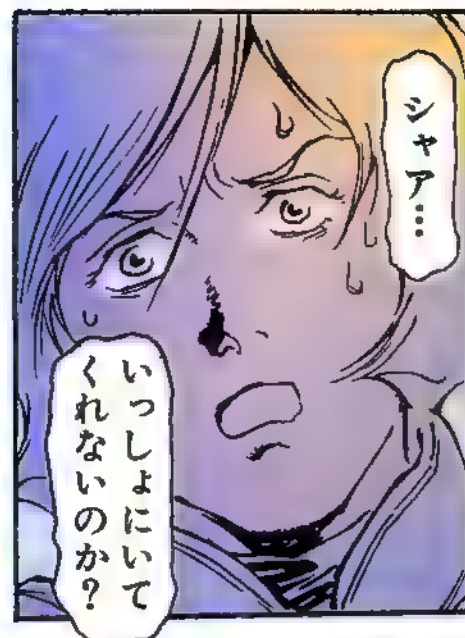
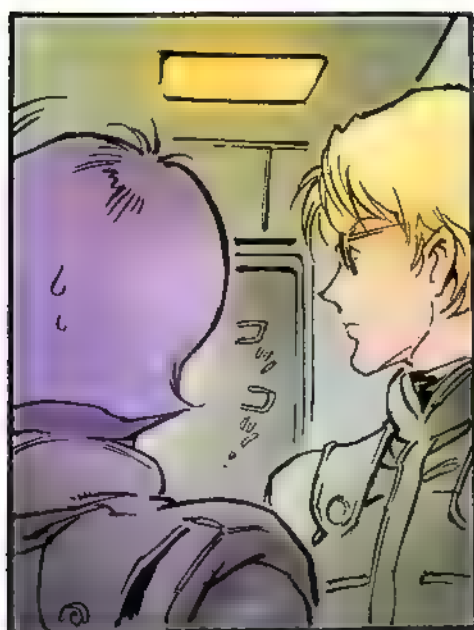
はあ  
はあ



はあ  
はあ











どうだい？



いいいっす  
感動っす…

ね

ね



シャアさんっ  
入りまあすっ



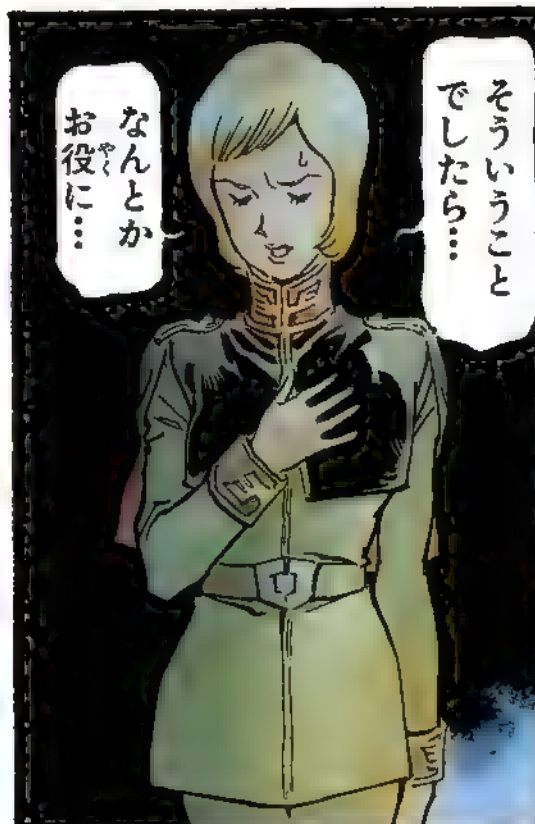
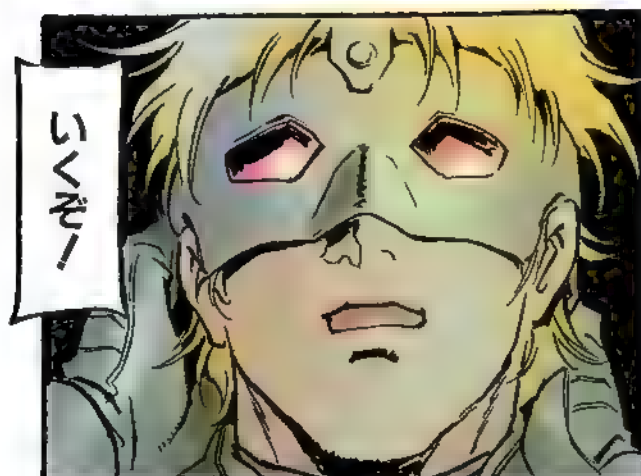
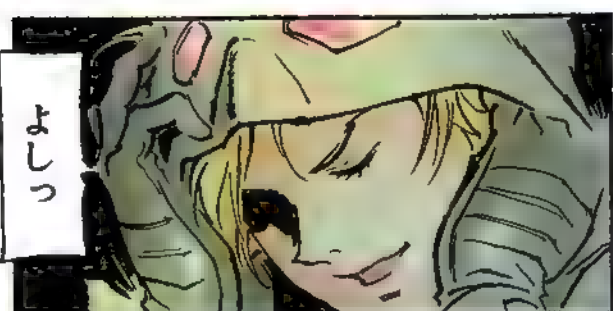
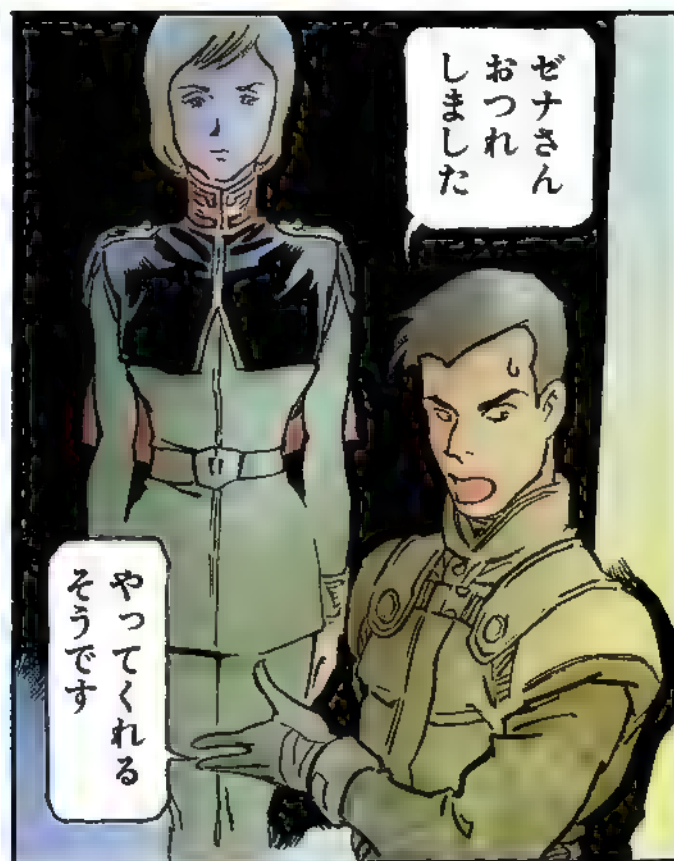
ほんと  
光栄です

あの一応  
バイザーのと同じ  
遮光レンズ使っ  
ますから…

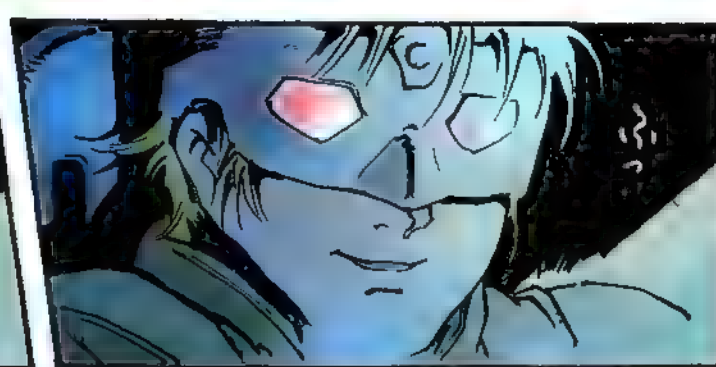
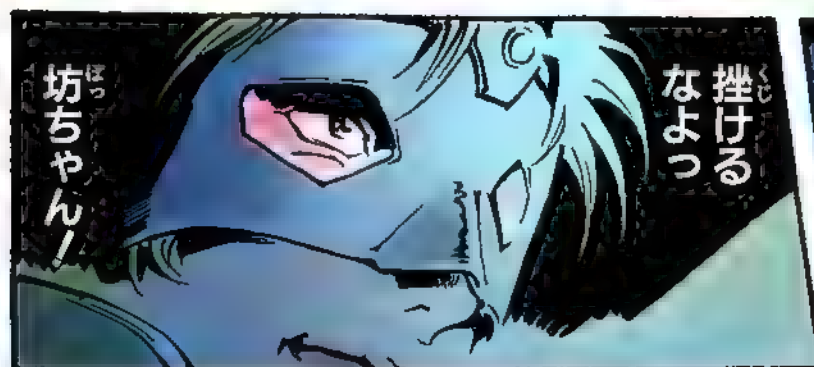
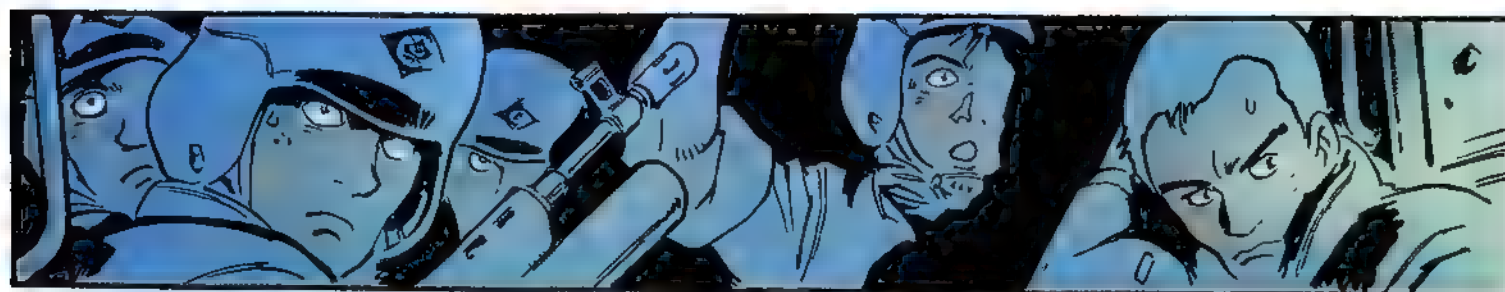
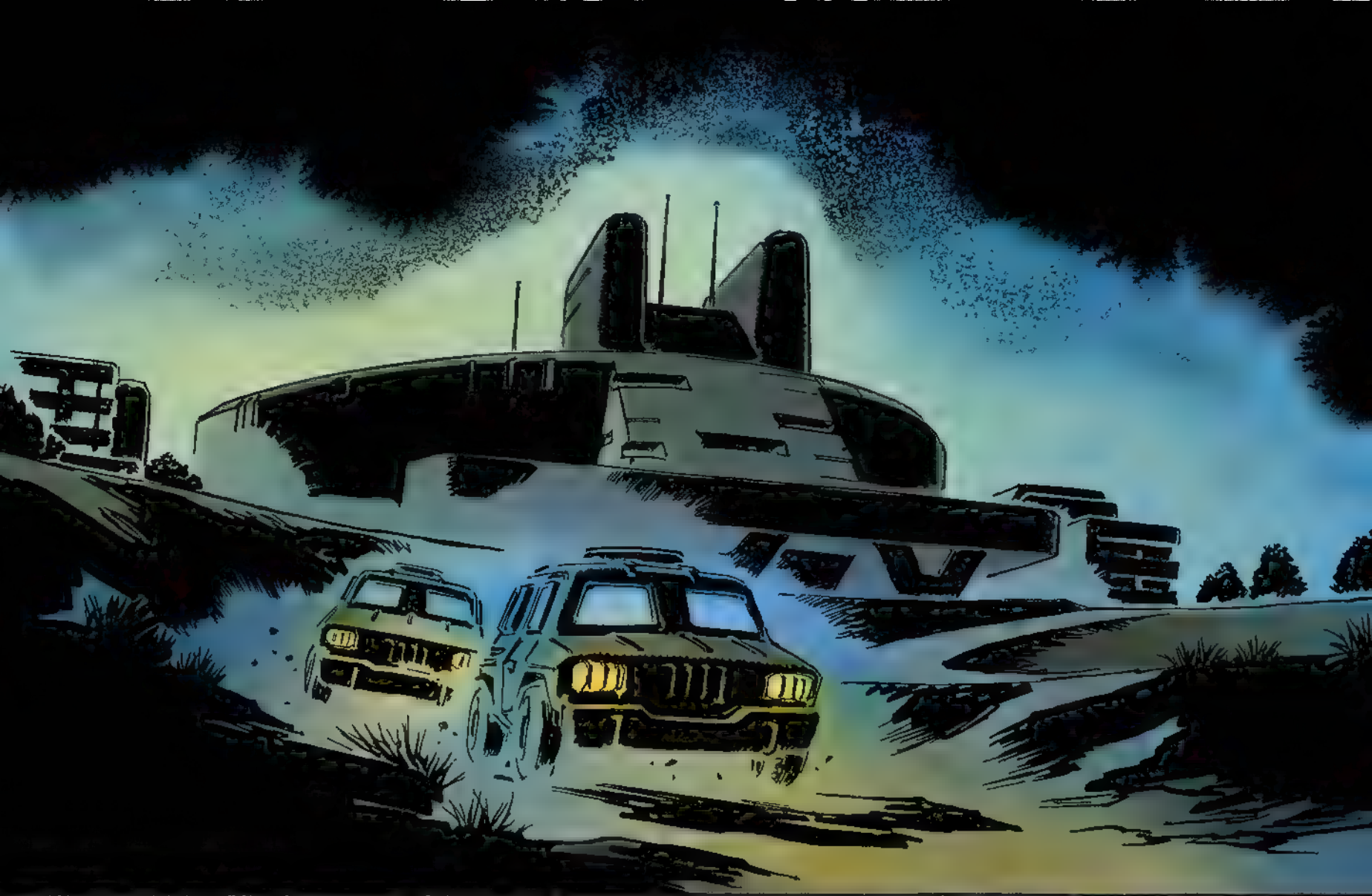


まあああ

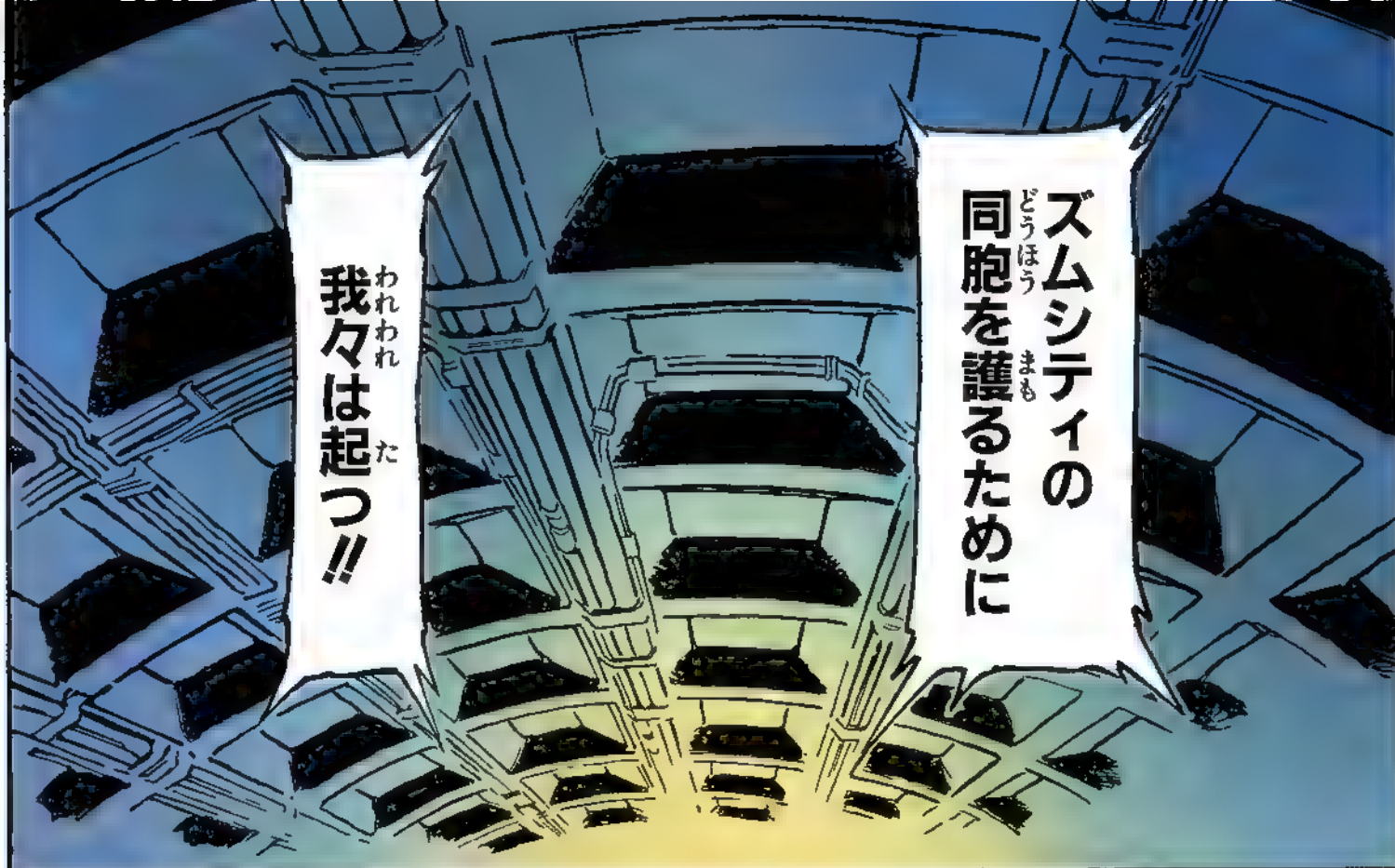
まあまあ  
だね





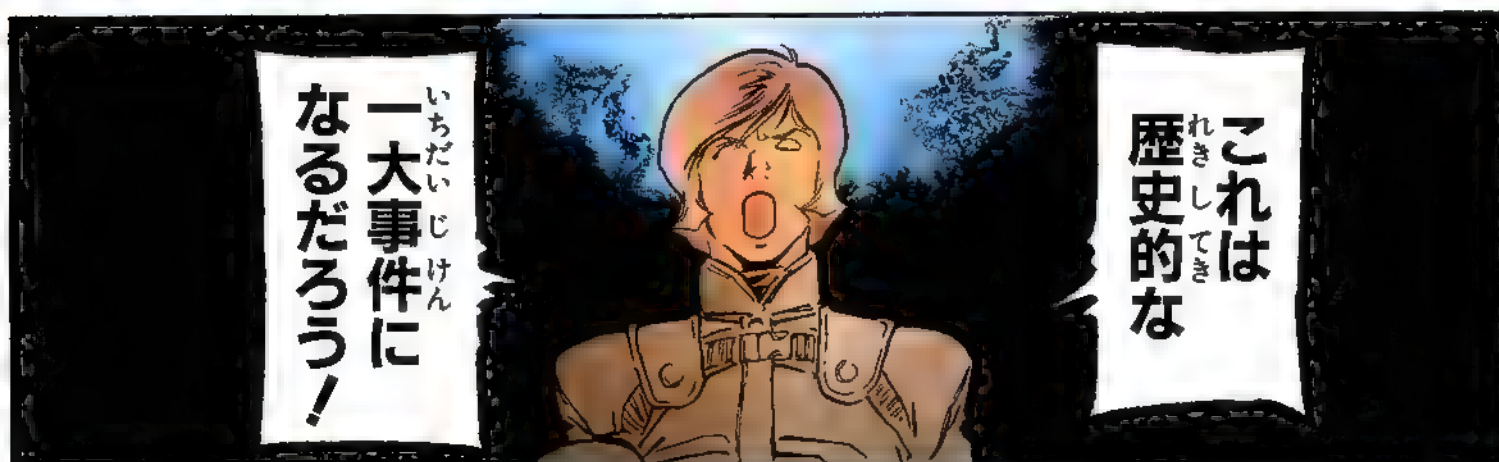






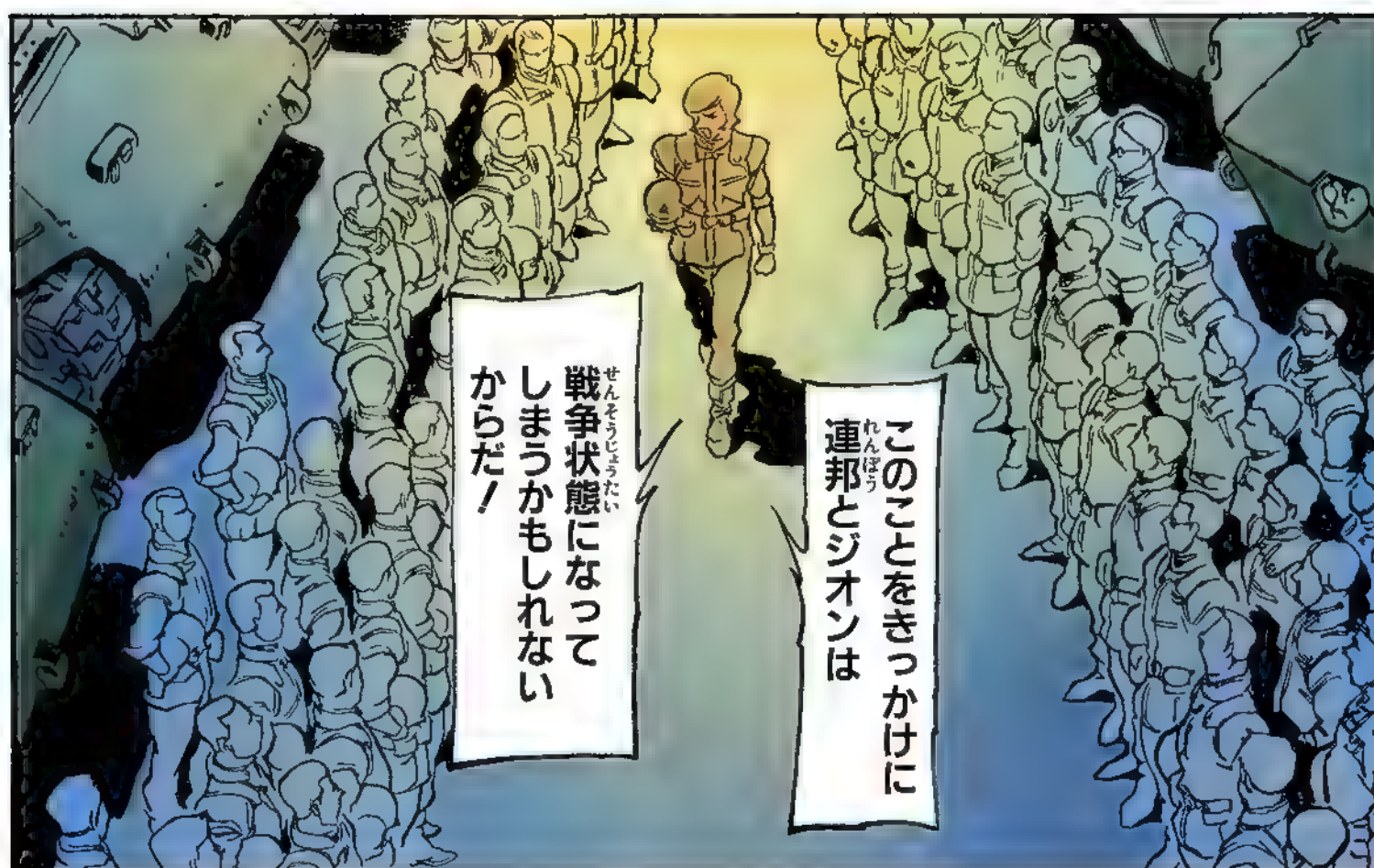
ズムシティの  
同胞を護るために

我々は起つ!!



これは  
歴史的な

一大事件に  
なるだろう!



このことをきっかけに  
連邦とジオンは

戦争状態になって  
しまうかもしれない  
からだ!



しかしっ  
思い出してくれ

なぜこの学校へ  
来たか?!  
軍人をこころ  
ざしたか?!

スペースノイドの生命と  
権利と財産を護る  
ためだった!

連邦の  
ではないっ!!

だろ  
う

連邦軍の  
駐屯部隊を  
治安出動させては  
いけないっ!

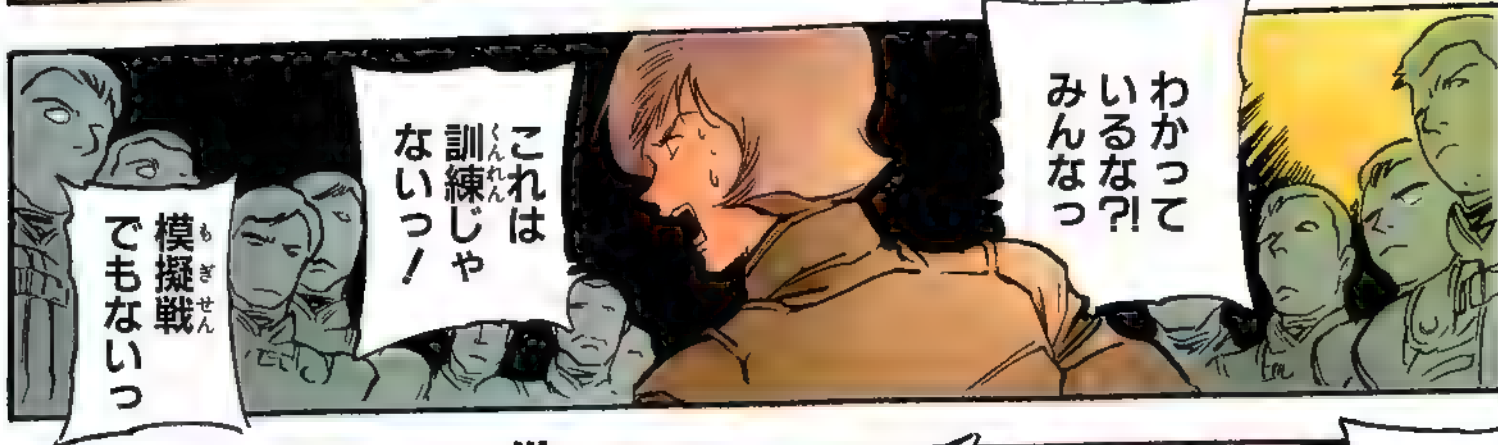
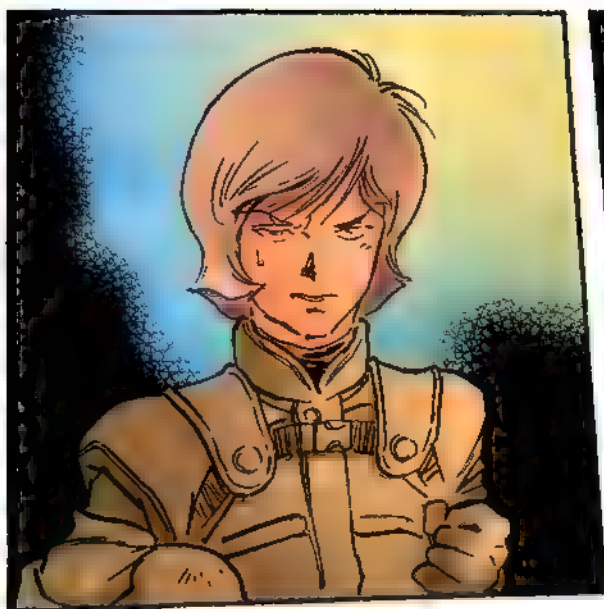
ズムシテイの  
市民を殺させては  
いけないっ!

これは  
反乱では  
ないっ!

任務の  
遂行だっ!!

そうだろう?  
みんなっ?!

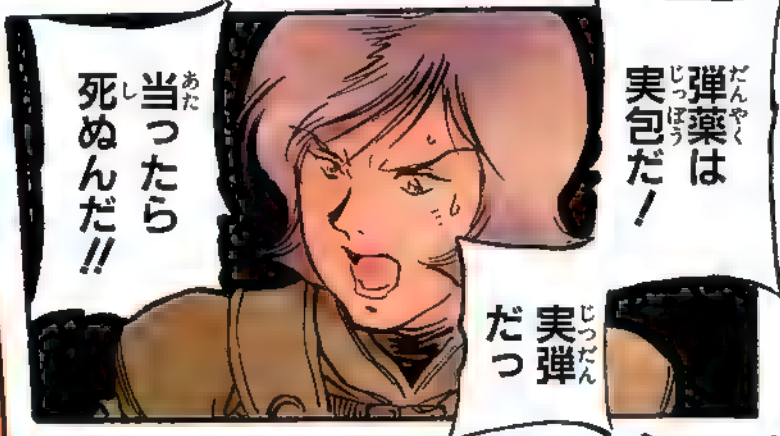




わかって  
いるな?  
みんなっ

これは  
訓練じゃ  
ないっ!

模擬戦  
でもないっ



弾薬は  
実包だ!

実弾  
だっ

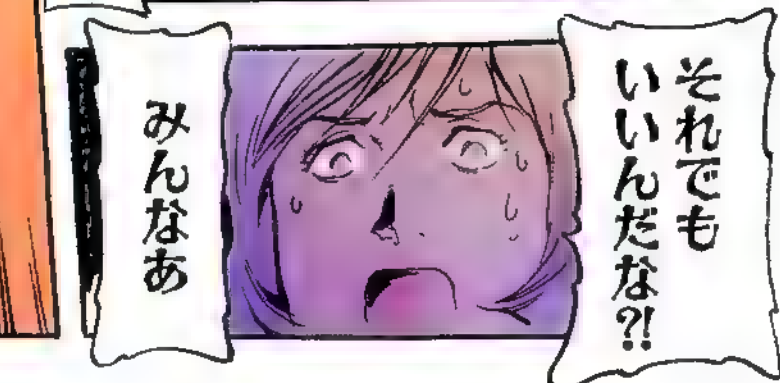
あた  
死めんだ!!



いやっ

死めんだ

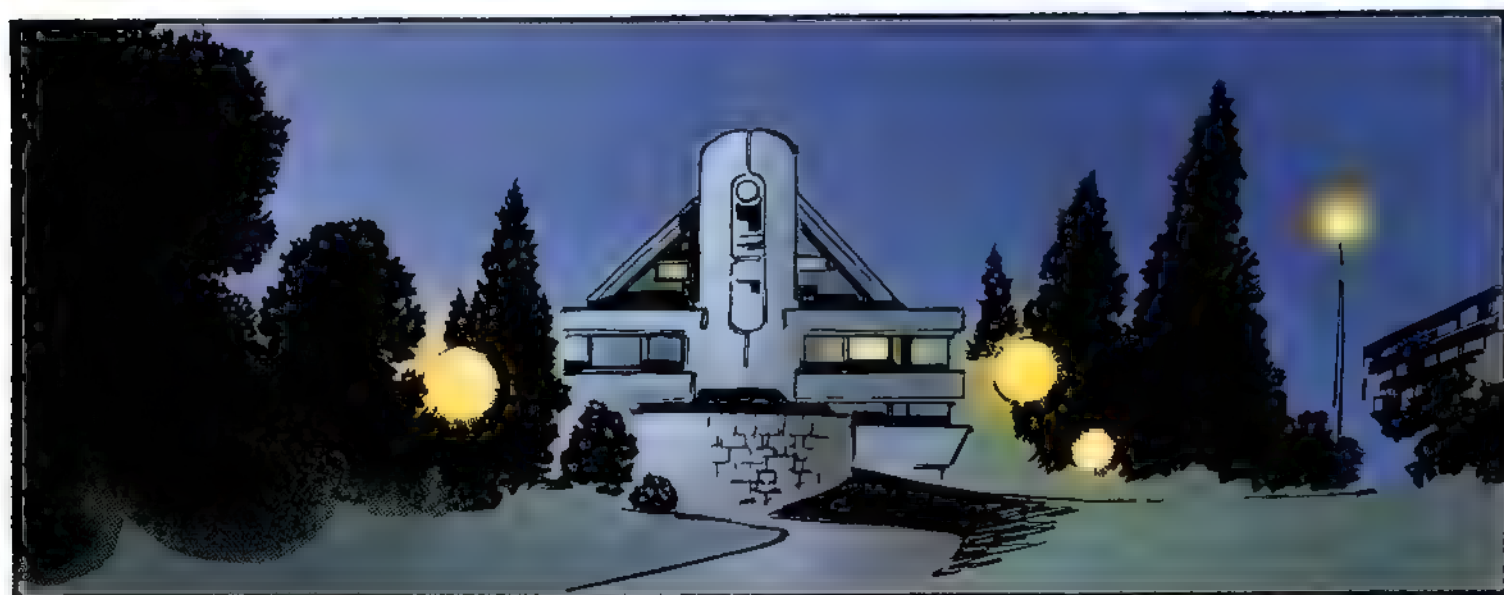
我々のうち  
何人かが  
確実に!!

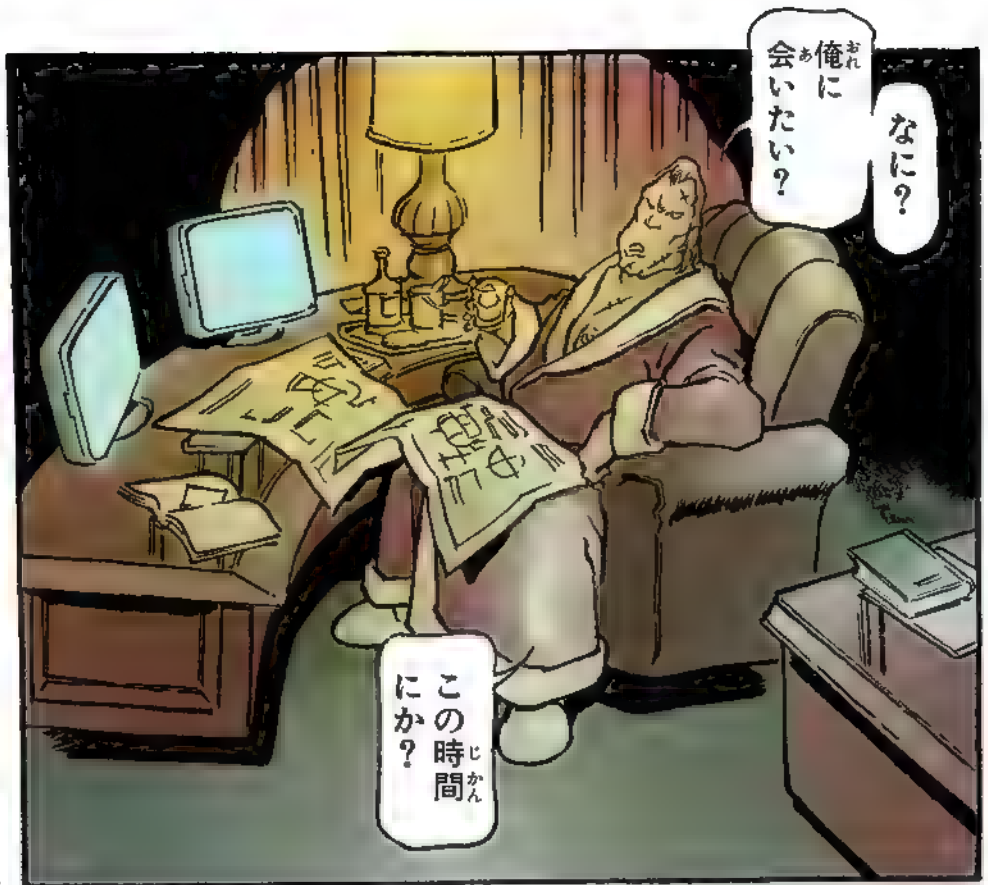
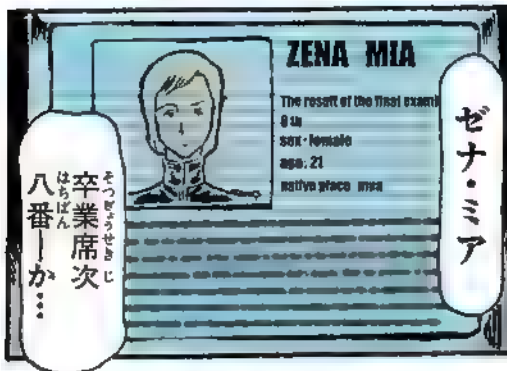


それでも  
いいんだな?!

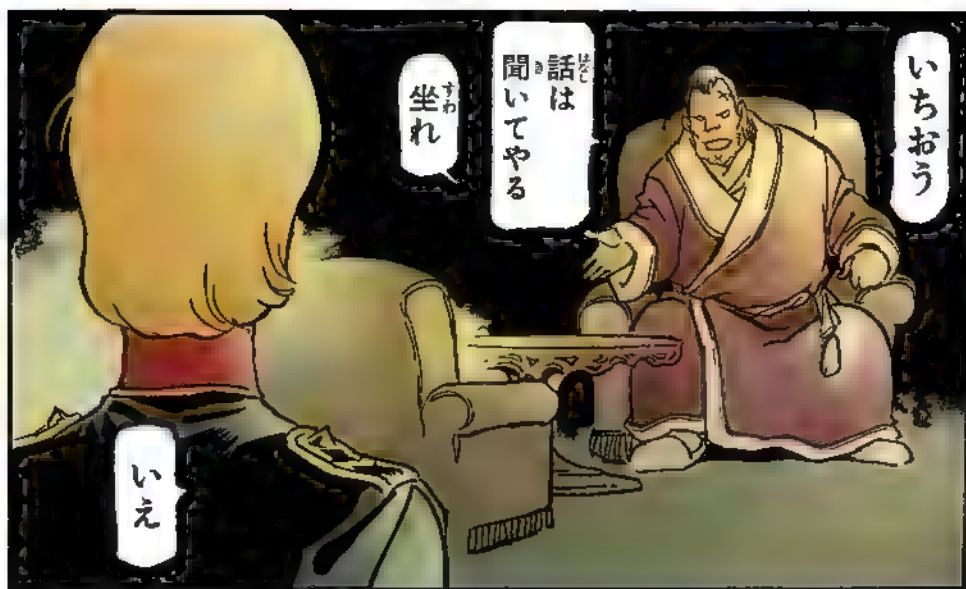
みんなあ



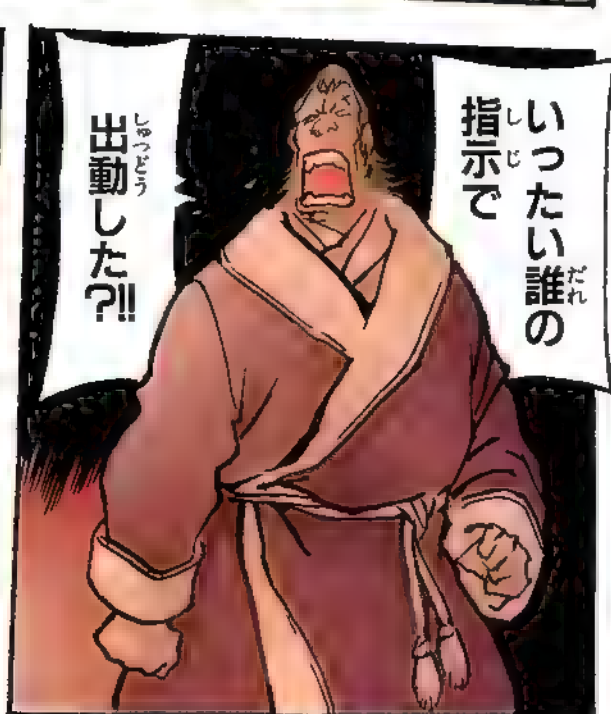
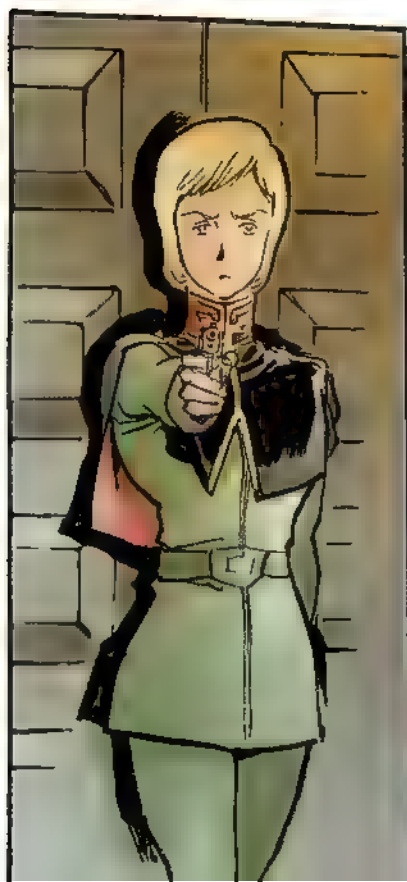
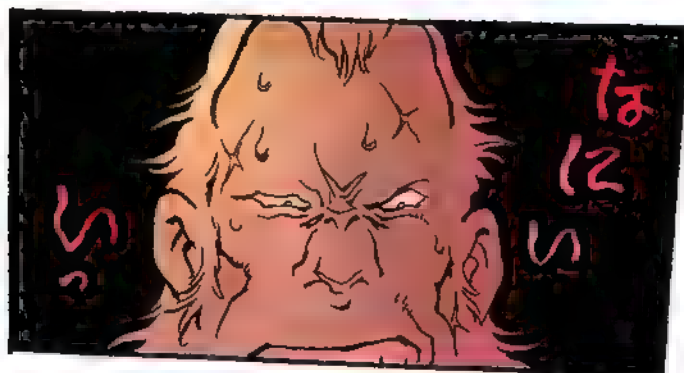
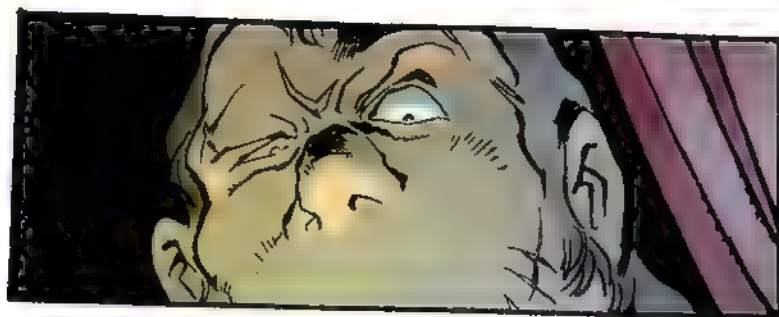
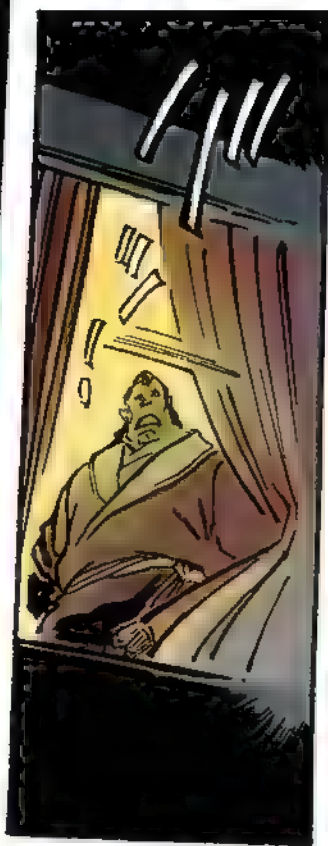
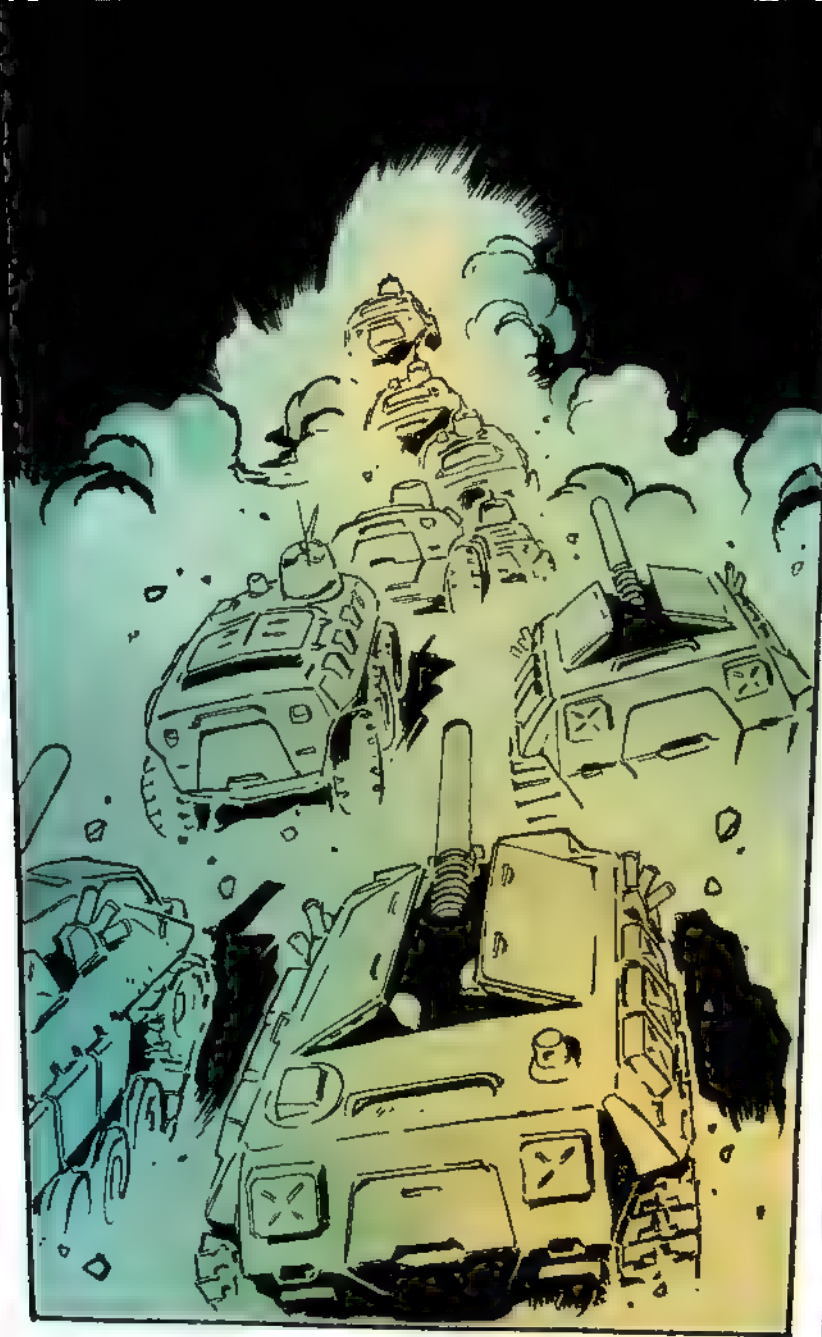




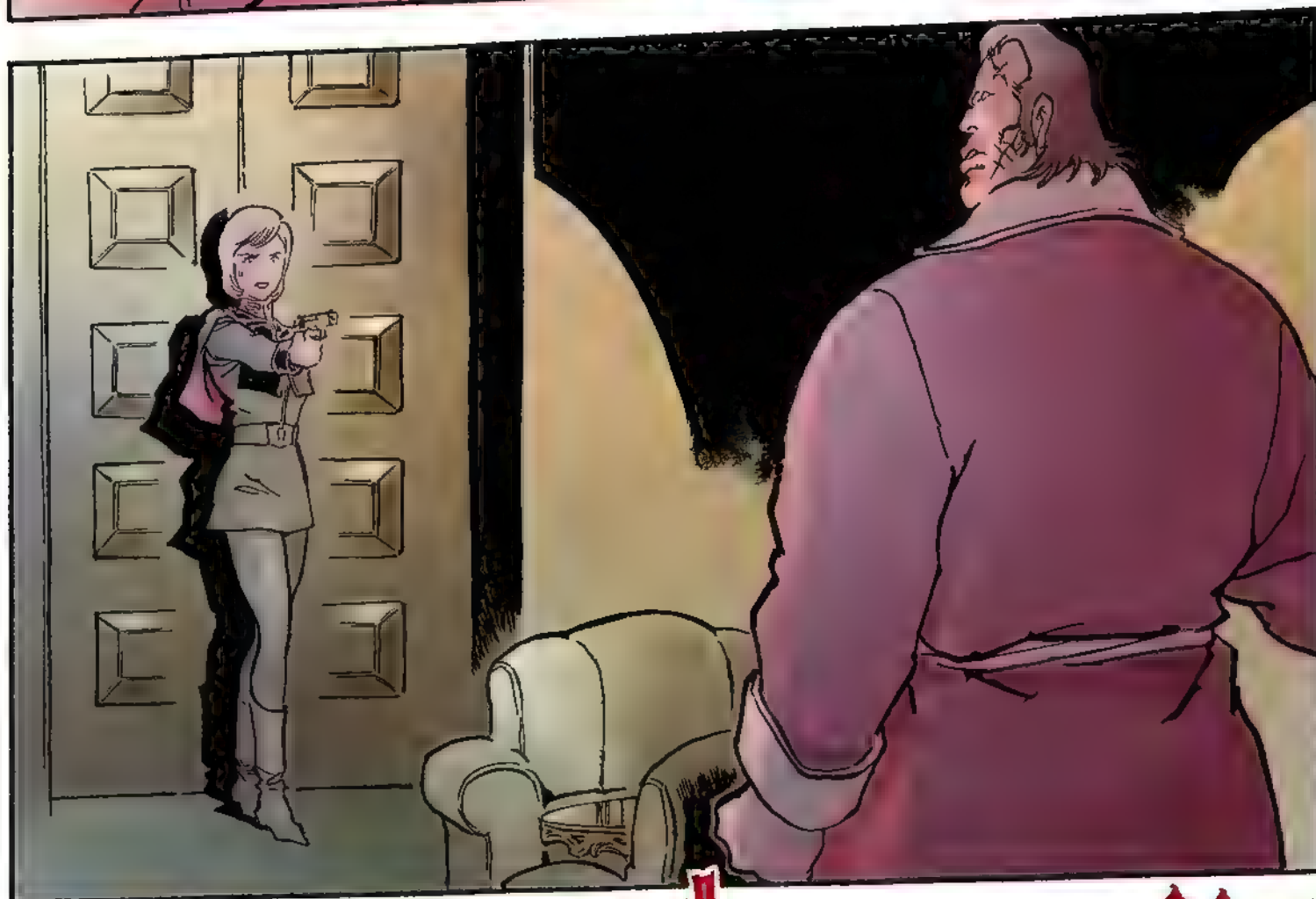
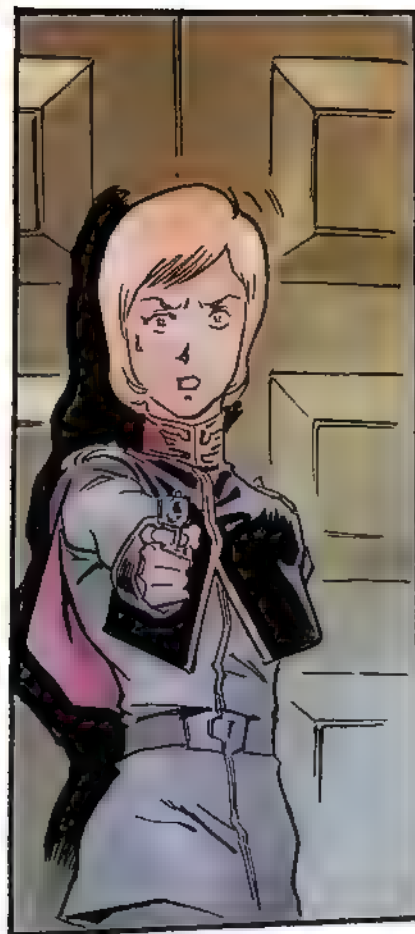
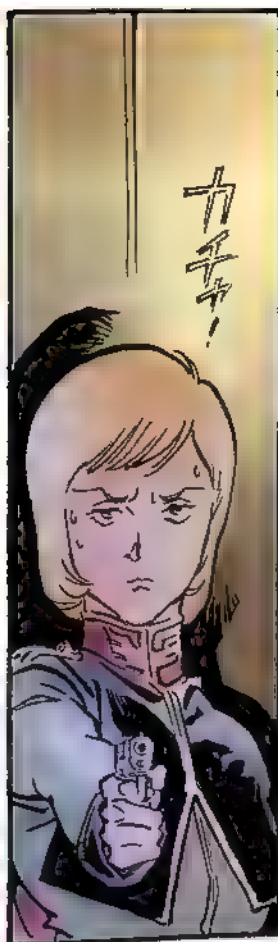
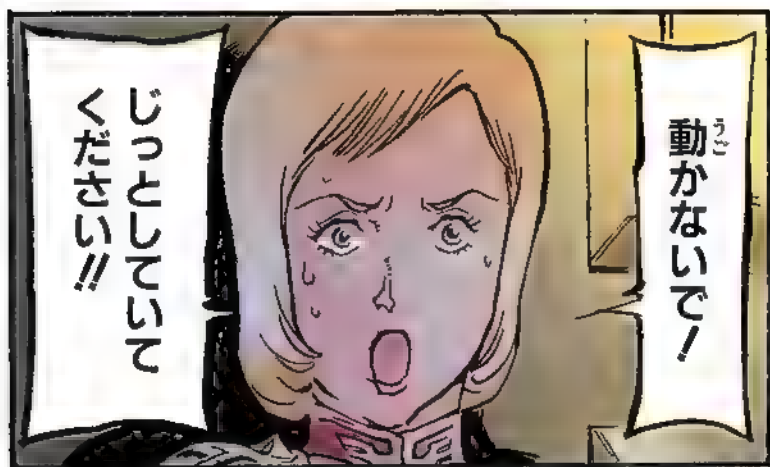


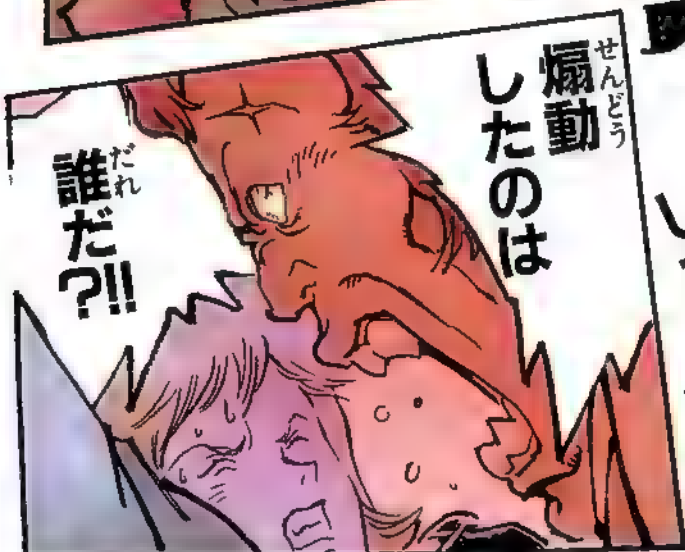
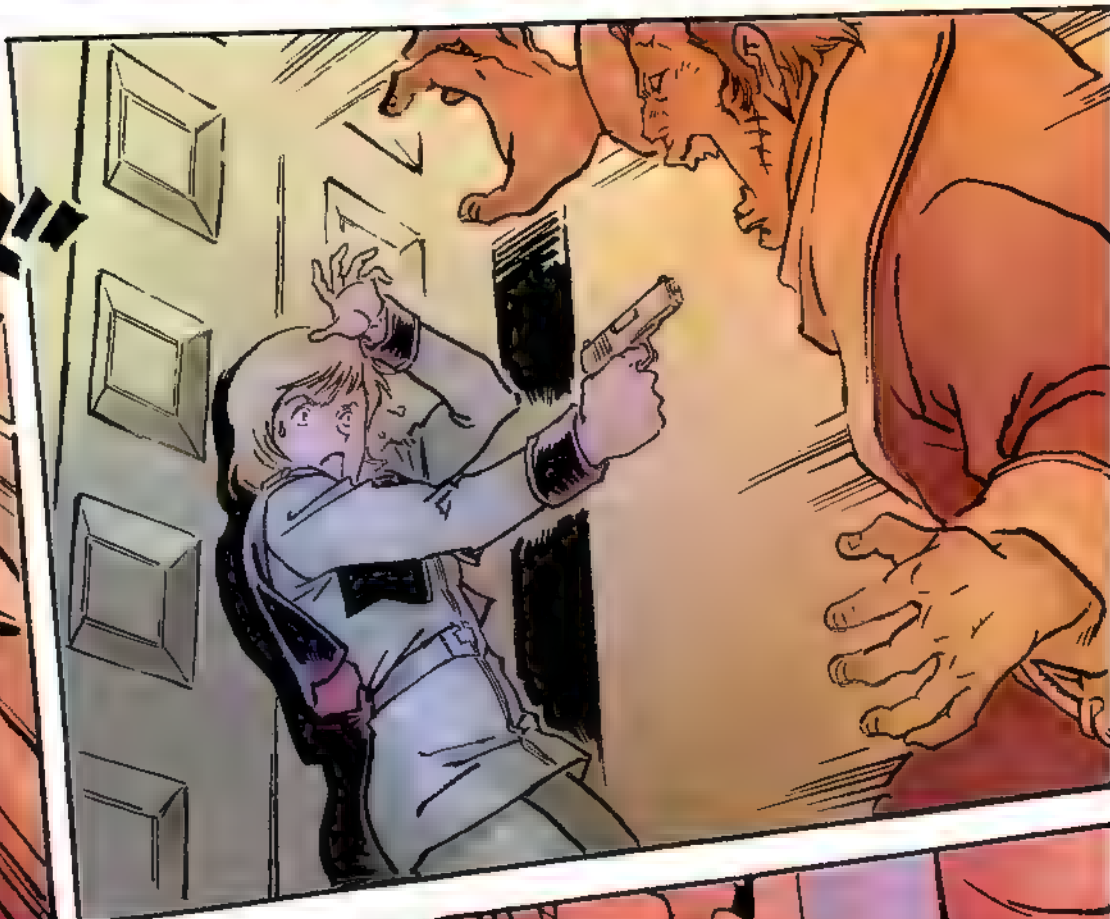
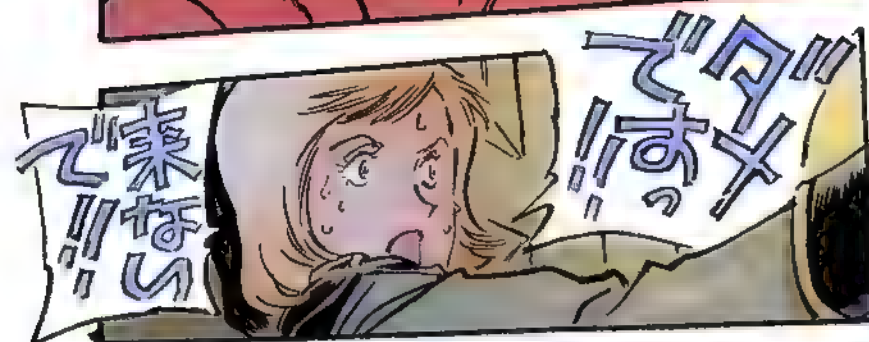






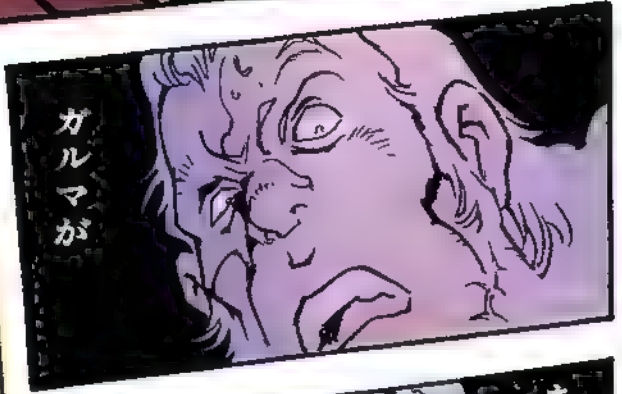
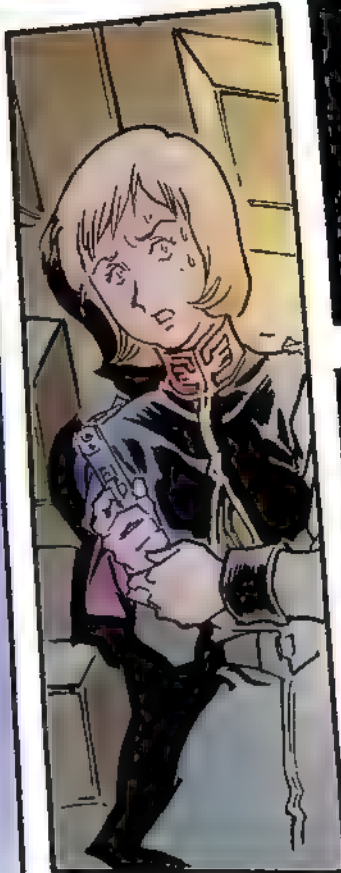
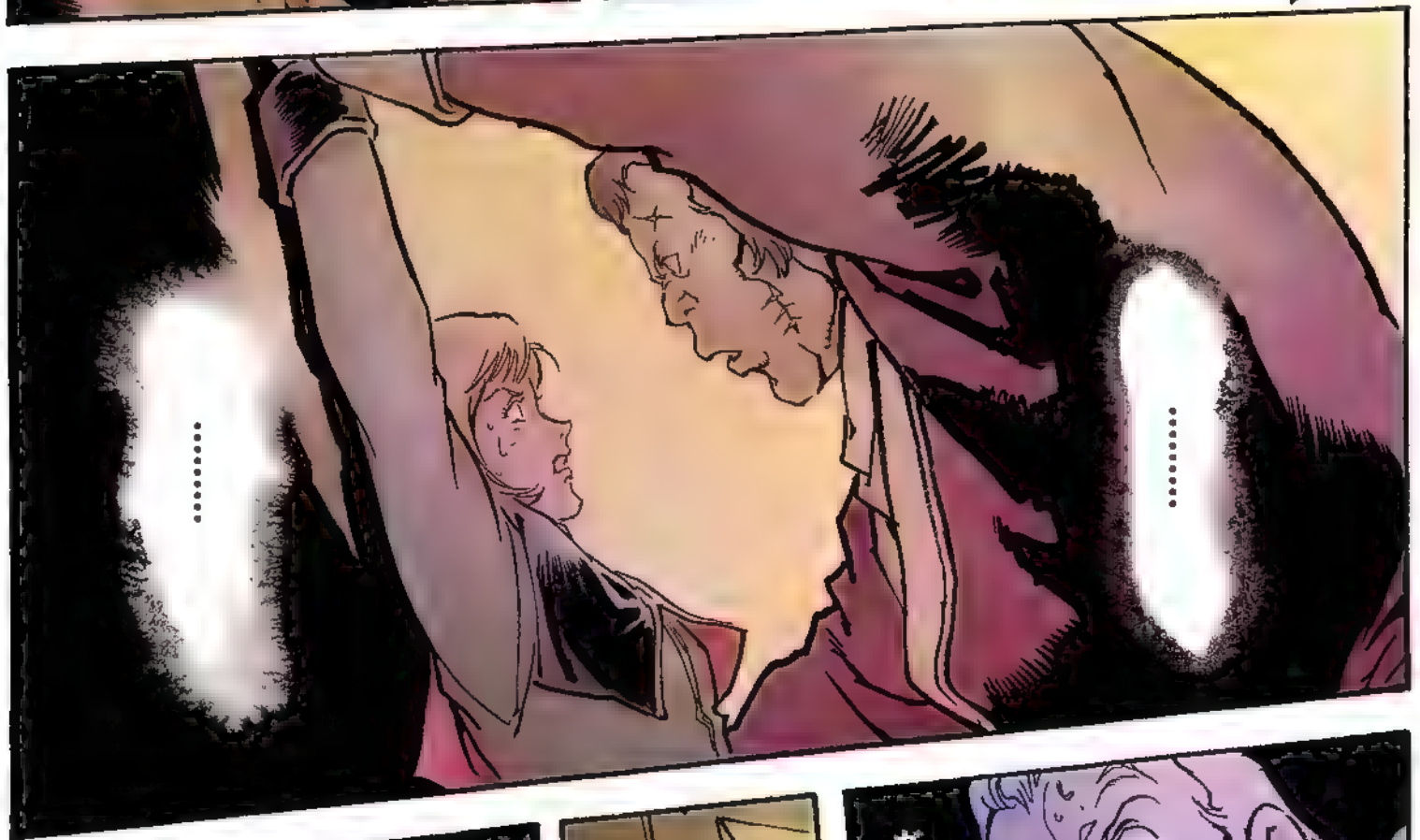


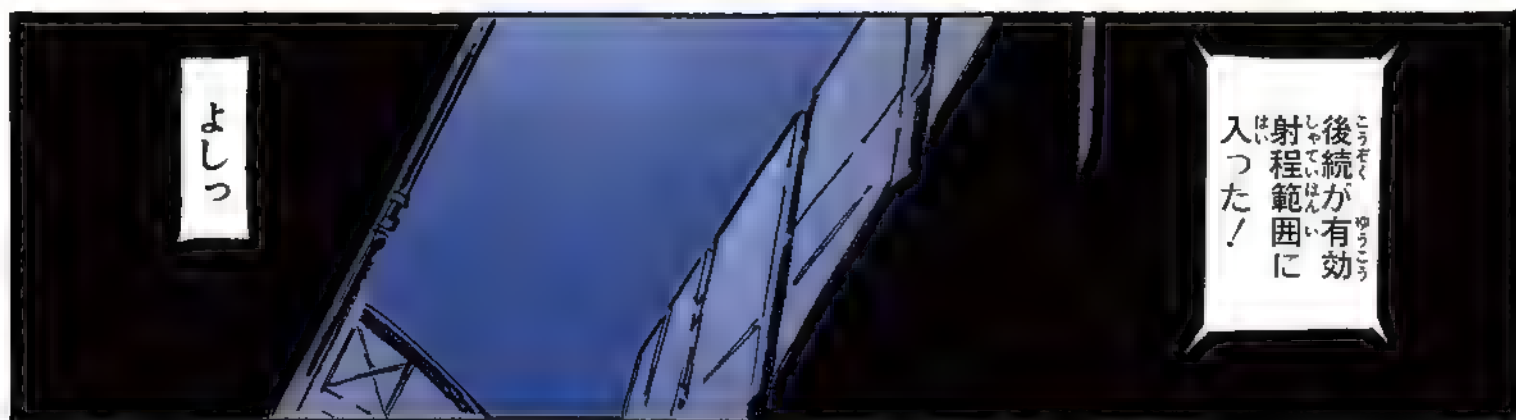
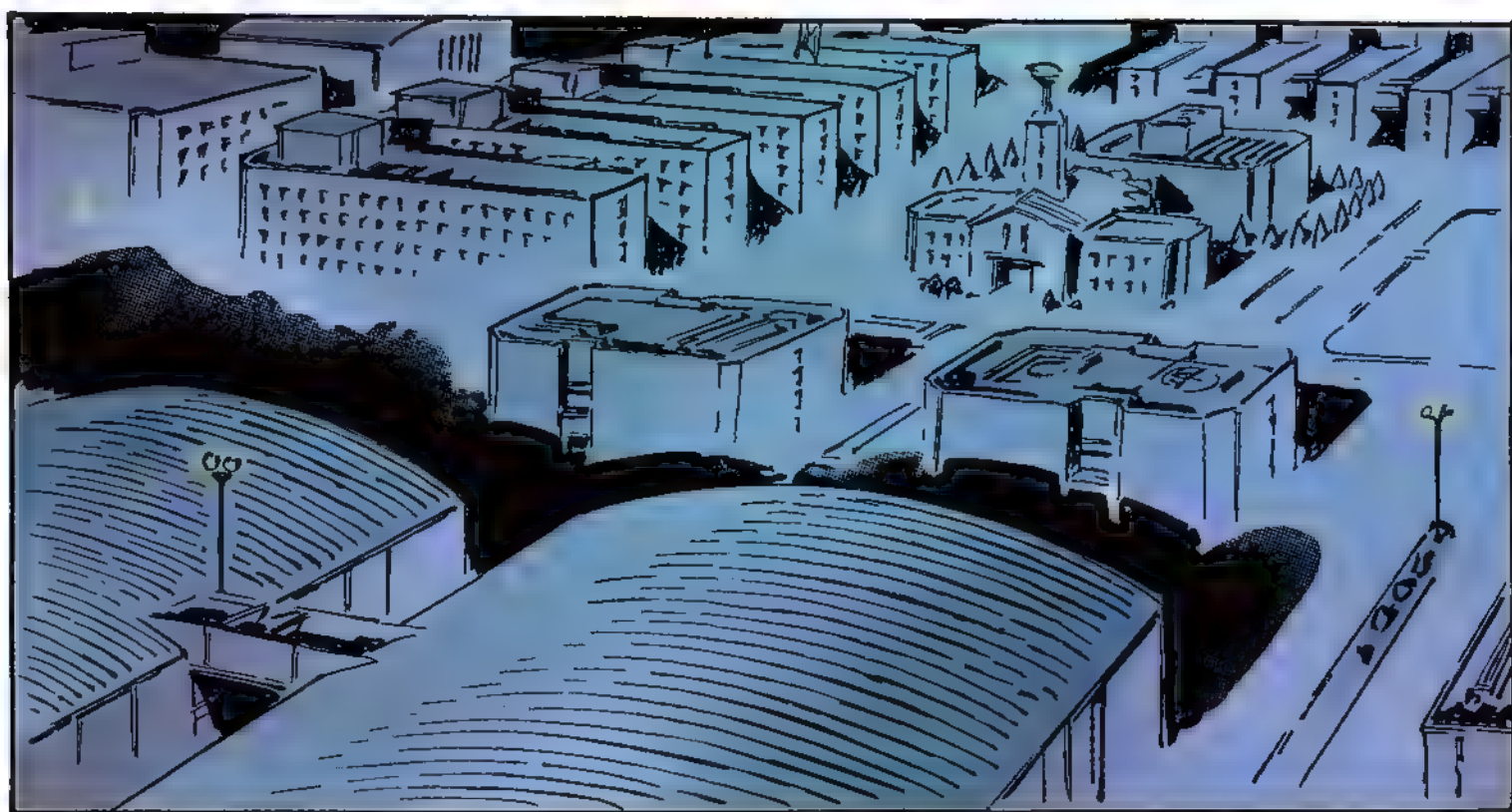
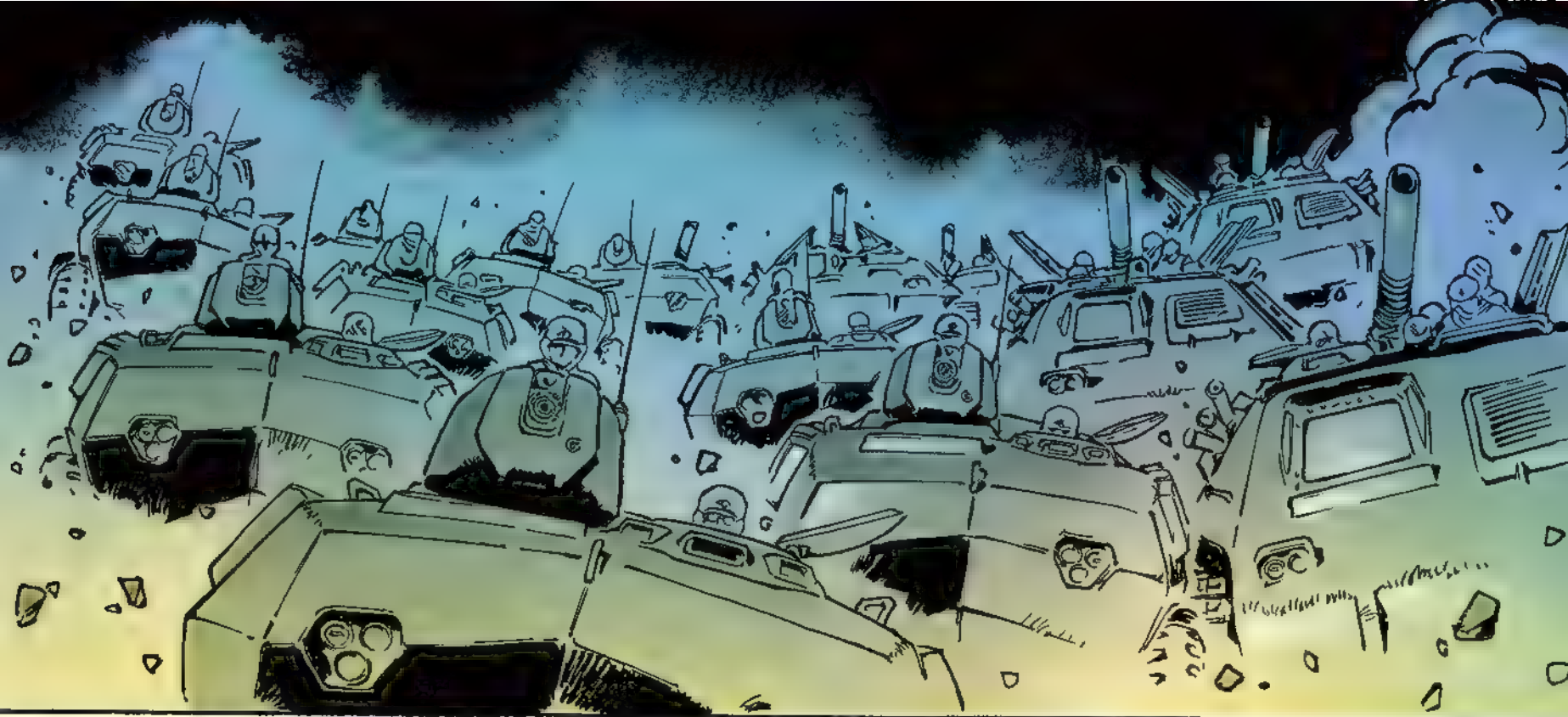




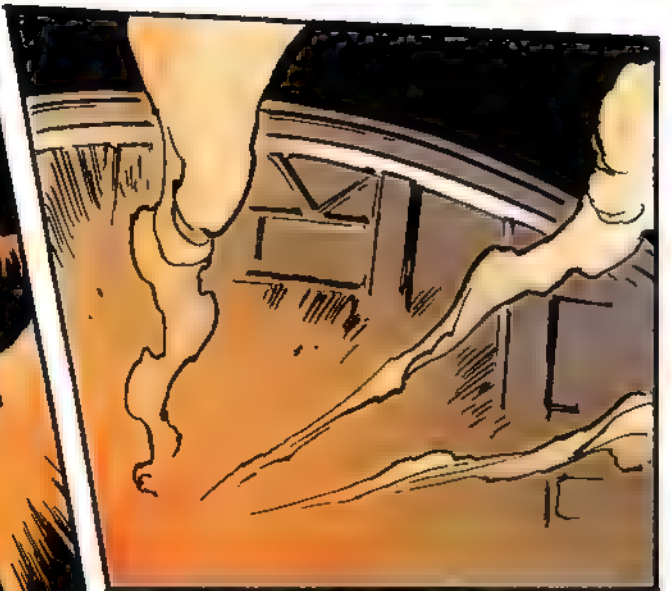
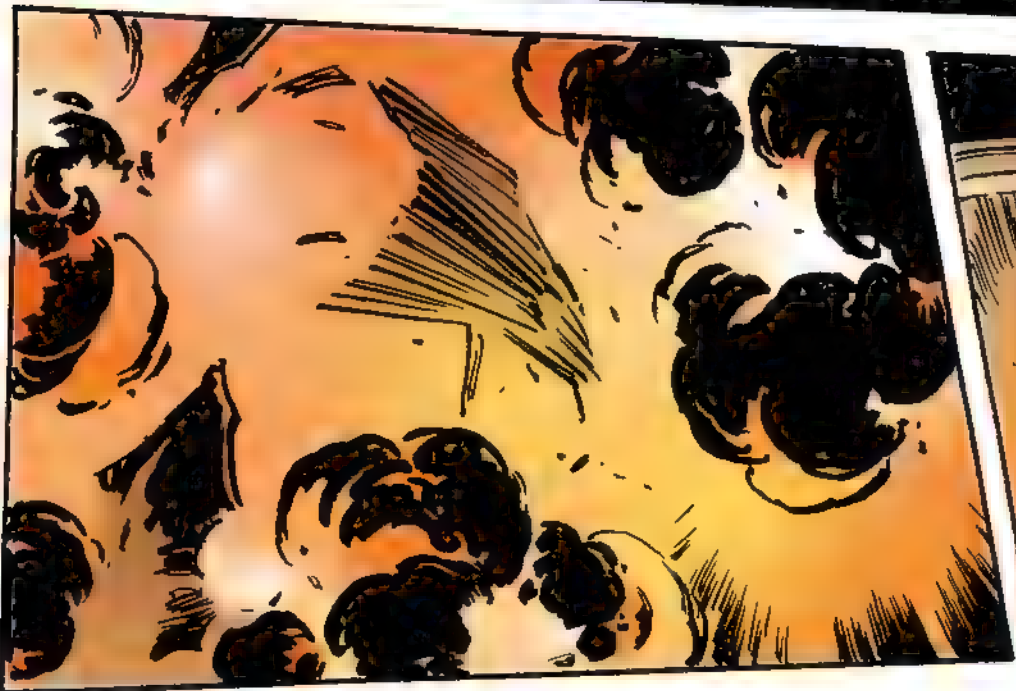
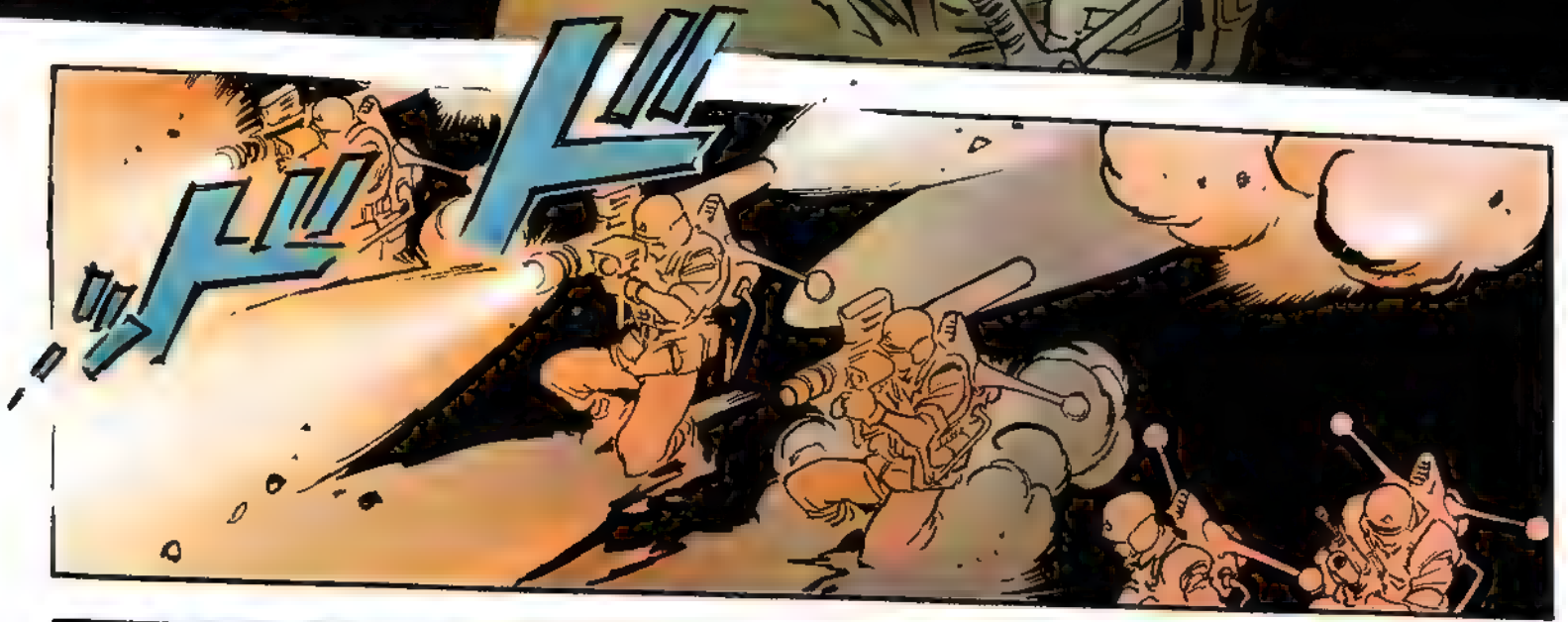
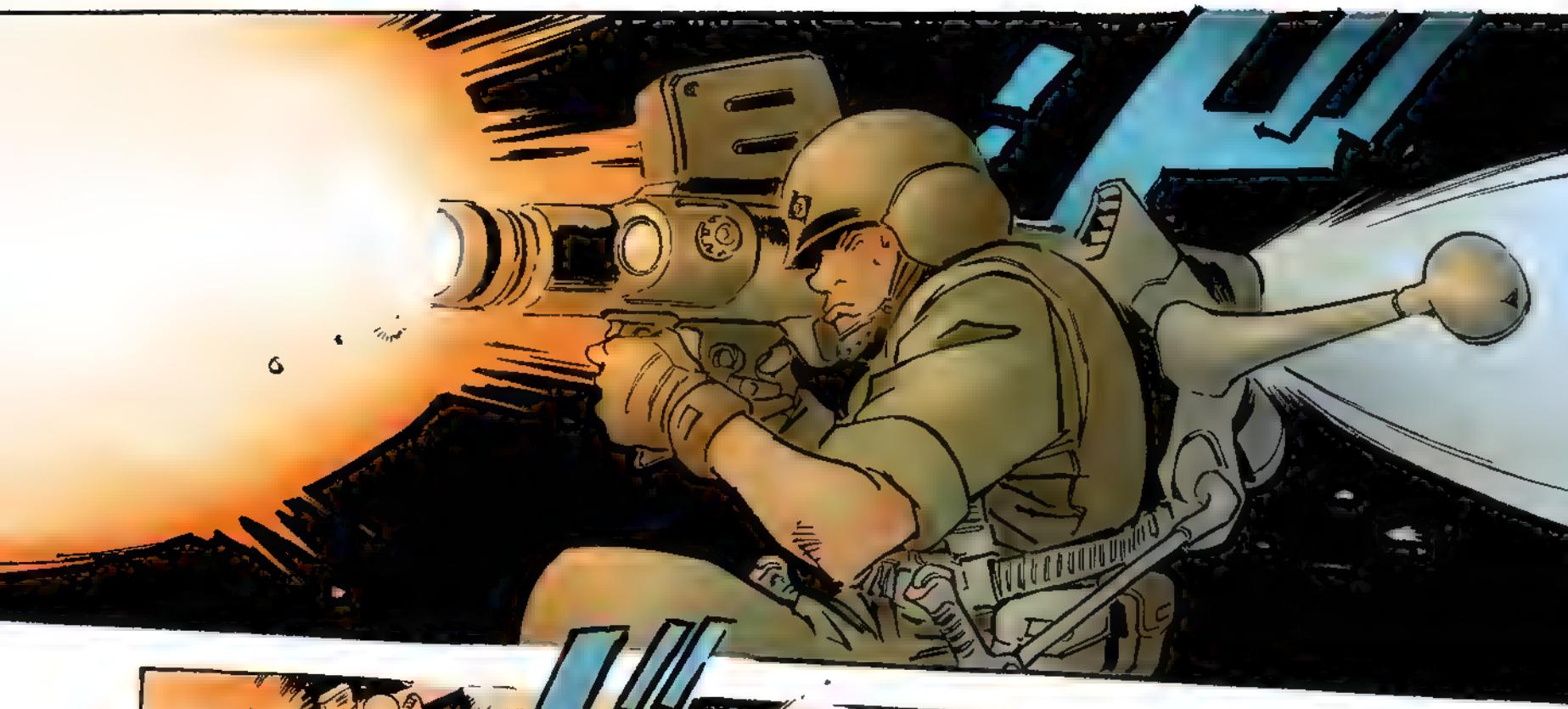
煽動  
したの  
は

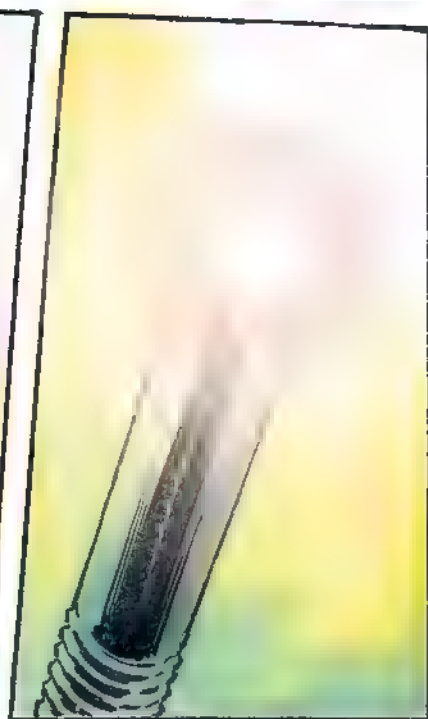
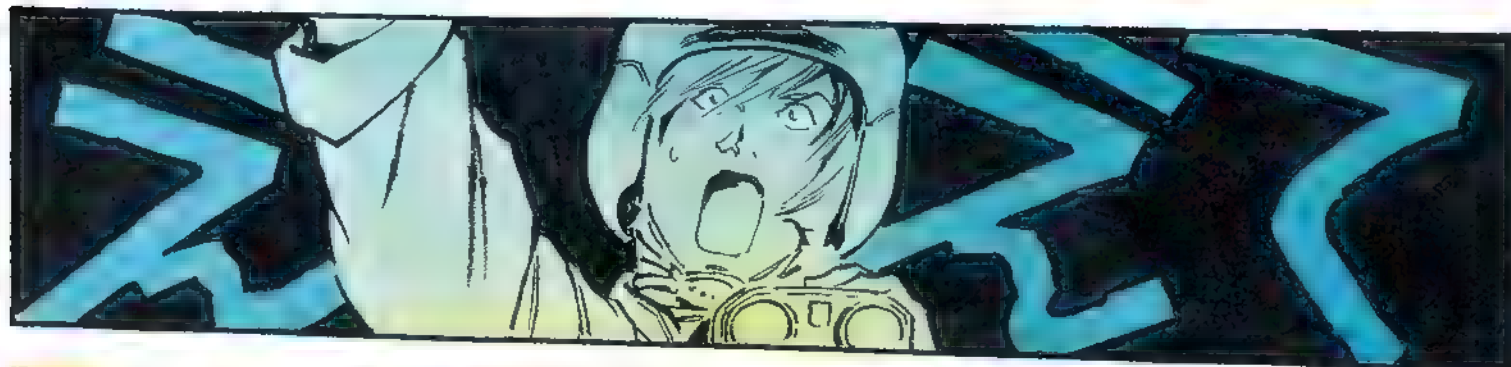
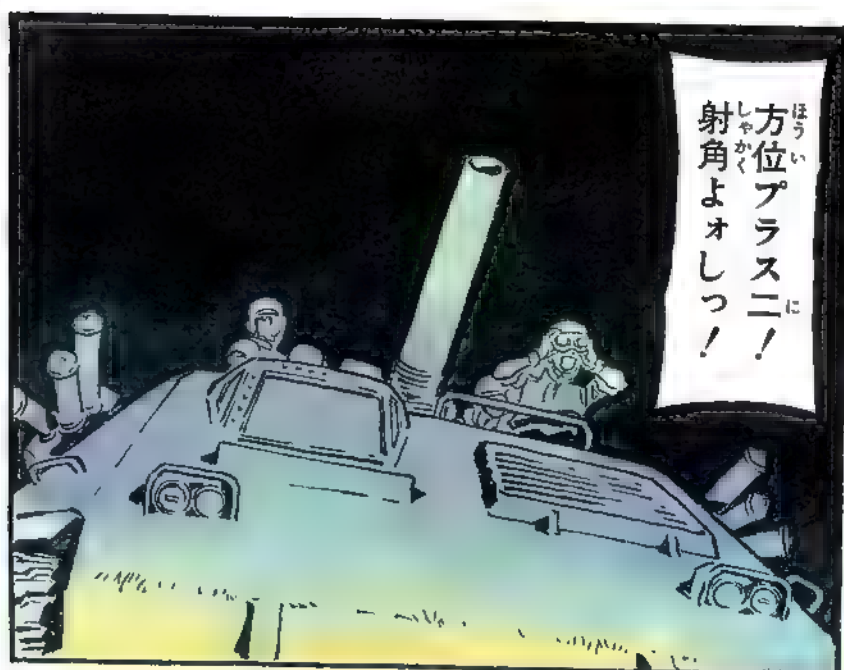
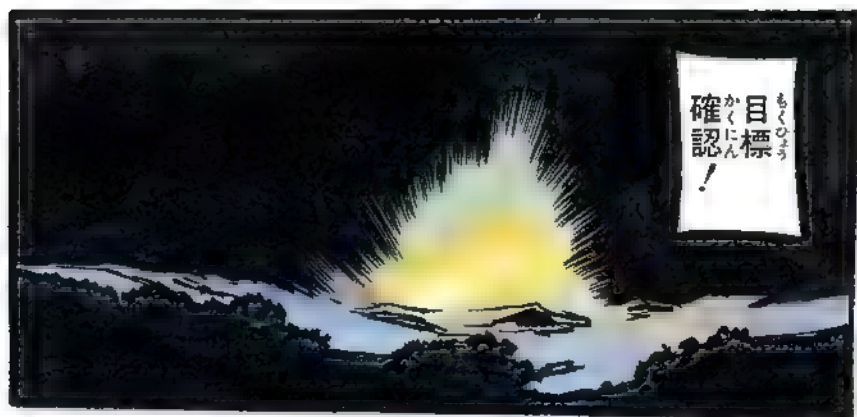




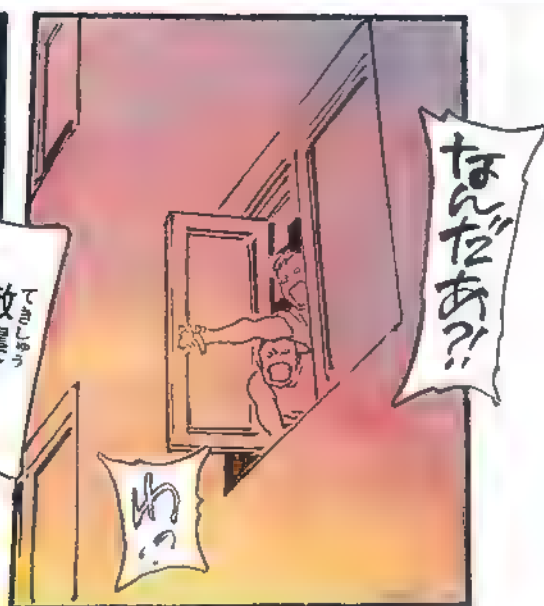
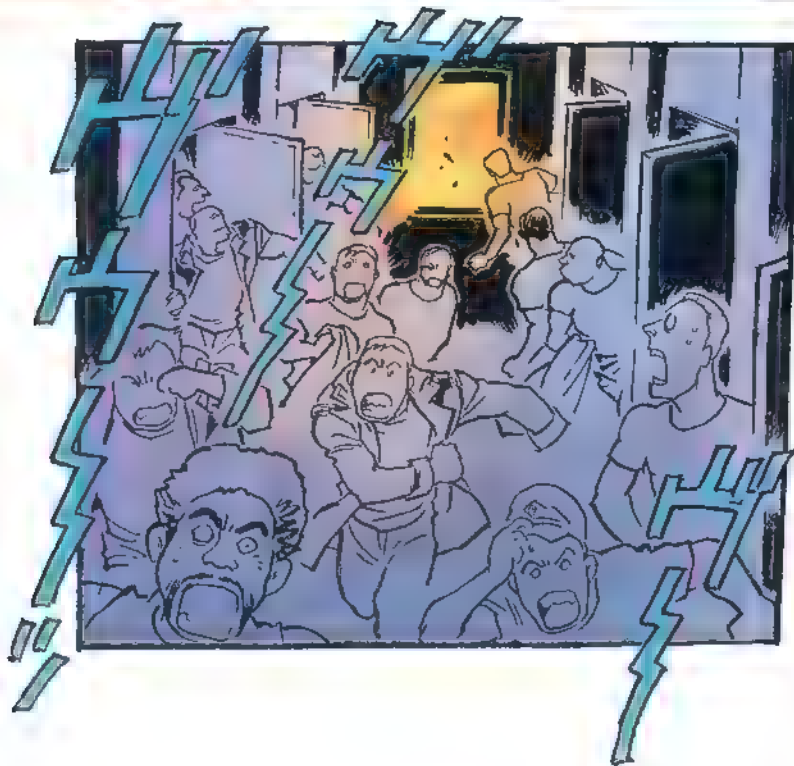
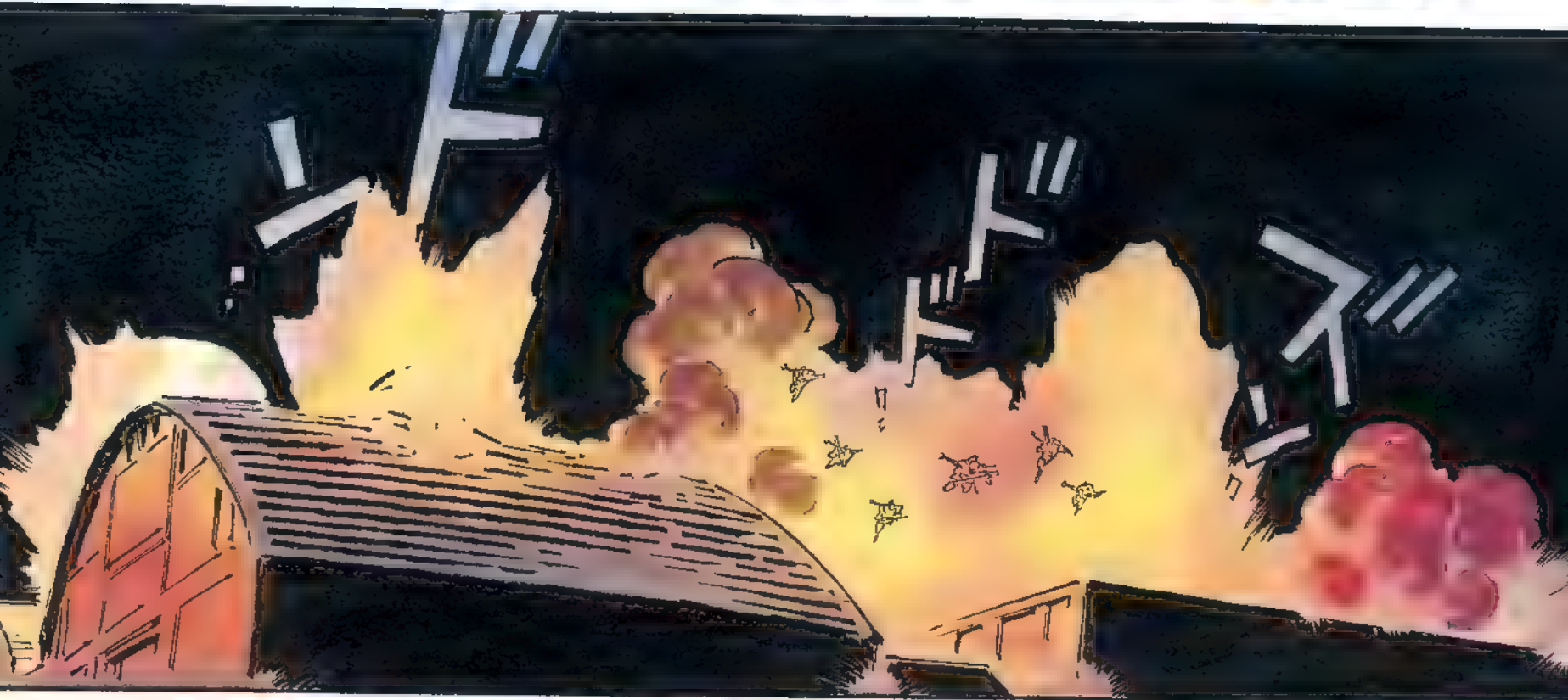
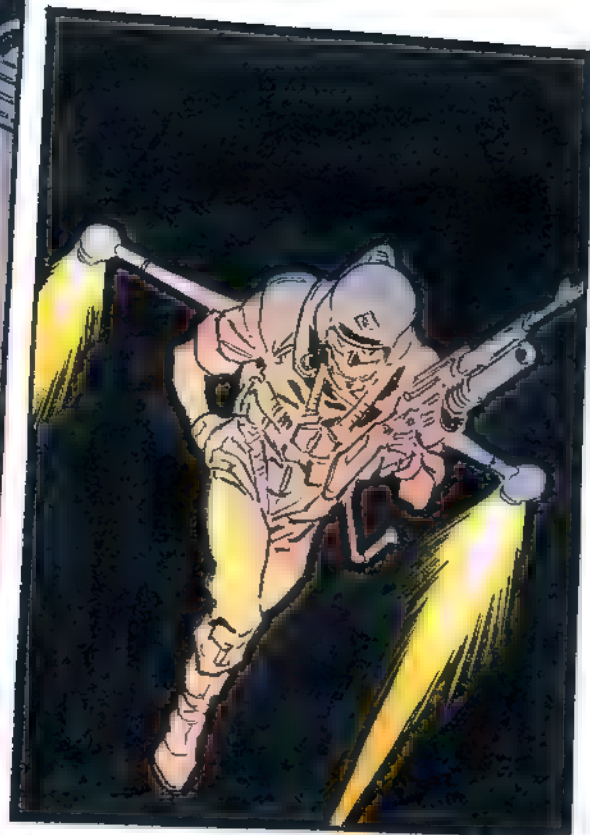
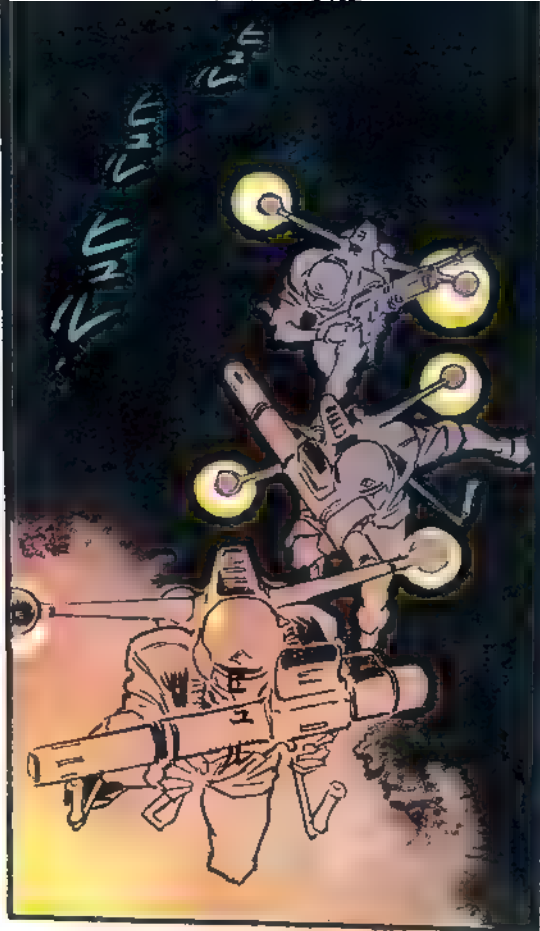




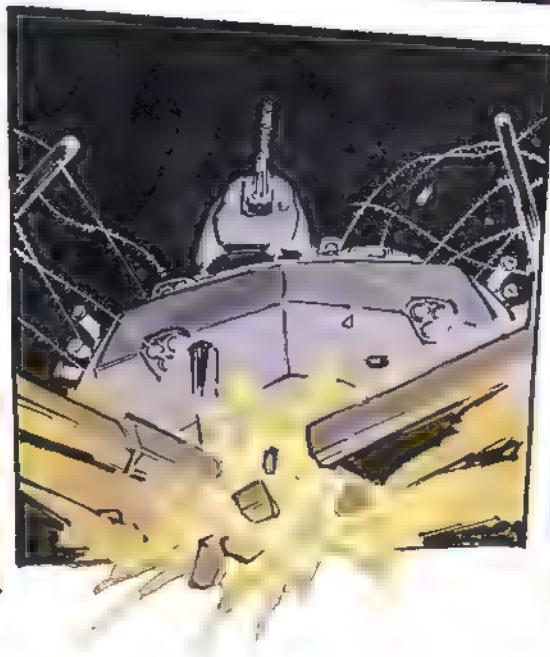
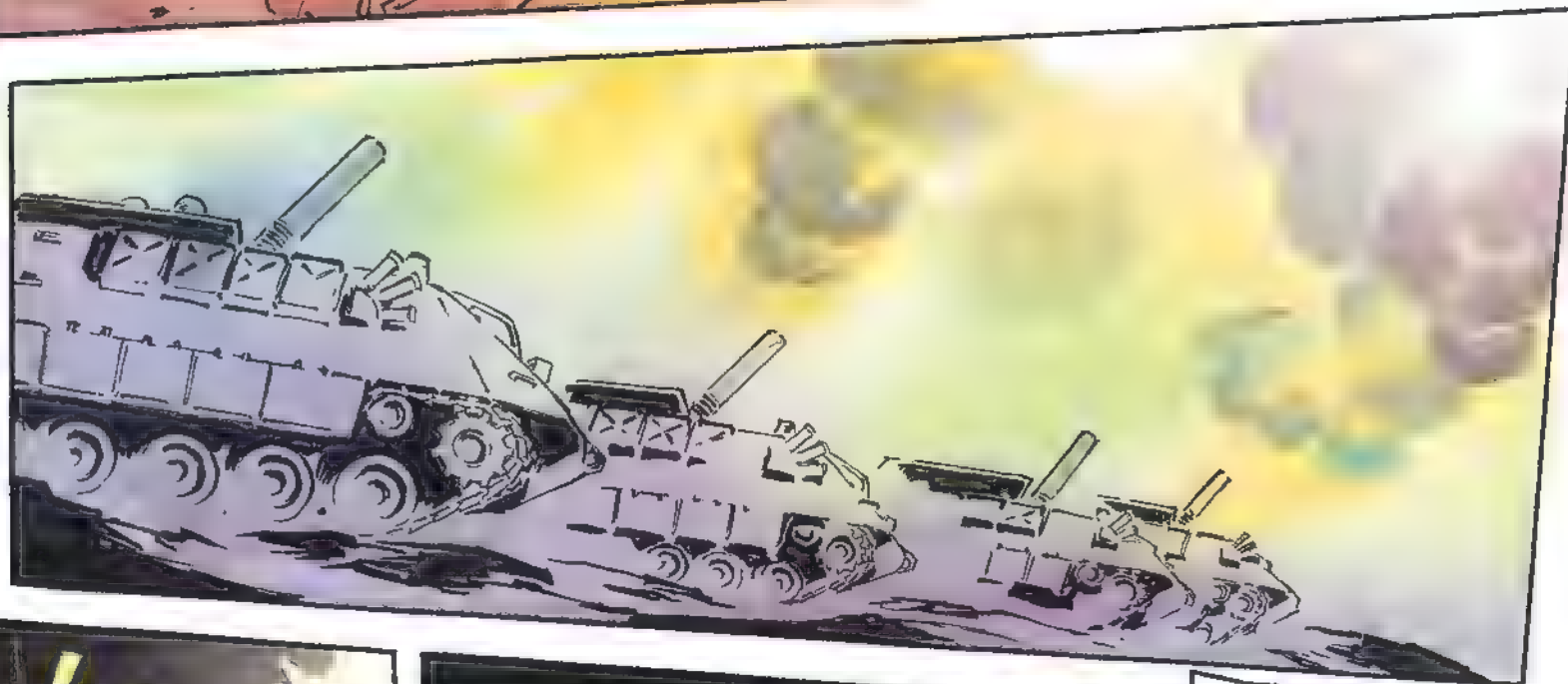
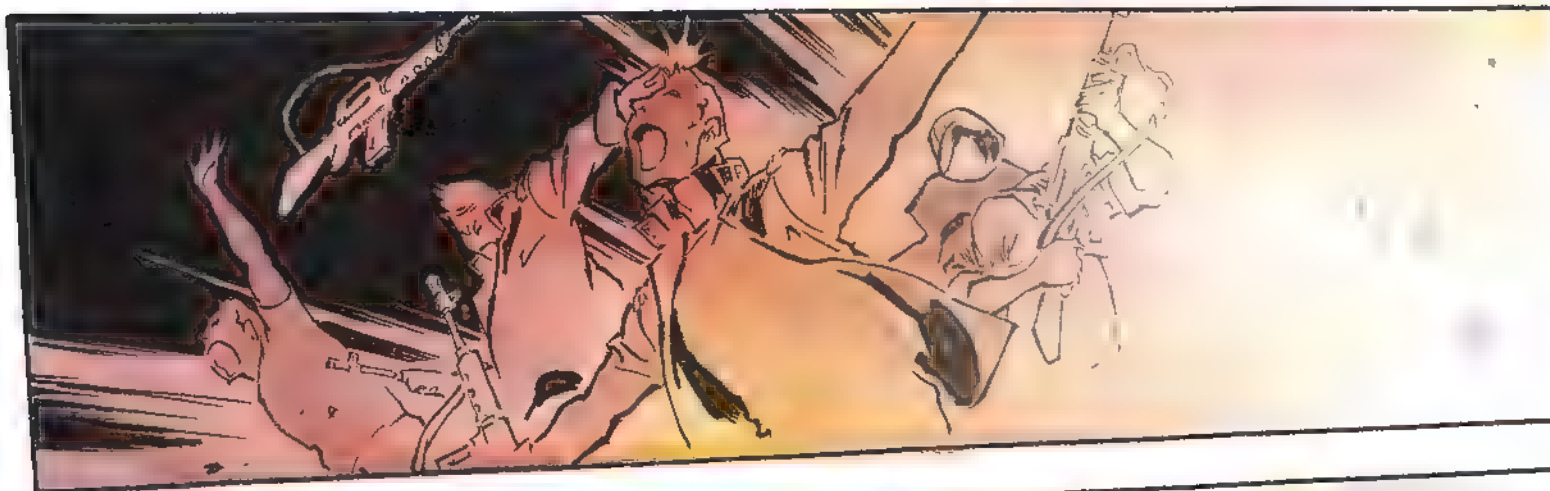
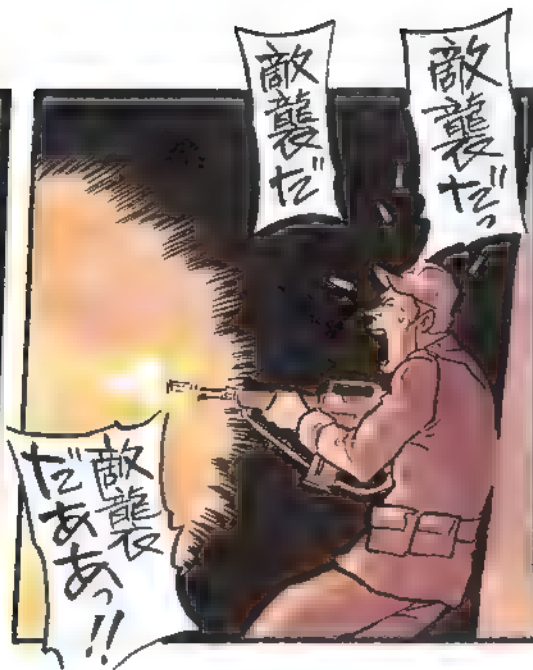
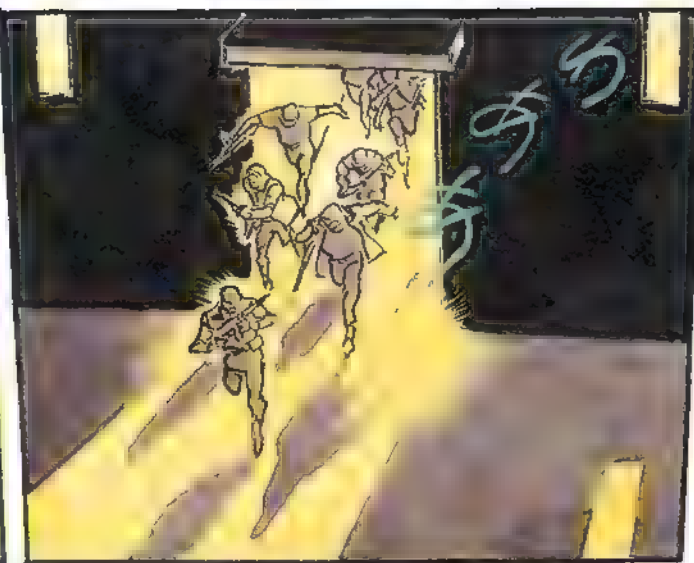
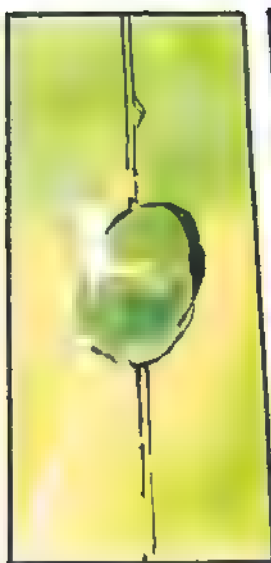




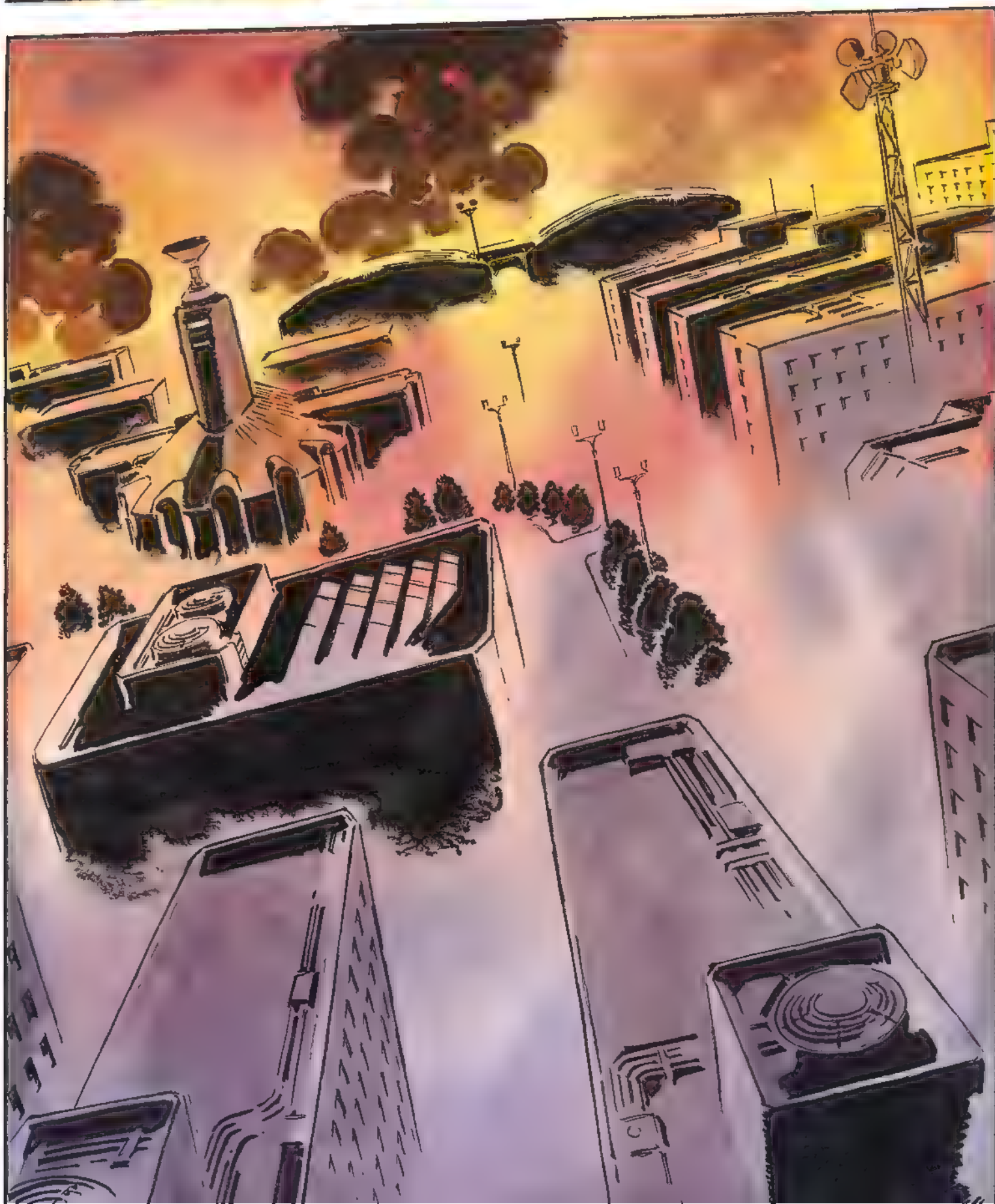
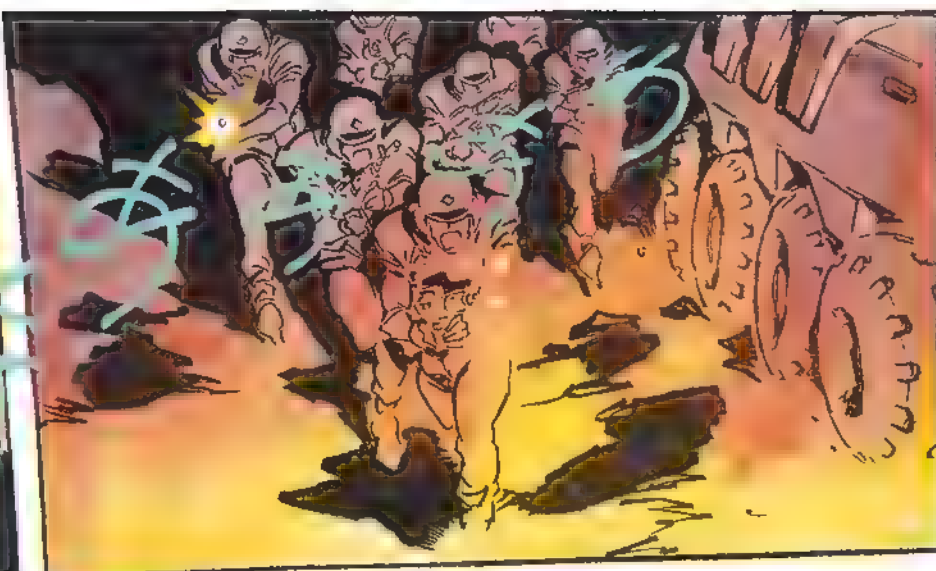
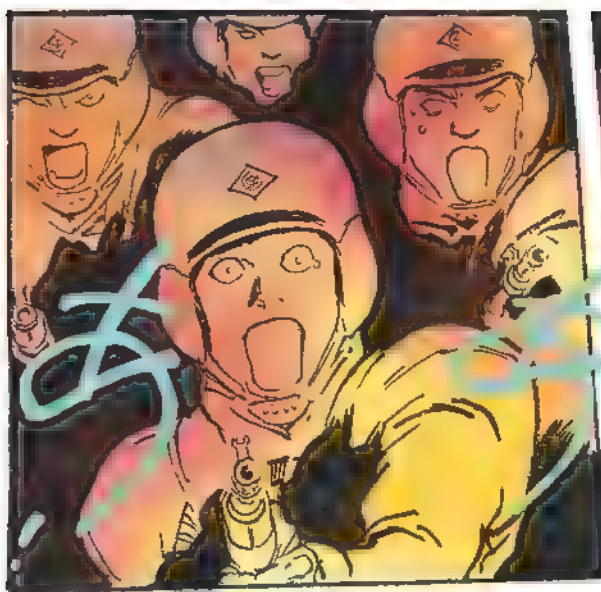








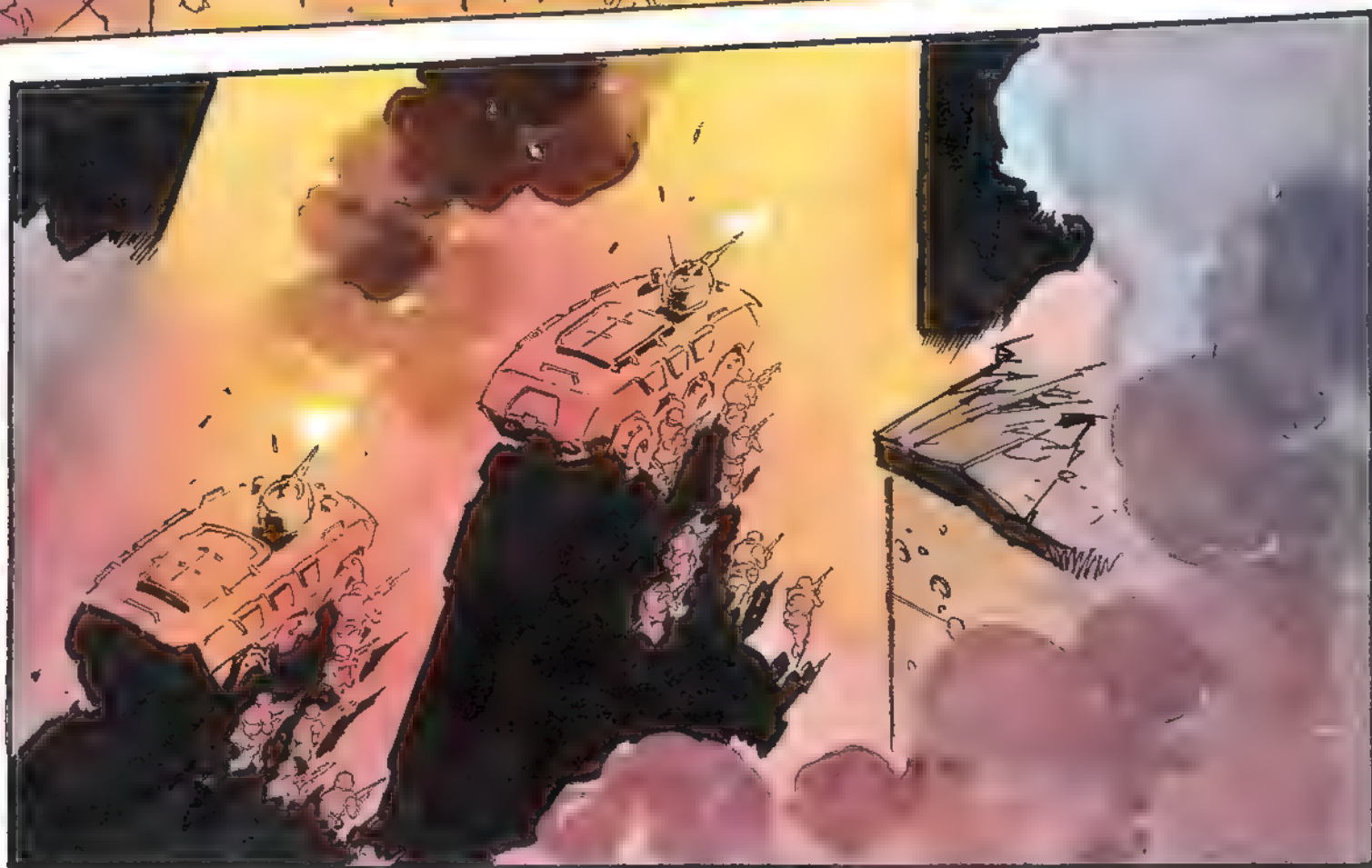
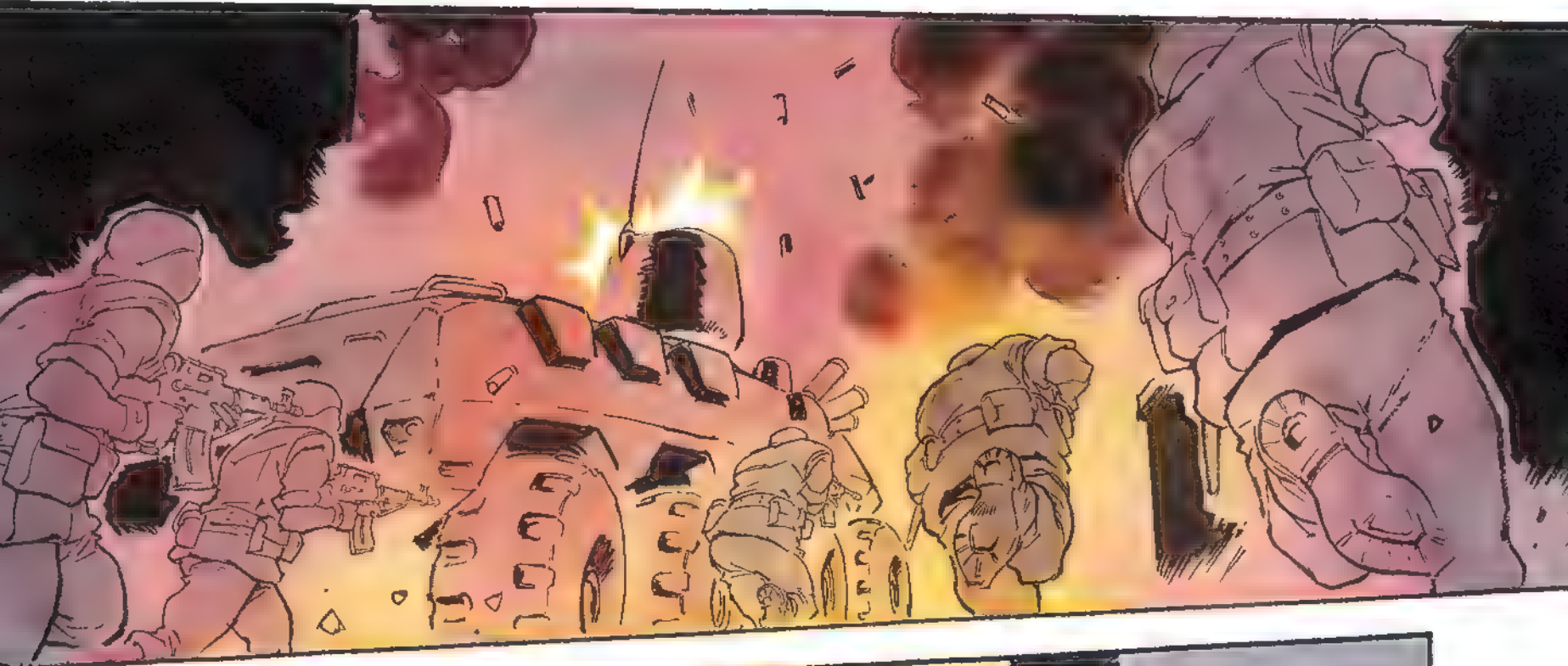
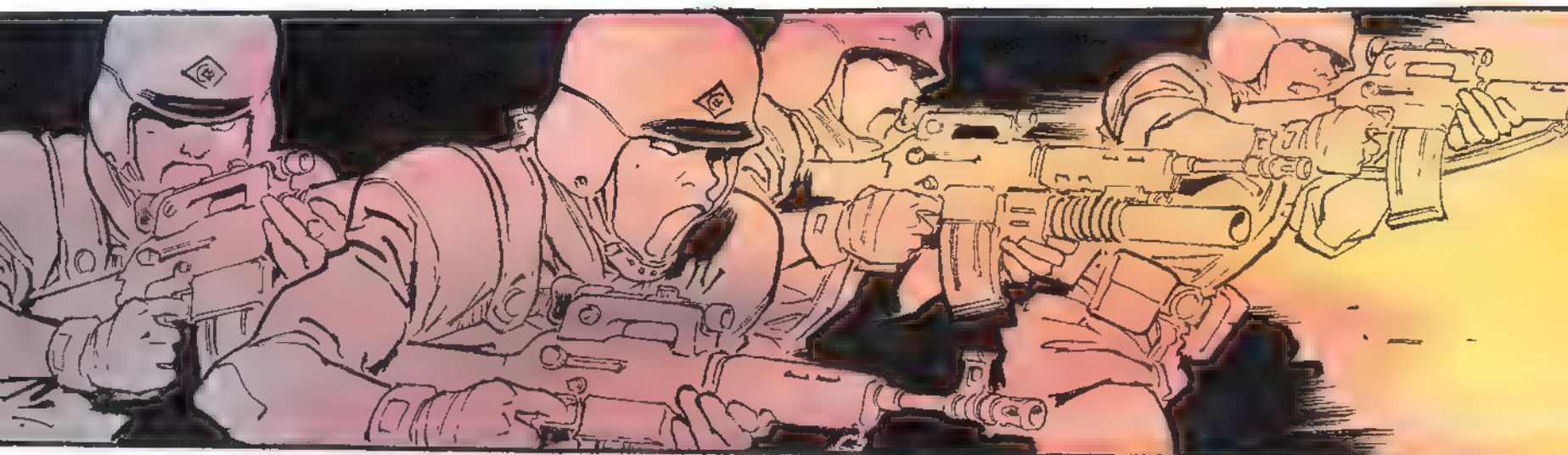


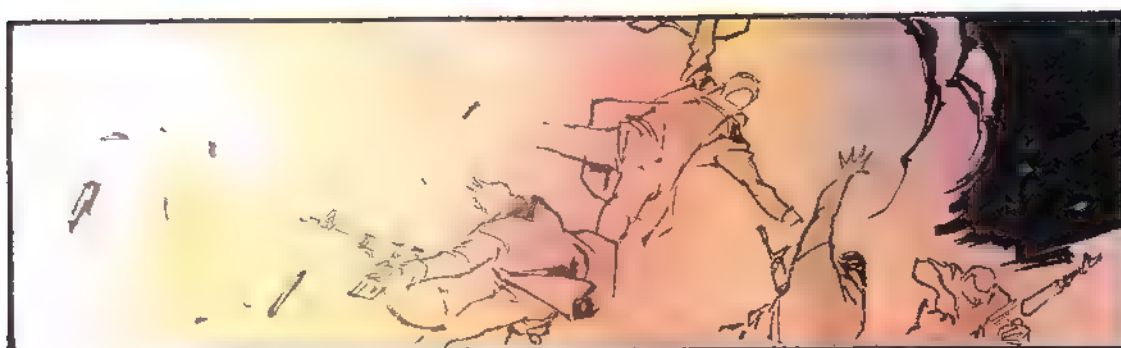
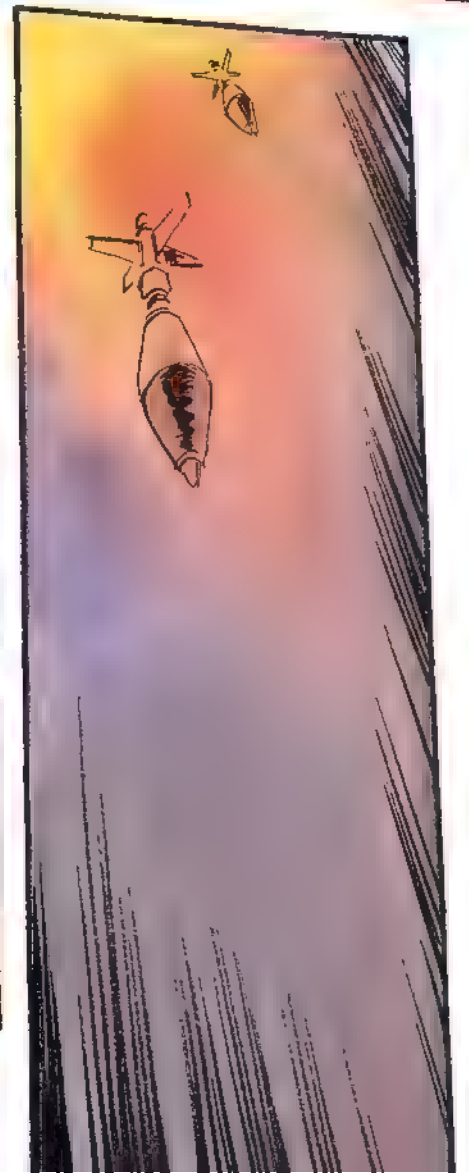
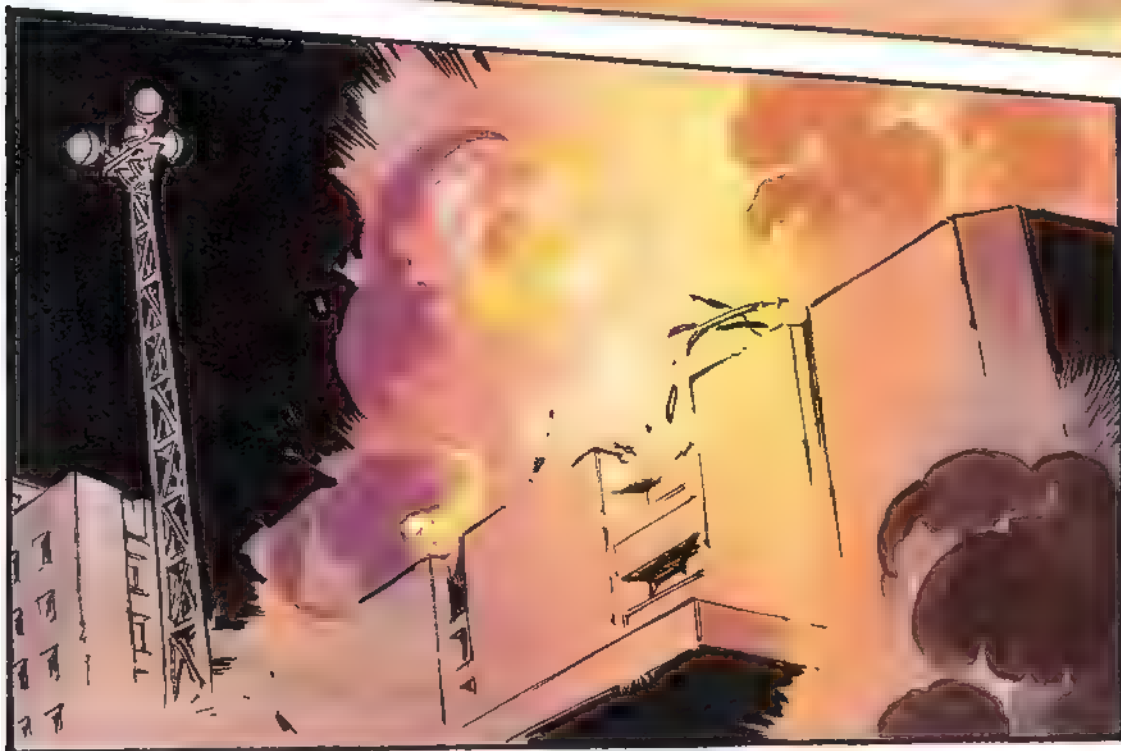
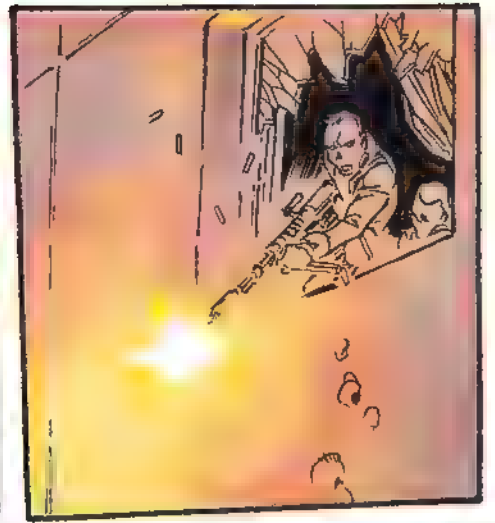
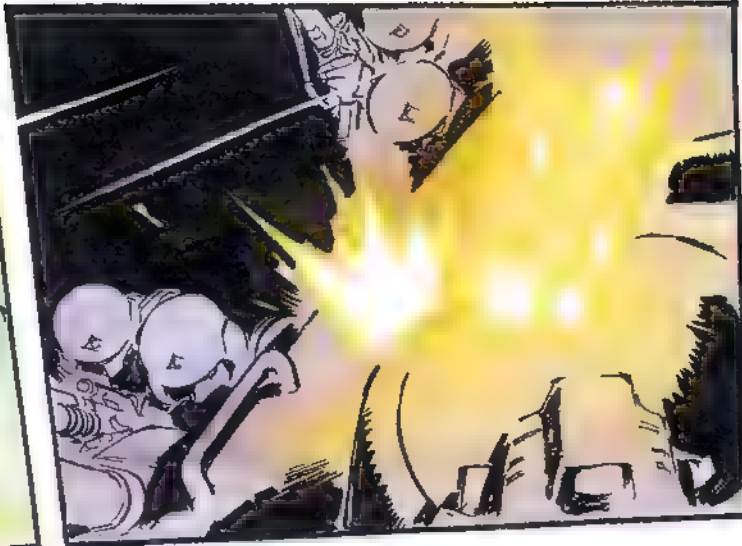


—開戰編・前—

SECTION  
IV

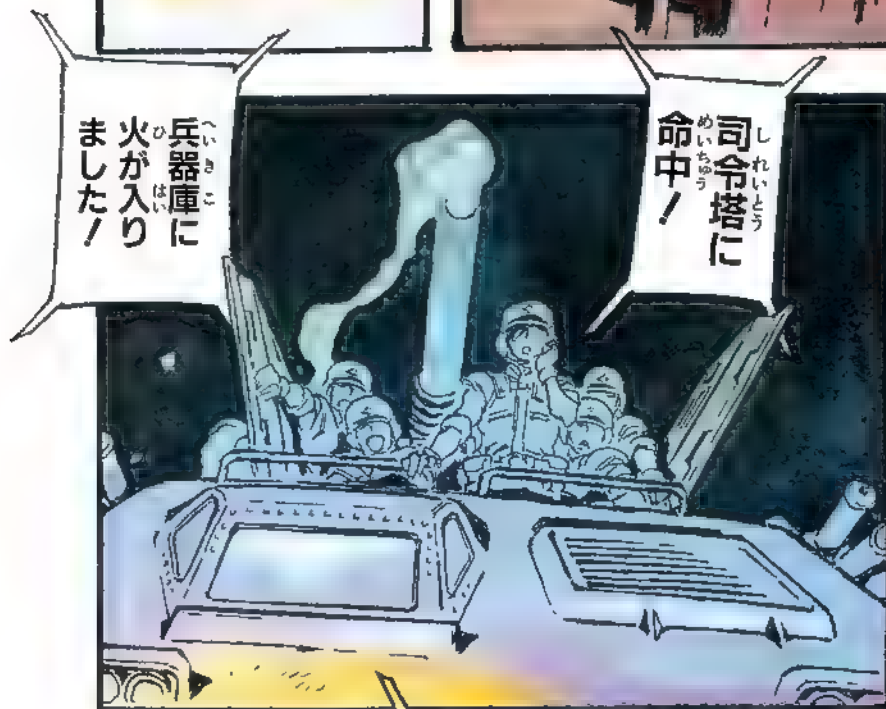




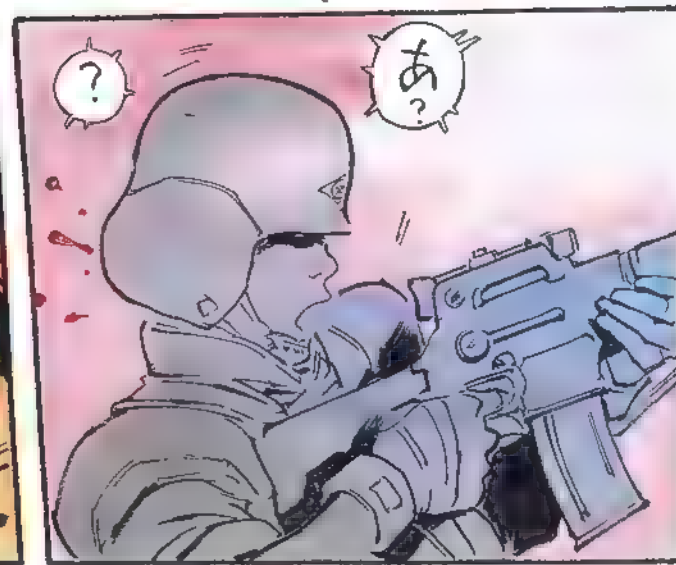
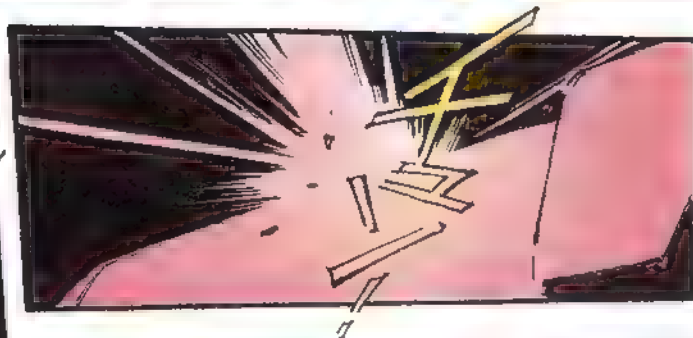
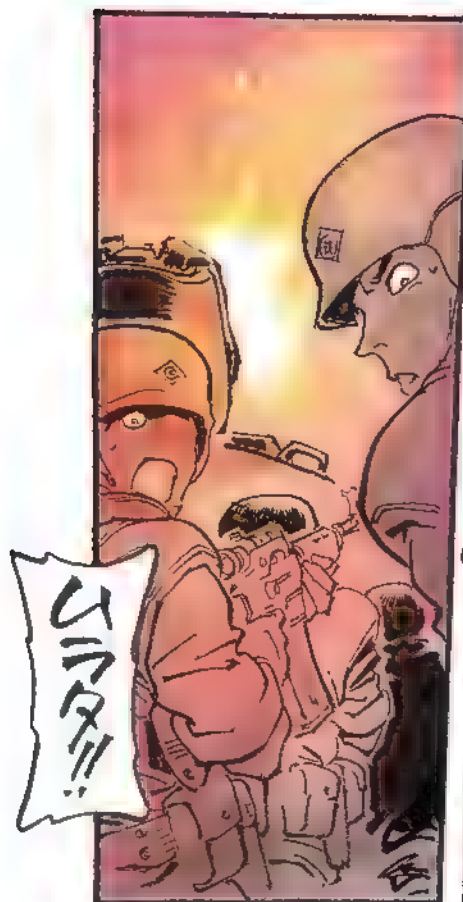
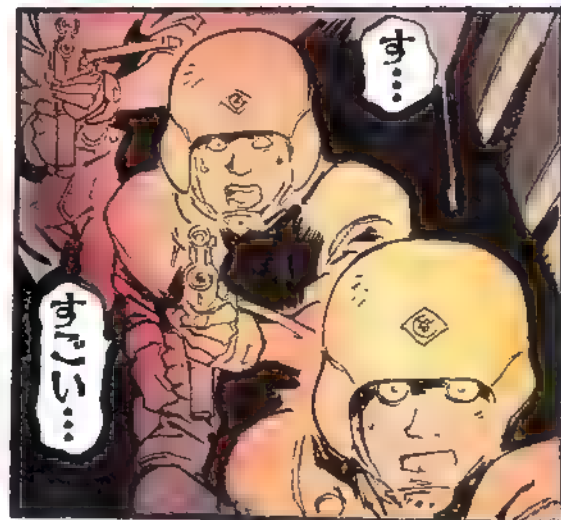
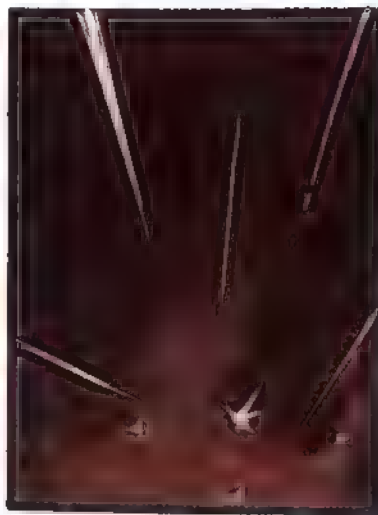
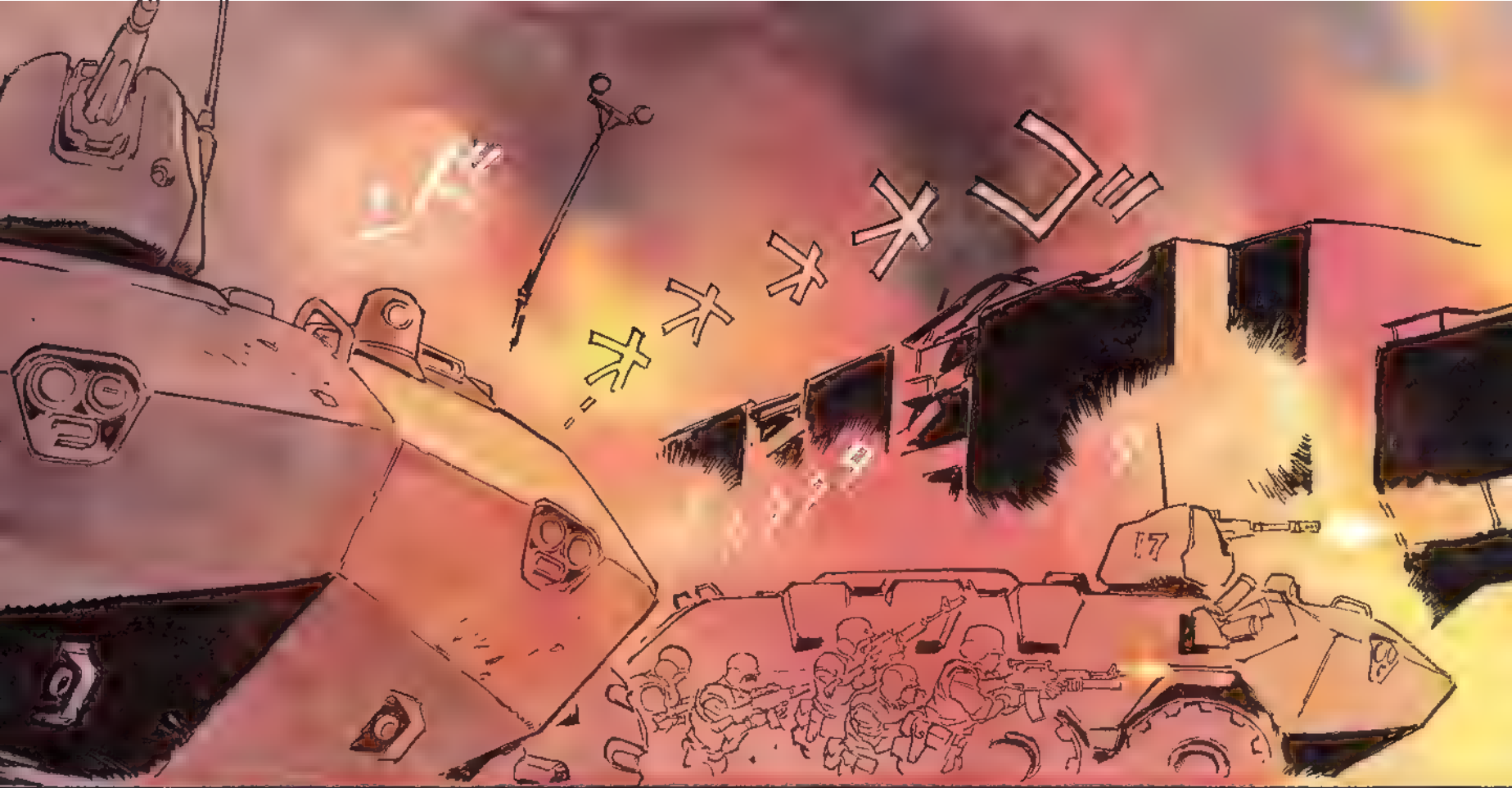


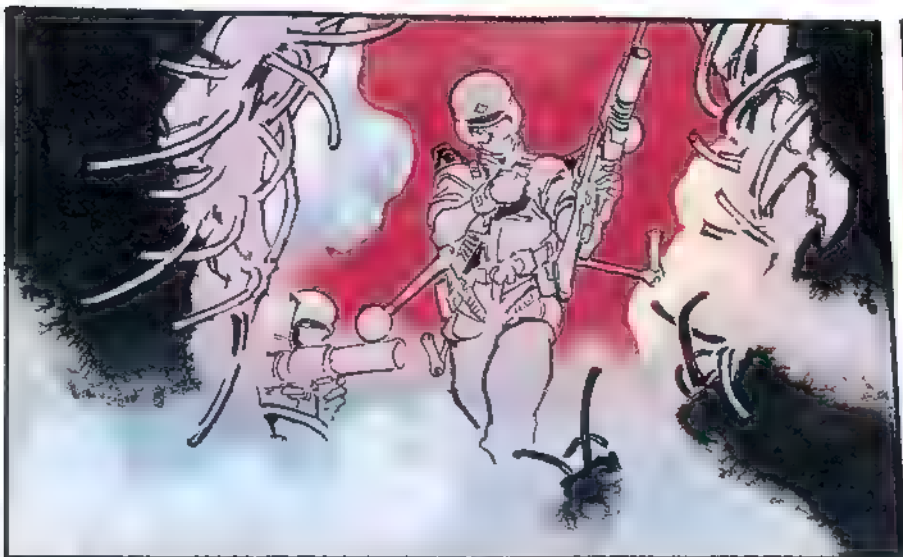
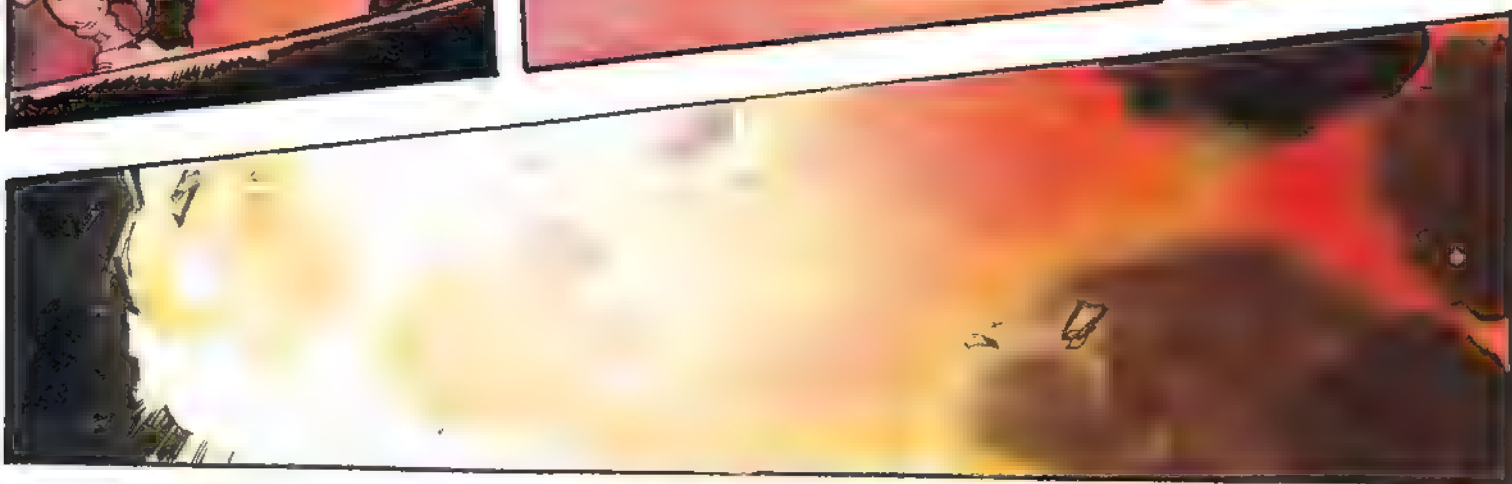
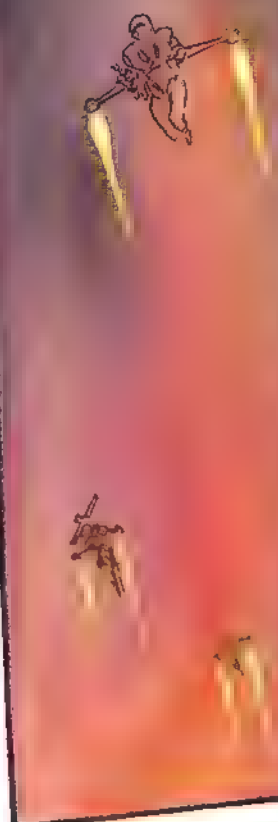
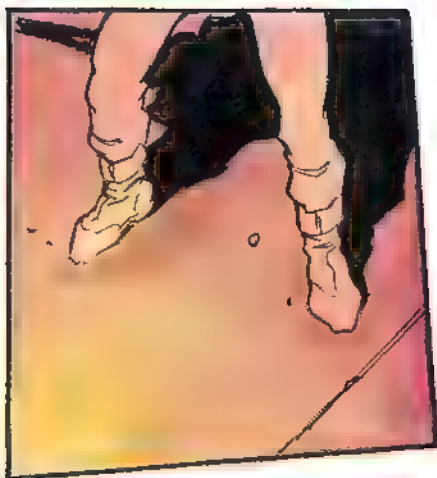




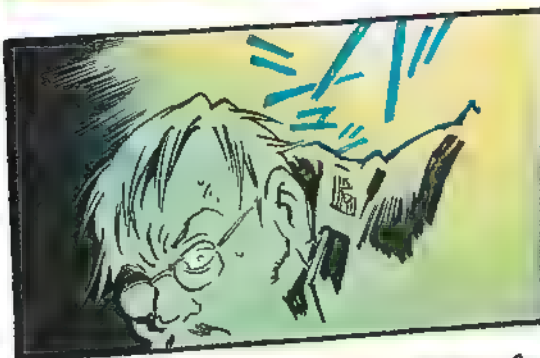
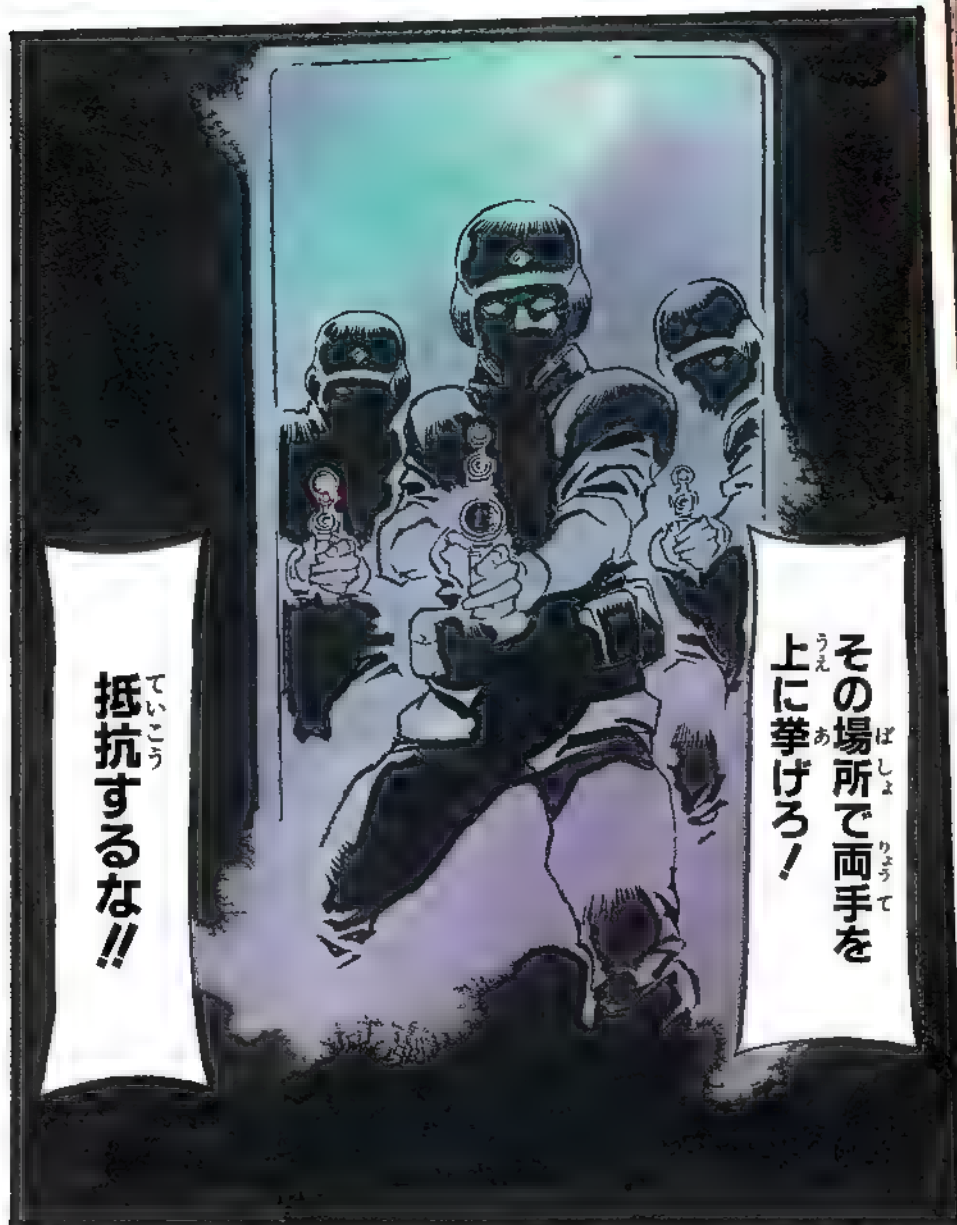
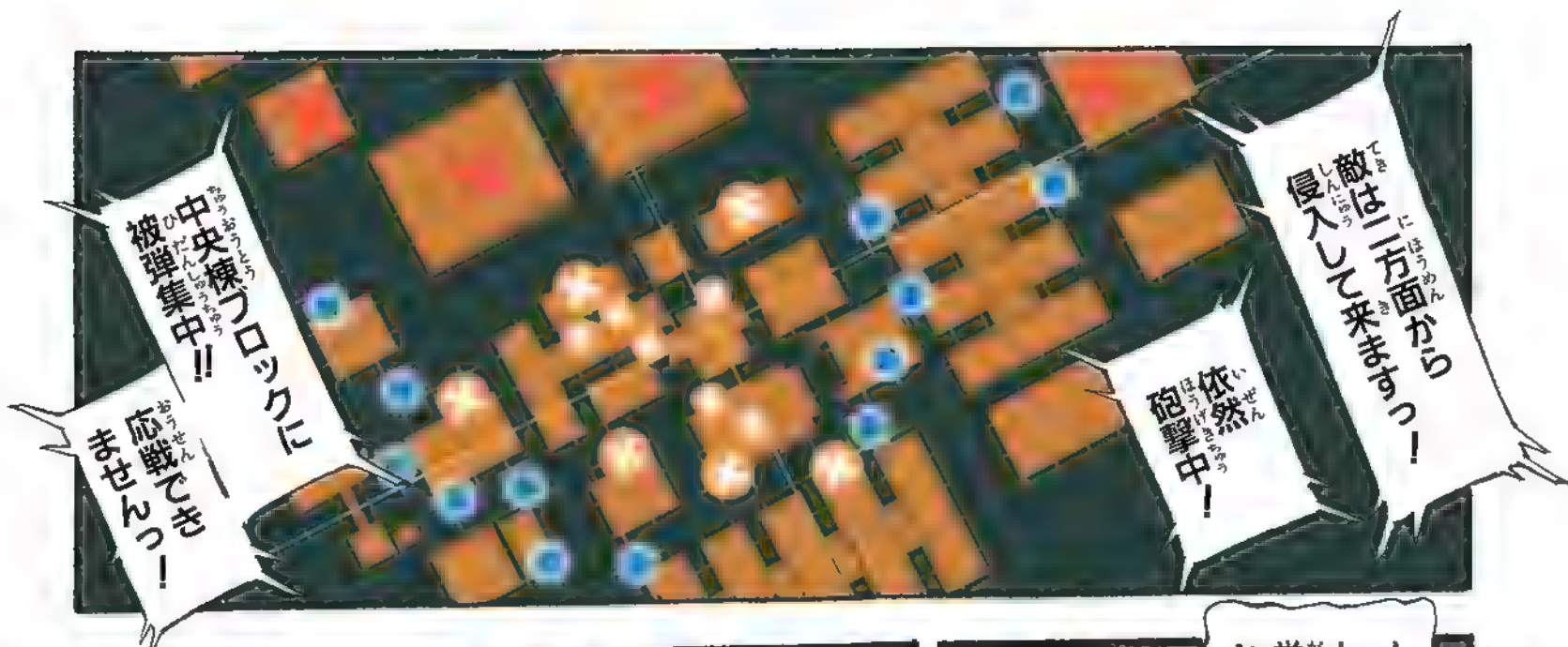




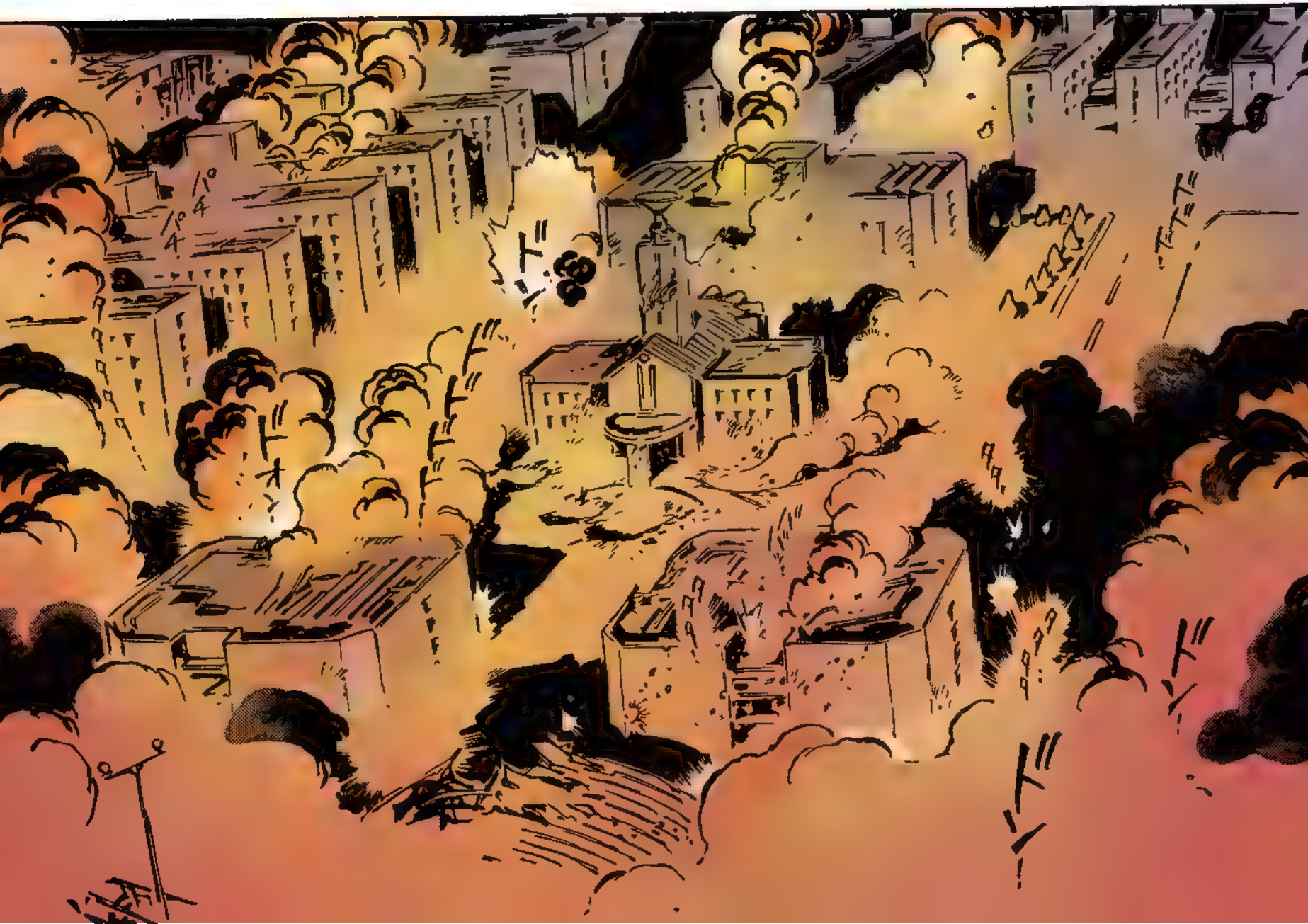
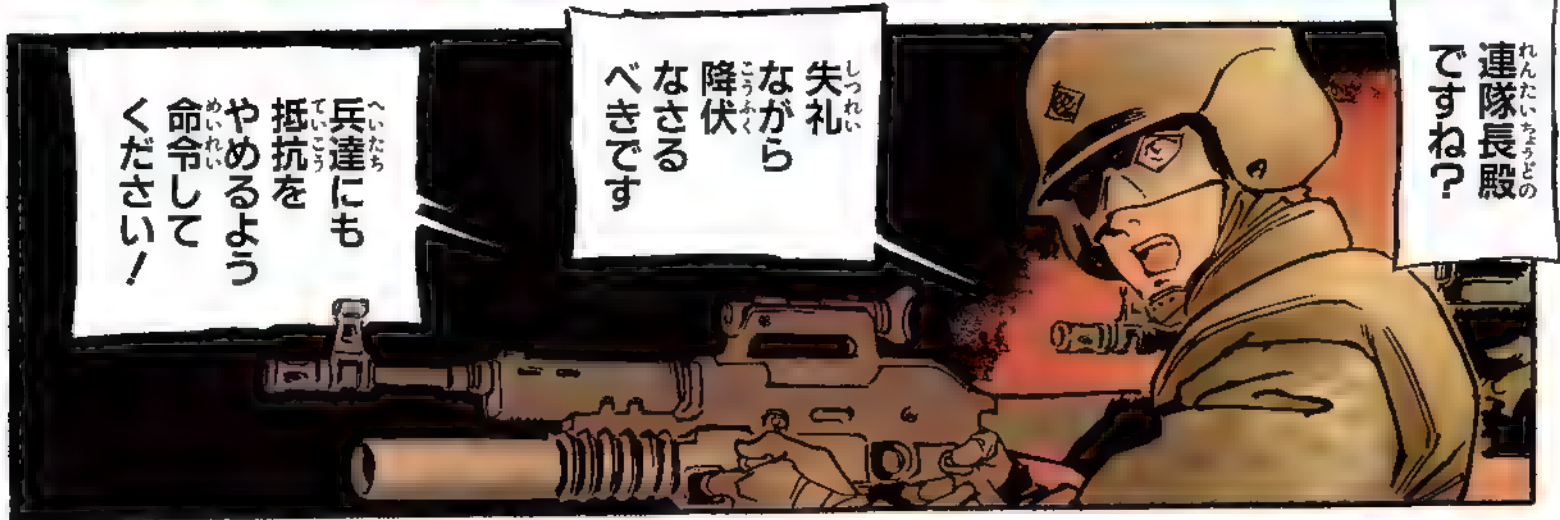
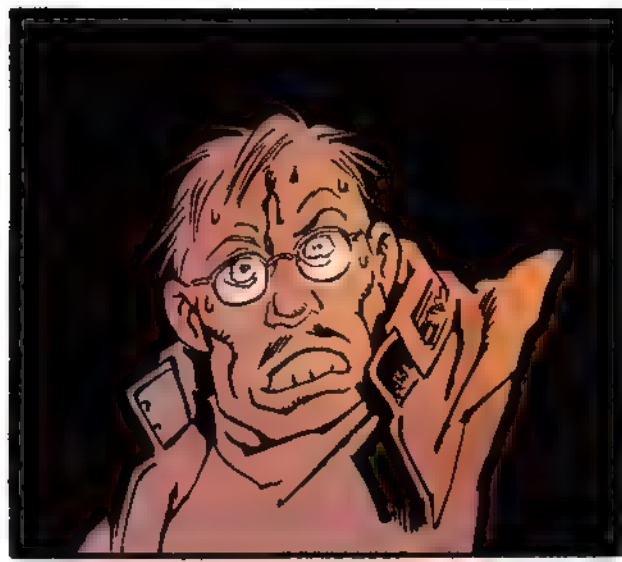
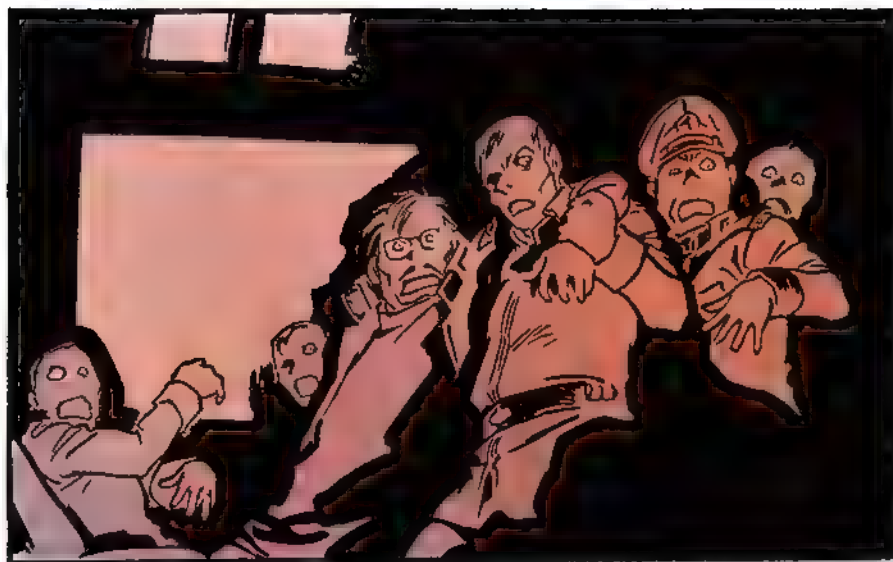




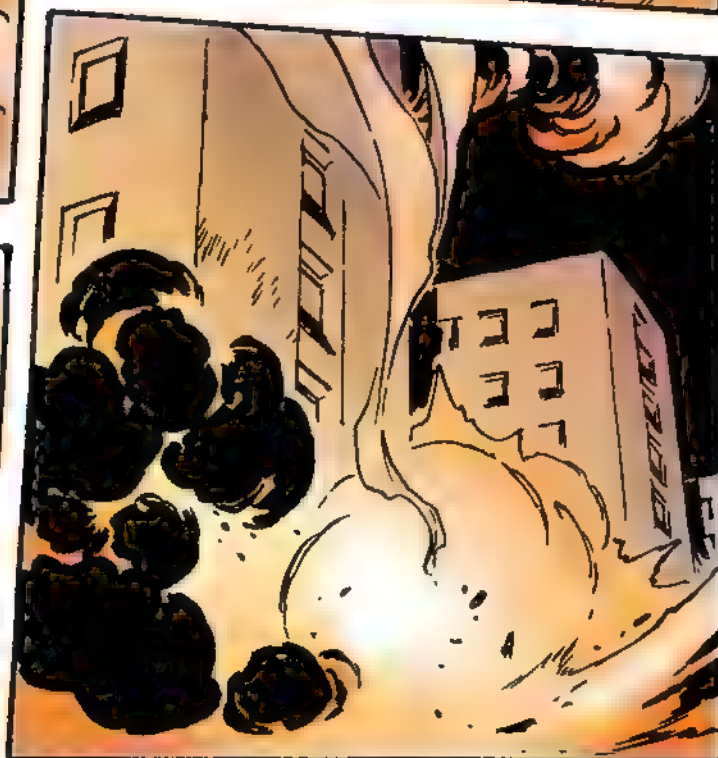
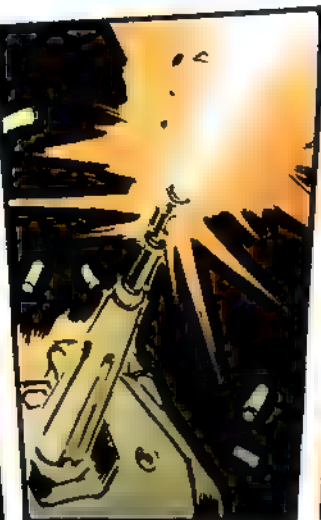
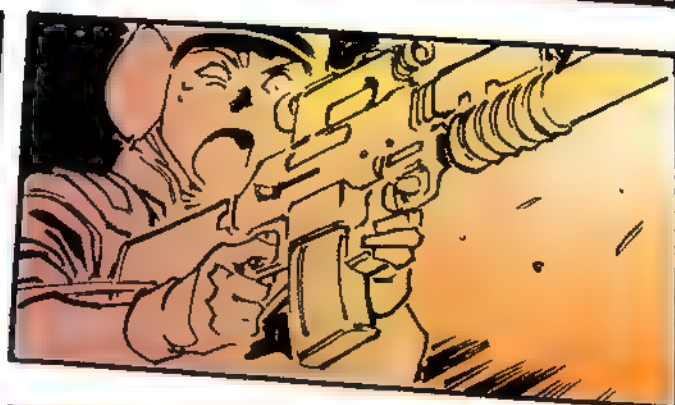
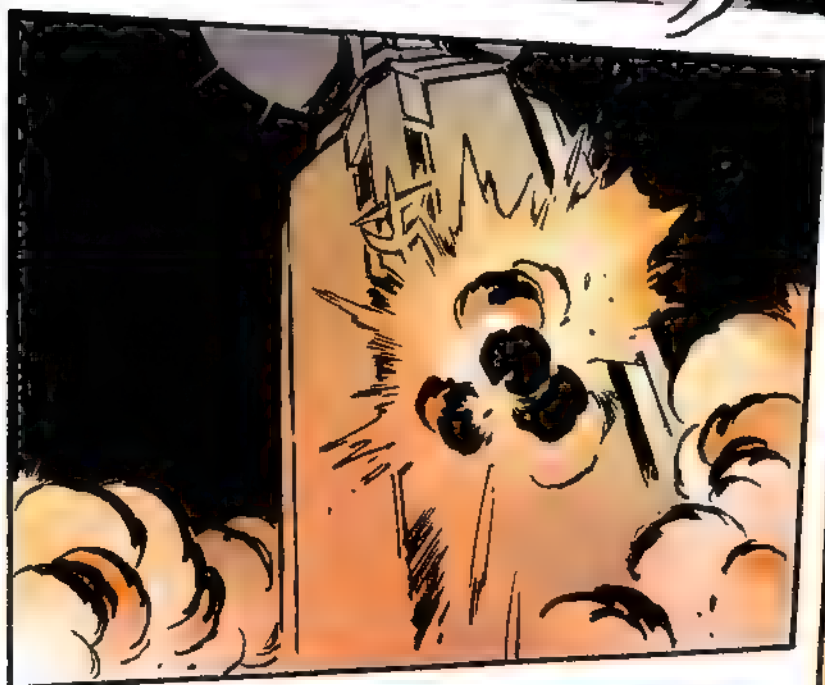
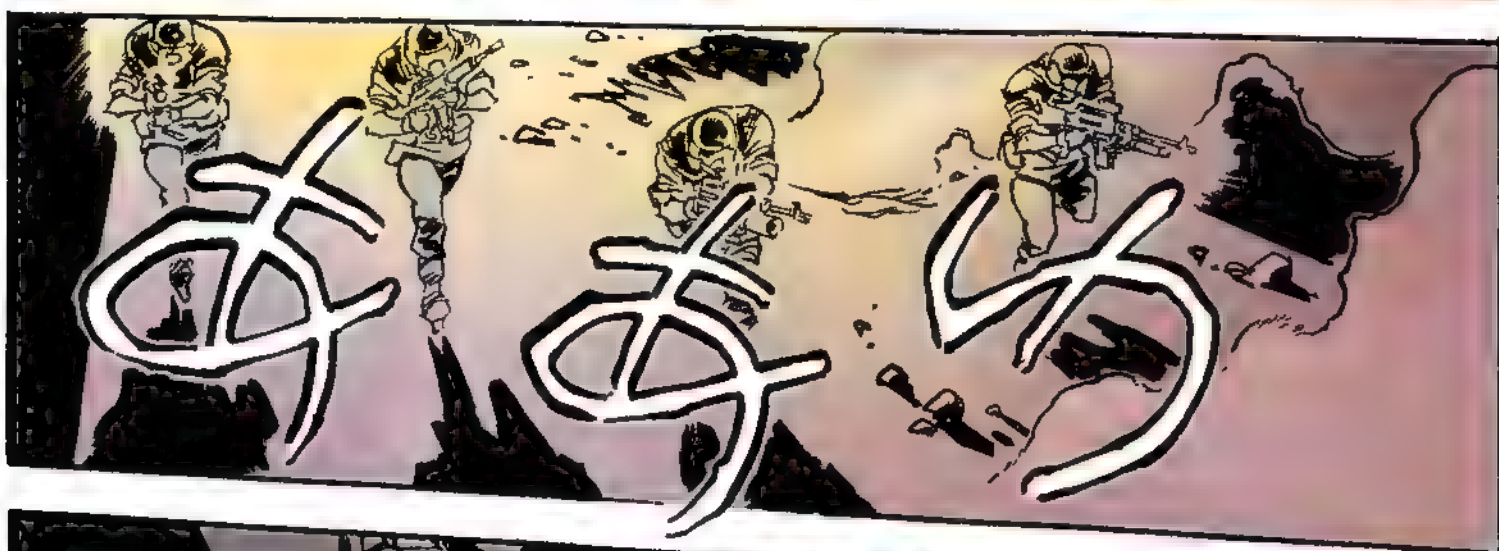
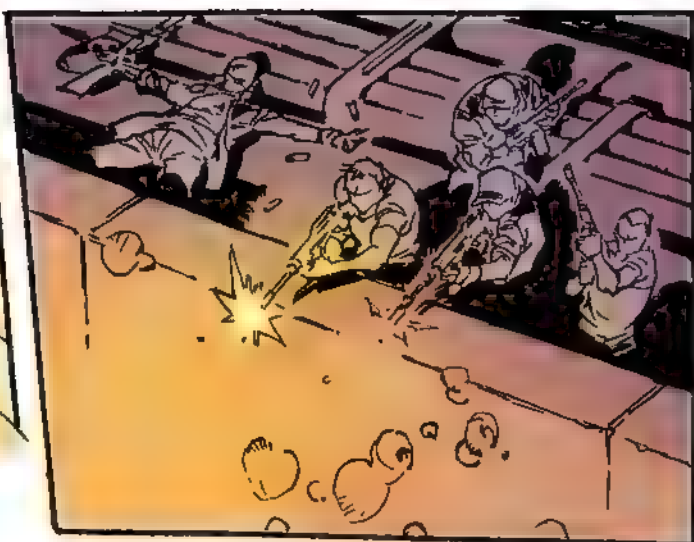
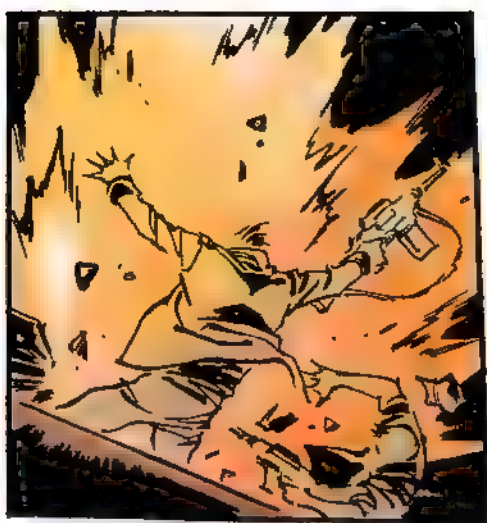




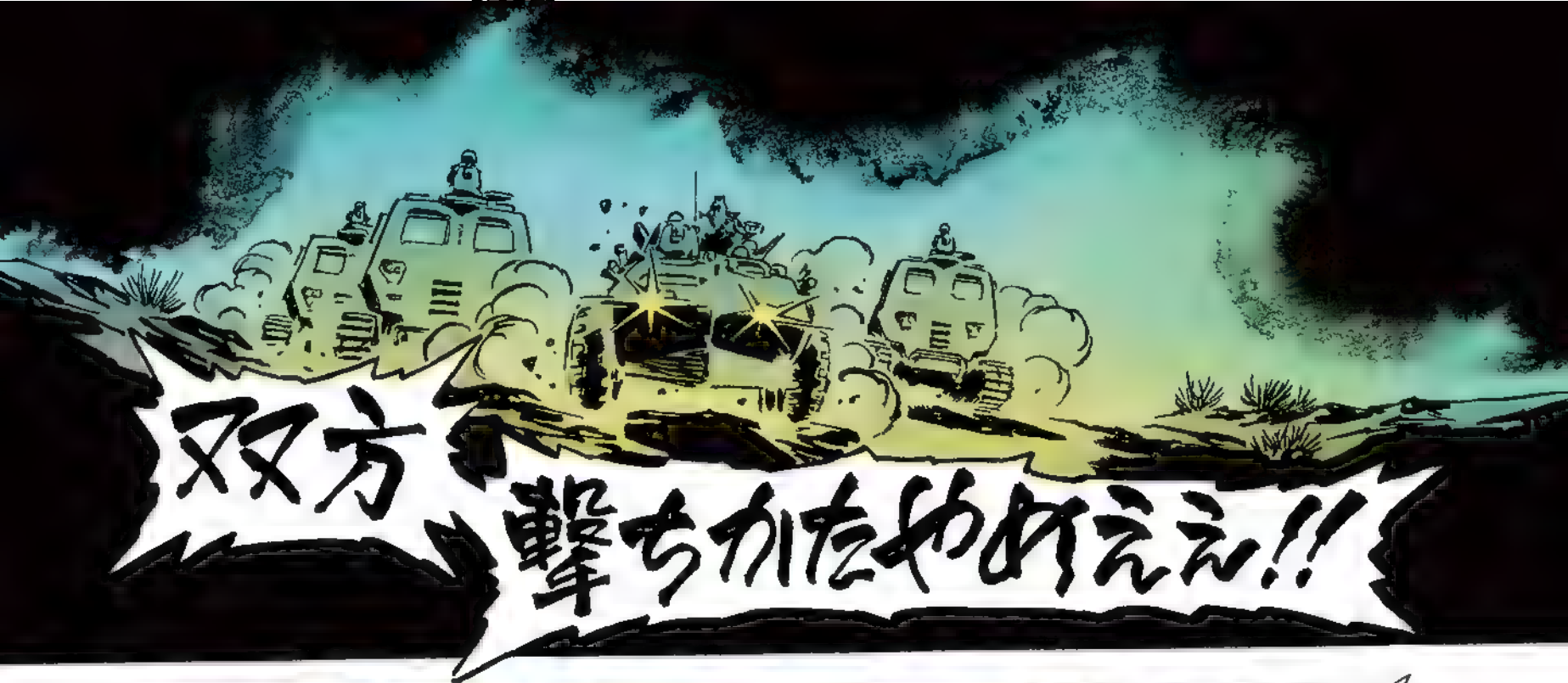












双方、撃ち合ったやねえ!!

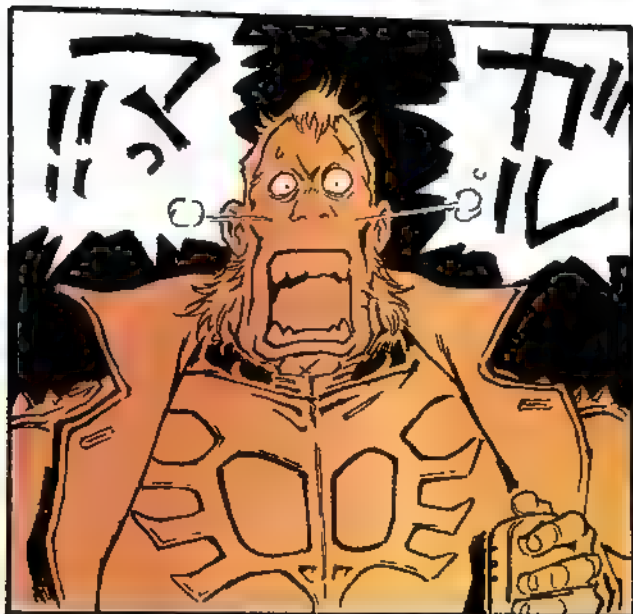
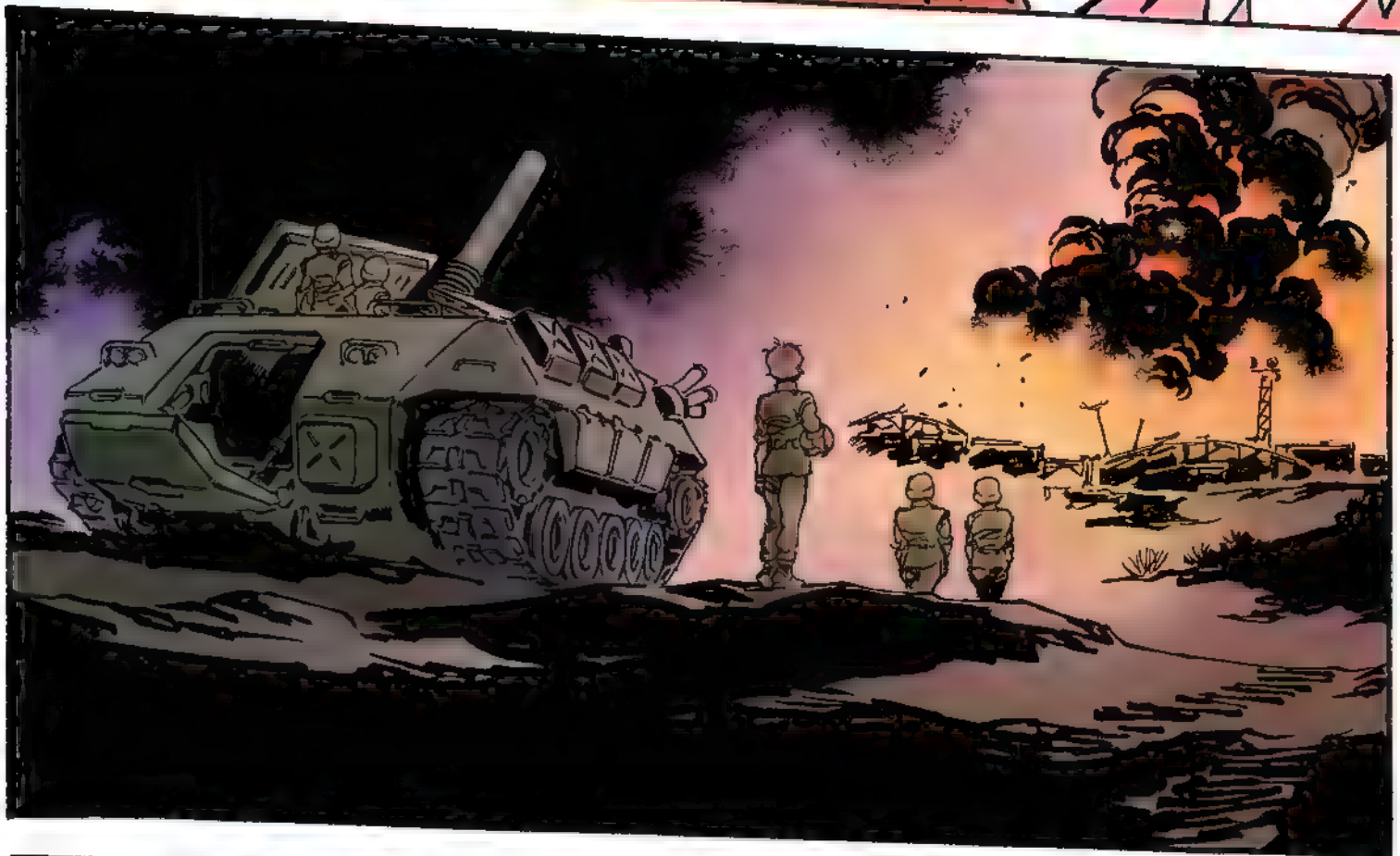
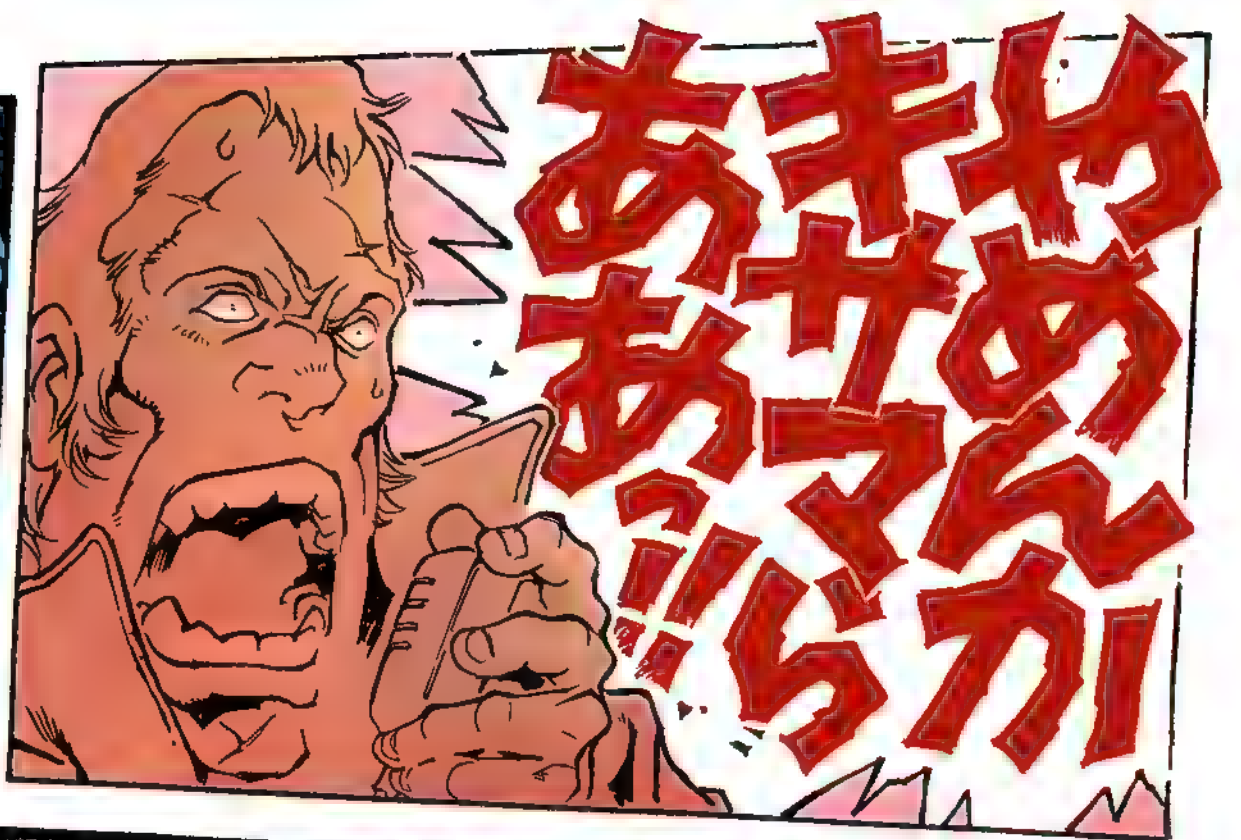
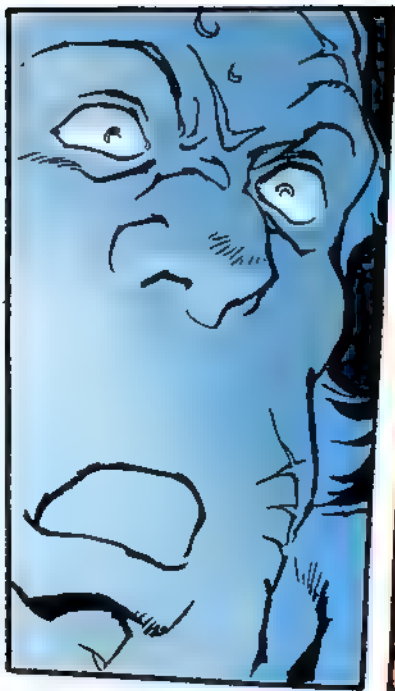
首都バンチ  
司令官の  
ドズルだっ!!

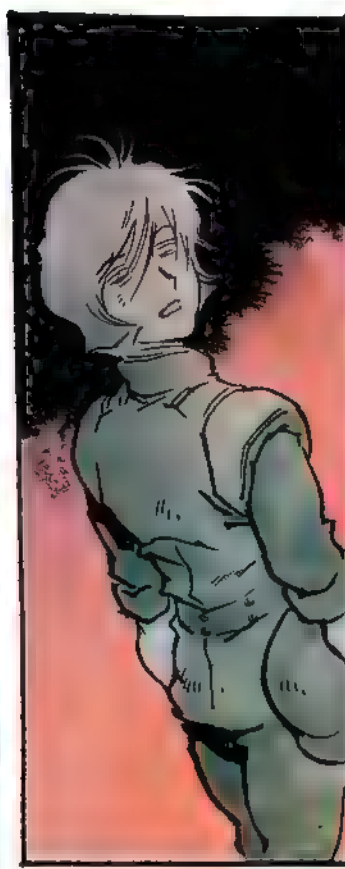
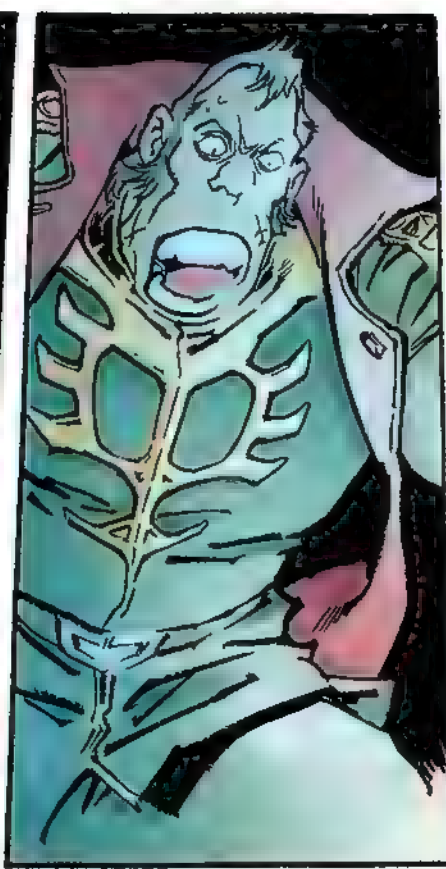
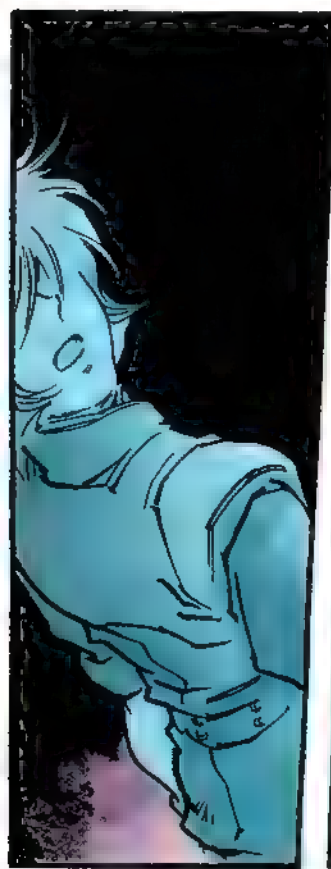
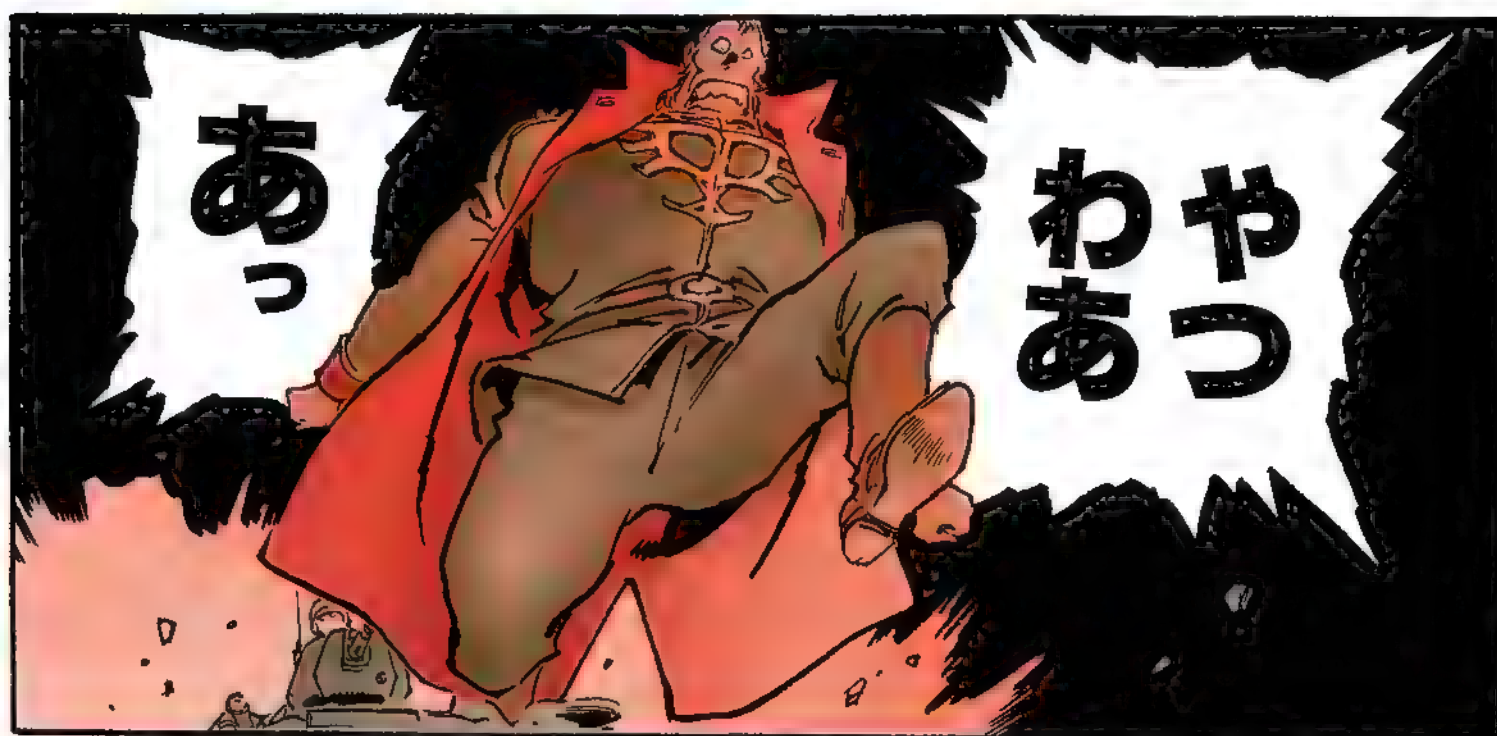
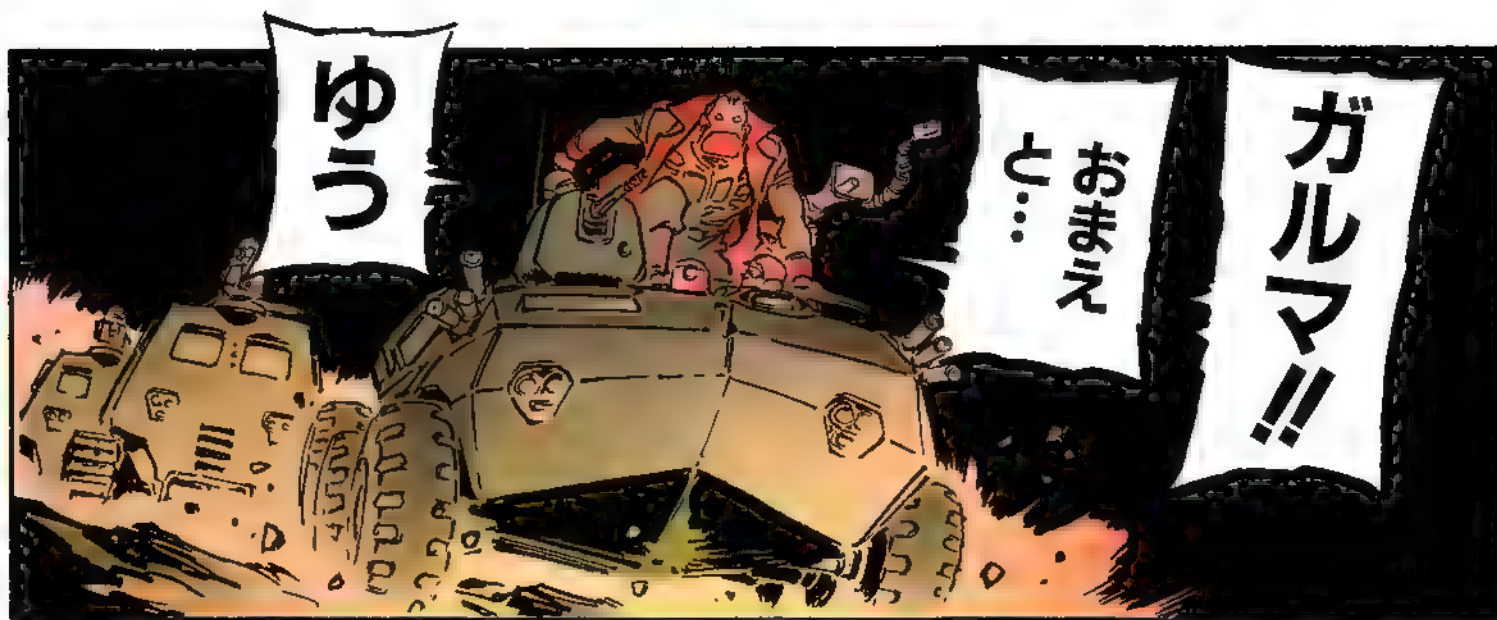
これは  
命令  
だあっ!!

生徒共も  
退けえ  
ええっ!!

校長の  
ドズルだあっ









アッガッ



ガルマ…  
おまえは

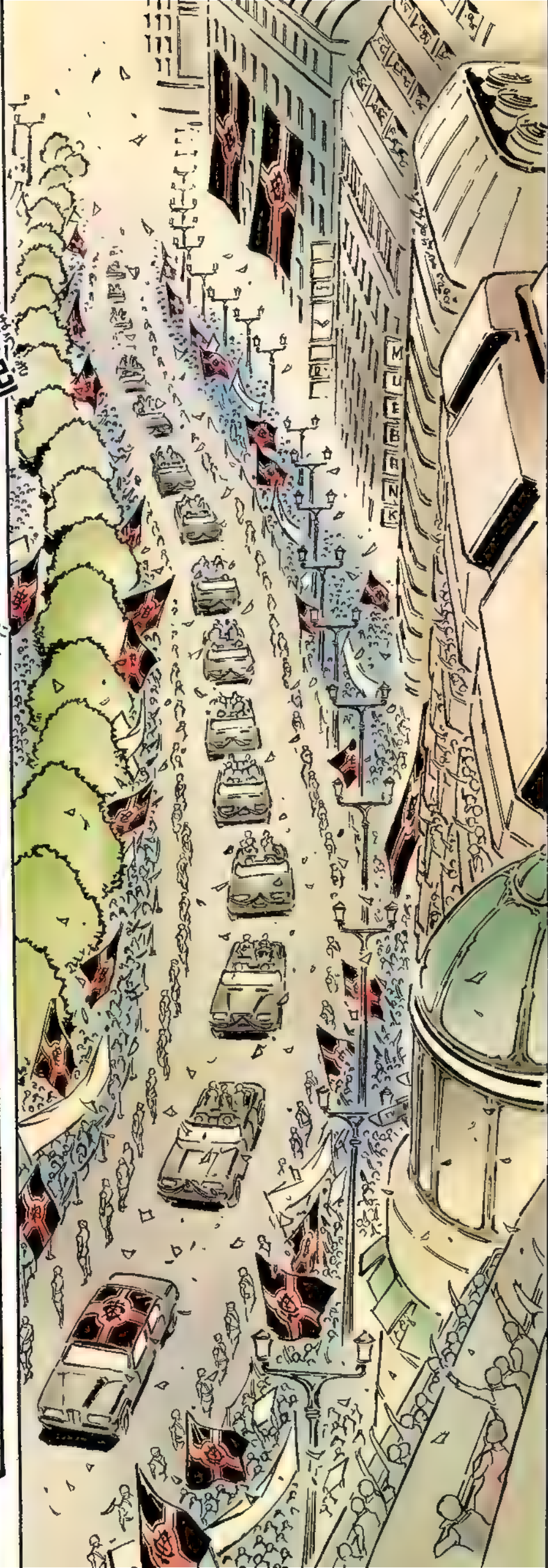
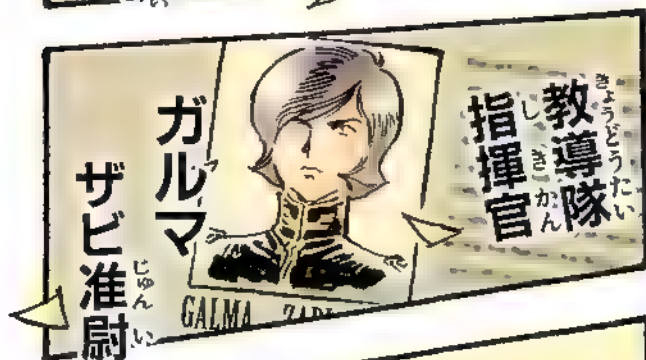
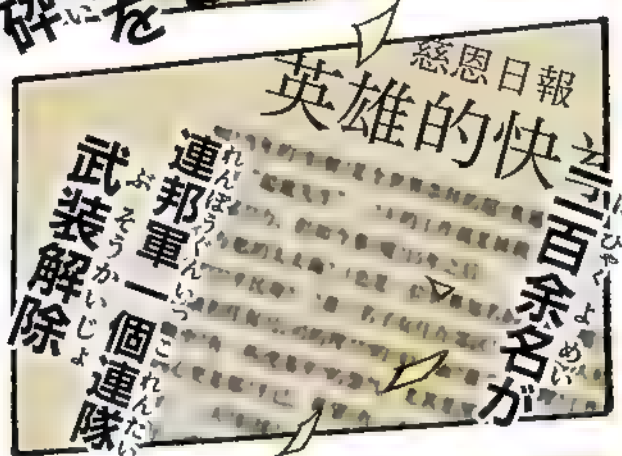
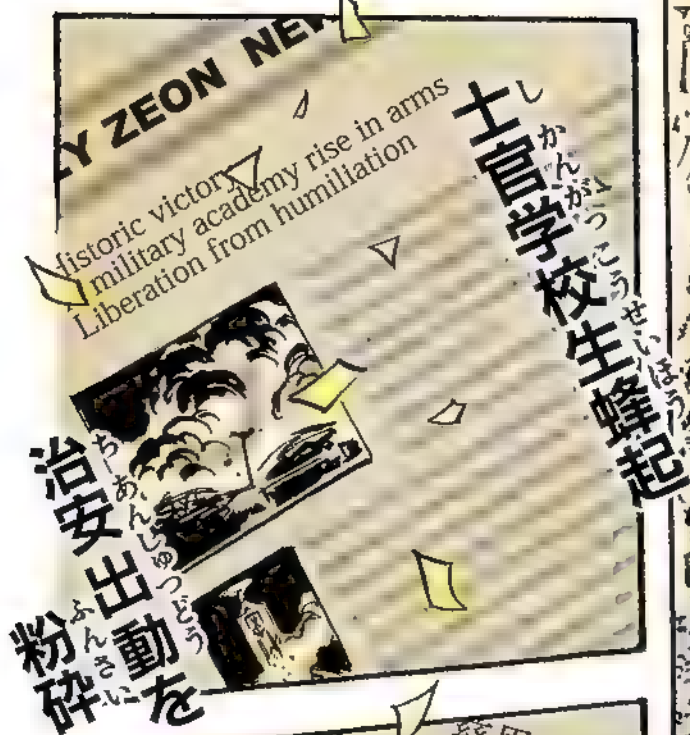
なんという  
ことを…

ガルマあ

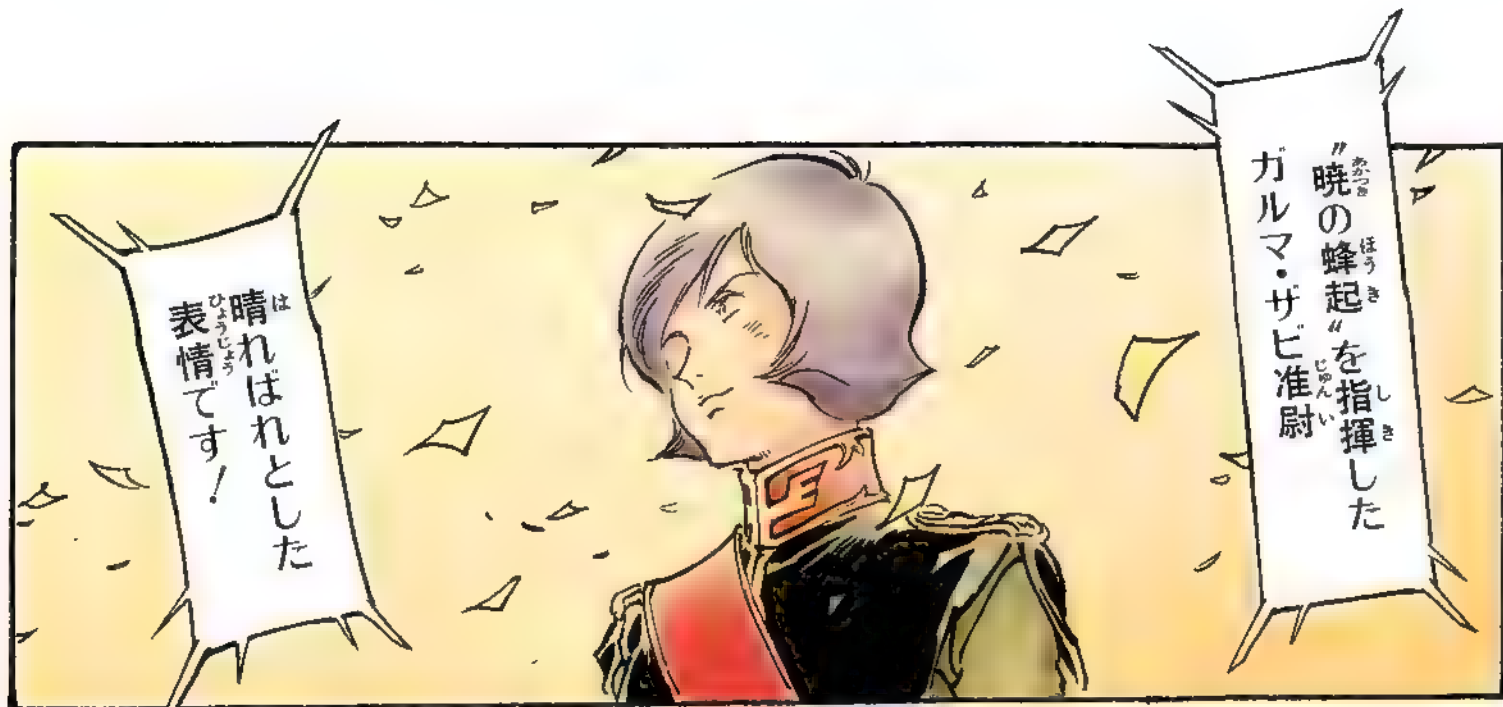
あ~~~~つ!!





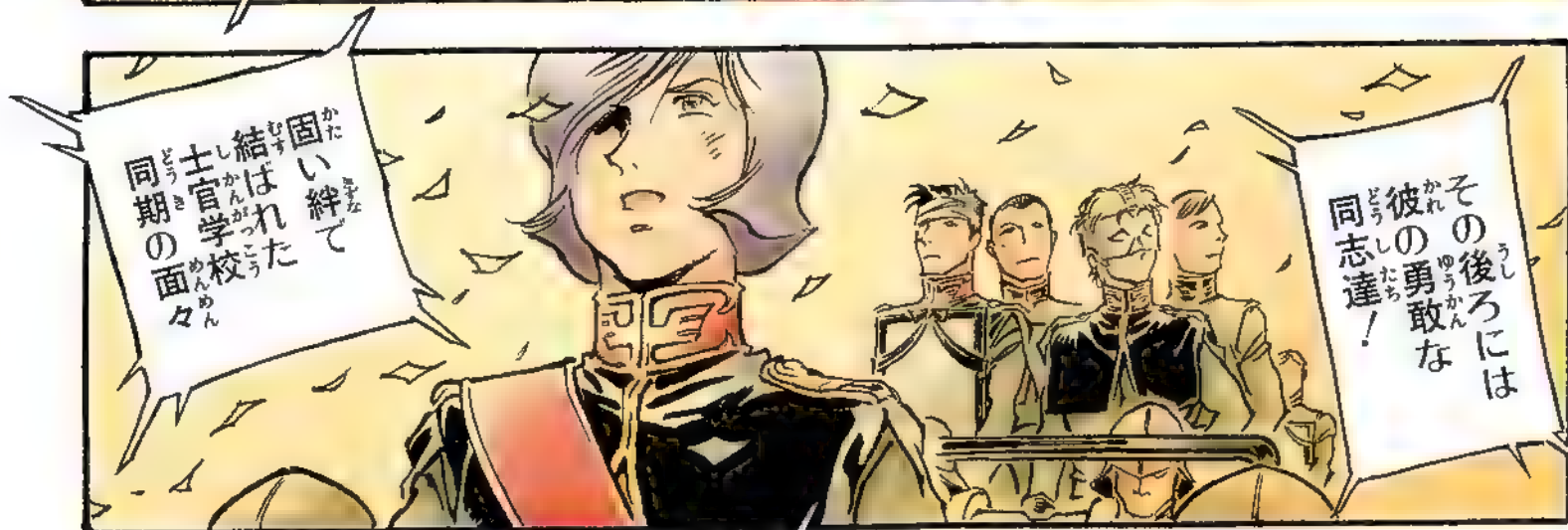






「暁の蜂起」を指揮した  
ガルマ・ザビ准尉

晴ればれとした  
表情です！



その後ろには  
彼の勇敢な  
同志達！

固い絆で  
結ばれた  
士官学校の  
同期の面々



名誉の負傷を  
した者もいます

尊い犠牲  
となつた  
戦死者の遺影も  
抱かれています



ガルマ・ザビ  
隊長がっ

手を振って市民に  
応えていますっ！



あつ  
て手を  
振って  
いますっ





熱狂!!

すごい歓声!



失神して  
次々に倒れる

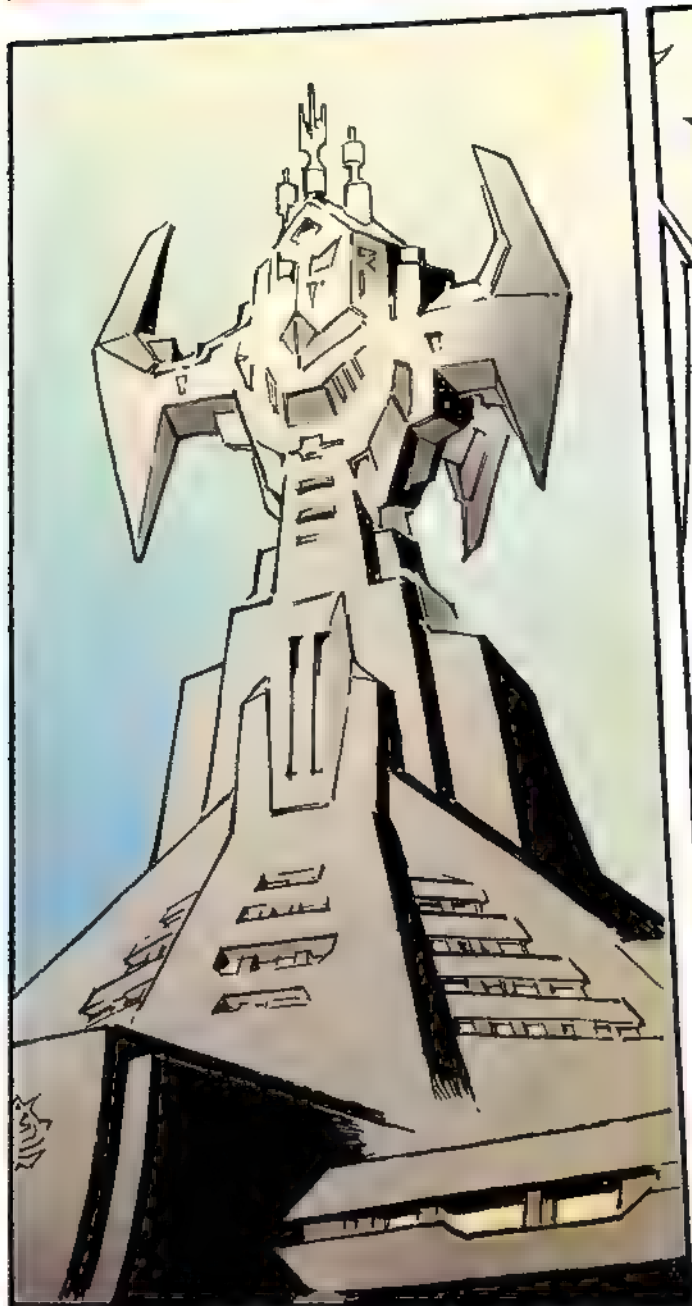
若い女性



ジオンの旗!

旗!!

スハースノイドの  
守護者達に  
むかつて打ち  
振られる



パレードは最高潮です!

ガルマがまた  
手を振っています!

振っています!



なんであるか!?

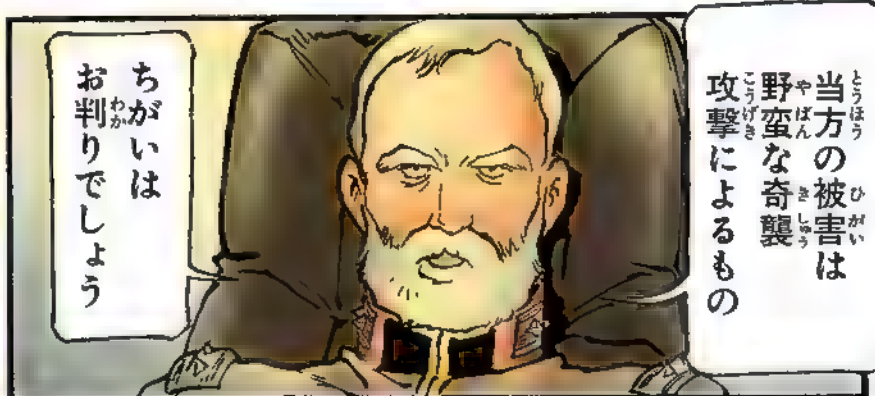
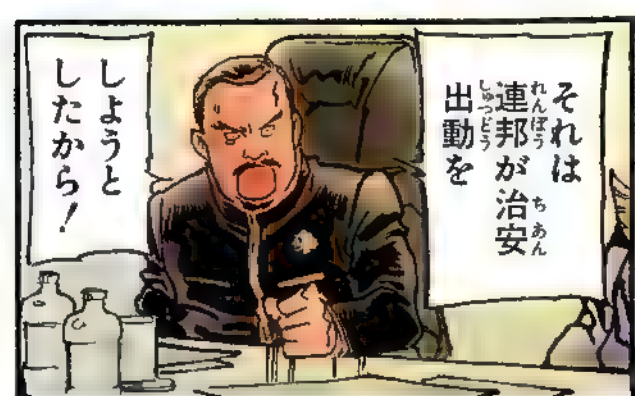
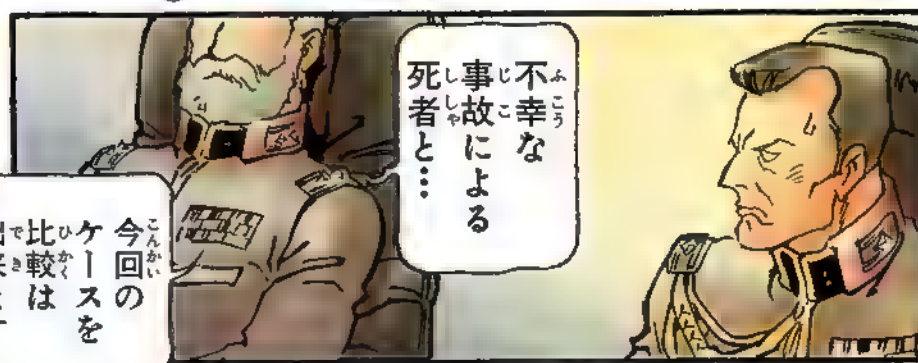
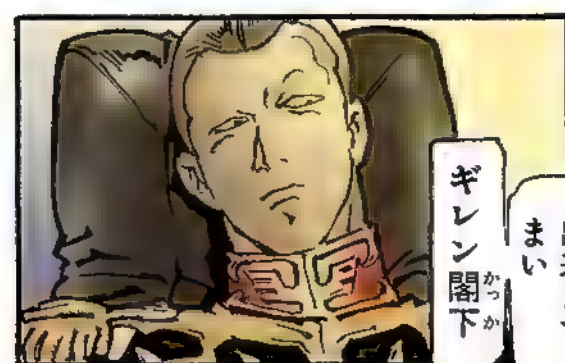
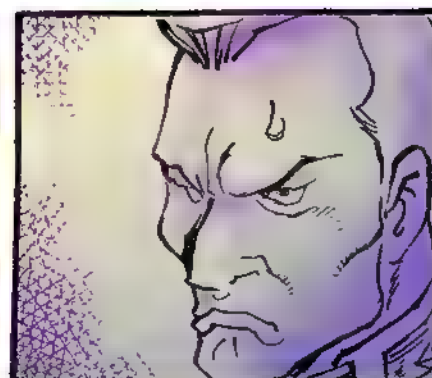
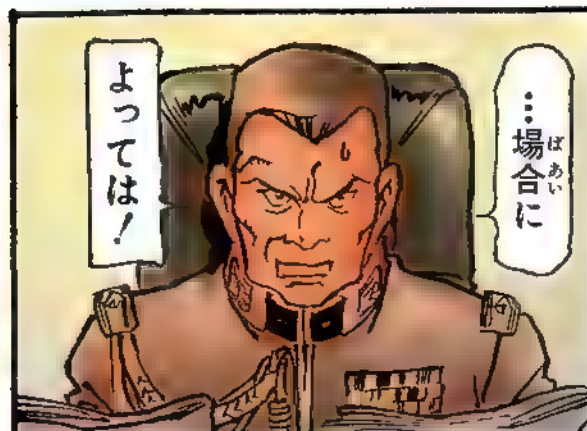
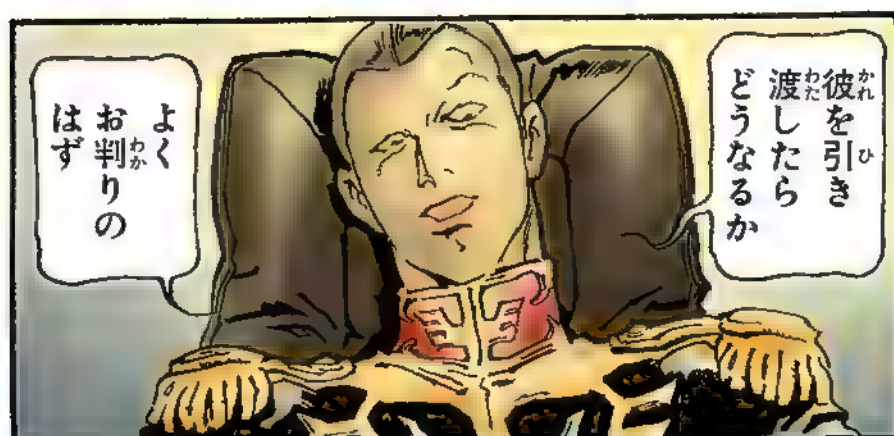
街頭のあの  
バカげた  
騒ぎは!!

まるで  
犯罪者を  
英雄視するが  
如きだっ!

いやっ事実  
英雄視しているっ!!

この新聞の  
見出しは  
なんだ!  
これは?!

我が軍には  
多くの死者が  
出たという  
のにつ!



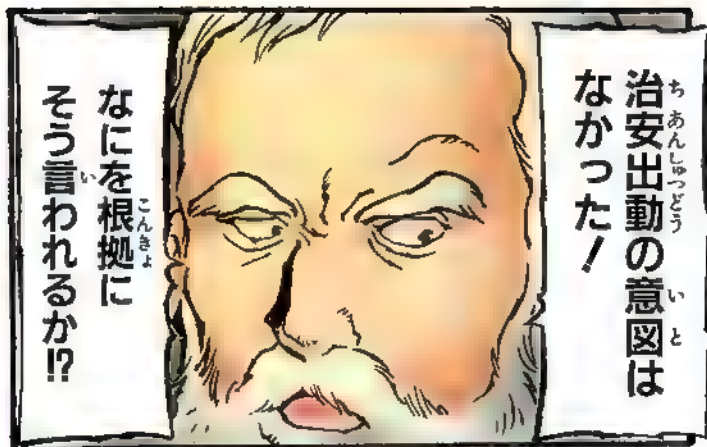




フツフツ

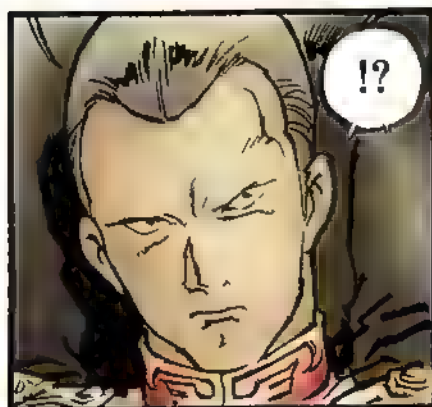
とか...

よ  
揚陸艦が  
スタンバイ...

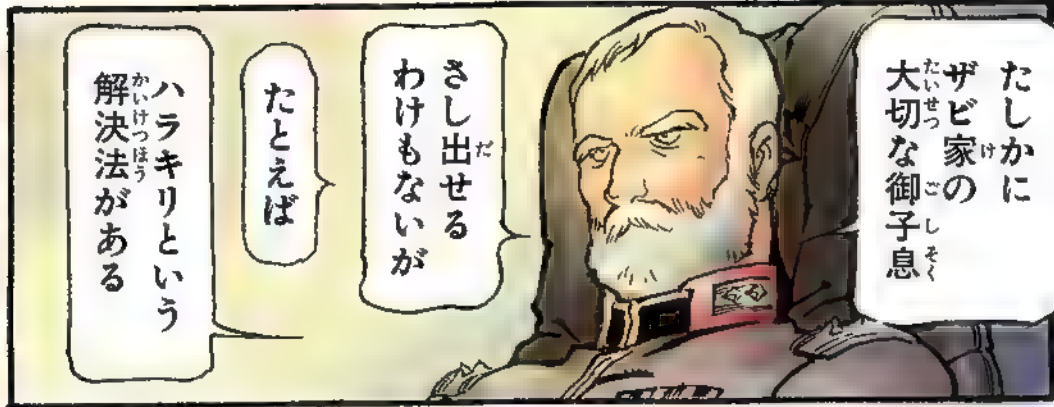


なにを根拠に  
そう言われるか!?

治安出動の意図は  
なかった!



!?



たしかに  
ザビ家の  
大切な御子息

さし出せる  
わけもないが

たとえば

ハラキリという  
解決法がある



地球の

蛮風だな



処刑されれば  
名誉に  
キズがつく

そう考えた  
サムライの  
身の処し方

自らを罰し  
事を収める



なかなか  
美風とも  
いえようが

そういう考えを  
持っていた往古の  
民族ももう失せて  
しまった

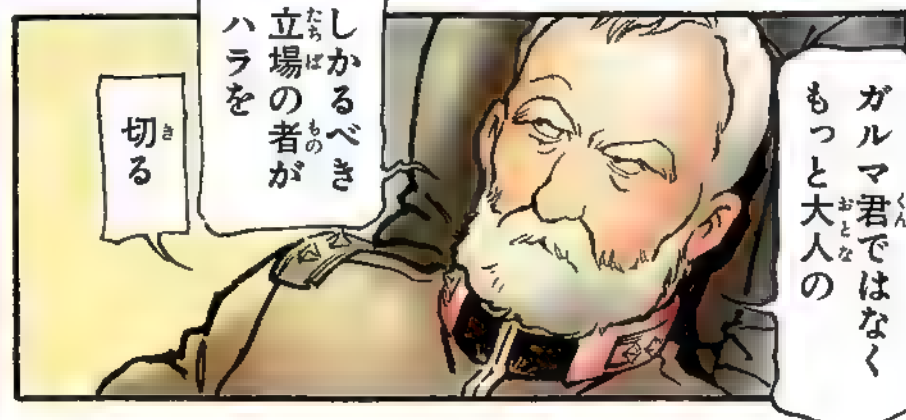
だが

解決法の  
参考には  
なりましょう

つまり



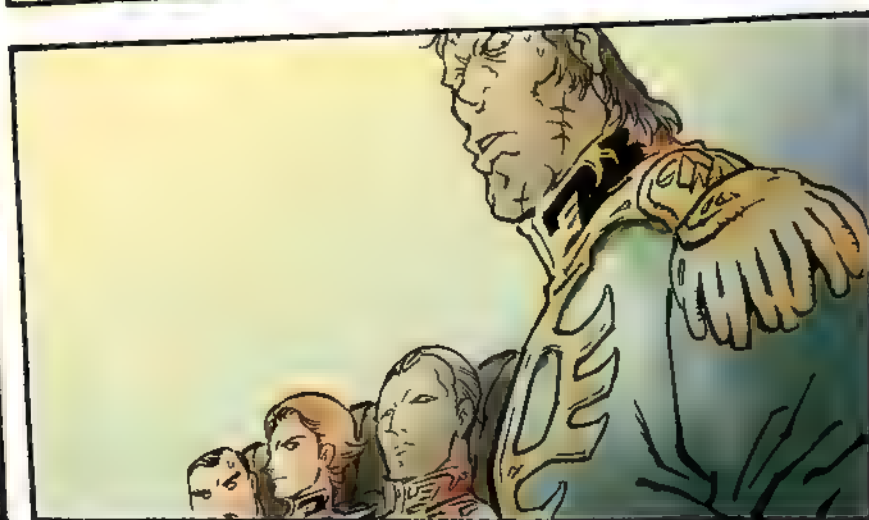
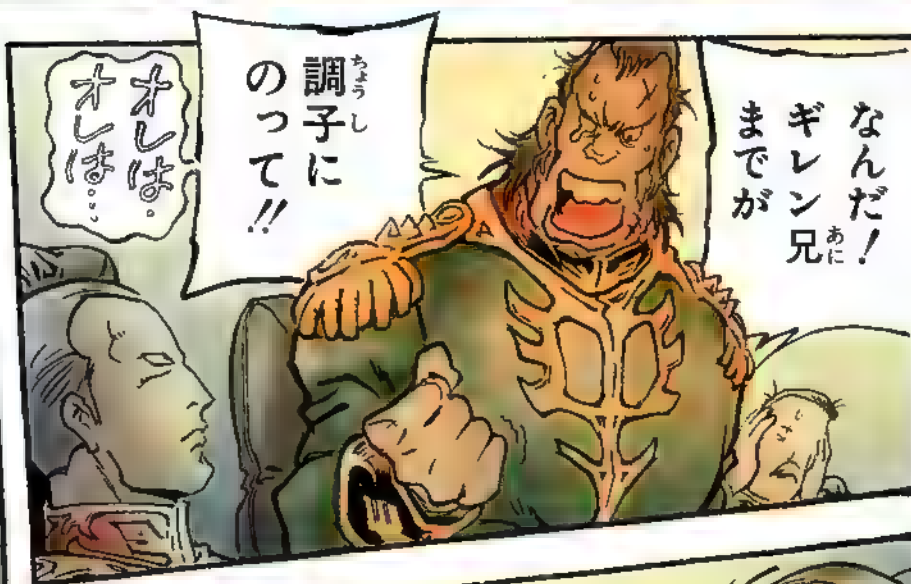
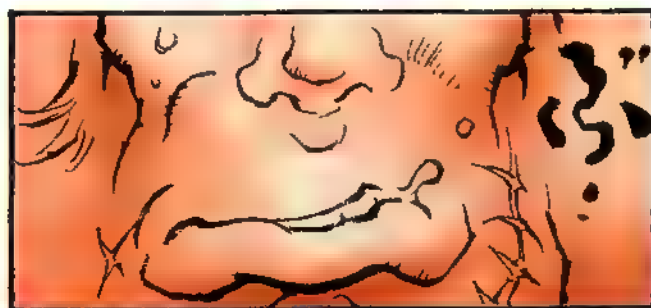
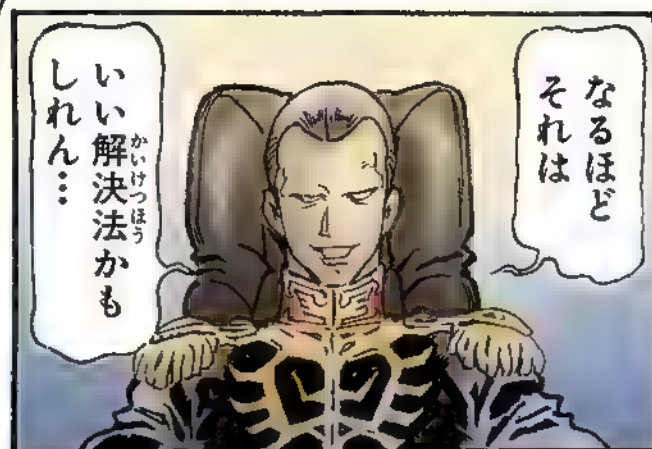
...



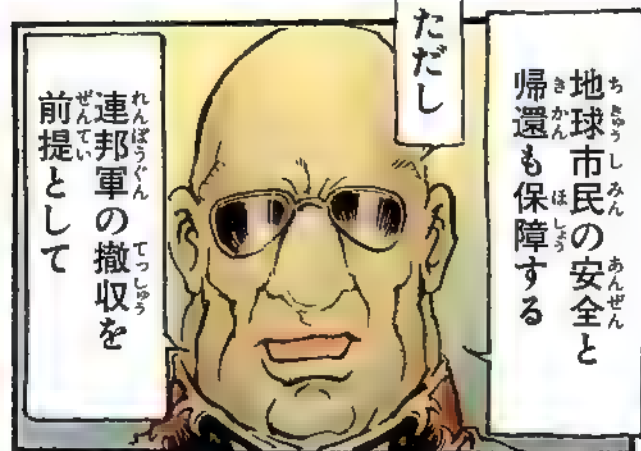
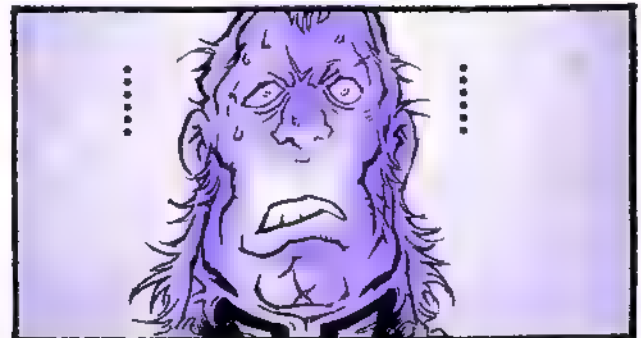
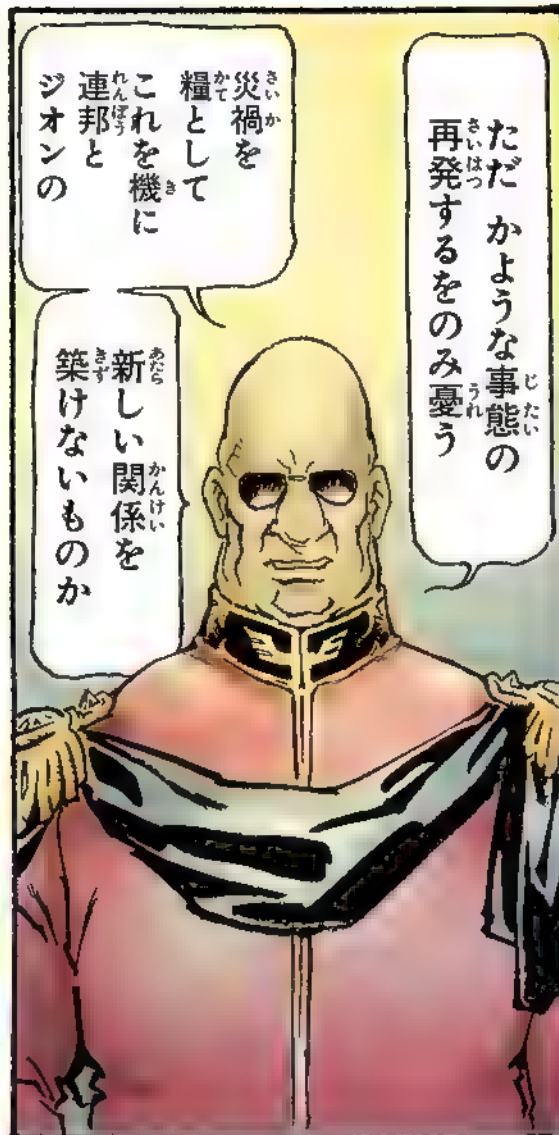
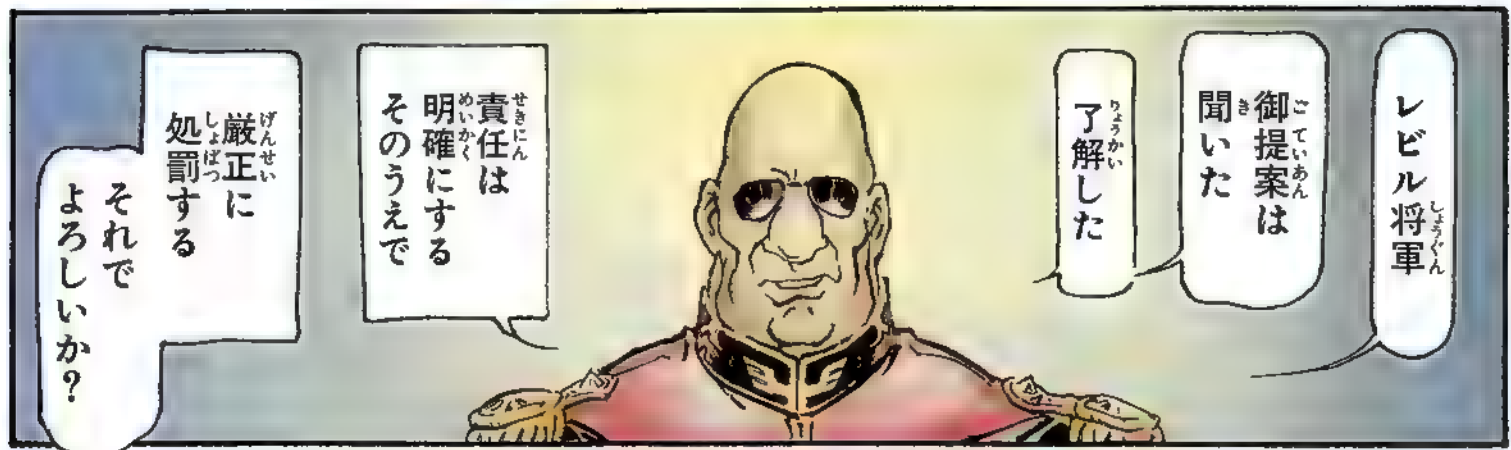
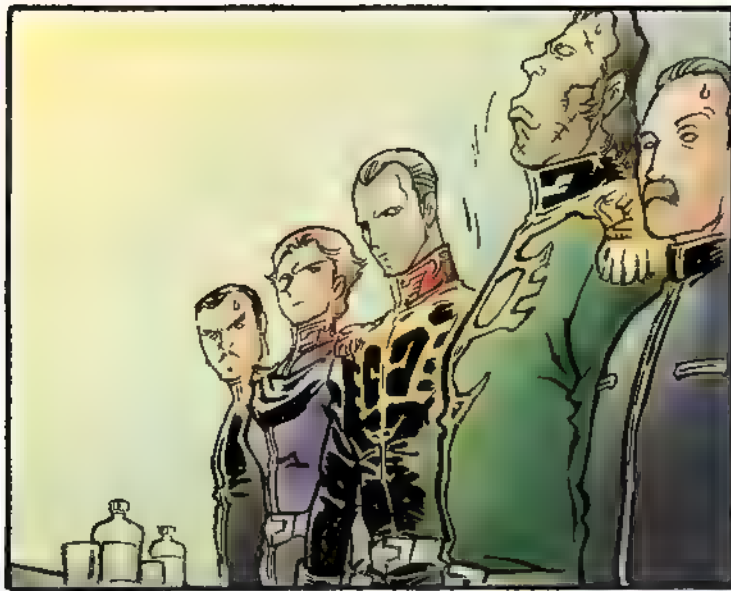
ガルマ君ではなく  
もっと大人の

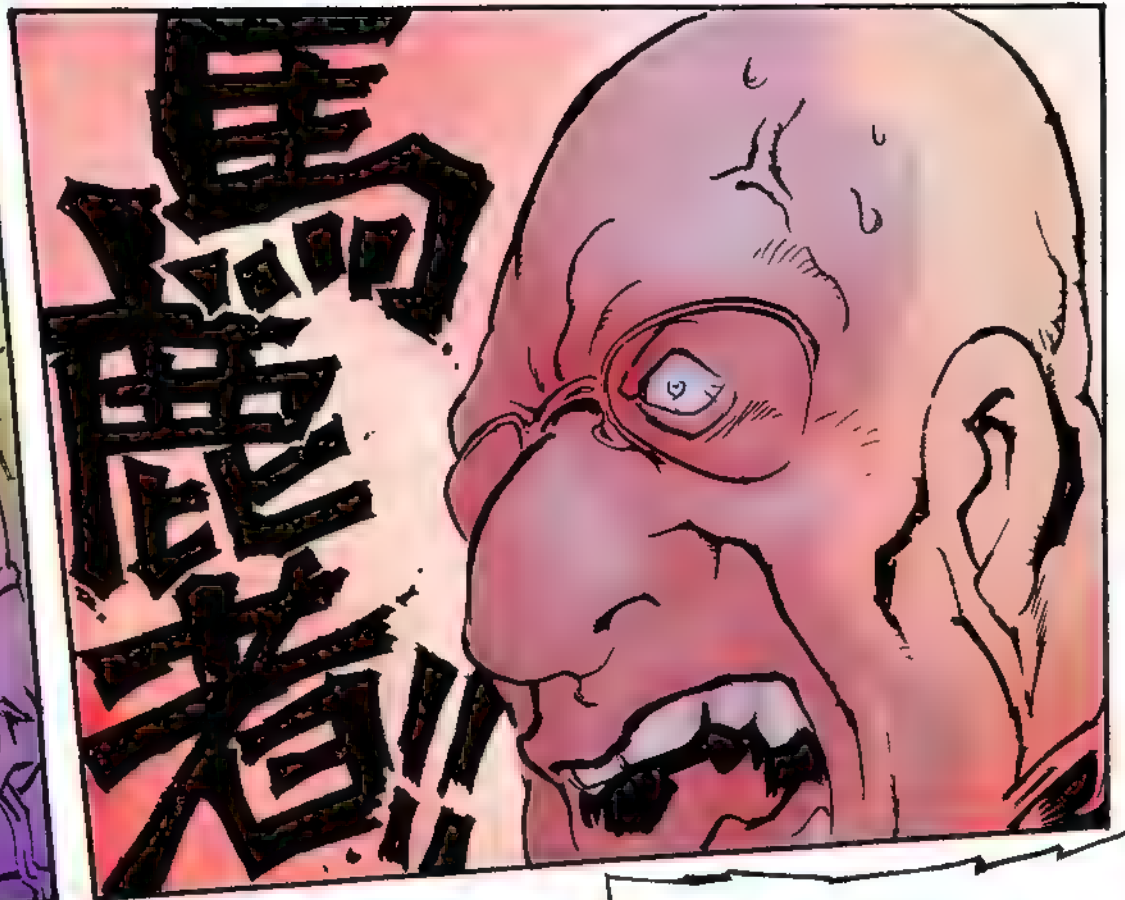
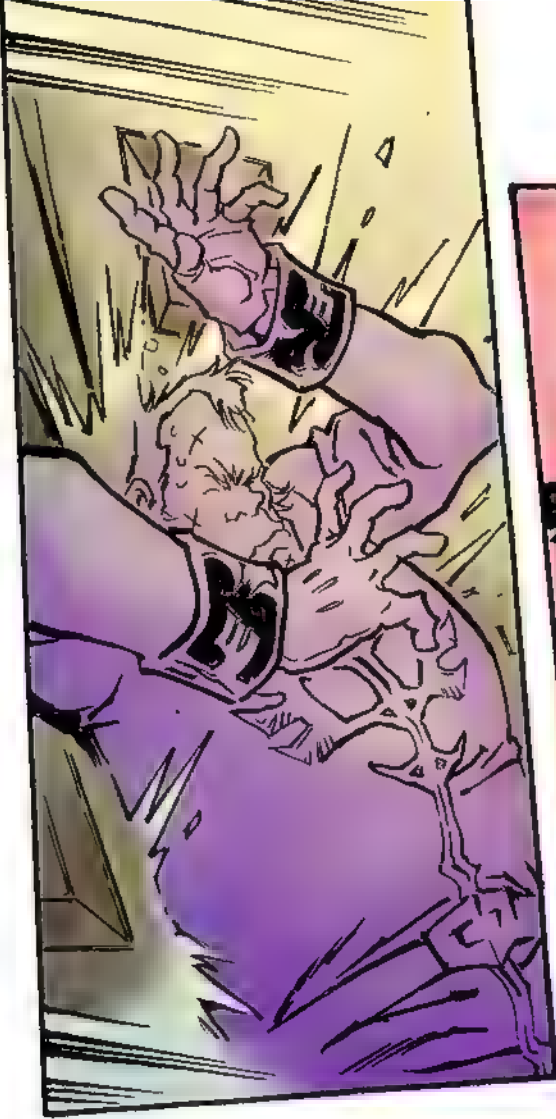
しかるべき  
立場の者が  
ハラを

切る









なんのために  
士官学校  
校長の任に  
あてたと思うかつ!!



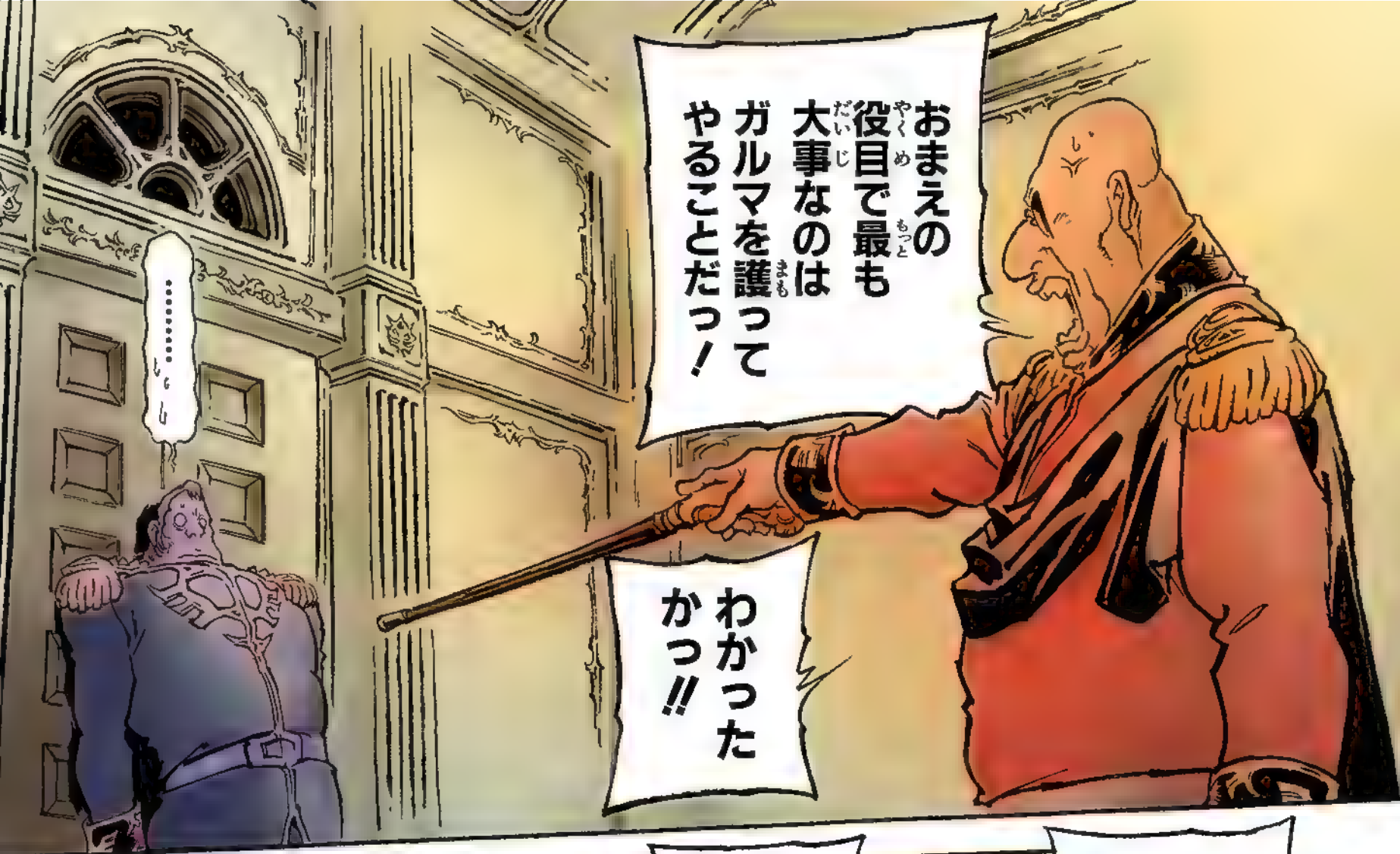
この  
役立た  
ずめっ!!

図体はデカイが  
つくづく知恵の足らん  
ヤツだっ

いいかつ!!

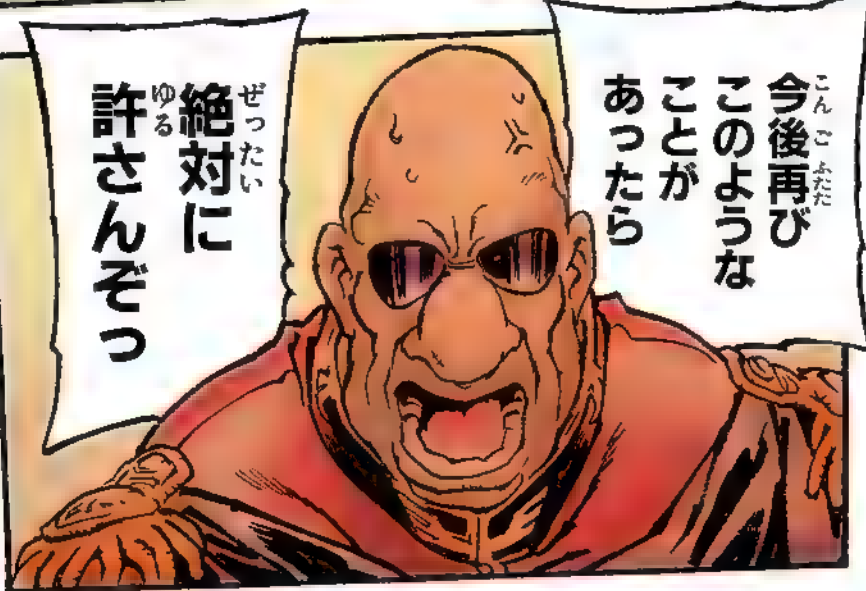
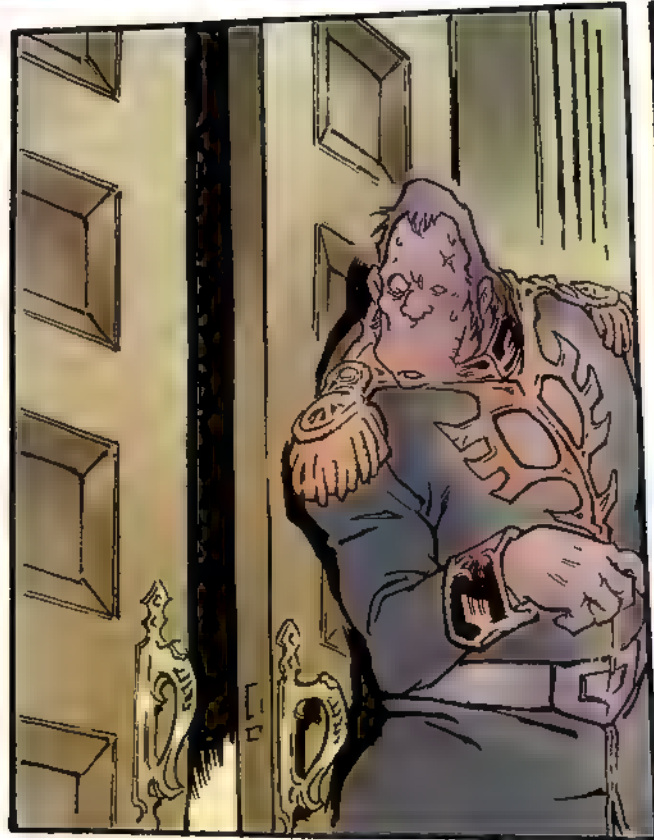






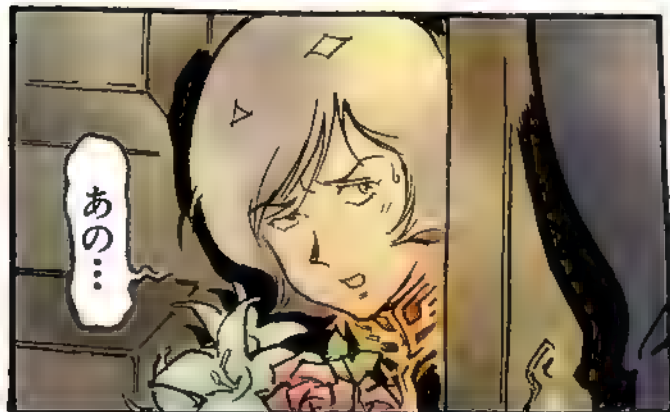
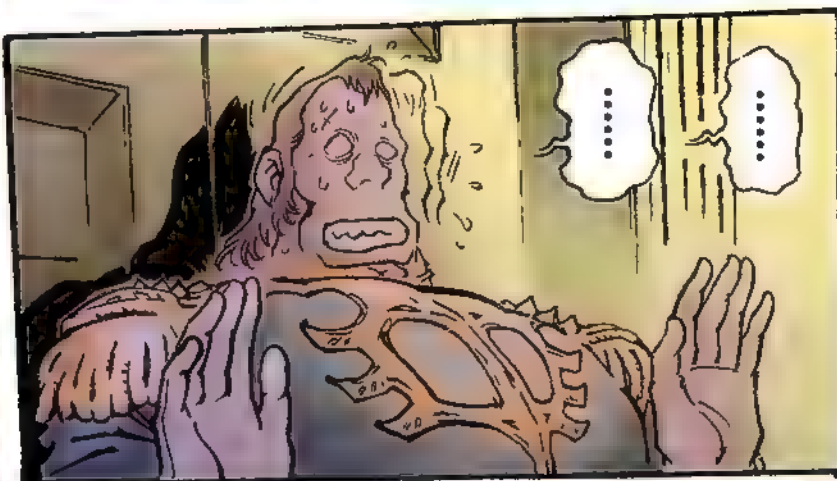
おまえの  
やくめ  
役目<sup>だいじ</sup>で最も  
大事<sup>だいじ</sup>なのは  
ガルマを護<sup>まも</sup>って  
やることだっ！

わかつた  
かつ！！



こんごまた  
今後再び  
このような  
ことが  
あつたら

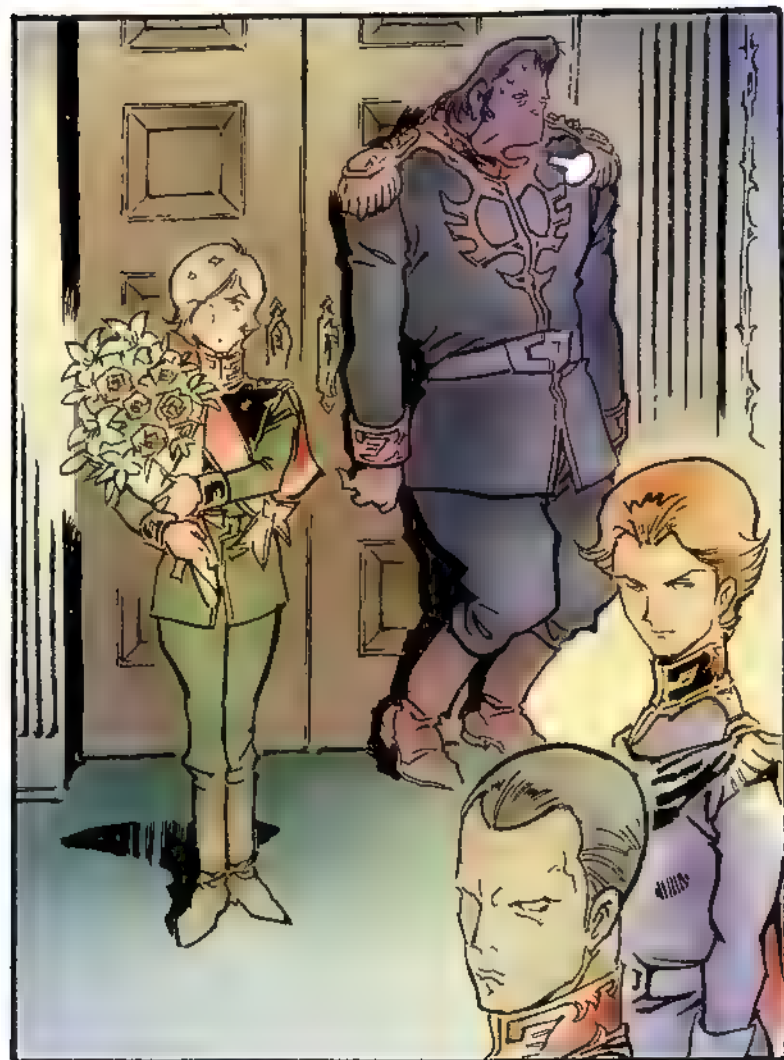
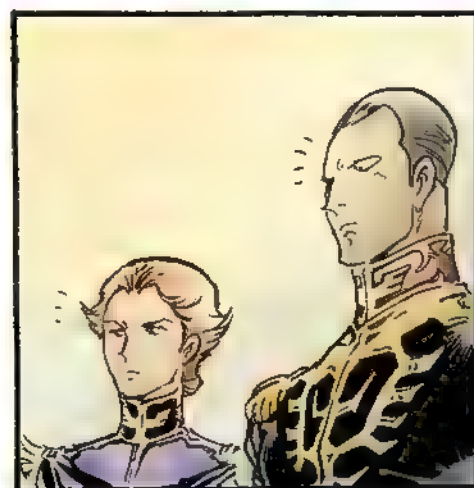
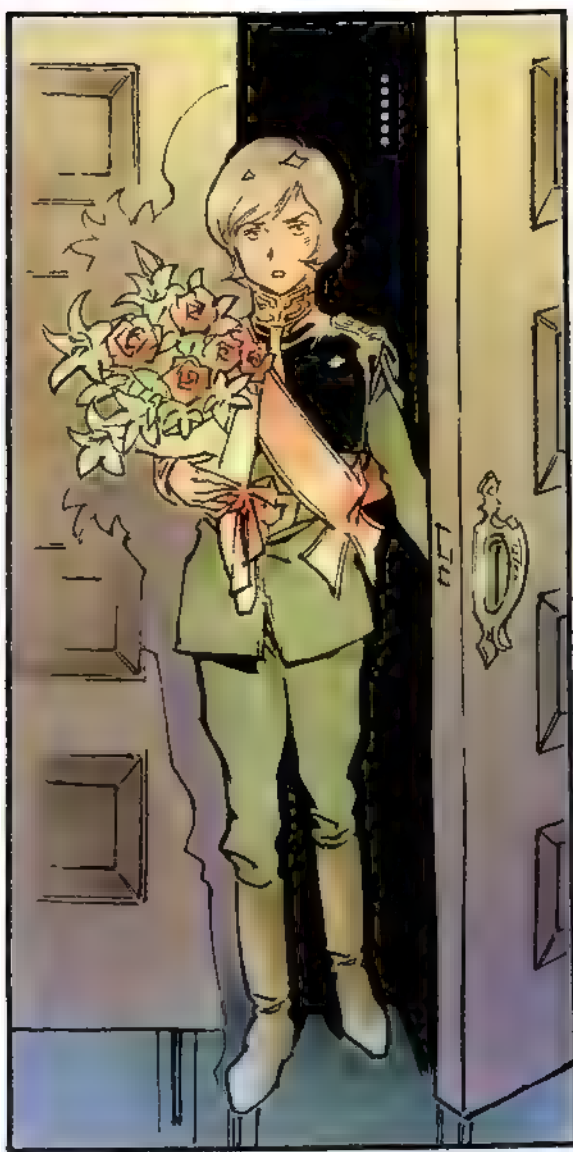
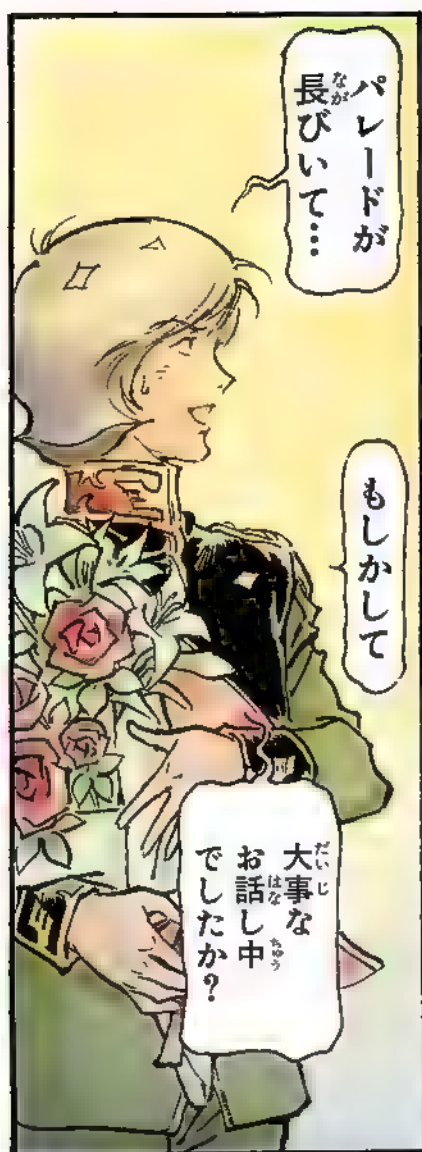
ぜったい  
絶対に  
ゆる  
許さんぞっ



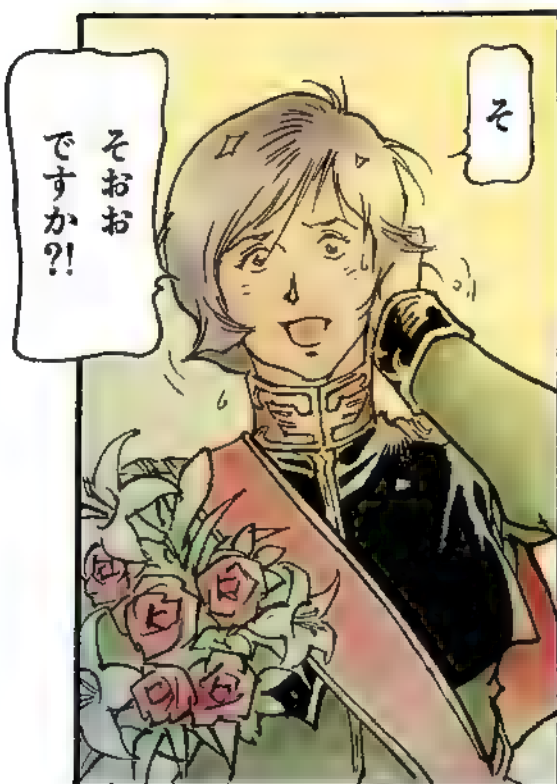
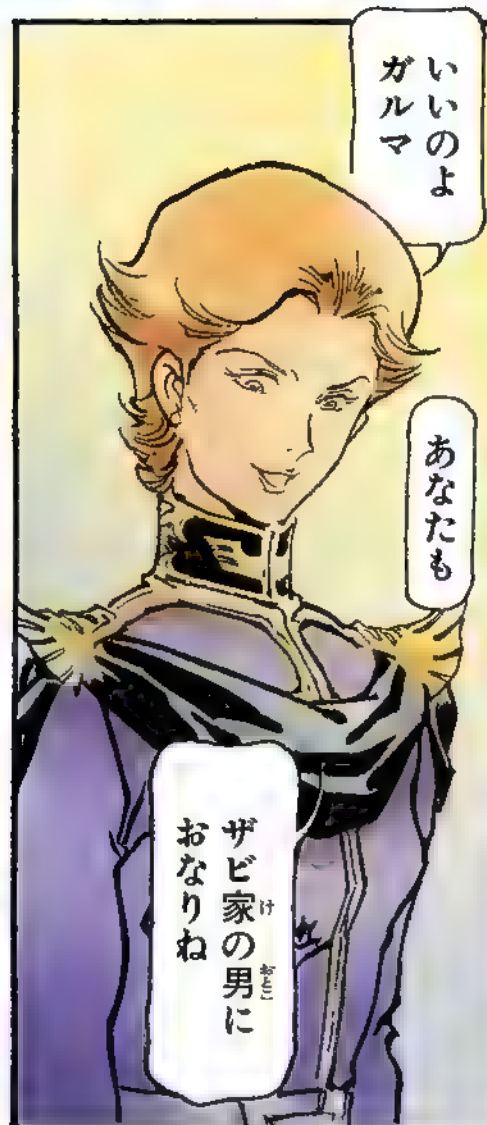
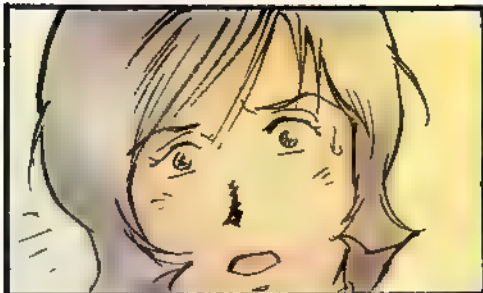
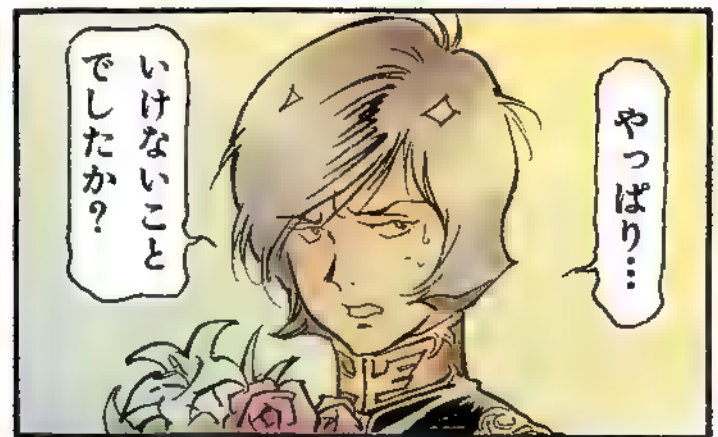
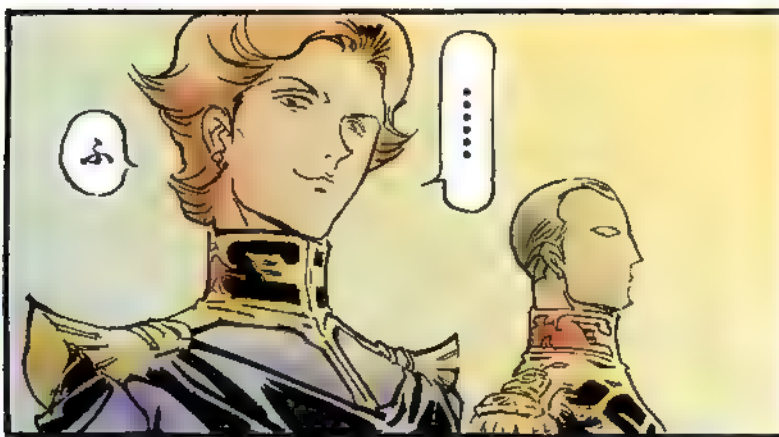
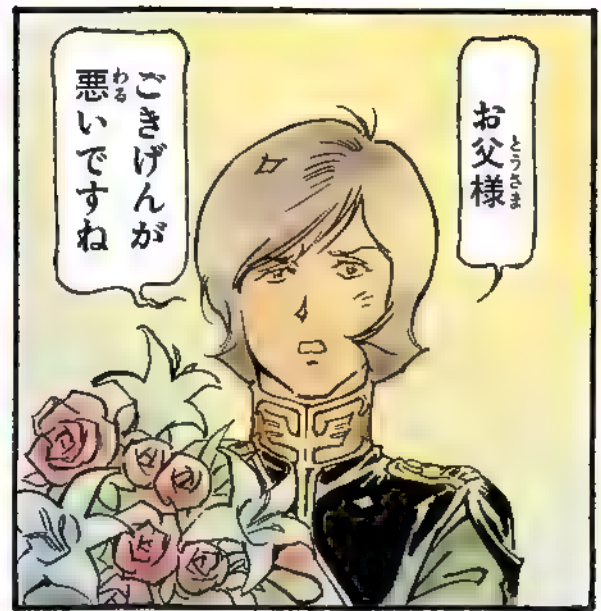
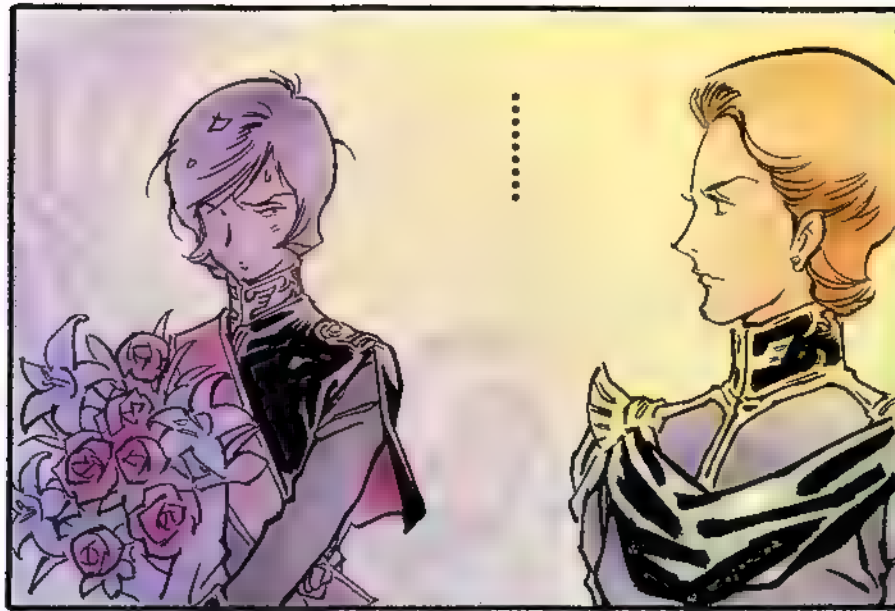
あの...

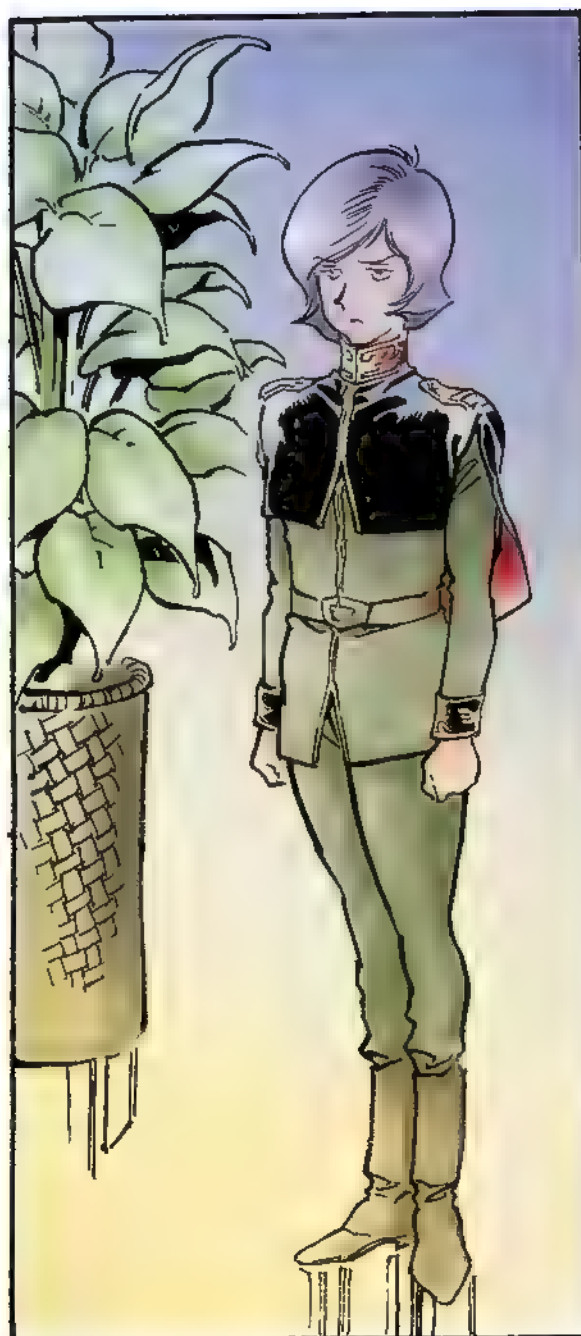
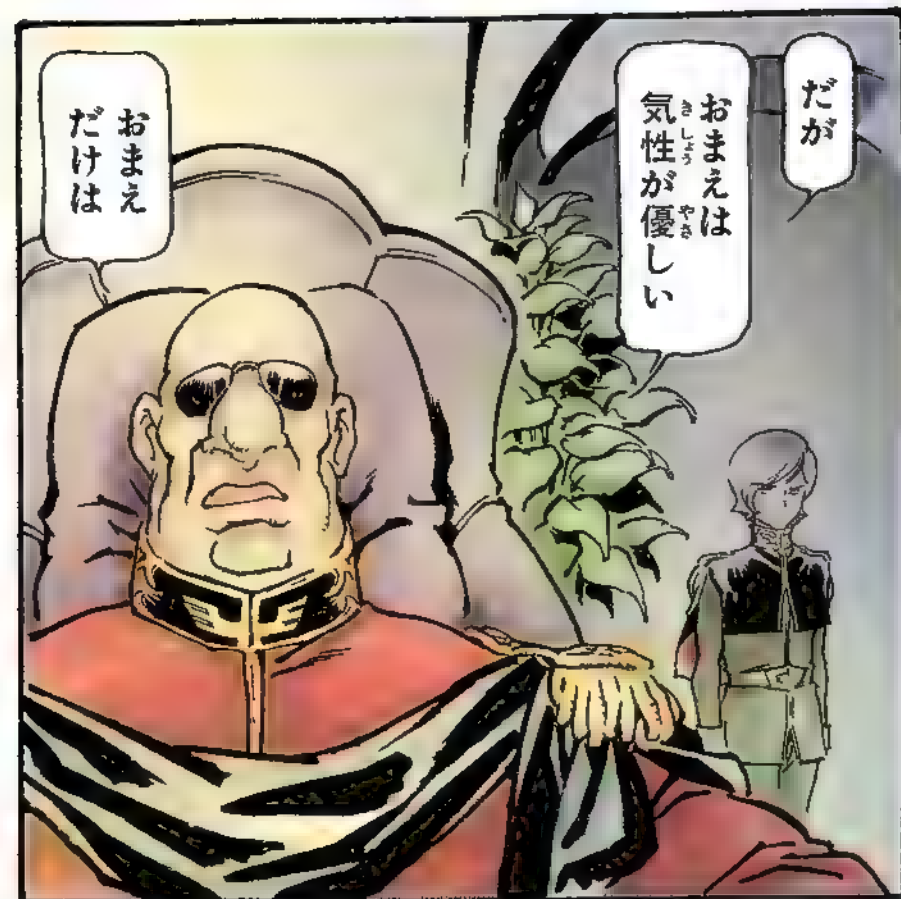




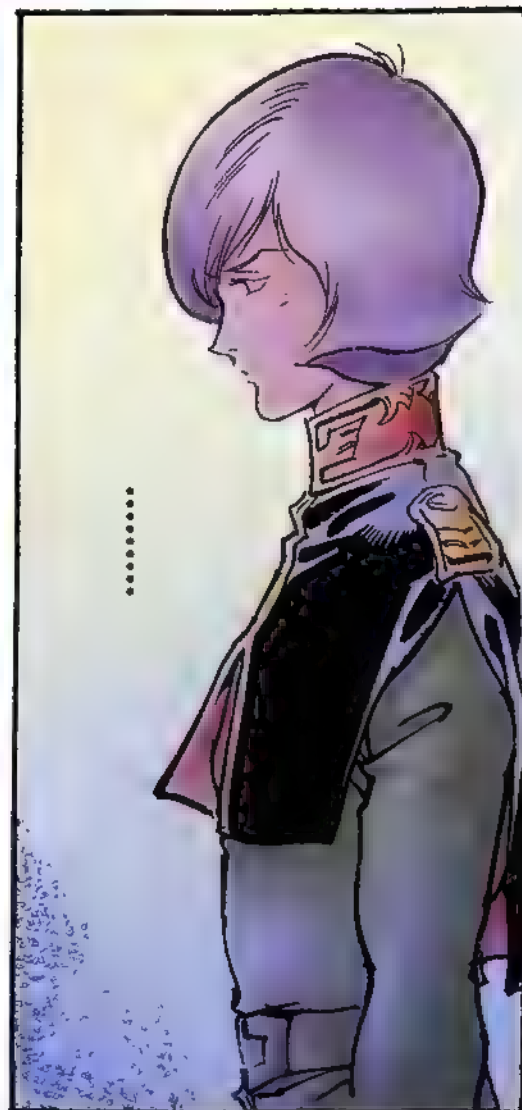
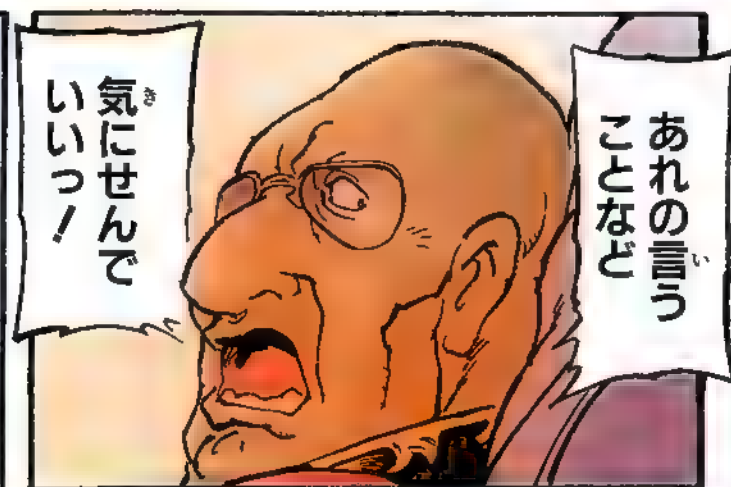
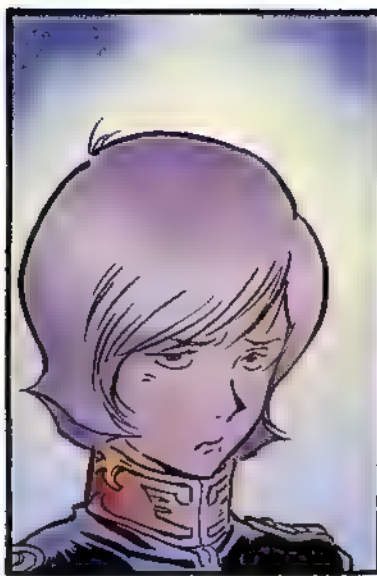


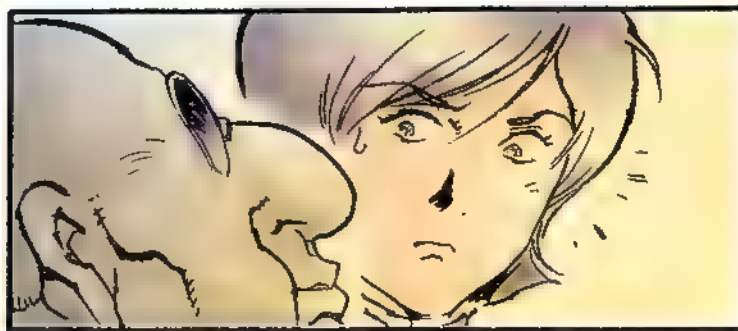
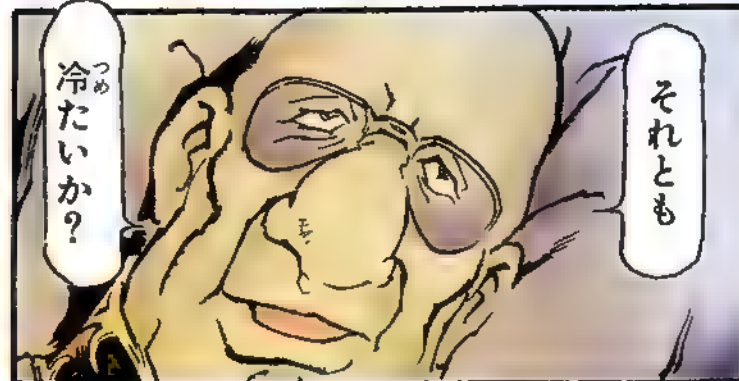
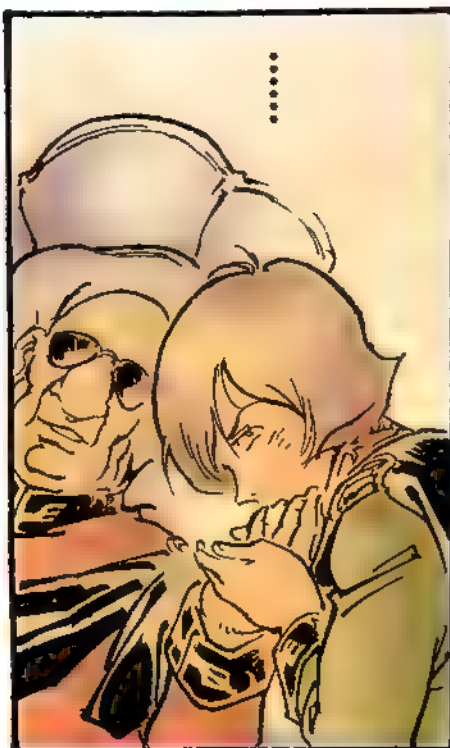
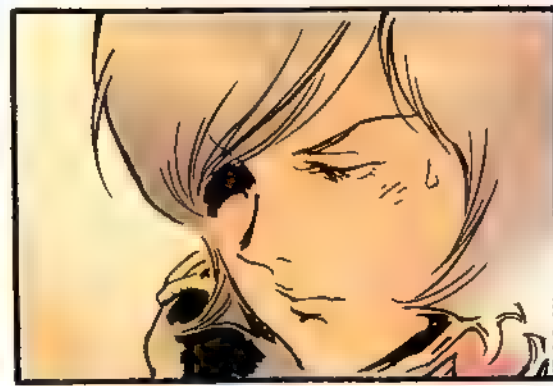
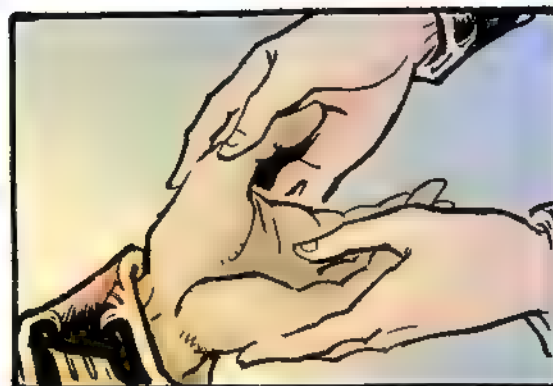
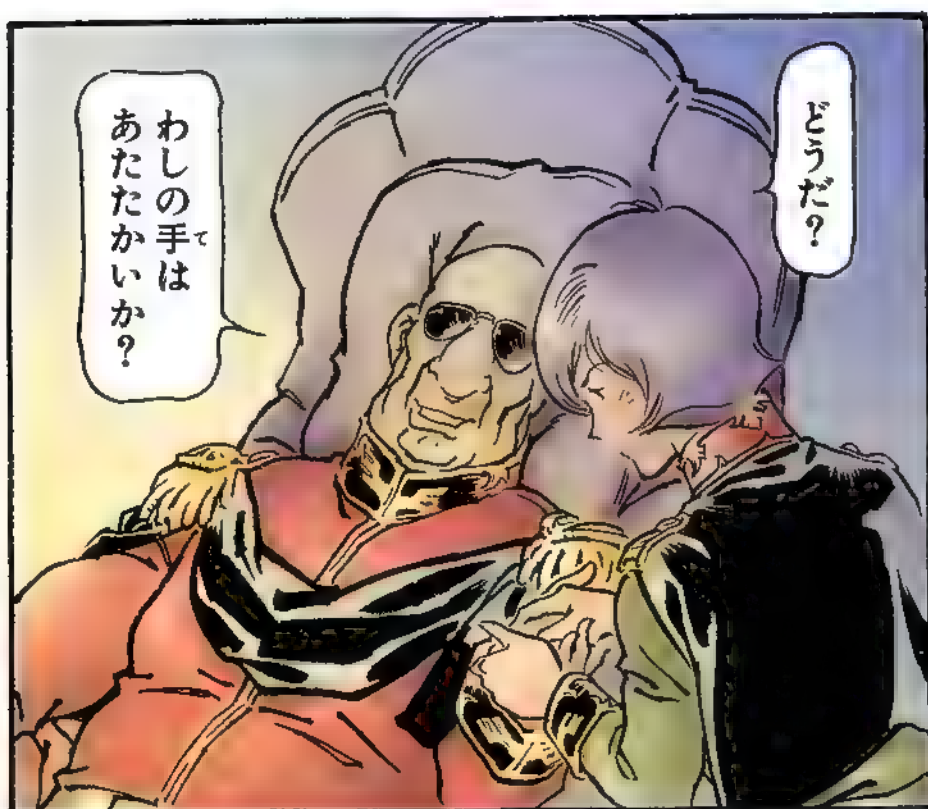
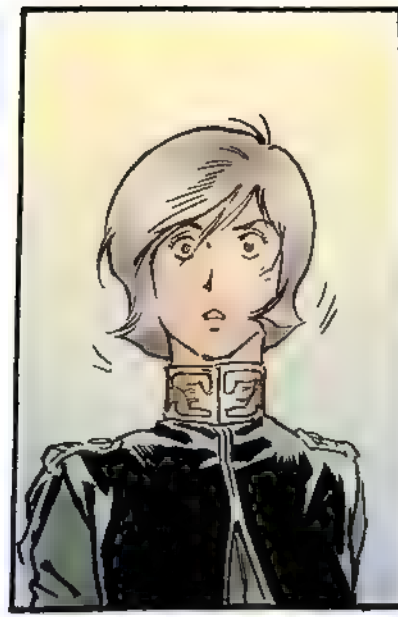
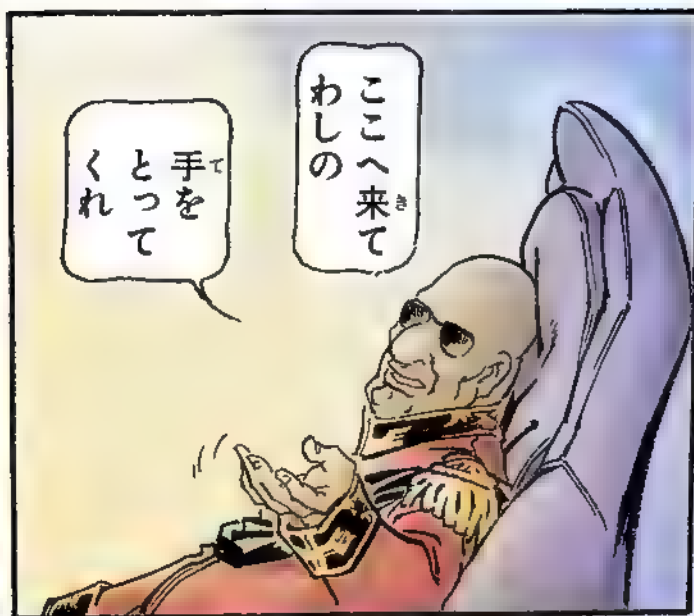
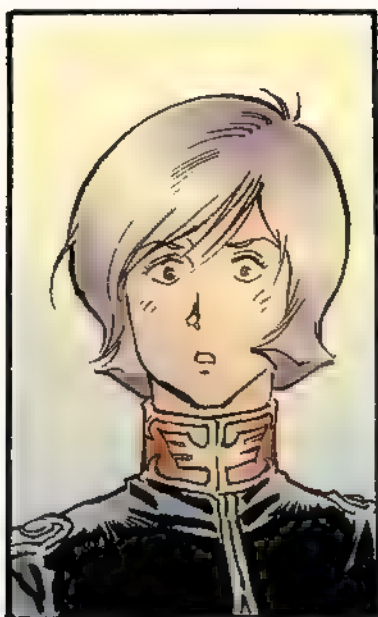




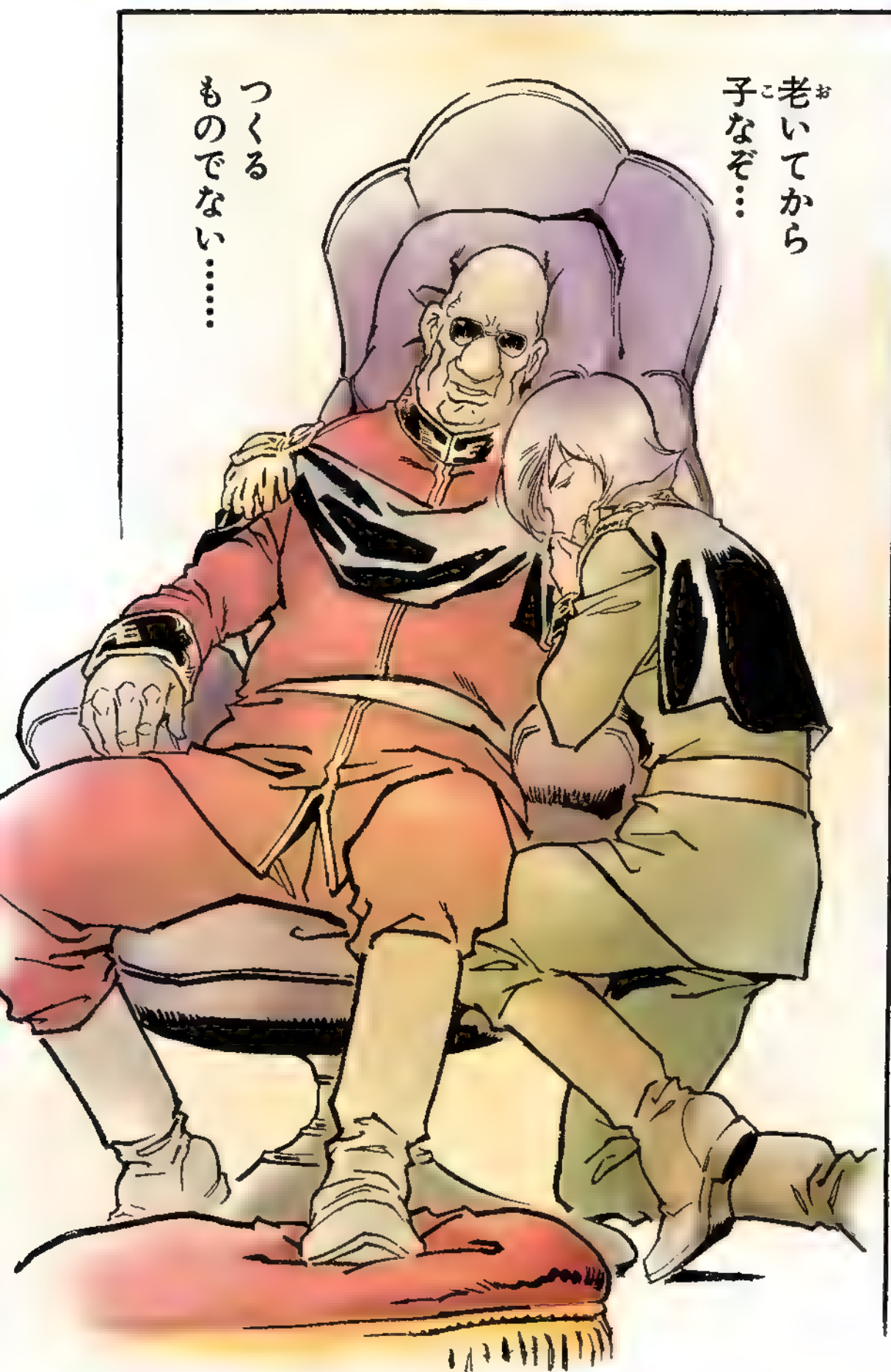
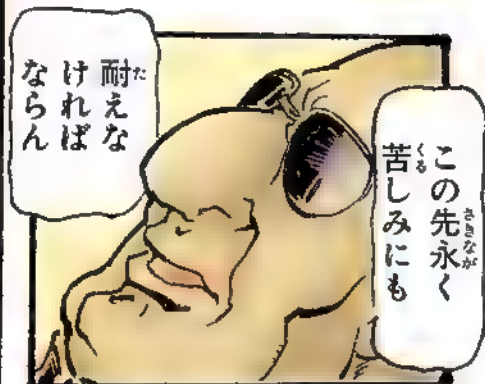
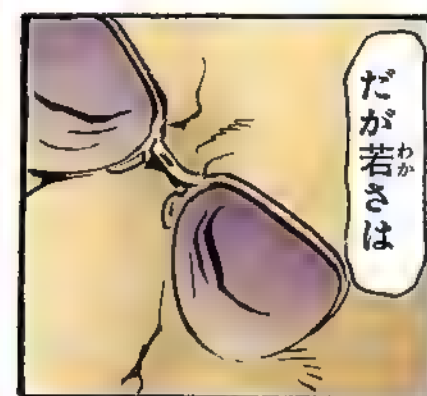
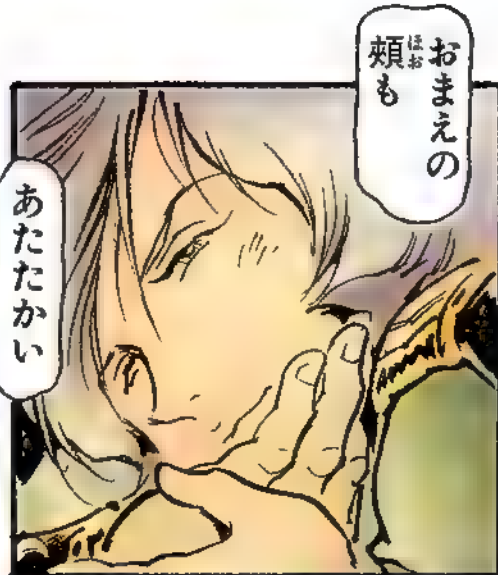


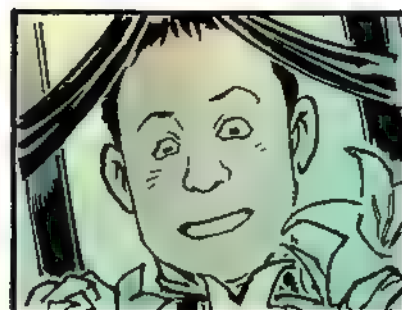
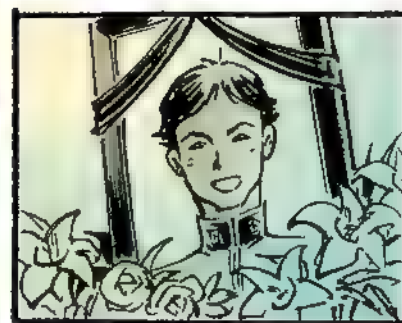
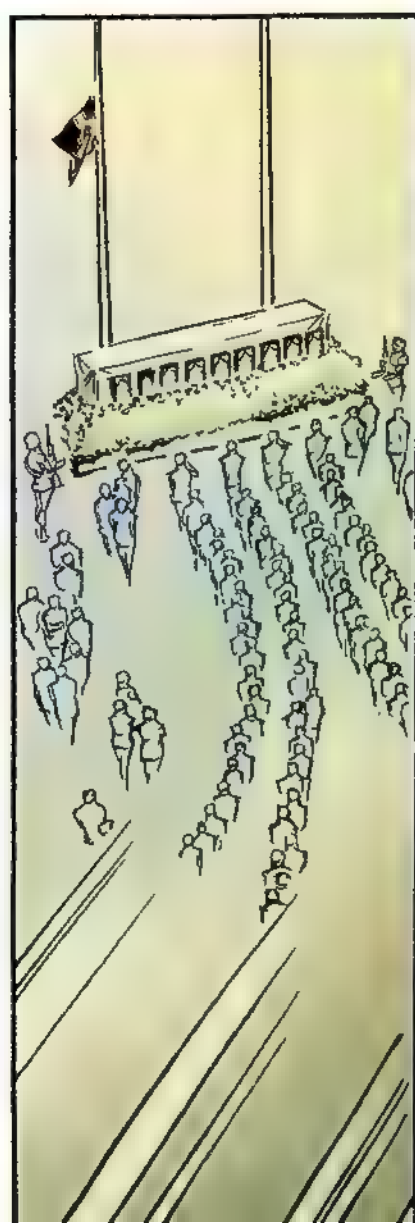
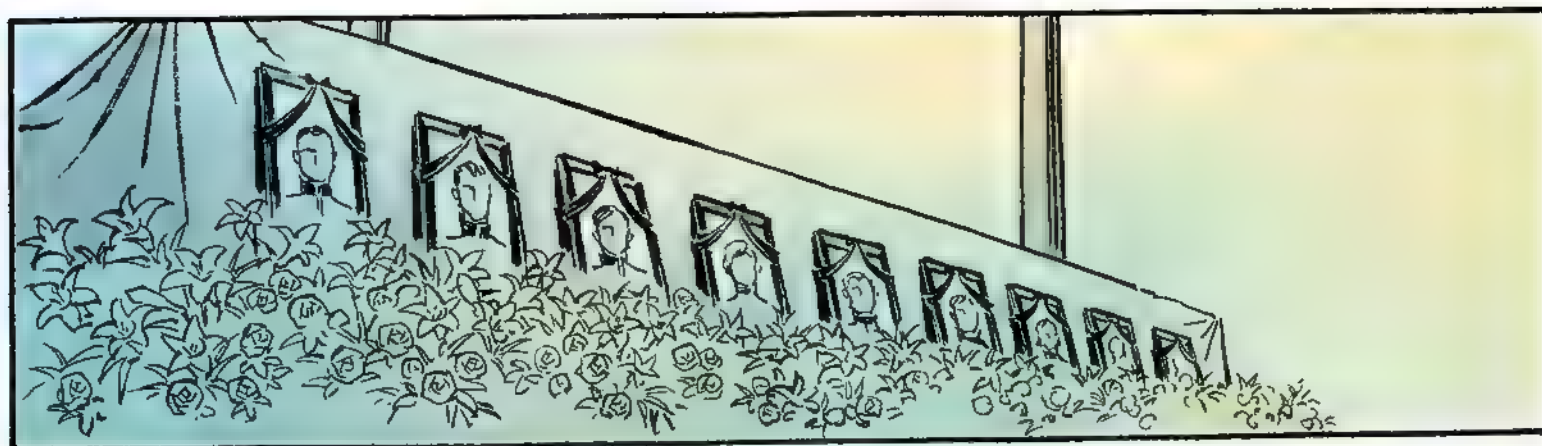




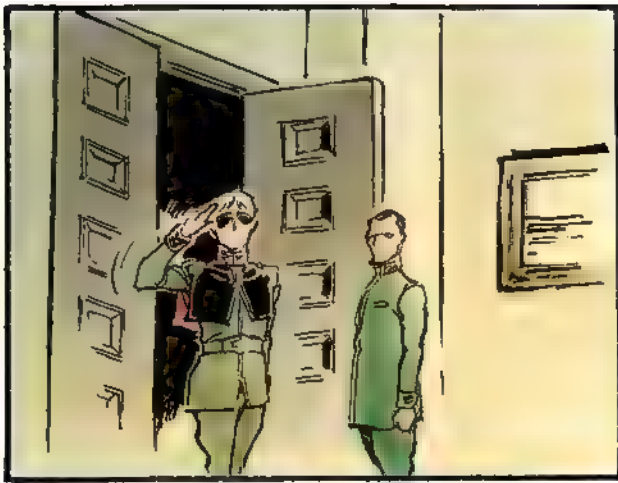




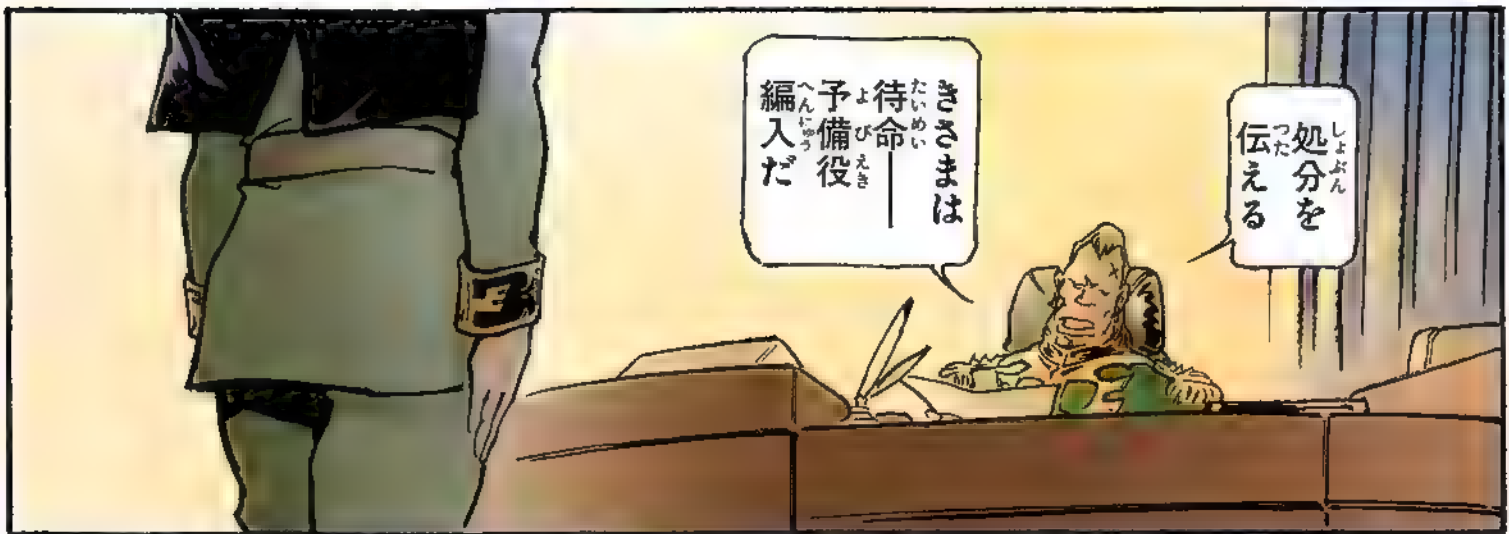








シヤア准尉  
入ります！



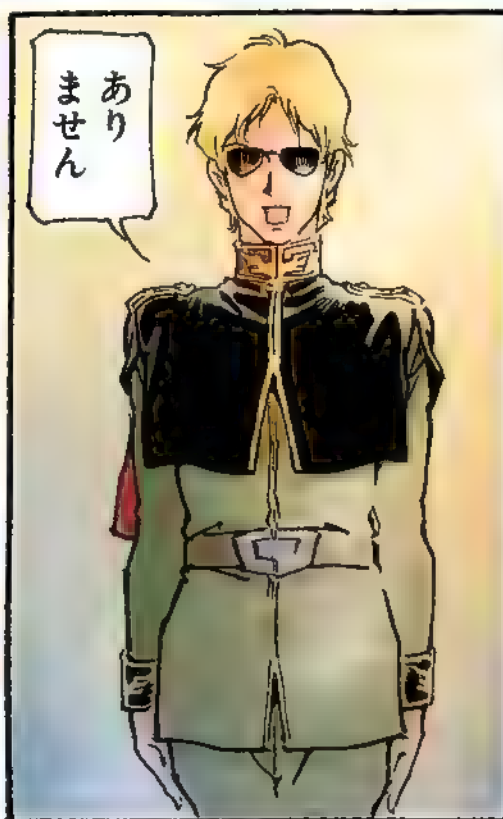
きさまは  
待命  
予備役  
編入だ

処分を  
伝える



よろしい

いいいい  
覚悟だな

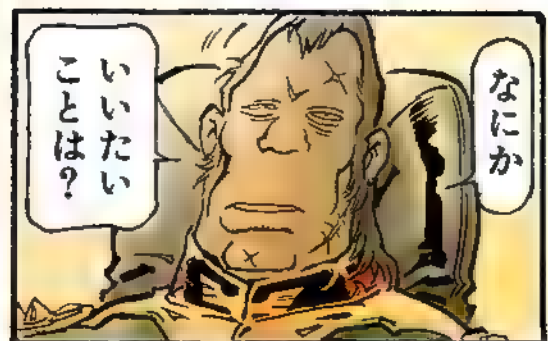


あり  
ません



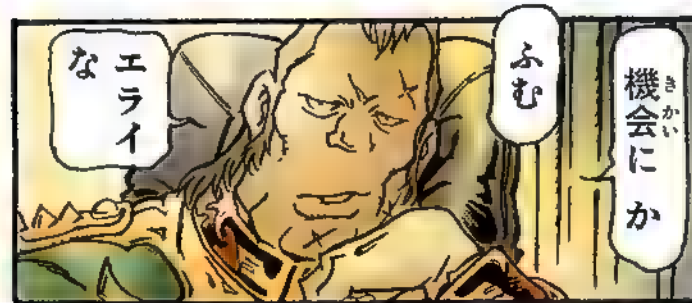
一兵卒に  
格下げという  
ことだな

本学の履歴も  
抹消される

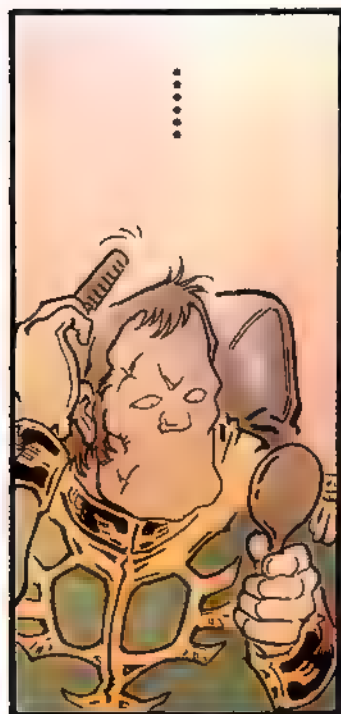
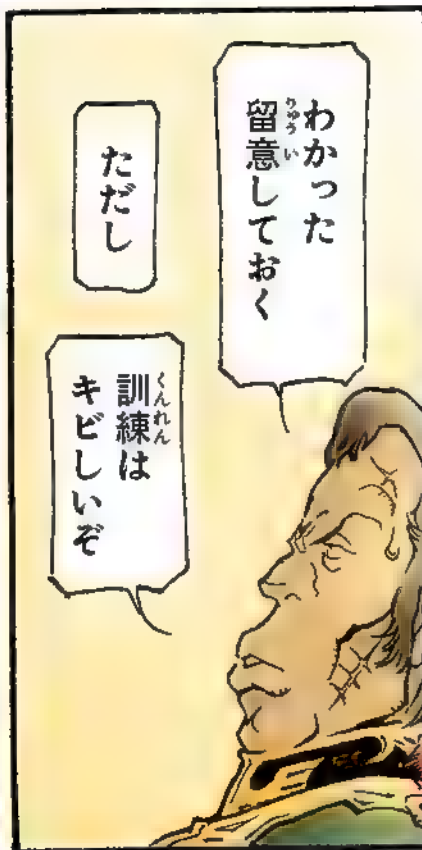
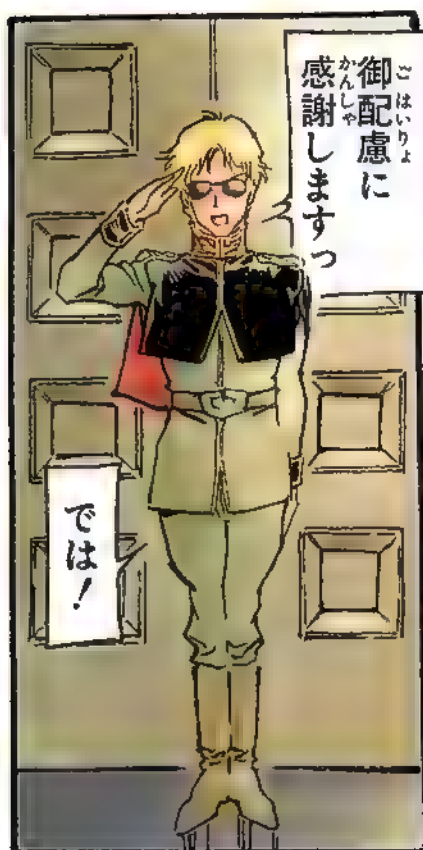
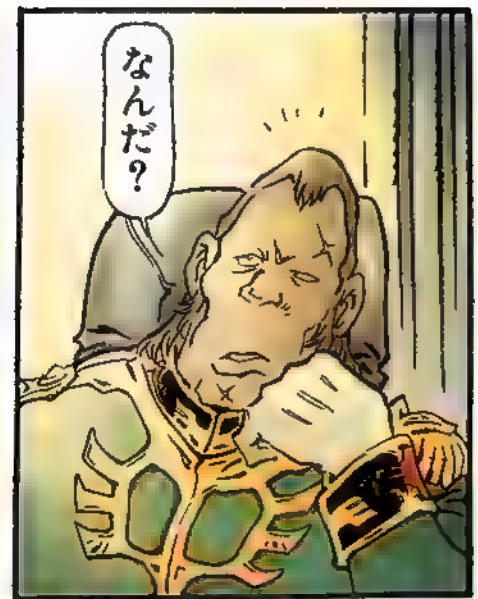


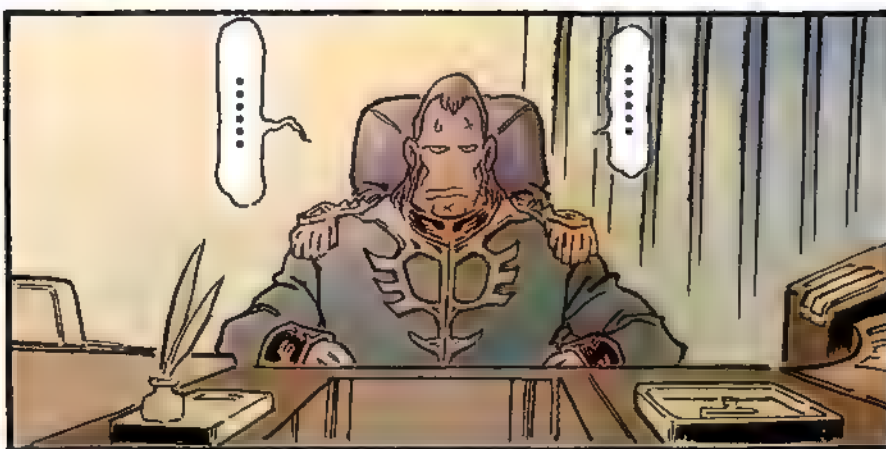
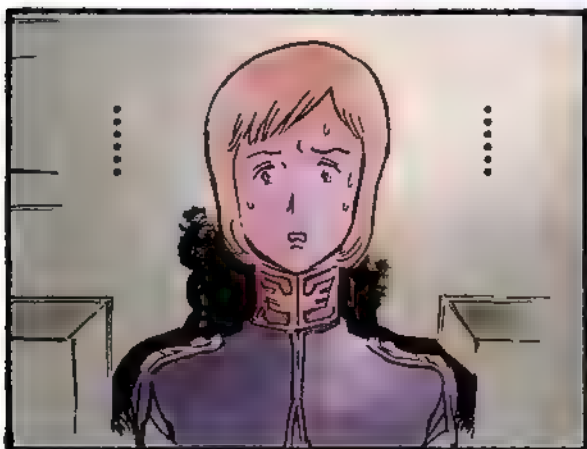
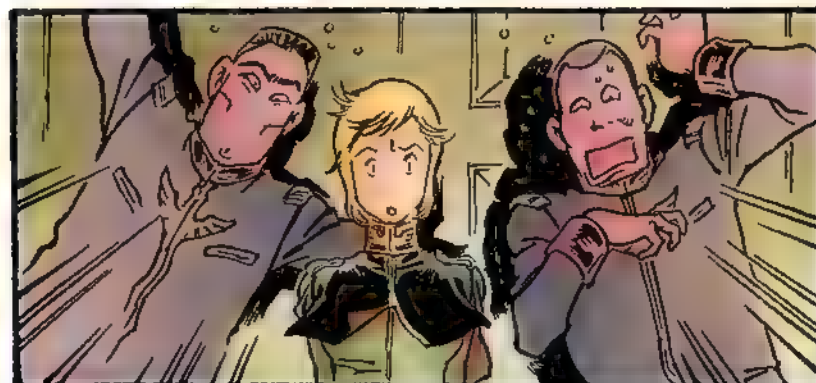
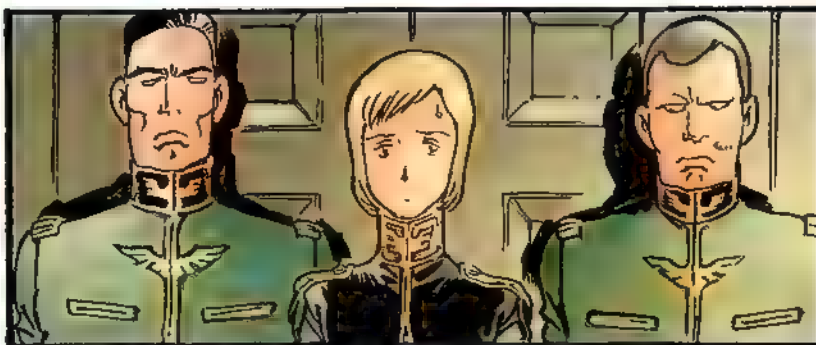
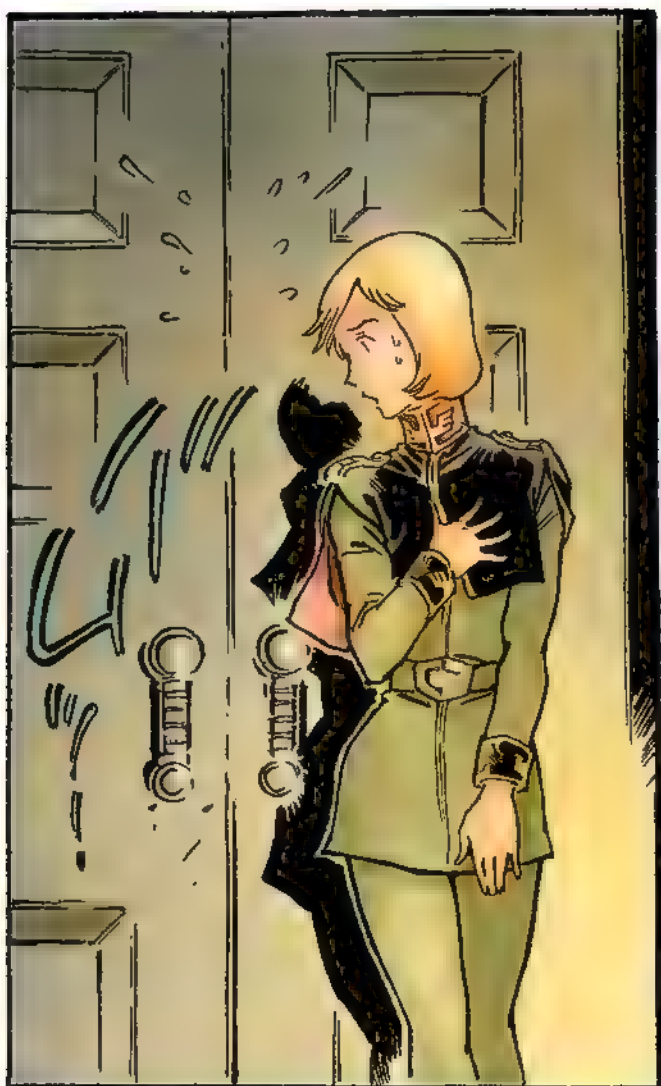
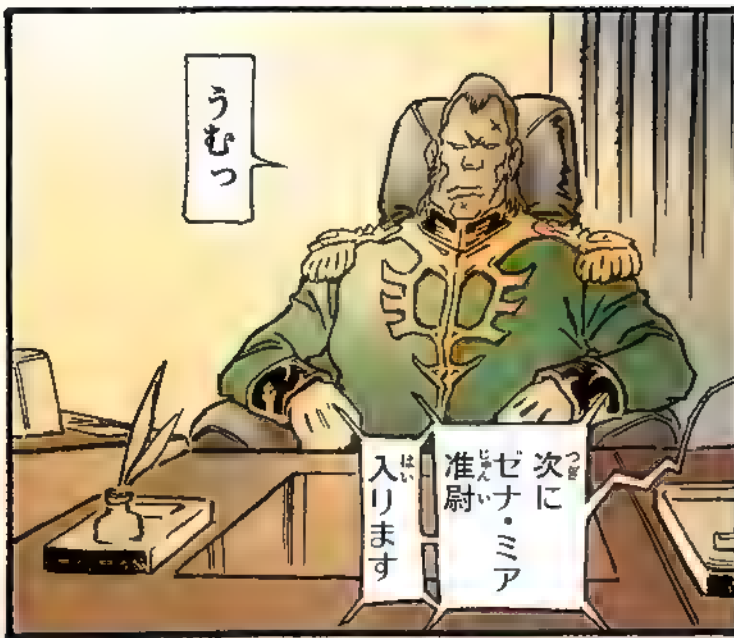
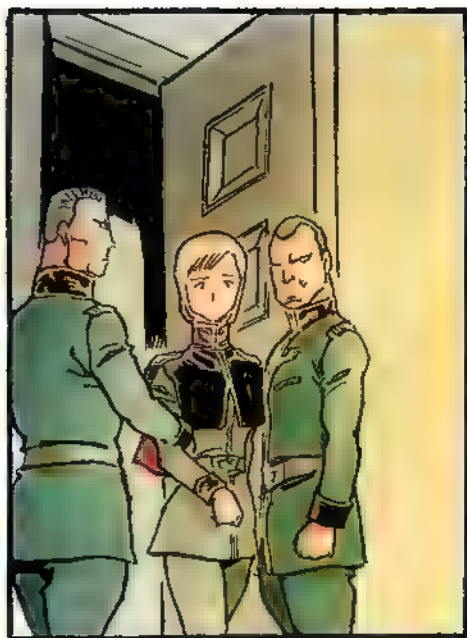
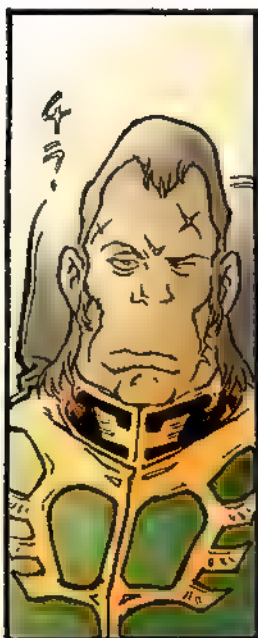
いいたい  
ことは？

なにか

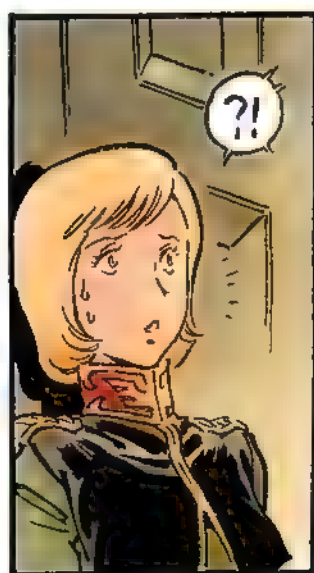
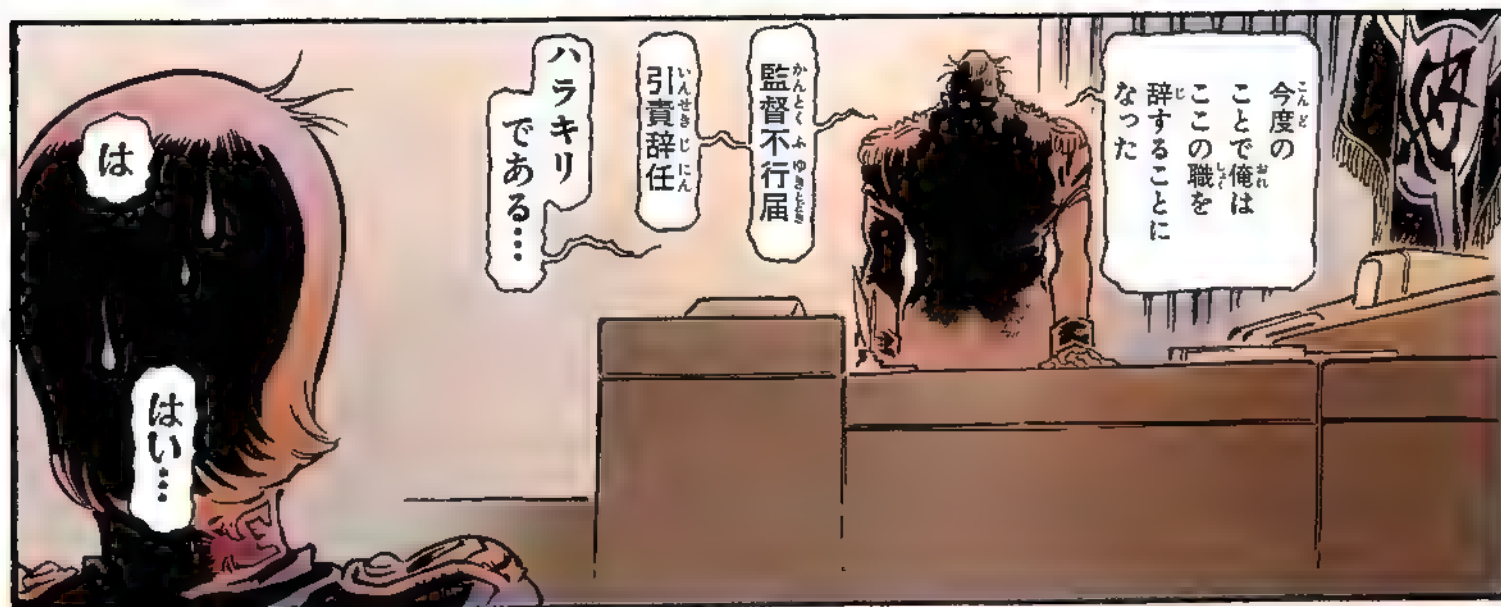
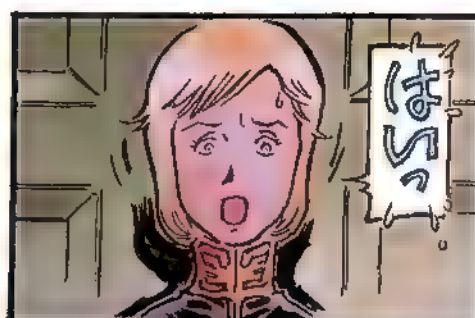
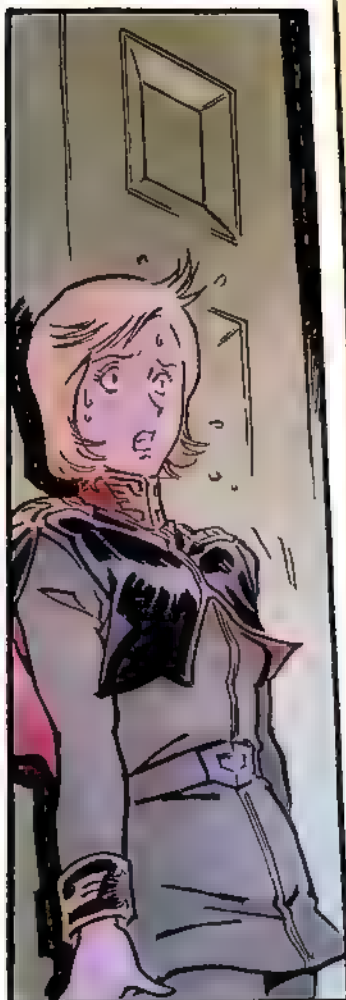


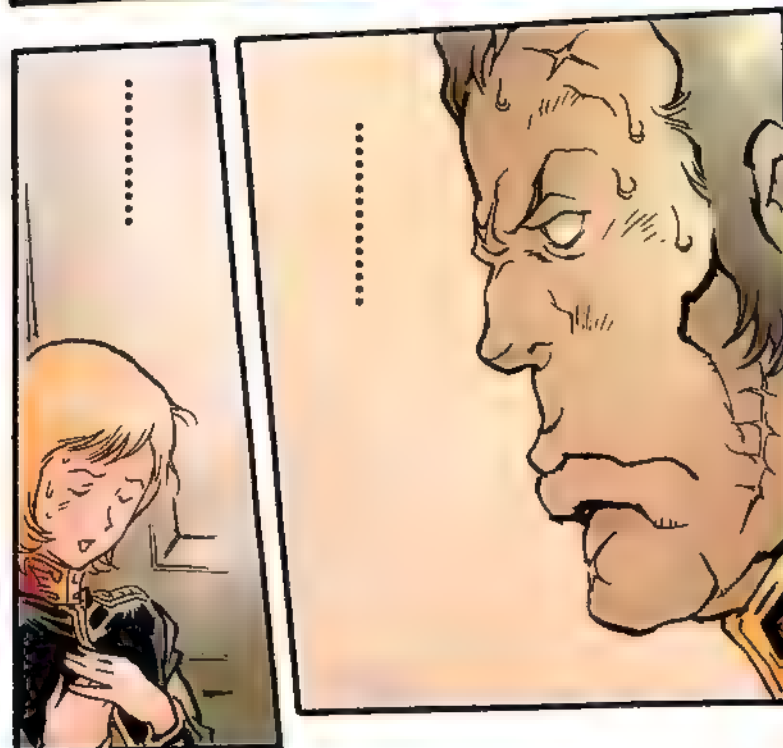
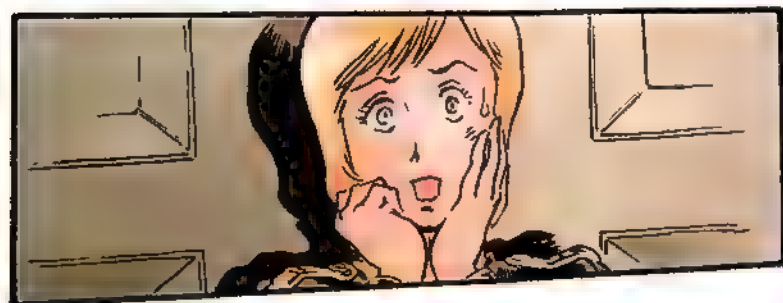
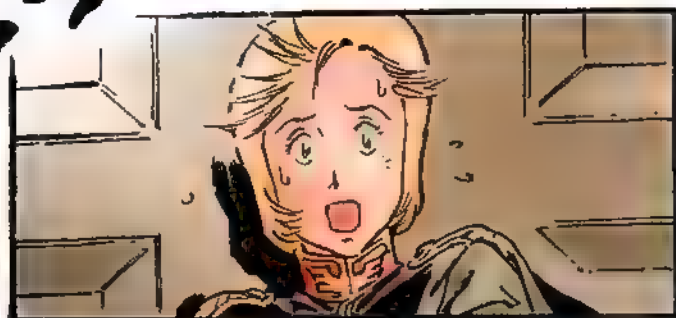
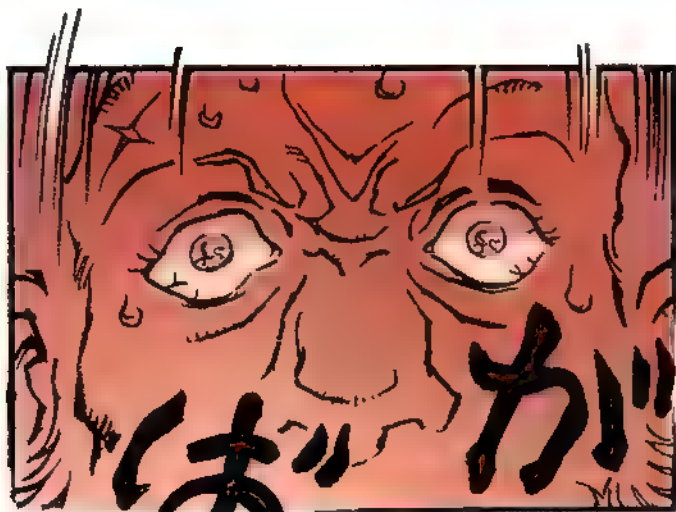






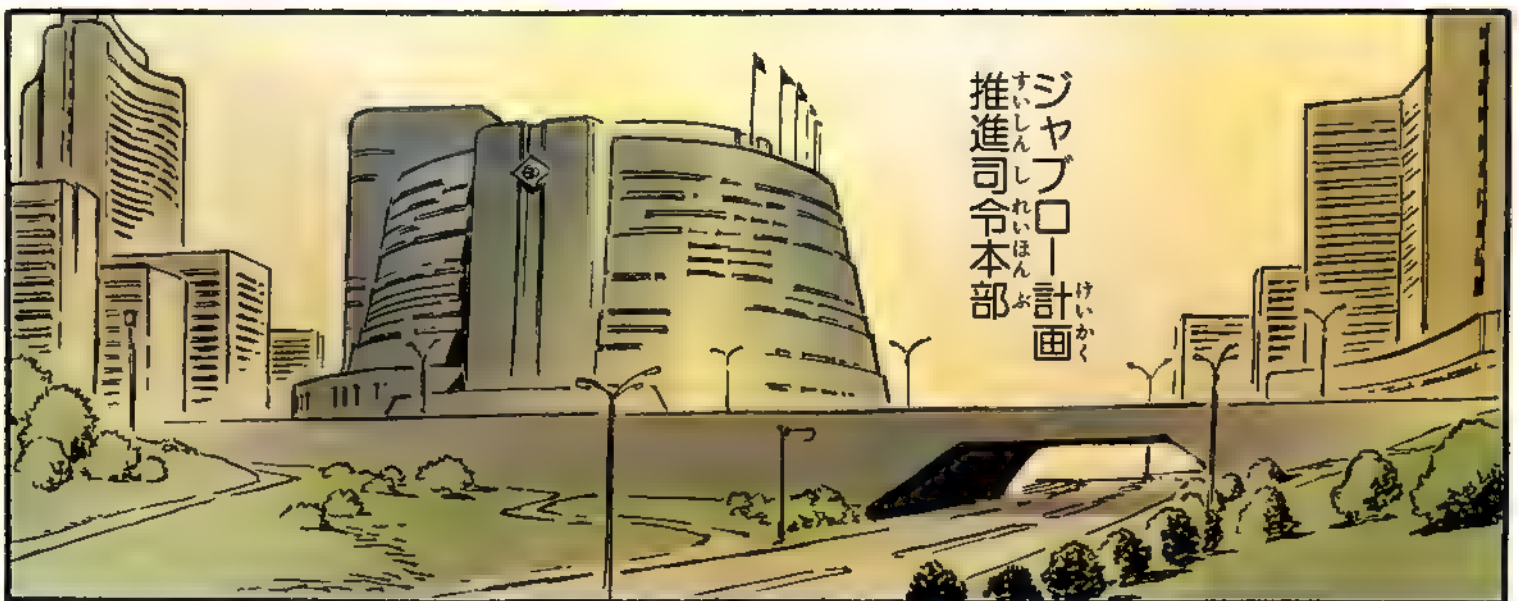
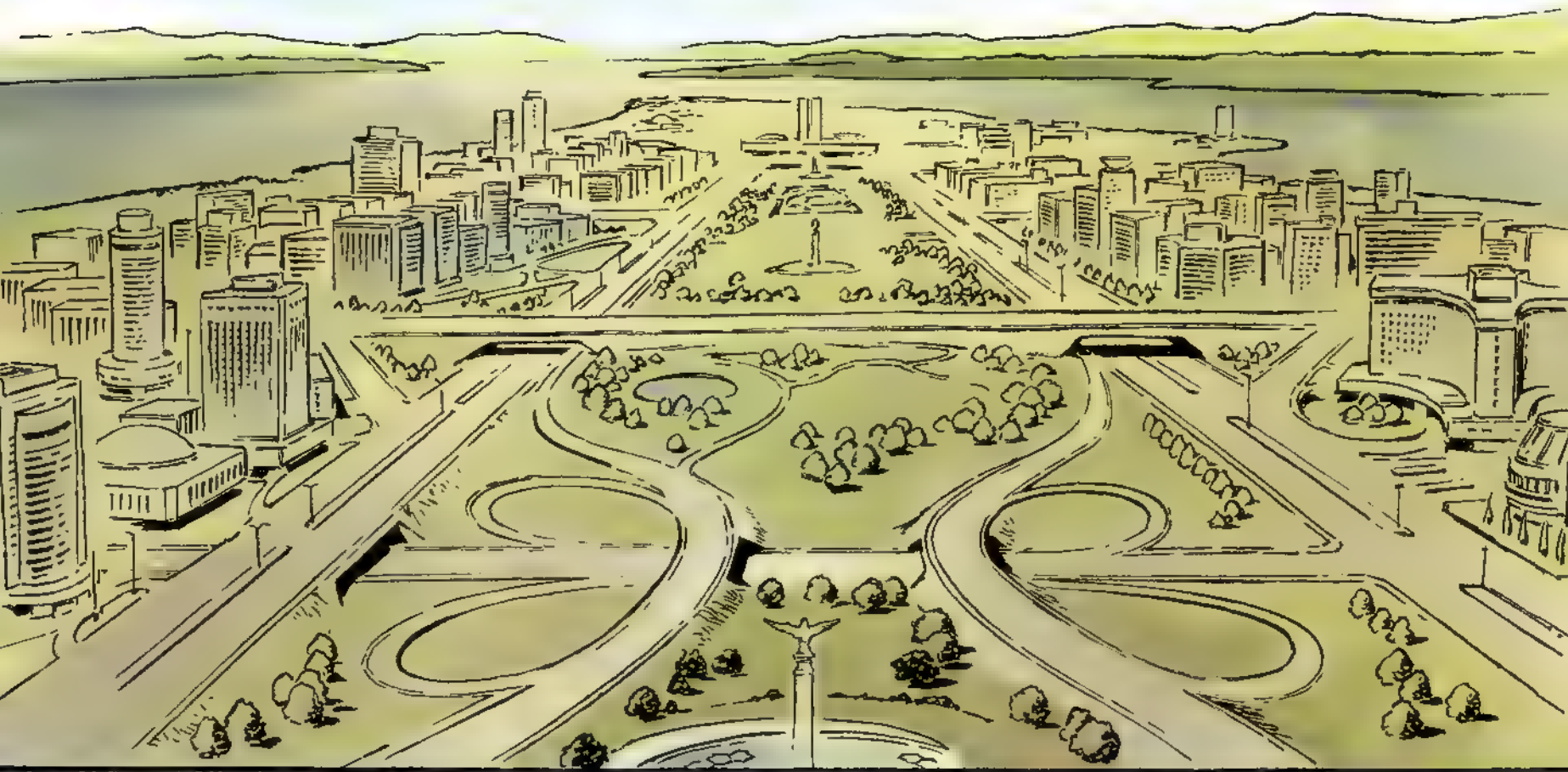


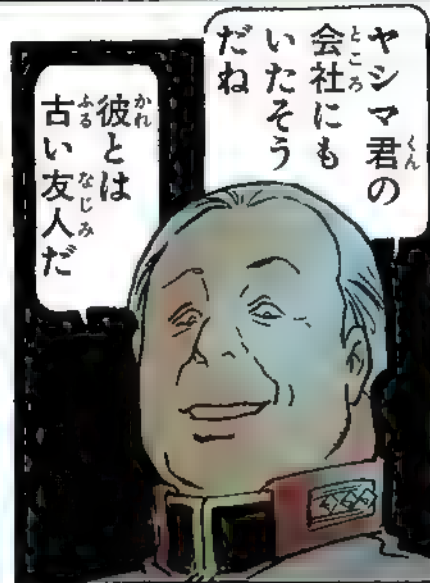
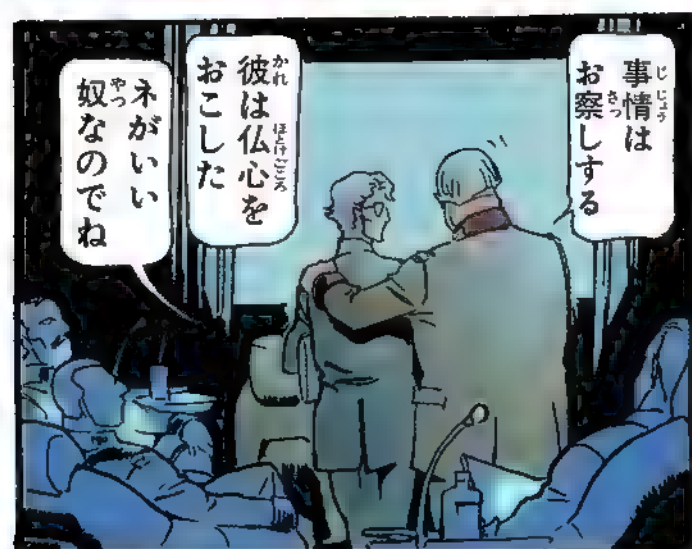
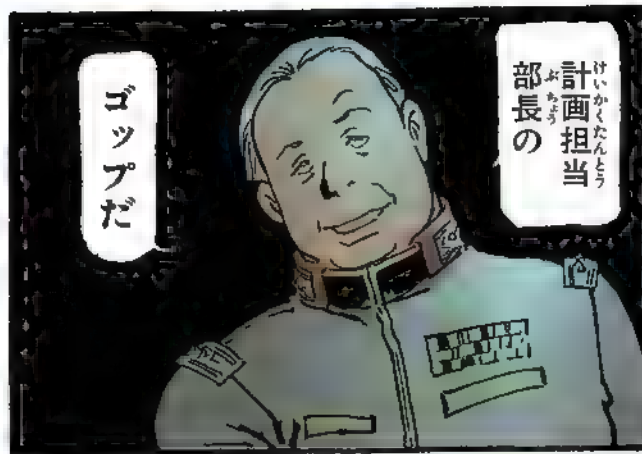
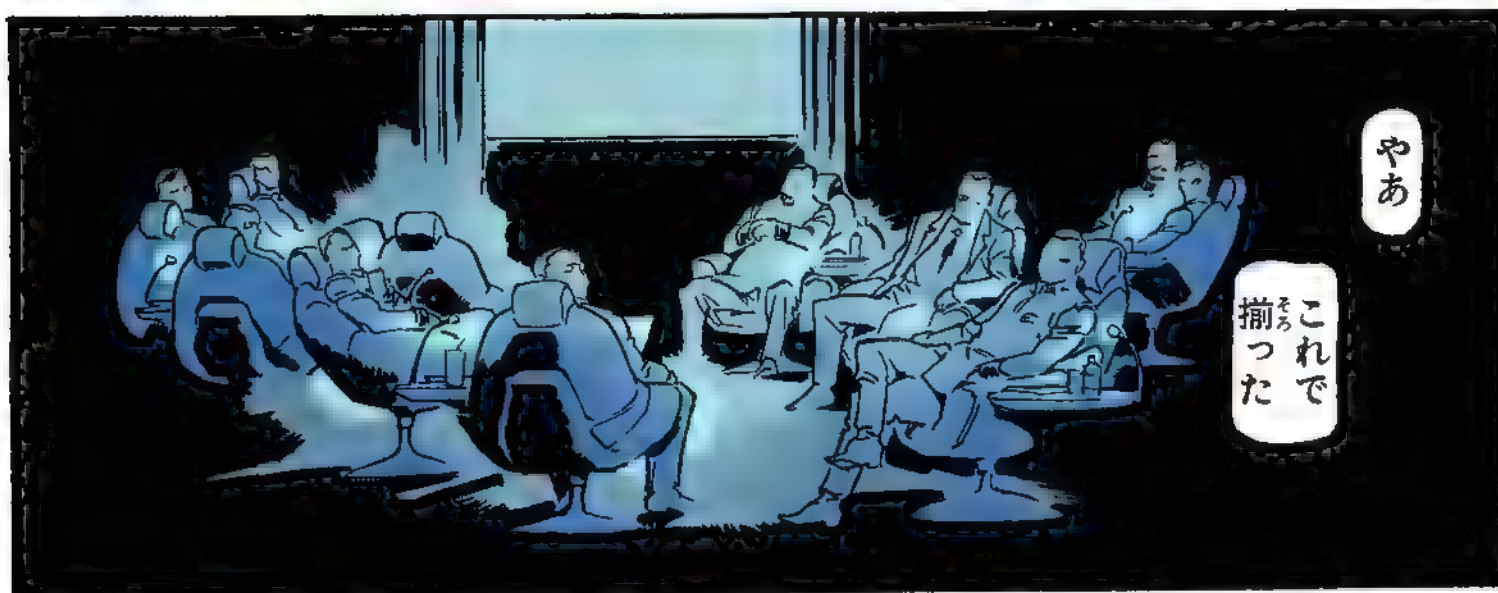






南米  
ブラジリア

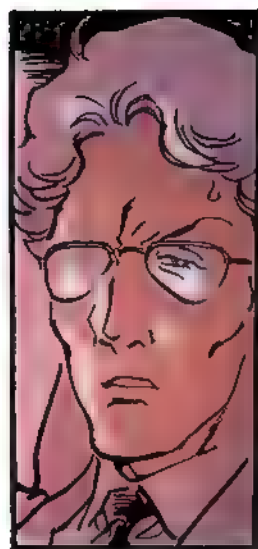
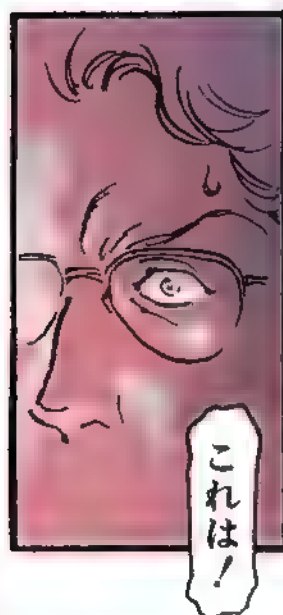
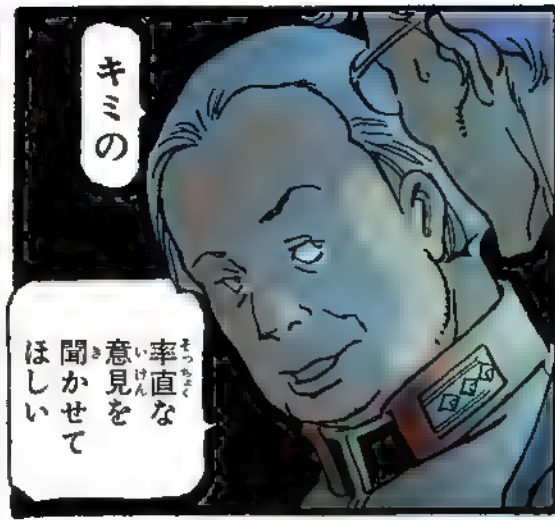


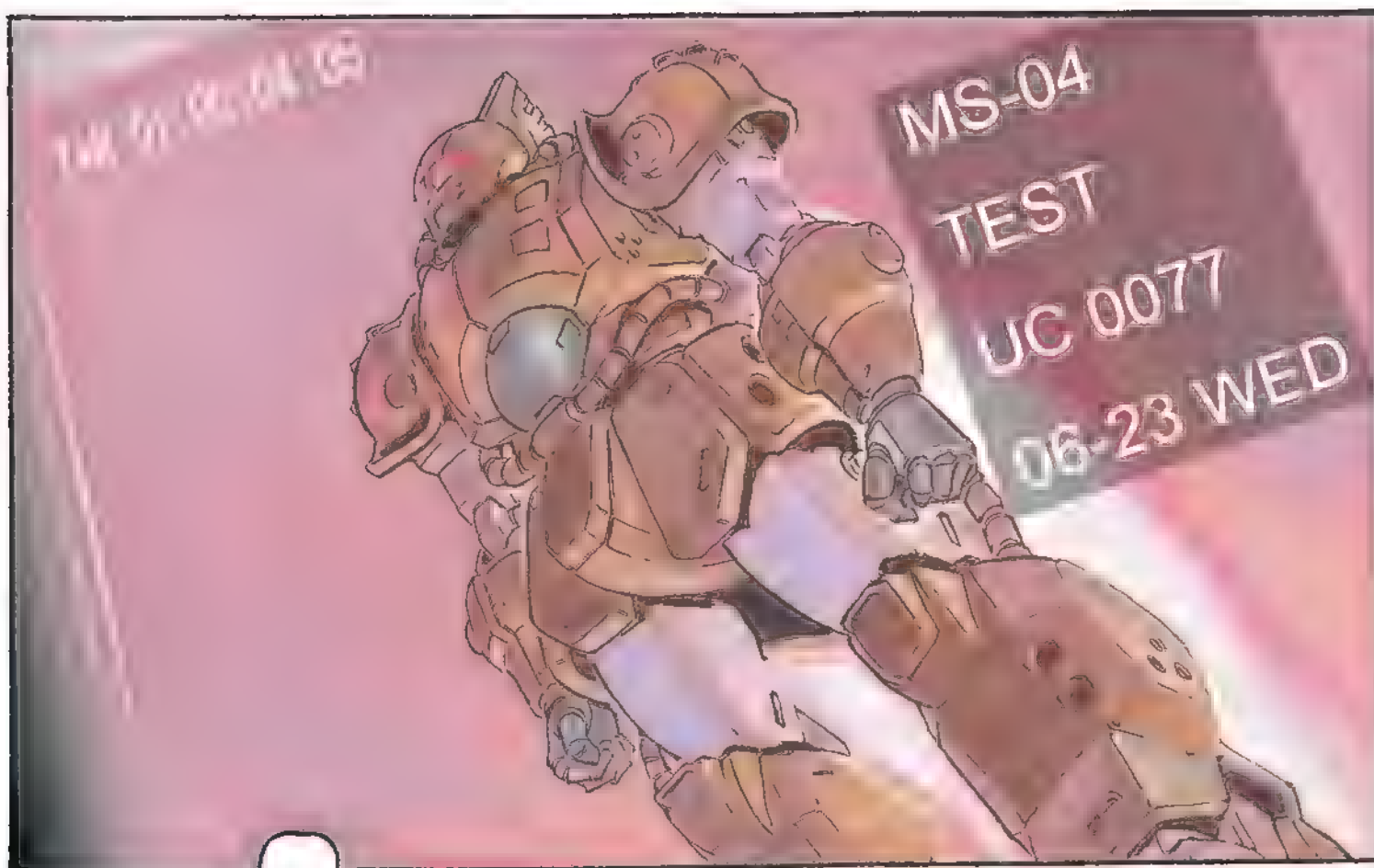






不確かな  
ものを見せる  
ために  
わざわざ





M・S...





アステロイド  
小惑星…

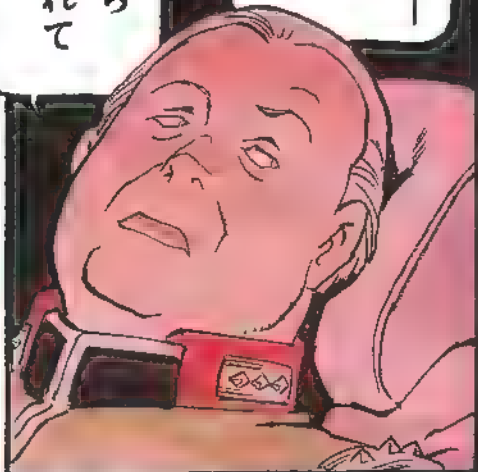
たぶんこれの  
呼び名だ

連中の貴重な  
岩石資源だな

AREA  
A BAC

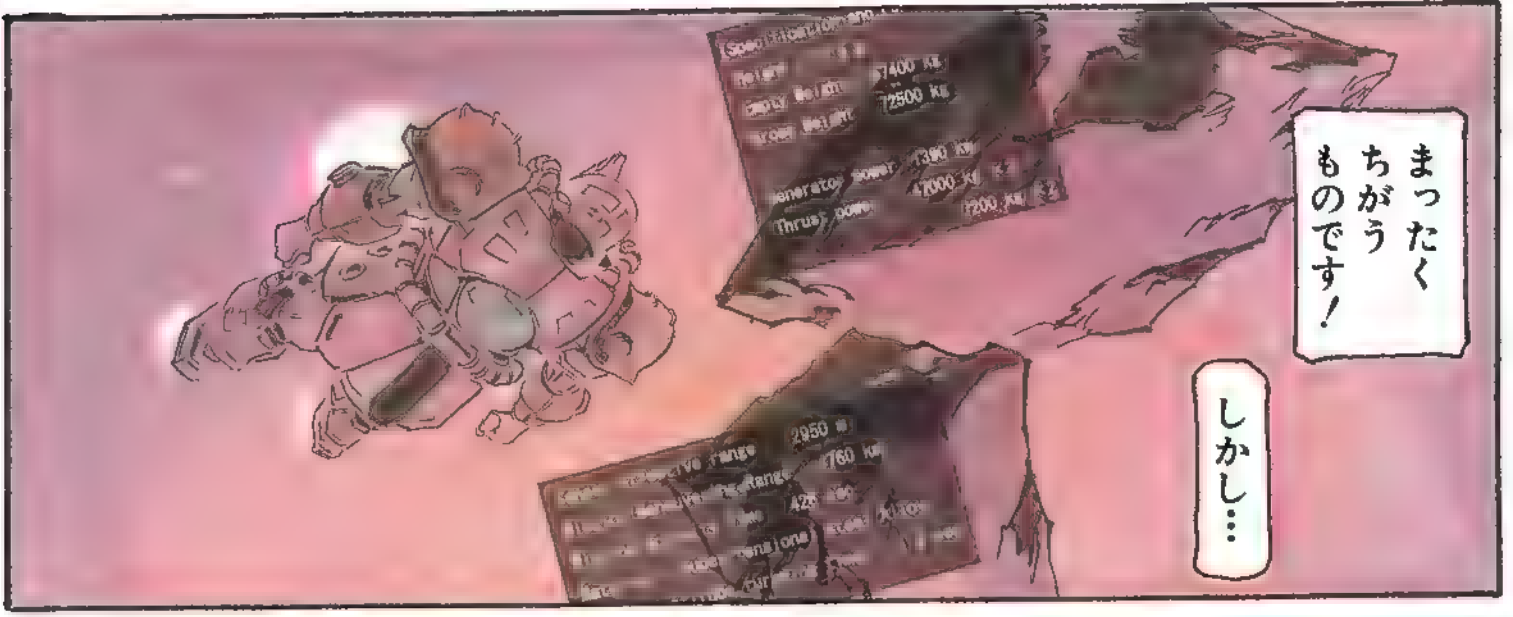
モバイルワーカー  
という汎用  
工作機械  
なら

数年前から  
実用化されて  
いるが…

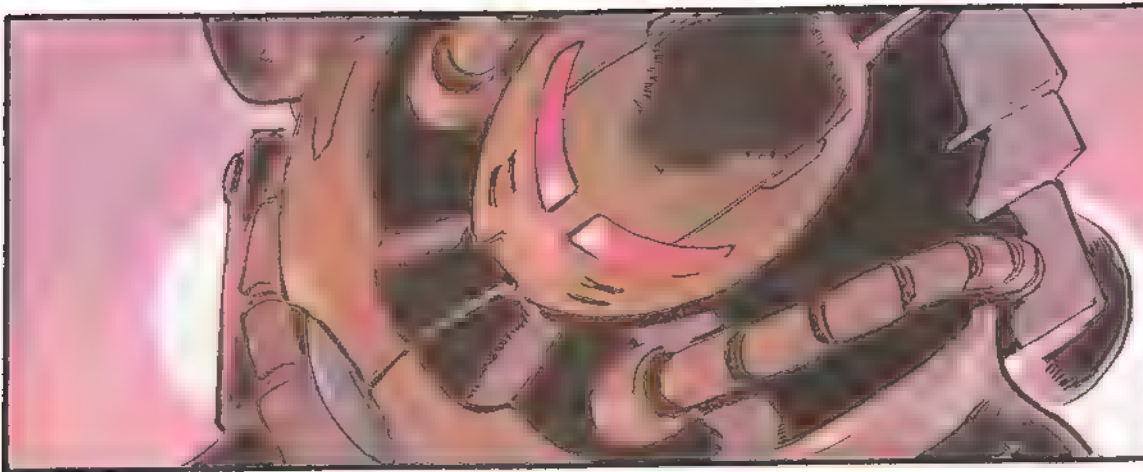


まったく  
ちがう  
ものです！

しかし…



そのモバイルワーカーが  
これの開発前史  
だったとしたら



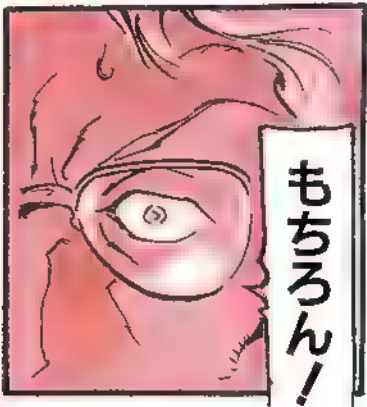
ミノフスキー  
博士は

ついにやった  
のです！

つまり

十分に  
脅威で  
あると？

もちろん！



これは?!

たて  
盾を装着  
じゅうか  
重火器を携行

せんとう  
戦闘モード  
だな

ERATOR POWER 96%  
PROPELLANT CONSUMPTION  
ACTIVE BETTER

かき  
火器は  
せんしやほう  
戦車砲と  
おも  
思えばいい

じゅうだん  
一〇〇ミリの  
実体弾

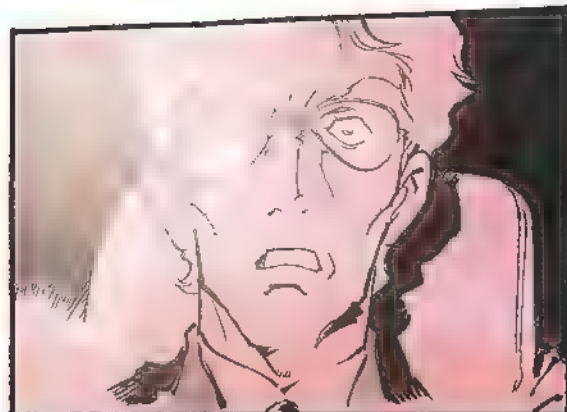
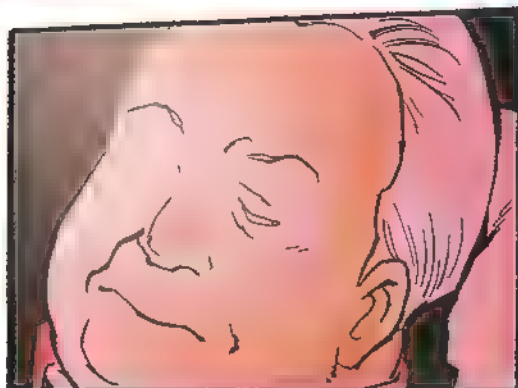
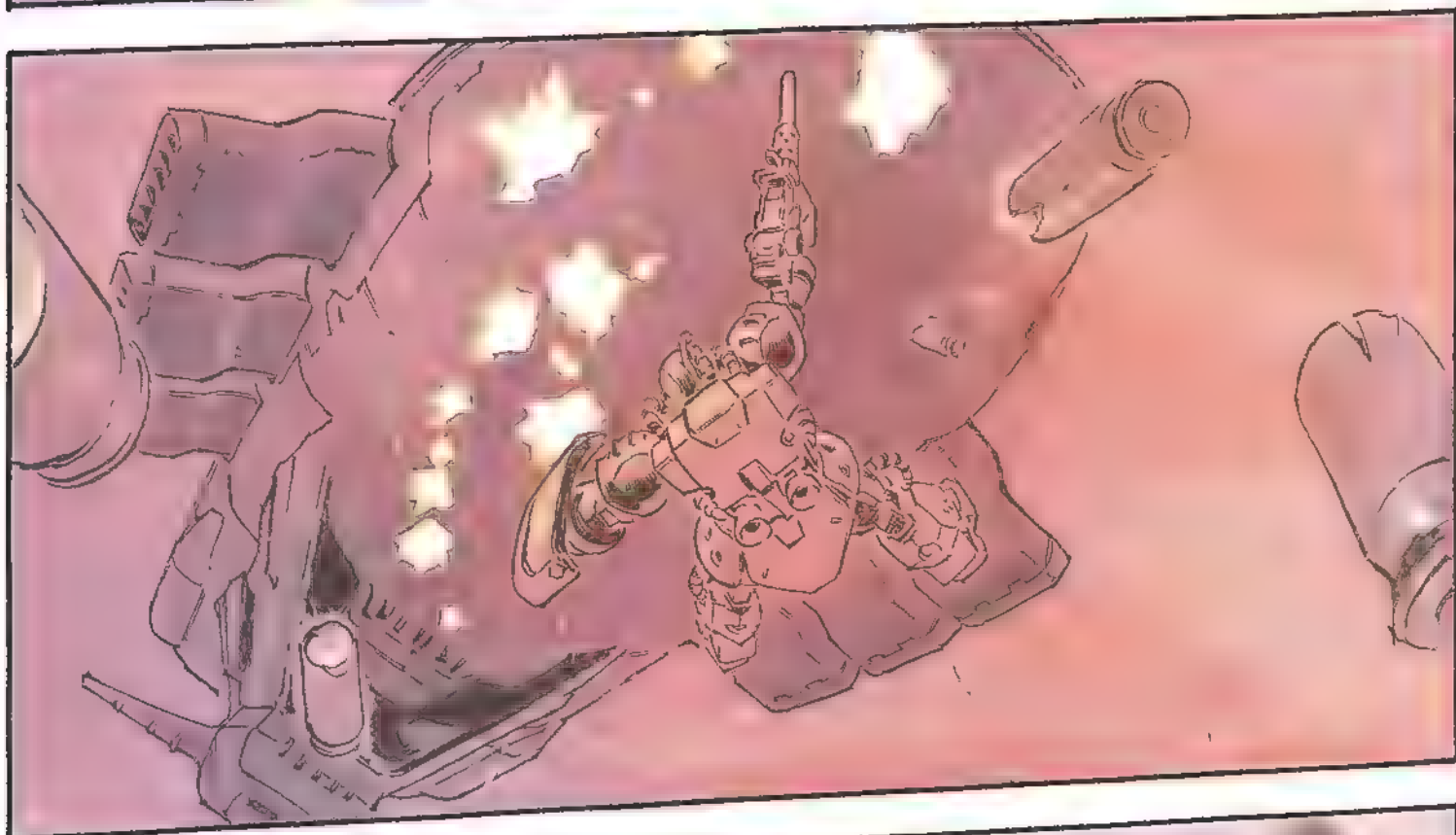
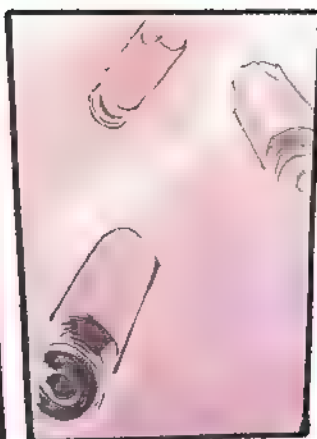
まあ見て  
いたまえ

せんぼう  
前方は  
ひょうてきかん  
標的艦

と  
いっても

ろうきゅうかもつせん  
老朽貨物船  
だが...





戦艦が一〇〇ミリ弾で沈むことはない

故に

脅威ではないという意見もあるが

それはちがいます！

モビルスーツは戦艦でも巡洋艦でもありません！

全く新しい概念で捉えるべきです

戦争がかわるのです！

ミノフスキー博士もそういつているようだ

よろしい

キミを新規計画の技術担当のトップにしよう

こ  
光栄ですっ！

博士のお弟子ならハナシが早くていい

亡命が成功すればもっといいが

いちおう

手は打ってみるがね

將軍！

ん？

極めて重要な点です

この仕事には恒久的に使用可能な宇宙での設備が必要です

それをどこに？

あ

そオ...



「コロニー」しか  
なからうね

恒久設備と  
いえば…

しかし  
各コロニーは  
情勢が  
不安です

今度の  
ことで一層！

宇宙空間は  
もはや我々の  
庭ではない  
のです！

ジオンの脅威を  
受けず 尚かつ

重力をコントロールし得る  
充分な空間の確保が…

既存のコロニーが  
ダメなら…

新しく造る  
しかない…

え？！

移住計画の  
見直しで  
予算の執行が  
見送られた  
コロニーがあった

サイド7？！

そお

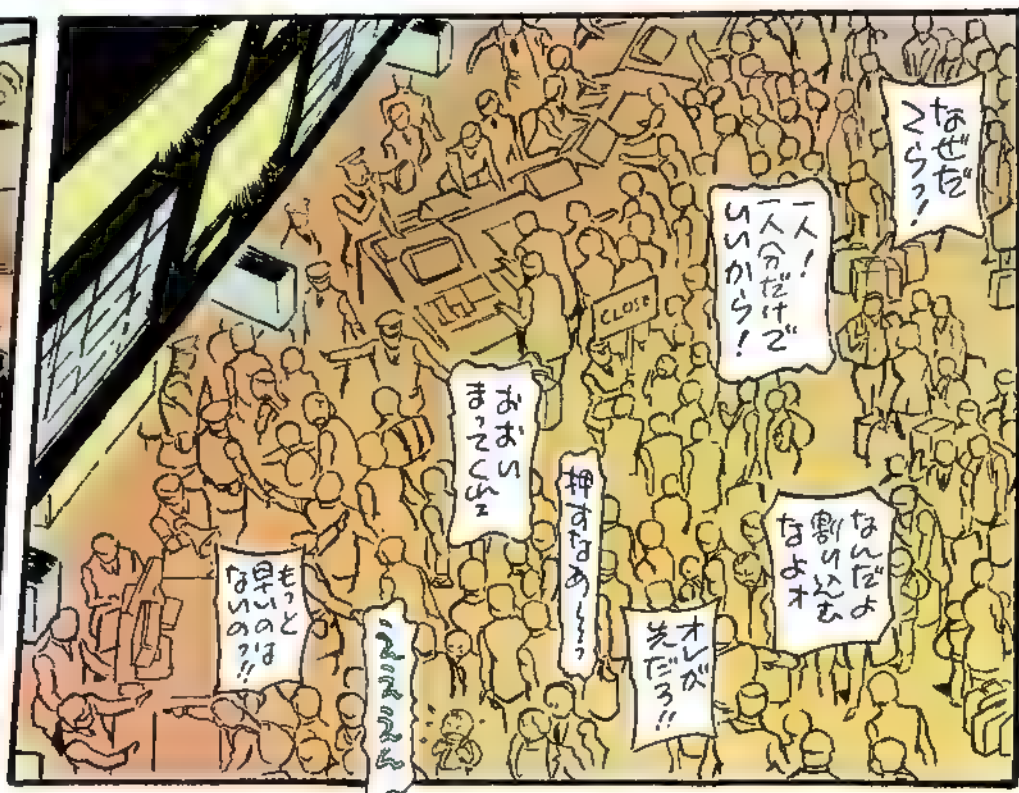
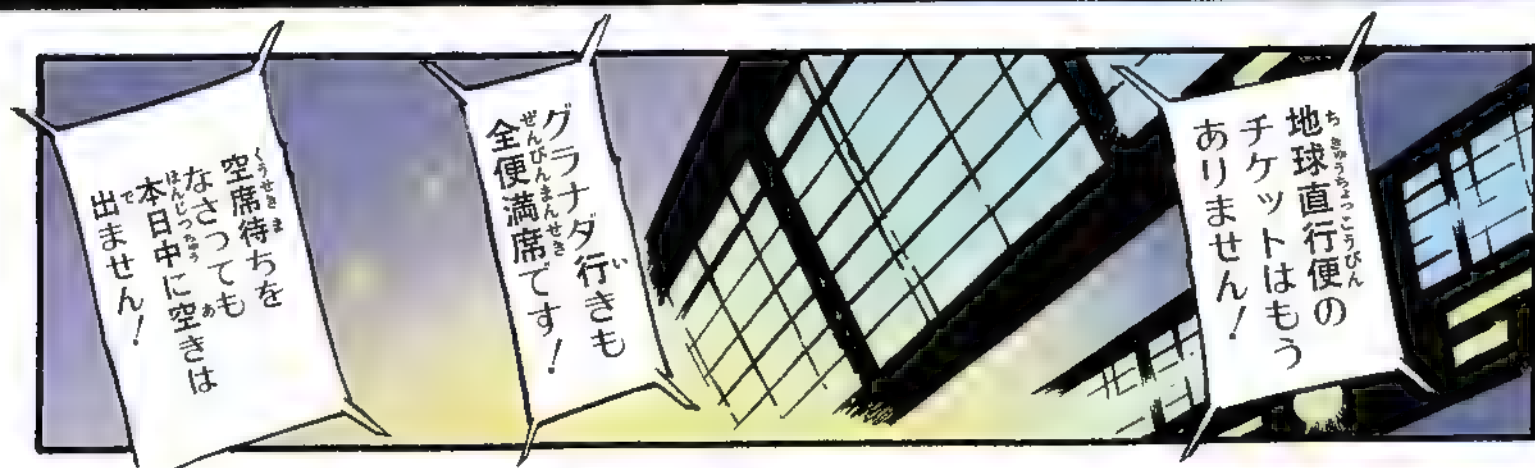
サイド7

ジャブローといい  
M・S計画といい

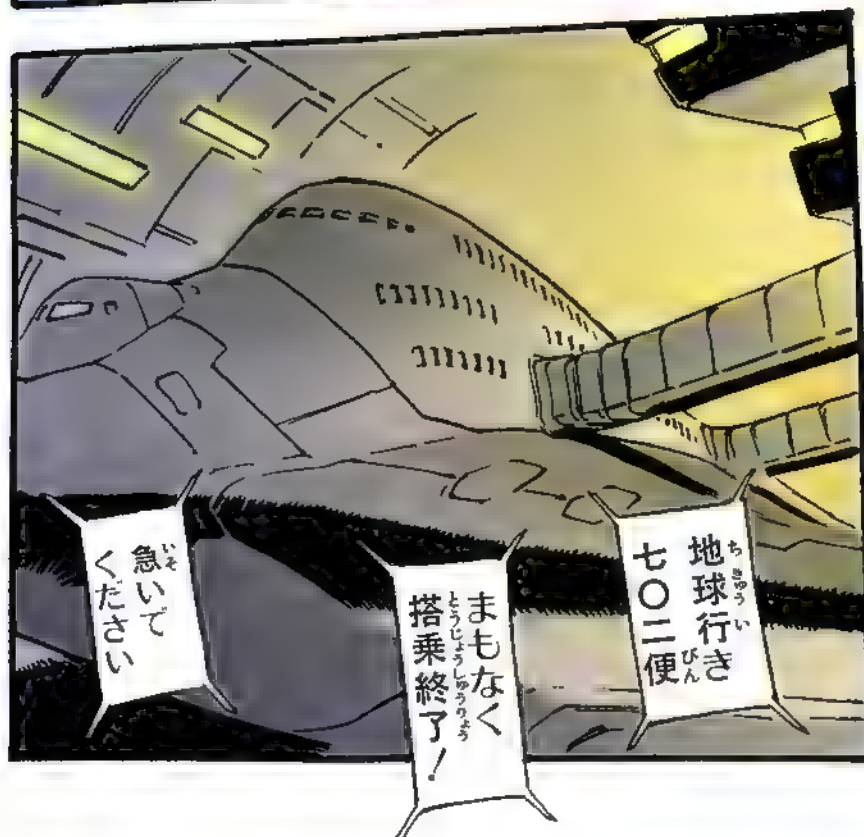
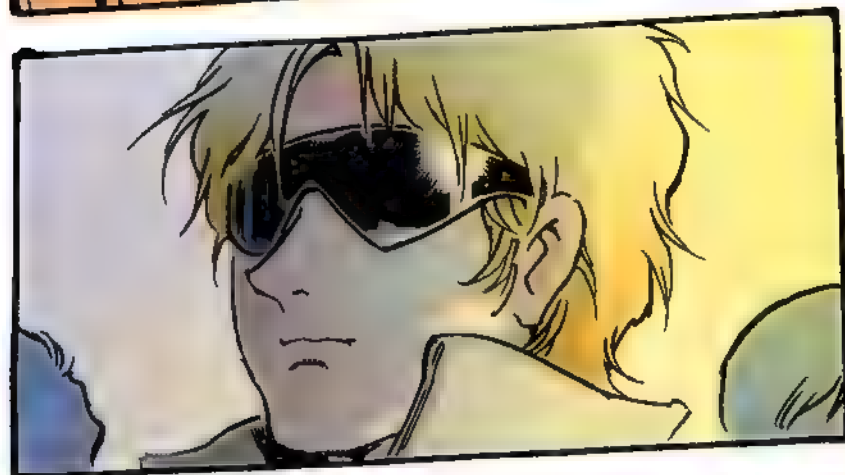
剣呑な  
情勢に  
なった

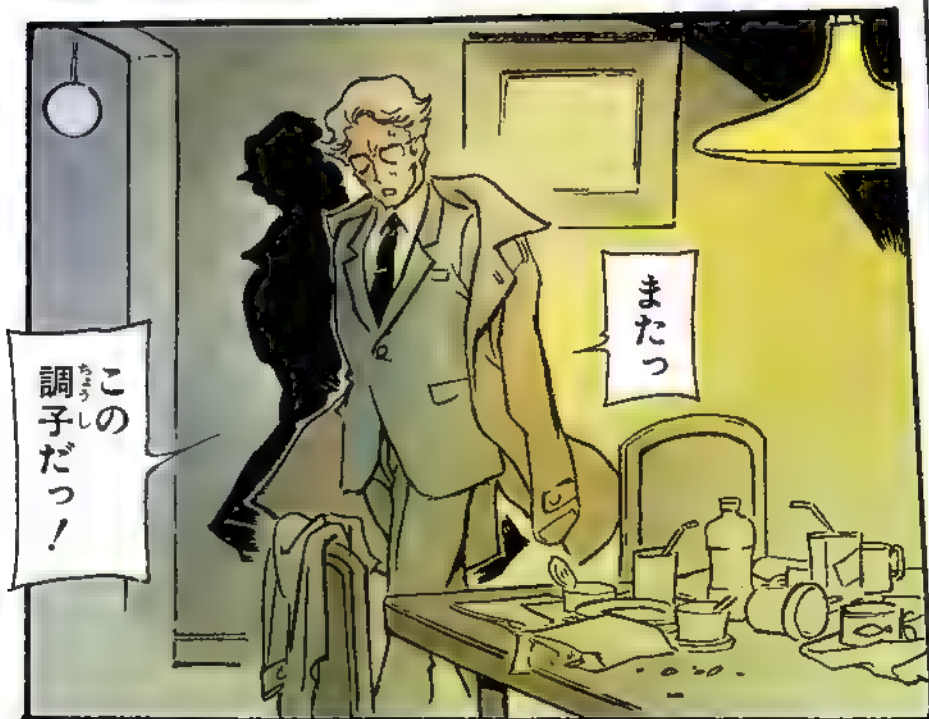
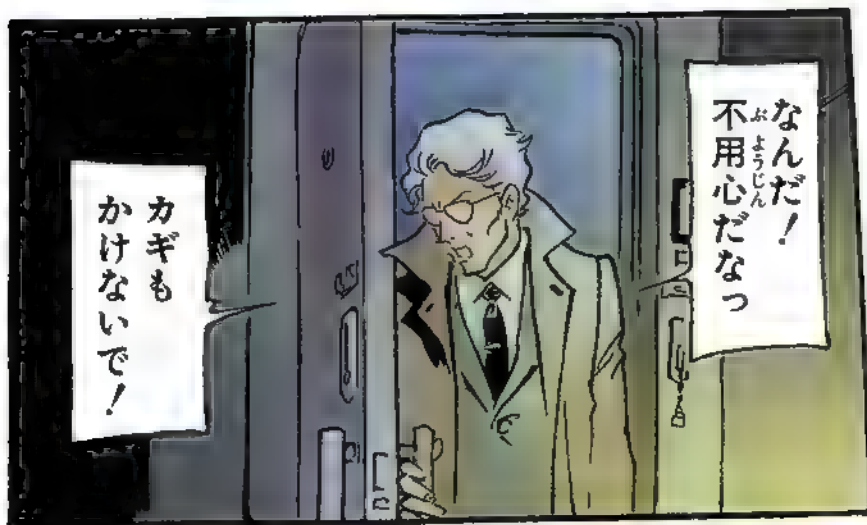
どのみち世界は  
行く所までは  
行かねばならん  
ようだよ…



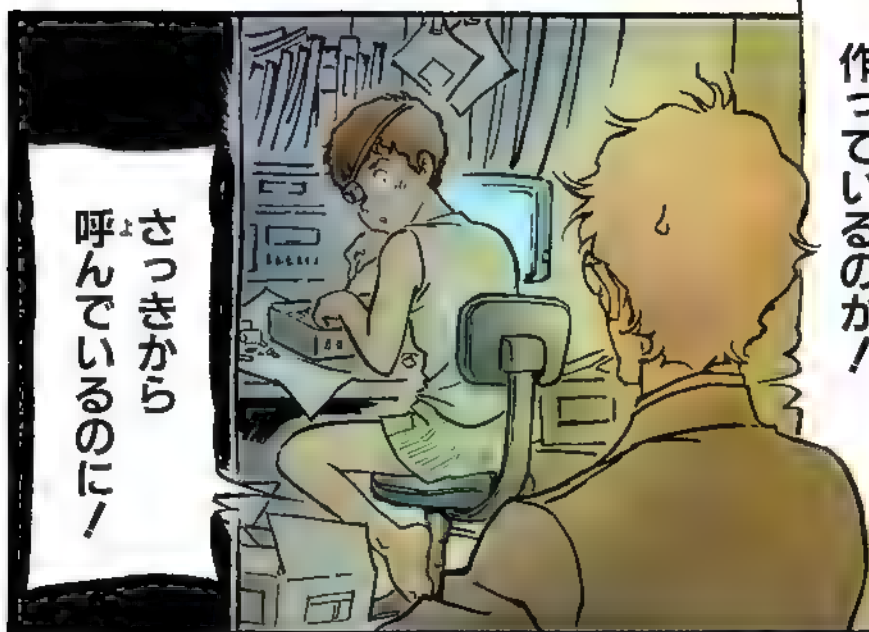






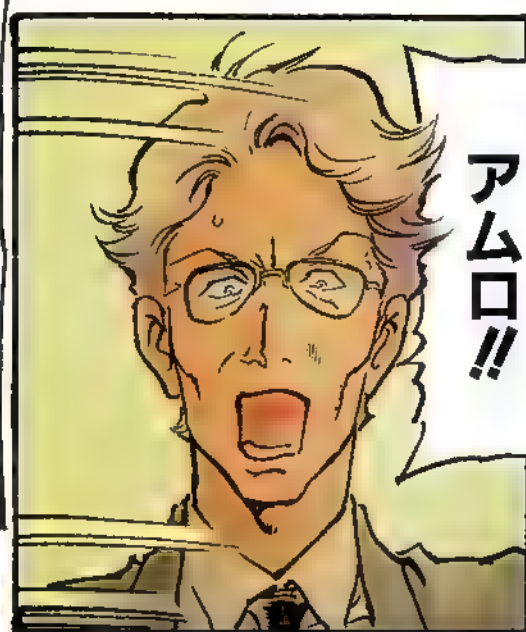






さつきから  
呼んでいるのに!

またくだらないものを  
作っているのか!



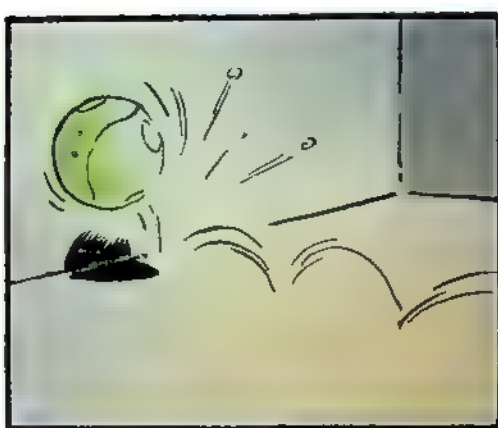
アムロ!!



いったいいつに  
なったら少しは  
大人になるんだ!!

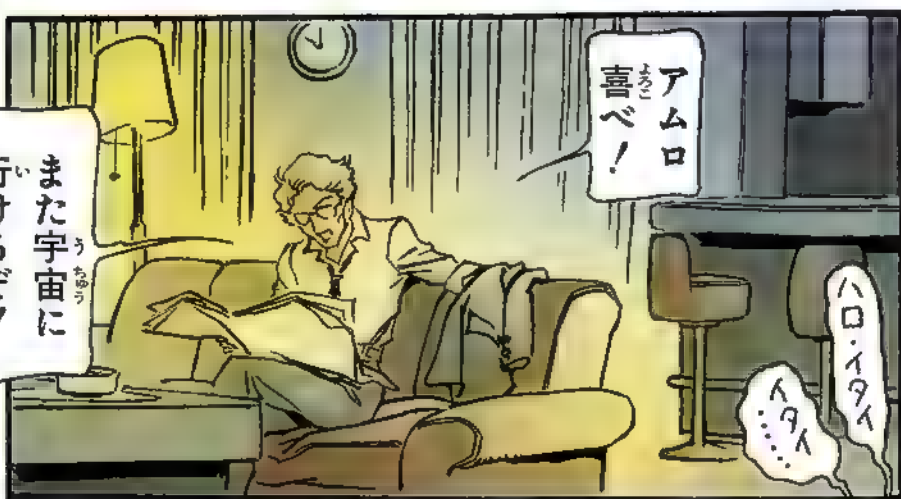
「おかえり」  
じゃないっ!

あ...  
おかえり  
なさい



コーヒーを  
いれてくれ

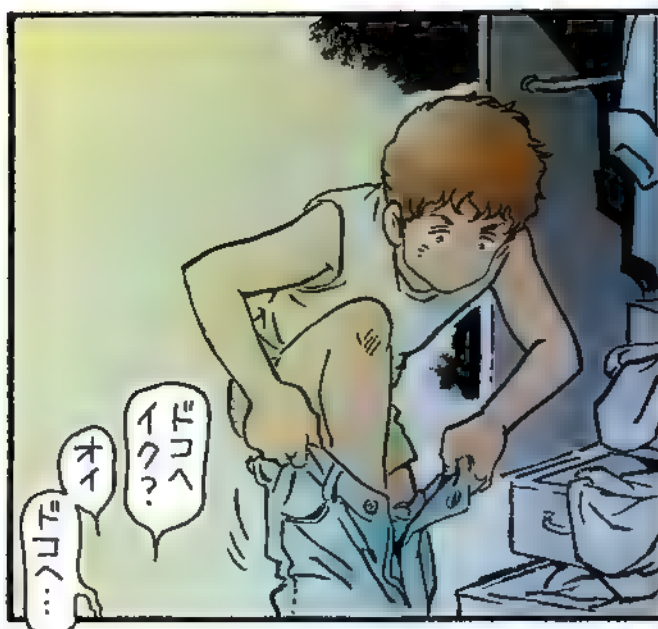
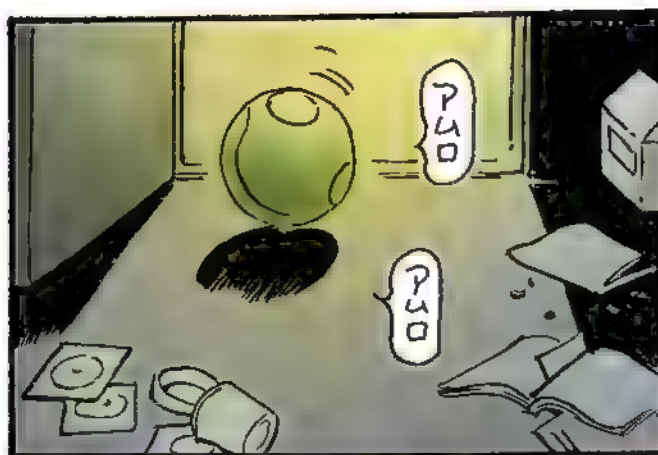
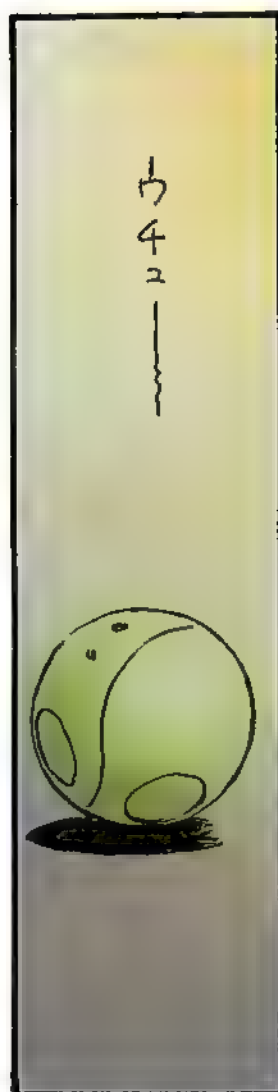
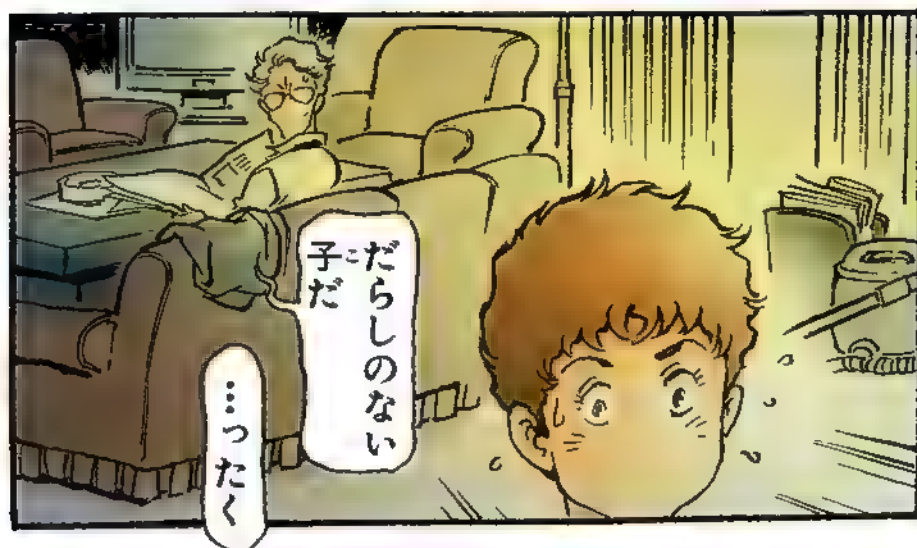
大きな仕事をして  
来たので疲れた



アムロ  
喜べ!

ハロ・イタ  
ハロ・イタ

また宇宙に  
行けるぞ!

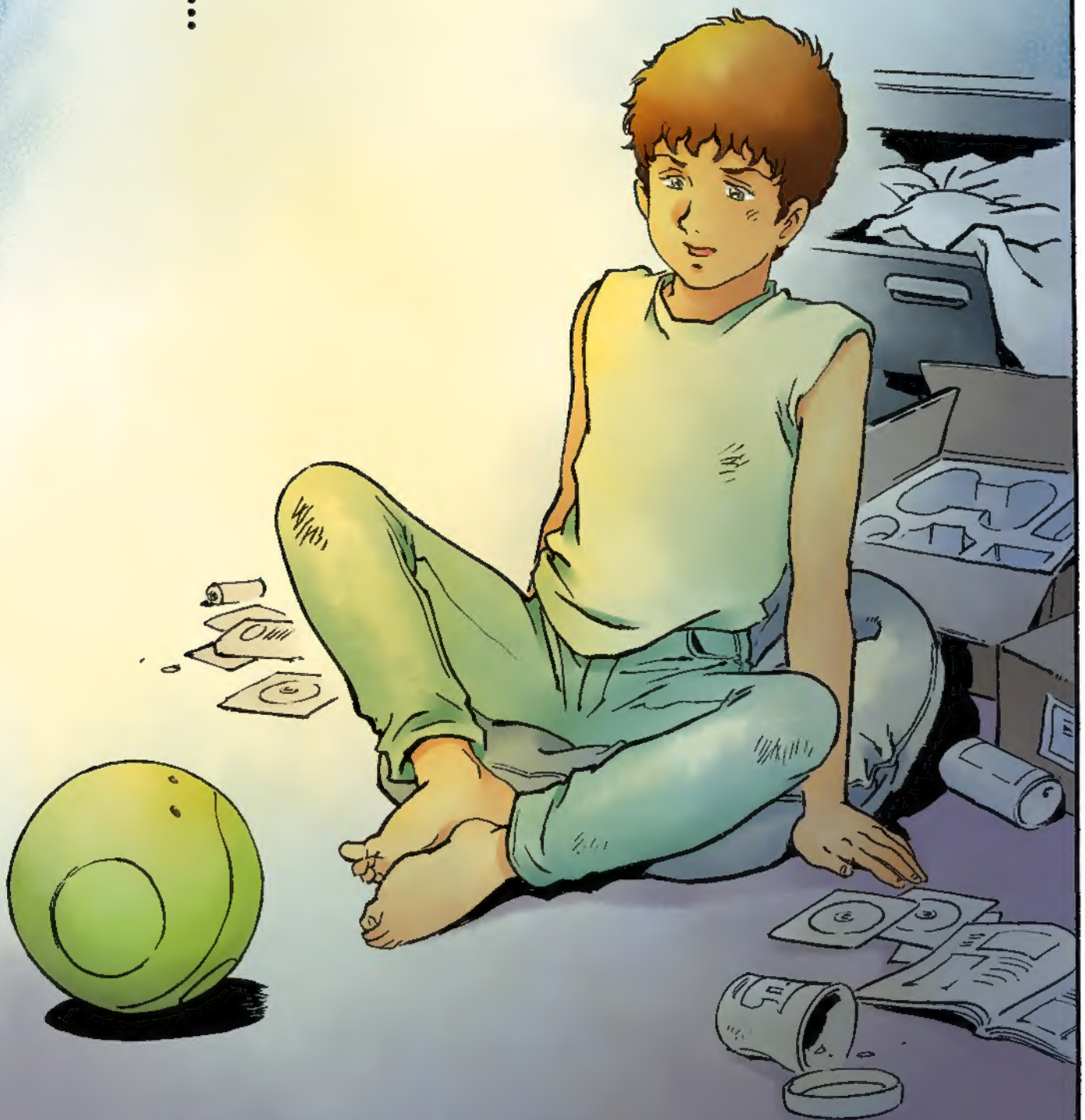




マタ  
ウチユウ……カ?

そう

また宇宙へ  
行くんだって……



to be continued...

Can you remain alive in spite of the WAR?



角川コミックス・エース

# フルカラー版 機動戦士ガンダムTHE ORIGIN<sup>⑪</sup>

著者 安彦良和

原案 矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン 大河原邦男

---

2022年2月26日 発行  
ver.001

©Yoshikazu YASUHIKO 2022  
©創通・サンライズ

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました  
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』  
(Comic Walker掲載)

発行者 青柳昌行  
発行 株式会社KADOKAWA  
<https://www.kadokawa.co.jp/>

## ●お問い合わせ

<https://www.kadokawa.co.jp/> (「お問い合わせ」へお進みください)

※内容によっては、お答えできない場合があります。

※サポートは日本国内のみとさせていただきます。

※Japanese text only

本電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、  
あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。  
また、本電子書籍の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
本電子書籍購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず  
本電子書籍を第三者に譲渡することはできません。  
本電子書籍の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。  
本電子書籍を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に  
予告なく変更される場合があります。  
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

装丁・デザイン 福島トオル(Smile Studio)  
カラーリスト 凸版印刷株式会社



BOOK★WALKER